N-04A

ISSUE DATE: '09.2

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

docomo SMART series

N-04Aをお買い上げのお客様へ

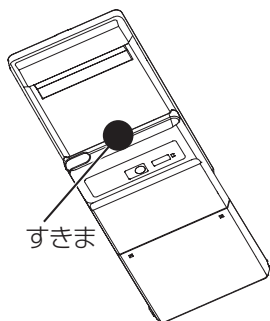
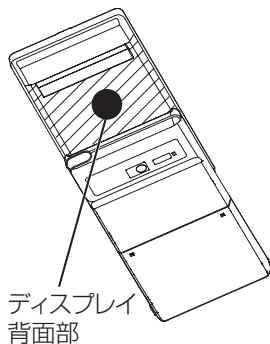
お知らせ

● **FOMA端末を開いたときにできる、ディスプレイ背面部のすきまに、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。**

火災、感電、故障の原因となります。

● **FOMA端末のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールを貼らないでください。**

FOMA端末を開閉する際にラベルやシールが引っかかり、故障、破損の原因となります。

MDT-000102-JJA0

ドコモ
W-CDMA方式

このたびは、「docomo SMART series N-04A」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
N-04Aはお客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ帳、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。

本書のご使用にあたって

本FOMA端末は、きせかえツール（P.113）に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、機能に割り当てられているメニュー番号（P.422）が適用されないものがあります。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
・「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
　http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書では、次のような検索方法で、お客様の用途に応じて、機能やサービスの説明ページを探すことができます。

索引から

FOMA端末のディスプレイに表示されている機能の名称や、調べたい事項のキーワードから探します。

かんたん検索から

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから

表紙のインデックスを使用して、章の最初のページの目次から探します。

次ページで詳しく説明しています。

目次から

機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能から

新機能や便利な機能など、N-04Aの主な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

メニュー機能一覧から

N-04Aに表示されるメニューおよびお買い上げ時の設定内容を一覧表でまとめています。

クイックマニュアルから

基本的な機能について簡潔に説明しています。外出の際に切り離してお持ちいただけます。また、クイックマニュアル（海外利用編）も記載しておりますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。

- この『N-04A取扱説明書』の本文中においては、『N-04A』を『FOMA端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要となります。microSDカードについて→P.320
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- メインメニュー、画面の配色やアイコンは本体色amadana whiteのお買い上げ時の表示で記載しています。

本書の見かた／引きかた（つづき）

「索引」「かんたん検索」「表紙インデックス」からの引きかたを、アラームを例として説明します。

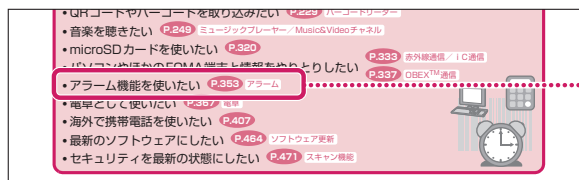
索引から

P.488

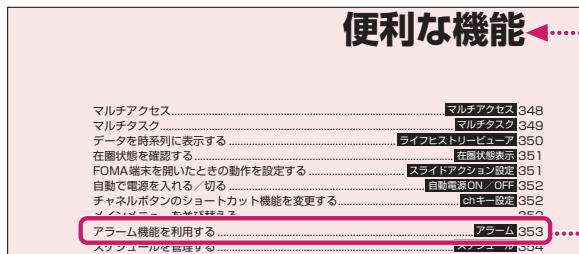
FOMA端末のディスプレイに表示されている機能の名称をはじめ、調べたい事項のキーワードから探します。

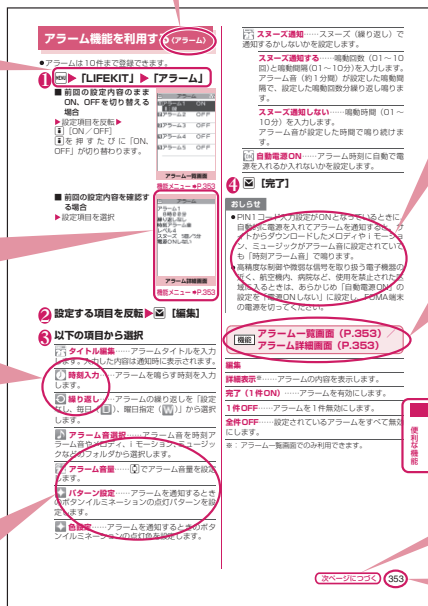
かんたん検索から

P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから

表紙

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。

※本文中のページとは内容が異なります。

本書ではFOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

※本文中のページとは内容が異なります。

- 本書では、画面を見やすくするために「待受画面」の設定を「OFF」にした状態で、背景を白、文字を黒にして記載しています。待受時計表示の設定は「表示方法」を「英語」、「表示サイズ」を「大きく表示」、「文字色」を「ブラック」にした状態です。また、操作説明の画面は説明に必要な部分をクローズアップして記載していることがあります。
- 本書は、主にお買い上げ時の設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によってFOMA端末の表示が本書での記載と異なる場合があります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。
- 本書の操作説明では、ボタンを押す操作を簡略なボタンイラストで表現しています。また、ボタンでもタッチセンサーでも操作できる場合はボタン操作を優先して記載しています。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい・知りたい

メールを使いこなしたい

- デコメール®を送りたい P.140 デコメール®
- 画像やメロディを送りたい P.145 添付ファイル
- メールを自動で振り分けて保存したい P.160 自動振分け設定

カメラを使いこなしたい

- 撮影する画像サイズを変えたい P.219
- 撮影した画像を表示したい P.300 マイピクチャ
- microSDカードに画像を保存したい P.325

安心して電話を使いたい

- 紛失したときなど、離れた場所からFOMA端末をロックしたい P.118 おまかせロック※1
- 電話帳の内容を知られたくない P.119 シークレットモード／シークレット専用モード
- 番号非通知の電話を受けたくない P.130 非通知着信設定
- 電話帳未登録の人からの電話を受けたくない P.131 登録外着信拒否
- 万が一のデータ消失に備え電話帳などを保存しておきたい P.132 電話帳お預かりサービス※2

※1：おまかせロックは有料サービスです。
※2：電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みには、ｉモード契約が必要です）。

ワンセグを使いこなしたい

- ワンセグを見たい P.239 ワンセグ視聴
- ワンセグを録画したい P.243 ワンセグ録画
- ワンセグの視聴や録画を予約したい P.244 視聴予約リスト／録画予約リスト
- 映像や音声の設定を変えたい P.246 ユーザ設定

こんなこともできます

- 電池の消費を抑えたい P.102 照明設定（ECOモード）
- QRコードやバーコードを取り込みたい P.229 バーコードリーダー
- 音楽を聴きたい P.249 ミュージックプレーヤー／Music&Videoチャネル
- microSDカードを使いたい P.320
- パソコンやほかのFOMA端末と情報をやりとりしたい P.333 赤外線通信／ｉC通信 P.337 OBEX™通信
- アラーム機能を使いたい P.353 アラーム
- 電卓として使いたい P.367 電卓
- 海外で携帯電話を使いたい P.407
- 最新のソフトウェアにしたい P.464 ソフトウェア更新
- セキュリティを最新の状態にしたい P.471 スキャン機能

その他の操作の引き方については、「本書の見かた／引きかた」を参照してください。→P.1
また、よく使う機能などの操作手順を「クイックマニュアル」としてご案内しています。→P.504

目次

N-04Aの主な機能

■ iコンシェル →P.199

iコンシェルとは、待受画面上のキャラクター（マチキャラ）が役立つ情報（インフォメーション）を教えてくれたり、サイトからスケジュール（iスケジュール）をダウンロードすることにより便利にご利用いただけるサービスです。
ダウンロードしたiスケジュールやトルカは自動で最新の情報に更新されたり、電話帳にはお店や会社の住所情報などが自動で追加されます。

■ iアプリコール →P.282

iアプリコールとは対戦ゲームにおいて相手のアプリを起動させるなど、第三者またはコンテンツプロバイダから対応する所定のアプリに対して起動を促すよう通知することができる便利な機能です。

■ iウィジェット →P.286

iウィジェットとは電卓・時計やテレビ番組表、株価情報など頻繁に利用する任意のコンテンツおよびツール（ウィジェットアプリ）を簡単にアクセスすることが可能となる便利な機能です。
iウィジェット画面を立ち上げるだけで、欲しい最新の情報を一目で確認することが可能です。

■ ワンセグ →P.236

モバイル向け地上デジタル放送の「ワンセグ」を視聴／録画することができます。また、音声を聞きながらメール閲覧・作成やビデオ録画を行うことができます。

■ 国際ローミング →P.272、408

日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号・メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3Gエリアに対応）。音声電話、テレビ電話、iモード、iモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。
日本語で話しかければ英語に、英語で話しかければ日本語に翻訳する「日英版しゃべって翻訳 for N」をプリインストールしています。また、中国語に対応した「日中版しゃべって翻訳 for N」もプリインストールしています。

■ タッチセンサー →P.39

FOMA端末を閉じたままカメラ撮影を行ったり、ワンセグや音楽などを楽しむときにはタッチセンサーで操作します。

■ Bluetooth機能 →P.371

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスに接続してFOMA端末をかばんなどに入れたまま通話をしたり、音楽やワンセグの音声を再生することができます。

■ 3.0インチ・フルワイドVGA液晶ディスプレイ

ワンセグ映像もカメラ撮影した画像も大画面液晶（480×854ドット）で楽しめます。

■ デジタル手ブレ補正機能／パノラマ撮影機能を搭載したカメラ →P.215

- 有効画素数約320万画素のCMOSで、3Mサイズ（1,536×2,048ドット）の大画像も撮影できます。
- デジタル手ブレ補正を搭載しており、暗い場所での静止画撮影や、手ブレしやすい動画撮影も安心して楽しめます。
- パノラマ撮影機能により広い範囲を1枚の写真で撮影できます。

■ iC通信 →P.336

送信側のFOMA端末と受信側のFOMA端末のマークを重ね合わせてデータのやりとりを行うことができます。

■ ミュージックプレーヤー →P.260

音楽CDなどの楽曲を、パソコンでWMA（Windows Media Audio）データやSD-Audioデータに変換し、microSDカードに登録するとFOMA端末で再生できます。

■ ICカード認証機能 →P.127

暗証番号入力の代わりに、FOMA端末を、FeliCaに対応した非接触ICカードに重ね合わせるとユーザ認証が行われ、ダイヤルロックやキー操作ロックを解除できます。

■ スライドアクション機能 →P.351

FOMA端末を開くだけで、電話に出たり、不在着信の相手や新着メールの内容が確認できます。

■ PDFビューア／ドキュメントビューア →P.338、340

- PDFデータの閲覧ができるので、紙を持ち歩くように地図やカタログ、時刻表などの便利な情報をFOMA端末で手軽に確認できます。
- Microsoft® Word、Microsoft® Excel、Microsoft® PowerPoint、TEXTの文書ファイルを閲覧できるドキュメントビューアを搭載しています。

■ フルブラウザ →P.205

フルブラウザを使うと、パソコン向けのインターネットホームページも表示できるようになり、より多くの情報を得ることができます。

■ マルチウィンドウ／ワンタッチマルチウィンドウ →P.182、186

- 1回の操作で、最大5つまでのサイトに一括して接続できます。
- 接続したサイトページはタブで切り替えて閲覧できます。

■ マチキャラ →P.107、315

動き回るキャラクターを待受画面に表示できます。iコンシェルのインフォメーションや不在着信／新着メール／未読メールなどのお知らせをします。マチキャラは対応サイトからダウンロードできます。

■ 直デン →P.88

よく使う電話帳を直デンに登録しておくと、すばやく電話をかけたり、メールを送信できます。
最大5件まで登録でき、メールアドレスが登録されていると、すべてのメンバーを宛先にしたiモードメールやチャットメールを簡単に作成することもできます。

■ おまかせデコメ →P.142

メール本文の文面から感情を理解し、絵文字などの最適なデコレーションを加えたデコメール®に自動変換します。

■ 感情お知らせメール →P.106、149

メールを受信したとき、そのメールの内容に合った感情を、アイコンやボタンイルミネーションで表現してお知らせします。

■ 赤外線通信／赤外線リモコン →P.335、338

赤外線を利用してほかのFOMA端末などとデータのやりとりを行うことができます。赤外線リモコンに対応した機器に利用することもできます。

■ マルチアクセス／マルチタスク →P.348、349

音声通話、パケット通信、SMSを同時に利用できます（マルチアクセス）。また、複数の機能を同時に実行し、切り替えながら利用できます（マルチタスク）。

■ マンガ・ブックリーダー →P.343

電子書籍／電子コミックを読むことができます。

■ バーコードリーダー →P.229

バーコードやQRコードを読み取り、電話帳登録やiモードメール作成などができます。

■ クイック検索 →P.183

iモードサイトやメール、スケジュールなどを閲覧中に調べたい情報を簡単な操作で検索できます。

■ ファイルアップロード →P.210

最大2Mバイトまでの画像や動画をサイトにアップロードすることができます。

■ ハイパークリアボイス →P.59

周囲が騒がしくても自動で受話音量のレベルを調整し、通話相手の声を聞きやすくできます。

■ amadana channel →P.110

URL：http://www.amadana-channel.com/
amadana channelとは、amadanaがセレクトする音楽やオリジナルきせかえツール、デコメール®などの配信、その他最新ニュース、会員向けサービス情報などをお届けするモバイルサイトです（有料コンテンツあり）。
600万曲以上（2008年11月現在）の定額聴き放題サービスを提供するナップスタージャパンと提携を結び、amadanaが提案するさまざまな人物やシーンによりセレクトされたプレイリストを続々更新しています。ナップスターのサービスにご登録いただくことで、さらに楽曲配信もお楽しみいただけます。
またFOMA端末をもっとクールにカスタマイズするきせかえツールや待受Flash、ユニークなキャラクターやデザインが登場するオリジナルデコメール®などのアイテムも配信しています。
ブランド“amadana”の世界観をさまざまなコンテンツによってお楽しみいただけます。

● その他の主な機能

■ テレビ電話→P.53
■ 着もじ→P.61
■ きせかえツール／ダイレクトメニュー→P.113
■ あんしん設定→P.115
■ iモードメール→P.138
■ デコメ®絵文字→P.139
■ デコメール®→P.140
■ ビデオクリップ→P.196
■ iチャネル→P.198
■ Music＆Videoチャネル→P.250
■ 着うたフル®／うた・ホーダイ→P.253
■ メガiアプリ／直感ゲーム→P.265
■ 地図アプリ→P.275
■ おサイフケータイ／トルカ→P.290、293
■ 各種ネットワークサービス→P.391
■ 2in1→P.401
■ 高速通信対応→P.416

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、NTT ドコモが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック N16
卓上ホルダ N21
FOMA ACアダプタ 01／02
FOMA DCアダプタ 01／02
データ通信アダプタ N01
FOMA海外兼用ACアダプタ 01
FOMA乾電池アダプタ 01
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02
FOMA 補助充電アダプタ 01

※その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

⚠警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。
そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

2.FOMA端末の取り扱いについて

警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口やmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、アンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部には強化ガラスを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

人の多い場所では、使用しないでください。
アンテナが他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

アンテナが破損したまま使用しないでください。
肌に触れるとやけどや、けがなどの事故の原因となります。

禁止

モーショントラッキングご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
モーショントラッキングは、FOMA端末を傾けたり振ったりして操作をする機能です。振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。

禁止

FOMA端末に金属製などのストラップを付けている場合は、モーショントラッキングご利用の際、ストラップが人や物などに当たらないようご注意ください。
けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。
安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
本体側面（光沢部分）	ナイロン＋ガラスフィラー	スズ蒸着＋UVコーティング
サイドボタン	ポリカーボネート	
外部接続端子キャップ	ポリカーボネート／ABS複合材	
決定ボタン	ポリカーボネート	アルミ蒸着＋UVコーティング
本体開時のディスプレイ裏面	ステンレス	塗装

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。

3.電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

4. アダプタ（充電器含む）の取り扱いについて

⚠警告

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。
感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：
　DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：
　AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

5.FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

6.医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意

共通のお願い

- **水をかけないでください。**
FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **FOMA端末、アダプタ（充電器含む）、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **タッチセンサーの表面を強く押したり、つめやボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作しないでください。**
タッチセンサーが破損する原因となります。

FOMA端末についてのお願い

- **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **ディスプレイの表面に、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保を目的（強化ガラスの飛散防止）とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。**
けがの原因となることがあります。
- **受話口／スピーカー部分に鋭利な硬いものを入れないでください。**
FOMA端末の故障、破損の原因となります。
- **FOMA端末を開いたときにできる、ディスプレイ背面部のすきまに、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。**
火災、感電、故障の原因となります。
- **ディスプレイやキーまたはボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。**
故障の原因となります。

次ページにつづく

● FOMA端末のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールを貼らないでください。
FOMA端末を開閉する際にラベルやシールが引っかかり、故障、破損の原因となります。
● microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

電池パックについてのお願い

● 電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
● 充電は、適正な周囲温度（5℃〜35℃）の場所で行ってください。
● 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
● 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
● 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
● 電池パックを長期保管される場合は、次の点にご注意ください。
・満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
・電池残量なしの状態（本体の電源が入らないほど消費している状態）での保管
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
長期保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本の状態をおすすめします。

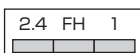
アダプタ（充電器含む）についてのお願い

● 充電は、適正な周囲温度（5℃〜 35℃）の場所で行ってください。
● 次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
● 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
● DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
● 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
● 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

● FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
● 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
● 他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
● IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
● お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
● お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
● 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
● 極端な高温・低温は避けてください。
● ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
● FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
● FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
● FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。（対応しているBluetooth機器のみ）
- **周波数帯について**
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4 ：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH ：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
1 ：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
▭▭▭ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCa リーダー／ライターについて

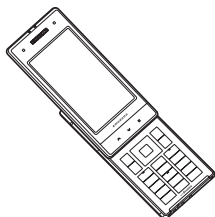
- FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

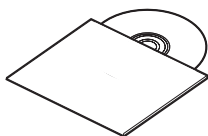
- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **ICカード認証機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のICカード認証機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

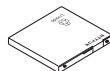
本体付属品および主なオプション品

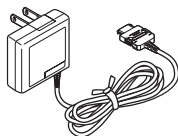
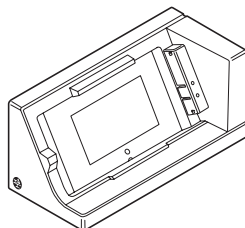
＜本体付属品＞

N-04A
（保証書、リアカバー N35含む）

N-04A取扱説明書
（本書）

※ P.504にクイックマニュアルを記載しています。

N-04A用CD-ROM

※「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）、「区点コード一覧」（PDF形式）を収録しています。

電池パック N16

＜主なオプション品＞

FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ N21
（取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.448

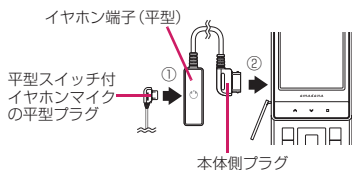
ご使用前の確認

各部の名称と機能

＜イヤホンのご利用について＞

別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。
なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続例

イヤホン端子（平型）
平型スイッチ付イヤホンマイクの平型プラグ
①
②
本体側プラグ

■各部の主な機能

❶ **受話口／スピーカー**

❷ **イルミネーションランプ**
- 電話着信中や不在着信があるときに設定色で点滅→P.72
- メール受信中や新着メールがあるときに設定色で点滅→P.72
- 充電中は赤色に点灯→P.47

❸ **照度センサー→P.102**

❹ **ディスプレイ**

❺ **タッチセンサー→P.39**

❻ **ファンクションボタン1**
- ファンクション表示の内容を実行→P.28
- メールメニューを表示
- テレビ電話をかける→P.54

❼ **ファンクションボタン2**
- ファンクション表示の内容を実行→P.28
- ｉモードメニューを表示

❽ **マルチファンクションボタン**

／上／下ボタン
- カーソルや表示内容などを上下方向へ移動（押し続けると連続スクロール）
- ：ｉウィジェット画面を表示→P.286
- ：電話帳検索メニュー画面を表示

／左／右ボタン
- カーソルを左右方向へ移動
- 表示内容を画面単位で前の画面や次の画面へスクロール→P.34
- ：着信履歴を表示→P.59
- ：リダイヤルを表示→P.59

決定ボタン
- ファンクション表示の内容を実行（主に選択／確定）→P.28

❾ **ファンクションボタン3**
- ファンクション表示の内容を実行→P.28
- メインメニューを表示→P.29
- タスク切替画面を表示→P.349

❿ **ch ファンクションボタン4**
- ファンクション表示の内容を実行（主に機能メニュー）→P.28
- 「chキー設定」で設定した機能の起動→P.352

※お買い上げ時はｉチャネルのチャネル一覧を表示します。

⓫ **開始ボタン**
- 音声電話をかける→P.54
- 音声電話／テレビ電話を受ける→P.67
- 直デンを表示→P.88

⓬ **CLR 戻る（クリア）ボタン**
- 操作を1つ前の状態に戻す→P.35
- 通話を保留→P.70
- 入力した電話番号や文字を削除→P.54、384

⓭ **電源／終了／応答保留ボタン**
- 電源を入れる（1秒以上）／切る（2秒以上）→P.49
- 各機能の終了→P.35
- 通話の終了→P.55
- 応答を保留→P.70

⓮ **0 ～ 9 ダイヤルボタン**
- 電話番号や文字、数字を入力

⓯ **＊／公共モード（ドライブモード）ボタン**
- 公共モード（ドライブモード）の設定（1秒以上）→P.70

⓰ **＃／マナーボタン**
- マナーモードの設定（1秒以上）→P.97

⓱ **送話口／マイク**

⓲ **ストラップ取付穴**

⓳ **充電端子**

⓴ **外部接続端子**
- 充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子です。
- ACアダプタ(別売)、DCアダプタ(別売)、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01／02(別売)、イヤホン変換アダプタ 01（別売）、ステレオイヤホンマイク 01（別売）、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01（別売）※などを接続

※：平型ステレオイヤホンセット（別売）や平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続して使用します。

㉑ **ワンセグアンテナ**
- ワンセグ放送を受信→P.237

㉒ **サイドボタン**
- タッチセンサーの有効／無効の切り替え→P.40
- 現在時刻やアラーム内容の読み上げ→P.361
- カメラのシャッター→P.217

㉓ **FOMAアンテナ**
- 本体に内蔵されています。よりよい条件で電話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

㉔ **カメラ**
- 静止画や動画を撮影
- テレビ電話中に風景などを写す

㉕ **赤外線ポート→P.335**

㉖ **撮影認識ランプ**
- 撮影時に点灯

㉗ **マーク（FeliCa マーク）**
- ICカード読み取り→P.291
- ｉC通信→P.336

㉘ **リアカバー**

内部に以下の装着・挿入部があります。
- FOMAカード→P.42
- 電池パック→P.45
- microSDカード→P.320

● ボタンの長押し操作について

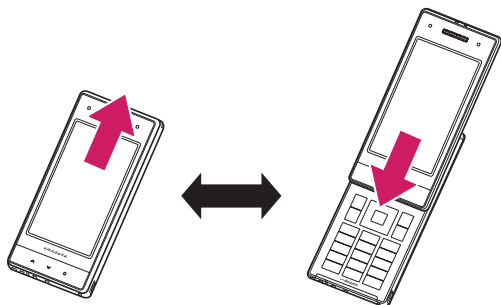
待受画面でボタンを1秒以上押すことによって使える機能は以下のとおりです。

■開いているとき

ボタン操作	動作	ページ
(受信アドレス一覧ボタン)	受信アドレス一覧の表示	P.163
(送信アドレス一覧ボタン)	送信アドレス一覧の表示	P.163
2	2in1の設定	P.404
3	ICカードロックを設定	P.292
5	ECOモードの切替	P.103
7	フォント設定画面の表示	P.108
8	プライバシーアングルの切替	P.102
9	きせかえツールの画面／音設定のリセット	P.319
0	「+」の入力	P.65
*	公共モード(ドライブモード)の設定／解除	P.70
#	マナーモードの設定／解除	P.97
(音量ボタン)	受話音量の調節	P.69
(メールボタン)	iモード問い合わせ	P.150
(iアプリボタン)	iアプリのソフト一覧表示	P.267

■閉じているとき

ボタン操作	動作	ページ
(サイドボタン)	キー操作ロックの利用	P.126

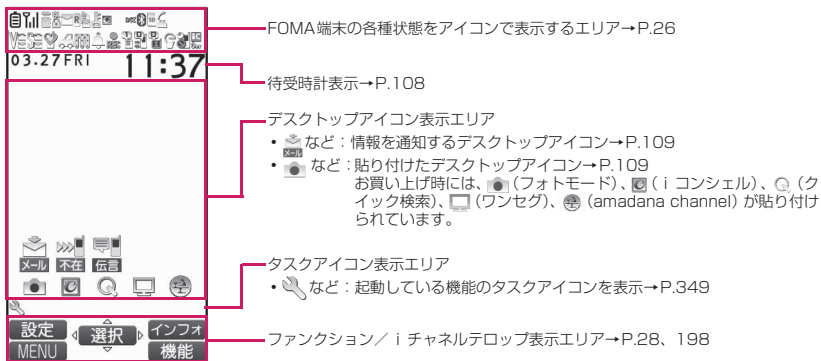
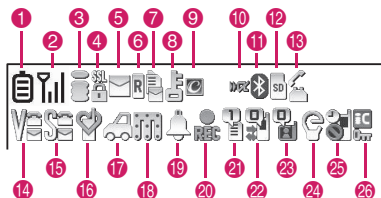
● FOMA端末の開きかた／閉じかた

開くときはディスプレイ側を上方向にスライドさせます。

閉じるときはディスプレイ側を下方向にスライドさせます。

おしらせ

- 開いたときの動作を設定すると、着信時にすぐに電話に出られます。また、不在着信や新着メールがあるときに電話の相手やメール内容をすぐに確認できます。→P.351
- 開閉時にはボタンに指が触れないようにしてください。誤動作の原因になります。

ディスプレイの見かた

●ディスプレイに表示されるマーク（ 、 、 など）をアイコンといいます。
●ディスプレイにはカレンダーなどを設定することができます。→P.100

● FOMA端末の各種状態を表示するアイコン

	アイコン	アイコンの内容
1		電池残量→P.49
		温度監視→P.46
2		電波の受信レベル→P.49
		サービスエリア外または電波が届かない場所→P.49
	self	セルフモード→P.132
3	／	iモード中／iモード通信中→P.178
	／／	パケット通信中（データ送受信なし／発信中／着信中）※1
	／	パケット通信中（送信中／受信中）※1
4		SSL対応ページを表示中→P.180
5	／（赤色）	未読メールあり／受信BOX満杯→P.148
		FOMAカードのSMS満杯→P.332
		未読メールあり／FOMAカードのSMS満杯→P.148、332
	（赤色）	受信BOX満杯／FOMAカードのSMS満杯→P.148、332
		未読エリアメールあり→P.168
6	／（赤色）	未読メッセージRあり／満杯→P.166
	／（赤色）	未読メッセージFあり／満杯→P.166
	／／／	未読メッセージRとFあり（赤色は満杯）→P.166
7	／（赤色）	iモードセンターにメールあり／満杯→P.150
7		「メール選択受信設定」が「ON」のときで、iモードセンターにメールあり→P.149
	／（赤色）	iモードセンターにメッセージRあり／満杯→P.166
	／（赤色）	iモードセンターにメッセージFあり／満杯→P.166
8		ダイヤルロック→P.118
		シークレットモードまたはシークレット専用モード→P.119
	／	オリジナルロック／一時解除中→P.122、123
	／	シークレットモードまたはシークレット専用モードでオリジナルロック／一時解除中→P.119、122、123
		赤外線通信中→P.335
		赤外線リモコン操作中→P.338
		ICカード認証中→P.127
		iC通信中（データ送受信）→P.336
9		iコンシェルのインフォメーションあり→P.201
10		招集通知（iアプリコール）あり→P.282
11	（青色）	Bluetooth有効状態（点灯）／Bluetooth通信中（点滅）→P.373
		Bluetooth通話中→P.374
	（黒色）	Bluetooth省電力中→P.373
12		microSDカード取り付け時→P.320
		microSDカード（不正）取り付け時→P.320
		microSDリーダー／ライター使用中→P.330
		microSDアクセス中→P.323
13		音声通話中→P.54
		64Kデータ通信中※1

	アイコン	アイコンの内容
⑬		テレビ電話中→P.54
		音声電話・テレビ電話切替中→P.57、68
	／	microSDモード中／MTPモード中→P.329
	／／	USBケーブル接続時で、通信モード中／microSDモード中／MTPモード中→P.329
	／／	ハンズフリー対応機器接続時で、通信モード中／microSDモード中／MTPモード中→P.66、329
	／／	USBケーブル・ハンズフリー対応機器接続時で、通信モード中／microSDモード中／MTPモード中→P.66、329
⑭		バイブレータ→P.94
⑮		着信音量が「消去」→P.69 メール／メッセージ鳴動が「OFF」→P.96
⑯		マナーモード→P.97
	／	自動マナーモード起動ON／解除ON→P.97
⑰		公共モード（ドライブモード）→P.70
⑱		Music&Videoチャネル予約中→P.251
⑲		アラーム通知機能→P.245、359
⑳		ワンセグ予約録画中→P.244
㉑	～	留守番電話の伝言メッセージあり→P.392
㉒		[伝言メモON･自動音声メモON]
		伝言メモ･自動音声メモともになし→P.364
		伝言メモのみあり→P.364
		自動音声メモのみあり→P.364
		伝言メモ･自動音声メモともにあり→P.364
		[伝言メモOFF･自動音声メモON]
	～	自動音声メモ0件～2件→P.364
		[伝言メモON･自動音声メモOFF]
	～	伝言メモ0件～5件→P.73
㉓	～	テレビ電話伝言メモ→P.73
㉔		ECOモード「ON」→P.103
		プライバシーアングル「ON」→P.102
		プライバシーアングル「ON」とECOモード「ON」→P.102、103
㉕		キー操作ロック設定中※2→P.126
㉖		ICカードロック→P.292

※1：アイコンの詳細については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。

※2：お買い上げ時には、「ロックキー」が「ON」に設定されているため、「」は常時表示されます。

おしらせ

- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、その特性上、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 表示アイコンの名称は、「SETTINGS／SERVICE」▶「ディスプレイ」▶「表示アイコン説明」で確認できます。

ファンクション表示とボタン操作

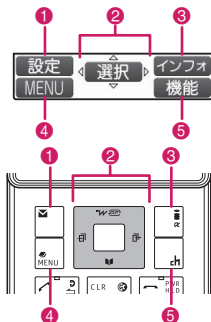
画面には[✉]、[■]、[i]、[MENU]、[ch]に対応する操作アイコン（ファンクション表示）と[✥]に対応する方向アイコンが表示されます。これらのアイコンは、対応するボタンが使用できるときのみ表示されます。

■ ファンクションボタンに割り当てられている機能を実行する場合

❶〜❺のファンクション表示に対応するボタンを押すと、その機能が実行されます。

❶…… ［設定］［編集］［完了］［デモ］［送信］［新規］などを表示
❷…… 中央には［選択］［確定］［再生］［発信］などを表示
❸…… ［表示切替］［赤外線］［開く］などを表示
❹…… ［MENU］［MULTI］を表示
❺…… ［ch］［機能］［閉］などを表示
［機能］が表示されているときに[ch]を押すと、機能メニューを表示→P.37

■ 画面を移動、スクロールする場合

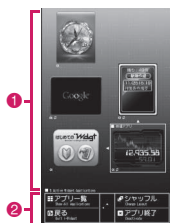
❷…… 上下左右に移動またはスクロールできる方向のアイコン（◁⇕▷）を表示
[✥]を押すと、その方向に移動またはスクロールします。

［表記ルール］

■ファンクション表示の記載について

本書の操作説明では、ファンクション表示に対応するボタンを押すときは原則として、[■]［選択］、[ch]［機能］のように、［　］内にファンクション表示を記載しています。

ｉウィジェットの表示と操作

N-04Aは、ｉウィジェットに対応しています。ｉウィジェットとは、ウィジェットアプリと呼ばれるアプリケーションを待受画面から簡単に利用することができる機能です。表現力のある便利なコンテンツが楽しめます。「ｉウィジェットを利用する」→P.286

❶ウィジェットアプリを表示します。
ウィジェットアプリを選択すると個別表示できます。
❷ボタン操作に対応したナビゲーションを表示します。
ｉウィジェット画面で[i]［シャッフル］を押すと、ウィジェットアプリの表示順をランダムに入れ替えることができます。

ｉウィジェット画面

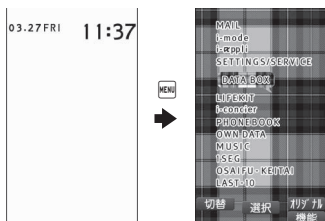
メニューの選択方法

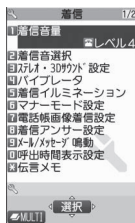
FOMA端末の各種機能を実行、設定、確認する方法は1つだけではありません。メインメニューから機能を選択する方法が一般的ですが、それ以外にもさまざまな方法があります。

メインメニューから機能を選択する

FOMA端末の各種機能は、待受画面で MENU を押して表示されるメインメニューから選択することができます。メニューは機能ごとに分類されています。→P.422

<例：「着信アンサー設定」を選択する場合>

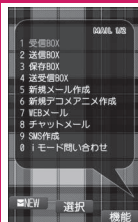
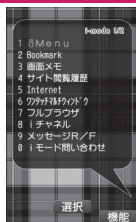
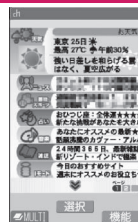
1 待受画面で MENU を押し、メインメニューを表示する

ワンポイント
メインメニュー表示中に15秒以上ボタンを押さなかった場合、メインメニューを終了して、元の画面に戻ります。

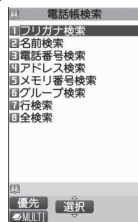
2 で反転表示を移動して■［選択］を押し、表示されるメニューを順次選択する

反転した項目が2行表示になり、現在の設定値が表示されます。

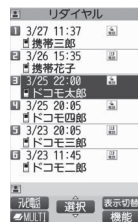
ワンポイント
を押し続けると、反転表示を連続して移動することができます。

ショートカットボタンで機能を呼び出す

あらかじめ機能（画面）が割り当てられているファンクションボタンを押すと、その機能をすばやく呼び出すことができます。

待受画面でファンクションボタンを押す

[メール]を押すと、メールメニューが表示されます。→P.138

[i]を押すと、iモードメニューが表示されます。→P.178

[ch]を押すと、チャネル一覧が表示されます。→P.198

[iウィジェット]を押すと、iウィジェット画面が表示されます。→P.286

[電話帳]を押すと、電話帳検索画面が表示されます。→P.83

[着信]を押すと、着信履歴画面が表示されます。→P.59

[リダイヤル]を押すと、リダイヤル画面が表示されます。→P.59

おしらせ

- シンプルメニュー（P.33）を利用しているときは、待受画面で[メール]、[i]を押すと、シンプルメニューが表示されます。
- [ch]ボタンで呼び出せる機能は、変更することができます。→P.352

メニュー項目を検索し、機能を呼び出す

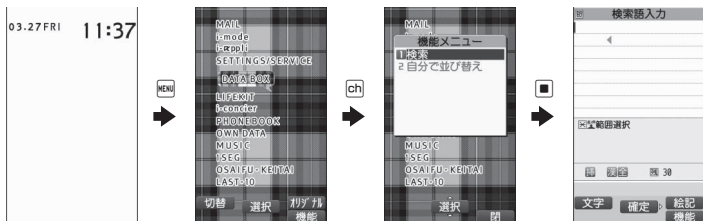
キーワードを入力してメニュー項目を検索すると、操作手順がわからなくても目的の機能を呼び出すことができます。

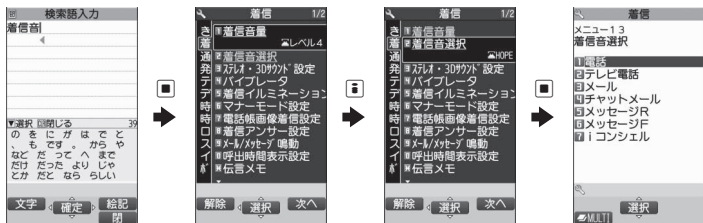
＜例：「着信音選択」を呼び出す場合＞

1 待受画面で MENU を押して ch［機能］を押し、「検索」を反転して ■［選択］を押す

MENU

ch

■

2 「着信音」と入力して ■［確定］を押し、表示されるメニューを選択する

■

検索結果は下線が引かれて表示されます。

i

検索結果が複数あるときは、i［次へ］を押すと、囲み枠が移動します。

■

オリジナルメニューに切り替えて機能を呼び出す

自分がよく使う機能をあらかじめ登録しておくと（P.104）、その機能を簡単に呼び出せます。

1 待受画面で MENU を押してメインメニューを表示し、続けて i［オリジナル］を押す

i を押すごとにメインメニューとオリジナルメニューが切り替わります。

メニュー番号を押して機能を呼び出す

メインメニューを「Standard」に切り替えると（P.33）、あらかじめ機能に割り当てられているメニュー番号（P.422）に対応するボタンを押すだけで、その機能をすばやく呼び出すことができます。

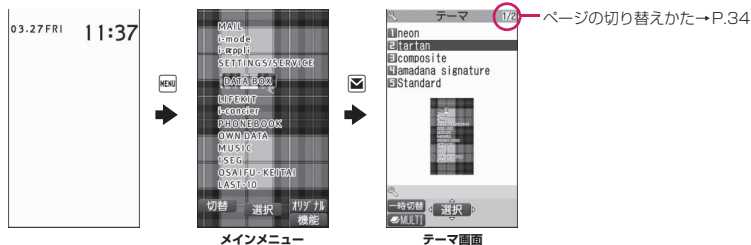
<例：「着信音選択」を呼び出す場合>

待受画面で MENU を押し、続けて 1 3 を押す

メインメニューを切り替える

メインメニューのデザイン（背景やアイコンなどの表示スタイル）は自由に変更することができます。
●きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また機能に割り当てられているメニュー番号（P.422）が適用されないものもあります。

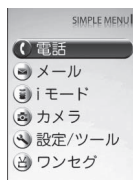
1 待受画面でMENUを押し、さらに✉［切替］を押す

メインメニュー　テーマ画面

2 項目を選択する

「neon」～「Standard」
それぞれのメニューにデザインが切り替わります。「Standard」に切り替えると、メニュー番号を押して機能を呼び出すこともできます。→P.32
「シンプルメニュー」
代表的なメニューだけを集めたもので、文字も大きく、メニューの選択操作も簡単に行えます。→P.436
各種画面の文字サイズも「特大」に一括設定できます。→P.108
「オリジナルテーマ」→P.104
メインメニューの各アイコンと背景のイメージを変更します。自分で撮影した写真を背景にするなどのカスタマイズも可能です。
「きせかえツール」→P.113
メインメニューをはじめFOMA端末のさまざまなデザインを、きせかえツールパッケージを使って一括設定します。お買い上げ時にはメニューを4つのカテゴリに分けて上下左右に配置した「ダイレクトメニュー」が登録されています。また、「拡大メニュー」を選択すると、大きな文字で表現したメニューに切り替わります。

SIMPLE MENU
電話
メール
iモード
カメラ
設定/ツール
ワンセグ

シンプルメニュー

■ メインメニューを一時的に切り替えるとき
テーマ画面で項目を反転して✉［一時切替］を押すと、メインメニューが一時的に切り替わります。再度メインメニューを表示させたときは、設定前のメインメニューが表示されます。

おしらせ
●ユーザカスタマイズに対応しているメニューを設定した場合、メインメニューでch［機能］を押し「自分で並び替え」を選択すると、メニュー項目を並び替えることができます。→P.352

■メインメニューについて
使用するメインメニューのデザインによって、メニュー名の表記は異なります。

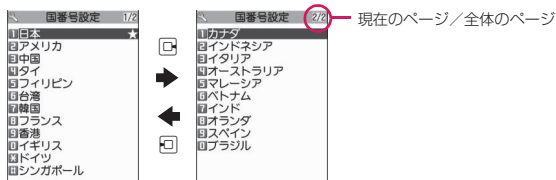
MAIL⇔メール
i-mode⇔ｉモード
i-αppli⇔ｉアプリ
SETTINGS／SERVICE⇔設定／サービス
DATA BOX⇔データBOX
LIFEKIT⇔LifeKit
i-concier⇔ｉコンシェル
PHONEBOOK⇔電話帳
OWN DATA⇔ユーザデータ
MUSIC
1SEG⇔ワンセグ
OSAIFU-KEITAI⇔おサイフケータイ

各種画面の基本操作

ボタンによる基本操作について説明します。

● 選択する項目が複数ページにわたる場合

でページを切り替える

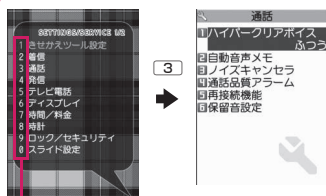
を押すと前のページに、を押すと次のページに切り替わります。

■ で切り替える場合

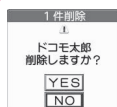
反転表示が一番上にあるときにを押すと前のページに、一番下にあるときにを押すと次のページに切り替わります。

おしらせ

- 一部の機能ではタッチセンサーでもページ切り替えができます。→P.40

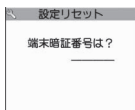
● ダイヤルボタンで項目を選択する方法

メニュー番号に対応している 1 ～ 9 0 * # を押す

● 「YES／NO」や「ON／OFF」を選択する場合

1 で囲み枠を移動し［選択］を押す

● ピクチャ一覧で画像を表示する場合

[方向キー]で囲み枠を移動し[■]［表示］を押す

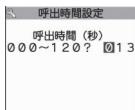
● 端末暗証番号の入力

4～8桁の端末暗証番号を入力し[■]［確定］を押す

入力した端末暗証番号は「＿」で表示されます。
正しい端末暗証番号を入力すると機能の詳細画面が表示されます。

■ 端末暗証番号を間違えた場合

番号が違うことを通知するメッセージが表示されます。もう一度操作をやり直してください。

● 数値を入力する場合

[0]～[9]を押して数値を入力する

3桁の数値入力画面で1桁または2桁の数値を入力する場合は最初に[0]を2回または1回押します。

■「3」を入力する場合

▶[0][0][3]

● 操作の取り消しかた、待受画面への戻りかた

■ [CLR]

間違ってメニュー項目を選択した場合など、直前の操作を取り消したいときには[CLR]を押します。原則として1つ前の画面に戻りますが、機能によっては、戻り先が異なることもあります。

■ [終話]

設定などの各種操作を終了し、待受画面に戻りたいときは[終話]を押します。その機能を終了し、原則として待受画面に戻りますが、表示されている画面状況や機能によっては、戻り先が異なることもあります。設定の途中などに[終話]を押した場合、設定中の内容を破棄して待受画面に戻ります。

操作手順の読みかたと表記ルール

本書では、原則として操作手順を次のように簡略に記載しています。

操作手順の記載例と実際の操作

①：待受画面でMENUボタンを押します。
②：で反転表示を「 」内のメニューに移動し■［選択］を押します。
③：で反転表示を「 」内の項目に移動し■［選択］を押します。
　　または「 」内の項目のメニュー番号に対応する1～9 0 ＊ ＃を押します。
④：で反転表示を移動します。
⑤：［ ］内に示したファンクション表示に対応するボタンを押します。

［表記ルール］

■「選択」「確定」操作における■の省略

- 記載例②、③のようにメインメニューや一覧から目的の機能を選択するときは■［選択］を省略して記載しています。
- 同様に「項目を選択」「端末暗証番号を入力」などと記載している場合も■［選択］または■［確定］を省略して記載しています。
- ■［選択］を押さずに次の操作に移る場合は、記載例④のように「～を反転」と記載しています。

■すばやい操作を優先記載

- 原則として、メインメニューからの操作を主体に記載していますが、ショートカットボタンによる操作（P.30）がある場合はその操作を優先記載しています。
- シンプルメニューから機能を選択する場合は、「シンプルメニュー」（P.436）をご覧になって操作してください。

■操作終了後の記載の省略

- 目的の機能操作を終了した後の操作説明は省略しています。
- 「操作の取り消しかた、待受画面への戻りかた」→P.35

■ボタンやメニュー表示の簡略記載について

- 本書の操作説明ではボタンイラスト／メニュー表示／ボタンの長押し操作を、次のように簡略に記載しています。

	ボタン	メニュー表示	ボタンの長押し操作
実際の表示・操作	1 .,/@ あ	Menu	＃を1秒以上押す
本書の表記	1	i Menu	＃（1秒以上）

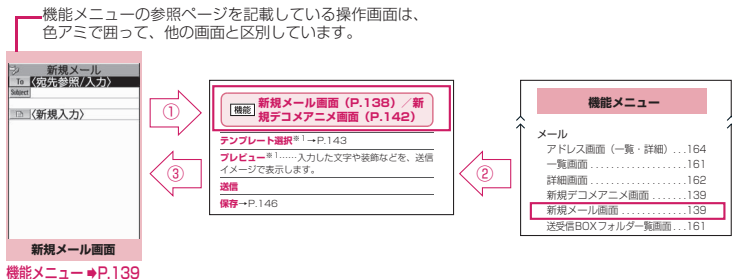
■メニュー説明の省略と、メニュー項目の合併記載

- 項目名を見ただけで、操作の目的・方法が容易に推察でき、説明が不要と思われる項目は、そのメニュー説明を省略しています。
- メニュー説明を省略した項目をまとめて記載する場合や、複数の項目をまとめて説明する場合は、項目を「､」でつないで記載しています。

機能メニューの活用方法

FOMA端末のメニューの1つに、ファンクション表示機能から呼び出す「機能メニュー」があります。機能メニューは各種画面での補助的な機能を実行するものです。
たとえばメールを読んだ後にそのメールを削除したり、カメラで撮影した画像の保存先フォルダを選択するときに使います。

● 機能メニューの利用のしかた

機能メニューには主に、3とおりの利用方法があります。状況に応じてご利用ください。
①操作画面に記載している参照ページから、機能メニュー項目の説明を見る
②機能メニュー索引のページから、機能メニュー項目の説明を見る
③機能メニューの参照ページから、操作画面を表示するまでの手順を調べる

※ 上記の「機能メニュー項目」および「機能メニュー索引」は一部を抜粋したものです。

● 一覧画面の操作対象について

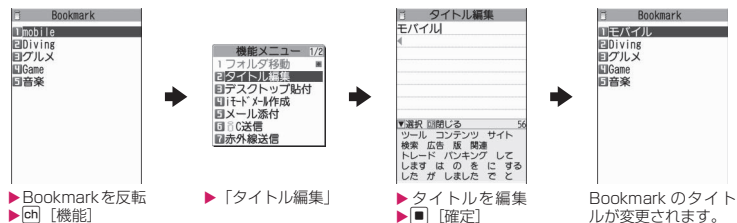
一覧画面の機能メニューは、一覧で反転表示したデータが操作対象になる場合と、一覧中のすべてのデータが操作対象になる場合があります。たとえば、「タイトル編集」や「1件削除」は反転表示したタイトルやデータが操作対象となり、「全削除」はすべてのデータが操作対象になります。
「タイトル編集」や「1件削除」のように、一覧中の1つのデータを対象とする機能メニューを選択する場合は、あらかじめそのデータを反転表示させてからch［機能］を押してください。

<例：一覧画面のBookmarkタイトルを編集する場合>

▶Bookmarkを反転
▶ch［機能］

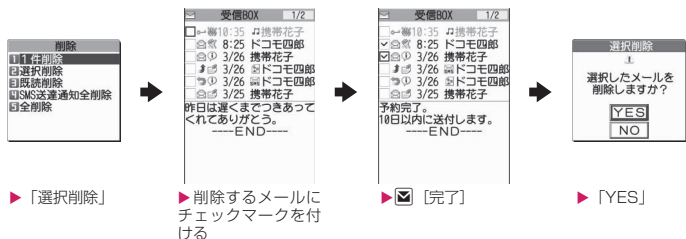
▶「タイトル編集」

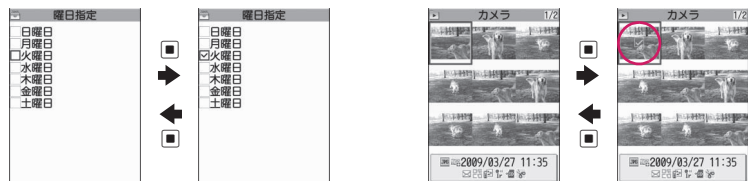
▶タイトルを編集
▶■［確定］

Bookmarkのタイトルが変更されます。

● 複数選択について

不要になったデータを削除したり、大切なデータを保護したり、ほかの人に見られたくないデータをシークレットフォルダに保管するときなどには、1件のデータやすべてのデータを操作対象とするだけではなく、複数のデータを操作対象にすることもできます。このような場合、次のように操作します。

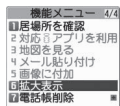
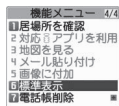
＜例：受信メール一覧画面で複数のメールを削除する場合＞

▶「選択削除」　▶削除するメールにチェックマークを付ける　▶［完了］　▶「YES」

チェックマークの付けかた

で囲み枠を選択する項目に移動し■［選択］を押すと、チェックボックスが□から☑になります。これが選択された状態です。■［選択］を押すたびに、□と☑が切り替わります。
ピクチャ一覧では選択された状態になると、が表示されます。未選択状態では何も表示されません。

- ファンクション表示エリアに「機能」が表示されている場合は、ch［機能］を押すと「全選択」や「全選択解除」などの機能を選択することができます。

● 表示が交互に切り替わるメニューについて

メニューによっては、メニュー名が以下のように交互に切り替わるものがあります。

＜画面例１＞　＜画面例２＞

「標準表示」のとき　「拡大表示」のとき

電話帳詳細画面の文字サイズを「標準表示」で表示しているときは、＜画面例１＞のように「拡大表示」と表示されます。この状態で「拡大表示」を選択すると、文字サイズが拡大表示に切り替わり、次に機能メニューを表示したときには、メニュー名が「標準表示」に切り替わります。

［表記ルール］

■表示が交互に切り替わるメニューの記載について

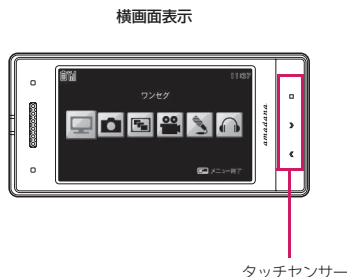
このようなメニューは「**拡大表示⇔標準表示**」と記載しています。

おしらせ

- ●表示されている機能メニューの配下にさらにメニューがある場合は右側に「＋」が表示されます。
- ●操作中の機能や設定状態などによって、表示される機能メニューの内容が異なったり、機能メニューの項目を選択できない場合があります。選択できない機能メニューの項目はグレーで表示されます。

タッチセンサーの使いかた

本FOMA端末では、閉じたままカメラ撮影を行ったり、ワンセグや音楽などを楽しむことができます。閉じたままこれらの機能を利用するときはタッチセンサーで操作します。

- タッチセンサーの動作やバックライトの色などは「タッチセンサー設定」（P.107）で変更できます。

縦画面表示

横画面表示

図のように、縦画面ではタッチセンサー部が下になるように、また横画面では右になるように画面が表示されます。

［表記ルール］

■タッチセンサーの記載について

本書の操作説明では、以下のように記載しています。

縦画面表示：左から∧∨□　　横画面表示：上から□＞＜

※記載を区別する必要がない場合は、縦画面表示で記載しています。

タッチセンサーの基本操作

- ∧∨□の部分を指で軽く触れます。
- 操作中に「YES／NO」の選択画面などが表示された場合は、マルチファンクションボタンと同様、∧や∨で反転表示を移動し、□で選択／確定などの操作が行えます。
- 閉じて操作できる機能は限定的です。機能メニューなどを操作する必要があるときは、FOMA端末を開いてボタン操作で行ってください。

タッチセンサー利用上のご注意

- タッチセンサーは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、つめやボールペン、ピンなど先が尖ったものを押し付けないでください。
- 次の場合はタッチセンサーに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - つめ先での操作
  - 異物を操作面にのせたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作

● タッチセンサーが有効なとき／無効なとき

タッチセンサーの有効／無効の切り替えはサイドボタンで行います。

- ●タッチセンサーが有効なときは、タッチセンサーのバックライトが点灯します。
- ●バックライトが消灯すると、タッチセンサーは無効になります。
- ●バックライトは以下のようなときに消灯します。
  - ･「照明設定」（P.102）－「通常時」－「省電力モード」の「待ち時間設定」の時間が経過したとき（「通常時」が「OFF」に設定されていても同じです）
  - ･「省電力モード」が「OFF」に設定されている場合は、20分間操作がないとき
  - ･ワンセグ視聴中などでも、無操作状態が「省電力モード」の「待ち時間設定」の時間分続いたとき
  - ･タッチセンサー有効時に連続約30秒間触れ続けたとき

■タッチ操作をFOMA端末が認識すると

- ●タッチセンサーのバックライト色が変化すると同時に、バイブレータが振動します。長押し操作を認識したときは、バックライト色の変化時間や、バイブレータの振動時間も長くなります。ただし、動画撮影中／音声録音中はバイブレータの振動はありません。
  ※ECOモード時には、タッチセンサーのバックライト色の変化やバイブレータの振動はありません。

タッチセンサーを利用できる機能

■主な機能

- ●以下の機能はFOMA端末を閉じているときにはタッチセンサーで操作し、開いているときにはボタンで操作します。

機能	詳細説明	操作説明
カメラ	カメラ撮影（静止画、動画など）、バーコードリーダー／テキストリーダー（読み取り）	P.217
ワンセグ	ワンセグ視聴	P.240
ミュージックプレーヤー	番組、楽曲、動画、PC動画の再生	P.261
画像表示	マイピクチャ／クイックアルバム（フォトスライドショー）の画像表示	P.301
ビデオプレーヤー	ワンセグで録画したビデオの再生	P.313

- ●タッチセンサーでは、ズーム調節、音量調節、チャンネル変更などが行えます。

■いずれかのタッチセンサーに触れるだけで動作する機能

- ●メール受信／アラーム通知などがあったときは、音が止められます。

■FOMA端末を開いているときに動作する機能

- ●タッチセンサーが有効なときに、[∧][∨]で、触れた方向に画面単位でスクロール、[■]で、選択などの操作ができます。
  対象画面：サイト画面、フルブラウザ画面（縦画面表示）、トルカ表示画面（トルカ（詳細））、メール詳細画面、メッセージ詳細画面、スケジュール画面

クイックメニューから機能を起動する

タッチセンサーを使って、閉じたまま利用できる機能（クイックメニュー）を起動します。
- タッチセンサーで操作できない機能は、FOMA端末を開いてボタンで操作してください。

<例：静止画を撮影する場合>

を押してタッチセンサーを有効にし（P.40）、いずれかのタッチセンサーに触れる

クイックメニューが表示されます。

クイックメニュー

クイックメニュー	説明
ワンセグ	ワンセグ視聴画面を表示
フォトモード	フォトモード撮影画面を表示
フォトスライドショー	クイックアルバムの自動再生（フォトスライドショー）を開始
ムービーモード	ムービーモード撮影画面を表示
ボイスモード	録音開始画面を表示
MUSIC PLAYER	ミュージックプレーヤー再生画面を表示

■ クイックメニューを閉じる場合
▶

ワンポイント
クイックメニュー表示中に15秒以上ボタンを押さなかった場合、クイックメニューを終了して、待受画面に戻ります。

2 に触れて（フォトモード）を赤色アイコンにし、に触れる

前回終了したときの撮影条件でフォトモードが起動します。

3 ［撮影］を押す

シャッターが切られます。

■ ズームを変更する場合
▶または に触れる

■ ズーム以外の撮影条件を変更する場合
FOMA端末を開いて撮影条件を変更し、再び閉じます。

■ カメラ機能を終了する場合
▶

4 ［保存］に触れる（または を押す）

撮影した静止画が保存されます。

■「自動保存設定」（P.221）をONに設定すると
操作4の保存操作が必要なくなるので、素早い撮影が可能になります。

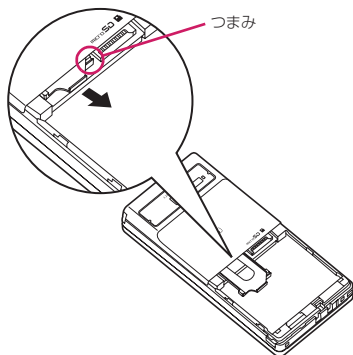
■ 保存しないで撮影し直す場合
▶［クリア］▶「YES」

■ 保存しないでカメラ機能を終了する場合
▶（1秒以上）▶「YES」

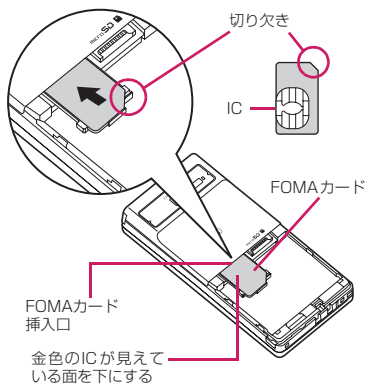
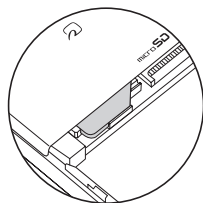
FOMAカードを使う

FOMAカードはお客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。
FOMAカードの付け外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください。→P.45
また、FOMA端末を閉じた状態で手で持ったまま行ってください。

● 取り付けかた／取り外しかた

1 トレーのつまみを引いてトレーを引き出す

2 FOMAカードのIC面を下にして、トレーにのせる

FOMAカードを取り外す場合は、トレーにのっているFOMAカードを取り外します。

3 トレーを奥まで差し込む

正しく取り付けられた状態

暗証番号

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。→P.116

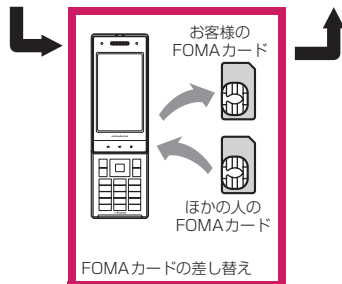
FOMAカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのFOMAカードセキュリティ機能（FOMAカード動作制限機能）が搭載されています。

- サイトなどからデータやファイルをダウンロードしたり、メールに添付されたデータなどを取得すると、それらのデータやファイルにはFOMAカードセキュリティ機能が自動的に設定されます。
- FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは、取得時と同じFOMAカードが挿入されているときのみ操作することができます。
- FOMAカードセキュリティ機能の対象となるデータやファイルは以下のとおりです。
  - ｉモードメールに添付されているファイル（トルカを除く）
  - 画面メモ
  - デコメール®や署名に挿入されている画像
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - 画像（アニメーション、Flash画像を含む）
  - メロディ
  - トルカ（詳細）の画像
  - お預かりセンターからダウンロードした画像
  - Music&Videoチャネルの番組
  - コンテンツ移行対応のデータ
  - ｉモーション
  - キャラ電
  - 着うた®※・着うたフル®
  - PDFデータ
  - きせかえツール
  - テレビ電話伝言メモ
  - 動作制限となるデータが含まれたメールテンプレート
  - マチキャラ
  - ダウンロード辞書
  - ファイル（メロディ／画像）が添付されているメッセージR／F
  - 電子書籍／電子コミック

  ※：「着うた」は株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- この後の説明では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「ほかの人のFOMAカード」として説明しています。

データをダウンロードしたり、メールを受信したときのFOMAカードが挿入されている場合は、FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータの閲覧や再生ができます。

データをダウンロードしたり、メールを受信したときとは別のFOMAカードが挿入されている場合は、FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータの閲覧や再生ができません。

おしらせ

- FOMAカードを取り付けていないときやほかの人のFOMAカードに差し替えると、FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは「 」が付いて表示され、「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定することができなくなります。
- FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは、ほかの人のFOMAカードを挿入した状態でも移動したり削除することはできます。
- FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定しているときに、FOMAカードを抜いたり、ほかの人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
- ほかの人のFOMAカードに差し替えると、お客様がダウンロードしたウィジェットアプリはｉウィジェット画面およびウィジェットアプリ一覧画面に表示されなくなります。

FOMAカード差し替え時の設定

FOMA端末に取り付けられているFOMAカードを、別のFOMAカードに差し替えた場合、以下の設定は差し替え前の設定から変更されます。

- 差し替えたFOMAカードの設定となる機能
  - バイリンガル
  - SMS center設定
  - SMS有効期間設定
  - PIN設定
  - アプリケーション通信設定の接続先選択
- お買い上げ時の設定に戻る機能
  - ｉチャネル設定
  - フルブラウザのアクセス設定
- 「無効」に設定される機能
  - フルブラウザのCookie設定
    （Cookieの情報は残ります）
- 差し替え前のFOMAカードの設定が無効となる機能
  - Music&Videoチャネルの番組設定
    （再度番組を設定してください）

FOMAカードの種類

FOMAカード（青色）は、FOMAカード（緑色／白色）とは次のように異なります。

機能	青色	緑色／白色
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可
WORLD WING	利用不可	利用可
サービスダイヤル	利用不可	利用可

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

なお、N-04AはドコモのBGローミングサービスエリアでのみご利用いただけます。GSMサービスエリアでご利用される場合は、GSM対応端末に差し替えることによりご利用いただけます。

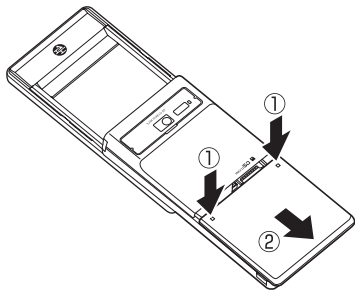
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 万が一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

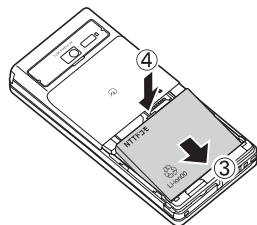
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

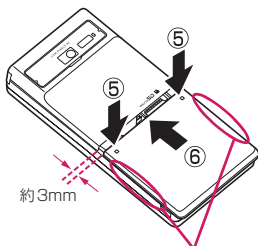
●電池パックの取り外しは、電源を切って、手に持ったまま行ってください。

● 取り付けかた

1 リアカバーを取り外す

リアカバーを取り外すときは、FOMA端末を開いた状態で行ってください。
リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、取り外します。

2 電池パックを取り付ける

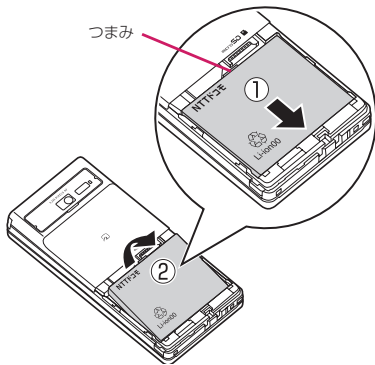
電池パックの製品名が書かれている面を上にして、電池パックとFOMA端末（本体）の金属端子が合うように③の方向に取り付けてから、④の方向へはめ込みます。

3 リアカバーを取り付ける

リアカバーを約3mm開けた状態でFOMA端末（本体）の溝に合わせ、⑤の方向へ押し付けながら⑥の方向へスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込みます。

リアカバーとFOMA端末（本体）にすきまがないことを確認してください。

● 取り外しかた

1 リアカバーを取り外す

2 電池パックを取り外す

電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げ、取り外します。

おしらせ

●リアカバーの先端部を本体に差し込んだ状態で、無理に押さえ込まないでください。リアカバーのツメが壊れることがあります。

充電する

FOMA端末専用の電池パック N16をご利用ください。

■電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

Li-ion00

環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

■充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02およびFOMA海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電は、電池パックをFOMA端末に付けた状態で行ってください。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。「照明設定」の「充電時」を「常時点灯」に設定しているときも充電時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- イルミネーションランプが点滅し、ディスプレイの「℃」が点滅しているときは、温度監視中により充電可能温度になるまで充電はできません。
- 高温環境下で充電中に、電話をかけたりパケット通信などを行ったときに、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。この場合、使用している機能があるときは終了し、FOMA端末の温度が下がるのを待ってから充電を行ってください。

■電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電時にFOMA端末の電源を入れたままで長時間置くと、充電が終わった後、FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度取り付け直してください。

■電池パックの充電時間の目安

FOMA端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間です。

ACアダプタ	約120分
DCアダプタ	約120分

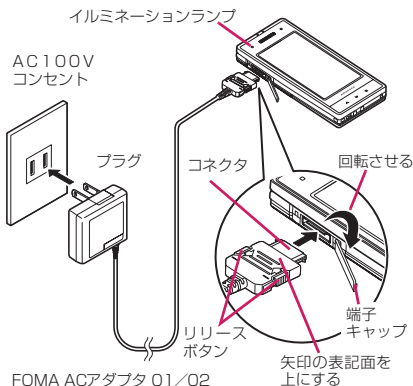
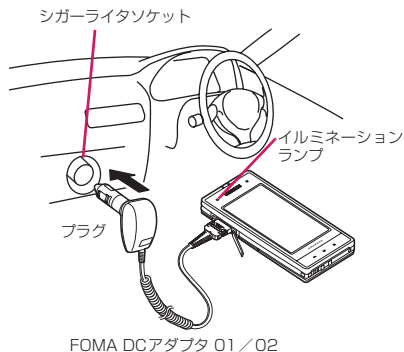
■電池の使用時間の目安（使用時間は、充電時間や電池パックの劣化度で異なります）

連続待受時間
[FOMA／3G] 静止時：約550時間 移動時：約410時間
連続通話時間
[FOMA／3G] 音声電話時：約200分 テレビ電話時：約100分
ワンセグ視聴時間
通常視聴：約200分 ワンセグECOモード：約300分

- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなることがあります。

- ｉモード通信やｉモードメールの作成、データ通信、マルチアクセスの実行、ｉアプリやｉアプリ待受画面の起動、カメラの使用、動画／ｉモーションや音楽の再生、ワンセグの視聴などによって、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 滞在国のネットワーク状況などにより、通話（通信）・待受時間が短くなることがあります。

ACアダプタ／DCアダプタで充電する

■ACアダプタ（別売）の場合

■DCアダプタ（別売）の場合

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開けて、回転させる

2 ACアダプタ／DCアダプタコネクタをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む

3 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む
DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットに差し込む

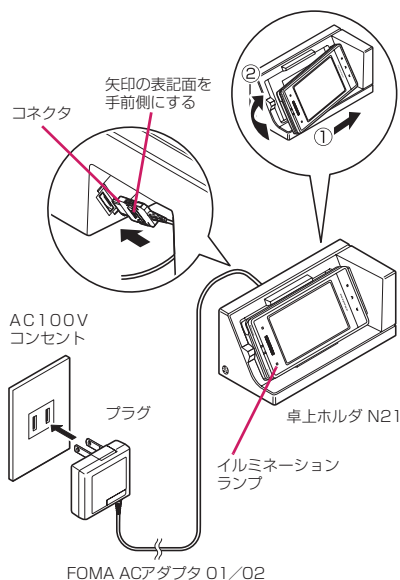
充電中はイルミネーションランプが赤色に点灯します。イルミネーションランプが消灯すれば充電は終了です（フル充電）。電源が入っている場合、充電中は「」が点滅し、充電が終了すると、「」が点灯します。

4 充電が終わったら、リリースボタンを押しながらACアダプタ／DCアダプタのコネクタをFOMA端末から水平に引き抜く

無理に引っ張ろうとすると故障の原因になります。

5 ACアダプタのプラグをコンセントから抜く
DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットから抜く

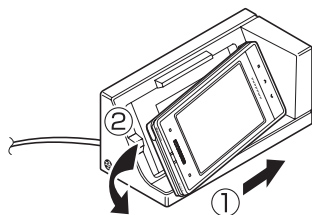
6 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

卓上ホルダで充電する

1 ACアダプタ（別売）のコネクタを卓上ホルダ（別売）背面の端子に差し込む

2 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む

3 卓上ホルダを押さえながら、図のようにFOMA端末を①の方向に押し付けながら、②の方向に取り付ける

充電がはじまります。

4 充電が終わったら、卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を①の方向に押し付けながら、②の方向へ持ち上げる

おしらせ

- 電池パック単体の充電はできません。必ずFOMA端末に電池パックを付けた状態で充電を行ってください。
- 電池が切れた状態などでは、充電をはじめてもイルミネーションランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電自体ははじまっています。

<ACアダプタ／DCアダプタ>

- FOMA端末（本体）のイルミネーションランプおよびディスプレイの「▯」が消灯し、「充電器異常　充電を中止してください」などと表示された場合は、FOMA端末からACアダプタまたはDCアダプタと電池パックを外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合は、ACアダプタやDCアダプタの異常や故障が考えられますので、ドコモショップなど窓口までご相談ください。
- DCアダプタのヒューズは、2Aを使っています。万が一、ヒューズ（2A）が切れた場合は、指定のヒューズを必ずお使いください。また、ヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店などでお買い求めください。

<卓上ホルダ>

- FOMA端末は卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、ストラップなどをはさまないようにご注意ください。
- 卓上ホルダは立てて使用しないでください。

電池残量の確認のしかた〈電池残量〉

残量の確認は目安としてご利用ください。

電池残量表示で確認する

FOMA端末の電源を入れると、電池残量を示すアイコンが表示されます。

：十分残っています。

：まだ大丈夫です。

：電池残量がほとんどありません。充電してください。

音と表示で確認する

電池残量を音と表示でお知らせします。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「その他設定」▶「電池残量」

確認画面が表示され、電池残量に合わせて音が鳴ります。約3秒後に電池残量の表示は消えます。

「ピッピッピッ」：十分残っています。
「ピッピッ」：まだ大丈夫です。
「ピッ」：電池残量がほとんどありません。充電してください。

電池が切れたときは？

電池切れアラームとともに右のような画面が点滅表示されます。電池切れアラームは約10秒間鳴り、約1分後に電源が切れます。電池切れアラームを止める場合はいずれかのボタンを押してください。

おしらせ

- 音声電話中は電池切れ画面と「ピッピッピッ」音、テレビ電話中は電池切れ画面（相手側には「カメラオフ Camera Off」というメッセージ）によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れますのでご注意ください。

電源を入れる／切る〈電源ON／OFF〉

電源を入れる

- 電源を入れる前にFOMAカードが正しく取り付けられていることを確認してください。

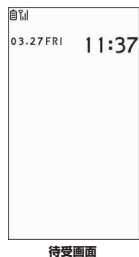
1 ［電源］（1秒以上）

ウェイクアップ音が鳴ると同時にウェイクアップ画面が表示された後、待受画面または初期設定画面が表示されます。電池パックを取り付けたときや、電源を切ってからすぐに電源を入れ直したときなどは、しばらくの間「WAIT A MINUTE」と画面に表示される場合があります。

■「圏外」の表示が出ている場合

サービスエリア外または電波が届かないところにいます。「」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。受信レベルは以下のように表示されます。

強 ⟷ 弱

待受画面

■ 初期設定画面が表示された場合→ P.50

■ PIN1コード、PIN2コード入力画面が表示された場合→P.116

■ Welcomeメール、エリアメール紹介メール

お買い上げ時は、「Welcome デコメアニメ」「緊急速報「エリアメール」のご案内」のメールが保存されています。→P.155

おしらせ

- 「画面表示設定」の「ウェイクアップ表示」の機能メニューでウェイクアップ音の「ON／OFF」を設定できます。
- FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れた後、4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。正しい端末暗証番号が入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます（ただし、再度電源を入れることは可能です）。
- 前回電池切れや自動電源OFFによって電源が切れた場合、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- 決められた時刻に自動的に電源が入るように、または切れるように設定することもできます。→P.352

電源を切る

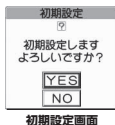
❶ [終話キー]（2秒以上）
終了画面「SEE YOU」が表示され、電源が切れます。

ご使用前の確認

初期設定を行う 〈初期設定〉

電源を入れた後に初期設定として「メイン時計設定」「端末暗証番号の変更」「文字サイズ」「ボタン確認音」を設定します。

❶ **初期設定画面▶「YES」**

初期設定画面

❷ **メイン時計を設定→P.50**

❸ **端末暗証番号を変更→P.117**
端末暗証番号はお買い上げ時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されています。

❹ **文字サイズを設定→P.108**

❺ **ボタン確認音を設定→P.95**

❻ **ソフトウェア更新に関する内容を確認したら「OK」**

おしらせ
- すべての機能を設定すると、以後電源を入れたときに初期設定の画面は表示されなくなります。

時計を設定する

メイン時計設定でFOMA端末の日付・時刻を設定します。サブ時計設定では、サブ時計の表示／非表示や、表示する場合の表示方法を設定します。
- FOMA端末には時刻情報（グリニッジ標準時GMT）とタイムゾーン情報（滞在中の地域）を取得し、時計を自動的に補正する機能があります。
- タイムゾーンは、グリニッジ標準時に対する時差が1時間ごとに設定されています。同じ時差で別の都市・地域名が登録されているときは、ファンクション表示に「変更」が表示され、[メールキー]で表示する都市・地域名を変更できます。

メイン時計を設定する 〈メイン時計設定〉

❶ **[MENU]▶「SETTINGS／SERVICE」▶「時計」▶「メイン時計設定」▶「自動時刻時差補正」**

■ サマータイムを設定する場合
▶「サマータイム」
「ON」に設定すると1時間加算して時刻を表示します。

❷ **以下の項目から選択**

自動……メイン時計の日付・時刻を自動的に補正するように設定します。

自動……取得した時刻情報とタイムゾーン情報に基づいて日付・時刻を自動的に補正します。国際ローミング中は、滞在先の時計が表示されます。

手動（タイムゾーン選択）……タイムゾーンを選択し、その地域の時計を表示します。

手動（時刻入力）……メイン時計の年月日と時刻を手動で設定します。タイムゾーンを選択し、年月日と時刻を入力します。
■年月日・時刻の入力
[方向キー]で反転表示を移動し、ダイヤルボタンで入力します。

おしらせ
- 日付・時刻を設定すると、「アラーム」や「スケジュール」など、日付・時刻を管理する機能が使えるようになります。
- 設定できる日付・時刻は、2004年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。

おしらせ

<自動時刻時差補正>

- FOMAカードを取り付けた状態で、電源をONにしたときに自動補正されます。
- 電源を入れてもしばらく補正されない場合は、電源を入れなおしてください。
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、電波状況によっては補正できない場合があります。
- 海外で利用中の通信事業者のネットワークによっては、時差補正が行われない場合があります。その場合は手動でタイムゾーンを指定してください。

サブ時計を設定する 〈サブ時計設定〉

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「時計」▶「サブ時計設定」▶「表示方法」

■ サマータイムを設定する場合

▶「サマータイム」

「ON」に設定すると1時間加算して時刻を表示します。

■ エリア名を表示するとき

▶「エリア名表示」

「表示する」に設定すると、サブ時計にエリア名が表示されます。

2 以下の項目から選択

自動（ローミング時自動表示）……国際ローミング中はサブ時計を自動で表示します。たとえば、メイン時計の時差補正を「自動」に設定していると、メイン時計は滞在先の時計に自動で切り替わりますが、このときサブ時計には日本の時計が表示されます。

常時表示（タイムゾーン選択）……タイムゾーンを選択し、その地域の時計をサブ時計に常時表示するように設定します。

OFF……サブ時計を表示しません。

おしらせ

- 「待受時計表示」の「表示サイズ」が「上に小さく表示」に設定されている場合は、サブ時計は表示されません。
- 本機能で「自動（ローミング時自動表示）」を設定すると、「メイン時計設定」のタイムゾーンが「GMT+09」以外の場合は、サブ時計に日本の時計が表示されます（「GMT+09」の場合、日本国内ではサブ時計は表示されません）。

相手に自分の電話番号を通知する 〈発信者番号通知〉

電話をかけたときにお客様の電話番号（発信者番号）を相手の電話機（ディスプレイ）へ表示させるように設定します。

- 電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。
- 「圏外」のときは操作できません。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「発信者番号通知」▶以下の項目から選択

発信者番号通知設定……発信者番号を通知するかしないかを設定します。

発信者番号通知設定確認

おしらせ

- 本機能は相手の電話機が発信者番号表示が可能なときだけ有効です。
- 番号通知お願いガイダンスが流れた場合は、電話番号を通知しておかけ直しください。
- 国際電話では、「186」／「184」を付けてダイヤルしても無効になる場合がありますので、機能メニューから「発信者番号通知」を選択してください。
- 「186」／「184」を付けて電話をかけたときは、リダイヤルや発信履歴に「186」／「184」を付けた電話番号で記憶されます。

自分の電話番号を確認する〈マイプロフィール〉

お客様のFOMAカードに登録されている電話番号（自局番号）を表示して確認します。

1 ▶

おしらせ

- 「マイプロフィール」に登録した情報は、サイトなどで所有者情報（名前、メールアドレスなど）を入力するとき、簡単に引用できます。→P.385
- ｉモードのメールアドレスは、「ｉモードメニュー」▶「ｉMenu」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「詳細な設定（メール設定）」▶「メール設定確認」の順に操作すると確認できます。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合、[]でマイプロフィール表示が切り替えられます。
- 2in1利用中にFOMAカードを入れ替える場合は、Bナンバーのマイプロフィールを初期化した後、FOMAカードを入れ替えてください。→P.363

電話／テレビ電話

■電話／テレビ電話のかけかた

■電話／テレビ電話の受けかた

■電話／テレビ電話に出られないとき、出られなかったとき

■テレビ電話の設定

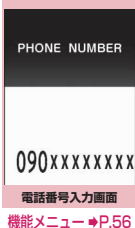
音声電話／テレビ電話をかける

※N-04Aには内側カメラがないため、テレビ電話で相手に送信する画像は代替画像（キャラ電）または外側カメラの映像になります。なお、代替画像（キャラ電）は「画像選択」でマイピクチャの画像などに変更することができます。→P.75

❶ 相手の電話番号をダイヤル

同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
電話番号は80桁まで入力できます。ただし、表示されるのは26桁までです。

電話番号入力画面

機能メニュー➡P.56

＜電話番号の入力を間違えたとき＞

■ 番号を挿入する場合
[方向キー]で挿入したい位置の1つ左の番号にカーソルを移動し、番号を入力します。

■ 番号を削除する場合
[方向キー]で削除したい番号にカーソルを合わせ、CLRを押します。
CLRを1秒以上押すと、カーソルのあたっている番号とその左側にあるすべての番号が削除されます。

■ 入力し直す場合
カーソルを番号の先頭か最後に合わせてCLRを1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

＜テレビ電話＞

■ 代替画像（キャラ電）を変更する場合
▶ch［機能］▶「テレビ電話画像選択」▶「キャラ電」▶キャラ電を選択

❷ [発信キー]（音声電話）、[メールキー]［テレビ電話］

＜音声電話＞

発信中は「[アイコン]」が点滅し、通話中は点灯します。

[通話中] 30秒
090xxxxxxxx

通話中画面

機能メニュー➡P.56

■「ツーツー」という話中音が聞こえる場合
相手が話し中です。しばらくたってからおかけ直しください。

■ 電話がかからないことを通知するガイダンスが聞こえる場合
相手の携帯電話の電源が入っていない、または相手が電波の届かない場所にいます。しばらくたってからおかけ直しください。

■ 電話番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえる場合
電話番号を通知しておかけ直しください。
→P.51、63

＜テレビ電話＞

テレビ電話発信中は「[アイコン]」が点滅し、通話中は点灯します。

テレビ電話中画面

機能メニュー➡P.56

■ テレビ電話がかからなかった場合→P.57

■ 代替画像とカメラ映像を切り替える場合
▶ch［機能］▶「代替画像切替」⇔「カメラ画像切替」

■ 親画面表示を切り替える場合
▶■（1秒以上）
「親画面表示切替」→P.56

■ 送信するカメラ映像を拡大する場合
▶[方向キー]でズームを調節
ズームについて→P.227

■ 送信する音声をミュート（消音）する場合
▶■［MUTE on］
「MUTE」が点滅します。
再度■［MUTE off］を押すと、ミュートが解除されます。

■ ハイパークリアボイスの設定を切り替える場合→P.59

■ 通話中に音声電話、テレビ電話を切り替える場合→P.57

■ 通話中の音声電話、テレビ電話を保留にする場合→P.70

■ FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話する（P.375）かを切り替える場合

▶［（1秒以上）

■ 2in1のモードがデュアルモードの場合

発信番号選択画面が表示されます。発信番号を選択してください。

3 通話が終了したら［

おしらせ

<音声電話>

- 通話中に15秒間ボタン操作が行われなかった場合、省電力モードに移ります。

<テレビ電話>

- FOMA端末から緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけたときは、自動的に音声電話での発信になります。
- テレビ電話中にメールやメッセージR／Fは受信できません（SMSは受信できます）。iモードセンターに保管されますので、テレビ電話終了後に「iモード問い合わせ」を行って受信してください。
- テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、デジタル通信料がかかります。
- 充電中に、カメラを使用してのテレビ電話利用とワンセグの録画が同時に行われた場合、FOMA端末の温度状態によっては、まれに、カメラオフになることを通知するメッセージが表示され、自動的にカメラオフへ切り替わることがあります。

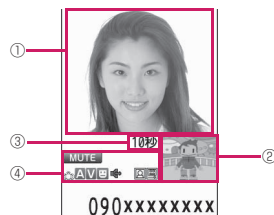
テレビ電話画面の見かた

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしでご利用いただけます。

- ドコモのテレビ電話は「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話対応端末とは接続できません。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2：3G-324M
第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

■テレビ電話画面

①親画面（お買い上げ時は相手側のカメラ映像を表示）
②子画面（お買い上げ時は自分側の代替画像（キャラ電）を表示）
③通話時間
④各種機能の設定内容

：ハイパークリアボイス（ふつう／強め）

：音声送受信中／送受信失敗

：映像送受信中／送受信失敗

：カメラ映像／代替画像／キャラ電送信中

：ハンズフリー ON／OFF

MUTE（点滅）：ミュート中（消音中）

：撮影モード（人物／風景／接写）

：キー操作モード（DTMFモード※1／全体アクションモード※2／パーツアクションモード※2）

※1：「DTMF送信／DTMF解除」→P.56
※2：「キャラ電を利用する」→P.74

機能 電話番号入力画面（P.54）

発信者番号通知→P.63

プレフィックス→P.64

着もじ→P.62

国際電話発信→P.65

マルチナンバー→P.401

電話帳登録→P.81

ｉモードメール作成※……電話番号を宛先に貼り付け、ｉモードメールを作成します。

テレビ電話画像選択……テレビ電話中に送信する代替画像を選択します。

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

機能 通話中画面（P.54）

通話機切替……FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話する（P.375）かを切り替えます。

直デン……直デン画面が表示されます。

電話帳……電話帳一覧画面が表示されます。

リダイヤル……リダイヤル一覧画面が表示されます。

着信履歴……着信履歴一覧画面が表示されます。

通話中音声メモ→P.363

機能 テレビ電話中画面（P.54）

代替画像切替⇔カメラ画像切替……代替画像とカメラ映像を切り替えます。

親画面表示切替……親画面の表示を切り替えます。
切り替えるたびに「親画面に相手側のカメラ映像を表示」→「親画面に自分側の画像を表示」→「相手側のカメラ映像のみを表示」→「自分側の画像のみを表示」の順で画面が切り替わります。

通話機切替……FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話する（P.375）かを切り替えます。

テレビ電話設定……テレビ電話の画面について設定します。

　送信画質設定……相手に送信する映像と相手から受信する映像を「標準、画質優先、動き優先」から選択します。
　通話中のみ設定が保持されます。

　明るさ調節※……カメラ映像の明るさを「－2～＋2」の5段階で調節します。

　ホワイトバランス設定※→P.220（撮影メニュー項目）

　色調切替※……カメラ映像の効果を「通常、セピア、白黒」から選択します。通話中のみ設定が保持されます。

　撮影モード選択※→P.220（撮影メニュー項目）

キャラ電設定……キャラ電を利用している場合は以下の設定ができます。カメラ映像のときは設定できません。

　キャラ電切替、アクション一覧、アクション切替→P.314（機能メニュー項目）

　静止画切替……相手側の画面に「代替画像選択」（P.75）で設定した画像を表示します。

照明設定……バックライトを常時点灯するか、「照明設定」の「通常時」の設定に従って点灯するかを設定します。

通話中音声メモ→P.363

自局番号……テレビ電話中にお客様の電話番号を表示します。

DTMF送信⇔DTMF解除……キャラ電中にプッシュ信号の送信モードを設定、解除します。
キャラ電以外のテレビ電話中は常にプッシュ信号モードになります。

音声電話切替→P.57

※：代替画像による通話の場合は利用できません。

● テレビ電話がかからなかった場合

テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由が表示されます。

- ●状況によっては接続できなかった理由が表示されない場合があります。
- ●接続する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	相手がお話し中の場合 • 相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。
パケット通信中です	相手がパケット通信中の場合
電波の届かない所にいるか電源が切れています	相手が圏外にいる、または電源が入っていない場合
転送致しますのでお待ち下さい	転送中の場合（転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応端末であればテレビ電話にかかります）
音声電話でおかけ直しください	転送先がテレビ電話非対応の場合
電話番号を通知しておかけ直しください	相手が番号通知お願いサービスを設定している場合
この電話番号へはおつなぎできません	相手が迷惑電話ストップサービスを設定している場合
上限額を超過しているため接続出来ません	リミット機能付料金プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超えている場合
接続できませんでした	発信者番号非通知で接続した場合（ビジュアルネットなどへの発信時） • 上記以外の場合にも表示されることがあります。 発信者番号非通知を「通知する」に設定の上、おかけ直しください。
ｉモードから接続してください	ｉモード公式サイトを閲覧しないでテレビ電話をかけてVライブを視聴しようとした場合

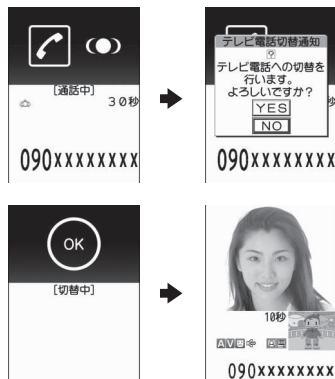
- ●テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合、「音声自動再発信」を「ON」に設定していると、自動的に音声電話に切り替えて発信します。ただし、ISDNの同期64Kのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2008年12月現在）にかけたときや間違い電話をしたときなどは、正しい動作にならないことがあります。また、通信料金が発生する場合もありますのでご注意ください。

通話中に音声電話／テレビ電話を切り替える

- ●音声電話⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。
- ●切り替え操作は、発信側からのみ行うことができます。
- ●切り替え操作を行うには、あらかじめ着信側が「テレビ電話切替機能通知」を通知するように設定しておく必要があります。→P.75

<例：音声電話からテレビ電話に切り替える場合>

1 通話中画面（P.54）▶■［テレビ電話］▶「YES」

切り替え中は、切り替え中であることを示す画面が表示され、音声ガイダンスが流れます。

この画面からデジタル通信料がかかります。

■ テレビ電話から音声電話に切り替える場合

▶テレビ電話中画面（P.54）▶ch［機能］▶「音声電話切替」

おしらせ

- 切り替えには、5秒程度の時間がかかります。なお、電波の状態などにより、切り替えるまでに時間がかかることがあります。
- 以下の場合は、通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えることができません。
  - 相手側が通話を保留にしているとき
  - 相手側が伝言メモを起動したとき
- 表示されている通話時間は、通話を切り替えるたびに0秒にリセットされます。ただし、通話終了後は音声電話とテレビ電話の合計時間が表示されます。
- 相手側の利用状態や電波の状態などにより、切り替えることができず、通話が切断されることがあります。
- 切り替え操作を行った場合でも、リダイヤル／発信履歴、着信履歴には、最初に発信または着信した電話の履歴が記憶されます。

<音声電話⇒テレビ電話切り替え時>

- 発信側がｉモード中の場合は、ｉモード接続を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中（ｉモード含む）の場合は、切り替えできません。
- 「キャッチホン」が動作しているときは、切り替えることができません。

通話中にハンズフリーを利用する 〈ハンズフリー〉

通話中の相手の音声をスピーカーから流して通話します。

1 通話中画面（P.54）▶✉［ハンズフリーOn］▶「YES」

ハンズフリー通話中は「ハンズフリー」が表示され、相手の音声がスピーカーから流れます 。

呼出中に✉［ハンズフリーOn⇔ハンズフリーOff］を押してハンズフリーを切り替えることもできます。

音声電話の場合

テレビ電話の場合

■ ハンズフリーを解除する場合

▶ハンズフリー通話中に✉［ハンズフリーOff］

音声電話の場合は「ハンズフリー」が消えます。テレビ電話の場合は「ハンズフリー」が「ハンズフリー」に変わります 。

● ハンズフリーを利用するときは

ハンズフリー通話では、FOMA端末から約30cm程度離して使用することを推奨します。これより離れたり近づき過ぎたりすると、相手側で聞き取り難い場合や、音声の聞こえ方が変わることがあります。

おしらせ

- ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してハンズフリーに切り替えてください。
- 通話が終了すると、ハンズフリーの設定は解除されます。

通話中の相手の声を明瞭にする〈ハイパークリアボイス〉

周囲の騒音を検知し、音声電話やテレビ電話の相手の声を聞きやすくします。

- ハンズフリーが「ON」の場合や、イヤホンマイク（別売）などの外部機器に接続している場合は、本機能は無効になります。

1 通話中画面（P.54）▶ [i] ［((●))) ⇒ ((●))Off ⇒ ((●))］

[i]を押すごとに「強め」→「OFF」→「ふつう」が切り替わります。

音声電話の場合

テレビ電話の場合

強め……周囲の騒音レベルに関係なく、静かな環境でも動作します。

ふつう……周囲の騒音レベルが高いときのみ動作します。

OFF……本機能は動作しません。

■ メインメニューから設定する場合

▶[MENU]▶「SETTINGS／SERVICE」▶「通話」▶「ハイパークリアボイス」▶「強め」「ふつう」または「OFF」

おしらせ

- 本機能によって音質や音量が変化しますので、お好みに応じて設定してください。
- 相手の声や、個人差によって効果が異なる場合があります。
- 本機能は本体マイクで検出した周囲騒音に応じて動作しますので、ご自身の声によっても動作することがあります。

リダイヤル／発信履歴／着信履歴を利用する〈リダイヤル／発信履歴／着信履歴〉

かけたり、かかってきた相手の電話番号や日付・時刻などの情報は、リダイヤル／発信履歴／着信履歴として記憶されます。これらを利用して相手に簡単に電話をかけられます。

- 同じ電話番号に繰り返し発信すると、リダイヤルには最新の1件が、発信履歴には別の1件として情報が記憶されます。
- リダイヤルは音声電話とテレビ電話の電話番号を30件まで記憶できます。
- 発信履歴／着信履歴は音声電話とテレビ電話の履歴を30件、パケット通信と64Kデータ通信の履歴を30件まで記憶できます。
- 履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

<例：リダイヤル、着信履歴の一覧画面から電話をかける場合>

1 待受画面表示中▶[→]（リダイヤル）、[←]（着信履歴）

■ 発信履歴を確認する場合

▶[MENU]▶「OWN DATA」▶「発信履歴」

例：リダイヤル画面（一覧）

機能メニュー➡P.60

2 リダイヤル、着信履歴を反転

■ リダイヤル、着信履歴の詳細を確認してから電話をかける場合

▶リダイヤル、着信履歴を選択

例：リダイヤル画面（詳細）

機能メニュー➡P.60

3 [✓]（音声電話）、[✉]［テレビ電話］

● 不在着信の件数を確認する

■ 着信履歴から不在着信だけを確認する場合

▶MENU▶「OWN DATA」▶「着信履歴」

全着信の件数、不在着信の件数、および不在着信のうち未確認の件数が表示されます。

「不在着信」を選択すると、不在着信のみ表示されます。

■表示されるリダイヤル／発信履歴／着信履歴のアイコンについて

アイコン※1	説明
電話／不在／不在	音声電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
INT'L電話／INT'L不在／INT'L不在	国際音声電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
電話／不在／不在	テレビ電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
INT'L電話／INT'L不在／INT'L不在	国際テレビ電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
B※2	2in1のBモードの発着信
伝言／伝言	音声伝言メモ／テレビ電話伝言メモに用件が録音／録画されているもの
（着もじアイコン）	着もじの付いた着信
パケット・パケット／不在／不在	パケット通信の発着信／不在着信／未確認不在着信
64k／不在／不在	64Kデータ通信の発着信／不在着信／未確認不在着信
接続ナシ	外部機器が接続されていないときに受けたパケット通信や64Kデータ通信の着信
GMT	「自動時刻時差補正」(P.50) の設定にかかわらず、タイムゾーンが「GMT+09」以外のときの発着信（サマータイムが設定されている場合は、サマータイムの設定を反映して表示）

※1：詳細表示画面と一覧表示画面では、一部見えかたが異なるものがあります。

※2：2in1のモードがデュアルモードの場合のみ表示されます。

おしらせ

- 2in1利用時にはそれぞれの電話番号ごとに30件まで記憶できます。また、デュアルモードに設定している場合は、両方のリダイヤル／発信履歴／着信履歴が30件ずつ、最大60件まで表示されます。

おしらせ

<リダイヤル／発信履歴>

- マルチナンバーを機能メニューから選択して発信した場合、リダイヤル画面（詳細）／発信履歴画面（詳細）の電話番号の下に、付加番号の登録名と番号が表示されます。機能メニューを利用せずに発信した場合は、「通常発信番号設定」を付加番号に設定していても、何も表示されません。

<着信履歴>

- 「呼出時間表示設定」の「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定しているとき、「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信を受けた場合は、着信履歴に表示されません。
- 相手がダイヤルインを利用している場合、ダイヤルイン番号とは異なった番号が表示されることがあります。
- 同じ電話番号を異なる名前で複数の電話帳に登録している場合、着信履歴には、電話帳のフリガナの検索順に従って電話帳の名前が表示されます。→P.83
- マルチナンバーの契約をしている場合、着信履歴画面から発信すると「通常発信番号設定」の設定にかかわらず、着信を受けた番号で発信します。
- マルチナンバーの付加番号に着信した場合、着信履歴画面（詳細）の電話番号の下に、付加番号の登録名が表示されます。

機能 リダイヤル画面／発信履歴画面／着信履歴画面（P.59）

発信者番号通知※1→P.63

プレフィックス※1→P.64

着もじ※1→P.62

国際電話発信※1→P.65

2in1／マルチナンバー※1……2in1設定がONでデュアルモードのときは「Aナンバー、Bナンバー、設定消去」(P.405) から選択します（Aモード、Bモードのときは利用できません）。
2in1設定がOFFのときはマルチナンバーの「基本契約番号、付加番号1、付加番号2、設定消去」(P.401) から選択します。

呼出時間表示※2※3……不在着信履歴が表示され、呼出時間が表示されます。

電話帳登録→P.82

電話帳参照……「リダイヤルや発信履歴などから電話帳を呼び出す」→P.84

デスクトップ貼付→P.109

ｉモードメール作成※4……電話番号を宛先に貼り付け、ｉモードメールを作成します。

SMS作成※4……電話番号を宛先に貼り付け、SMSを作成します。

居場所を確認……ｉモードサイトに接続し、電話番号からイマドコかんたんサーチを実行します。

送信アドレス一覧※5※6、**受信アドレス一覧**※2……それぞれの一覧画面を表示します。

テレビ電話画像選択……テレビ電話中に送信する代替画像を選択します。

拡大表示⇔標準表示※3……表示する名前の文字サイズを切り替えます。

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1：詳細表示画面でのみ利用できる機能です。
※2：着信履歴画面でのみ利用できる機能です。
※3：一覧表示画面でのみ利用できる機能です。
※4：2in1のモードをAモードまたはデュアルモードにし、Aモードの履歴を選択している場合のみ利用できる機能です。
※5：リダイヤル画面、発信履歴画面でのみ利用できる機能です。
※6：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

- リダイヤル画面／発信履歴画面から「全削除」を行うと、リダイヤルと発信履歴の両方がすべて削除されます。
- 2in1設定がONのときにリダイヤル画面／発信履歴画面／着信履歴画面から「全削除」を行うと、2in1のモードにかかわらず、Aモード・Bモードのすべてのリダイヤル／発信履歴／着信履歴が削除されます。

<ｉモードメール作成>

- 電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されている場合、登録されているメールアドレスを宛先としたメールを作成します。メールアドレスが複数登録されている場合は1番目のメールアドレスを宛先とします。

着もじを使う 〈着もじ〉

音声電話やテレビ電話をかける際、呼び出し中に相手側へメッセージ（着もじ）を送り、あらかじめ用件などを伝えます。

- お買い上げ時には5件登録されており、お買い上げ時に登録されている着もじの内容は変更できます。
- 着もじには絵文字や顔文字を含めることができ、絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで送れます。
- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

メッセージの登録／編集や設定をする

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「着もじ」▶以下の項目から選択**

メッセージ作成……よく使う着もじを登録または変更します。最大30件（お買い上げ時に登録されている5件を含む）まで登録できます。
▶登録または変更する項目を反転▶✉［編集］▶着もじを入力
■ メッセージを削除する場合
▶ch［機能］▶「削除」▶削除方法を選択

メッセージ表示設定……着もじが付いた着信があったときの着もじの表示条件を「すべて表示、電話帳登録番号のみ、番号通知ありのみ、表示しない」から選択します。

メッセージ3D表示……3Dアニメーションで表示するかしないかを設定します。

おしらせ

- お買い上げ時に登録されている着もじは削除できません。お買い上げ時に登録されている着もじを変更し、その着もじを削除しても、お買い上げ時の内容に戻ります。

メッセージを付けて電話をかける

「電話番号入力画面」や「電話帳」「リダイヤル／発信履歴／着信履歴」の詳細画面から音声電話やテレビ電話をかける際に、着もじを付けることができます。

<例：電話番号入力画面から着もじを付けて電話をかける場合>

1 電話番号入力画面（P.54）▶ch［機能］▶「着もじ」▶以下の項目から選択

メッセージ作成……着もじを入力します。10文字まで入力できます。

メッセージ選択……登録済みの着もじから選択します。
メッセージ選択画面で✉［編集］を押して、着もじの内容を編集することもできます。

送信メッセージ履歴……過去に送信した着もじから選択します。送信メッセージ履歴画面で✉［編集］を押して、着もじを編集することもできます。

■ 入力した着もじを消去（着もじなしで発信）する場合
▶ch［機能］▶「着もじ」▶「メッセージ作成」▶入力されている着もじをすべて消去

2 ✆（音声電話）、✉［テレビ電話］

着もじが相手側の端末に届いた場合、「送信しました」という送信結果が表示されます。

おしらせ

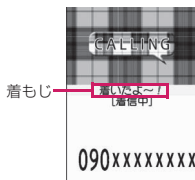
- 着もじの送信には送信料金がかかります。なお、受信側に料金はかかりません。
- 送信メッセージ履歴には送信した着もじを30件まで記憶できます（2in1利用時は、それぞれのモードでの送信メッセージ履歴を30件まで、デュアルモードの場合は、両方の送信メッセージ履歴を30件ずつ、最大60件まで記憶できます）。同じ着もじを繰り返し送信した場合、最新の1件だけが記憶されます。また、最大件数を超えた場合、古いものから順に上書きされます。

おしらせ

- 着信側が以下の場合などは、着もじを送信できません。このとき送信料金はかかりません。
  - 着もじ対応端末でない場合（「送信できませんでした」と表示されます）
  - 着信側の「メッセージ表示設定」により、発信側の着もじが着信側に表示されない場合（「送信できませんでした」と表示されます）
  - 公共モード（ドライブモード）設定中の場合
  - 伝言メモの呼出時間を0秒に設定している場合
  - 「圏外」または電源が入っていない場合
- 電波状態によっては、相手側の端末に着もじが届いていても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合、送信料金はかかります。
- 海外での利用時は、着もじを送受信することができません。

● メッセージが付いた音声電話やテレビ電話を受けると

着もじが着信中画面に表示されます。なお、通話を開始すると着もじは消えます。

- 着もじを受信すると、3Dアニメーションで表示されます。

例：音声電話

おしらせ

- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信であっても、着もじは表示され、着信履歴にも着もじは残ります。
- 絵文字によっては3Dアニメーションで表示されないものがあります。
- 着信側や発信側の状態によっては、着もじが付いた着信であっても、着もじが表示されない場合があります。
- 「着もじ」にオリジナルロックを設定していると、着もじが付いた着信があっても表示されません。この場合、ロック解除後に着信履歴で着もじの内容を確認できます。

● 着信履歴からメッセージを表示する

着もじを受信すると、着信履歴に「🖊」のアイコンが表示され、「着信履歴画面（詳細）」で着もじの内容を確認できます。

おしらせ

- 着信履歴を利用して電話をかけた場合でも、履歴に残されている着もじは送信されません。

電話をかけるときに通知／非通知を設定する

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けてダイヤルする

電話番号を通知する場合は相手の電話番号の前に「186」を、通知しない場合は「184」を付けてダイヤルします。

■電話番号を通知する場合

186－［相手先の電話番号］▶［✆］（音声電話）、［✉］［テレビ電話］

■電話番号を通知しない場合

184－［相手先の電話番号］▶［✆］（音声電話）、［✉］［テレビ電話］

機能メニューから通知／非通知を選択する

「電話番号入力画面」および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面の機能メニューから通知／非通知を選択します。

<例：電話番号入力画面から音声電話をかける場合>

1 相手の電話番号を入力

2 ［ch］［機能］▶「発信者番号通知」▶「通知しない」または「通知する」

■「発信者番号通知」を解除する場合

▶「設定消去」

「設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」で設定した内容になります。

3 ［✆］（音声電話）、［✉］［テレビ電話］

プッシュ信号を送る〈ポーズダイヤル〉

FOMA端末からプッシュ信号を送って、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録し、送信します。p（ポーズ）を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。

- 登録できるダイヤルデータは1件のみです。
- ダイヤルデータに登録できる文字は0～9、#、＊、p（ポーズ）です。
- p（ポーズ）をダイヤルデータの先頭に入力したり、連続して入力することはできません。

1 ［MENU］▶「SETTINGS／SERVICE」▶「発信」▶「ポーズダイヤル」

■ すでにダイヤルデータが登録されている場合

登録されているダイヤルデータが表示されます。

表示されているダイヤルデータをそのまま送る場合は操作3に進みます。

■ ダイヤルデータを削除する場合

▶［ch］［機能］▶「削除」

2 ［✉］［編集］▶ダイヤルデータを入力

［0］～［9］、［#］、［＊］を押してダイヤルデータを入力してください。

■ p（ポーズ）を入力する場合

▶［＊］（1秒以上）

3 ［■］［送信］▶送信先の電話番号をダイヤル

入力した電話番号に電話がかかり、呼出中になると最初のp（ポーズ）までのダイヤルデータが表示されます。p（ポーズ）は表示されません。

4 ［✆］

［✆］を押すたびに、p（ポーズ）までのダイヤルデータが送出されます。最後の番号を送り終えると通話中画面になります。

■ ダイヤルデータをまとめて送出する場合

▶［⧉］（1秒以上）▶「一括送出」

相手によっては一括送出できない場合があります。

おしらせ

- 受信側の機器によっては、プッシュ信号を受信できない場合があります。

プレフィックス機能を利用する

国際アクセス番号や発信者番号の通知／非通知（186／184）など、電話番号の先頭に付くプレフィックス番号をあらかじめ登録しておき、電話をかけるときに付加します。

プレフィックス番号を登録する〈プレフィックス設定〉

- プレフィックスは7件まで登録できます。
- 番号に登録できる文字は0～9、#、＊、＋です。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「発信」▶「プレフィックス設定」**

■ プレフィックスを削除する場合
▶ch［機能］▶削除方法を選択

2 **登録または変更する項目を反転▶✉［編集］**

3 **登録名を入力**

4 **番号（プレフィックス）を入力**

プレフィックス番号を付加して電話をかける〈プレフィックス〉

- プレフィックス番号を付加できるのは「電話番号入力画面」および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。

<例：電話番号入力画面でプレフィックス番号を付加して音声電話をかける場合>

1 **相手の電話番号を入力**

2 **ch［機能］▶「プレフィックス」▶登録名を選択▶📞**

国際電話を利用する〈WORLD CALL〉

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様はご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 国際電話をかけるには電話番号を直接ダイヤルしてかける方法以外に、「+」を利用してかけたり、「電話番号入力画面」および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面の機能メニューから「国際電話発信」や「プレフィックス」を選択してかけることができます。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。

WORLD CALLについてのご不明な点は、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧になりお問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、下記ダイヤル方法の後に✉［テレビ電話］で発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

電話番号をダイヤルして国際電話をかける

1 **010→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順にダイヤル**

地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。
009130→010→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順にダイヤルしてもかけられます。

2 **📞**

国際電話がかかります。

簡単な操作で国際電話をかける

●国番号や国際アクセス番号は「国際ダイヤルアシスト設定」で登録できます。

●「+」を利用して国際電話をかける

「+」が「自動変換機能設定」で設定した「国際アクセス番号」に置き換わり、国際アクセス番号をダイヤルすることなく、国際電話をかけることができます。

●お買い上げ時は「国際ダイヤルアシスト設定」の「自動変換機能設定」が「ON」(自動付加)に設定されているため、国際アクセス番号が自動的にダイヤルされます。

1 待受画面表示中に、+(0(1秒以上))→国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順にダイヤル

地域番号(市外局番)が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 ▶「発信」

国際電話がかかります。

■「+」を国際アクセス番号に変換しないでかける場合
▶「元の番号で発信」

■電話をかけるのをやめる場合
▶「中止」

●機能メニューから国際電話をかける

機能メニューから国番号や国際アクセス番号を付加し、国際電話をかけます。

●国際電話発信機能が利用できるのは「電話番号入力画面」および「電話帳/着信履歴/発信履歴/リダイヤル」の各詳細画面です。

<例:電話番号入力画面で国際電話発信機能を利用する場合>

1 相手の電話番号をダイヤル

2 ch[機能]▶「国際電話発信」▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択

選択した国番号と国際アクセス番号が付加されます。地域番号(市外局番)が「0」ではじまる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます(ただし、国番号で「イタリア」を選択した場合を除く)。

3

国際電話がかかります。

おしらせ

●通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴画面から電話をかけることはできません。

国際電話の設定をする
〈国際ダイヤルアシスト設定〉

国際電話を発信するときの「+」の自動変換の設定を変更したり、国番号、国際アクセス番号を編集、登録することができます。

1 MENU▶「SETTINGS/SERVICE」▶「発信」▶「国際ダイヤルアシスト設定」▶以下の項目から選択

自動変換機能設定……国際電話をかけるときの「+」の自動変換について設定します。
▶「ON」▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択
■自動変換しない場合
▶「OFF」

国番号設定……国際電話をかけるときに使用する国名と国番号を最大22件登録できます。国番号についてはドコモのホームページをご覧ください。
▶項目を反転▶✉[編集]▶国名称を入力▶国番号を入力
■国番号を削除する場合
▶ch[機能]▶「削除」▶削除方法を選択

国際プレフィックス設定……国際電話をかけるときに使用する国際アクセス名と国際アクセス番号を登録します。3件まで登録できます。
▶登録または変更する項目を反転▶✉[編集]▶国際アクセス名を入力▶国際アクセス番号を入力
■国際プレフィックスを削除する場合
▶ch[機能]▶削除方法を選択

サブアドレスを指定して電話をかける 〈サブアドレス設定〉

電話番号に含まれる「＊」を区切り文字とし、「＊」以降をサブアドレスとして認識するかしないか（ON、OFF）を設定します。

- サブアドレスはISDNで特定の通信機器へ指定着信するときや「Vライブ」でコンテンツを選択するときなどに利用します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「発信」▶「サブアドレス設定」▶「ON」または「OFF」

おしらせ

- 以下のような場合、「＊」はサブアドレスの区切り文字にはなりません。「＊」も含めて普通の電話番号として認識されます。
  - 電話番号の先頭に「＊」がある場合
  - 電話番号の先頭に「186／184」があり、その直後に「＊」がある場合
  - 「プレフィックス」で入力した番号の直後に「＊」がある場合
  - 電話番号内に「＊590#／＊591#／＊592#」がある場合

再接続するときのアラームを設定する 〈再接続機能〉

FOMA端末は音声通話中やテレビ電話中に電波の状態が悪くなって通話が途切れても、すぐに電波の状態がよくなった場合には自動的に通話を再接続します。本機能では通話を再接続しているときのアラームの鳴りかたを設定します。

- ご利用状態や電波の状態により、再接続が可能な時間は異なります。約10秒間が目安です。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「通話」▶「再接続機能」▶アラーム音を選択

「アラームなし、アラーム高音、アラーム低音」から選択します。

おしらせ

- 再接続されるまでの間（最長約10秒間）も通話料金がかかります。

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする 〈ノイズキャンセラ〉

周囲の騒音を抑え、音声通話やテレビ電話の声を相手に聞きやすくします。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「通話」▶「ノイズキャンセラ」▶「ON」または「OFF」

車の中で手を使わずに話す 〈車載ハンズフリー〉

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01をご利用時には、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

おしらせ

- ハンズフリー対応機器から操作する場合は、USBモード設定を「通信モード」にしてください。
- 着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を「消去」に設定中でも、ハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作は、「公共モード（ドライブモード）」の設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ」の設定に従います。
- FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を閉じたときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。

音声電話／テレビ電話を受ける

※N-04Aには内側カメラがないため、テレビ電話で相手に送信する画像は代替画像（キャラ電）または外側カメラの映像になります。なお、代替画像（キャラ電）は「画像選択」でマイピクチャの画像などに変更することができます。→P.75

- 「スライドアクション設定」（P.351）の「着信応答」を「ON」にすると、FOMA端末を開いたときに通話状態になり、すぐに電話に出られます。
- FOMA端末を閉じたまま通話することはできません。

1 音声電話、テレビ電話を着信する

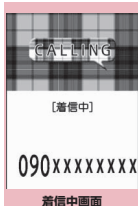
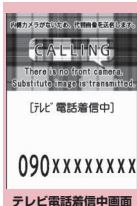
着信音が鳴り、イルミネーションランプが点滅します。

■ 着もじが付いた着信の場合

着信中画面、テレビ電話着信中画面に着もじが表示されます。→P.62

着信中画面

機能メニュー➡P.67

テレビ電話着信中画面

機能メニュー➡P.67

■ 着信中に音声電話／テレビ電話を応答保留にする場合→P.70

2 [通話キー]

■ テレビ電話中の操作について

テレビ電話では、代替画像とカメラ映像を切り替えたり、送信する音声をミュート（消音）するなど、テレビ電話中にさまざまな操作が行えます。→P.54

■ ハイパークリアボイスの設定を切り替える場合→P.59

■ 通話中に相手が音声電話／テレビ電話の通話を切り替えた場合→P.68

■ 通話中の音声電話／テレビ電話を保留にする場合→P.70

■ FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話する（P.375）かを切り替える場合

▶[通話キー]（1秒以上）

3 通話が終了したら [終話キー]

着信中の表示

■相手の電話番号が通知されたとき

相手の電話番号が画面に表示されます。電話帳に登録されている相手からの着信の場合、電話帳に登録した名前が画面に表示されます（「端末暗証番号有無」を「あり」に設定したキー操作ロック中は名前のみ表示されます）。→P.80

- 同じ電話番号を異なる名前で複数の電話帳に登録していると、電話帳のフリガナの検索順による最初の名前が表示されます。→P.83
- シークレットデータとして登録されている場合は名前などは表示されず、電話番号のみ表示されます。
- マルチナンバーの付加番号に着信した場合は、着信中画面に付加番号の登録名が表示されます。

■相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者の非通知理由が表示されます。

機能 着信中画面／テレビ電話着信中画面（P.67）

着信拒否……電話を受けないで着信をそのまま切ります。

転送でんわ……「転送でんわサービス」の「開始、停止」にかかわらず転送先に接続します。

留守番電話……「留守番電話サービス」の「開始、停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターへ接続します。

表示切替……付加番号1または付加番号2から転送元番号に表示を切り替えます。マルチナンバー（付加番号1または付加番号2）着信で、かつ転送でんわ着信のときに選択できます。

おしらせ

- イヤホンマイク（別売）を使って電話を受けることができます。→P.369
- キャッチホン、留守番電話サービス、転送でんわサービスのいずれかをご契約されていれば、「通話中着信設定」を有効にし、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が鳴ります。
  - 留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合、現在の通話を終了して着信に応答することができます。
  - キャッチホンをご契約の場合、音声電話は、現在の通話を保留にして着信に応答することができ、テレビ電話は現在の通話を終了して着信に応答することができます。

次ページにつづく

おしらせ

- 電話帳に登録されていない相手からの動作を設定することができます。→P.131
- 電話帳に登録されている電話番号ごとに着信を制限することができます。→P.129

<テレビ電話>

- カメラ映像から代替画像（キャラ電）に切り替える場合、キャラ電によっては切り替えに数秒程度の時間がかかることがあります。

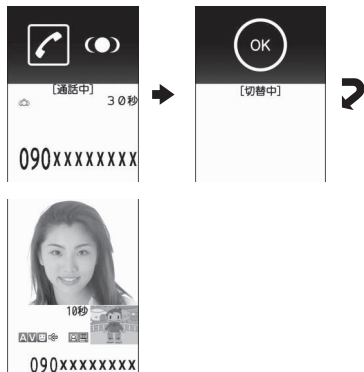
相手が音声電話／テレビ電話を切り替えたとき

相手からかかってきた音声通話中／テレビ電話中に、相手が操作を行うことにより音声電話とテレビ電話が切り替わります。

- 着信側からは切り替え操作を行うことができません。
- 切り替え操作を行うには、あらかじめ着信側が「テレビ電話切替機能通知」を通知するように設定しておく必要があります。→P.75
- 音声電話⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。

<例：相手が音声電話からテレビ電話に切り替えた場合>

1 通話中画面（P.54）▶相手がテレビ電話切り替えを行う

切り替え中は、切り替え中であることを示す画面が表示され、音声ガイダンスが流れます。
テレビ電話に切り替わると、代替画像が相手側に送信されます。

■ テレビ電話から音声電話に切り替えた場合

▶テレビ電話中画面（P.54）▶相手が音声電話切り替えを行う
音声電話に切り替わります。

ダイヤルボタンを押して電話に出る 〈着信アンサー設定〉

電話がかかってきたとき、すぐに着信音を止めたり、電話に出られるように設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「着信」▶「着信アンサー設定」▶以下の項目から選択

エニーキーアンサー……音声電話に対して有効な機能で、以下のボタンで通話を開始できます。
［通話］、■［通話］、0～9、＊、CLR、［メール］、［i］、［方向キー］
※テレビ電話の場合、通常のボタン操作（［通話］、■［代替画像］）でのみ通話を開始できます。

クイックサイレント……以下のボタンを押すかFOMA端末を開くと、相手には呼び出し音を鳴らしたまま、着信音を止めることができます。
0～9、＊、CLR、［方向キー］、［i］または［メール］（音声電話のみ）
電話に出るときは、［通話］、■［通話／代替画像］を押します。

OFF……通常のボタンでのみ通話を開始できます。
［通話］、■［通話／代替画像］

おしらせ

- 「クイックサイレント」に設定していても、スライドアクション設定で「着信応答」を「ON」に設定していると、FOMA端末を開いたときに通話を開始します。
- 「クイックサイレント」に設定していても、マナーモード設定中は「エニーキーアンサー」として機能します。
- 「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」に設定中でも、5（ECOモードのON／OFF）や8（プライバシーアングルのON／OFF）を1秒以上押すと、「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」は動作しません。

FOMA端末を閉じて通話を終了／保留する 〈クローズ動作設定〉

音声通話中やテレビ電話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定します。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「スライド設定」▶「クローズ動作設定」▶以下の項目から選択**

ミュート……音声をミュート（消音）します。保留音は流れません。

保留……通話を保留（通話中保留）にします。閉じている間、相手に保留音が流れます。テレビ電話の場合、相手側に通話中保留画像が送信されます。

スピーカー鳴動する……相手に保留音が流れ、スピーカーからも保留音が流れます。

スピーカー鳴動しない……相手にのみ保留音が流れます。

終話……通話を終了します。終話キーを押す操作と同じです。

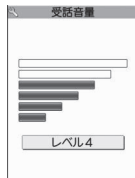
おしらせ

- マナーモード設定中は「スピーカー鳴動する」を選択していてもスピーカーから音は鳴りません。
- イヤホンマイク（別売）を接続している場合、本機能は無効になります。
- 「保留」に設定していても、「キャッチホン」で切り替え通話しているときにFOMA端末を閉じると「ミュート」の動作になります。

相手の声の音量を調節する 〈受話音量〉

1 **待受画面表示中▶(1秒以上)▶で音量を調節**

（1秒以上）で受話音量画面が表示されます。受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、受話音量調節を終了します。

「レベル1」（最小）～「レベル6」（最大）の6段階で調節します。

■ **通話中に調節する場合**

▶

おしらせ

- 通話中に調節した音量は、通話が終わっても設定は保持されます。

着信音の音量を調節する 〈着信音量〉

電話がかかってきたときや、メールやチャットメール、メッセージR／F、iコンシェルのインフォメーションを受信したときの着信音の大きさをそれぞれ6段階で調節します。また、着信音を消したり、次第に音量を大きくすることもできます。

- 鳴りはじめのスピーカー音量を制限することもできます。→P.96

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「着信」▶「着信音量」▶音量を調節する項目を選択**

「電話」を選択すると、音声電話、64Kデータ通信などの着信音量が調節されます。

「メール」を選択すると、iモードメール、エリアメール、SMS、パケット通信の着信音量が調節されます。

2 **で音量を調節▶■［確定］**

■ **次第に音量を大きくする場合**

▶「レベル6」のときに

「ステップ」に設定すると、3秒ごとに着信音量が大きくなります。

■ **着信音を消す場合**

▶「レベル1」のときに

電話／テレビ電話

おしらせ

- 本機能で設定した「電話」の着信音量は、音声電話の「着信音選択」「スケジュール」や「To Do リスト」のアラーム音などに反映されます。
- 通話終了直後などは、着信音は小さな音量で鳴り、「着信音量」で設定した音量まで徐々に大きくなります。

着信中や通話中の電話を保留にする 〈応答保留／通話中保留〉

<例：着信中の電話を保留にする場合>

1 着信中▶[終話]

「ピッピッピッ」という音が鳴り、応答保留の状態になります。
相手には現在応答できないとのガイダンスが流れ、電話がつながった状態のまま保留されます。

■ **通話中の電話を保留にする場合**
▶通話中▶CLR

■ **応答保留中／通話保留中に電話を切る場合**
▶[終話]

2 電話に出られるようになったら[通話]

■ **通話保留中の場合**
▶[通話]またはCLR▶「YES」

おしらせ

- 応答保留中や通話保留中でも、通話料金がかかります。

保留音を設定する 〈保留音設定〉

応答保留中に、相手に流れるガイダンスを設定します。

- 通話中の保留音を変更することはできません。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「通話」▶「保留音設定」▶「応答保留音」▶保留音を選択

「応答保留音1、応答保留音2、おしゃべり1※、おしゃべり2※」から選択します。
※：おしゃべりが録音されていないときは利用できません。

公共モードを利用する

公共モード（ドライブモード／電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。

- 公共モードと各ネットワークサービスを同時に設定している場合、留守番電話サービス※1、転送でんわサービス※1、番号通知お願いサービス※2は、公共モードに優先して動作します。
  ※1：呼出時間が「0秒」以外での音声電話に対しては、公共モードのガイダンスの後にサービスが動作します。
  ※2：相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。
- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モードは動作しません。

公共モード（ドライブモード）を利用する 〈公共モード（ドライブモード）〉

公共モードに設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れて通話を終了します。

- 公共モードの設定／解除は、待受画面表示中のみできます（「圏外」のときも可能です）。
- 公共モードを設定中でも電話をかけることができます。
- 本機能は、データ通信中はご利用できません。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます（公共モードのガイダンスは流れません）。

1 待受画面表示中▶[＊]（1秒以上）

公共モードに設定され、「[ドライブモードアイコン]」が表示されます。
電話をかけてきた相手に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ **公共モード（ドライブモード）を解除する場合**
▶待受画面表示中▶[＊]（1秒以上）
公共モードが解除され、「[ドライブモードアイコン]」の表示が消えます。

おしらせ

- 「伝言メモ」を「ON」に設定していても公共モードが優先されます。
- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

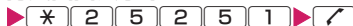
おしらせ

- 公共モード設定中に緊急通報番号（110番、119番、118番）へ音声電話をかけると、公共モードが解除されます。
- 公共モード設定中には、以下の音が鳴りません。
  - 音声電話／テレビ電話着信音
  - メール、メッセージなどの着信音
  - 各種アラーム音
  - ウェイクアップ音
  - スライド音
  - 充電確認音
  - ｉアプリのソフトの鳴動
  - パケット通信／64Kデータ通信着信音

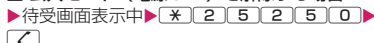
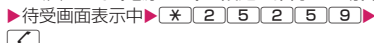
● 公共モード（ドライブモード）を設定すると

FOMA端末に音声電話、テレビ電話の着信があっても着信音は鳴りません。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

- 音声電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ通話を終了します。
- テレビ電話をかけてきた相手には、公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
- メールを受信したときには着信音は鳴らずに「新着メールあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

おしらせ

- 公共モード設定中でも、電源が入っていない場合や「圏外」の場合は、公共モードの通知はされずに「圏外」のときと同じガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を利用する
〈公共モード（電源OFF）〉

公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 待受画面表示中
▶[＊][2][5][2][5][1]▶[発信]

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。

公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 公共モード（電源OFF）を解除する場合
▶待受画面表示中▶[＊][2][5][2][5][0]▶[発信]

■ 公共モード(電源OFF)の設定を確認する場合
▶待受画面表示中▶[＊][2][5][2][5][9]▶[発信]

● 公共モード（電源OFF）を設定すると

「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

- 音声電話をかけてきた相手には、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。
- テレビ電話をかけてきた相手には、公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。

かかってきた電話に出られなかったとき 〈不在着信〉

かかってきた電話に出られなかったとき、待受画面に [不在] が表示されます。[不在] を選択すると、着信日時や発信者の名前などを確認できます。
- 「スライドアクション設定」（P.351）の「不在着信履歴閲覧」を「ON」にすると、FOMA端末を開いたときにすぐに電話の相手を確認できます。

1 待受画面表示中▶[■]▶「[不在]」を選択
「不在着信履歴一覧画面」が表示されます。

● イルミネーションランプの点滅について

不在着信や新着メール、新着チャットメールなどがあるとイルミネーションランプが、それぞれの設定色に従って点滅し続けます。
- 電話／テレビ電話：「電話」の設定色
- 新着メール：「メール」の設定色
- 新着チャットメール：「チャットメール」の設定色

■点滅色・点滅条件について
- 「着信イルミネーション」の不在お知らせを「OFF」に設定すると、点滅しません。
- 「着信イルミネーション」でグラデーションを設定している場合は、お買い上げ時の設定色で点滅します。
- 電話帳に、個別の着信イルミネーションを設定できます。→P.86
- 公共モード（ドライブモード）中は点滅しません。

■消灯するときは
- ディスプレイに表示されている「不在着信あり」「新着メールあり」「新着チャットメールあり」のアイコンを選択して内容を確認するか、CLR（1秒以上）を押します。

電話に出られないときに用件を録音／録画する 〈伝言メモ〉

音声電話やテレビ電話に出られないときに、かけてきた相手の用件をお客様に代わってFOMA端末に録音／録画します。
- 1件につき最大20秒で、音声電話は5件、テレビ電話は2件まで録音／録画できます。

伝言メモを設定する

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「着信」▶「伝言メモ」▶以下の項目から選択

ON……応答メッセージの種類を「標準、プライベート、英語、おしゃべり1※、おしゃべり2※」から選択し、伝言メモを設定します。

OFF……伝言メモの設定を解除します。

※：おしゃべりが録音されていないときは利用できません。

2 呼出時間（000～120秒の3桁）を入力
伝言メモが設定され、待受画面に「[アイコン]」と「[アイコン]」が表示されます。

おしらせ
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定しているときに伝言メモを優先させるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも伝言メモの呼出時間を短く設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で設定した無音時間が伝言メモの呼出時間よりも長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。
- 「個別着信音／画像」で電話番号ごと、「グループ着信音／画像」でグループごとに応答メッセージを設定することもできます。

伝言メモを「ON」に設定中に電話がかかってくると

設定した時間を経過すると伝言メモが起動します。

- 音声電話をかけてきた相手には、応答メッセージが流れ録音を開始します。
- テレビ電話をかけてきた相手には、「伝言メモ準備中 Preparing」画像を送信し応答メッセージを再生、「伝言メモ録画中 Recording」画像を送信し録画を開始します。

■伝言メモの録音／録画がはじまると

- 録音／録画中の画面が表示されます。録音中はFOMA端末を開いていると受話口から相手の声が聞こえます。

■録音／録画中に音声電話、テレビ電話に出る場合

▶[通話]

例：音声電話

■伝言メモの録音／録画が終了すると

- 元の画面に戻り、待受画面には「不在着信あり」と「伝言メモあり」または「テレビ電話伝言メモあり」のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンを選択すると、それぞれの内容を確認できます。→P.73

- ディスプレイ上部のアイコン表示エリアには、それぞれの録音／録画件数を示すアイコンが表示されます。

  [アイコン]～[アイコン]：音声電話伝言メモあり（数字は件数）

  [アイコン]／[アイコン]：テレビ電話伝言メモあり（数字は件数）

  ※自動音声メモがONの場合は、以下のようなアイコンが表示され、件数は表示されません。

  [アイコン]：音声電話伝言メモあり

  [アイコン]：音声電話伝言メモ・自動音声メモともにあり

おしらせ

- 伝言メモの録音／録画中はほかの電話がかかってきても受けることができません。
- マナーモードを設定している場合、録音中の相手の声は聞こえません。

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する 〈クイック伝言メモ〉

伝言メモを「ON」に設定していなくても、着信中にボタン１つで用件を録音／録画します。

1 着信中▶[メモ]

伝言メモの録音／録画が開始されます。

■ 伝言メモの録音／録画開始と同時にマナーモードに設定する場合

▶着信中▶[#]

おしらせ

- この操作で「伝言メモ」を「ON」に設定することはできません。
- 録音／録画件数がいっぱいのときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、伝言メモは起動せず着信し続けます（[#]を押したときは、「マナーモード選択」で設定された動作条件で着信し続けます）。

伝言メモや音声メモを再生／消去する

伝言メモ、テレビ電話伝言メモ、音声メモ、自動音声メモを再生／消去します。

- 未再生の伝言メモがある場合は待受画面に「[アイコン]」（伝言メモあり）または「[アイコン]」（テレビ電話伝言メモあり）が表示されます。

＜例：未再生の伝言メモを確認する場合＞

1 待受画面表示中▶[■]▶「[アイコン]」（伝言メモあり）または「[アイコン]」（テレビ電話伝言メモあり）を選択

録音／録画されている項目に「★」が付きます。

音声メモの再生／消去画面

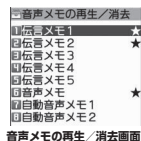
■ メニュー操作で再生する場合

▶[MENU]▶「LIFEKIT」▶「音声メモの再生／消去」または「動画メモの再生／消去」

■ 伝言メモや音声メモを消去する場合

▶[ch]［機能］▶消去方法を選択

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合

▶[ch]［機能］▶「デスクトップ貼付」

② 再生する項目を選択

<伝言メモ／音声メモ／自動音声メモ>
「ピッ」という音が鳴って再生がはじまります。再生が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモの再生／消去画面」に戻ります。

■ 再生中に次のメモを再生する場合
▶[i]
[i]を押すごとに、伝言メモ→音声メモ→自動音声メモの順に新しいものから再生されます。

■ 停止する場合
▶[■]［停止］または[CLR]
「音声メモの再生／消去画面」に戻ります。

<テレビ電話伝言メモ>
再生がはじまります。再生が終了すると、「動画メモの再生／消去画面」に戻ります。

■ 再生中に別のメモを再生する場合
▶[◁▷]

■ 再生中に音量を調節する場合
▶[△▽]

■ 再生中にスピーカーのON／OFFを切り替える場合
▶[ch]［機能］▶「スピーカーON」または「スピーカーOFF」

■ 再生を一時停止する場合
▶[■]［停止］
再生を再開するときは[■]［再生］

■ 停止する場合
▶[CLR]
「動画メモの再生／消去画面」に戻ります。

■ 再生中に表示されている電話番号に音声電話、テレビ電話を発信する場合
▶[✓]（音声電話）、[✉]［テレビ電話］

■ 再生中のメモを消去する場合
▶[ch]［機能］▶「消去」▶「YES」

おしらせ

- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、利用していない電話番号で録音した伝言メモには「★」が表示されません。「デュアルモード」に設定している場合は両方で録音した伝言メモに「★」が表示されます。

キャラ電を利用する

テレビ電話でカメラ映像の代わりにキャラクタを送信します。「キャラ電」→P.313

- 「画像選択」の「代替画像選択」から「キャラ電」を設定しておくと、お気に入りのキャラ電を表示できます。
  また、「電話帳」や「個別着信音／画像」にキャラ電を設定しておいてもキャラ電を利用できます。

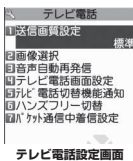
① テレビ電話で代替画像（キャラ電）を送信中▶ダイヤルボタンを押してキャラ電を操作する

ダイヤルボタンを押すと、そのボタンに割り当てられているアクションを行います。
「キャラ電を表示して操作する」→P.313

キャラ電

テレビ電話に関する機能について設定する

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「テレビ電話」

テレビ電話
1 送信画質設定 標準
2 画像選択
3 音声自動再発信
4 テレビ電話画面設定
5 テレビ電話切替機能通知
6 ハンズフリー切替
7 パケット通信中着信設定

テレビ電話設定画面

2 以下の項目から選択

送信画質設定……テレビ電話中の画質を「標準、画質優先、動き優先」から選択します。

画像選択→P.75

音声自動再発信……テレビ電話に接続できなかった場合、音声電話に切り替えて電話をかけるかどうか（ON、OFF）を設定します。

テレビ電話画面設定

親画面表示……親画面に表示される映像を「親画面相手画像表示、親画面自画像表示」から選択します。

テレビ電話切替機能通知→P.75

ハンズフリー切替……テレビ電話での通話開始時に、自動的にハンズフリーに切り替えるかどうか（ON、OFF）を設定します。

パケット通信中着信設定→P.76

テレビ電話中に送信する画像を設定する 〈画像選択〉

●設定できる画像は、ファイルサイズが100Kバイト以下で、横854×縦854ドット以下のJPEG画像、横854×縦480、横480×縦854ドット以下のGIF画像です（ただし、ファイル制限が設定されている画像は除く）。

1 テレビ電話設定画面（P.75）▶「画像選択」▶以下の項目から選択

応答保留選択、通話保留選択（通話中保留）、**代替画像選択、伝言メモ選択**（伝言メモ録画中）、**伝言メモ準備選択**（応答メッセージ再生中）、**音声メモ選択**（音声メモ録音中）

2 送信する画像を選択

内蔵……メッセージのみを送信します。

自作……画像とメッセージを送信します。

キャラ電※……「代替画像設定」（P.314）で設定されているキャラ電を送信します。
キャラ電の優先順位→P.82

※：「代替画像選択」を選択したときのみ利用できます。

■ 自作画像／キャラ電を変更する場合
▶ch［機能］▶「設定内容変更」

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する 〈テレビ電話切替機能通知〉

自分のFOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを、相手側のFOMA端末に通知するかしないかを設定します。

●「切替機能通知停止」に設定すると、切り替えることができなくなります。
●通話中または「圏外」のときは、本機能の設定を行うことはできません。

1 テレビ電話設定画面（P.75）▶「テレビ電話切替機能通知」▶以下の項目から選択

切替機能通知開始、切替機能通知停止、切替機能通知設定確認

ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する

〈パケット通信中着信設定〉

●テレビ電話はマルチアクセスを使用できないため、ｉモード通信中やメールの送受信中のテレビ電話の着信に対しては、本機能の設定に従って動作します。→P.445

1 テレビ電話設定画面（P.75）▶「パケット通信中着信設定」▶以下の項目から選択

テレビ電話優先……テレビ電話の着信中画面に移ります。テレビ電話の着信に応答するとｉモード通信が切断されます。

パケット通信優先……テレビ電話の着信を拒否します。

留守番電話……留守番電話サービスをご契約されている場合、「留守番電話サービス」の「開始、停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターに接続します。ご契約されていない場合は、「パケット通信優先」の動作になります。

転送でんわ……転送でんわサービスをご契約されている場合、「転送でんわサービス」の「開始、停止」にかかわらず転送先に接続します。転送先を設定していないときやご契約されていない場合は、「パケット通信優先」の動作になります。

おしらせ

<送信画質設定>

●テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、「送信画質設定」の設定内容にかかわらず、画像がモザイク表示になるときがあります。

<画像選択>

●貼り付け元の静止画を削除すると、「内蔵」の静止画が表示（送信）されます。

●代替画像に設定したキャラ電を削除したときなど、「キャラ電」の代替画像が表示できない場合は、内蔵されているキャラ電「ビーンズ（Beans）」を送信します。内蔵されているキャラ電「ビーンズ（Beans）」が削除されている場合は「内蔵」の静止画の代替画像を送信します。

<音声自動再発信>

●音声電話に切り替えて再発信したときの通話料金は、デジタル通信料ではなく音声通話料になります。

●再発信が行われたとき、「リダイヤル／発信履歴」には音声電話の履歴だけが記憶されます。

●音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手が話し中など、ネットワークや相手の状況によって再発信が行われない場合があります。

おしらせ

<ハンズフリー切替>

●以下の場合はハンズフリー切替を「ON」に設定していても、自動的にハンズフリーに切り替わりません。
- マナーモード設定中の場合
- イヤホンマイク（別売）接続中（ただし、マイクは「イヤホンマイク設定」の設定に従います）
- 着信時に応答保留または伝言メモが起動した場合

●相手が音声電話からテレビ電話に切り替えた場合、本設定にかかわらず、テレビ電話に切り替える前の音声通話中に設定していたハンズフリーの設定（P.58）に従います。

<パケット通信中着信設定>

●「テレビ電話優先」に設定していても、音声通話中にｉモード通信を行っているときなど、マルチアクセスを使用している場合はテレビ電話の着信に応答することはできません。

●「パケット通信優先」「留守番電話」「転送でんわ」に設定した場合、テレビ電話の着信は「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶されます。

●「テレビ電話優先」または「パケット通信優先」に設定していても、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- USBモード設定を「通信モード」にしてください。なお、外部機器との接続に関する設定は不要です。
- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。
  ドコモテレビ電話ソフトは、ホームページからダウンロードしてご利用ください。
  （パソコンでのご利用環境などの詳細についてはサポートホームページでご確認ください）

http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

おしらせ

- 音声通話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホン、留守番電話、転送でんわのいずれかをご契約いただいていると、音声通話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、現在の通話を終了してから着信に応答することができます。外部機器からテレビ電話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末（本体）の電話帳とほかのFOMA端末でも使うことのできるFOMAカードの電話帳の２種類の電話帳があります。お客様の用途に合わせて使い分けてください。

FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳の違い

■登録内容

登録項目	FOMA端末（本体）の電話帳	FOMAカードの電話帳
件数	最大1,000件	最大50件
グループ	グループなし、01～19	グループなし、01～10
電話番号の登録	1件に4番号（電話帳全体で4,000番号）	1件に1番号
	23種類のアイコンから選択	「 」のみ
メールアドレスの登録	1件に3アドレス（電話帳全体で3,000アドレス）	1件に1アドレス
	5種類のアイコンから選択	「 」のみ
画像の登録	1件に静止画、キャラ電を1件ずつ（電話帳全体でそれぞれ100件）	―
その他のデータの登録	名前、フリガナ、郵便番号、住所、位置情報、誕生日、メモ、ｉコンシェル 住所※、ｉコンシェル URL※、ｉコンシェル メモ※	名前、フリガナ

※：電話帳お預かりサービスで電話帳データが更新されたときに自動的に登録／更新されます。自分で登録することはできません。

■FOMA端末（本体）の電話帳の特徴

FOMA端末（本体）の電話帳に登録すると、以下のような便利な機能が使えます。

- 「直デン」→P.88
- 「ツータッチダイヤル」→P.89
- 「個別着信音／画像」「グループ着信音／画像」→P.86
- 「個別発着信動作選択」→P.129
- シークレットデータとして登録→P.119
- シークレットコードの設定→P.85

■FOMAカードの電話帳の特徴

電話帳のデータがFOMAカードに登録されるので、FOMAカードを差し替えることにより、ほかのFOMA端末でも同じ電話帳を利用できます。複数のFOMA端末を使い分けるときに便利です。

名前の表示について

■音声電話、テレビ電話

電話帳に登録した相手から電話番号を通知してかかってくると、電話番号と名前が表示されます。

電話帳に静止画を登録していると、その画像が表示されます。ただし、登録した画像のサイズやデータ量によっては、表示が遅れることがあります。

「着信履歴」「発信履歴」「リダイヤル」にも相手の名前が表示されます。

■ｉモードメール、SMSの名前表示について

電話帳に登録した相手にｉモードメールまたはSMSを送受信すると、送信メールや受信メールの一覧画面、詳細画面、アドレス一覧には相手の名前が表示されます。

電話帳に登録する 〈電話帳登録〉

●「名前」を入力しないと電話帳の登録ができません。

1 MENU▶「PHONEBOOK」▶ch［機能］▶「電話帳登録」▶登録先を選択▶名前を入力

漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号、絵文字（本体のみ）で入力します。
登録できる文字数は、本体で全角16文字、半角32文字、FOMAカードで全角10文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）のみで21文字までです。

2 フリガナを確認▶■［確定］

■ フリガナが間違っていた場合
カタカナ（本体は半角、FOMAカードは全角）、半角の英数字、記号で修正します。
登録できる文字数は、本体で半角32文字、FOMAカードで全角12文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）のみで25文字までです。

3 以下の項目から選択

GR **グループ選択**……登録するグループを本体では「グループ01～19」から、FOMAカードでは「グループ01～10」から選択します。グループを選択しないと、自動的に「グループなし」に登録されます。

電話番号入力
- 本体ではさらにアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。
- 「<追加登録>」を選択すると電話番号を追加登録できます。
- FOMAカードでは、青色のFOMAカードの場合は20桁まで、緑色／白色のFOMAカードの場合は26桁まで入力できます。

メールアドレス入力
- 半角の英字、数字、記号で入力します。本体ではさらにアイコンを選択します。
- 「<追加登録>」を選択するとメールアドレスを追加登録できます。

郵便番号入力、住所入力……住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、絵文字などで入力します。

位置情報付加……「画像から付加」を選択し、ダウンロード画像などに付加されている位置情報を登録します。
登録済みの情報内容を確認する場合は「位置情報詳細」、削除する場合は「位置情報削除」を選択します。

誕生日入力……「年月日入力」を選択して誕生日（西暦・月日）を入力します。設定できる西暦は、1800年から2099年までです。
「お知らせ設定」を選択して誕生日をお知らせする日を「1週間前、3日前、前日、当日」から選択します。ここで登録した日の午前0:00になると、イルミネーションランプの点滅およびディスプレイにデスクトップアイコンを表示して、お知らせがあることを通知します。→P.109
また、デスクトップアイコン表示時にFOMA端末を開くと、ボタンイルミネーションが点灯します。

メモ入力……漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などで入力します。

静止画登録……着信時に表示される静止画を撮影または選択します。

キャラ電選択……テレビ電話の代替画像として表示されるキャラ電を選択します。

No **メモリ番号入力**……メモリ番号は電話帳の登録時に自動的※に割り当てられますが、000～999の範囲でお好きな番号を入力することもできます。

※：010～999の空き番号に、若い順に割り当てられます。010～999に空き番号がないときは000～009の空き番号に割り当てられます。

4 ✉［完了］

おしらせ

- 記号、絵文字を使って登録された電話帳は、赤外線通信などでデータ転送を行うと正しく表示されない場合があります。
- メールアドレスは、ドメインまで正しく登録してください。ドメインとは、@（アットマーク）より後の文字のことです。
  ただし、相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。
- 2in1利用時に電話帳を登録すると、「電話帳2in1設定」（P.404）も自動的に設定されます（Bモードのときは「B」に、それ以外のときは「A」に設定されます）。
  「電話帳2in1設定」の設定内容（A／B／AB）は、電話帳一覧画面や電話帳詳細画面に表示されます（デュアルモード時のみ）。
- 電話帳に誕生日を入力すると、スケジュールに自動的に登録されます。

おしらせ

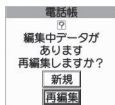
<キャラ電設定の優先順位>
- キャラ電の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①「個別着信音／画像」のキャラ電設定
  ②「グループ着信音／画像」のキャラ電設定
  ③電話帳登録のキャラ電
  ④画像選択の代替画像選択

編集を中断した電話帳があるとき

編集中に電池切れになった場合やマルチタスクを利用してツールグループのタスクを新たに起動させた場合など中断した電話帳の編集を再開できます。

1 MENU▶「PHONEBOOK」▶ch［機能］▶「電話帳登録」▶登録先を選択▶「再編集」

編集を再開しているときに、登録しないで編集を中止すると編集中のデータは消えます。

■ 新規に登録する場合
▶「新規」

リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する

「着信履歴」「発信履歴」「リダイヤル」「受信アドレス一覧」「送信アドレス一覧」「テキストリーダー」またはサイト画面、電話番号入力画面などから電話帳に登録します。

<例：「着信履歴」からFOMA端末（本体）電話帳に追加登録する場合>

1 着信履歴画面（P.59）▶ch［機能］▶「電話帳登録」▶「本体」

■ FOMAカードに登録する場合
▶「FOMAカード（UIM）」

2 「追加登録」▶登録する電話帳を検索

電話帳の検索のしかた→P.83

■ 新規に登録する場合
▶「新規登録」

■ FOMAカードの場合
▶「新規登録」または「上書き登録」

3 電話帳の詳細画面を表示▶■［選択］

電話番号が自動的に入力され、電話帳の編集画面が表示されます。
電話帳の修正のしかた→P.86

4 修正が終わったら✉［完了］

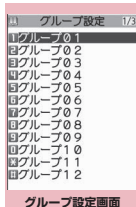
■ 上書きするかどうかのメッセージが表示された場合
▶「YES」

おしらせ

- 「発信履歴」「リダイヤル」に表示される発信者番号通知の情報（通知／非通知）は、電話帳には登録されません。

グループ名を変更する
〈グループ設定〉

電話帳を「会社」や「友達」、「野球」や「サッカー」のようにグループ分けすることによって、用途別に分けられた数冊の電話帳のように活用できます。
- 「グループなし」のグループ名は変更できません。

1 電話帳一覧画面（P.84）▶ch［機能］▶「グループ設定」

グループ設定画面

機能メニュー➡P.82

2 グループを選択▶グループ名を入力

「 」が表示されているグループは、FOMAカードのグループを示します。
FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名を付けた場合でも、別々のグループとして表示されます。

機能 グループ設定画面（P.82）

グループ名編集

グループ着信音／画像→P.86

グループ名初期化……変更したグループ名をお買い上げ時のグループ名に戻します。

おしらせ

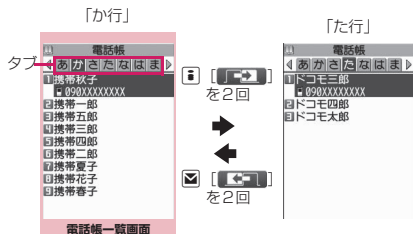
- グループ名を初期化しても、「グループ着信音／画像」の設定は解除されません。

電話帳から電話をかける 〈電話帳検索〉

電話をかける相手の電話帳を呼び出して電話をかけます。

1 MENU▶「PHONEBOOK」

■ タブを切り替える場合

＜例：50音タブ表示のときに、「か行」から「た行」に切り替える場合＞

電話帳一覧画面

機能メニュー➡P.84

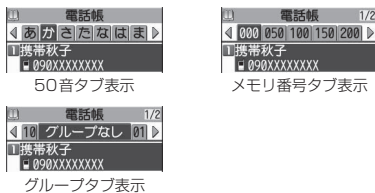
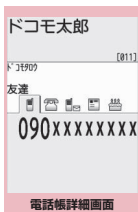
■ タブ表示を切り替える場合

▶ch［機能］▶「タブ表示切替」

「50音タブ表示、メモリ番号タブ表示、グループタブ表示」から選択します。

50音タブ表示

メモリ番号タブ表示

グループタブ表示

2 目的の電話帳を選択

電話帳詳細画面

機能メニュー➡P.85

3 [十字キー]で目的の電話番号を表示▶[通話]（音声電話）、[✉]［テレビ電話］

■ メールを送信する場合

▶[十字キー]で目的のメールアドレスを表示▶[■]［MAIL］

「iモードメールを作成して送信する」→P.138

おしらせ

- 電話帳一覧画面で[十字キー]を押すと、同一タブ内でページの切り替えができます。
- 直デン登録やメール作成における電話帳参照時は、[✉]［ ］によるタブ切り替えはできません。
- 電話帳詳細画面でiコンシェル URLを表示して[■]を押すと、そのURLのサイトやインターネットホームページを表示することができます。「Web To機能」→P.191

検索方法を指定して電話帳を呼び出す

目的に応じて、フリガナ、名前、電話番号、メールアドレス、メモリ番号、グループ、行（アカサタナ順）、全件の8とおりの検索方法から選んで、電話帳を検索します。

- 電話帳を登録するときに入力したフリガナによって、以下の順で検索します（メモリ番号検索以外）。
  50音 → 英字 → 数字 → 記号 → フリガナが登録されていないもの
  ※フリガナの先頭にスペースが入力されていると最初に検索されます。

1 待受画面表示中▶[□]

■ 優先して表示する検索方法を設定する場合

▶優先したい検索方法を反転▶[✉]［優先］▶「OK」

優先に設定した検索方法には「★」が付きます。

電話帳検索
1 フリガナ検索 ★
2 名前検索
3 電話番号検索
4 アドレス検索
5 メモリ番号検索
6 グループ検索
7 行検索
8 全検索

待受画面表示中に[□]を押すと優先に設定した検索方法画面が表示されます。

■ 検索方法の優先設定を解除する場合

▶待受画面表示中▶[□]▶CLR▶「★」が付いている検索方法を反転▶[✉]［解除］

2 検索方法を選択

フリガナ検索……▶フリガナを入力▶[□]

フリガナを先頭から入力します。すべてを入力しなくても構いません。

名前検索……▶名前を入力▶[□]

名前を先頭から入力します。すべてを入力しなくても構いません。

電話番号検索……▶**電話番号を入力**▶[検索]
電話番号の最初の数桁または途中の数桁を入力します。
「電話番号入力画面」(P.54)で電話番号の一部を入力し[検索]でも検索できます。

アドレス検索……▶**メールアドレスを入力**▶[検索]
アドレスは一部を入力するだけで構いません。

メモリ番号検索……▶**3桁のメモリ番号を入力**
FOMAカードの電話帳はメモリ番号で検索できません。

グループ検索……▶**目的のグループを選択**
FOMAカードの電話帳はFOMA端末(本体)の電話帳のグループとは別グループになります。

行検索……▶**検索したい行(タブ)のボタンを押す**
[1]:あ行 [2]:か行 [3]:さ行
[4]:た行 [5]:な行 [6]:は行
[7]:ま行 [8]:や行 [9]:ら行
[0]:わ行 [*]:その他(英数字など)

全検索……登録されているすべての電話帳を50音タブ表示します。

検索が終了すると、検索条件を満たした「電話帳一覧画面」が表示されます。
FOMAカードに登録されている電話帳は「[FOMAカード]」が表示されます。
iコンシェル 住所、iコンシェル URL、iコンシェル メモが登録されている電話帳には「[iコンシェル]」が表示されます。

電話帳一覧画面

機能メニュー➡P.84

● リダイヤルや発信履歴などから電話帳を呼び出す

「着信履歴」「発信履歴」「リダイヤル」「受信アドレス一覧」「送信アドレス一覧」の各画面の機能メニューから「電話帳参照」を選択すると、登録済みの電話帳詳細画面を呼び出すことができます。

[機能] 電話帳一覧画面(P.83)

● 検索方法、表示のしかたによって利用できる機能が異なります。

電話帳登録→P.81

お預りセンターに接続→P.133

ソート※1……指定した条件に従って電話帳一覧を並び替えます。

タブ表示切替……「50音タブ表示、メモリ番号タブ表示、グループタブ表示」から選択します。

個別着信音/画像→P.87

個別発着信動作選択→P.129

グループ設定→P.82

microSDへコピー※2→P.325
- 「全コピー」を選択した場合、電話帳データ以外に、マイプロフィールのデータをコピーするかしないかを選択します。

iC送信※2、**iC全送信**※2→P.337

赤外線送信※2、**赤外線全送信**※2→P.336

電話帳登録件数→P.86

居場所を確認……iモードサイトに接続し、電話番号からイマドコかんたんサーチを実行します。

メール添付※2※3……電話帳に登録されているデータを添付し、iモードメールを作成します。

拡大表示⇔標準表示……表示する文字サイズの「拡大、標準」を切り替えます。→P.108

microSD参照⇔本体参照……microSDカード内、FOMA端末(本体)の電話帳を参照します。

誕生日お知らせ※4

誕生日お知らせ一覧……誕生日の「お知らせ設定」を設定してある電話帳の一覧を表示します。

お知らせイルミネーション……イルミネーションで通知するかしないか(ON/OFF)や、通知する場合の色や点灯パターンを選択します。
電話帳の誕生日のお知らせ設定で登録した日になると、ここで設定したパターンでイルミネーションランプが点滅します。

電話帳削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。
- 「全削除」はFOMAカードの電話帳も削除します。

※1:フリガナ検索など、条件を入力して電話帳検索を行ったときに表示される結果画面で利用することができます。
※2:FOMAカードに登録されている電話帳の場合は機能しません。
※3:2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※4:「お知らせ設定」が設定されていない場合は利用できません。

機能 電話帳詳細画面（P.83）

電話帳編集→P.86

発信者番号通知→P.63

着もじ→P.62

発信設定

プレフィックス→P.64

国際電話発信→P.65

2in1／マルチナンバー→P.60（機能メニュー項目）

テレビ電話画像選択……テレビ電話中に送信する代替画像を選択します。

個別着信音／画像※1→P.86

個別発着信動作選択※1→P.129

先頭へ移動※1……電話番号、メールアドレスが複数登録されている場合、表示している電話番号、メールアドレスを1番目に移動します。

直デン登録※1→P.88

デスクトップ貼付→P.109

ｉモードメール作成※2……メールアドレスや電話番号を宛先に貼り付け、ｉモードメールを作成します。

メール添付※1※2……電話帳に登録されているデータを添付し、ｉモードメールを作成します。

SMS作成※2……電話番号を宛先に貼り付け、SMSを作成します。

ｉC送信※1、**ｉC全送信**※1→P.337

赤外線送信※1、**赤外線全送信**※1→P.336

microSDへコピー※1→P.325

コピー……名前や電話番号（選択している項目によって「メールアドレス、住所、位置情報、誕生日、メモ、ｉコンシェル 住所、ｉコンシェル URL、ｉコンシェル メモ」）をコピーします。文字入力（編集）画面などで貼り付けることができます。→P.386

シークレットコード※1→P.85

コード設定……シークレットコード（4桁）を設定します。

コード参照……設定したシークレットコードを確認します。

設定解除……設定したシークレットコードを解除します。

シークレット設定※1※3→P.119

FOMAカード（UIM）コピー※4→P.333

居場所を確認……ｉモードサイトに接続し、電話番号からイマドコかんたんサーチを実行します。

対応ｉアプリを利用※1……位置情報利用に対応したｉアプリ（位置情報を利用できるｉアプリ）の一覧を表示します。

地図を見る※1……「地図設定」（P.269）で設定したｉアプリ（位置情報を利用できるｉアプリ）が起動します。

メール貼り付け※1※2……電話帳に登録されている位置情報URLを本文に貼り付け、ｉモードメールを作成します。

画像に付加※1……電話帳に登録されている位置情報を画像に付加します。

拡大表示⇔標準表示……表示する文字サイズの「拡大、標準」を切り替えます。→P.108

電話帳削除→P.86

※1：FOMAカードに登録されている電話帳の場合は機能しません。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：シークレットデータの電話帳を参照しているときは「シークレット解除」になります。
※4：FOMAカードの電話帳を参照しているときは「本体へコピー」になります。

おしらせ

＜直デン登録＞
- 直デンに登録すると機能メニューに「★」が表示されます。

● シークレットコードについて

相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」で、その相手がシークレットコードを登録している場合、メールの宛先には「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」を指定する必要があります。
このような相手にメールを送信するには、次の2とおりの方法があります。

- 電話帳詳細画面の機能メニューから電話帳にシークレットコードを設定する（メールアドレス参照時に、電話帳のメールアドレスにシークレットコードが自動的に付加されます）。
- 電話帳のメールアドレスにシークレットコードを付加して登録する。

おしらせ

- シークレットコードの設定が有効なのは、「電話番号@docomo.ne.jp」のメールアドレスまたは「電話番号」だけです。

電話帳を修正する 〈電話帳修正〉

1 電話帳詳細画面（P.83）▶ch［機能］▶「電話帳編集」▶それぞれの項目を修正

「電話帳登録」と同じ操作で、必要な項目を修正します。電話帳の登録のしかた→P.81

■ 新しいメモリ番号に登録する場合

▶「No」を選択▶電話帳が登録されていないメモリ番号（000～999）を入力

修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容が別のメモリ番号で新しく登録されます。

2 修正が終わったら✉［完了］▶「YES」

■ FOMAカードの場合

▶✉［完了］▶「上書き登録」または「追加登録」

「上書き登録」を選択すると、修正した内容で登録します。

「追加登録」を選択すると、修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容は新しい電話帳として登録されます。

おしらせ

- ｉコンシェル 住所、ｉコンシェル URL、ｉコンシェル メモは修正できません。
- 修正した電話帳が直デンに登録されている場合は、直デンも自動的に修正されます。

電話帳を削除する 〈電話帳削除〉

1 電話帳詳細画面（P.83）▶ch［機能］▶「電話帳削除」▶以下の項目から選択

電話番号削除※……表示中の電話番号を削除します。

1件削除……表示中の電話帳を削除します。

※：表示中の項目によって機能名は「メールアドレス削除、住所削除、位置情報削除、誕生日削除、メモ削除、静止画削除、キャラ電削除」になります。
「ｉコンシェル 住所」「ｉコンシェル URL」「ｉコンシェル メモ」を選択しているときは利用できません。

おしらせ

- 複数の電話番号、メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号、メールアドレスを削除すると、削除した以降の電話番号、メールアドレスの順番が繰り上がって登録されます。

電話帳の登録状況を確認する 〈電話帳登録件数〉

- 以下の「登録件数／登録可能件数」が確認できます。
  - 電話帳（本体、FOMAカード）
  - シークレットデータ※
  - 電話帳に登録されている静止画／キャラ電／誕生日の「お知らせ設定」

※：「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときのみ表示されます。

1 電話帳一覧画面（P.83）▶ch［機能］▶「電話帳登録件数」

電話番号やメールアドレスごとに発着信の設定を変える 〈個別着信音／画像、グループ着信音／画像〉

電話帳の電話番号やメールアドレスごと、またはグループごとに着信音や伝言メモの応答メッセージなどを設定します。音だけで誰からの着信なのかを区別したいときなどに便利です。

- FOMA端末（本体）の「グループなし」、FOMAカードの電話帳とグループには設定できません。
- 相手が電話番号を通知してこない場合、「個別着信音／画像」および「グループ着信音／画像」は無効となります。「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。

1 電話帳詳細画面（P.83）▶ch［機能］▶「個別着信音／画像」

設定されている機能には「★」が付きます。

電話帳詳細画面で選択した項目によって、利用できる機能が異なります。

■ グループごとに発着信の設定を変える場合

▶グループ設定画面（P.82）▶ch［機能］▶「グループ着信音／画像」

2 着信を識別する項目を選択

「音声着信設定、テレビ電話着信設定、SMS着信設定、メール着信設定」から選択します。

3 以下の項目から選択

着信音設定※1……誰からの電話、メールかを、着信音で区別します。→P.92

着信画面設定※1※2……誰からの電話かを、着信画像で区別します。→P.100

キャラ電設定※3……テレビ電話の代替画像として表示されるキャラ電を選択します。

イルミネーション設定※1……誰からの電話、メールかを、イルミネーションランプの色で区別します。→P.105

バイブレーション設定※1……誰からの電話、メールかを、バイブレーションで区別します。→P.94

応答メッセージ設定※2……伝言メモ※4、クイック伝言メモが起動したときの応答メッセージを、相手によって変えます。→P.72

※1：64Kデータ通信の着信時も区別できます。
※2：「音声着信設定」または「テレビ電話着信設定」を選択したときのみ利用できます。
※3：「テレビ電話着信設定」を選択したときのみ利用できます。
※4：「伝言メモ」を「ON」に設定しておく必要があります。

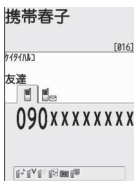
設定した機能には「★」が付きます。

■ 設定されている機能を解除する場合
▶「★」が付いている機能を反転▶✉［解除］
機能が解除されて「★」が消えます。

■「個別着信音／画像」を設定すると
電話帳の詳細画面に設定されていることを示すアイコンが表示されます。

- ：着信音（音声、テレビ電話）
- ：着信音（メール）
- ：イルミネーション（音声、テレビ電話）
- ：イルミネーション（メール）
- ：バイブレーション（音声、テレビ電話）
- ：バイブレーション（メール）
- ：着信画面（音声、テレビ電話）
- ：応答メッセージ（音声、テレビ電話）
- ：キャラ電（テレビ電話）

携帯春子
[016]
ｹｲﾀｲﾊﾙｺ
友達
090XXXXXXXX

おしらせ

- シークレットデータとして登録された電話帳には設定できません。またグループで設定しても、シークレットデータとして登録された電話帳の場合、本機能の設定は無効になります。

おしらせ

- 電話番号に対して設定する「SMS着信設定」は、SMSや相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」からのメールを受信したときに動作します。
- 「個別着信音／画像」「グループ着信音／画像」の着信設定と、ほかの機能の着信設定が重なった場合の優先順位については、以下のページをご覧ください。
  - 着信音の優先順位→P.93
  - バイブレータの優先順位→P.95
  - 着信画像の優先順位→P.94
  - 着信イルミネーションの優先順位→P.106
  - キャラ電の優先順位→P.82

個別着信音／画像、グループ着信音／画像の設定状況を確認する

「個別着信音／画像」「グループ着信音／画像」を設定している電話帳およびグループを各機能または項目ごとに確認します。

1 電話帳一覧画面（P.83）▶ch［機能］▶「個別着信音／画像」

本機能が設定されている項目には「★」が付いています。

2 「★」が付いている機能または項目を選択▶「★」が付いている機能または項目を反転▶ch［機能］▶以下の項目から選択

設定確認……「★」が付いている機能または項目を選択し、設定状態を確認します。

設定解除……「★」が付いている機能の設定をまとめて解除します。

直デンを利用する 〈直デン〉

よく使う電話帳を直デンに登録し、すばやく電話をかけたり、メール送信をできるようにします。

- 直デンはFOMA端末（本体）の電話帳データ（電話番号、メールアドレス）を引用して登録します。電話帳未登録の場合、直デン画面からFOMA端末（本体）の電話帳を登録した後、直デンに登録します。
- 最大5件まで登録できます。
- 直デンに登録した複数のメールアドレスにｉモードメールやチャットメールを一斉送信（最大5人）することもできます。
- シークレット専用モード中は利用できません。
- シークレットモード中は利用できますが、シークレットデータとして登録している電話帳を直デンに登録することや、電話帳にデータを登録してからの直デンへの登録はできません。

電話帳

直デンに登録する

1 待受画面表示中▶[✓]

登録したデータがある場合、登録されている最も若いタブの番号の直デン画面が表示されます。

直デン画面

機能メニュー➡P.89

■ 登録する場所を変更する場合

▶[左右]でタブを移動する

[1]～[5]を押して該当する番号のタブに移動することもできます。

2 [✉]［登録］

■ 登録内容を変更する場合

▶[✉]［編集］

3 「電話帳参照」▶電話帳を検索

電話帳の検索のしかた→P.83

■ 電話帳にデータを登録してから直デンに登録する場合

▶「直接入力」

電話帳登録（P.81）した後、操作5に進みます。

4 [■]［選択］

5 [上下]で□（チェックボックス）を選択

登録する電話番号、メールアドレスをそれぞれ1つだけ選択します。

チェックボックスが選択状態になっていると、他の電話番号またはメールアドレスはグレー表示され、チェックボックスを選択できません。変更する場合はチェックボックスの選択を一度解除してから行ってください。

6 [✉]［完了］

おしらせ

- 「電話帳2in1設定」の設定内容は、2in1のモードがデュアルモードの場合、直デン画面に表示されます。
- 電話帳に画像が登録されている場合、電話帳の画像を登録します。

直デンから電話をかける／メールを作成する

＜例：電話をかける場合＞

1 直デン画面（P.88）▶[左右]で電話をかける直デン画面を表示

[1]～[5]を押して該当する番号のタブに移動することもできます。

2 [上下]で「電話する」を選択

■ メールを作成する場合

▶[上下]で「メールする」を選択→P.138

■ テレビ電話をかける場合

▶[上下]で「テレビ電話する」を選択

機能 直デン画面（P.88）

登録、編集※

画像変更……「マイピクチャ」から画像を選択し、直デンで表示される画像を変更します。

iモードメール一斉送信……直デンに登録したすべてのメールアドレスを宛先に設定し、新規メール画面を表示します。→P.138

チャットメール一斉送信……直デンに登録したすべてのメールアドレスをチャットメンバーに設定し、チャット画面を表示します。→P.169

1件解除、全解除

※：登録済みの直デンで表示されます。

おしらせ

<画像変更>

- ファイル容量が100Kバイト以下で、横または縦が854ドット以下の画像が登録できます。ただしJPEG形式、GIF形式以外の画像は登録できません。

少ないボタン操作で電話をかける 〈ツータッチダイヤル〉

電話帳のメモリ番号「000」～「009」に登録すると、0から9（メモリ番号の下1桁）と[発信]を押すだけで電話をかけることができます。

1. 0～9▶[発信]（音声電話）、[メール][テレビ電話]

おしらせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。

電話帳

音／画面／照明設定

■音の設定

■画面／照明の設定

着信音を変える 〈着信音選択〉

音声電話、テレビ電話、メールなどの着信音や着信画面を設定します。また、電話番号やメールアドレス、電話帳のグループを指定して、それぞれに着信音を設定することもできます。→P.86

●「メロディ一覧の見かた」→P.317

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「着信」▶「着信音選択」▶着信音を設定する項目を選択

「電話、テレビ電話、メール、チャットメール、メッセージR、メッセージF、iコンシェル」から選択します。

- 「電話」を選択すると、音声電話や64Kデータ通信の着信音が設定されます。
- 「メール」を選択すると、iモードメールやSMS、パケット通信の着信音が設定されます。

2 「着信音」▶以下の項目から選択

メロディ……着信音やメロディを設定します。

iモーション……FOMA端末に取得したiモーション、着うた®やカメラで撮影した動画（iモーション）を設定します。
着信時には、選択したiモーションに応じて映像や音声が再生されます（着モーション機能）。

ミュージック……着うたフル®を設定します。着うたフル®に配信元が指定した着信音設定部分がある場合は、以下の項目から設定します。

まるごと設定……1曲すべてを着信音に設定します。

オススメ設定……曲の一部を着信音に設定します。
▶[O]で着信音に設定する部分（オレンジ色で表示）を指定▶[■]［確定］
「移行可能コンテンツ」フォルダを選択した場合は、「YES」を選択し保存するフォルダを選択します。

おしゃべり……「おしゃべり機能」で録音した音声を設定します。

ランダムメロディ……メロディが保存されているフォルダを選択します。着信時にはフォルダに保存されているメロディがランダムで選曲され、再生されます。

OFF……着信音を鳴らしません。

■ 着信画像を設定する場合
▶「着信画面」または「メール着信画面」
「着信画面」の場合、設定する画像をマイピクチャ、iモーションから選択します。
「メール着信画面」の場合、設定する画像をマイピクチャから選択します。

3 着信音を選択

メロディを反転すると、そのメロディが鳴ります。
[✓]、[#]、[✉]、[i]、[ch]、[⁝]のいずれかのボタンを押すと、メロディは止まります。

■お買い上げ時に登録されている着信音・メロディ・アラーム音一覧

表示名	表示名
着信音1～4	RING RING※2
HOPE※1	MERCURY※2
SESAME※2	AERO※2
BLUE HEAVEN※2	OPEN SESAME #1※2
A HINT※1	CLOSE SESAME #1※2
ATTENTION※2	OPEN SESAME #2※2
GOOD NEWS※2	CLOSE SESAME #2※2
ALARMING※2	

※1：作曲者は「高橋幸宏」です。
※2：作曲者は「細野晴臣」です。

■お買い上げ時に登録されている着うたフル®

表示名	作曲者
Good Morning, Good Night	細野晴臣、高橋幸宏、坂本龍一

録音許諾番号：T-08A0035 JASRAC

おしらせ

- iモーション（映像のみのiモーションなど）や着うたフル®によっては着信音に設定できないものがあります。
- iコンシェルの着信音に設定できるiモーションは音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）です。
- 音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）は着信画面に設定できません。
- Flash画像を着信画面／メール着信画面に設定することができますが、着信音は「着信音」で設定した音が鳴ります。

おしらせ

- 着モーションや着信画像に設定できる動画／ｉモーションでも、以下の場合は着モーションや着信画像に設定できません。
  - 赤外線通信機能、ｉC通信機能やドコモケータイdatalink（P.419）などを使用してパソコンやほかのFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻した場合
  - microSDカードからFOMA端末本体にコピーした場合（FOMA端末本体からmicroSDカードにコピーしてから、もう一度FOMA端末本体にコピーした場合を含む）
- 移行可能コンテンツフォルダ内のｉモーションを選択すると、選択したｉモーションが「ｉモーション」のINBOXフォルダに移動されます。
- 移行可能コンテンツフォルダ内の着うたフル®を選択すると、「まるごと設定」のときは選択した着うたフル®が「ミュージック」のINBOXフォルダに移動されます。「オススメ設定」のときは選択した部分をｉモーションとして切り出し、「ｉモーション」のフォルダに保存されます。
- FOMA端末本体に保存されている着うたフル®を「オススメ設定」で着信音に設定した場合は、ｉモーションとしての切り出しは行われずに選択した部分がそのまま着信音に設定されます。
- 着信音選択中に再生される着信音の音量は、「着信音量」と「音量制限」で設定した音量で鳴ります。
- 着信音と着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信音に設定されたｉモーションが再生されます。
- 着信音に映像と音声が含まれるｉモーション以外を設定し、着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信画面に設定されたｉモーションが再生されます。
- メールの着信音にｉモーションや着うたフル®を設定している場合、パケット通信の着信音はお買い上げ時の「メール」の着信音になります。また、着信画面の設定にかかわらず、パケット通信の着信時には専用の着信画面が表示されます。
- 着うたフル®を着信音に設定した場合、着うたフル®にジャケット画像が含まれていても、着信時に表示されません。

おしらせ

- 複数のメールやメッセージR／Fを同時に受信した場合の着信音（着信イルミネーション）の動作は以下のとおりです。

受信内容	着信音（着信イルミネーション）の動作
メールを複数受信	最後に受信したメールに設定されている着信音（着信イルミネーション）で動作します。チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信音（着信イルミネーション）で動作します。
メールとメッセージR／Fを同時に受信	
メッセージR／Fを同時に受信	メッセージRに設定されている着信音（着信イルミネーション）で動作します。

<電話着信音の優先順位>

- 電話着信音の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①「個別着信音／画像」の音声／テレビ電話着信音
  ②「グループ着信音／画像」の音声／テレビ電話着信音
  ③2in1のBモードへの着信音／マルチナンバー（付加番号1、2）の着信音
  ④着信音選択／きせかえツール設定の着信音
  ※上記①「個別着信音／画像」②「グループ着信音／画像」での優先順位は以下のとおりです。
  ①音声／テレビ電話着信音のｉモーション
  ②着信画面設定のｉモーション
  ③音声／テレビ電話着信音のｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、メロディ、着うたフル®

<メール（SMSを含む）着信音の優先順位>

- メール着信音の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①「個別着信音／画像」のメール着信音
  ②「グループ着信音／画像」のメール着信音
  ③2in1のBモードへのメール着信音
  ④着信音選択の着信音／きせかえツール設定のメール着信音

おしらせ

<着信画像の優先順位>
- 着信画像の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①「個別着信音／画像」の着信画面設定
  ②「グループ着信音／画像」の着信画面設定
  ③電話帳登録の静止画
  ④2in1のBモードへの着信画面設定
  ⑤着信音選択のｉモーション
  ⑥画面表示設定／きせかえツール設定
  ※上記①「個別着信音／画像」②「グループ着信音／画像」での優先順位は以下のとおりです。
  ①音声／テレビ電話着信音のｉモーション
  ②着信画面設定のｉモーション、静止画・画像

着信音やメロディなどの音響効果を設定する〈ステレオ・3Dサウンド設定〉

イヤホン接続時のメロディ再生や、着信音、受信音、効果音、ｉモーション再生音などを表現豊かにします。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「着信」▶「ステレオ・3Dサウンド設定」▶「ON」または「OFF」

● 3Dサウンドとは

3Dサウンド機能とは、ステレオイヤホンセットを使用して、立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド機能によって、臨場感あふれるｉアプリによるゲームやメロディ再生などをお楽しみいただけます。

●「音響効果あり」のｉモーションを再生したときは

イヤホンから聞こえてくるステレオ再生音には「自然な立体感」「豊かな低音」「楽器や声の輪郭がはっきりしたサウンド」といった音響効果が同時に加わります。
- 音響効果ありのｉモーションは、動画一覧画面のアイコンで確認できます。→P.302

おしらせ

- 個人差により、立体感が異なる場合があります。違和感を感じる場合は、「ステレオ・3Dサウンド設定」を「OFF」に設定してください。
- 本体内蔵のスピーカーから流れる再生音は、本機能を「ON」に設定しても音響効果は加わりません。

おしらせ

- 「イヤホン切替設定」を「イヤホン+スピーカー」に設定している場合、本機能は無効になります。「イヤホンのみ」に設定すると有効になります。

着信を振動で知らせる〈バイブレータ〉

音声電話、テレビ電話、メールなどを受けたときの、それぞれの振動パターンを設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「着信」▶「バイブレータ」▶バイブレータを設定する項目を選択

「電話」を選択すると、音声電話や64Kデータ通信のバイブレータが設定されます。
「メール」を選択すると、ｉモードメール、SMS、パケット通信のバイブレータが設定されます。

2 振動パターンを選択

パターン1〜パターン3……それぞれのパターンで振動します。
項目選択のとき、反転表示を移動すると、そのパターンでFOMA端末が振動します。

メロディ連動……着信音に設定されているメロディのパターンに合わせてFOMA端末が振動します。

OFF……振動しません。

おしらせ

- バイブレータの振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。
- 「メロディ連動」を選択しても、必ずしも主旋律に連動するわけではありません。またメロディにバイブレータのパターンが指定されていない場合、着信音をｉモーションや着うたフル®に設定している場合は、パターン2で振動します。
- エリアメール受信時は本機能の設定にかかわらず、着信音やブザー音に連動して振動します。ただし、「メール」の振動パターンが「OFF」に設定されているときには、エリアメール（着信音）受信時にバイブレータは振動しません。

おしらせ

<バイブレータの優先順位>
- バイブレータの設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①「個別着信音／画像」のバイブレーション設定
  ②「グループ着信音／画像」のバイブレーション設定
  ③2in1のBモードへのバイブレータ設定
  ④バイブレータの設定

呼出音を変える 〈メロディコール設定〉

電話がかかってきたときに相手に聞こえる呼出音を変更するかしないか（YES、NO）を設定します。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「着信」▶「メロディコール設定」▶「YES」または「NO」**

「YES」を選択した場合、メロディコールのｉモードサイトに接続します。設定サイトはパケット通信料無料です。ただし、IPサイト、ｉモードメニューサイト、無料楽曲コーナーに接続した場合はパケット通信料がかかります。画面の指示に従って設定してください。

おしらせ

- テレビ電話から発信された場合は、相手側にはメロディコールは流れません。

ボタン／タッチセンサーを押したときに鳴る音を設定する 〈ボタン確認音〉

- 本機能を「OFF」に設定すると、電池残量表示の音や各種警告音も鳴りません。
- 確認音の音量は、通話中の場合には「受話音量」で設定した音量、通話していない場合には一定の音量になります。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ボタン／タッチセンサー設定」▶「ボタン確認音」▶「ON」または「OFF」**

スライド音を設定する 〈スライド音〉

FOMA端末を開閉したときに鳴る音を設定します。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「スライド設定」▶「スライド音」▶「オープン音」または「クローズ音」**

2 **以下の項目から選択**

メロディ……メロディのフォルダから音を選択します。

鳴動時間……音が鳴る時間を設定します。

OFF……音が鳴りません。

おしらせ

- スライド音の音量は調整できません。
- ｉアプリ待受画面を設定している場合はスライド音は鳴りません。

充電時の確認音を設定する 〈充電確認音〉

充電開始、終了時に「ピッピッ」と確認音を鳴らします。
- 待受画面以外の画面を表示中やマナーモード設定中、公共モード（ドライブモード）設定中など、充電確認音は鳴りません。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「その他設定」▶「充電確認音」▶「ON」または「OFF」**

時刻アラーム音を設定する
〈時刻アラーム音設定〉

アラーム、スケジュール、To Doリスト、ワンセグ視聴予約で設定できる時刻アラーム音を変更します。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「時計」▶「時刻アラーム音設定」▶アラーム音を選択**

アラーム音は「メロディ、iモーション、ミュージック、おしゃべり、OFF」から選択します。

通話が切れそうなときにアラームで知らせる
〈通話品質アラーム〉

電波の状態が悪くなって途中で通話が切れそうな場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

- 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「通話」▶「通話品質アラーム」▶アラーム音を選択**

アラーム音は「アラームなし、アラーム高音、アラーム低音」から選択します。

メールの着信音を鳴らす時間を設定する
〈メール／メッセージ鳴動〉

メールやチャットメール、メッセージR／F、iコンシェルのインフォメーションを受信したときの着信音を鳴らす時間を設定します。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「着信」▶「メール／メッセージ鳴動」▶時間を設定する項目を選択**

「メール」を選択すると、iモードメール、エリアメール、SMSの鳴動時間が設定されます。

2 **「ON」▶鳴動時間（01～30秒の2桁）を入力**

■ 着信音を鳴らさない場合
▶「OFF」
「バイブレータ」を動作するように設定していた場合は、振動しなくなります。

鳴りはじめのスピーカー音量を制限する
〈音量制限〉

着信音／アラーム音などが鳴るとき、鳴りはじめの3秒間は音量を制限（レベル1）します。3秒後は、「着信音量」や、アラーム、ワンセグの視聴予約リスト／録画予約リストの「アラーム音量」で設定した音量で鳴ります。

- 着信音選択など、音を設定するときのデモ音も、鳴りはじめの3秒間は「レベル1」になります。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「その他設定」▶「音量制限」▶「ON」または「OFF」**

おしらせ

- 以下のように設定している場合も、鳴りはじめの3秒間のスピーカー音は、レベル1になります。
  - 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」が「ON」（設定した無音時間経過後）
  - 「マナーモード選択」の「オリジナルマナー」
- 「着信音量」が「ステップ」に設定されている場合、「音量制限」の設定にかかわらず、通常のステップ動作のままとなります。

イヤホンとスピーカーから着信音を鳴らす
〈イヤホン切替設定〉

イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、イヤホンとスピーカーから着信音やアラーム通知音などが鳴るように設定します。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「外部接続」▶「イヤホン切替設定」▶「イヤホン＋スピーカー」または「イヤホンのみ」**

おしらせ

- 「着信音量」を「消去」に設定している場合は、イヤホンからもスピーカーからも着信音は鳴りません。
- マナーモード（オリジナルマナー）で「電話着信音量」「メール着信音量」を「消去」以外に設定している場合は、本機能に従って着信音が鳴ります。ただし、マナーモード（マナーモード、スーパーサイレント）設定中は、イヤホンからのみ着信音が鳴ります。

電話から鳴る音を消す〈マナーモード〉

FOMA端末のスピーカーから出る着信音やボタン確認音などを、ボタン1つの操作で鳴らさないように設定します。

- マナーモードの設定内容の詳細については**別表1**（P.99）、**別表2**（P.99）をご覧ください。
- マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード、スーパーサイレント、オリジナルマナー」の3種類から選択することができます。

1 待受画面表示中▶# （1秒以上）

通話中は#を1秒以上押してもマナーモードを設定できます。

マナーモードが設定されて「 」が表示され、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。

	：「バイブレータ」で通知
	：「着信音量」を「消去」に設定
～ ～	：「伝言メモ」「テレビ電話伝言メモ」で録音、録画するように設定（数字は録音、録画されている伝言メモの件数）

通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードに設定したことを通知するメッセージが表示されます。

■ マナーモードを解除する場合

▶待受画面表示中▶#（1秒以上）

通話中は#を1秒以上押してもマナーモードを解除できます。

マナーモードが解除されて「 」の表示が消えます。

通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードを解除したことを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

- マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音やオートフォーカスロック完了音は鳴ります。
- バイブレータの振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。

自動でマナーモードを起動／解除する〈自動マナーモード〉

決められた時刻に自動的にマナーモードを起動／解除します。

- マナーモードの起動時間と解除時間はそれぞれ2件まで登録できます。

<例：自動で起動する場合>

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「着信」▶「マナーモード設定」▶「マナー起動時間設定」

■ 自動で解除する場合

▶「マナー解除時間設定」

■ 前回の設定内容のままON、OFFを切り替える場合

▶設定項目を反転▶i［ON⇔OFF］

iを押すたびに「ON、OFF」が切り替わります。

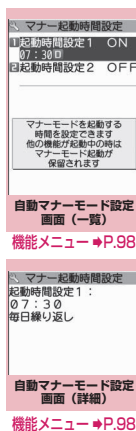
自動マナーモード設定画面（一覧）

機能メニュー➡P.98

■ 前回の設定内容を確認する場合

▶設定項目を選択

自動マナーモード設定画面（詳細）

機能メニュー➡P.98

2 設定する項目を反転▶✉［編集］

3 以下の項目から選択

時刻入力……自動起動または解除する時刻を入力します。

繰り返し……自動起動または解除の繰り返しを「設定なし、毎日（D）、曜日指定（W）」から選択します。

4 ✉［完了］

おしらせ

- FOMA端末の電源が切れているときに自動マナーモードの起動／解除の時刻になっても、本機能は動作しません。
- 自動マナーモードの起動／解除の時刻になっても、他の機能を操作中は起動／解除は行われません。操作終了後に起動／解除が行われます。

● 自動マナーモードを設定すると

- 待受画面に以下のアイコンが表示されます。
  - ：自動起動設定中
  - ：自動解除設定中
- ［＃］（1秒以上）でマナーモードを設定しても、自動解除設定をしているときは、その時刻になるとマナーモードは解除されます。
- 自動起動設定でマナーモードに移行した場合でも［＃］（1秒以上）でマナーモードは解除できます。

機能 自動マナーモード設定画面（一覧・詳細）（P.97）

編集

詳細表示※……設定内容を表示します。

完了（1件ON）……設定を有効にします。

1件OFF……設定を1件無効にします。

全件OFF……設定をすべて無効にします。

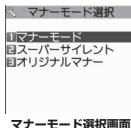
※：自動マナーモード設定画面（一覧）でのみ利用できます。

マナーモードを変更する
〈マナーモード選択〉

マナーモード設定中の動作を選択します。

1 ［MENU］▶「SETTINGS／SERVICE」▶「着信」▶「マナーモード設定」▶「マナーモード選択」

マナーモード選択
1 マナーモード
2 スーパーサイレント
3 オリジナルマナー

マナーモード選択画面

2 以下の項目から選択

マナーモード……スピーカーから出るすべての音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。ただし、受話口から鳴る確認音（音声メモやメモを再生したときなど）は消去しません。

スーパーサイレント……スピーカーから出るすべての音と、受話口から鳴る確認音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。

オリジナルマナー→P.98

オリジナルマナーを設定する

お好みのマナーモードの動作を設定します。

- お買い上げ時の「オリジナルマナー」の動作は以下のように設定されています。
  - 伝言メモ：OFF
  - バイブレータ：ON
  - 電話着信音量：消去
  - メール着信音量：消去
  - アラーム音量：消去
  - ｉアプリ音量：消去
  - メモ確認音：ON
  - ボタン確認音：OFF
  - 通話中マイク感度：アップ
  - 低電圧アラーム：OFF

1 マナーモード選択画面（P.98）▶「オリジナルマナー」▶以下の項目から選択

伝言メモ→P.72

バイブレータ→P.94

電話着信音量……音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信音量を設定します。→P.69

メール着信音量……メール、チャットメール、パケット通信、メッセージR／F、ｉコンシェルのインフォメーション、ｉアプリコールの着信音量を設定します。→P.69

アラーム音量→P.353

ｉアプリ音量→P.270
ただし、「ステップ」は設定できません。

メモ確認音……「伝言メモ」や「音声メモ」などの確認音を設定します。

ボタン確認音→P.95

通話中マイク感度……通話中のマイク感度を「標準、アップ」から選択します。

低電圧アラーム……電池切れアラームを設定します。「電池が切れたときは？」→P.49

2 ［✉］［完了］

おしらせ

- 「オリジナルマナー」で設定した伝言メモは、「伝言メモ」（P.72）で設定した呼出時間で伝言メモを開始します（「OFF」に設定している場合は13秒後に開始）。
- 通話中のマイクの感度がアップの状態になっていると、小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。また、マイクの感度は「カメラ」の動画撮影時には「標準」になります。

[別表1] マナーモードに設定すると

<table>
<tr><th>項目</th><th>マナーモード</th><th>スーパーサイレント</th><th>オリジナルマナー
(オリジナルマナーの設定項目を示します)</th></tr>
<tr><td>伝言メモの起動</td><td colspan="2">「伝言メモ」(P.72)の設定</td><td>「伝言メモ」の設定値</td></tr>
<tr><td>バイブレータ</td><td colspan="2">ON</td><td>「バイブレータ」の設定値</td></tr>
<tr><td>音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信音量</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値</td></tr>
<tr><td>メール、チャットメール、パケット通信、メッセージR/F、ｉコンシェルのインフォメーション、ｉアプリコールの着信音量</td><td colspan="2">消去</td><td>「メール着信音量」の設定値</td></tr>
<tr><td>アラームの音量(スヌーズ機能を含む)</td><td colspan="2">消去</td><td>「アラーム音量」の設定値</td></tr>
<tr><td>ウェイクアップ音</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値
「ステップ」に設定している場合は「レベル2」</td></tr>
<tr><td>ｉアプリの音量、ｉウィジェット効果音</td><td colspan="2">消去</td><td>「ｉアプリ音量」の設定値</td></tr>
<tr><td>スケジュール/To Doリスト/ワンセグ視聴予約・録画予約/料金通知のアラーム音量</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値</td></tr>
<tr><td>音声メモや伝言メモなどの確認音、起動音、終了音</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>「メモ確認音」の設定値</td></tr>
<tr><td>ボタン確認音</td><td colspan="2">OFF</td><td>「ボタン確認音」の設定値</td></tr>
<tr><td>通話中のマイクの感度</td><td colspan="2">アップ</td><td>「通話中マイク感度」の設定値</td></tr>
<tr><td>通話中保留音</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値
「消去」以外に設定している場合は一定の音量で鳴動</td></tr>
<tr><td>応答保留音</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値
「ステップ」に設定している場合は「レベル2」</td></tr>
<tr><td>電池切れアラーム</td><td colspan="2">OFF</td><td>「低電圧アラーム」の設定値
「電話着信音量」を「消去」に設定していても、「低電圧アラーム」を「ON」に設定すると、電池切れアラームは「レベル1」</td></tr>
<tr><td>受信メールの読み上げ</td><td colspan="3">「着信音量」の「電話」の設定値
「消去」「ステップ」に設定している場合は「レベル2」
メールの読み上げは、受信メール詳細画面の機能メニューで「メール読み上げ」を選択したときのみ有効</td></tr>
<tr><td>トルカ取得音</td><td colspan="2">消去</td><td>「電話着信音量」の設定値
「ステップ」に設定している場合は「レベル4」</td></tr>
<tr><td>スライド音</td><td colspan="3">OFF</td></tr>
</table>

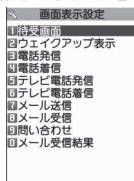
[別表2] イヤホン接続時は

<table>
<tr><th>項目</th><th>マナーモード</th><th>スーパーサイレント</th><th>オリジナルマナー
(オリジナルマナーの設定項目を示します)</th></tr>
<tr><td>受信メールの読み上げ</td><td colspan="3">「着信音量」の「電話」の設定値
「消去」「ステップ」に設定している場合は「レベル2」</td></tr>
<tr><td>ミュージックプレーヤーの音量</td><td colspan="3">ミュージックプレーヤーでの音量設定値(P.261)</td></tr>
<tr><td>ワンセグ視聴中/録画再生中の音量</td><td colspan="3">ワンセグ視聴中/録画再生中の音量設定値(P.239)</td></tr>
<tr><td>スライド音</td><td colspan="3">「レベル2」</td></tr>
</table>

画面の表示を変える〈画面表示設定〉

撮影した静止画やダウンロードした画像などを、待受画面や発着信画面などに設定することもできます。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ディスプレイ」▶「画面表示設定」

画面表示設定
1待受画面
2ウェイクアップ表示
3電話発信
4電話着信
5テレビ電話発信
6テレビ電話着信
7メール送信
8メール受信
9問い合わせ
0メール受信結果

画面表示設定画面

2 以下の項目から選択

待受画面……待受画面のイメージを変えます。→P.100

ウェイクアップ表示……FOMA端末の電源を入れたときに表示されるメッセージや画像を設定します。
- ch［機能］を押すと、FOMA端末の電源を入れたときに音（ウェイクアップ音）を鳴らすかどうかを設定できます。

OFF……画像などを表示しません。

メッセージ……表示されるメッセージを入力します。

マイピクチャ……表示される画像を、マイピクチャから選択します。

電話発信、電話着信、テレビ電話発信、テレビ電話着信、メール送信、メール受信……音声電話、テレビ電話、メール（ｉモードメール、SMS）の発着信時や送受信時に表示される画像を設定します。

■電話発信、テレビ電話発信、メール送信の設定
マイピクチャから選択します。

■電話着信、テレビ電話着信、メール受信の設定
「着信音を変える（操作2）」→P.92

問い合わせ、メール受信結果……「ｉモード問い合わせ」（ｉモードメール、メッセージ）、「SMS問い合わせ」のときやメール受信結果画面に表示される画像を、マイピクチャから選択します。

おしらせ

- ｉモーションによっては設定できないものがあります。

おしらせ

- ウェイクアップ音のメロディは変更できません。また、音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量になります（ただし、「ステップ」の場合は「レベル2」で鳴動）。メロディを止める場合は、いずれかのボタンを押します。

<待受画面の優先順位>
- 待受画面の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
①待受ｉアプリ
②画面表示設定／きせかえツール設定

待受画面のイメージを変える

- 表示タイミングなどによりイメージが変わるものもあります。
- マチキャラ設定中にカレンダー、ｉアプリ待受画面を設定するとマチキャラの設定は解除されます。
- 本機能は2in1のモードがAモードのとき、または「2in1設定」がOFFのときの待受画面を設定します。「Bモード」または「デュアルモード」の場合は「2in1設定」の「モード別待受画面設定」で設定してください。

1 画面表示設定画面（P.100）▶「待受画面」▶以下の項目から選択

OFF……画像などを表示しません。

カレンダー

背景画像あり……カレンダーの背景に表示される画像を、マイピクチャから選択します。

背景画像なし……カレンダーのみを表示します。

マイピクチャ、ｉモーション……待受画面に表示される画像やｉモーションを選択します。

ｉアプリ待受画面……ｉアプリ待受画面を設定します。→P.284
ｉアプリ待受画面が設定されているときは、「★」が表示されます。

ランダム待受画面……待受画面を表示させたときに選択したフォルダ内の画像をランダムに表示します。

■ 表示方法を設定する画面が表示された場合
▶表示方法を選択▶画像を確認▶■［確定］
表示方法には、以下の項目があります。
- センタリング表示（画面中央に表示）
- 画面サイズで表示（縦横どちらかが画面サイズになるまで拡大、縮小して表示）
- 並べて表示（左上から並べて表示）
- 全画面表示（画面サイズいっぱいに拡大、切り出して表示）

おしらせ

- 移行可能コンテンツフォルダ内のｉモーションを選択すると、そのｉモーションは「ｉモーション」のINBOXフォルダに移動されます。
- 「ｉモーション」で設定した動画やｉモーションを途中で終了させる場合はCLRを押します。再生が終了すると1コマ目が待受画面に表示されます。
- Flash画像やGIF形式のアニメーション、自作アニメを待受画面に設定した場合、以下の操作を行うと再生されます（メロディは再生されません）。
  - FOMA端末の開閉時
  - 待受画面表示中にCLRを押す
  - ほかの画面から待受画面に戻る

  ただし、キー操作ロックなどが設定されていると、Flash画像が再生されない場合があります。

<時計として機能するFlash画像について>
- Flash画像の時計が止まった場合は、Flash画像の再生を行うと再開できます。時計の時刻がずれていた場合は、再生終了後1分以内に更新され、正しい時刻となります。
  待受画面を表示すると、時計などのFlash画像やGIFアニメーションは、一定時間再生した後に停止します。

● 待受画面にカレンダーを設定すると

簡単な操作で前後のカレンダーを確認したり、スケジュールを起動できます。

■前後の月のカレンダーを確認する場合
待受画面表示中に■を押すと、デスクトップアイコンやカレンダーが選択できるようになります。Ⓞでカレンダーを反転させて■［選択］を押すと、デスクトップアイコンの表示が消え、Ⓞで前の月や次の月のカレンダーが確認できます。

■スケジュール機能を起動する場合
ⓄまたはⓄで前の月、次の月のカレンダーが表示される状態で■［選択］を押すと、スケジュール機能が起動して表示している月のスケジュールを登録できます。

着信時に電話帳に設定した画像を表示する 〈電話帳画像着信設定〉

静止画を登録している電話帳の相手から音声電話やテレビ電話がかかってきた場合、着信時に静止画を表示するかしないか（ON、OFF）を設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「着信」▶「電話帳画像着信設定」▶「ON」または「OFF」

発着信番号表示の色を変更する 〈発着信番号表示設定〉

リダイヤル／着信履歴画面や、送信／受信アドレス履歴一覧画面などに表示される名前や電話番号・メールアドレスの文字色を変更します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「着信」▶「発着信番号表示設定」▶色を選択

おしらせ

- ✉［切替］を押すと、選択できる色の数を16色から256色に切り替えられます。✉［切替］を押すごとに16色と256色が切り替わります。
- 「カラーテーマ」の設定により、本機能の設定が変更される場合があります。本機能の設定を変更後にi［リセット］を押すと「カラーテーマ」に対応した設定に戻ります。
- 2in1ご利用の場合は、Aナンバー・Aアドレスの情報がここで設定した文字色で表示されます。Bナンバー・Bアドレスの情報を色分けして表示する場合は、「2in1設定」の「発着信番号設定」の「発着信番号表示設定」から設定します。

周りから画面が見えないようにする 〈プライバシーアングル〉

周りからディスプレイに表示されている内容を見えにくくします。

1 8（1秒以上）

プライバシーアングルが設定されて「 」が表示されます。

■ 解除する場合

▶8（1秒以上）

おしらせ

- 文字編集中やｉアプリ実行中、マイピクチャ内のフォルダやデータ表示中に、プライバシーアングルの設定や解除はできません。
- 本機能を設定しても、フルブラウザ利用中のポインタ（P.207）は通常どおり表示されます。

充電中のディスプレイ表示のしかたを設定する 〈充電中ディスプレイ〉

待受画面表示中にFOMA端末を閉じて充電しているときのディスプレイ表示（ヨコスタイル時計、フォトスライドショー）を設定します。

- フォトスライドショーの表示は、他の機能が起動しているときは行えません。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ディスプレイ」▶「充電中ディスプレイ」▶以下の項目から選択

ヨコスタイル時計……充電中は時計が常時表示され、充電完了後は約1分ごとに5秒間時計が表示されます。

フォトスライドショー……充電中はマイピクチャの①INBOX、②カメラ、③ユーザ作成フォルダ、④microSDの「ピクチャ」の順番で画像が表示されます。充電完了後は約1分ごとに5秒間ヨコスタイル時計が表示されます。

OFF……待受画面など、通常の画面表示を行います。

おしらせ

- 公共モード（ドライブモード）設定中は、充電完了後のヨコスタイル時計は表示されません。
- USB接続中はヨコスタイル時計の表示やフォトスライドショーは行われません。

おしらせ

- お買い上げ時の状態でフォトスライドショーを行うと、マイピクチャの「INBOX」に保存されているサンプル画像が表示されます。
- フォトスライドショーの画像の切り替え時間は約5秒で、変更できません。
- フォトスライドショーは充電開始から最低10分間行われますので、充電完了後すぐにヨコスタイル時計の表示に移行しない場合があります。

ディスプレイの照明を設定する 〈照明設定〉

ディスプレイのバックライトの動作・明るさや、省電力モードを設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ディスプレイ」▶「照明設定」▶以下の項目から選択

通常時……通常時のバックライト動作と省電力モードを、それぞれ「ON、OFF」から選択します。通常時を「ON」に設定する場合、点灯時間（5秒間～60秒間）を選択します。
省電力モードを「ON」に設定する場合、省電力モードに移るまでの待ち時間（01～20分の2桁）も入力します。

- 省電力モードを「ON」に設定すると、設定した待ち時間経過後、ディスプレイの表示が消えます。省電力モード中にボタン操作やFOMA端末の開閉などを行うと省電力モードは解除されます。

充電時……充電時のバックライト動作を「通常時と同じ、常時点灯」から選択します。

- 「通常時と同じ」の場合は、通常時の設定で動作します。
- 「常時点灯」の場合は、ディスプレイのバックライトを点灯し続けます。

明るさ……バックライトの自動調整を行うかどうかを「自動調整ON、自動調整OFF」から、また明るさをレベル1～6から選択します。

- 「自動調整 ON」に設定すると照度センサーが周囲の明るさを検知し、ディスプレイのバックライトの明るさを自動で調整します。また、ボタンのバックライトのON、OFFを自動で切り替えます。

おしらせ

- 「通常時」を「ON」に設定したときは、着信中は点灯したままとなり、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末の開閉を行ったときにバックライトを「点灯時間」の設定で点灯します（カメラ起動中、動画／iモーション再生中は常時点灯）。
- 「通常時」を「OFF」に設定したときは、ディスプレイのバックライトは点灯しません（動画撮影中、パノラマ撮影中は常時点灯）。また、ボタンのバックライトは、直前に設定していた点灯時間（5秒間〜60秒間）の設定に従い点灯します。
- FOMA端末を開いているときに省電力モードになるとボタンのバックライトが点滅します。
- 「充電中ディスプレイ」を「OFF」以外に設定している場合、「充電時」の設定にかかわらず充電中は省電力モードにはなりません。
- 照度センサーを指などで覆うと、明るさを正しく検知できない場合があります。

● 電池の消費を抑えるように一括設定する〈ECOモード〉

ECOモードに設定すると、照明設定が暗めに設定されるなど、照明・音・画面に関する設定が電池の消費を抑えるような設定に一括で変更されます。電池の残量を節約したいときに有効です。

- ECOモード設定中に利用が制限されたり、設定が変更される機能は以下のとおりです。
  - 照明関連：照明設定、ボタンイルミネーション、ボタンバックライト、タッチセンサー連動設定
  - 音関連：ステレオ・3Dサウンド設定、メール読み上げ設定、iモーション自動再生設定、効果音設定（iモード）、ボタン確認音、スライド音
  - 画面関連：画面表示設定、カラーテーマの設定項目、iチャネルのテロップ表示、発着信番号表示設定

1 5（1秒以上）

ECOモードが設定されて「」が表示されます。

■ 解除する場合

▶5（1秒以上）

ECOモードが解除されて「」が消えます。

おしらせ

- 文字編集中やiアプリ実行中などは、ECOモードの設定や解除ができません。
- ECOモードは、電源を切る、入れると設定が解除されます。
- ECOモードを設定しても各機能の設定は変更されません。また、各機能で設定を変更してもECOモードの動作には影響しません（発着信番号表示設定は除く）。

ディスプレイのデザインを変更する 〈画面デザイン〉

文字や背景、ファンクションボタン表示の背景などを変更します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ディスプレイ」▶「画面デザイン」▶以下の項目から選択

カラーテーマ……配色のパターンを「black、white、pink、brown、blue」から選択します。

アイコンパターン……電池／アンテナアイコンのデザインを「classics、modernism、futurism、realism」から選択します。

ソフトキー……ファンクションボタン表示の背景パターンを「gray、pink、brown、wood、blue」から選択します。

おしらせ

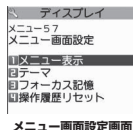
- iモードのサイト画面など、本機能の設定を変更しても配色の変わらない画面や機能があります。

メニュー表示を変更する

メニュー表示のしかたを設定する〈メニュー画面設定〉

「SETTINGS／SERVICE」のメニュー小項目（機能）の表示方法や、メインメニューのデザインを変更します。また、メインメニューやシンプルメニューのラストワン機能を設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ディスプレイ」▶「メニュー画面設定」

ディスプレイ
メニュー57
メニュー画面設定
1メニュー表示
2テーマ
3フォーカス記憶
4操作履歴リセット

メニュー画面設定画面

2 以下の項目から選択

メニュー表示……小項目の表示のしかたを「一覧表示、詳細表示」から選択します。

テーマ……メインメニューの背景やアイコンを「neon、tartan、composite、amadana signature、Standard、シンプルメニュー、オリジナルテーマ、きせかえツール」から選択します。
- オリジナルテーマを選択した場合→P.104
- きせかえツールを選択した場合→P.113

フォーカス記憶……メインメニューやシンプルメニューを再表示した際、前回選択した機能が含まれているメニュー項目を反転表示するかどうかを設定します（ラストワン機能）。

操作履歴リセット……メニューの操作履歴をリセットします。自動で並べ替えられたメニュー（P.33）などで有効です。

おしらせ

- ラストワン機能は、小項目を表示した場合にメインメニューのアイコンが記憶されます。中項目を表示し、操作を中止した場合には記憶されません。

メインメニューにオリジナルテーマを設定する

メインメニューのアイコンや背景イメージを「Standard」をベースに変更します。

1 メニュー画面設定画面（P.104）▶「テーマ」▶「オリジナルテーマ」

■ 変更したアイコン／背景イメージをお買い上げ時の設定に戻す場合
▶ch［機能］▶リセット方法を選択

2 以下の項目から選択

メール、iモード、iアプリ、設定／サービス、データBOX、LifeKit、iコンシェル、電話帳、ユーザデータ、MUSIC、ワンセグ、おサイフケータイ……メインメニューの各アイコンをマイピクチャから選択します。

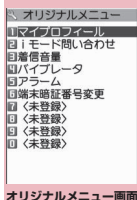
背景イメージ……メインメニューの背景イメージをマイピクチャから選択します。

おしらせ

- 以下の画像は設定できません。
  - 横または縦が854ドットより大きな画像
  - ファイル容量が100Kバイトを超える画像
  - Flash画像
- 画像表示エリアより大きい場合は、縦横が同じ比率で縮小表示され、小さい場合は中央に表示されます。

オリジナルメニューを作成する〈オリジナルメニュー〉

よく使う機能を「オリジナルメニュー」として登録しておくと、簡単に機能を呼び出すことができます。
→P.31

- オリジナルメニューは最大10件まで登録できます。
- オリジナルメニューに登録できる機能は、「メール」「iモード」「iアプリ」「iコンシェル」「電話帳」の大項目と「設定／サービス」「データBOX」「LifeKit」「ユーザデータ」「MUSIC」「ワンセグ」「おサイフケータイ」の各中項目および小項目です。
- 同じ機能を登録することはできません。

［オリジナル］

オリジナルメニュー画面

機能メニュー➡P.105

2 登録または変更する項目を反転▶ ［編集］▶で機能を選択

機能 オリジナルメニュー画面（P.105）

メニュー登録

並び替え……で反転しているメニューを移動し、オリジナルメニューを並び替えます。

デスクトップ貼付→P.109

オリジナルメニュー初期化……お買い上げ時の設定に戻します。

解除、全解除

着信時のイルミネーションランプの点滅のしかたを設定する

〈着信イルミネーション〉

音声電話、テレビ電話の着信があったときや、メール、チャットメール、メッセージR／F、iコンシェルのインフォメーションを受信したときのイルミネーションランプの点滅色や点滅のしかた（点滅パターン）を設定します。

- 指定した電話番号やメールアドレス、グループからの着信それぞれに点滅色を設定することもできます。→P.86

1 ▶「SETTINGS／SERVICE」▶「着信」▶「着信イルミネーション」▶以下の項目から選択

着信イルミネーション選択……「電話、テレビ電話、メール、チャットメール、メッセージR、メッセージF、iコンシェル」のイルミネーションランプの点滅色を選択します。
項目選択のとき、反転表示を移動すると、その色でイルミネーションランプが点灯します。
色1～色12：それぞれの色で点滅します。
グラデーション：色1～色12が順番に点滅します。
「メール」を選択すると、iモードメールやSMSの着信イルミネーションが設定されます。

パターン設定……イルミネーションランプの点滅パターンを「固定パターン、メロディ連動」から選択します。

不在お知らせ……ディスプレイに不在着信または新着メール（iモードメール、チャットメール、エリアメール、SMS）のアイコンが表示されているときに、イルミネーションランプを点滅させ続けるか点滅させないか（ON／OFF）を設定します（点滅の間隔は約5秒間です。省電力モード時は約10秒間です）。

おしらせ

- 着信音に「着信音1～4」を設定している場合は、「パターン設定」の設定にかかわらず着信音に合わせて点滅します。
- 「メロディ連動」に設定していても、着信音にメロディ連動対応の点滅パターンが登録されていない場合、着モーションや着うたフル®の場合は「固定パターン」で点滅します。
- エリアメールのイルミネーションランプの点滅色は本機能の設定にかかわらず色9（赤色）で点滅します。

おしらせ

- 緊急地震速報のエリアメール受信時には本機能の設定にかかわらず、着信音に連動してイルミネーションランプが点滅します。
- 複数のメールやメッセージR／Fを同時に受信した場合の着信イルミネーションの動作は着信音の動作と同じになります。→P.93

<着信イルミネーションの優先順位>

- 着信イルミネーションの設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①「個別着信音／画像」のイルミネーション設定
  ②「グループ着信音／画像」のイルミネーション設定
  ③2in1のBモードへの着信イルミネーション設定
  ④着信イルミネーションの設定

ボタンのイルミネーションとバックライトの色を設定する 〈ボタンイルミネーション／ボタンバックライト〉

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「イルミネーション」▶以下の項目から選択

ボタンイルミネーション……「ON／OFF」を設定します。
「ON」の場合、電源ON／OFF時、通話開始時（発信のみ）、感情お知らせメールを開いたとき、アラーム通知時、スヌーズ中、赤外線通信中、IC通信中、充電開始時、誕生日お知らせアイコン表示時、FOMA端末開閉時それぞれのイルミネーションについて設定します。
- 「感情お知らせ」では点灯条件を「常時、未読メールのみ、OFF」から選択します。
- その他は、以下の項目を設定します。

パターン設定
- 通話開始時、アラーム通知時、FOMA端末開閉時は、点灯パターンを「mezame、hotaru、kodou、ibuki、shiosai、ランダム、OFF」から選択します。
- その他は「ON、OFF」から選択します。

色設定……点灯色を選択します。
色1～色7：それぞれの色で点灯します。
ランダム：色1～色7でランダムに点灯します。

ボタンバックライト……バックライトの点灯色を選択します。
色1～色7：それぞれの色で点灯します。
ランダム：色1～色7でランダムに点灯します。
グラデーション1～6：それぞれのパターンで点灯します。
OFF：点灯しません。

※ 項目選択のとき、反転表示を移動すると、その色やパターンでボタンが点灯します。

おしらせ

<ボタンイルミネーション>

- ボタンイルミネーションが点灯するときは、タッチセンサーのイルミネーションも同時に点灯します。
- 「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」のアラーム通知時の点灯パターンや点灯色は、それぞれの編集時に個別に設定することができます。

表示画質モードを設定する 〈表示画質モード設定〉

画面表示の画質モードを設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ディスプレイ」▶「表示画質モード設定」▶以下の項目から選択

ノーマル……標準画質で表示します。

ビビッド……鮮やかな画質で表示します。

ダイナミック……コントラストが強い画質で表示します。

おしらせ

- ワンセグ視聴時の表示画質は「ワンセグ効果」の「映像効果」の設定が優先されます。
- 項目選択のとき反転表示を移動すると、各モードのプレビュー画像が表示され画質の効果を確認できます。

タッチセンサーの動作やバックライトの色を設定する

〈タッチセンサー設定〉

タッチセンサーを使うか使わないか(ON／OFF)や、使うときの動作について設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ボタン／タッチセンサー設定」▶「タッチセンサー設定」▶「ON」

■ タッチセンサーを使わない場合
▶「OFF」

2 **以下の項目から選択**

バックライト……タッチセンサーが有効なときの点灯色を選択します。
色1～色7：それぞれの色で点灯します。
ランダム：色1～色7でランダムに点灯します。
※項目選択のとき、反転表示を移動すると、その色でボタンが点灯します。

タッチセンサー連動設定

バイブレータ……タッチセンサーに触れたときにバイブレータを動作させるかどうかを設定します。

イルミネーション……タッチセンサーに触れたときにバックライトの色を変化させるかどうかを設定します。

スクロール機能……以下の対象画面で自動的にタッチセンサーを有効にし、スクロール機能を使用できるようにするかどうかを設定します。
対象画面：サイト画面、フルブラウザ画面（縦画面表示）、トルカ表示画面（トルカ（詳細））、メール詳細画面、メッセージ詳細画面、スケジュール画面

待受画面にマチキャラを設定する

〈マチキャラ設定〉

マチキャラを設定すると待受画面にキャラクタが表示され、ｉコンシェルのインフォメーション、不在着信／新着メール／未読メールなどのお知らせをします。マチキャラはFOMA端末の状況や時間帯などによりキャラクタの動作や表示が変化します。

- マチキャラはダウンロードすることができます。→P.190

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ディスプレイ」▶「マチキャラ設定」▶「ON」

■ マチキャラを設定しない場合
▶「OFF」

2 **フォルダを選択**

マチキャラ一覧画面の見かた→P.316

■ ｉモードでマチキャラを検索する場合
▶「ｉモードで探す」▶「YES」

3 **マチキャラを選択**

おしらせ

- 待受画面にカレンダー、ｉアプリを設定している場合、マチキャラを同時設定できません。
- アクションによっては、マチキャラの一部が表示されない場合があります。

文字サイズ・書体・太さを変える〈フォント設定〉

ディスプレイに表示される文字をお好みのフォント（書体）に切り替えます。

1 待受画面表示中▶［7］（1秒以上）▶以下の項目から選択

書体……「ゴシック体、明朝体」から選択します。

太さ……「細字、太字」から選択します。

文字サイズ

中、特大……各種画面の文字サイズを「中サイズ」または「特大サイズ」に一括設定します。

個別設定……各画面の文字サイズを個別に設定します。
「個別設定の対象となる画面」→P.108

■個別設定の対象となる画面

項目	設定の対象となる画面
文字入力	文字入力（編集）画面、新規メール画面、メール本文のプレビュー画面（新規SMS画面、SMS送信プレビュー画面を除く）
メール	メールの一覧／詳細画面、冒頭文・署名・テンプレート参照時の画面など
iモード	サイト画面、Bookmarkフォルダ一覧画面、Bookmark一覧画面、画面メモ、メッセージの一覧／詳細画面
フルブラウザ	フルブラウザ画面（携帯レイアウトのみ）、Bookmarkフォルダ一覧画面、Bookmark一覧画面
電話帳	電話帳の一覧／詳細画面、マイプロフィール画面
発着信履歴	リダイヤル／発着信履歴画面（一覧）、アドレス画面（一覧）
iチャネルテロップ	iチャネルのテロップ表示
デスクトップインフォ	デスクトップインフォ画面

おしらせ

- 電話番号入力画面などの文字は、本機能の設定対象外です。
- 文字サイズは個別設定の対象となる項目の設定メニューや機能メニューなどからも変更できます。

待受画面の時計表示を設定する〈待受時計表示〉

待受画面の曜日を日本語または英語に設定したり、時刻の表示サイズや色を設定します。メイン時計の日付や時刻を表示しないように設定することもできます。

- 待受画面以外の画面では、本設定にかかわらず時刻のみを画面上に小さく表示します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「時計」▶「待受時計表示」▶以下の項目から選択

表示方法……曜日の表示を「日本語、英語」から選択します。「OFF」を選択すると、日付や時刻は表示されません。

表示サイズ……時刻の表示を「大きく表示、小さく表示、上に小さく表示」から選択します。

文字色……「ブラック、ホワイト」から選択します。

画面を英語表示に切り替える〈バイリンガル〉

ディスプレイに表示される各機能名やメッセージなどを日本語表示／英語表示に切り替えます。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ディスプレイ」▶「バイリンガル」▶「English」

■ 英語表示から日本語表示に切り替える場合
▶MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「Display」▶「Select language」▶「日本語」

おしらせ

- FOMAカードを挿入している場合、バイリンガルの設定はFOMAカードに記憶されます。
- 「バイリンガル」の設定が「English」のときは、「待受時計表示」（Clock display）の「表示方法」（Display）の選択肢が「ON、OFF」の2項目になります。

デスクトップアイコン／デスクトップインフォを利用する
〈デスクトップ〉

よくかける電話番号やよく使う機能をデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けると、簡単な操作で電話番号を表示したり機能を呼び出せます。また、かかってきた電話に出られなかったときや新着メールがあったときなど、待受画面にアイコンでお知らせします。
デスクトップインフォには、デスクトップアイコンとして貼り付けた電話番号や機能、出られなかった電話や新着メールなどのお知らせが表示されます。

■貼り付けられるデスクトップアイコン

アイコン	説明
データ画面を表示するもの	
	電話番号
／	メールアドレス／SMSアドレス
	受信BOXフォルダ
／	URL（ｉモード／フルブラウザ）
／	ワンタッチマルチウィンドウ（ｉモード／フルブラウザ）
	ｉアプリのソフト ※アイコンはソフトによって異なります。
／	画像／動画・ｉモーション
	キャラ電
	メロディ
	PDFデータ
	マンガ・ブックリーダー
機能を起動するもの	
	オリジナルメニュー
／	音声メモ／動画メモの再生
	クイック検索
／	ｉチャネル／ｉコンシェル
／　／	フォトモード／ムービーモード／ボイスモード
／	テキストリーダー／バーコードリーダー
	ワンセグ
／	Music&Videoチャネル／ミュージック
	クイックアルバム
	赤外線受信
	ライフヒストリービューア
／	スケジュール／To Doリスト

アイコン	説明
	電卓
	テキストメモ
	辞典
	Bluetooth

デスクトップアイコンを反転しているときに表示されるタイトルは、先頭から全角11文字、半角22文字までです。タイトルは編集することができます。→P.110

■情報を通知するデスクトップアイコン

アイコン	説明
不在	不在着信あり
伝言／伝言	伝言メモあり／テレビ電話伝言メモあり
留守	留守番電話あり
更新	電話帳お預かりサービスの更新情報あり
メール／チャット	新着メールあり／新着チャットメールあり
メッセージ	新着メッセージあり
トルカ	新着トルカあり
終了／アラーム	ワンセグ予約録画終了あり／未視聴予約あり
更新　失敗	Music&Videoチャネルのダウンロード終了
ソフト	未起動ｉアプリあり
アプリ	ｉアプリ待受画面の異常終了
ソフト	ｉアプリコールあり
検索	ネットワーク再検索
接続中	USBモード
アラーム	未通知アラームあり
お知らせ	誕生日のお知らせ
上限	通話料金通知
更新	ソフトウェア更新のお知らせ、成功、終了、書換え予告

アイコン	説明
更新	スキャン機能のパターンデータ自動更新終了、更新失敗、新規パターンデータあり

※ 情報を通知するデスクトップアイコンは、各機能を呼び出したり実行すると消えます。
※ 情報を通知するデスクトップアイコンの表示を消したい場合はCLRを1秒以上押します（アイコンの種類により消えないものもあります）。

デスクトップアイコンを貼り付ける

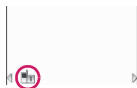
貼り付けたい機能の画面、データの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択します。

- お買い上げ時には、（フォトモード）、（iコンシェル）、（クイック検索）、（ワンセグ）、（amadana channel）※が貼り付けられています。amadana channelは、「テーマ1」にのみ貼り付けられています。

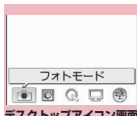
※：選択するとiモード通信を行い、amadanaの公式サイトが表示されます。
amadana channelについて→P.9

- デスクトップアイコンはテーマ1〜3それぞれに15件まで貼り付けることができます。

<例：電話帳の電話番号を貼り付ける場合>

1 電話帳詳細画面（P.83）▶電話番号を表示▶ch［機能］▶「デスクトップ貼付」▶「YES」

デスクトップアイコンからデータや機能を呼び出す

1 待受画面表示中▶■

デスクトップアイコンが選択できる状態になります。反転表示されたデスクトップアイコンには吹き出しタイトルが表示されます。
i［インフォ］を押すと、デスクトップインフォ画面に切り替わります。→P.111
前回デスクトップインフォを表示した場合は、デスクトップインフォ画面が表示されます。i［アイコン］を押すと、デスクトップアイコン画面に切り替わります。

デスクトップアイコン画面
機能メニュー➡P.110

2 でデスクトップアイコンを選択

■ デスクトップアイコンが5件以上登録されている場合

画面の左右に「◁▷」が表示されます。でデスクトップアイコンをスクロールできます。

待受画面のデスクトップテーマを変更する

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ディスプレイ」▶「デスクトップ」

設定中のテーマには「SET」が表示されます。

デスクトップ画面（テーマ）
機能メニュー➡P.110

2 テーマを選択▶「YES」

この後デスクトップに貼り付ける操作（P.110）を行うと選択したテーマにデスクトップアイコンを振り分けて貼り付けることができます。

デスクトップ画面（詳細）
機能メニュー➡P.110

■ テーマの内容を確認する場合

▶テーマを反転▶✉［詳細］

機能 デスクトップアイコン画面（P.110）／デスクトップ画面（テーマ・詳細）（P.110）

- デスクトップアイコン画面／デスクトップ画面（テーマ・詳細）では利用できる機能が異なるため、表示される項目が異なります。

アイコン作成……機能名一覧から貼り付けるアイコンを選択し、テーマを選択します。

並び替え……アイコンの並び順を変更します。

デスクトップ表示設定……アイコンの表示方法を「常に表示、使用時のみ表示」から選択します。「使用時のみ表示」を選択すると、待受画面で■を押したときのみ表示されます。

タイトル編集

アイコン変更……「ユーザ選択、初期アイコン」から選択します。「ユーザ選択」を選択するとアイコンを変更できます。「初期アイコン」を選択するとアイコンをお買い上げ時状態に戻します。

アイコン情報……アイコンのタイトル、種別、内容などを表示します。

コピー……「1件コピー、選択コピー、全コピー」から選択し、アイコンをほかのテーマにコピーします。

移動……「1件移動、選択移動、全移動」から選択し、アイコンをほかのテーマに移動します。

デスクトップ初期化……表示中のテーマ(テーマ1～3)のデスクトップを、お買い上げ時の状態に戻します。

オリジナルメニュー→P.104

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

デスクトップの表示を設定する

1 待受画面表示中▶■▶✉［設定］▶以下の項目から選択

デスクトップ切替……デスクトップのテーマを切り替えます。

デスクトップ表示設定……アイコンの表示方法を「常に表示、使用時のみ表示」から選択します。「使用時のみ表示」を選択すると、待受画面で■を押したときのみ表示されます。

待受画面設定※→P.100

きせかえツール設定→P.113

chキー設定……chのファンクションボタンに機能を割り当てます。→P.352

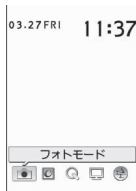
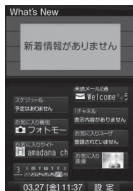
時計設定……待受画面の時計表示を設定します。→P.108

※：2in1設定がBモードまたはデュアルモードに設定されているときは、現在設定中の2in1設定のモード別待受画面を変更します。

デスクトップインフォからデータや機能を呼び出す

1 待受画面表示中▶■

デスクトップアイコン画面

i［インフォ］

i［アイコン］

デスクトップインフォ画面

2 ✥で情報を選択

■デスクトップインフォに表示される項目

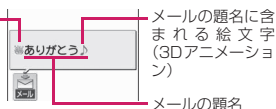
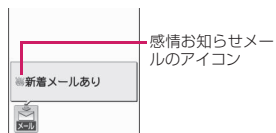
表示項目	選択時の動作
What's New	**通知アイコン情報**：情報を通知するデスクトップアイコン（P.109）や、ポップアップメッセージ（P.201）を表示
最近のメール	**最近受信したメール**：受信メール詳細画面を表示
スケジュール	**本日／翌日のスケジュール**：スケジュール詳細画面を表示 **本日／翌日のTo Doリスト**：To Doリスト詳細画面を表示
iチャネル	**iチャネルテロップ**：iチャネルを表示
お気に入り機能	**機能**：貼り付けられるデスクトップアイコン（P.109）を表示
お気に入りユーザ	**電話番号**：電話番号が入力された電話番号入力画面を表示
	メールアドレス：宛先が入力された新規メール画面を表示
お気に入りサイト	**ブックマーク**：サイトを表示
お気に入り画像	**静止画**：画像を表示 **動画またはiモーション**：動画またはiモーションを再生
カレンダー	**カレンダー**：スケジュール画面を表示
時計	**時計**：アラーム設定画面を表示 時計設定をしていないときはメイン時計設定画面を表示
設定	**設定**：デスクトップインフォに表示する項目を選択、並べ替え

おしらせ

- ミュージック再生中に動画またはiモーションは再生できません。
- フォント設定の文字サイズの「デスクトップインフォ」が「大」に設定されているときは、文字サイズの大きい「拡大コンテンツ」が表示され、「中」に設定されているときは、通常の文字サイズの「通常コンテンツ」が表示されます。

新着メールのデスクトップアイコンのメッセージを3Dアニメーションで表示する 〈新着お知らせ3D表示〉

新着メール、新着メッセージ、新着チャットメールのデスクトップアイコンを反転表示したときは、メールの題名や感情お知らせメールのアイコンが表示されます。
メールの題名に含まれる絵文字や、感情お知らせメールのアイコンを3Dアニメーションで表示するように設定します。

- 題名は最大で全角22文字、半角44文字まで表示されます。
- 感情お知らせメールのアイコンについて→P.149

新着メール
（「ON」に設定した場合の表示例）

新着メール
（「OFF」に設定した場合の表示例）

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ディスプレイ」▶「新着お知らせ3D表示」▶「ON」

■ 3Dアニメーションで表示しない場合
▶「OFF」

おしらせ

- 保存先のフォルダがロック設定中の場合、感情お知らせメールのアイコンや絵文字の3Dアニメーションおよび題名は表示されません。
- 新着メール、新着メッセージの題名が「無題」の場合やSMSの場合は、デスクトップアイコンを反転表示すると、メールの内容に合わせた感情お知らせメールのアイコンを3Dアニメーションで表示し、「新着メールあり」「新着メッセージあり」を表示します。

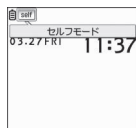
待受画面の表示アイコンを選択できるようにする 〈表示アイコン設定〉

待受画面上のアイコンや日付表示、時刻表示を[十字キー]で選択できるようにするかしないか（ON、OFF）を設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ディスプレイ」▶「表示アイコン設定」▶「ON」または「OFF」

表示アイコンを選択する

1 待受画面表示中▶[■]▶[十字キー]でアイコンを反転

反転したアイコンのタイトルが表示されます。

2 [■]［選択］

選択したアイコンの設定画面などが表示されます。

■選択できるアイコン

アイコン	選択後の表示内容
[電池][温度]	「画面デザイン」を表示
[電波][圏外]	「画面デザイン」を表示
self	「セルフモード」の解除画面を表示
[メール][メール]	未読メールの一覧を表示
[受信BOX]	「受信BOX」を表示
R F	「メッセージR」「メッセージF」を表示
R/F	「メッセージR」「メッセージF」の選択画面を表示
[メール]	未読メールの一覧を表示
[問い合わせ][R][F]	「iモード問い合わせ」を実行
[ロック][ロック]	「ロック機能選択画面」を表示
[iコンシェル]	「iコンシェル画面」を表示
[iアプリコール]	「iアプリコール履歴」を表示
[Bluetooth][Bluetooth]	「Bluetooth メニュー画面」を表示

音／画面／照明設定

アイコン	選択後の表示内容
	「USBモード設定」を表示
	「バイブレータ」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示
	マナーモードでないとき：「着信音量」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示 **マナーモード、スーパーサイレントのとき**：設定できないことを通知するメッセージを表示 **オリジナルマナーのとき**：「オリジナルマナー」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示
	「マナーモード選択」を表示
	「マナー解除時間設定」を表示
	「マナー起動時間設定」を表示
	「スケジュール」「アラーム」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」の選択画面を表示
～	「留守番メッセージ再生」を表示、または伝言メッセージ再生の確認画面を表示
～ ～	録音されていないことを通知するメッセージを表示。または「音声メモの再生／消去」を表示
	録画されていないことを通知するメッセージを表示。または「動画メモの再生／消去」を表示
	「プライバシーアングル」を表示
	「キー操作ロック」を表示
	「ICカードロック設定」の解除画面を表示
日付	「スケジュール」を表示 時計設定をしていないときは「メイン時計設定」を表示
メイン時計	「アラーム」を表示 時計設定をしていないときは「メイン時計設定」を表示
サブ時計	「サブ時計設定」を表示
	起動しているタスクを切り替えて表示

きせかえツールを設定する
〈きせかえツール設定〉

画面や着信音など、FOMA端末のさまざまなデザインをきせかえツールパッケージで一括設定します。

●お買い上げ時は本体色に対応した「neon」「tartan」「composite」「amadana signature」のほか、「ダイレクトメニュー」「拡大メニュー」が登録されています。

●きせかえツールパッケージは、サイトからダウンロードすることもできます。→P.190
ダウンロードしたパッケージはデータBOXに保存され、内容を確認することができます。→P.298

■一括設定できる項目
- 「画面表示設定」
- 「着信音選択」
- 「時刻アラーム音設定」
- 「メニュー画面設定」－「テーマ」
- 「待受時計表示」
- 「画面デザイン※」
- 「ｉチャネル」－「ｉチャネル設定」－「テロップカラー設定」
- ミュージックプレーヤーの「プレーヤー画面変更」
- 「着信イルミネーション」－「着信イルミネーション選択」
- 「タッチセンサー設定」－「バックライト」
- 「スライド音」－「オープン音」／「クローズ音」－「メロディ」
- 「ボタンイルミネーション」－「オープン」／「クローズ」
- 「ボタンバックライト」

※：「ソフトキー」の設定は「 」が付いたデータでのみ行えます。

●2in1設定時は、待受画面、音声電話／テレビ電話の着信画面・着信音・着信イルミネーション、メール着信音・着信イルミネーションの変更はAモードにのみ反映されます。その他の変更はすべてのモードに反映されます。

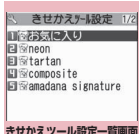
●きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また機能に割り当てられているメニュー番号（P.422）が適用されないものがあります。

パッケージを設定する

●一括設定する前に、現在の設定内容を「お気に入り」に登録しておくと、後でその設定に戻すことができます。→P.114

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「きせかえツール設定」

きせかえツール設定一覧画面

機能メニュー➡P.114

2 項目を選択▶「YES」

お買い上げ時、「お気に入り」は未登録です。

■ 設定内容を確認する場合

▶項目を反転▶✉［詳細］▶項目を反転▶✉［デモ］

■ ｉモードでパッケージを検索する場合

▶「ｉモードで探す」▶「YES」

おしらせ

●変更される項目は、パッケージによって異なります。

●パッケージを設定すると、発着信番号表示設定の色が変更される場合があります。

機能 きせかえツール設定一覧画面（P.114）

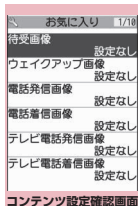
タイトル編集、現在の設定情報確認

設定情報リセット……「お気に入り」の設定内容を消去します。

現在の設定を「お気に入り」に登録する

1 きせかえツール設定一覧画面（P.114）▶「お気に入り」を反転▶✉［詳細］

コンテンツ設定確認画面

機能メニュー➡P.114

2 ch［機能］▶「現在の設定情報取得」▶「YES」

●「お気に入り」の項目を設定変更する

「お気に入り」に登録した項目はコンテンツ設定確認画面の各項目から設定変更します。

1 コンテンツ設定確認画面（P.114）▶項目を選択▶設定を変更

おしらせ

●「ｉアプリ待受画面」の設定内容は、「お気に入り」の「待受画像」に登録されません。

●「お気に入り」に登録された画像やｉモーション、メロディなどが削除された場合、「お気に入り」の登録内容から消去され「設定なし」と表示されます。

機能 コンテンツ設定確認画面（P.114）

一括設定※1**、設定を反映**※2……現在の表示内容で一括設定します。

現在の設定情報取得※2……現在の各項目の設定情報を取得し、「お気に入り」に登録します。

設定情報リセット※2……「お気に入り」に登録されている内容を消去し、すべて「設定なし」にします。

※1：「ダイレクトメニュー」「拡大メニュー」およびサイトからダウンロードしたきせかえツールパッケージ（　）でのみ利用できます。

※2：「　」が付いたデータの場合に表示されます。

あんしん設定

■暗証番号

■携帯電話の操作や機能を制限する

■発着信や送受信を制限する

■その他の「あんしん設定」

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.117

端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、■［確定］を押します。

設定リセット
端末暗証番号は？

- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されます。

■ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「各種お申込・お手続き」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、ｉモードからは、お客様サポート内の「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

※「My docomo」「各種お申込・お手続き」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

■ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります（このほかにも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。

ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

ｉモードから変更される場合は、ｉ▶「ｉ Menu」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ｉモードパスワード変更」から変更ができます。

■PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。

これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.117

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。

PIN1コード入力設定を「ON」にした場合、PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

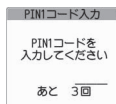
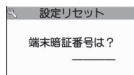
PIN2コードは、積算料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

※新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

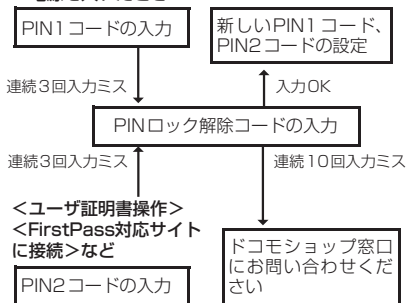
PIN1コードまたはPIN2コードの入力画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、■［確定］を押します。

PIN1コード入力
PIN1コードを
入力してください
あと 3回

例：PIN1コード

- 入力した PIN1 コード／ PIN2 コードは「_」で表示されます。
- 3回誤った PIN1 コード／ PIN2 コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります（入力可能な残りの回数が画面に表示されます）。正しいPIN1コード／PIN2コードを入力すると入力可能な回数が3回に戻ります。

■PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

●PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

端末暗証番号を変更する 〈端末暗証番号変更〉

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ロック／セキュリティ」▶「端末暗証番号変更」▶現在の端末暗証番号を入力▶新しい4～8桁の端末暗証番号を入力▶「YES」

PINコードを設定する 〈PIN設定〉

FOMAカードのPIN1コード、PIN2コードを設定します。PIN1コード・PIN2コードについて→P.116

●PIN1コード、PIN2コード、およびPIN1コード入力設定はFOMAカードに記憶されます。

●PIN1コードを変更する場合は、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておいてください。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ロック／セキュリティ」▶「PIN設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

PIN1コード変更……現在のPIN1コード（4～8桁）を入力後、新しいPIN1コードを2回（うち1回は確認のため）入力します。

PIN2コード変更……現在のPIN2コード（4～8桁）を入力後、新しいPIN2コードを2回（うち1回は確認のため）入力します。

PIN1コード入力設定……電源を入れたときにPIN1コードを入力するかどうか（ON、OFF）を設定します。

PINロックを解除する

PIN1コード、PIN2コードの入力を続けて3回誤った場合は、PIN1コード、PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード、PIN2コードを設定する必要があります。

<例：PIN1コードのロックを解除する場合>

1 8桁のPINロック解除コードを入力

PINﾛｯｸ解除ｺｰﾄﾞ入力
PIN1コードが
ロックされました
PINﾛｯｸ解除ｺｰﾄﾞを
入力してください
あと10回

2 4～8桁の新しいPIN1コードを入力▶新しい4～8桁のPIN1コードを再度入力

ほかの人が使用できないようにする 〈ダイヤルロック／おまかせロック〉

ほかの人が使用できないようにロックを設定する方法は、FOMA端末を操作して行う「ダイヤルロック」と遠隔操作で行う「おまかせロック」があります。

- ダイヤルロック、おまかせロックは電源を切っても解除されません。

● ダイヤルロック／おまかせロック設定中に利用できる操作や機能

機能	ダイヤルロック	おまかせロック
電源を入れる／切る	○	○
緊急通報番号（110番、119番、118番）に電話をかける	○	×
ダイヤルロックを設定／解除する	○	×
おまかせロックを設定／解除する	○	○
音声電話、テレビ電話の着信を受ける※	○	○
電話帳お預かりサービスの更新を受ける	○	×

○：利用できます。×：利用できません。

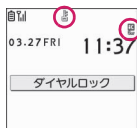
※：公共モード（ドライブモード）設定中は、着信を受けることができません。

- ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームは通知されません。ダイヤルロック／おまかせロックを解除後、「（未通知アラームあり）」「（未視聴予約あり）」「（予約録画終了あり）」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、デスクトップアイコンは表示されなくなります。ダイヤルロック／おまかせロック解除後、アイコンが再び表示されます。
- 電話帳に登録されている相手からの着信でもダイヤルロック／おまかせロック設定中は電話番号だけが表示されます。

ダイヤルロックを設定する

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶端末暗証番号を入力▶「ダイヤルロック」**

● ダイヤルロック設定中の動作について

- ディスプレイに「ダイヤルロック」と「」「」が表示されます。同時にICカードロックも「ON」となり、ICカード機能も利用できなくなります（ICカード認証機能でダイヤルロックの解除はできます）。
- ダイヤルロック設定中にメッセージR／F、iモードメール、SMS、チャットメールの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。ダイヤルロック解除後、受信したことを示すアイコンが待受画面に表示されます。
  - エリアメールの自動受信と内容表示はできます。

ダイヤルロックを解除する

- ダイヤルロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度電源を入れることはできます。

1 **ダイヤルロック設定中の画面で端末暗証番号を入力▶■**

ダイヤルロックが解除されて「」「」の表示が消えます。

■ ICカード認証機能で解除する場合→P.127

おしらせ

- ダイヤルロックを解除するときに、間違った端末暗証番号を入力してもエラーメッセージは表示されません。を押し、再度正しい端末暗証番号を入力してください。

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申し込み時におまかせロックがかからない場合で1年以内に通信が可能になったときは、自動的にロックがかかります。ただし、回線解約・休止・改番・movaへの契約変更を行った場合は1年以内であっても自動的にロックはかかりません。お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合や、ドコモプレミアクラブ会員のお客様は無料になります。また、ケータイあんしんパックご契約の場合、ケータイあんしんパック定額料金内でご利用いただけます。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360 受付時間24時間
※パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

※おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● おまかせロック設定中の動作について

- ディスプレイに「おまかせロック中です」と表示します。

- おまかせロック設定中は、音声電話、テレビ電話の着信に対する応答と電源を入れる／切るの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能（ICカードを含む）を使用することができなくなります。
- 音声電話、テレビ電話の着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている氏名、画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。
- おまかせロック設定中に受信したメールはｉモードセンターに保管されます。エリアメールは破棄されます。
- 電源を入れる／切ることはできますが、電源を切ってもおまかせロックは解除されません。
- FOMAカードやmicroSDカードにはロックがかかりませんので、予めご了承ください。

おしらせ

- ほかの機能が動作中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます（編集中のデータがある場合は編集中のデータを破棄して終了することがあります）。

おしらせ

- ほかのロック機能が設定中でも、おまかせロックをかけることができます。この場合、おまかせロックを解除すると、おまかせロック設定前のロック状態に戻ります（ただしシークレットモード／シークレット専用モードは解除されます）。
- 「圏外」やセルフモード中、電源を切っているときはロックがかかりません。その他お客様の利用方法などにより、ロックがかからない場合があります。
- 「デュアルネットワークサービス」をご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックがかかりません。
- ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- おまかせロックを解除しようとしたときにFOMA端末が音声通話中またはテレビ電話中の場合は、通話終了後にロックが解除されます。

電話帳やスケジュールのデータを表示できないようにする 〈シークレットモード／シークレット専用モード〉

シークレットモードまたはシークレット専用モードで電話帳やスケジュールを登録すると、シークレットデータになり、通常のモードでは表示されなくなります。表示するときは、シークレットモード（シークレットデータも含めたすべてのデータを表示）か、シークレット専用モード（シークレットデータのみを表示）にします。

- ほかの人に見られたくない「マイピクチャ」や「ｉモーション」「受信メール」「送信メール」「Bookmark」の各データを、シークレットフォルダに保管することもできます。→P.121

シークレットモード／シークレット専用モードにする

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレットモード」または「シークレット専用モード」▶端末暗証番号を入力

シークレットモードに設定すると「S」が表示されます。

シークレット専用モードに設定すると「S」が点滅表示され、シークレットデータ登録件数が約2秒間表示されます。

ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.26

● シークレットデータの登録・表示と、通常のデータへの戻しかた

- FOMAカードにはシークレットデータとして電話帳を登録できません。

■電話帳やスケジュールをシークレットデータとして登録するには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにして登録します。

電話帳の登録のしかた→P.81

スケジュールの登録のしかた→P.354

■登録済みの電話帳をシークレットデータにするには

電話帳詳細画面の機能メニューから「シークレット設定」を選択します。

※ 直デンに登録されている電話帳を、シークレットデータにすると、直デンから削除されます。

■シークレットデータを表示するには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにし、電話帳やスケジュールを表示します。

電話帳の検索のしかた→P.83

スケジュールの確認のしかた→P.355

■シークレットデータを通常のデータに戻すには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにしてから、「電話帳詳細画面」(P.83)、「スケジュール一覧画面／詳細画面」(P.355)を表示し、機能メニューから「シークレット解除」を選択します。

シークレットモード／シークレット専用モードを解除する

1 シークレットモード、シークレット専用モード中の待受画面で[終話]

シークレットモード、シークレット専用モードが解除され、「S」の表示が消えます。

他の機能が起動している場合は解除できません。

MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ロック／セキュリティ」▶「シークレットモード」または「シークレット専用モード」でも解除できます。

おしらせ

- シークレットモード中に、一覧画面でシークレットデータを反転したとき、またはシークレットデータを詳細表示したときは、点灯している「S」が点滅に変わります。
- シークレットデータとして登録した「スケジュール」は通常のモードでもアラーム通知は行いますが、アラームメッセージは表示されません。
- シークレットデータとして登録した相手が電話番号を通知して電話をかけてきた場合、登録されている名前や画像は表示されず電話番号が表示されます。また通常のモードでは「着信履歴」にも名前は表示されません。
- シークレットデータとして登録した相手がメールを送ってきたときは、通常のモードでは「受信結果画面」やデスクトップ上に「✉」「メール」は表示されず、メールの着信音も鳴りません。
- シークレットデータとして登録した相手からのメールは、本機能に関係なく「受信アドレス一覧」にメールアドレスは記憶されません。シークレット専用モードのときに通常のデータとして登録した相手からのメールは記憶されます。
- シークレットデータとして登録した相手からのメールは、シークレットモードまたはシークレット専用モードを解除していると表示されません。また、シークレットデータとして登録した相手に送ったメールも同様です。
- シークレットモード中に「電話帳」や「スケジュール」を修正した場合、修正したデータはシークレットデータになります。なお、電話帳を修正した場合は、修正したメモリ番号に登録されているすべての情報がシークレットデータになります。
- 「ダイヤルロック／おまかせロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合は、「ダイヤルロック／おまかせロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。

おしらせ

- シークレットデータとして登録された電話帳を呼び出して電話をかけたりメールを送信した場合は、「リダイヤル」や「発信履歴」「送信アドレス一覧」には記憶されません。
- シークレットデータとして登録した「電話帳」は、誕生日お知らせを行いません。

各種データを表示できないようにする 〈シークレットフォルダ〉

ほかの人に見られたくない画像やｉモーション、メールなどの各データを、シークレットモードおよびシークレット専用モードでのみ表示されるシークレットフォルダに保管します。

- FOMA端末に保存されているデータのみ保管できます。
- 各フォルダ内のシークレットフォルダに保管できるデータの最大件数は次のとおりです。

マイピクチャ	ｉモーション	受信メール
約100件（約2Mバイト）	約10件（約10Mバイト）	約100件（約1.2Mバイト）
送信メール	**ｉモードのBookmark**	**フルブラウザのBookmark**
約100件（約1.2Mバイト）	約10件（約3Kバイト）	約10件（約6Kバイト）

※ 1件あたりのデータ容量によって最大件数まで登録できない場合があります。

<例：マイピクチャの画像をシークレットフォルダに保管する場合>

1 シークレットモードまたはシークレット専用モードにする→P.119

2 画像一覧画面（P.300）▶ で画像の囲み枠を移動▶ch［機能］▶「シークレットに保管」

おしらせ

- シークレットフォルダはFOMA端末にあらかじめ用意されています。シークレットフォルダの追加や削除、フォルダ名の変更はできません。

<受信メール><送信メール>

- シークレットフォルダに保管されているチャットメールは、シークレットモード／シークレット専用モード中でも、チャット画面には表示されません。

おしらせ

- シークレットフォルダに保管されているSMSの送達通知を受信した場合、SMSの詳細画面の機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択できません。メールをシークレットフォルダから出すと選択できるようになります。

<デスクトップアイコン>

- デスクトップアイコンとして貼り付けた画像、動画、ｉモーションをシークレットフォルダに保管すると、デスクトップアイコンを選択しても表示されなくなります。
- デスクトップアイコンとして貼り付けたBookmark、受信メール、送信メールをシークレットフォルダに保管しても、デスクトップアイコンを選択したときは通常の動作となります。

● シークレットフォルダの機能メニューについて

シークレットフォルダでは、フォルダやフォルダ内のデータに対して、行える機能は制限されています。フォルダ一覧画面、データ一覧画面、データ詳細画面の各画面で操作できる機能は以下のとおりです。「シークレットから出す」については「シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す」（P.122）をご覧ください。

■フォルダ一覧画面でシークレットフォルダが反転しているときの機能メニュー

マイピクチャ（P.331）	ｉモーション（P.331）
フォルダ追加 赤外線全送信※1 画像全削除※1 保存容量確認	フォルダ追加 赤外線全送信※1 動画全削除※1 保存容量確認
受信メール／送信メール（P.159）	**Bookmark（P.185）**
フォルダ追加 保存件数確認※1 フォルダ内表示 ｉC全送信※1 赤外線全送信※1 microSDへ全コピー※1 既読メール全削除※1※2 受信メール全削除※1※3	フォルダ追加 登録件数確認※1 ｉC全送信※1 赤外線全送信※1 microSDへ全コピー※1 Bookmark全削除※1

※1：シークレットフォルダ内のデータは対象となりません。
※2：受信BOXフォルダ一覧画面のみ利用できます。
※3：送信BOXフォルダ一覧画面のときは「送信メール全削除」になります。

あんしん設定

■データ一覧画面の機能メニュー

マイピクチャ（P.303）	iモーション（P.309）
イメージ表示 イメージ情報 保存容量確認 タイトル名一覧※1 削除 シークレットから出す	iモーション情報 保存容量確認 一覧表示切替 削除 シークレットから出す
受信メール／送信メール（P.161）	**Bookmark（P.186）**
色分け 一覧表示切替 保護※2 保護解除※2 保護／保護解除※3 全保護解除※3 メール情報※2 保存件数確認 削除 シークレットから出す	登録件数確認 削除 シークレットから出す

※1：タイトル名一覧のときは「ピクチャ一覧」になります。
※2：受信メール一覧画面のみ利用できます。
※3：送信メール一覧画面のみ利用できます。

■データ詳細表示画面の機能メニュー

マイピクチャ（P.303）	iモーション（P.262）
イメージ情報 画像表示設定 全画面モード※1 リトライ 1件削除 アイコン常時表示設定	動作設定 再生メニュー 詳細情報 ファイル選択 ヘルプ
受信メール／送信メール（P.162）	
保護／保護解除 クイック検索※2 スクロール設定 文字サイズ設定 削除 シークレットから出す	

※1：全画面モードのときは「通常モード」と表示されます。
※2：受信メール詳細画面のみで利用できます。

シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す

シークレットデータを通常のデータに戻すにはシークレットフォルダから別のフォルダに移動します。

<例：マイピクチャのシークレットフォルダの画像を通常のデータに戻す場合>

1 シークレットモードまたはシークレット専用モードにする→P.119

2 フォルダ一覧画面（P.300）▶「シークレット」▶[方向キー]で画像の囲み枠を移動▶[ch]［機能］▶「シークレットから出す」

3 保存するフォルダを選択

おしらせ

- シークレットフォルダ内のメールをシークレットフォルダから出すと通常のメールに戻りますので、日付の古いメールは他のメールを受信または送信したときなどに削除される場合があります。

個人情報の表示や電話・メールの操作をできないようにする 〈オリジナルロック〉

メールや電話帳などの個人情報を利用する機能にロックをかけて、ほかの人にそれらの情報を見られたり、不正に書き換えられたりすることを防ぎます。また、音声電話やテレビ電話の発着信を制限したり、iモードメールやSMSの送信を制限します。

- ロック対象の機能やデータはオリジナルロック（高）、（中）、（低）に個別に登録できますので用途・目的に応じて使い分けることができます。
- ロックは電源を切っても解除されません。
- オリジナルロックの対象となる機能や項目、データは**別表1**（P.124）のとおりです。各グループごと、項目ごとにロック対象とするかどうかを設定（カスタマイズ）できます。→P.123

オリジナルロックを有効にする

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶端末暗証番号を入力**

ロック
1ダイヤルロック
2オリジナルロック(高)
3オリジナルロック(中)
4オリジナルロック(低)
5OFF

ロック機能選択画面

2 **オリジナルロック(高)～(低)を選択**

ロックが有効になり、ロック対象の機能やデータにロックがかかります。

画面には「」が表示されます。

ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.26

■ **ロックする機能やデータをカスタマイズする場合→P.123**

■ **タイトルを編集する場合**

▶オリジナルロック（高）～（低）を反転▶ch［機能］▶「タイトル編集」▶タイトルを入力

■ **オリジナルロックを解除する場合**

▶「OFF」

● オリジナルロック設定中の操作について

オリジナルロック設定中にロック対象の機能やデータを利用しようとすると、端末暗証番号の入力が求められます。

- 端末暗証番号を入力すると一時的にロックが無効になり、ロック対象の機能やデータを利用できるようになります（「発信・メール送信」と「着信・メール受信表示」の機能は一時解除して利用することはできません）。起動中の機能を終了して待受画面に戻ると、再度ロックが有効になります。

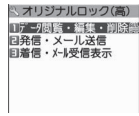
ロックする機能やデータをカスタマイズする

- たとえば「電話帳だけをロックする」「電話とメール発信だけを制限したい」といった設定をオリジナルロック（高）～（低）に個別に登録できますので用途・目的に応じて使い分けることができます。
- ロック対象の設定（カスタマイズ）は、**別表1**（P.124）のようにカテゴリ、グループ、機能ごとに行います。

1 **ロック機能選択画面（P.123）▶オリジナルロック（高）～（低）を反転▶✉［詳細］**

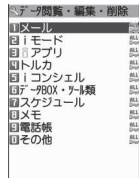
カテゴリ内のいずれかの項目がロック対象になっている場合は「」が、すべての項目がロック対象になっている場合は「ALL」が付いて表示されます。

カテゴリー覧画面

- ch［機能］から「グループ選択／解除」や「全グループ選択／解除」ができます。

2 **設定変更したいカテゴリを選択**

グループ内のいずれかの項目がロック対象になっている場合は「」が、すべての項目がロック対象になっている場合は「ALL」が付いて表示されます。

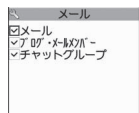
グループ一覧画面

- ch［機能］から「グループ選択／解除」や「全グループ選択／解除」ができます。

3 **設定変更したいグループを選択**

4 **で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］**

チェックを付けた（☑にした）項目が、ロック対象となります。

- ch［機能］から「全選択／解除」ができます。

メール
☐メール
☑ブログ・メールメンバー
☑チャットグループ

機能一覧画面

5 **✉［完了］▶✉［完了］▶■［確定］**

カテゴリによっては✉［完了］を押す回数が異なります。

あんしん設定

[別表1] オリジナルロックの対象となる機能やデータについて

グループ	機能	ロック中の動作／注意事項
データ閲覧・編集・削除		
メール	メール	メールの起動をロックします。 • エリアメールの内容表示はできます。
	ブログ･メールメンバー チャットグループ	各機能の起動をロックします。
iモード	iモード	iモード機能（iモードやフルブラウザ、iチャネルなど）の起動をロックします。 • クイック検索の利用はできません。
	Bookmark	ブックマーク機能（iモード、フルブラウザ）の起動をロックします。
iアプリ	iアプリ	iアプリ機能の起動、ICカード一覧、iウィジェット画面の表示をロックします。 • ICカード機能はロックされません。 • iアプリ待受画面は表示されません。
トルカ	トルカ	トルカフォルダ一覧画面の表示をロックします。 • ロック中でも読み取り機からトルカを取得できます。
iコンシェル	iコンシェル	iコンシェルの起動をロックします。
データBOX・ ツール類	マイピクチャ ミュージック iモーション メロディ ワンセグ録画データ きせかえツール マチキャラ マイドキュメント PC動画 マンガ・ブックリーダー キャラ電 ドキュメントビューア おしゃべり機能	各機能の起動をロックします。 • ほかの機能からもデータを呼び出せません。 • ロック対象となるデータを着信音や着信画面などに設定していると、ロック中はお買い上げ時の設定で動作します（待受画面、ウェイクアップ表示に設定している画像やiモーションは、ロック中も表示されます）。 •「マイピクチャ」または「キャラ電」がロック対象になっている場合、ロック中にテレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。 •「マチキャラ」がロック対象になっている場合でも待受画面のマチキャラは表示されます。
	Music&Videoチャネル カメラ バーコードリーダー テキストリーダー	各機能の起動をロックします。 • ロック中でもMusic&Videoチャネルの番組はダウンロードします。
スケジュール	スケジュール アラーム To Doリスト	各機能の起動をロックします。 • ロック中はアラーム通知を行わず「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが表示されます。
メモ	音声メモの再生／消去 動画メモの再生／消去	各機能の起動をロックします（伝言メモを設定することはできます）。
	待受中音声メモ 通話中音声メモ	各機能の起動をロックします。 • 音声メモの再生／消去はロックされません（「メモの再生／消去」にロックを設定してください）。
電話帳	電話帳／直デン	電話帳、直デンの起動をロックします（電話帳参照などあらゆる機能に影響があります）。 • ロック中は発着信履歴やメール一覧画面などでも、登録されている名前は表示されません。電話番号やメールアドレスが表示されます。 •「着もじ」の「メッセージ表示設定」が「電話帳登録番号のみ」に設定されていると、着もじは表示されません。 •「登録外着信拒否」と同時に設定することはできません。 •「指定着信拒否」「指定着信許可」「指定転送でんわ」「指定留守番電話」の設定は無効になります。

グループ	機能	ロック中の動作／注意事項
電話帳	マイプロフィール	マイプロフィールの起動をロックします。
	発信履歴	「発信履歴」「リダイヤル」「送信アドレス一覧」の起動をロックします。
	着信履歴	「着信履歴」「受信アドレス一覧」の起動をロックします。
その他	テキストメモ	テキストメモの起動をロックします。
	通話料金通知	設定した上限料金を超えても待受画面やアラームなどで通知を行いません。 • ロックを解除すると、「通話料金通知」のデスクトップアイコンが表示されます。
	着もじ	着もじの編集や設定、着もじ送信時の「メッセージ選択」「送信メッセージ履歴」の機能をロックし、着もじは表示されません。 • 着もじを送信したり受信することはできます。
発信・メール送信		
ダイヤル発信	ダイヤル発信	電話番号の直接ダイヤルによる発信および電話帳未登録の相手へのリダイヤル／発信履歴／着信履歴からの発信をロックします。 • 電話帳の新規登録や編集などの操作はできません（FOMAカード、microSDカード含む）。 • 緊急通報番号（110番、119番、118番）には電話をかけることができます。
メール送信	メールアドレス直接入力	宛先の直接入力によるｉモードメールやSMSの送信をロックします（電話帳に登録されていない相手へのリダイヤル／発信履歴／送信アドレス一覧／着信履歴／受信アドレス一覧からのメールやSMSの作成を禁止します）。 • 電話帳の新規登録や編集などの操作はできません（FOMAカード、microSDカード含む）。 •「自分」を除くチャットメンバーはすべて削除されます。 • 保存BOX内にあるメールの宛先が削除されます。また、宛先しか入力されていないメールは削除されます。
	メール送信	ｉモードメール、SMSの送信、チャットメールの起動をロックします。
着信・メール受信表示		
着信		電話、パケット通信の着信を拒否します（不在着信履歴として記憶されます）。 • ロックを解除すると「不在着信あり」のデスクトップアイコンが表示されます。
メール／メッセージ受信表示		メッセージR／F、ｉモードメール、チャットメール、SMS、ｉコンシェルのインフォメーションの自動受信はできますが、受信中画面および受信結果画面は表示されません。着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。 • エリアメールの自動受信と内容表示はできます。 • ロックを解除すると「新着メールあり」などのデスクトップアイコンが表示されます。 • チャットメールの起動をロックします。

※ ロック対象となるデータを「デスクトップアイコン」として待受画面に貼り付けている場合、ロック中はそのデスクトップアイコンは表示されません。

ボタン操作をロックする
〈キー操作ロック〉

FOMA端末を閉じたときや何も操作しない状態が一定時間経ったときに、ボタン操作ができないようにします。またお買い上げ時は、FOMA端末を閉じた状態で、サイドボタン（1秒以上）を押すと、ロックがかかるように設定されています。

- キー操作ロック時に、イルミネーションランプが青色で点滅します。
- キー操作ロックは電源を切っても解除されません。
- 「クローズ時」「タイマー」のどちらかを「ON」にすると、電源を切ったときにキー操作ロックがかかります。

キー操作ロックを設定する

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ロック／セキュリティ」▶「キー操作ロック」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

クローズ時……FOMA端末を閉じたときに自動的にロックをかけるかかけないか（ON、OFF）を設定します。

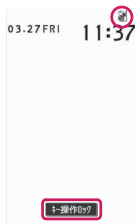
タイマー……「OFF、1分後ON、5分後ON、15分後ON、30分後ON」から選択します。たとえば、「5分後ON」に設定すると、FOMA端末を何も操作しない状態が5分間続くと、自動的にロックがかかります。「OFF」を選択するとタイマーは無効になり、ロックはかかりません。

ロックキー……FOMA端末を閉じたまま（待受画面表示中）（1秒以上）を押してロックをかけるようにするかしないか（ON／OFF）を設定します。

端末暗証番号有無……キー操作ロック解除時に端末暗証番号入力を必要とするかどうか（あり／なし）を設定します。

［完了］

● キー操作ロック中の動作について

- 「クローズ時」「タイマー」「ロックキー」のいずれかを「ON」にすると、キー操作ロックが設定され、ディスプレイに「 」が表示されます。
  キー操作ロックがかかるとディスプレイに「ｷｰ操作ﾛｯｸ」が表示されます。キー操作ロック解除中は「ｷｰ操作ﾛｯｸ」が消えます。
- 音声電話、テレビ電話の着信に対する応答、電源を入れる／切る、ICカード認証機能の利用を除くすべてのボタン操作ができなくなります。
- ｉコンシェルのインフォメーション受信時のポップアップメッセージは表示されますが選択はできません。
- 「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームは通知されます。
- 電話着信時やアラーム通知時など、キー操作ロック中でも操作可能な場合はファンクション表示の下に「 」が表示されます。
- 「端末暗証番号有無」が「あり」の場合、メッセージR／F、ｉモードメール、SMS、チャットメールの着信動作は行われますが、内容の閲覧やメール読み上げ機能の利用はできません。
  - エリアメールの自動受信と内容表示はできます。

おしらせ

- 「端末暗証番号有無」が「あり」の場合でも端末暗証番号を入力することなく、緊急通報番号（110番、119番、118番）には直接ダイヤルして音声電話をかけることができます。
- 通話中、メロディ／ｉモーション／ミュージックの再生中、カメラ起動中、クイックアルバム表示中、フォトスライドショー表示中などロックがかからない場合もあります。

キー操作ロックを一時解除する

●「端末暗証番号有無」が「なし」の場合

<FOMA端末を閉じている場合>

1 **FOMA端末を開く**
（1秒以上）でも解除できます。

<FOMA端末を開いている場合>

1 [ ]
いったん閉じてから開いても解除できます。

●「端末暗証番号有無」が「あり」の場合

1 **FOMA端末を開いた状態で端末暗証番号を入力▶■**

■ ICカード認証機能を利用して一時解除する場合→P.128

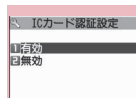
ICカード認証機能を利用する
〈ICカード認証設定〉

FeliCa に対応した非接触ICカード（外部ICカード）に重ね合わせるだけで、ダイヤルロックやキー操作ロックを解除したり、端末暗証番号の入力が必要な画面で、暗証番号を入力せずにユーザ認証ができるようにします。

- ICカードロック設定中でも、ICカード認証機能を利用することができます。
- 非接触ICカードを2枚まで登録できます。

ICカード認証機能を有効にする

非接触ICカードを登録してユーザ認証ができるように設定します。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ロック／セキュリティ」▶「ICカード認証設定」▶端末暗証番号を入力**

ICカード認証設定画面

機能メニュー➡P.127

2 **「有効」▶「OK」**

■ **登録済みの非接触ICカードを有効にする場合**
▶「有効」

■ **ICカード認証機能を無効にする場合**
▶「無効」▶「YES」または「NO」
登録されている非接触ICカードのデータをすべて削除する場合は「YES」を、削除しない場合は「NO」を選択します。

3 **非接触ICカードをFOMA端末のマークに重ね合わせる**
登録されると「」が消えます。

機能 ICカード認証設定画面（P.127）

外部ICカード登録……非接触ICカードのデータを2枚まで登録できます。2枚登録済みの場合は、古いデータを削除して登録します。

外部ICカード削除

ICカード認証機能を利用する

<例：ダイヤルロック、キー操作ロックを解除する場合>

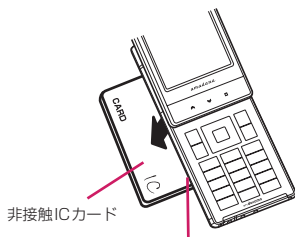
1 ダイヤルロック設定中、キー操作ロック中にFOMA端末を開く

ディスプレイに「 」が表示されて約10秒間、ユーザ認証が可能な状態になります。待受画面表示中に[ ][IC認証]を押しても同じ状態になります。

■ FOMA端末を閉じたまま解除したいとき

▶ （1秒以上）を押すと約10秒間、ユーザ認証が可能な状態になります。

2 非接触ICカードをFOMA端末の マークに重ね合わせる

ユーザ認証が正しく行われるとロックが解除されます。

非接触ICカードとFOMA端末を手に持ち、FOMA端末背面の マークを重ね合わせる

※イラストのように重ね合わせてください。ICカードによっては認識しにくい場合があります。その場合は上下左右にずらしてください。

■ 端末暗証番号入力時に利用する場合

端末暗証番号の入力画面が表示されると「 」が表示され、約10秒間ユーザ認証が可能な状態になります。その間に本機能で登録した非接触ICカードをFOMA端末の マークに重ね合わせるとユーザ認証が行われます。

おしらせ

- FeliCa に対応した非接触カードでも、カードによっては本機能を利用できない場合があります。
- ICカード認証機能を利用するときは、非接触ICカードとFOMA端末を手に持って行ってください。
- 認証に5回連続して失敗するとICカード認証機能は使用できなくなり、認証は端末暗証番号のみになります。その後、端末暗証番号による認証が正常に行われた場合は、再度ICカード認証機能を利用できるようになります。

メールを無断で表示できないようにする 〈BOXロック／フォルダロック〉

ほかの人にメールの内容を無断で見られないように受信BOX、送信BOX、保存BOXやそれぞれのフォルダにロックをかけ、端末暗証番号を入力しないと開けなくします。

- 受信BOX、送信BOXにロックをかけると送受信BOXにもロックがかかります。
- 端末暗証番号を入力するとメールのタスクを終了させるまで有効ですので、その間はロックがかかっていても端末暗証番号を入力せずに開くことができます。
- ロックをかけたBOXには、「 」などのアイコンが表示されます。
- ロックをかけたフォルダは、フォルダ一覧画面で先頭に表示されるアイコンが「 」「 」などの表示になります。
- BOX やフォルダにロックを設定すると、ロック対象のメールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

BOX別にロックを設定する

1 ▶「メール設定」▶「BOXロック」▶端末暗証番号を入力

2 で□（チェックボックス）を選択

3 ［完了］

フォルダ別にロックを設定する

1 メールフォルダ一覧画面（P.155、156）▶ロックを設定するフォルダを反転▶ ch ［機能］▶「フォルダロック」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

■ 解除する場合

▶操作1を再度行う

あんしん設定

指定した電話番号の着信や発信を制限する 〈個別発着信動作選択〉

私用電話を防止したり、迷惑電話を防止するために、電話帳に登録されている電話番号ごとに電話の発信や着信を制限します。

- 電話番号はそれぞれ20件まで指定できます。
- FOMAカードの電話帳には設定できません。
- 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。
- 指定した電話帳の電話番号を変更したり削除すると、個別発着信動作選択の各機能は解除されます（ただし、「指定発信制限」を設定した場合は電話帳の編集や削除ができません）。

電話番号に発信／着信制限機能を設定する

1 電話帳詳細画面（P.83）▶ch［機能］▶「個別発着信動作選択」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

指定発信制限……指定した電話番号以外への電話をかけられないようにします。指定した電話番号に電話をかけるときは、電話帳から発信します。

指定着信拒否……指定した電話番号からの電話を受けないようにします。

指定着信許可……指定した電話番号からの電話だけを受けるようにします。

指定転送でんわ……指定した電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始、停止の設定にかかわらず、自動的に転送するようにします。

指定留守番電話……指定した電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始、停止の設定にかかわらず、留守番電話サービスセンターに自動的に接続するようにします。

設定した機能には「★」が付きます。

■ 設定されている機能を解除する場合
▶「★」が付いている機能を選択
機能が解除されて「★」が消えます。

■ 複数の電話番号に設定したい場合
▶CLRを2回押して電話帳一覧画面に戻る▶目的の電話帳を選択▶操作1を行う
指定発信制限を設定した後に[終話]を押して待受画面に戻ると、個別発着信動作選択が続けて登録できなくなります。追加設定をする場合は、すでに設定されている電話番号の指定発信制限を解除し、解除した電話番号も含めてもう一度設定し直してください。

● 指定発信制限を設定すると

- 指定した電話番号を含むすべてのダイヤル発信、着信履歴からの発信ができなくなります。また、指定した電話番号以外の呼び出しと、電話帳の登録、修正、削除、FOMA端末（本体）とFOMAカード間でのコピー、「FOMAカード（UIM）操作」での電話帳の操作もできません。
- 設定前に記録されていたリダイヤル／発信履歴、送信アドレス一覧は削除されます。ただし、指定発信制限の設定後に記録されたリダイヤル／発信履歴からの発信や、送信アドレス一覧からのメール送信は行えます。

おしらせ

<指定発信制限>
- 指定発信制限設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には電話をかけることができます。

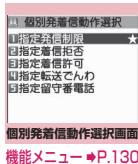
<指定着信拒否><指定着信許可>
- ｉモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合や「圏外」時、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。

<指定転送でんわ><指定留守番電話>
- 指定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから転送先に転送または留守番電話サービスセンターに接続され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 転送先が未設定の場合、「転送でんわサービス」または「留守番電話サービス」が未契約の場合は、指定した電話番号からかかってきた電話は不在着信となります。

個別発着信動作選択の設定状況を確認する

1 電話帳一覧画面（P.83）▶ch［機能］▶「個別発着信動作選択」▶端末暗証番号を入力

個別発着信動作選択画面

機能メニュー➡P.130

機能 個別発着信動作選択画面（P.130）

設定確認……機能が設定されている電話帳の一覧画面が表示されます。

設定解除……機能が解除されて「★」が消えます。

発信者番号のわからない電話を受けない 〈非通知着信設定〉

電話番号を通知してこない音声電話やテレビ電話の着信許可／拒否を、非通知理由ごとに設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ロック／セキュリティ」▶「非通知着信設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

通知不可能……海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信してきた場合の着信許可、拒否を設定します。
経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。

公衆電話……公衆電話などから発信してきた場合の着信許可、拒否を設定します。

非通知設定……発信者側の設定により発信者番号を通知しないで発信してきた場合の着信許可、拒否を設定します。

2 「許可」または「拒否」

■「許可」を選択した場合

▶「着信音」または「着信画面」

- 「着信音」は「通常着信音と同じ、メロディ、iモーション、ミュージック、おしゃべり、ランダムメロディ、OFF」から選択します（「通常着信音と同じ」を選択したときは、「着信音選択」の「電話」の設定で着信します）。
- 「着信画面」は「通常着信画面と同じ、マイピクチャ、iモーション」から選択します（「通常着信画面と同じ」を選択したときは、「画面表示設定」の「電話着信」の設定で着信します）。

■「拒否」を選択した場合

着信を拒否し、相手に話中音が流れます。

おしらせ

- 本機能で選択する着信音や着信画像は非通知の音声電話の設定です。非通知のテレビ電話がかかってきたときは、「着信音選択」の「テレビ電話」や「画面表示設定」の「テレビ電話着信」と同じになります。

おしらせ

- 「拒否」に設定しているときに非通知の電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合や「圏外」時、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。
- iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする 〈呼出時間表示設定〉

電話帳（本体またはFOMAカード）に登録されていない電話番号から着信があった場合、呼出動作が開始されるまでの時間を設定します（無音時間設定）。呼出動作が短い迷惑電話などに対し、着信履歴からの誤った発信を防ぐことができます。

- 非通知の着信があった場合や通話中に着信があった場合にも無音時間設定は動作します。
- 「登録外着信拒否」が「拒否」に設定されている場合は、「無音時間設定」を設定できません。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「着信」▶「呼出時間表示設定」▶以下の項目から選択

無音時間設定

ON……呼出動作を開始するまでの時間（01～99秒）を入力します。

OFF……呼出動作を開始するまでの時間を0秒に設定します。

時間内不在着信表示……呼出動作を開始しなかった着信の不在着信履歴やデスクトップアイコンを表示するかしないかを設定します。

おしらせ

- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、「無音時間設定」を0秒として電話番号のみを着信時に表示します。
- 無音時間が伝言メモの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信設定の呼出時間でも同様です。

電話帳未登録の相手からの電話を受けない 〈登録外着信拒否〉

電話帳（本体またはFOMAカード）に登録されていない電話番号からの着信を拒否するか許可するかを設定します。

- 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。
- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」が「ON」に設定されている場合は、「登録外着信拒否」を設定できません。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ロック／セキュリティ」▶「登録外着信拒否」▶端末暗証番号を入力▶「拒否」または「許可」

おしらせ

- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、本機能の設定にかかわらず、着信は拒否されません。
- 本機能を「拒否」に設定している場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときや「圏外」時、電源が入っていない場合は、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。
- iモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

発信や着信ができないようにする 〈セルフモード〉

音声電話やテレビ電話の発着信、iモードの利用、メールの送受信ができないように設定します。音声電話やテレビ電話の着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。

- セルフモード設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には音声電話をかけることができます。緊急通報番号に音声電話をかけると、セルフモードは解除されます。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ロック／セキュリティ」▶「セルフモード」▶「YES」

セルフモードが設定されて「self」が表示されます。

■ セルフモードを解除する場合

▶再度操作1を行う

セルフモードが解除されて「self」の表示が消えます。

● セルフモードを設定すると

- 電話の着信は着信履歴には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されません。
- 送られてきたメッセージR／FやiモードメールはiモードセンターでSMSはSMSセンターでお預かりします。
- 電話をかけてきた相手には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスやメッセージで通知します。「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご利用の場合は、FOMA端末の電源を切っているときと同じサービスをご利用になれます。
- 赤外線通信機能／iC通信機能によるデータの送受信、パソコンなどと接続してのパケット通信、64Kデータ通信、ICカード認証機能によるユーザ認証、Bluetooth通信もできません。ただし、USBケーブル接続によるデータ転送（OBEX™通信）や、おサイフケータイ対応iアプリを利用してICカード内のデータの読み書きはできます。

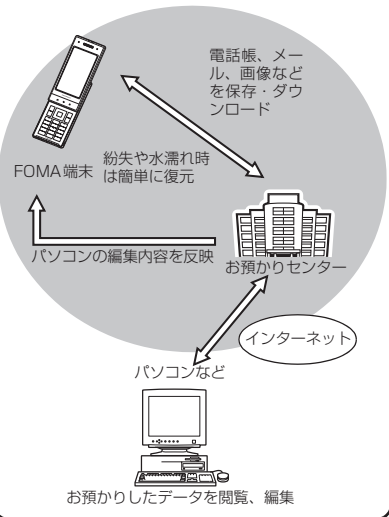
電話帳お預かりサービスを利用する 〈電話帳お預かりサービス〉

FOMA端末に保存されている電話帳・画像・メール・トルカ※・スケジュール※（以下「保存データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができ、万が一の紛失時や機種変更時などに保存データを復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知できます。一斉通知メール送信時のパケット通信料はかかりません。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。

※：トルカとスケジュールを預けるにはiコンシェルのご契約が必要です（2008年12月現在）。

電話帳お預かりサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです（お申し込みにはiモード契約が必要です）。

あんしん設定

電話帳データをお預かりセンターに保存（更新／復元）する

FOMA端末（本体）の電話帳をドコモのお預かりセンターに保存します。保存した電話帳の復元や自動更新設定などは、iモードサイトの「電話帳お預かり」で行います。

- iモードサービスエリア圏外・電源OFF時などでは利用できません。

1 **MENU▶「LIFEKIT」▶「電話帳お預りサービス」▶「お預りセンターに接続」**

■ 電話帳内の画像送信について設定する場合

▶「電話帳内画像送信設定」▶「する」

電話帳に登録されている画像もお預かりセンターに保存されます。

■ 通信履歴を確認する場合

▶「通信履歴表示」▶通信履歴項目を選択

- 電話帳だけでなく、FOMA端末とお預かりセンターとのすべての通信履歴が確認できます。
- 通信履歴表示画面の機能メニューで、通信履歴が削除できます。

2 **端末暗証番号を入力▶「YES」**

お預かりセンターに接続して電話帳の保存を開始します。

3 **✉［完了］**

● iモードサイトの「電話帳お預かり」に接続すると

電話帳を定期的に自動更新するように設定したり、保存してある電話帳をダウンロードし、FOMA端末の電話帳を復元できます。また、お預かりセンターに保存した電話帳を誤って消去した場合などに備え、バックアップの作成（うっかり防止機能）もできます。

i▶「i Menu」▶「マイメニュー」▶「電話帳お預かり」※

※：iコンシェルをご契約の場合は、「お預かり／iコンシェル」と表示されます。

■お預かりセンターの電話帳をFOMA端末にダウンロードする

FOMA端末の電話帳を削除すると、電話帳の更新時にお預かりセンターの電話帳も同様に削除されますのでご注意ください。お預かりセンターの電話帳をFOMA端末の電話帳にダウンロードする場合は、以下の手順で復元を行ってください。

i▶「i Menu」▶「マイメニュー」▶「電話帳お預かり」※1▶「お預かりセンター」※2▶iモードパスワードを入力▶「決定」▶「ケータイへダウンロード」▶「OK」

※1：iコンシェルをご契約の場合は、「お預かり／iコンシェル」と表示されます。

※2：iコンシェルをご契約の場合は、「お預かりデータ確認」と表示されます。

約15秒後にダウンロードが開始されますので、待受画面に戻してください。

おしらせ

<保存（更新）>
- 電話帳の更新ができなかった場合、「更新」のデスクトップアイコンでお知らせします。
- FOMAカードに登録されている電話帳はお預かりセンターに保存できません。
- 100Kバイトを超える画像が登録されている電話帳は、保存（更新）することはできませんのでご注意ください。
- 電話帳の電話番号2以降のデータ、メールアドレス2以降のデータ、位置情報を削除された場合、削除内容がお預かりセンターへ反映されません。なお、電話帳の電話番号2以降およびメールアドレス2以降のデータについては、パソコン（My docomo）のお預かりセンターから該当データを削除いただくことで反映されます。
- 電話帳1件丸ごとの削除はお預かりセンターへ反映されます。

<通信履歴表示>
- 通信履歴は30件まで記憶できます。履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

<自動更新>
- 電話帳の自動更新時に他の機能を起動していた場合、自動更新はされません。

<復元>
- お預かりセンターに預けている電話帳データをFOMA端末に復元すると、電話番号やメールに登録されているアイコンが「☎」や「✉」に置き換わることがあります。

メール、画像、トルカ、スケジュールをお預かりセンターに保存（更新／復元）する

FOMA端末に保存されているｉモードメール／SMS、画像、トルカ、スケジュールをお預かりセンターに保存します。

<例：メールや画像を保存（更新）する場合>

1 メール一覧画面（P.155）／画像一覧画面（P.300）▶ch［機能］▶「お預りセンターに保存」▶メールや画像を選択▶✉［完了］

メールや画像は最大10件まで選択できます。

2 端末暗証番号を入力▶「YES」

お預かりセンターに接続してメールや画像の保存を開始します。

3 ✉［完了］

■トルカ、スケジュールを保存（更新）する場合

トルカフォルダ一覧画面（P.294）、スケジュール画面（P.354）／スケジュール一覧画面（P.355）の機能メニューから「お預りセンターに接続」を選択します。

■お預かりセンターの保存データをFOMA端末にダウンロードする

電話帳と同様、ｉモードサイトに接続して、保存してあるデータをFOMA端末にダウンロードします。

- ご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

<メール>

- FOMAカードに保存されているSMSはお預かりセンターに保存できません。
- ｉモードメールに添付されているファイルは削除して保存されます。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像が受信メールに挿入されている場合は、削除して保存されます。
- 「色分け」の設定は保存されません。

<画像>

- 1件あたりのファイル容量が100Kバイトを超える画像、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、お買い上げ時に登録されているデコメ®ピクチャやデコメ®絵文字は保存できません。

ｉコンシェルで電話帳お預かりサービスを利用する

ｉコンシェルの契約をしている場合は、ｉコンシェル画面からお預かりセンターに接続できます。

- ｉコンシェルについて→P.199

1 ｉコンシェル画面（P.200）▶✉［MENU］▶「設定」を選択▶以下の項目から選択

自動お預かり／更新設定……お預かりセンターに、電話帳、トルカ、スケジュールを自動的に保存する間隔、情報更新の停止／再開を設定します。

お預かりデータ確認……お預かりセンターに保存している電話帳などの内容を確認します。

お預かりデータ更新……お預かりセンターにデータを保存（更新）します。

お預かり通信履歴……お預かりセンターとの通信履歴を表示します。

各種機能の設定を初期状態に戻す 〈設定リセット〉

各機能の設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。

> 「端末初期化」と「設定リセット」は異なります。間違えないようにしてください。
> 間違えて「端末初期化」を行うと、ご購入後に登録したデータもすべて削除されます。→P.135

- 設定リセットされる機能について、詳しくは「メニュー機能一覧」（P.422）をご覧ください。
- パソコンなどの外部機器と接続している場合、「USBモード設定」はお買い上げ時の設定内容に戻りません。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「その他設定」▶「設定リセット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻す 〈端末初期化〉

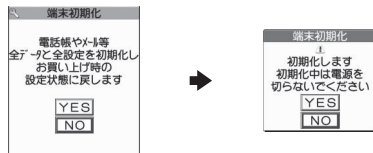
登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

「端末初期化」を行うと、電話帳やメールなどの個人データ、ダウンロードした画像やメロディ、iアプリ、PDFデータ、カメラで撮影した写真（静止画）や動画、各種履歴や情報など、お客様の大切なデータがすべて削除されます（シークレットデータ、シークレットフォルダのデータ、保護されているデータも削除されます）。

- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。ただし、マイピクチャの「INBOX」に保存されているサンプル画像は削除されます。
- FOMAカードやmicroSDカードに保存、登録、設定されているデータは削除されません。
- ネットワークに接続して設定する項目は初期化されません。
- お買い上げ時に登録されているiアプリやウィジェットアプリ、およびマイピクチャの「INBOX」に保存されているサンプル画像を削除した場合、端末初期化を行っても元に戻りません。
- 以下の場合、iアプリは端末初期化を行うと削除されます。
  - お買い上げ時に登録されているiアプリをバージョンアップした場合
  - お買い上げ時に登録されているiアプリを一度削除して再度ダウンロードした場合
- 2in1のモードにかかわらず、Aモード･Bモードのすべてのデータが初期化されます。
- 「端末初期化」を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 「端末初期化」を行っているときは、電源を切らないでください。
- 端末初期化を行っているときは、ほかの機能を使用できません。また、音声電話、テレビ電話の着信やメールの受信などもできません。

- FOMA端末に登録した内容は、必要に応じてメモを取ったり、ドコモケータイdatalink（P.419）やmicroSDカードを利用して保管することをおすすめします。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「その他設定」▶「端末初期化」▶端末暗証番号を入力

2 「YES」▶「YES」

端末の初期化が開始されます。
初期化が終了するまでに数分かかる場合があります。
端末の初期化が終了すると、自動的に再起動した後、ソフトウェア更新についての説明が表示されます。

■ 端末初期化が正常に終了しなかった場合
▶電源が入った後に「OK」
再度初期化が実行されます。

おしらせ

- 端末初期化を行った場合、iチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、chを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- パソコンを用いるデータ通信に関する設定は初期化されません。
- おサイフケータイ対応iアプリとICカード内のデータは削除されません。
- 端末初期化を行うと、「Welcome デコメアニメ」「緊急速報「エリアメール」のご案内」メールが受信BOXに保存された状態になります。

遠隔操作でデータを初期化する 〈遠隔初期化〉

本機能の利用契約をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ（本体／microSDカード／FOMAカード（UIM）内のメモリ）を初期化することができるサービスです。

お問い合わせ先
ドコモの法人向けサイト
docomo Business Online
パソコンから　http://www.docomo.biz
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

その他の「あんしん設定」

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

機能／サービス名称	目的	参照先
ICカードロック設定	ICカード機能の不正使用を防止したい	P.292
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」着信したくない	P.396
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	P.396
FirstPass	電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※FirstPass対応サイトに限ります。	P.194
ソフトウェア更新	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	P.464
スキャン機能	障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	P.471
メール選択受信	大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	P.149
「iモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（iモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。	
メールアドレス変更		
迷惑メール対策 • URL付きメール拒否設定 • 受信／拒否設定 • かんたんメール設定 • iモードメール大量送信者からのメール受信制限 • SMS拒否設定 • 未承諾広告※メール拒否 • メール設定確認		
メール機能停止／再開	『ご利用ガイドブック（iモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。	
メールサイズ制限		
ケータイお探しサービス		
イマドコかんたんサーチ		

おしらせ

● 見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。とくに、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。

＜迷惑電話防止機能の優先順位＞

● 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は以下のとおりです。
①迷惑電話ストップサービス
②登録外着信拒否または呼出時間表示設定／非通知着信設定／指定着信拒否

メール

ｉモードメール

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内のファイル（写真や動画ファイルなど）を10個まで添付することができます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えられるほか、デコメ®絵文字も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。

● ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

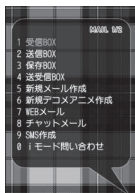
ｉモードメールを作成して送信する 〈ｉモードメール作成・送信〉

ｉモードメールを新規に作成して送信します。

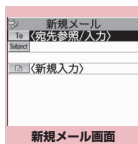
● メール本文の文字色やサイズを変更したり、本文に動きを付けたり、画像やラインを挿入して装飾できます。デコメール®について→P.140
● 送信メール（ｉモードメールとSMS）は、最大400件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

1 ✉▶✉［NEW］

メールメニュー画面

➡

新規メール画面

機能メニュー➡P.139

メールメニュー画面で「新規メール作成」を選択しても「新規メール画面」が表示されます。

2 「To ＜宛先参照／入力＞」▶宛先を入力

宛先の入力方法を選択し、宛先を入力します。

■ 電話帳から参照する場合
▶「電話帳」▶参照先を検索（P.83）▶電話帳詳細画面で宛先を選択

■ アドレス一覧から参照する場合
▶「送信アドレス一覧」または「受信アドレス一覧」▶宛先を選択

■ ブログ・メールメンバーから参照する場合
▶「ブログ・メールメンバー」▶ブログ・メールメンバーを選択
ブログ・メールメンバーについて→P.147

■ 宛先を直接入力する場合
▶「直接編集」▶宛先を入力
宛先は半角の英字、数字、記号で入力できます。
宛先を入力すると、入力した宛先欄の下に新たな宛先欄が追加されます。追加された宛先欄に別の宛先を入力し、一度に複数の宛先にメールを送信することができます（同報送信）。宛先は5件まで入力できます。

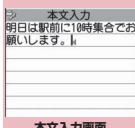
3 「Subject」▶題名を入力

4 「📄＜新規入力＞」▶本文を入力

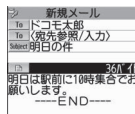
本文編集中に改行することができます。文末では⌨を押しても改行できます。「↲」も全角1文字分としてカウントされます。スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。
デコメール®を作成することもできます。→P.140

本文入力画面

機能メニュー➡P.140、383

テンプレートを利用してデコメール®を作成し送信することもできます。→P.143

5 ✉［送信］

本文を入力すると、本文欄右上に本文のバイト数が表示されます。
メール送信中はアニメーション画面が表示されます。

送信後、「OK」を選択するとメールメニュー画面に戻ります。

■ 送信を途中で中止する場合
▶ⓘ［中止］またはCLR（1秒以上）
ただし、タイミングによりｉモードメールが送信されることもあります。

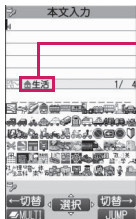
■ 再度送信の要求がある場合
▶「YES」

● デコメ®絵文字の入力について

デコメ®絵文字とは、動く絵文字をはじめ一定の条件を満たす画像のことです。本FOMA端末では、デコメ®絵文字をカテゴリ別に分類しているので、目的のデコメ®絵文字をすばやく入力できます。

- デコメ®絵文字は、お買い上げ時に登録されているものだけでなく、サイトからダウンロードすることもできます。→P.189
- デコメ®絵文字を入力したメールは、デコメール®として扱われます。

■デコメ®絵文字の入力

本文入力画面で[i]［絵記］を1秒以上押すと、カテゴリ別の絵文字D（デコメ®絵文字）入力画面が表示されます。[十字キー]で囲み枠を移動し[■]［選択］を押すとデコメ®絵文字が入力されます。

［カテゴリ分類］
顔文字・ｉ絵文字
装飾
天気・季節
生活
食べ物
キャラクター
文字・セリフ
いろいろ

［その他のボタン操作］
[✉]［←切替］：前のカテゴリを表示
[i]［切替→］：次のカテゴリを表示
[ch]［JUMP］：カテゴリ一覧を表示
[CLR]：デコメ®絵文字入力の終了

● 電話帳の画面からｉモードメールを作成する

電話帳に登録されているメールアドレスを表示して[■]［MAIL］を押すと、表示したメールアドレスが宛先に貼り付けられた新規メール画面が表示されます。
電話帳の検索のしかた→P.83

● WEBメールについて

メールメニュー（P.138）で、「WEBメール」を選択すると、WEBメールサイトに接続し、2in1※のBアドレスからメールの作成や送信が行えます。

※：2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

おしらせ

- 送信メールの保存領域がいっぱいになると、メールを送信したとき、古い送信メールから順に削除されます（保護されているメール、シークレットフォルダ内のメールは削除されません）。
- 受信側の機種によっては、題名の一部を受信できない場合があります。

おしらせ

- 題名や本文に絵文字を使用して他の携帯電話会社の機器に送信すると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。ただし、送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。また、送信先に該当する絵文字がない場合は、文字または「〓」に変換されます。
- 宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると「184」または「186」を削除して送信することを確認するメッセージが表示されます。
- 電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。また、送信できていても「送信できませんでした」と表示される場合があります。
- 2in1のモードがBモードの場合は、ｉモードメールを作成・送信できません。

機能 新規メール画面（P.138）／新規デコメアニメ画面（P.142）

テンプレート選択※1→P.143

プレビュー※1……入力した文字や装飾などを、送信イメージで表示します。

送信

保存→P.146

宛先削除……入力した宛先が2件以上の場合に、反転している宛先を削除します。

宛先タイプ変更……宛先を反転した状態で宛先のタイプを変更します。

To……送信相手の宛先です。Toの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。

Cc……同報の宛先です。Ccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。Toの宛先に送信するメールのコピーとしてほかの宛先に送信する場合に選択します。

Bcc……同報の宛先です。Bccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手には表示されません。

デコメール※2→P.143

添付ファイル追加……メロディ、画像、ｉモーションなどの各種ファイルを添付します。→P.145

カメラ起動……添付する静止画または動画をカメラで撮影します。

添付ファイル削除、添付ファイル全削除

冒頭文貼付※2**、署名貼付**※2……「メール設定」で登録した冒頭文または署名を貼り付けます。

本文消去、メール削除

※1：新規メール画面では利用できません。
※2：新規デコメアニメ画面では利用できません。

おしらせ

<宛先タイプ変更>
- 「To」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

機能 本文入力画面（P.138）

- 下記の項目以外については、「文字入力（編集）画面」の機能メニュー（P.383）を参照してください。

デコレーション……「デコレーションメニューの種類」→P.141

範囲選択……範囲選択した文字の装飾やコピー、切り取りができます。→P.386

デコメール読込み→P.143

カメラ起動……挿入する画像をカメラで撮影します。画像サイズはSubQCIF（128×96）です。

クイック検索→P.183

位置情報貼り付け

電話帳貼付……電話帳を検索し、電話帳に登録されている位置情報URLを貼り付けます。

マイプロフィール貼付……マイプロフィールに登録されている位置情報URLを貼り付けます。

画像から貼付……ダウンロード画像などに付加されている位置情報URLを貼り付けます。

プロパティ……本文に挿入した画像の左にカーソルがあるときに、ファイル名、ファイルサイズを表示します。

元に戻す……入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します。

プレビュー……入力した文字や装飾などの本文部分を、送信イメージで表示します。

おしらせ

<位置情報貼り付け>
- 位置情報URLを本文に貼り付けた場合、位置情報URLの先頭に「」が表示されます。
- 貼り付けられた位置情報URLは、メール本文の文字数にカウントされます。

<元に戻す>
- 「元に戻す」で1つ前の状態に戻した後、「元に戻す」の取り消しはできません。

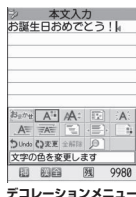
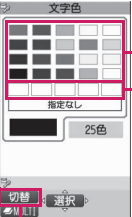
デコメール®を作成する 〈デコメール®〉

デコメール®とは、iモードメール本文に、文字色や文字サイズ、背景色を変更する、文字に動きをつける、画像を挿入するなど、各種の装飾（デコレーション）することによって、表現力豊かなメールにしたものです。

- メール本文をデコレーション（装飾）すると、装飾していないiモードメールに比べて、入力できる文字数が少なくなります。
- 文字を装飾する場合、装飾しながら文字を入力する方法と、入力済みの文字を装飾する方法があります。

1 本文入力画面（P.138）▶[/]▶[◎]で囲み枠を移動しデコレーションメニューを選択

■ 装飾しながら文字を入力する場合
デコレーションメニューを選択後は、装飾された文字が入力されます。

■ 入力済みの文字を装飾する場合
デコレーションメニューの[変更]または[*]を1秒以上押し、装飾する範囲を指定してから（[*]（1秒以上）の場合はさらに「デコレーション」を選択）装飾するメニューを選択すると、範囲指定した文字が装飾されます。

デコレーションメニュー

2 デコレーションメニューを閉じるときは[ch]［閉］

おしらせ

- 受信したデコメール®を引用返信、転送した場合は、装飾と挿入した画像は引用された状態で本文が表示されます。
- メール送信できない画像が含まれたデコメール®を引用返信、転送した場合は、画像が削除されます。
- 送信先のiモード端末によっては、閲覧用のURLが記載されたメールを受信します。ただし、非対応機種によっては本文のみ受信し、閲覧用のURLがないメールを受信する場合があります。

● デコレーションメニューの種類

- 行単位で行われる機能（テロップ、スウィング、ライン挿入、文字の表示位置）は、メニューを選択すると自動的に改行されます。
- 複数の装飾を組み合わせて装飾することもできます（例：文字色と文字サイズを変更して点滅させるなど）。

メニュー		説明
おまかせ ※1		「おまかせデコメを作成する」→P.142
A		文字色を変更します。色は25色パレット／256色パレットから選択することができます。 ＜25色パレット＞ （画面：文字色／指定なし／25色／切替／選択） で囲み枠を移動し、変更する色を選択します。 256色パレットで選択した最新の5色が最下段に表示されます。 ［切替］を押すごとに、25色と256色が切り替わります。
AA		文字サイズを AA ／ AA ／ AA （大／標準／小）から選択します。
※1		マイピクチャのフォルダから挿入する画像を選択します。
A ／ A ／ A		文字を「点滅／右から左へ移動（テロップ表示）／右左往復（スウィング表示）」させます。
	開始 終了 ※1	装飾を「開始」または「終了」します。
	設定 解除 ※2	指定した範囲の装飾を「設定」または「解除」します。
		文字の表示位置を ／ ／ （左寄せ／中央／右寄せ）から選択します。
※1		ラインを挿入します。
※1		本文の背景色を変更します。 文字色の変更と同様、カラーパレットから背景色を選択します。
Undo		入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します。
変更 ※1		すでに入力した文字の装飾、または装飾の変更／解除を行います。

メニュー	説明
解除 ※2	装飾を解除します。
全解除 ※1	すべての装飾を解除します。
	設定した装飾をプレビュー画面に表示します。

※1：変更を選択したときのデコレーションメニューでは利用できません。
※2：変更を選択したときのデコレーションメニューでのみ利用できます。

おしらせ

<文字色の変更>
- 絵文字の色も指定した文字色で表示されます。元の色に戻したいときは「変更」を選択し、戻す範囲を指定して「解除」を選択してください。ただし、デコメ®絵文字には文字色の指定が反映されません。

<文字サイズの変更>
- デコメ®絵文字のサイズは変更できません。

<画像挿入>
- メール本文のバイト数や添付ファイルのファイルサイズに関係なく、最大20種類、90Kバイトまでの JPEG形式またはGIF形式の画像やデコメ®絵文字、Flash画像を挿入することができます。ファイルサイズによって、最大件数は変動します。また、Flash画像の最大件数は2件です。
- 同一の画像を複数挿入した場合、挿入件数は1件として扱われます。ただし、一度保存や送信をした後で再編集して挿入した場合は、別途1件として扱われます。
- アニメーションを挿入した場合、一定の時間が経過すると停止します。
- Flash画像が挿入されたデコメール®をデコメール®非対応端末に送信した場合は、端末の機能にあわせて変換した画像を閲覧するためのURLが付与されたメールか送信者が挿入したメッセージのみが付与されたメールか、画像などの装飾が解除された本文のみのメールが届きます。

<文字の点滅／テロップ表示／スウィング表示>
- 点滅、テロップ、スウィングの動作は、一定の時間が経過すると停止します。

<本文編集>
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力できる文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押した場合は、装飾データも含めてすべての文字が削除されます。

おまかせデコメを作成する 〈おまかせデコメ〉

入力したメールの文面から感情を理解し、絵文字などの最適なデコレーションを加えたデコメール®に自動変換します。

- 最大2つまで感情表現の装飾が行われます。
- サイトからおまかせデコメピクチャをダウンロードできます。→P.188

1 本文入力画面（P.138）▶本文を入力▶[✓]▶[◎]で囲み枠を移動し[おまかせ]を選択

デコレーションが5パターン作成されます。

2 いずれかのデコレーションを表示▶[■]［確定］

デコレーションパターンは[i]［次候補］を押すたびに切り替わります。
[ch]［絵ON⇔絵OFF］を押すと、絵文字を自動挿入するかしないかが切り替わります（デコレーションパターンも切り替わります）。

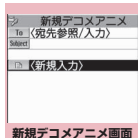
■ デコレーションを編集する場合
[✉]［編集］を押すと、デコレーションを編集することができます。→P.140

おしらせ

- 本文のみで1,000バイト以上ある場合、おまかせデコメは作成できません。
- 「マイピクチャ」の「おまかせデコメ」に保存した画像は、おまかせデコメの画像として認識されます（5,000バイトを超える画像は保存できません）。
- メールの文面によっては、内容に合わないデコメール®イメージが表示される場合があります。

デコメアニメ®を送信する 〈デコメアニメ®〉

デコメアニメ®は、デコメアニメ®テンプレートを利用し、メッセージや画像を挿入したFlash画像を使った表現力豊かなメールサービスです。
お買い上げ時に登録されているテンプレートやIP（情報提供者）サイトから購入したテンプレートを利用して作成できます。

1 [✉]▶「新規デコメアニメ作成」

新規デコメアニメ画面

機能メニュー➡P.139

2 宛先、題名を入力

3 「<新規入力>」▶デコメアニメ®テンプレートを選択

■ 他のテンプレートを確認する場合
[◎]で前または次のテンプレートが表示されます。

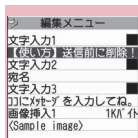
4 [✉]［確定］▶本文入力欄を選択▶本文を編集

あらかじめ入力されているガイド文に従って、メールを作成します。
テンプレートによっては、画像選択や画像挿入（マイピクチャから選択、カメラで撮影）するものやメロディ付きのものもあります。

編集メニュー画面

機能メニュー➡P.143

■ ガイド文をすべて削除する場合
▶[CLR]（1秒以上）

■ 文字入力画面に区切り線が表示される場合
1行の文字数が決まっています。[＊]を押すとカーソルを区切り線単位で移動でき、改行位置を調整できます。

5 [✉]［完了］▶[✉]［送信］

おしらせ

- デコメアニメ®の文字入力欄には、デコメ®絵文字は挿入できません。また、デコメアニメ®の文字サイズは変更できません。
- デコメアニメ®は、画像や文字を挿入する場所を変更できません。

おしらせ

- デコメアニメ®には冒頭文、署名は貼付されません。
- デコメアニメ®はテンプレート、本文、画像の合計で90Kバイトまで作成できます。90Kバイトを超えた場合は、本文や画像が挿入できません。
- デコメアニメ®では画像ファイルのサイズが大きくなるため、メールの残バイト数以下の画像が挿入できない場合があります。
- 画像や本文を挿入する場合は、合成後にサイズを計算するため、メールのバイト数が増えます。
- GIF形式のアニメーションを挿入した場合、作成時に容量が超えてしまう場合があります。
- メロディ付きのテンプレートを選択し、メロディを添付した場合、添付したメロディが再生され、テンプレートのメロディは再生されません。
- デコメアニメ®非対応端末に送信した場合は、端末の機能にあわせて変換した画像を閲覧するためのURLが付与されたメールか送信者が挿入したメッセージのみが付与されたメールが届きます。
- 受信したデコメアニメ®はデコメアニメ®テンプレートとして保存できません。
- デコメアニメ®に返信する場合は引用できません。
  また、転送する場合は編集できません。
- デコメアニメ®は以下の場合、再編集できません。
  - 編集中に強制終了したとき
  - 保存したとき
  - 送信失敗したとき
- テンプレートによっては再生したときにボタンを押して操作できます。
- デコメアニメ®のプレビュー中は「添付ファイル自動再生設定」の設定に関わらず再生されます。
  添付ファイル自動再生設定→P.164

機能 編集メニュー画面（P.142）

テンプレート選択→P.143

プレビュー……入力した文字や装飾などの本文部分を、送信イメージで表示します。

文字色選択→P.141

画像削除

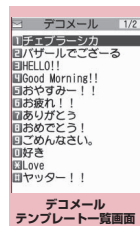
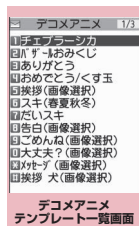
テンプレートを利用してデコメール®／デコメアニメ®を作成する 〈テンプレート〉

テンプレートとは、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール®／デコメアニメ®用の雛形です。テンプレートを利用すると、簡単にデコメール®／デコメアニメ®を作成できます。

- テンプレートは、サイトからダウンロードすることもできます。→P.188
- 以下のような場合にデコメール®テンプレートを使用しようとすると本文の編集内容を破棄するか確認するメッセージが表示されます。
  - すでにメール本文が入力されている場合
  - 冒頭文・署名が自動挿入されている場合
  - 添付ファイルがある場合

1 [メールキー]▶「テンプレート」▶「デコメール」または「デコメアニメ」

■ テンプレート一覧画面

デコメール
テンプレート一覧画面

機能メニュー➡P.144

デコメアニメ
テンプレート一覧画面

機能メニュー➡P.144

- 新規メール画面（P.138）の機能メニューの「デコメール」から「デコメール読込み」を選択して、デコメール®テンプレートを利用することもできます。

■ デコメアニメ®テンプレートの場合

▶フォルダを選択

■ iモードでデコメール®テンプレートやデコメアニメ®テンプレートを検索する場合

▶「iモードで探す」▶「YES」

メール

❷ テンプレートを選択

■ テンプレートプレビュー画面

デコメールテンプレートプレビュー画面
機能メニュー➡P.144

デコメアニメテンプレートプレビュー画面
機能メニュー➡P.144

■ 他のテンプレートを確認する場合

[←→]で前または次のテンプレートが表示されます。

❸ [✉]［MAIL］▶本文を編集

あらかじめ入力されているガイド文を削除し、メール本文を入力します。

デコメール®テンプレートを保存する

作成したデコメール®をテンプレートとして保存します。

- デコメール®テンプレートは最大1,000件まで保存できます。
- 挿入画像以外の添付ファイルは削除して保存されます。
- テンプレートは、メールメニューの「テンプレート」に保存されます。

❶ デコメール®を作成（P.140）▶[ch]［機能］▶「デコメール」▶「デコメール保存」▶「YES」

おしらせ

- 作成中のメールの題名がテンプレートのタイトル名となります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。

機能 デコメールテンプレート一覧画面（P.143）／プレビュー画面（P.144）

iモードメール作成……テンプレートを利用してデコメール®を作成します。→P.143

ソート※1……選択した条件に従ってテンプレートを並び替えます。

タイトル編集※1

情報表示※1……テンプレートのサイズ、保存日時、画像の有無を表示します。

保存件数確認※1

削除※1……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

編集※2

挿入画像保存※2……テンプレートに挿入されている画像を選択し、マイピクチャのフォルダに保存します。保存後、待受画面などに設定できる画像の場合、設定するかしないかを選択できます。

※1：デコメールテンプレート一覧画面でのみ利用できる機能です。
※2：デコメールテンプレートプレビュー画面でのみ利用できる機能です。

おしらせ

<編集>
- 別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。

機能 デコメアニメテンプレート一覧画面（P.143）／プレビュー画面（P.144）

デコメアニメ作成……テンプレートを利用してデコメアニメ®を作成します。→P.142

タイトル編集※

情報表示※……タイトル名、ファイル名、ファイル種別、ファイル制限を表示します。

保存件数確認※

iC送信→P.337

赤外線送信、赤外線全送信※→P.336

microSDへコピー→P.325

削除※……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※：デコメアニメテンプレート一覧画面でのみ利用できる機能です。

おしらせ

- 2in1のモードがBモードの場合、テンプレートは利用できません。

ファイルを添付する 〈添付ファイル〉

iモードメールにファイルを添付して送信します。

- 以下のファイルを添付できます。
  - 静止画、画像
  - SWF形式のFlash画像
  - 動画、iモーション
  - メロディ
  - PDFデータ
  - microSDカード内のドキュメント
  - トルカ、トルカ（詳細）
  - 電話帳のデータ
  - マイプロフィールの登録データ
  - スケジュールまたはTo Doリストの登録データ
  - Bookmark
  - microSDカード内のその他ファイル

1 新規メール画面（P.138）▶ i ［添付］▶以下の項目から選択

イメージ、iモーション、メロディ、PDF……本体のフォルダか､microSDフォルダを選択後、添付するファイルを選択します。
保存先（本体／microSD）によって、フォルダを選択する回数は異なります。

ドキュメント……microSDカード内のドキュメントデータを選択します。

トルカ……本体のフォルダか、microSDフォルダを選択後、添付するファイルを選択します。
保存先（本体・microSD）によって、フォルダを選択する回数は異なります。

電話帳……本体の電話帳か、microSDカードの電話帳を選択後、電話帳を検索（microSDの場合はフォルダを選択）して、添付するファイルを選択します。電話帳の検索のしかた→P.83

マイプロフィール……電話番号やメールアドレスなど、マイプロフィールに登録されているすべてのデータを添付します。

スケジュール……スケジュールかTo Doリストを選択後、添付するファイルを選択します。

Bookmark……本体（iモード／フルブラウザ）のブックマークか、microSDカードのブックマークを選択後、添付するファイルを選択します。

その他……microSDカード内のその他ファイルのデータを選択します。

■ mova端末へ画像をiショットとして送信する場合

画像を添付したメールをmova端末へiショットとして送信できます。
mova端末へ送信する場合､添付できるファイルはJPEG形式の画像1つだけです。また、サイトなどからダウンロードしたGIF形式の画像を添付した場合は、添付したファイルが削除されて本文だけが相手に届きます。
mova端末へ送信する場合､相手側が受信文字数設定をしていないときは、相手が受信できる本文は最大全角184文字（369バイト）になります。相手側が受信文字数設定をしているときは、相手が受信できる本文はiショットのURL（画像の保管先）を含み全角2,000文字までになります。

2 iモードメールを作成して送信

■ 添付したファイルを確認する場合

▶ファイルを選択
100Kバイトを超えるメロディ、SWF形式のFlash画像は再生できません。

■ 添付したファイルを削除する場合

▶ファイルを反転▶ ch ［機能］▶「添付ファイル削除」▶「YES」
すべての添付ファイルを削除する場合は､「添付ファイル全削除」を選択します。

これ以降の詳しい操作手順については､「iモードメールを作成して送信する」（P.138）をご覧ください。

おしらせ

- iモードメールには、メール本文のバイト数や挿入画像のファイルサイズに関係なく、最大10件、2Mバイトまでのファイルを添付することができます（ファイルサイズによって、最大ファイル数は変動します）。なお、トルカの添付は1件につき、トルカは1Kバイト、トルカ（詳細）は100Kバイトまでです。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは、添付することができません。
- カメラで撮影した静止画や動画の場合､「ファイル制限」が「あり」に設定していても添付することができます。
- 受信側の端末が対応していない添付ファイルを送信した場合、添付ファイルがiモードセンターで自動的に削除される場合があります。その場合、メール本文に「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。

次ページにつづく

おしらせ

- 「イメージ」で横320×縦240、横240×縦320ドットを超える画像を選択した場合は、「画像添付」が表示され、「そのまま添付」「QVGA縮小添付」「VGA縮小添付」から選択することができます。
- 送信相手の機種によっては、画像が正しく表示されなかったり、表示できない場合があります。また、画像が粗く表示されることもあります。
- ｉモーションメール（ｉモーションを添付したｉモードメール）に対応していない端末にｉモーションメールを送信した場合、受信側にはｉモーション閲覧用URL付メールが送信され、その閲覧用URLを選択することによりｉモーションを閲覧することができます。
- ｉモーションメールを送信した場合、送信相手の機種によっては、正しく受信や表示がされなかったり、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。なお、2Mバイト対応機種以外に送信する場合は、動画撮影時の「ファイルサイズ設定」を「500KB以下」、「画像サイズ選択」を「QCIF（176×144）」、「記録品質設定」を「高品質」に設定することをおすすめします。
  動画の再生について→P.309
- 受信側がN-04A以外の場合、送信したメロディが正しく再生できない場合があります。
- スケジュールやTo Doリストを添付すると、ボタンイルミネーションの「パターン設定」と「色設定」は反映されません。

メール

ｉモードメールを保存しておき、後で送信する
〈ｉモードメール保存〉

作成中のメールを、FOMA端末に一時保存しておき、後で保存しているメールを編集して送信します。

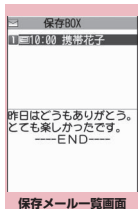
ｉモードメールを保存する

- SMSと合わせて最大20件まで保存できます。
- 保存メールがいっぱいのときは、メールを作成することができません。

1 新規メール画面（P.138）▶ch［機能］▶［保存］

編集されていないメールは保存できません。

保存したｉモードメールを送信する

1 ✉▶「保存BOX」

保存メール一覧画面

機能メニュー➡P.146

2 メールを選択▶宛先、題名、本文を編集して送信

おしらせ

- 2in1のモードがBモードの場合は、保存メール一覧画面を表示できません。

機能 保存メール一覧画面（P.146）

一覧表示切替……メールの一覧表示のしかたを「題名表示、名前表示、アドレス表示」から選択します。

ｉC送信、ｉC全送信→P.337

赤外線送信、赤外線全送信→P.336

microSDへコピー→P.325

保存件数確認

お預りセンターに保存→P.134

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

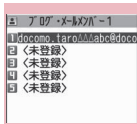
宛先をブログ・メールメンバーに登録する

ブログ･メールメンバーを登録することにより簡単に画像をブログに投稿できたり、ブログ・メールメンバーを指定するだけで簡単に複数の宛先を入力できます。
また、メール本文中のメールアドレスをブログ・メールメンバーに登録することもできます。→P.152

- ブログ･メールメンバーは20件まで登録でき、1件あたりメールアドレスを5件まで登録できます。
- ブログ投稿先に設定できるブログ･メールメンバーは1件のみです。

1 MENU ▶「OWN DATA」▶「ブログ・メールメンバー」▶ブログ・メールメンバーを選択

■ メールメンバーの一覧／詳細画面

ブログ・メールメンバー一覧画面
機能メニュー➡P.147

ブログ・メールメンバー詳細画面
機能メニュー➡P.147

■ ブログ投稿先に設定する場合
▶ブログ・メールメンバーを反転▶ i ［ブログ］
反転したブログ・メールメンバーが投稿先のアドレスとして設定され「★」が表示されます。再度 i ［解除］を押すと、ブログ投稿先設定が解除されます。

2 「<未登録>」を反転▶ ✉ ［編集］▶メールアドレスを入力

メールアドレスを追加登録するときは、操作2を繰り返します。

機能 ブログ・メールメンバー一覧画面（P.147）

ｉモードメール作成※……ブログ･メールメンバーを宛先に貼り付け、ｉモードメールを作成します。

メンバー名編集

メンバー名初期化……ブログ･メールメンバー名をお買い上げ時の状態に戻します。

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

機能 ブログ・メールメンバー詳細画面（P.147）

アドレス編集

アドレス参照入力……電話帳や送信アドレス一覧、受信アドレス一覧を参照してメールアドレスを入力します。

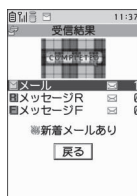
1件削除、全削除

ｉモードメールを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、ｉモードセンターから自動的にｉモードメールやメッセージR／Fが送られてきます。

- 受信メール（ｉモードメールとSMS）は、最大1,000件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。
- 受信したメールは読み上げることもできます。→P.154

受信時の自動表示動作
〈メール・メッセージ自動受信〉

［1］メールやメッセージの受信がはじまると「受信中画面」が表示され、受信が終了すると「受信結果画面」が表示されます。

- メール受信中は「✉」が点滅し、受信が終了すると、「✉」が点灯表示に変わります。
- メッセージ受信中は「R」または「F」が点滅します。

［2］受信結果画面には、受信したメール、メッセージR／Fの件数が表示されます。

- メールの件数には、SMSの件数も含まれます。
- 受信結果画面でメールやメッセージを選択すると、受信メール一覧画面（P.155）やメッセージ一覧画面（P.167）が表示されます。

●受信結果画面表示中に、何も操作しないで約15秒間経過するとメールの場合は元の画面に戻り、メッセージの場合は詳細画面が表示されます。表示時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わる場合があります。
●受信結果画面表示中に、[読上げ]を押すと、メール本文を読み上げます。→P.153
●メッセージR／Fの「詳細画面」が自動表示されるのは、待受画面表示中に受信した場合です。
●メッセージ詳細画面表示中に何も操作しないで約15秒間経過すると、待受画面に戻ります。
●メッセージR／Fの詳細画面の自動表示は、「メッセージ自動表示設定」で設定することができます。

■ 100Kバイトを超えたメールを受信した場合

iモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトを超えるときは添付ファイルを自動で受信できません。

100Kバイトを超える添付ファイルは、iモードセンターから手動で取得できます。→P.153

おしらせ

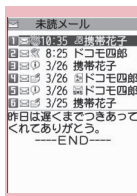
●受信メールの保存領域がいっぱいになると、メールを受信したとき、ゴミ箱のメール、既読の古い受信メールの順に削除されます（未読または保護されているメール、シークレットフォルダ内のメールは削除されません）。
●FOMA端末がこれ以上メールを受信できない（未読または保護されているメールでいっぱい）場合、（赤色）／（赤色）が表示されます。未読のメールを読むか、いらないメールの保護を解除してください。
●2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、現在利用していないモードのメールアドレスにのみメールを受信するとメール受信中の画面が表示された後、受信結果画面や「」は表示されません。また、メールの着信音も鳴りません。
●To、Cc、Bccを設定できる端末からiモードメールを受信した場合、自分がTo、Cc、Bccのうちどの宛先タイプで受信したかは、メール詳細画面で確認できます。→P.158
●待受画面以外を表示しているときにiモードメールを受信した場合で、「受信時動作設定」を「操作優先」に設定しているときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。
●mova端末から送信されたiショットサービスのメールを受信した場合、画像は添付ファイルとして受信します。

新着メールを表示する

●「スライドアクション設定」（P.351）の「新着メール閲覧」を「ON」にすると、FOMA端末を開いたときにすぐにメール内容を確認できます。

1 待受画面表示中▶■▶「メール」を選択

■ 未読メールの一覧を表示する場合

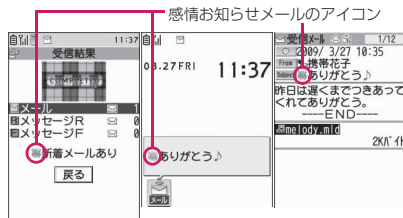
▶待受画面表示中▶■▶で「」を選択

未読メール一覧画面

機能メニュー➡P.162

おしらせ

●表示できない文字はスペースなどで表示されます。
●iモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
●受信するiモードメールのサイズは、▶「iMenu」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「詳細な設定（メール設定）」▶「メールサイズ制限」で設定します。設定したサイズ（データ量）を超えた場合、貼り付けデータはiモードセンターで削除され、再取得はできません。
●パソコンなどから送信された装飾付きのメール（HTMLメール）を受信した場合、その装飾が正しく表示されないことがあります。
●メール一覧画面でデコメアニメ®を選択すると自動再生されます。繰り返し再生される場合は、CLRを押すとメール一覧画面に戻ります。

● 感情お知らせメールについて

メールを受信したとき、そのメールの内容に合った感情をアイコンでお知らせします。また、受信メール詳細画面を表示したときに、アイコンに対応したパターンでボタンイルミネーションが点滅します。

●表示される感情お知らせメールのアイコンには次の種類があります(ボタンイルミネーションの点滅パターンは変更できません)。

アイコン：意味	点滅パターン	アイコン：意味	点滅パターン
：好き	パターン1	：アドバイス	パターン6
：哀しみ	パターン2	：お誘い・募集	
：急ぎ	パターン3	：お願い	
：驚き		：OK	
：嫌い	パターン4	：感想	パターン7
：怒り		：返事	
：喜び	パターン5	：質問	パターン8
：楽しい		：通知	
：ファイト		：お知らせ	
		：アイコン通知対象外※	点滅なし

※：「アイコン通知対象外」は、以下のようなメールなどで表示されます。
- 赤外線通信やｉC通信などにより転送されたメール
- お預かりセンターから復元したメール
- FOMAカードからコピーまたは移動したSMS
- FOMAカードのSMS
- microSDカードからコピーしたメール

●「感情／キーワードお知らせ」でアイコンを表示するかどうかを設定できます。また、自分でキーワードを設定して などを表示させることもできます。→P.166

●「ボタンイルミネーション」で感情に合わせてボタンイルミネーションを点滅させるかどうかを設定できます。→P.106

●受信したメールに、感情お知らせメールのアイコンとキーワードお知らせのアイコンを表示させるキーワードが含まれる場合、キーワードお知らせのアイコンが表示されます。

●フィルタ機能を使うと、指定した感情お知らせアイコンのメールだけを表示できます。→ P.161

おしらせ

- 受信したメールによっては、内容に合わない感情お知らせメールのアイコンが表示される場合があります。
- 受信したメールの感情やキーワードの検出は、感情お知らせメールのアイコンの場合、メールの受信日時、題名、本文の先頭から1,000バイト（全角500文字）までが対象となり、キーワードお知らせのアイコンの場合、題名と本文のすべてが対象となります。
- BOXロックやフォルダロックによって受信したメールの閲覧に制限がかかっていると、受信結果画面やデスクトップアイコンに感情お知らせメールのアイコンは表示されません。
- 複数のメールを同時に受信した場合は、最も新しいメールのアイコンが表示されます。

ｉモードメールを選択して受信する 〈メール選択受信〉

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。

●メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。なお、「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。

メールが届いたときは

ｉモードセンターにメールが保管されている旨のメッセージと、「 」アイコンが画面上部に表示されます。メッセージを確認し、いずれかのボタンを押すとメッセージとアイコンが消えます。

メールを選択受信する

1 **✉▶「メール選択受信」**

メールの選択受信は、以下の手順でも行えます。

- i▶「i Menu」▶「メニューリスト」▶「メール選択受信」

■「メール選択受信設定」が「OFF」に設定されている場合

メール選択受信を設定するかどうかのメッセージが表示され、「メール選択受信設定へ」を選択すると「メール選択受信」を設定できます。選択受信を「ON」に設定すると、メールメニュー画面に戻ります。

2 **メールごとに項目を選択して設定**

受信：選択したメールを受信します。
削除：選択したメールを削除します。
保留：選択したメールはそのままｉモードセンターに保管されます。
「ｉモード問い合わせ」などで受信してください。

■ メールをすべて削除する場合

▶ページの一番下にある「削除」▶「決定」

■ ページが複数ある場合

▶「前ページ」または「次ページ」▶ページを前後に移動して選択受信
2ページ目を表示した場合、1ページ目の選択内容はそのまま有効となります。
「サイズ：XXXバイト」の後に表示されているアイコンの意味は以下のとおりです。

- ：画像ファイルが添付
- ：メロディファイルが添付
- ：ｉモーションが添付
- ：トルカが添付
- ：その他ファイルが添付

3 **「受信／削除」▶「決定」**

完了画面が表示され、メールの受信がはじまります。

■ 選択受信を中止する場合

▶「キャンセル」

■ ページが複数ある場合

ページの途中で「受信／削除」を選択すると、選択したページまで選択受信（保留、受信、削除）を行い、それ以降のページのメールについては、ｉモードセンターにすべて保管されます。

おしらせ

- 「メール選択受信設定」を「ON」に設定した場合でも「ｉモード問い合わせ」をすると、すべてのメールを受信します。受信したくない場合は、「ｉモード問い合わせ設定」で「メール」のチェックを外してご利用ください。
- メール選択受信画面を表示すると、メールを受信、削除しなくても「」のアイコンは消灯します。また、電源を切ったり、メール画面を表示した場合なども「」のアイコンは消灯します。
- 2in1のモードがBモードの場合は、メール選択受信を起動できません。

ｉモードメールやメッセージがあるかを問い合わせる

〈ｉモード問い合わせ〉

FOMA端末が受信できなかったｉモードメールやメッセージは、ｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに問い合わせると、保管されているｉモードメールやメッセージを受信することができます。

- ｉモードセンターに保管されるのは、以下の場合です。
  - FOMA端末の電源が入っていないとき
  - 「圏外」のとき
  - 受信BOXが満杯のとき
  - 「メール選択受信設定」が「ON」のとき（ｉモードメールのみ）
  - テレビ電話中
  - セルフモード設定中
  - FirstPassセンター接続中
- 問い合わせる項目は「ｉモード問い合わせ設定」で設定します。

1 **✉（1秒以上）**

メール問い合わせ画面が表示されます。
以下の手順でも、ｉモード問い合わせは行えます。

- i▶「ｉモード問い合わせ」
- ✉▶「ｉモード問い合わせ」

■ 問い合わせを中止する場合

▶問い合わせ中にi［中止］またはCLR（1秒以上）
中止したタイミングにより受信することがあります。

2 **新しく受信したｉモードメールとメッセージR／Fの件数を確認▶「戻る」**

おしらせ

- 電波状態によっては、問い合わせできなかったり問い合わせが中断される場合があります。
- iモードセンターにiモードメールが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときや「圏外」のときにセンターに届いた場合などは、「 」のアイコンが表示されないことがあります。
- iモードセンターでのメッセージR／Fそれぞれの最大保管件数は300件、最大保管期間は72時間です。最大保管件数を超えた場合は、各メッセージの最も古いものから順に削除されます。

iモードメールに返事を出す 〈iモードメール返信〉

iモードメールの送信元にiモードメールまたはデコメアニメ®で返信します。受信したiモードメールの本文を引用して返信することもできます。

1 受信メール一覧画面（P.155）、受信メール詳細画面（P.155）▶ch［機能］▶「返信」または「返信／転送」▶「iモードメール返信」または「デコメアニメ返信」

■ 本文を引用して返信する場合

▶ch［機能］▶「返信／転送」▶「引用返信」

受信メール詳細画面でのみ選択できます。

引用符（お買い上げ時は「>」）が、引用返信するメールの本文の先頭に付きます。

引用符を編集するには→P.165

■ 複数の宛先があるメールの送信元へ返信する場合

▶「返信」または「返信／転送」▶「iモードメール返信」「デコメアニメ返信」または「引用返信」▶「送信元へ」

■ 複数の宛先があるメールの送信元とすべての宛先に返信する場合

▶「返信」または「返信／転送」▶「iモードメール返信」「デコメアニメ返信」または「引用返信」▶「すべてへ」

送信元が返信不可の場合、ほかの同報の宛先を含めすべての宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

同報の宛先に返信不可の宛先が含まれている場合、返信不可の宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

2 題名、本文を編集▶ ［送信］

送信が終了すると「 」が「 」に変わります。

おしらせ

- 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合は、Bアドレス宛てのiモードメールに返信または引用返信できません。
- メール本文にメロディやiアプリの起動指定などの貼付データがある場合、貼付データは削除されます。
- 送受信メール一覧画面でも受信メールを反転しているときは、送受信BOXに登録されたメールアドレスへ返信ができます。

iモードメールをほかの宛先に転送する 〈iモードメール転送〉

受信したiモードメールをほかの人に転送します。

1 受信メール詳細画面（P.155）▶ch［機能］▶「返信／転送」▶「転送」▶「To <宛先参照／入力>」▶宛先を入力

送信する前に、題名、本文を編集できます。

2 ［送信］

送信が終了すると「 」が「 」に変わります。

おしらせ

- メールへの添付が禁止されているファイルや、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。
- メール本文にメロディやiアプリの起動指定などの貼付データがある場合、貼付データは削除されます。
- 取得が完了していない添付ファイルが存在する場合、そのファイルは添付されません。→P.153
- その他ファイルが添付されているiモードメールを転送する場合、その他ファイルは削除されません。
- 2in1のモードがBモードの場合は、メールを転送できません。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合は、Bアドレス宛てのメールを転送すると、Aアドレスのメールとして送信されます。

メールアドレスを電話帳に登録する

受信したメールの送信元のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録します。
また、メール本文中のメールアドレスや電話番号を、電話帳やブログ･メールメンバーに登録することもできます。
●受信SMSの場合は、送信元の電話番号が電話帳の電話番号に登録されます。

<例：送信元のメールアドレスを電話帳に登録する場合>

1 受信メール詳細画面（P.155）▶ch［機能］▶「送信元アドレス登録」

■ 登録候補として複数のメールアドレスが存在する場合
▶メールアドレスを選択する画面で登録したいメールアドレスを選択

■ メール本文のメールアドレスや電話番号を電話帳やブログ・メールメンバーに登録する場合
▶メール詳細画面▶登録するメールアドレスまたは電話番号を反転▶ch［機能］▶「アドレス／番号登録」▶「電話帳」または「ブログ・メールメンバー」

2 「YES」▶保存先を選択

電話帳の登録のしかた→P.81

ｉモードメールの添付ファイルを確認・保存する

送受信したｉモードメールの添付ファイルを確認・保存します。挿入画像を保存することもできます。
●添付ファイルのアイコンとデータの種類

アイコン	データの種類
	メロディ
	画像
	ｉモーション
	トルカ、トルカ（詳細）
PDF	PDFデータ、ドキュメント
	ツールデータ（電話帳、スケジュール、Bookmark）
	その他ファイル
	選択受信が必要な添付ファイル→P.153

<例：受信メールの場合>

1 受信メール詳細画面（P.155）▶添付ファイル名を反転

■ 添付画像の保存について
本文の下に添付されている画像は、ファイル名で表示される場合と画像で表示される場合があります。これらの表示は、「ファイル名」または「画像」を選択すると切り替わります。
「画像」で表示されている添付画像を保存するときは、囲み枠で指定します。

■ 挿入画像の保存について
本文内に挿入されている画像は、添付画像のように保存する画像の囲み枠は表示されません。保存するときは、操作2で保存する画像を選択します。

2 ch［機能］▶「データ保存」

■ 挿入画像の保存について
▶「挿入画像保存」▶画像を選択

3 画面表示に従ってフォルダや項目を選択

おしらせ

<メロディ保存>
●送信元がN-04A以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。
●複数のデータが貼り付けられている場合は、貼付データ自体が表示されないことがあります。
●メールを開いたときにメロディを自動再生させたくない場合は、「メール設定」の「添付ファイル自動再生」を「自動再生しない」に設定してください。

<ドキュメント保存>
●ドキュメントはmicroSDカードにのみ保存できます（microSDカードにフォルダが存在しない場合、フォルダが自動的に作成されます）。

<ツールデータ保存>
●スケジュールはmicroSDカードには保存できません。
●複数件の情報が存在しているファイルをFOMA端末内に保存した場合、保存されるのは先頭の1件のみです（microSDカードに保存した場合は、すべての情報が保存されます）。

<その他ファイル保存>
●その他ファイルは自動的にmicroSDカードの「OTHER」フォルダに保存されます。なお、保存するとファイル名が変更されます。→P.321

選択受信添付ファイルを取得する

メール本文と挿入画像と添付ファイルの容量の合計が100Kバイトを超えるときは、メール受信時に添付ファイルを自動で受信することができません。この場合、後から手動で取得する必要があります。

- 「メール設定」の「添付ファイル優先受信」で、チェックを外している種類のファイルについても、同様に手動で取得する必要があります。
- 受信メール詳細画面で、添付ファイルの取得を行っていない場合は「 」のアイコンが、途中まで添付ファイルの取得を行っている場合は「 」のアイコンが表示されます。

1 受信メール詳細画面（P.155）▶「 」または「 」のアイコンが表示されている添付ファイルを選択

データの取得が開始されます。
データの取得が完了すると、完了したことを示す画面が表示されます。

■ 取得を途中で中止する場合
▶i［中止］
途中まで取得したデータを保存します。この場合、再度操作1を行うことで残りのデータを取得することができます。

2 データ取得後、ファイル内容を表示

おしらせ

- 取得が完了していない添付ファイルが1つでも存在する場合は、「受信メール詳細画面」（P.155）で、添付ファイルの保存期限が表示されます。すべての添付ファイルの取得が完了すると、保存期限の表示は消えます。なお、保存期限を過ぎた添付ファイルは取得できません。
- 添付ファイルを受信した際、受信BOXの保存容量を超えた場合は、添付ファイルのサイズに従い受信メールが自動的に削除されます（添付ファイルのサイズによっては大量に受信メールが削除されることがあります）。なお、未読のメールと保護されている受信メール、シークレットフォルダ内の受信メールは削除されません。必要なメールは保護することをおすすめします。→P.161

メールを読み上げる

- 読み上げる際には、音声が周囲にもれますので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してください。
- 読み上げの音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。「消去」「ステップ」に設定している場合は「レベル2」の音量になります。
- 以下の場合、読み上げは行われません。
  - FOMA端末を閉じているとき
  - 「メール読み上げ設定」の「受信時読み上げ設定」（P.164）を「無効」に設定
  - 通話中、通信中（パケット通信中を除く）
  - マナーモード設定中でイヤホンマイク（別売）などを接続していないとき
  - ミュージックプレーヤー再生中
  - 「バイリンガル」を英語表示に設定中

新着メールを読み上げる

メール／チャットメールを受信し、受信結果画面が表示されているときや、「iモード問い合わせ」を実行し、問い合わせ結果画面が表示されているときは、メールの本文を読み上げることができます。

<例：iモード問い合わせを実行した場合>

1 問い合わせ結果画面が表示されている間に✉［読上げ］

送信元の名前とメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、「○○さんからのメール」という音声通知の後に本文を読み上げます。
メールの読み上げが完了すると「ピピッ」という音が鳴り、メールの読み上げ画面を終了します。

■ 複数のメール、チャットメールを同時に受信した場合
受信日時の新しいメールから順に読み上げます。
読み上げ中に□を押すと、「ピー」という音が鳴り、次のメールを読み上げます。次のメールがない場合は、メールの読み上げを停止します。

メールBOXのメールを読み上げる

1 受信メール詳細画面（P.155）▶ch［機能］▶「メール読み上げ」

■ 読み上げを中止する場合

▶■［停止］

もう一度■［再生］を押すと、最初から読み上げを開始します。

■ 読み上げを終了する場合

▶✉［閉］

おしらせ

- メール読み上げ時は、画面上半分に画像が表示されます。また、受信メールの送信元アドレスと画像が電話帳に登録されている場合は、登録されている画像が表示されます。
- メール読み上げ中に[↕]を押すと、メール本文をスクロールします。これ以外のボタンを押すと、読み上げを中止します。ただし、5や8を1秒以上押して、ECOモードやプライバシーアングルのON／OFFの切り替えを行うときは、読み上げを中止しません。
- メール読み上げ中に着信があると読み上げを終了し、着信中画面が表示されます。
- メール読み上げ中に新しくメールなどを受信したときは、「受信時動作設定」の設定内容に従います。また、メール読み上げ中にアラームの指定時刻になった場合は、「アラーム通知設定」の設定内容に従います。
- メール連動型ｉアプリのメールは受信結果画面で読み上げできませんが、受信メール詳細画面では読み上げができます。
- SMS送達通知は読み上げできません。
- デコメアニメ®は読み上げできません。
- パソコンなどから受信したメールは、読み上げできない場合があります。

読み上げルールについて

メール読み上げ機能では、おおむね以下の規則に基づいて受信メールを読み上げます。

■記号・絵文字

記号・絵文字の読み上げはしません。記号･絵文字がある文章の場合は、正しく読み上げできないこともあります。ただし、一部の記号は読み上げをします。

$	%	¥	°	℃	￥	＄	％	㍉	㌔
㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦
㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄
㎡									

■数字

数字が並んでいる場合は最大16桁まで桁読みします。

例：1234 →「センニヒャクサンジュウヨン」

■金額

数字の先頭に「￥（半角・全角可）」などが入力されていると、最大16桁まで金額として読み上げます。入力文字列に区切り記号「,」を使用する場合は、3桁ごとに「,」で区切られていなければ金額と判定しません。

例：￥12345 ￥12,345 →「イチマンニセンサンビャクヨンジュウゴエン」

■電話番号

数字が「-」「(」「)」により一般電話、携帯電話、フリーダイヤルの電話番号のパターンで区切られていると、桁読みをせず、電話番号として読み上げます。また数字の先頭に「Tel:」がある場合も電話番号として読み上げます。

例：Tel：0120-XXX-XXX→「テル　ゼロイチニーゼロ XXX XXX」

■時刻

数字が「:」で時刻パターンで区切られていると、時刻として読み上げます。※「時」については1～2桁、「分」については2桁の場合に時刻と判断します。また、文字列の前後に「AM」または「PM」（大文字）が付加されていると、「午前」「午後」を先頭に付けて時刻を読み上げます。

「時」：「分」（「時」は0～29、「分」は00～59） 例：23:15 →「ニジュウサンジ　ジュウゴフン」
AM「時」：「分」または「時」：「分」AM （「時」は0～12、「分」は00～59） 例：AM5:05 →「ゴゼン　ゴジ　ゴフン」

※：「時」：「分」：「秒」の形で入力されている場合（例：23：15：10）、読み上げを行いません。

■日付

数字が「/」や「.」で日付パターンで区切られていると、日付として読み上げます。また、日付の前に「M」「T」「S」「H」（M、T、S、Hは大文字のみ）が挿入されていると、年を元号（明治、大正、昭和、平成）として読み上げます。

「年」/「月」/「日」または「年」.「月」.「日」（「年」は0～9999、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：2009/3/3、2009/03/03、2009.3.3、2009.03.03 → 「ニセンキュウネン　サンガツ　ミッカ」
「H」「年」/「月」/「日」または「H」「年」.「月」.「日」（「年」は0～99、「月」は1～12、「日」は1～31） 例：H21.3.3 → 「ヘイセイ　ニジュウイチネン　サンガツ　ミッカ」

- 数字、金額、電話番号、時刻、日付においてすべてのパターンは全角文字にも対応しています。
- 金額、電話番号、時刻、日付を読み上げるとき、その文字列の直前あるいは直後に以下の文字がある場合には正確に読み上げないことがあります。金額、電話番号、時刻、日付を正確に読み上げたい場合は、その文字列の前後にスペースなどの区切り文字を置くことをおすすめします。
  「0～9」「A～Z（大文字）」「:」「¥」「/」「.」「-」（半角・全角）

■その他

- 英字はアルファベット読みで読み上げますが、組み合わせによってはアルファベット読みしない場合があります。
- 文章の内容や、記載内容（とくに地名や固有名詞など）により、読み上げをしなかったり、読みかたを誤る場合があります。
- 読み上げの音声は自然音声と異なります。聞きづらい発音やアクセントになる場合があります。
- 句読点（「、」「。」）、ピリオド（「.」）、改行、スペースなどがある場合は、その位置で読み上げを区切ります。ただし、「.」「,」の前後が数字の場合は、区切りません。区切りがない場合は、文章を自動的に区切って読み上げます。
  文章によっては声が出るまでに時間がかかる場合があります。漢字を使用した場合は、正しく読み上げができない場合があります。文章の内容をより正確に読み上げたい場合は、よくメールをやりとりする相手の方に以下のことをお願いすることをおすすめします。
  - 名詞、とくに地名、人名といった固有名詞はカタカナで作成してください。
  - 句読点などを用いた文章でメールを作成してください。

メールBOXのメールを表示する 〈送信BOX／受信BOX／送受信BOX〉

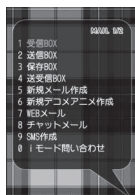
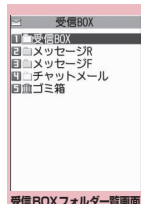
- お買い上げ時は、「Welcome デコメアニメ」（Welcomeメール）「緊急速報「エリアメール」のご案内」（エリアメール紹介メール）が受信BOXに保存されています。このメールには通信料はかかりません。また返信することはできません。
- 受信メールはｉモードメールとSMSを合わせて最大1,000件、送信メールはｉモードメールとSMSを合わせて最大400件まで保存されます。
- 受信メールは最大1,000件、送信メールは最大200件まで保護することができます。
- 保存および保護できるメールの件数は、データ量により変動します。ファイルサイズが大きいデータを保存したときは、保存および保護できる件数が少なくなります。

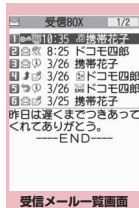
ｉモードメールの本文を読む

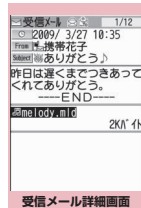
<例：受信メールの本文を読む場合>

1 ✉▶「受信BOX」▶フォルダを選択▶メールを選択

メールメニュー

受信BOX
1 受信BOX
2 メッセージR
3 メッセージF
4 チャットメール
5 ゴミ箱

受信BOXフォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.159

受信メール一覧画面

機能メニュー➡P.161

受信メール詳細画面

機能メニュー➡P.162

おしらせ

- メール一覧画面では、題名／名前／アドレスの一部が表示されない場合があります。
- 受信メール詳細画面では、メール本文を読み上げることができます。→P.154
- 2in1のモードがBモードの場合は、送信BOXフォルダー覧画面と送受信BOXフォルダー覧画面を表示できません。

● メール一覧画面／詳細画面の便利なボタン

■メール一覧画面

ボタン操作	動作
#（1秒以上）	「名前表示」「アドレス表示」「題名表示」の切り替え

■メール詳細画面

ボタン操作	動作
[上下キー]	押した方向にスクロール
[左右キー]	前後のメールを表示
[左右キー]（1秒以上）	文字サイズを変更
[上]※[下]※	触れた方向に画面単位でスクロール

※：「タッチセンサー設定」（P.107）で「スクロール機能」を「OFF」に設定している場合、[ボタン]を押すとタッチセンサーを有効にできます。

おしらせ

- ボタン操作で文字サイズを切り替えたときは、「フォント設定」の「文字サイズ」の「メール」、および「文字サイズ設定」の設定も変更されます。

● メール一覧画面の表示切替（1行＋本文表示／2行表示／1行表示）

- メールメニューの「メール設定」で「メール一覧表示設定」を選択すると、「1行＋本文表示」「2行表示」「1行表示」を切り替えられます。

1行＋本文表示　2行表示　1行表示

おしらせ

- 「メール一覧表示設定」で「1行＋本文表示」または「1行表示」を設定している場合、送受信メール一覧画面（送受信BOX）では常に「題名表示」となります。

● バックライト機能について

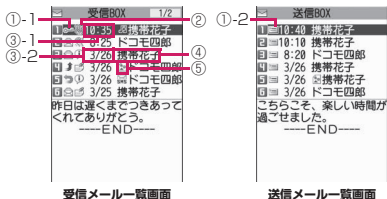
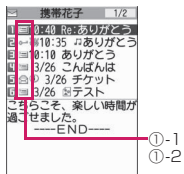
- ｉモードメールやSMSを送受信したときなどにバックライトが「照明設定」の「通常時」の「点灯時間」で設定した時間、点灯します（点灯時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わる場合があります）。ただしｉモードメールやSMSの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
- 「照明設定」の「通常時」を「OFF」に設定しているときは点灯しません。

メールフォルダー覧画面の見かた

受信BOXフォルダ一覧画面　送信BOXフォルダ一覧画面　送受信BOXフォルダ一覧画面

アイコン	説明
	通常のフォルダ
	メール連動型ｉアプリ専用フォルダ
	ゴミ箱フォルダ
	シークレットフォルダ

[アイコン]：未読メールがあるとき
[アイコン]：フォルダロックが設定されているとき
[アイコン]：自動振分け設定（P.160）がされているとき

メール一覧画面の見かた

受信メール一覧画面　　送信メール一覧画面

送受信メール一覧画面（送受信BOX）

①メールの状態

①-1 受信

アイコン	説明
	未読メール
	既読メール
	保護されている既読メール
	転送済みメール
	返信済みメール

: 保護されているとき

①-2送信

アイコン	説明
	宛先が1件のメール
	宛先が複数のメール（同報メール）

: 保護されているとき
: 一部送信が失敗したもの
: 送信が失敗したもの

②メールの内容

アイコン	説明
など	感情お知らせメール →P.149

③送受信した時刻や日付
③-1 当日送受信したメールは時刻表示
③-2 前日までに送受信したメールは日付表示

④送信元／宛先、題名、通知内容など
題名がない場合は「無題」と表示

⑤メール種別、添付ファイル情報

アイコン	説明
	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS
	SMS送達通知受信済みのSMS
	エリアメール
※	2in1のBアドレス宛てのメール
	時差補正されたメール
	メロディ添付または貼付メール
	画像添付または挿入メール
	ｉモーション添付メール
	トルカ、トルカ（詳細）添付メール
	PDFデータ添付メール
	ツールデータ（電話帳、スケジュール、Bookmark）添付メール
	ドキュメント添付メール
	その他ファイル添付メール
	メール本文からｉアプリが起動可
	メール本文からｉアプリが起動不可（メールをシークレットフォルダに移動）
	メール連動型ｉアプリで送受信したメール
	未取得ファイル添付メール →P.153
	未完成ファイル添付メール →P.153
	取得不可ファイル添付メール

次ページにつづく

アイコン	説明
	複数ファイルが添付されている、または添付ファイルと貼付ファイルが混在しているメール
	複数データが貼り付けられているメール（データがｉアプリToと一緒に貼り付けられている場合にも表示）
	FOMAカードセキュリティ機能がかかっているメール（メールを送受信したときとは違うFOMAカードを使用）

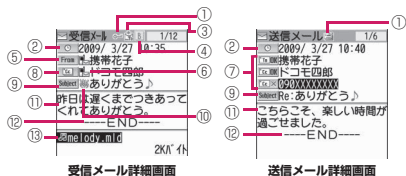
※：2in1のモードがデュアルモードの場合のみ表示

：添付ファイルが削除されているもの
：複数ファイルのうち、一部のファイルが削除されているもの
：複数ファイルで、すべてのファイルが削除されているもの

おしらせ

- 画像が添付されたｉモードメールは、受信メール詳細画面で画像の囲み枠を移動し、■［選択］を押すごとに画像表示とファイル名表示が切り替わります。
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、利用しないメールアドレスで受信したメールは表示されません。

メール詳細画面の見かた

受信メール詳細画面　送信メール詳細画面

①メールの状態
「メール一覧画面の見かた」（P.157）の①参照

②送受信した時刻と日付

③宛先のタイプ（受信メール）

アイコン	説明
	送信元の宛先のタイプ→P.139

④2in1のメールアドレス情報

アイコン	説明
※	2in1のBアドレス宛てのメール

※：2in1のモードがデュアルモードの場合のみ表示

⑤送信元（受信メール）

アイコン	説明
From Fm	送信元の名前またはメールアドレス

：返信不可のもの

⑥電話帳に登録されているアイコン
メールアドレスや電話番号が電話帳に登録されている場合、電話帳に登録されているアイコンを表示

⑦宛先と宛先のタイプ（送信メール）

アイコン	説明
To OK To Cc OK Cc Bcc OK Bcc	宛先の名前またはメールアドレス、および宛先のタイプ→P.139

：送信失敗のもの

⑧同報メールの宛先と宛先のタイプ（受信メール）
最大4件まで表示

アイコン	説明
To To Cc Cc	同報メールで、自分以外の宛先の名前またはメールアドレス、および宛先のタイプ→P.139

：返信不可のもの

⑨題名
題名がないときは「無題」と表示
受信したSMSには「SMS」（FOMAカード内にあるときは「」）と表示
SMS送達通知を受信済みの場合は、「」も合わせて表示
エリアメールの場合は「エリアメール」と表示

⑩メールの内容（受信メール）

アイコン	説明
など	感情お知らせメール→P.149

⑪メール本文

⑫本文の終わりに表示

⑬添付ファイル情報
　ファイル名、ファイルサイズも表示

アイコン	説明
♪	貼り付けられたメロディ（不正なメロディは本文にテキスト表示）
×	正しくない挿入画像

※上記以外に一覧画面と同じアイコンが表示される場合があります。それらについては、P.157の「⑤メール種別、添付ファイル情報」をご覧ください。

おしらせ

- 以下の場合は、電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されていても「名前」が表示されず、メールアドレスのままの表示となります。
  - 「指定発信制限」が設定中で、「指定発信制限」に指定されていない電話番号のとき
  - 2in1のモードがAモードに設定中で電話帳がB設定のとき、またはモードがBモードに設定中で電話帳がA設定のとき

機能 送信BOX／受信BOXフォルダ一覧画面（P.155）

フォルダ追加……フォルダを追加し、追加したフォルダに自動振分けを設定します。また、受信BOX、送信BOXに同じフォルダを追加するかどうかを設定します。
追加できるフォルダは22個までです。
「自動振分けを設定する」→P.160

自動振分け設定→P.160

フォルダ名編集……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。

フォルダロック……フォルダのロックを設定、解除します。→P.128

フォルダ並び替え……移動先の位置を選択し、フォルダを並び替えます。

保存件数確認

フォルダ内表示……フォルダ内のメール一覧画面を表示します。

デスクトップ貼付※1→P.109

iC全送信→P.337

赤外線全送信→P.336

microSDへ全コピー→P.325

フォルダ削除……追加したフォルダを削除します。

既読メール全削除※1、**受信メール全削除**※1、**送信メール全削除**※2

※1：受信BOXフォルダ一覧画面でのみ利用できる機能です。
※2：送信BOXフォルダ一覧画面でのみ利用できる機能です。

おしらせ

- お買い上げ時にすでにあるフォルダ（受信BOXや送信BOXなど）は、削除や並び替え、フォルダ名の変更はできません。また各フォルダに自動振分けを設定することもできません。

<フォルダ追加>
- メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、メール連動型ｉアプリ専用フォルダが自動的に作成されます（最大５個）。

<フォルダ並び替え>
- 追加したフォルダが１つしかない場合は並び替えできません。

<保存件数確認>
- 次のｉモードメールやSMSの件数は確認できません。
  - シークレットフォルダ内のもの
  - 2in1の設定により表示されていないもの
  - シークレットのモードにより表示されていないもの
- メッセージR／Fの件数は確認できません。

<ｉC全送信><赤外線全送信><microSDへ全コピー>
- メッセージR／Fは対象となりません。

<フォルダ削除>
- 対応するメール連動型ｉアプリがある場合、メール連動型ｉアプリ専用フォルダを削除することはできません（ソフトがない場合は削除できます）。
- 「自動振分け設定」が設定されていたフォルダを削除すると、そのフォルダに設定されていた自動振分け設定は解除されます。

<既読メール全削除><送信メール全削除><受信メール全削除>
- 次のｉモードメールやSMSは削除されません。
  - 保護されているもの
  - シークレットフォルダ内のもの
- 送信メール全削除や受信メール全削除の場合、シークレットデータとして登録した電話帳の送受信メール（通常モードでは非表示）も削除されます。
- 受信メール全削除の場合、2in1の設定により表示されていないメールも削除されます。
- メッセージR／Fは削除されません。

● 自動振分けを設定する

メールアドレスや題名など、あらかじめ条件を設定し、自動的に指定したフォルダにメールを振り分けます。

1 送信BOX／受信BOXフォルダ一覧画面（P.155、156）▶振分け先のフォルダを反転▶ch［機能］▶「自動振分け設定」▶以下の項目から自動振分けを設定

すでに振分け条件を設定している場合は設定中の条件が表示されます。さらにch［機能］を押します。

■ **オリジナルロックを電話帳やブログ・メールメンバーに設定している場合**

グループ名は「グループ」、ブログ・メールメンバーは「ブログ・メールメンバー」と表示されます。

アドレス振分け……メールアドレスを設定します。

アドレス参照入力……電話帳やアドレス一覧を参照してメールアドレスを設定します。

グループ参照……電話帳のグループを設定します。

ブログ・メールメンバー参照……ブログ・メールメンバーを設定します。

直接入力……メールアドレスを直接入力して設定します。

題名振分け……メールの題名を設定します。

返信不可振分け（送信失敗振分け）……返信不可または送信が失敗したメールを振り分ける場合に設定します。

すべて振分け……メール連動型 i アプリ専用フォルダだけに設定できます。すべてのメールをメール連動型 i アプリに振り分けます。

電話帳登録なし……電話帳未登録のメールを振り分ける場合に設定します。

アドレス／題名編集……設定済みのメールアドレスやメールの題名を編集します。

一覧表示切替……メールアドレスの一覧の表示方法を「名前表示、アドレス表示」から選択します。

解除……「1件解除、選択解除、全解除」から選択し、自動振分けの条件を解除します。

おしらせ

- 複数の振分け条件に該当したときの優先順位は以下のとおりです。
  ①すべて振分け　②題名振分け
  ③返信不可振分け／送信失敗振分け
  ④メールアドレス／電話番号
  ⑤ブログ・メールメンバー　⑥電話帳グループ
  ⑦電話帳登録なし
- 自動振分け設定を設定する前に受信または送信したメールは、振り分けられません。
- 同報送信した送信メールは、入力した宛先の順番で振分け条件を検索します。
- エリアメールは、「アドレス振分け」「題名振分け」「返信不可振分け」「電話帳登録なし」の対象となりません。

<アドレス振分け>
- アドレス振分けの条件は、全フォルダで700件まで設定できます（1つのフォルダに複数設定できます）。

<アドレス振分け（直接入力）>
- メールアドレスはドメイン（@マークより後ろの部分）まで正しく入力してください。ただし、「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。

<題名振分け>
- 題名が複数のフォルダの振分け条件にあてはまる場合、受信BOX、送信BOXの各フォルダに最も近いフォルダに振り分けられます。
- 「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されている i モードメールは振り分けられません。
- SMSは題名振分けができません。

<返信不可振分け>
- SMS送達通知は振り分けられません。
- 「返信不可振分け」は受信BOXの1つのフォルダにしか設定できません。

<送信失敗振分け>
- 「送信失敗振分け」は送信BOXの1つのフォルダにしか設定できません。

<すべて振分け>
- SMS送達通知やFOMAカードに直接受信したSMSは振り分けられません。
- 「すべて振分け」は、受信と送信それぞれ1つの i アプリメール用フォルダにしか設定できません。

<電話帳登録なし>
- 「電話帳登録なし」は、受信と送信それぞれ1つのフォルダにしか設定できません。

● 送受信BOXに送受信メールを表示できるようにアドレスを登録する

アドレスを登録することにより、送受信BOXに登録したアドレスの送受信メールを表示できます。

- 送受信BOXにはお買い上げ時に10個のフォルダが登録されており、1個あたりメールアドレスを1件登録できます。
- 送受信BOXのメールは、送信BOXや受信BOXでも表示されます。

1 ✉▶「送受信BOX」▶フォルダを反転▶✉［登録］▶メールアドレスを設定

メールアドレスの登録方法を選択し、メールアドレスを登録します。

■ 電話帳からメールアドレスを登録する場合

▶「電話帳」▶参照先を検索（P.83）▶電話帳詳細画面でメールアドレスを選択

■ アドレス一覧からメールアドレスを登録する場合

▶「送信アドレス一覧」または「受信アドレス一覧」▶メールアドレスを選択

■ 直接入力してメールアドレスを登録する場合

▶「直接編集」▶メールアドレスを入力

機能 送受信BOXフォルダ一覧画面（P.156）

フォルダ名編集

登録解除……フォルダに登録されているメールアドレスを解除します。フォルダ名はお買い上げ時の状態に戻ります。

フォルダ内メール全削除

機能 メール一覧画面（P.155）

返信※1→P.151

再編集※2……送信済みメールの宛先や題名、本文を編集します。✉［送信］を押すと、メールを送信できます。

フォルダ移動※3……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、メールをほかのフォルダに移動します。

メール検索※3……条件を指定してメールを検索します。

送信元検索※4、**宛先検索**※5……電話帳やメールアドレス一覧からメールアドレスを指定したり、メールアドレスを直接入力して検索します。

題名検索……題名または題名の一部を入力して検索します。

全表示※3……検索、ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。

ソート※3……選択した条件に従ってメールを並び替えます。

フィルタ※3……選択した条件に一致するメールのみを表示します。

色分け……メールに付ける色を「指定なし（黒）、赤、青」から選択します。メール一覧画面で［＊］を1秒以上押しても切り替えられます。

一覧表示切替※3……メール一覧の表示方法を「題名表示、名前表示、アドレス表示」から選択します。

すべて既読※4……フォルダ内のすべての未読メールを既読メールにします。

保護※1……「1件保護、選択保護※4、全保護※4」から選択します。

保護解除※1……「1件保護解除、選択保護解除※4、全保護解除※4」から選択します。

保護／保護解除※2、**全保護解除**※5

iC送信→P.337

赤外線送信→P.336

microSDへコピー→P.325

FOMAカード操作※3……「メール画面からSMSを移動またはコピーする」→P.333

メール情報※1……送信元などの情報を表示します。

保存件数確認※3

お預りセンターに保存※3→P.134

ゴミ箱へ捨てる※4……メールをゴミ箱フォルダへ移動します。ゴミ箱フォルダに捨てられたメールは、「受信BOX」がいっぱいになった場合、優先的に削除されます。

削除……「1件削除、選択削除※3、全削除※3」から選択します。
- 受信メールでは「既読削除※4、SMS送達通知全削除※4」を選択して、既読メールやSMS送達通知のみを一括削除することもできます。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※3※6……「1件保管、選択保管、全保管」から選択します。
「各種データを表示できないようにする」→P.121

※1：受信メール一覧画面または、送受信メール一覧画面で受信メールを反転しているときに利用できます。
※2：送信メール一覧画面または、送受信メール一覧画面で送信メールを反転しているときに利用できます。
※3：送受信メール一覧画面では利用できません。
※4：受信メール一覧画面でのみ利用できます。
※5：送信メール一覧画面でのみ利用できます。
※6：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。

機能 未読メール一覧画面（P.148）

返信→P.151

一覧表示切替……メール一覧の表示方法を「題名表示、名前表示、アドレス表示」から選択します。

保護／保護解除、1件削除

おしらせ

<メール検索>
- 検索結果をさらに検索することができます。
- 題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは検索できません。

<ソート><フィルタ>
- ソートとフィルタを併用することができます。たとえば受信メール一覧画面で未読メールだけを古い順に表示させたいときは、ソートメニューの「古い順」を選択した後、フィルタメニューの「未読のみ」を選択します。
- メール一覧画面を終了するとソートとフィルタは解除されます。

<すべて既読>
- フィルタ機能でメールを表示させた後に「すべて既読」を選択すると、表示されているメールのみ既読メールになります。

おしらせ

<保護／保護解除>
- 2in1の設定により表示されていないメール、シークレットのモードにより表示されていないメールは、「全保護」や「全保護解除」を選択しても設定の対象となりません。
  エリアメールは、「全保護」を選択しても設定の対象となりません。

<ゴミ箱へ捨てる>
- 未読メールをゴミ箱フォルダに捨てると、既読メールになります。

<シークレットに保管><シークレットから出す>
- 2in1の設定により表示されていないメールは、「全保管」や「全て出す」を選択しても移動の対象となりません。

機能 メール詳細画面（P.155）

返信／転送※1※2→P.151

再編集※3……送信済みメールの宛先や題名、本文を編集します。✉［送信］を押すと、メールを送信できます。

再送信※3**、保護／保護解除**

フォルダ移動※4……移動先のフォルダを選択し、メールを移動します。

コピー……メールの本文、題名、メールアドレスをコピーし、文字入力（編集）画面などに貼り付けることができます。→P.386

クイック検索※1→P.183

送信元アドレス登録※1**、宛先アドレス登録**※3**、アドレス／番号登録**→P.152

データ保存、挿入画像保存→P.152

デスクトップ貼付→P.109

デコメール保存……メールをテンプレートとして保存します。→P.144

辞典検索→P.368

プロパティ……画像を選択し、デコメール®の本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。

メール読み上げ※1→P.154

チャット起動※1※2→P.169

SMS送達通知表示※3→P.175

ｉC送信→P.337

赤外線送信→P.336

microSDへコピー→P.325

FOMAカード操作※4……「メール画面からSMSを移動またはコピーする」→P.333

スクロール設定……画面のスクロール行数を「1行スクロール、3行スクロール、5行スクロール」から選択します。

文字サイズ設定……表示される文字サイズを「極小、小、中、大、特大」から選択します。→P.108

添付ファイル削除、添付ファイル全削除

ゴミ箱へ捨てる※1※4……メールをゴミ箱フォルダへ移動します。

削除

シークレットに保管⇔シークレットから出す※4※5……「各種データを表示できないようにする」→P.121

※1：受信メール詳細画面でのみ利用できます。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：送信メール詳細画面でのみ利用できます。
※4：送受信メール詳細画面では利用できません。
※5：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。

おしらせ

<添付ファイル削除><添付ファイル全削除>
- メール本文に貼り付けられたデータや取得不可ファイル（ ）は削除できません。

メールの履歴を利用する
〈送信アドレス一覧／受信アドレス一覧〉

メールを送信または受信すると、送信アドレス一覧や受信アドレス一覧にアドレスが記録されます。アドレス一覧からメールアドレスを選択してメールを送信することができます。
- 送信アドレス一覧、受信アドレス一覧は、iモードメールのメールアドレスやSMSの電話番号などをそれぞれ30件まで記録されます。ただし、2in1を利用している場合、受信アドレスは最大60件まで記憶されます。
- 受信BOX、送信BOXにBOXロックを設定していると、メールアドレスはアドレス一覧に記録されません。

アドレス一覧を確認する

<例：受信アドレス画面を表示する場合>

1 待受画面表示中▶ （1秒以上）

「受信アドレス画面（一覧）」が表示されます。

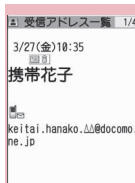
受信アドレス画面（一覧）

機能メニュー➡P.164

■ 送信アドレス画面（一覧）を表示する場合
▶ （1秒以上）

■ アドレス画面（一覧・詳細）の表示アイコン
 ・ ／ ・ ：iモードメール送受信成功／送信失敗
 ・ ／ ・ ：SMS送受信成功／送信失敗

2 送信元を選択

「受信アドレス画面（詳細）」が表示されます。

受信アドレス画面（詳細）

機能メニュー➡P.164

3 内容を確認

おしらせ

- 電源を切ったり、送受信メールを削除してもアドレス一覧は削除されません。ほかの人に見られたくないときは、アドレス一覧を削除してください。
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合は、利用しているメールアドレスで送受信した履歴のみが30件まで表示されます。ただし、Bモードに設定している場合、送信アドレス一覧画面は表示できません。

機能 **アドレス画面（一覧・詳細）(P.163)**

電話帳登録→P.152

電話帳参照……メールアドレスが登録されている電話帳の詳細画面を表示します。

デスクトップ貼付→P.109

ｉモードメール作成※1※2……メールアドレスを宛先に貼り付け、ｉモードメールを作成します。

電話発信……メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号にPhone To、AV Phone To機能で音声電話やテレビ電話を発信します。→P.191

着信履歴表示※3**、リダイヤル表示**※4**、発信履歴表示**※4→P.59

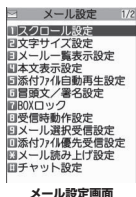
拡大表示⇔標準表示※5……文字サイズの拡大／標準を切り替えます。→P.108

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1：SMSを選択したときは「SMS作成」になります。電話番号を宛先に貼り付けたSMSを作成します。「SMSを作成して送信する」→P.174
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：受信アドレス画面（一覧・詳細）でのみ利用できる機能です。
※4：送信アドレス画面（一覧・詳細）でのみ利用できる機能です。
※5：アドレス画面（一覧）でのみ利用できる機能です。

FOMA端末のメール機能を設定する 〈メール設定〉

1 ✉▶「メール設定」

メール設定 1/2
1スクロール設定
2文字サイズ設定
3メール一覧表示設定
4本文表示設定
5添付ﾌｧｲﾙ自動再生設定
6冒頭文／署名設定
7BOXロック
8受信時動作設定
9メール選択受信設定
0添付ﾌｧｲﾙ優先受信設定
*メール読み上げ設定
#チャット設定

メール設定画面

2 **以下の項目から選択**

スクロール設定……メール詳細画面で[上下キー]を押したときに画面を何行分送る（スクロールする）かを「1行スクロール、3行スクロール、5行スクロール」から選択します。

文字サイズ設定……メール詳細画面で表示される文字サイズを「極小、小、中、大、特大」から選択します。→P.108

メール一覧表示設定……メール一覧画面の表示行数と表示内容を設定します。表示行数は「2行表示、1行表示、1行＋本文表示」から、表示方法は「題名表示、名前表示、アドレス表示」から選択します。

本文表示設定……メール本文を表示するときの表示開始位置を設定します。

通常表示……メールの先頭（受信日時、送信日時）から表示します。

本文から表示……メールの本文から表示します。

添付ファイル自動再生設定……受信したｉモードメールを開いたときに、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。

冒頭文／署名設定→P.165

BOXロック→P.128

受信時動作設定……FOMA端末の操作中にメール、メッセージR／F、ｉコンシェルのインフォメーションを受信したときに、受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

通知優先……受信中画面および受信結果画面を表示します。

操作優先……受信中画面および受信結果画面を表示せず、操作中の画面の表示を優先します。

メール選択受信設定……メールを選択受信するか（ON）自動受信するか（OFF）を設定します。

添付ファイル優先受信設定……メールを受信したときに、同時に受信する添付ファイルの種類を「イメージ、ｉモーション、メロディ、PDF、トルカ、ツールデータ（電話帳、スケジュール、Bookmark）、その他」から選択します。

メール読み上げ設定

読み上げ音声設定……メールを読み上げるときの声の種類を設定します。

受信時読み上げ設定……メール受信時の読み上げの有効、無効を設定します。

チャット設定→P.174

感情／キーワードお知らせ→P.166

SMS設定

SMS送達通知設定……SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。

SMS有効期間設定……送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を「0日、1日、2日、3日」から選択します。「0日」を設定すると、SMSセンターに保管されません。

SMS本文入力設定……SMS本文の入力方法を「日本語入力（全角半角問わず70文字）、半角英数入力（160文字）」から選択します。

エリアメール設定→P.169

メール設定確認

メール設定リセット……「メール設定」の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

おしらせ

- 2in1のモードがBモードの場合、「メール設定」は選択できません。

<受信時動作設定>

- 音声電話の着信中や発信中、音声通話中、またｉアプリやカメラなどの機能を利用しているときは、「通知優先」に設定していても、メール、メッセージR／Fを受信したときに受信中画面および受信結果画面が表示されない場合があります。
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合、設定していないモードのアドレス宛てにのみメール受信した場合は、「通知優先」に設定していても受信中画面は表示されますが、受信結果画面は表示されません。
- 通常モード時にシークレットデータに設定された相手からのメールを受信、またシークレット専用モード時にシークレットデータ以外の相手からのメールを受信した場合は、「通知優先」に設定していても受信中画面は表示されますが、受信結果画面は表示されません。

<メール選択受信設定>

- 本設定は、ｉモードメールのみ適用されます。SMS、メッセージR／Fは、この設定にかかわらず自動受信します。

<添付ファイル優先受信設定>

- ファイルの内容を確認するには、後から手動で取得する必要があります。→P.153
- 「その他」のチェックを外した場合、ドキュメントも受信しません。

冒頭文／署名／引用符を編集する

冒頭文や署名をあらかじめ登録しておくと、自動でｉモードメール本文に貼り付けることができます。また、受信メールを引用返信するときの引用符を編集することもできます。

1. **メール設定画面（P.164）▶「冒頭文／署名設定」**
2. **「冒頭文編集」または「署名編集」▶[■][編集]**

   ■ 引用符を編集する場合
   ▶「引用符編集」
3. **冒頭文、署名を入力▶[✉][完了]**

   冒頭文または署名を装飾することができます。→P.140

   ■ 引用符を入力する場合
   ▶引用符を入力

   ■ 冒頭文、署名の自動貼り付け設定を行う場合
   ▶「自動貼付設定」▶「冒頭文自動貼付」または「署名自動貼付」のチェックボックスを選択▶[✉][完了]
   自動貼り付けしない場合はチェックボックスのチェックを外します。

おしらせ

- 「自動貼付」のチェックボックスを選択しても、テンプレート、チャット画面、メール連動型ｉアプリからｉモードメールを作成するときは、貼り付けられません。

ｉモードセンターへ問い合わせをする内容を設定する 〈ｉモード問い合わせ設定〉

「ｉモード問い合わせ」の問い合わせ内容を「メール」（ｉモードメール）「メッセージR」「メッセージF」それぞれについて設定します。

1. **[MENU]▶「SETTINGS／SERVICE」▶「アプリケーション通信設定」▶「ｉモード問い合わせ設定」**
2. **[◎]で□（チェックボックス）を選択▶[✉][完了]**

   「□」（チェックを外した状態）に設定すると、その項目は問い合わせません。

感情お知らせメールの通知方法を設定する〈感情／キーワードお知らせ〉

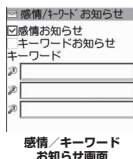
メールを受信したときに感情お知らせメールのアイコンを表示するかどうかを設定します。キーワードを設定して「」などのアイコンを表示させることもできます。

●「感情お知らせメールについて」→P.149

1 メール設定画面（P.164）▶「感情／キーワードお知らせ」

■「感情お知らせ」を利用する場合

▶「感情お知らせ」の□（チェックボックス）を選択

「☑」にすると、メール受信時に感情お知らせメールのアイコンが表示されます。

感情／キーワードお知らせ画面

■「キーワードお知らせ」を利用する場合

▶「キーワードお知らせ」の□（チェックボックス）を選択▶キーワードを1つ以上入力

「☑」にすると、「キーワード」に対応するキーワードお知らせのアイコン（、、）が表示されます。

■ キーワードを削除する場合

▶ch［機能］▶削除方法を選択

2 ［完了］

おしらせ

●キーワードを変更または削除した場合は、メール一覧画面などでそのキーワードに対応して表示されていたキーワードお知らせアイコンの表示も削除されます。

メッセージを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージR／Fがｉモードセンターから自動的に送られてきます。→P.147

●メッセージR／Fは、FOMA端末にそれぞれ最大100件まで保存できます（データ量によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

●ｉモードセンターに保管されているメッセージを受信するには、「ｉモード問い合わせ」を行ってください。→P.150

●メッセージR／Fの設定についてはP.192を参照してください。

●「スライドアクション設定」（P.351）の「新着メール閲覧」を「ON」にすると、FOMA端末を開いたときにすぐにメッセージ内容を確認できます。

おしらせ

●メッセージの保存領域がいっぱいになると、メッセージを受信したとき、既読の古いメッセージから順に削除されます（未読または保護されているメッセージは削除されません）。

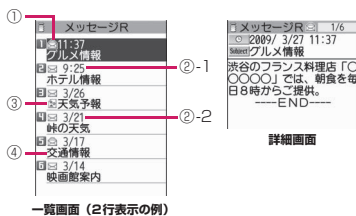
●FOMA端末がこれ以上メッセージを受信できない（未読または保護されているメッセージでいっぱい）場合、R（赤色）／F（赤色）が表示されます（RF（赤色）、RF（R：赤色）、RF（F：赤色）のように2種類の状態を同時に表示する場合もあります）。未読のメッセージを読むか、いらないメッセージの保護を解除してください。

●ｉモードセンターにメッセージが保管されていると、R／Fが表示されます。また、ｉモードセンターに保管されているメッセージがいっぱいのときは、R（赤色）／F（赤色）が表示されます。

●待受画面以外を表示中、ｉアプリ起動中、公共モード（ドライブモード）設定中、ダイヤルロック設定中、「ｉモード」または「メール／メッセージ受信表示」にオリジナルロックを設定中は、メッセージR／Fを受信しても自動表示しません。

メッセージR／F画面の見かた

一覧画面（2行表示の例）

詳細画面

①メッセージの状態

アイコン	説明
	未読メッセージ
	既読メッセージ
	保護されている既読メッセージ

: 保護されているとき

②受信した時刻や日付

②-1 当日受信したメッセージは時刻表示

②-2 前日までに受信したメッセージは日付表示

③添付ファイル情報

<一覧画面>

アイコン	説明
	メロディ添付または貼付メッセージ
	画像添付または挿入メッセージ
	トルカ添付メッセージ
	複数データ添付または貼付メッセージ

: 一部のデータが正しくないもの

: データが正しくないもの

<詳細画面>

アイコン	説明
	貼付メロディ

: データが正しくないもの

④題名

メッセージBOXのメッセージを表示する 〈メッセージR／F〉

● iモードセンターからFOMA端末にメッセージR／Fが届くと画面の上部に「R」や「F」が表示されます。

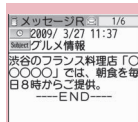
1 ▶「受信BOX」▶「メッセージR」または「メッセージF」

メッセージ一覧画面

機能メニュー➡P.167

2 メッセージを選択

メッセージ詳細画面で前または次のメッセージを表示させるときは を押します。

メッセージ詳細画面でCLRを押すと、メッセージ一覧画面に戻ります。

メッセージ詳細画面

機能メニュー➡P.168

機能 メッセージ一覧画面（P.167）

全表示……ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。

ソート……選択した条件に従ってメッセージを並び替えます。

フィルタ……選択した条件に一致するメッセージのみを表示します。

保護／保護解除、保護全解除、保存件数確認

削除……「1件削除、選択削除、既読削除、全削除」から選択します。

- 「既読削除」を選択すると、既読メッセージのみを一括削除できます。

メール

おしらせ

<ソート><フィルタ>
- ソート表示とフィルタ機能を併用することができます。たとえば未読メッセージだけを古い順に表示させたいときは、ソートメニューの「古い順」を選択した後、フィルタメニューの「未読のみ」を選択します。
- メッセージR／F一覧画面を終了するとソートとフィルタは解除されます。

機能 メッセージ詳細画面（P.167）

電話帳登録→P.152

メロディ保存、画像保存、トルカ保存……メッセージR／Fに添付または挿入されているメロディ／画像／トルカを保存します。

クイック検索→P.183

保護／保護解除、削除

おしらせ

<メロディ保存>
- 保存したメロディは正しく再生されない場合があります。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急情報などを受信することができるサービスです。
- iモードを契約しなくても、エリアメールは受信できます。
- 下記のような場合は、受信設定にかかわらずエリアメールの受信はできません。
  - 電源OFF時
  - 「圏外」時
  - 音声電話中
  - テレビ電話中
  - 国際ローミング中
  - おまかせロック中
  - セルフモード設定中
  - 赤外線／iC通信中
- 下記のような場合は受信できないことがあります。
  - iモード通信中
  - 64Kデータ通信中
  - ソフトウェア更新中
  - パターンデータ更新中
  - パソコンなどと接続してのパケット通信中

  また、電波状況により受信できない場合もあります。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは 〈エリアメール受信〉

FOMA端末が圏内にあるときは、自動的にエリアメールが送られてきます。
- エリアメールを受信すると画面の上部に「 」が表示されます。
- バイブレータは着信音、ブザー音に連動して振動します。ただし、着信音の場合は、「バイブレータ」の「メール」が「OFF」に設定されていると振動しません。
- マナーモード設定中のブザー音と着信音の鳴動は、「マナーモード選択」の設定に従います。ただし、「オリジナルマナー」を設定している場合、着信音はメール着信音量の設定に従い、ブザー音は以下の項目が「消去」または「OFF」以外に設定されていると鳴動します。
  - 伝言メモ
  - 電話着信音量
  - メール着信音量
  - アラーム音量
  - iアプリ音量
  - メモ確認音
  - ボタン確認音
  - 低電圧アラーム
- マナーモード設定中のバイブレータの振動は、着信音の場合は「マナーモード選択」の設定に従います。また、ブザー音の場合は「マナーモード選択」の設定にかかわらず、常に振動します。
- 受信したエリアメールは、受信BOXに保存されます。
- エリアメールは、FOMA端末に最大100件まで保存できます。

おしらせ
- エリアメールの保存領域がいっぱいになると、エリアメールを受信したとき、ゴミ箱の古いエリアメール、既読の古いエリアメール、未読の古いエリアメールの順に削除されます。

● 緊急地震速報のエリアメールを受信した場合

エリアメールを受信すると内容通知画面が表示され、ブザー音とバイブレータの振動でお知らせします。
■、CLR、⌒のいずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。
- ブザー音の音量は調整できません（レベル6固定）。ただし、ブザー音の鳴動時間は、「エリアメール設定」の「ブザー鳴動時間」で設定できます。

● 緊急地震速報以外のエリアメールを受信した場合

エリアメールを受信すると「エリアメールを受信しました」の画面または「内容通知画面」が表示され、エリアメール用の着信音でお知らせします（どちらの画面が表示されるかは配信者が決定します）。
「エリアメールを受信しました」の画面は一定時間何も操作しないか、いずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。内容通知画面は■、CLR、⌒のいずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。
- 着信音の音量は、「着信音量」の「メール」で設定した音量になります。

おしらせ

- 下記のような場合などにエリアメールを受信したときは、内容通知画面または「エリアメールを受信しました」の画面が表示されない場合があります。
  - カメラ起動中
  - ｉアプリ実行中
  - 公共モード（ドライブモード）設定中
  - ワンセグ視聴中／録画中
  - アラーム起動中
  - ストリーミング再生中
  - microSDカードアクセス中

緊急速報「エリアメール」の設定を行う 〈エリアメール設定〉

エリアメール受信に関する設定を行います。

1 メール設定画面（P.164）▶「エリアメール設定」▶以下の項目から選択

受信設定……エリアメールを受信するかどうかを設定します。
- 設定前にエリアメールを利用するかどうかの確認画面が表示されるので、注意事項をよくお読みになり、「利用する／利用しない」を選択します。

受信登録……緊急情報以外に受信したい情報の「エリアメール名称」（任意の名称を入力）と「Message ID」（サービス提供者から発行されるメッセージIDを入力）を登録します。「受信登録画面」で「<未登録>」を選択後、端末暗証番号を入力して登録します。なお、緊急情報は受信登録に関係なく受信されます。

エリアメール名称……任意の名称を入力してください。

Message ID……サービス提供者から付与されるMessage IDを入力してください。

ブザー鳴動時間……ブザーの鳴動時間を01～30秒の間で設定します。

チャットメールを送受信する 〈チャットメール送受信〉

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。
- 以下のような場合はチャットメールを起動することができません。
  - メール選択受信を「ON」に設定しているとき
  - 受信BOXが未読または保護されているメールで満杯のとき
  - 2in1のモードがBモードのとき
  - 「メール送信」または「メール／メッセージ受信表示」にオリジナルロックを設定中のとき
- 複数の相手にチャットメールを送信した場合の通信料は、同報メールの送信の場合と同じです。

1 ✉▶「チャットメール」

チャットメンバーには前回終了時のメンバーが設定されます。

チャット画面

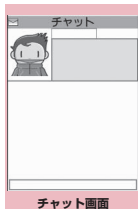
機能メニュー➡P.171

■ **チャットメンバーを設定する場合**
はじめてチャットを起動したとき、また前回終了時とは異なるメンバーとチャットをはじめるときにはチャットメンバーを設定する必要があります。→P.171

■ **チャットグループ一覧画面から起動する場合**
チャットグループのメンバーをチャットメンバーに設定して、チャットが起動されます。
▶チャットグループ一覧画面（P.173）▶ch［機能］▶「チャット起動」

2 ■［選択］▶発言文を入力▶■［確定］

入力した発言文が、発言文表示エリアに表示されます。

■ **送信先選択について**
機能メニューで「送信先選択」を選択すると、送信するメンバーと送信しないメンバーを選択することができます。

3 ✉［送信］

送信が完了すると、発言文表示エリアの発言文は消去され、最新発言エリアに移行します。

■ 送信に失敗した場合

最新発言エリアの発言文がグレー表示になります。発言文表示エリアの発言文は削除されないので、送信に失敗したチャットメールを再送信することができます。

4 チャットメールを交換する

送信したメールに対する返信があると、最新発言エリアに表示され、それまで最新発言エリアに表示されていた発言文は発言履歴エリアに移行します。

■ 自分の発言を送信する場合

操作2～3を繰り返します。

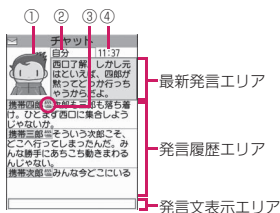
5 チャットを終了するときは［ー］

既読のチャットメールを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

おしらせ

- 添付ファイルや貼付データは表示されません。
- 送受信したチャットメールはチャットメールフォルダに保存されます。
- チャット画面で表示したチャットメールは、チャットメールフォルダにおいて既読となります。
- チャットメールを起動中に通常のｉモードメールを受信しても、受信結果画面は表示されません。

チャットの基礎知識

■チャット画面

最新発言エリア

自分を含めて最新の発言を表示します。発言が長く表示しきれない場合は、「▶」などが表示されるので、[◀▶]でページを切り替えて発言内容を確認することができます。

① 画像：表示／非表示（有効／無効）を設定したり、メンバーの写真などを設定することができます。
② メンバー名：グループメンバー一覧画面の機能メニューでメンバー名を編集することができます。
③ 同報アイコン：複数のメンバーに送信されたチャットメールか、自分だけに宛てたチャットメールかが区別できます。
④ 送受信日時

発言履歴エリア

古い発言ほど下に送られます。発言が長く表示しきれない場合は、「≫」が表示されます。[▲▼]で最新発言エリアにスクロールさせると、発言内容を確認することができます。

発言文表示エリア

入力済みの発言が表示されます。[■]［選択］を押すと、文字入力（編集）画面が表示され、文字編集モードになります。

■チャット用語

チャットメンバー：チャットを行うメンバーです。直接、設定したり、チャットグループからグループごと入れ替えたり、ブログ・メールメンバーからメンバーごと入れ替えることができます。

チャットグループ：チャットを行う候補者を分類したグループです。チャットメンバーを、すべてのグループから選択して入れ替えることもできます。

グループメンバー：チャットグループに登録してあるメンバーです。

機能 チャット画面（P.169）

送信

送信先選択……チャットメールの送信先を選択します。

チャットメンバー……チャットメンバーを設定します。→P.171

同報宛先確認→P.171

更新……ｉモードセンターに保管されているチャットメールを受信します。

先頭表示、最終表示……最新発言エリアに最新の発言または一番古い発言を表示します。

チャット終了、既読削除

おしらせ

<チャット終了>
- チャットメールを終了すると、未送信のチャットメールは削除され、送受信したチャットメールは一括削除するかどうか選択できます。一括削除すると、チャットメールフォルダからも削除されます。ただし、保護されているチャットメールは削除されません。

<既読削除>
- 送信に失敗したチャットメールも削除されます。

● 同報メールの宛先をチャットメンバーに追加する

受信したチャットメールに宛先が複数あった場合（同報メール）、他の宛先をチャットメンバーに追加することができます。
- 本機能は、チャットメールに対応したFOMA端末からの同報メールの場合のみ利用することができます。

1 チャット画面（P.169）▶ch［機能］▶「同報宛先確認」▶「YES」▶[十字キー]で□（チェックボックス）を選択▶[メールキー]［完了］

■ 宛先がすべてチャットメンバーの場合
▶「同報宛先確認」▶「OK」

チャットメンバーを設定する 〈チャットメンバー設定〉

チャットメールをやりとりする相手を設定します。
- チャットメンバーは自分以外に5人まで登録できます。

1 チャット画面（P.169）▶ch［機能］▶「チャットメンバー」

チャットメンバー設定画面

機能メニュー➡P.171

2 チャットメンバーを入力

■ メールアドレスを直接入力する場合
▶チャットメンバーを選択

■ 参照入力する場合
▶チャットメンバーを反転▶ch［機能］▶「メンバー参照入力」

機能 チャットメンバー設定画面（P.171）

編集

メンバー参照入力……電話帳や送信アドレス一覧、受信アドレス一覧を参照してチャットメンバーのメールアドレスを入力します。

メンバー入れ替え→P.172

チャットグループ登録……現在のチャットメンバーを一括してチャットグループに登録します。

詳細設定確認、削除、全削除

おしらせ

<編集>
- 同じメールアドレスがチャットグループに登録されている場合は、メンバー名が表示されます。チャットグループに登録されていない場合は、電話帳登録されているかいないかで表示内容が異なります。登録されているときは登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが、登録されていないときはメールアドレスの先頭から半角8文字までが表示されます。

● チャットメンバーを入れ替える

1 チャットメンバー設定画面（P.171）、グループメンバー一覧画面（P.173）▶ch［機能］▶「メンバー入れ替え」▶以下の項目から選択

チャットグループ※

グループ一覧……チャットグループをチャットメンバーに設定します。

メンバー一覧……すべてのチャットグループの中から、チャットメンバーを選択して入れ替えます。

ブログ・メールメンバー……ブログ・メールメンバーをチャットメンバーに設定します。

※：チャットメンバー設定画面でのみ利用できる機能です。

待受中にチャットメールを受信したときは 〈チャットメール受信〉

チャットメールを起動していないときにチャットメールを受信すると、待受画面に「チャット」が表示されます。アイコンを選択するとチャットメールが起動します。

- FOMA端末は、以下の条件がすべて一致するかどうかでチャットメールを識別します。
  - 題名に「チャットメール」（すべて全角またはすべて半角）が含まれている。
  - 送信元や宛先のメールアドレスがチャットメンバーまたはチャットグループに登録されている。
  - デコメール®、デコメアニメ®、SMS、メール連動型ｉアプリのメール、2in1のBアドレス宛てのメールではない。
- チャットメールの表示可能文字数は全角250文字、半角500文字です。
- 受信したチャットメールに添付ファイルが付いていた場合、チャットメール画面では本文のみ表示されます。
- 「スライドアクション設定」（P.351）の「新着メール閲覧」を「ON」にすると、FOMA端末を開いたときにすぐにチャットメール画面を開きます。

1 待受画面表示中▶■▶「チャット」を選択

■ 送信元がチャットメンバーに登録されていない場合

チャットメンバーを削除してチャットメールを起動するかどうかのメッセージが表示されます。

「YES」を選択すると、チャットメンバーを変更してチャットメールを起動します。

「NO」を選択すると、チャットメンバーを変更しないでメールメニュー画面が表示されます。

2 チャットの開始

受信したチャットメールが最新発言エリアに表示されます。削除していないチャットメールがある場合は、発言履歴エリアに日時が新しい順に表示されます。

チャットメンバーが変更されるとき

待受画面から「チャット」を選択した場合や、受信メール詳細画面の機能メニューから「チャット起動」を選択した場合は、以下の条件でチャットメンバーや送信先が変更されます。

■送信元がチャットメンバーに設定されているとき

前回終了時のチャットメンバーがそのまま設定されます。

ただし、起動方法によって「送信先選択」の設定は次のようになります。

- 受信メール詳細画面から起動した場合は、送信元以外のメンバーは送信先から外れます。
- 「チャット」を選択した場合は、「送信先選択」の設定に従い、送信元が送信先から外れているときは、送信先に追加されます。

■送信元がチャットメンバーに設定されていないとき

- チャットグループに登録されているときは、送信元が登録されているチャットグループのメンバーすべてが、チャットメンバーに設定されます。ただし、送信元以外のメンバーは送信先から外れます。
- チャットグループに登録されていないときは、送信元だけが、チャットメンバーに設定されます。

チャットグループにメンバーを登録する

チャットグループにあらかじめメンバーを登録しておくと、簡単な操作でチャットメンバーに設定できます。

- 1件のチャットグループにメンバーを5人まで登録できます。自分を登録する必要はありません。
- チャットグループは5件まで登録できます。
- 1人のメンバーを別々のチャットグループに重複して登録することはできません。

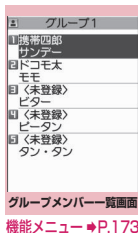
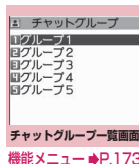
1 MENU▶「OWN DATA」▶「チャットグループ」▶チャットグループを選択

■ チャットメールの一覧画面

チャットグループ一覧画面

機能メニュー➡P.173

グループメンバー一覧画面

機能メニュー➡P.173

2 「<未登録>」を反転▶✉［編集］▶メールアドレスを入力

メールアドレスを追加登録するときは、操作2を繰り返します。

■ 電話帳などを引用してメールアドレスを入力する場合

「〈未登録〉」を選択すると、電話帳や送信アドレス一覧、受信アドレス一覧を参照してメールアドレスを入力できます。

おしらせ

- チャットメンバーに登録するメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。
- 電話帳に登録された名前の先頭から全角4文字、半角8文字までがメンバー名になります。電話帳の画像も反映されます。電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスの先頭から半角8文字までがメンバー名になります。

機能 チャットグループ一覧画面 (P.173)

チャット起動……チャットグループのメンバーをチャットメンバーに設定して、チャットメールを起動します。

グループ名編集

グループ名初期化……グループ名をお買い上げ時の状態に戻します。

機能 グループメンバー一覧画面 (P.173)

編集

メンバー参照入力……電話帳や送信アドレス一覧、受信アドレス一覧を参照してグループメンバーのメールアドレスを入力します。

メンバー入れ替え……グループメンバーをブログ・メールメンバーと入れ替えます。

メンバー詳細設定

メンバー名……メンバー名を編集します。

画像……チャット画面に表示する各メンバーの画像をマイピクチャから選択します。

音声……チャット画面で読み上げるメンバーの声を設定します。

1件削除、全削除

おしらせ

<メンバー入れ替え>

- すでに登録されているグループメンバーと同じメールアドレスがブログ・メールメンバーに含まれている場合、そのブログ・メールメンバーの入れ替えはできません。

チャットの各種設定をする
〈チャット設定〉

1 メール設定画面(P.164)▶「チャット設定」▶以下の項目から選択

お知らせ音設定……チャット画面表示中に、新しいチャットメールを受信したときや送信したときに鳴らすお知らせ音を設定します。

チャットメール画像設定……チャット画面の最新発言エリアに画像を表示するかしないかを設定します。

チャット読み上げ設定……チャット画面でチャットメールを読み上げるか読み上げないかを設定します。

ユーザ詳細設定

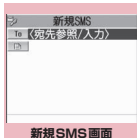
- **ユーザ名**……自分の名前を入力します。
- **画像**……チャット画面に表示する自分の画像をマイピクチャから選択します。
- **音声**……チャット画面で読み上げる自分の声を設定します。

おしらせ

＜お知らせ音設定＞
- チャットメンバーに登録されていないメンバーからチャットメールを受信した場合は、お知らせ音は鳴りません。

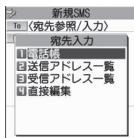
SMSを作成して送信する
〈SMS作成・送信〉

- SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国および海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 ✉▶「SMS作成」

新規SMS画面

機能メニュー➡P.175

2 「To＜宛先参照／入力＞」▶宛先を入力

宛先の入力方法を選択し、宛先を入力します。
電話帳やアドレス一覧から参照する方法、直接入力する方法について→P.138

■ 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合

▶＋（0（1秒以上））、国番号、相手先の携帯電話番号の順に入力
携帯電話番号が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力してください。
また、「010」、国番号、相手先の携帯電話番号の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください）。

3 「📄」▶本文を入力

入力できる文字の種類と文字数は「SMS本文入力設定」の設定に従います。
スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。

4 ✉［送信］

メール送信中のアニメーション画面が表示され、SMSが送信されます。

おしらせ

- 以下の場合は、入力した宛先にSMSを送信することはできません。
  - 宛先に数字、「*」「#」以外の文字が含まれているとき
  - 宛先の先頭以外に「＋」が含まれているとき
  - 宛先にスペースが含まれているとき
- 電波状況や送信する文字の種類、相手側の端末によっては文字が正しく表示されない場合があります。
- 発信者番号通知を「通知しない」に設定しても、SMS送信時は受信側に発信者番号が通知されます。
- 改行は「日本語入力」の場合は2文字、「半角英数入力」の場合は1文字としてカウントされます。
- マルチナンバーの付加番号からはSMSの送信ができません。通常発信者番号を基本契約番号に設定してください。
- 2in1のモードがBモードの場合は、SMSを作成･送信できません。
- SMSを分割（連結SMS）して送信することはできません。

機能 新規SMS画面（P.174）

送信

送信プレビュー……SMSの宛先や内容を送信イメージで表示します。

保存→P.146

SMS送達通知設定※……SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかしないかを設定します。

SMS有効期間設定※……送信したSMSが圏外などで届かなかった場合に、SMSセンターに保管する期間を「0日、1日、2日、3日」から選択します。「0日」を選択すると一定時間後、再送した後にSMSセンターから削除します。

SMS本文入力設定※……SMS本文の入力方法を「日本語入力（全角半角問わず70文字）、半角英数入力（160文字）」から選択します。

本文消去、SMS削除

※：作成中のSMS1件に限り有効です。すべてのSMSに設定を保持させたい場合は、「メール設定」（P.164）で設定してください。

● SMS送達通知について 〈SMS送達通知表示〉

SMS送達通知とは、SMSが相手に届いたことをお知らせするメールです。SMS送達通知は受信BOX、または送信したSMSの送信メール詳細画面の機能メニュー「SMS送達通知表示」で確認できます。SMS送達通知は題名に「SMS送達通知」と表示されます。

SMSを受信したときは 〈SMS受信〉

FOMA端末が圏内にあるときは、SMSセンターから自動的にSMSが送られてきます。

- SMS受信時の動作はｉモードメールを受信したときと同じです。また、最大保存件数や、受信メールの保存領域がいっぱいになったときの動作も同じです。→P.147
- 受信メール一覧画面のSMSの題名には本文の先頭が表示されます。

おしらせ

- mova端末などからショートメールを受信した場合は、送信元の電話番号が表示されます。ただし、発信者番号が通知されないときは、通知されない理由が表示されます。
- 受信したSMSに区点コード一覧表にない全角文字が含まれている場合はスペース（空白）で表示されます。区点コード一覧表は、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。
- 表示したSMSの送信元を反転表示した状態で■［選択］を押すと、音声電話やテレビ電話の発信、SMSの作成ができます（Phone To／AV Phone To、Mail To機能）。→P.191
- 連結SMSを受信した場合、連結せずに1件ずつ表示します。

受信したSMSに返信／転送する

SMSの送信元に返信／転送します。→P.151

- 題名の入力はできません。

おしらせ

- 送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能のSMSには返信できません。
- FOMAカード内のSMSを返信／転送しても、受信メール一覧画面、受信メール詳細画面で「↩」／「⤴」のアイコンは表示されず「✉」のアイコンの表示のままとなります。
- 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合は、Bナンバー宛てのSMSに返信できません。

SMSがあるかを問い合わせる〈SMS問い合わせ〉

FOMA端末が受信できなかったSMSは、SMSセンターに保管されます。SMSセンターに問い合わせると、保管されているSMSを受信することができます。

- SMSセンターに保管されるのは、以下の場合です。
  - FOMA端末の電源が入っていないとき
  - 「圏外」のとき
  - 受信BOXが満杯のとき
  - セルフモード設定中

1 ✉▶「SMS問い合わせ」

問い合わせ中は、「SMS問い合わせ中…」と表示されます。問い合わせが終わったら■［選択］を押してください。センターにSMSが保管されていれば、自動受信がはじまります。
問い合わせを行った後、自動受信がすぐにはじまらない場合があります。

SMSセンターについて設定する〈SMSセンター設定〉

- SMSセンター以外のSMS設定については、「メール設定画面」の「SMS設定」（P.165）を参照してください。

※通常は設定を変更する必要はありません。

ドコモのSMSセンターを利用するか、他社のSMSセンターを利用するかを設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「アプリケーション通信設定」▶「SMSセンター設定」▶以下の項目から選択

ドコモ……ドコモのSMSセンターを利用します。

ユーザ設定……SMSセンターのアドレスを入力後、「International、Unknown」を選択して、他社のSMSセンターを利用します。

リセット……「ユーザ設定」の内容を削除し、「ドコモ」に設定します。

おしらせ

- 入力したSMSセンターのアドレスに「#」や「＊」が含まれている場合は、「International」を選択することはできません。

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル／ｉコンシェル

ｉモード

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末(以下ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

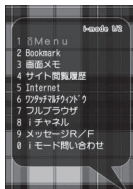
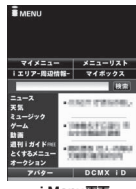
- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編)』をご覧ください。

■ ｉモードのご利用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらのサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れた場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、動画、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、「画面メモ」および「メッセージR／F」などを表示、再生できません。
- FOMAカードにより表示、再生が制限されているファイルが待受画面や着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れると、お買い上げ時の設定内容で動作します。

サイトを表示する
〈ｉモードメニュー／サイト表示〉

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスをご利用いただけます(別途申し込みが必要な場合があります)。

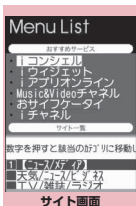
1 ｉ▶「ｉMenu」

ｉモードメニュー画面

ｉMenu画面

ｉモードメニュー画面で「ｉMenu」を選択すると、通信が開始されます。
ｉモードセンターとの通信中は「⇔」が点滅し、ｉモードのサービスを受けているとき（ｉモード中）は「ｉ」が点滅します。

2 **項目やリンク先を選択し、目的のサイト画面を表示**

「サイトの見かたと操作」→P.181

■ ページの取得を中止する場合
▶CLR

サイト画面

機能メニュー➡P.179

3 **ｉモードを終了するときは[終話]▶「YES」**

おしらせ

- ｉモードのサービスエリアはFOMAのサービスエリア（通話のできるエリア）と同じです。
- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
- サイトによっては、サイトの画面の表示色数がFOMA端末の最大表示色数を超えるため、実際のサイト画面と表示が異なることがあります。
- ｉモード対応のサイトやインターネットホームページによっては、設定されている配色で文字が見えにくい場合や、見えない場合があります。

おしらせ

- サイトからお客様の携帯電話で再生した楽曲情報が要求されたときは、楽曲情報の送信に関する確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報（タイトル名、アーティスト名、再生日時）が送信されます。送信される楽曲情報は、IP（情報サービス提供者）がお客様にカスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

●「みんなNらんど」について

ｉMenuの中のサイト「みんなNらんど」から、FOMA端末で利用できるｉアプリ、辞書、デコメール®テンプレートなどのデータファイルをダウンロードして保存し、いろいろな用途に利用することができます。お買い上げ時に登録されているｉアプリやPDFデータ、デコメ®絵文字などを削除した場合、元に戻したいときは「みんなNらんど」からダウンロードしてください。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
「みんなNらんど」への接続のしかたには以下の2とおりの方法があります。

- 「ｉMenu」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「みんなNらんど」の順に選択
- 右のQRコードを読み取り、表示されたURLを選択→P.229

● 携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号について

サイトやインターネットホームページの画面を表示しているときに項目を選択すると、携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信することを示すメッセージが表示されることがあります。

- 携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信される前には必ず、送信することを示すメッセージが表示されます。自動的に送信されることはありません。

おしらせ

- 送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IPの提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。

おしらせ

- 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIPなどに通知されることはありません。

機能 サイト画面（P.178）

Bookmark登録→P.185

Bookmark一覧→P.185

画面メモ保存→P.187

画面メモ一覧→P.187

画像保存→P.189

クイック検索→P.183

サイト閲覧履歴→P.181

ワンタッチマルチウィンドウ→P.186

ウィンドウ操作

- **新ウィンドウで開く**……「リンク先以外のページを開く」→P.182
- **ウィンドウを閉じる**……表示中のウィンドウを閉じます。
- **ウィンドウ切替**……複数のページを表示しているとき、ウィンドウを切り替えます。
- **ｉチャネル起動**→P.198

URL入力……URLを入力してインターネットホームページに接続します。

電話帳登録→P.183

デスクトップ貼付→P.109

スケジュール参照登録……ページを参照しながらスケジュールを登録します。

辞典検索→P.368

再読み込み……ページを新しい情報に更新します。

ｉモードメール作成※……ページのURLを本文に貼り付けたり、画像を添付または挿入し、ｉモードメールやデコメール®を作成します。

ｉMenu→P.178

ホーム登録／表示

- **ホーム登録**……表示中のページのURLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。

次ページにつづく

ホーム表示……ホームURLに登録されているページを表示します。
利用するには「ホームURL設定」を「有効」に設定してください。→P.192

サイト情報表示

タイトル表示……ページのタイトルを表示し、確認します。

URL表示……ページのURLを表示し､確認します。すべてのURLが表示されない場合は、■［選択］を押し、でカーソルを移動して確認します。もう一度■［選択］を押すとカーソルが消えます。

証明書表示……ページがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。

サイト設定／表示

リプレイ……ページのFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

画像表示設定……ページの画像表示をするかしないかを設定します。｢表示しない｣を選択したときは、表示されない画像の代わりに「 」が表示されます。

効果音設定……Flash画像の効果音を鳴らすか鳴らさないか（効果音ON、効果音OFF）を設定します。

文字コード変換……ページが正しく表示されていない場合に文字コードを変えて表示し直します。

フルブラウザ切替……iモードで表示できなかったページをフルブラウザに切り替えて表示します。
→P.208

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

<証明書表示>
- 証明書が表示されているときは、｢スクロール設定｣の設定にかかわらず一定の速度でスクロールします。

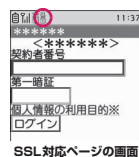
<文字コード変換>
- 正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし､4回操作をすると､元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
- 正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。

SSL対応ページを表示する

SSL対応ページを表示するには、以下の証明書が必要です。
- CA証明書：認証会社が発行した証明書が、お買い上げ時にFOMA端末内に保存されています。
- ドコモ証明書：FirstPassセンターへ接続するために必要な証明書が、FOMAカード（緑色／白色）内に保存されています。
- ユーザ証明書：iモードメニューの「ユーザ証明書操作」を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書が、FOMAカード（緑色／白色）内に保存されます。

1 SSL対応ページを表示

SSL対応ページの画面が表示され、「 」が表示されます。

■ 認証中に中止する場合
▶「Cancel」

SSL対応ページの画面

2 SSL対応ページから通常のページを表示▶「YES」

SSL通信が終了し、「 」の表示が消えます。

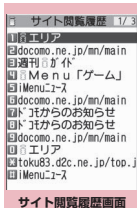
おしらせ

- SSL対応ページを表示するときに「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」などのメッセージが表示されることがあります。このようなメッセージは､ページのSSL証明書が期限切れになっている場合や、サポートしていない場合などに表示されます。｢YES｣を選択すると、続けてページを表示できますが、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。

これまでに表示したサイトに再接続する〈サイト閲覧履歴〉

これまでに表示したサイトが、「サイト閲覧履歴」に30件まで記録されます。「サイト閲覧履歴」を使って、これまでに表示したサイトに再接続します。

1 i▶「サイト閲覧履歴」

サイト閲覧履歴 1/ 3
1 エリア
2 docomo.ne.jp/mn/main
3 週刊 ガイド
4 Menu「ゲーム」
5 iMenuニュース
6 docomo.ne.jp/mn/main
7 ドコモからのお知らせ
8 ドコモからのお知らせ
9 docomo.ne.jp/mn/main
0 エリア
11 toku83.d2c.ne.jp/top.j
12 iMenuニュース

サイト閲覧履歴画面

機能メニュー➡P.181

2 履歴を選択

機能 サイト閲覧履歴画面（P.181）

Bookmark登録→P.185

URL表示→P.180

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

サイトの見かたと操作

サイトを見るときに使う操作について説明します。

画像の表示

- 本FOMA端末では、GIF形式、JPEG形式の各画像と、Flash画像（P.183）が表示できます。ただし、画像によってはそれらの形式であっても表示できない場合があります。
- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。
- Flash画像をデータBOX、画面メモ、microSDカードなどに保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なる場合があります。
- 画像を表示するかしないかを「画像表示設定」で設定できます。

■表示される画像のアイコンについて

（カラー）：画像を取得中、または「画像表示設定」を「表示しない」に設定している場合に表示

：画像を取得できなかった場合に表示

（白黒）：取得できない画像の場合に表示

スクロール機能について

サイトのページで文章や一覧が画面内におさまらずに続きがあるときは、スクロールすることにより続きを見ることができます。

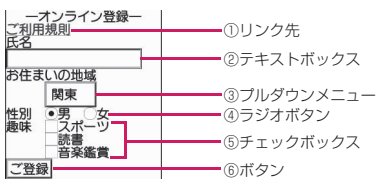
ボタン操作	動作
◎	押した方向にスクロール
∧※ ∨※	触れた方向に画面単位でスクロール

※：「タッチセンサー設定」（P.107）で「スクロール機能」を「OFF」に設定している場合、🔒を押すとタッチセンサーを有効にできます。

- スクロール設定について→P.192

リンク先や項目を選択する

iモード中に、サイトによっては以下の操作が必要となる場合があります。

—オンライン登録—
ご利用規則 ①リンク先
氏名 ②テキストボックス
お住まいの地域 関東 ③プルダウンメニュー
性別 ●男 ○女 ④ラジオボタン
趣味 □スポーツ □読書 □音楽鑑賞 ⑤チェックボックス
ご登録 ⑥ボタン

①リンク先
項目を選択するとリンク先のページに移動します。

②テキストボックス
文字を直接入力します。選択すると文字入力（編集）画面が表示されます。

③プルダウンメニュー
選択肢の一覧から項目を選択します。選択肢の一部だけが見えている状態で表示され、選択すると隠れている複数の選択肢が一覧で表示されます。

④ラジオボタン
選択肢の中から1つだけ選択します。⦿が選択された状態です。

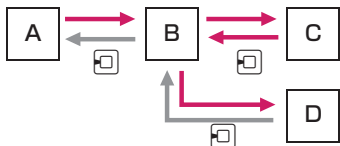
⑤チェックボックス
選択肢の中から複数の項目を選択できます。☑が選択された状態です。

⑥ボタン
選択すると、ボタンに割り当てられた機能が実行されます。

前のページに戻る／進む

1ウィンドウあたり最大30ページ（全ウィンドウでは最大100ページ）まで、キャッシュに取得済みの前のページに戻ったり、キャッシュに取得済みのページへ進むことができます。

1 前のページに戻るときは[戻る]、次のページに進むときは[進む]

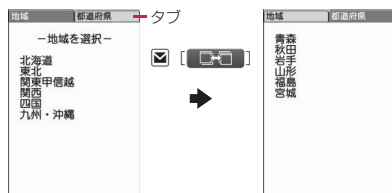
■画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させた場合

：ページの表示順
：画面「D」から前のページに戻ったとき

■キャッシュに記憶されたページを表示する場合

- キャッシュとは、表示したサイトやインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶する端末内の場所です。サイトやインターネットホームページなどを表示中に[戻る/進む]を押してページを移動すると、通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを表示します。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示するときは、[戻る/進む]を押した場合でも通信を行います。また、ページがキャッシュに記憶されていても、そのページの日付時刻情報が更新されている場合は通信を行って最新情報を表示します。
- キャッシュから読み込んだ場合でも、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。
- ｉモードを終了すると、キャッシュはクリアされます。
- SSL対応のページをキャッシュから読み込んだときは、SSLページを表示するという内容のメッセージが表示されます。

マルチウィンドウで表示する

最大5つのインターネットホームページやサイト（ｉチャネルを含む場合は最大6つ）を同時に開くことができます。

●複数のページを同時に開くとタブが表示され、[メール][ ]でページを切り替えられます。

1 サイト画面（P.178）▶リンクを反転▶[i]［開く］

新しいウィンドウにページが表示されます。

■ 開いているページを閉じる場合
▶[CLR]▶「YES」

● リンク先以外のページを開く

1 サイト画面（P.178）▶[ch]［機能］▶「ウィンドウ操作」▶「新ウィンドウで開く」▶以下の項目から選択

リンク……[i]［開く］と同じように、リンク先のページを表示します。

Bookmark一覧……Bookmark登録したページを表示します。

URL入力……URLを入力してページを表示します。

ホーム表示……ホームURLに登録したページを表示します。

おしらせ

●同時に開いたページを並べて表示することはできません。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する 〈電話帳登録〉

サイトのページや画面メモなどに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。

<例:サイトに表示されている電話番号を登録する場合>

1 サイト画面(P.178)▶ch［機能］▶「電話帳登録」▶「YES」▶電話帳に登録

電話帳の登録のしかた→P.81
電話番号に名前やフリガナ、メールアドレスの情報が付加されている場合は、電話番号とともに入力されます。残りの必要な項目を入力して電話帳に登録します。

Flash画像の操作について

絵や音によるアニメーション技術を用いたFlash画像に対応しており、多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像をダウンロードし、待受画面に設定することもできます。

- バイブレータ振動が設定されているFlash画像を再生すると、「バイブレータ」の設定にかかわらず振動しますのでご注意ください。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- 画面下部に「◁⇕▷」が表示されていなくても、Flash画像の操作ができる場合があります。
- 「画像表示設定」を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像も表示されません。
- 「設定・状態参照許可」を「許可する」に設定した場合は、端末情報データ(時刻、日付、受信レベル、電池残量、着信音量、使用言語、機種種別、機種情報)を利用することができます。

おしらせ

- Flash画像によっては、効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合は、「効果音設定」を選択して「効果音OFF」に設定してください。なお、「バイブレータ」が「メロディ連動」に設定されていても、Flash画像の効果音には連動しません。
- 「画面表示設定」でFlash画像を待受画面などに設定した場合、Flash画像に設定されている効果音やバイブレータ振動は動作しません。また、「リプレイ」の機能は使えません。→P.180
- Flash画像によっては画像を保存したり、画面メモに保存しても、画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたと異なる場合があります。

キーワード検索する 〈クイック検索〉

各機能から検索ウィンドウを起動し、知りたいキーワードをｉモードやGoogleなどの検索サイトで検索して、さまざまな情報やデータをすばやく表示します。

- 以下の機能から起動することができます。
  - ｉモード、フルブラウザ、画面メモ、ｉチャネルの閲覧画面
  - メール、メッセージR／Fの受信詳細画面およびｉモードメール本文編集画面
  - スケジュール・休日の詳細画面

<例:ｉモード中にクイック検索を利用する場合>

1 サイト画面(P.178)▶ch［機能］▶「クイック検索」

2 以下の項目から選択

直接入力……キーワードを直接入力します。

範囲選択……キーワードを範囲選択します。
受信メール詳細画面、スケジュール・休日の詳細画面でのみ利用できます。

検索履歴……以前検索した履歴からキーワードを選択します。

ｉMenu→P.178

3 「ｉモード」または「フルブラウザ」

マイメニューに登録する 〈マイメニュー〉

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。
- マイメニューは最大45件まで登録できます。
- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- インターネットホームページに簡単に接続するには、「ブックマーク」をご利用ください。

1 サイト画面（P.178）▶「マイメニュー登録」▶「iモードパスワード入力」のボックスを選択▶iモードパスワードを入力▶「決定」

iモードパスワードについて→P.184

おしらせ
- iMenuのメニューリスト内の有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューに登録したサイトを表示する

1 [i]▶「iMenu」▶「マイメニュー」▶サイトを選択

iモードパスワードを変更する 〈iモードパスワード変更〉

マイメニューの登録／削除、メッセージサービスやメール設定などをするときは、4桁の「iモードパスワード」が必要になります。
- ご契約時は、「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されています。お客様のお好みで、iモードパスワードを変更してください。
- iモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。
- iモードパスワードを万が一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。

1 [i]▶「iMenu」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「iモードパスワード変更」

2 「現在のパスワード」のボックスを選択▶現在のiモードパスワードを入力

入力した数字は「*」で表示されます。

3 「新パスワード」のボックスを選択▶新しく設定するiモードパスワードを入力

4桁の数字で入力してください。

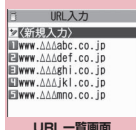
4 「新パスワード確認」のボックスを選択▶新しく設定するiモードパスワードを再度入力

操作3で入力した数字と同じものを入力します。

5 「決定」

インターネットホームページを表示する 〈インターネット接続〉

任意のURLを入力してインターネットホームページを表示します。
- iモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- フルブラウザでパソコン向けのインターネットホームページを表示することもできます。→P.206

1 [i]▶「Internet」▶「URL入力」

URL一覧画面

機能メニュー➡P.185

2 「<新規入力>」▶URLを入力▶「OK」

URL履歴を使って表示する

これまでに入力したURLをURL履歴として10件まで記録します。

1 [i]▶「Internet」▶「URL入力」

2 URLを選択▶「OK」

■ 選択したURLを編集する場合

▶「Internetアドレス」のボックスを選択▶URLを編集

おしらせ
- URLを入力して接続したときは、同じURLでも別の履歴として記録されます。

iモード／iモーション／iチャネル／iコンシェル

機能 URL一覧画面（P.184）

デスクトップ貼付→P.109

iモードメール作成※……URLを本文に貼り付け、iモードメールを作成します。

ホーム登録……URLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

インターネットホームページやサイトを登録して素早く表示する 〈ブックマーク〉

よく見るインターネットホームページやサイトをすぐに接続できるようにしたいときは、ブックマークに登録します。

- 登録したブックマークは、タイトルを変更したり、フォルダごとに分けて管理することができます。
- ブックマークに登録したサイトのうち、最大で5件まで一括して接続することができます。→P.186

ブックマークに登録する

- ブックマークは、100件まで登録できます。
- 登録できるURLの文字数は、半角256文字までです。
- サイトによっては、ブックマークに登録できない場合があります。

<例：サイト表示中の場合>

1 サイト画面（P.178）▶ch［機能］▶「Bookmark登録」▶「YES」▶フォルダを選択

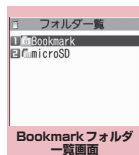
おしらせ

- ブックマークのタイトルは、全角12文字、半角24文字まで登録され、超えた部分は削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが表示されます。

ブックマークからインターネットホームページやサイトを表示する

1 i▶「Bookmark」▶フォルダを選択▶ブックマークを選択

■ Bookmarkの一覧画面

Bookmarkフォルダ一覧画面
機能メニュー➡P.185

Bookmark一覧画面
機能メニュー➡P.186

機能 Bookmarkフォルダ一覧画面（P.185）

- お買い上げ時にすでにあるBookmarkフォルダは、削除やフォルダ名の変更はできません。

フォルダ追加……フォルダ名を入力してフォルダを追加します。追加作成できるフォルダは9個までです。

フォルダ名編集……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。

フォルダ並び替え……移動先の位置を選択し、フォルダを並び替えます。

登録件数確認

iC全送信→P.337

赤外線全送信→P.336

microSDへ全コピー→P.325

フォルダ削除……追加したフォルダを削除します。

Bookmark全削除……FOMA端末内に保存されているブックマークをすべて削除します。

おしらせ

<登録件数確認>
- microSDフォルダ、シークレットフォルダ内の件数は表示されません。

機能 Bookmark一覧画面（P.185）

フォルダ移動……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、ブックマークをほかのフォルダに移動します。

タイトル編集

デスクトップ貼付→P.109

iモードメール作成※1……URLを本文に貼り付け、iモードメールを作成します。

メール添付※1……ブックマークを添付し、iモードメールを作成します。

iC送信→P.337

赤外線送信→P.336

microSDへコピー→P.325

ワンタッチマルチウィンドウ登録……ブックマークに登録したサイトをワンタッチマルチウィンドウに登録します。→P.186

ホーム登録……URLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。

URLコピー……ブックマークのURLをコピーし、文字入力（編集）画面などに貼り付けることができます。→P.386

登録件数確認

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※2……「各種データを表示できないようにする」→P.121

Bookmark情報表示※3……タイトル名やURLを表示します。

※1：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※2：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。
※3：microSDカードに保存されているブックマークのときのみ利用できます。

複数のページに連続して接続する 〈ワンタッチマルチウィンドウ〉

表示中のサイトをワンタッチマルチウィンドウに登録します。また、登録したサイトに一括して接続します。

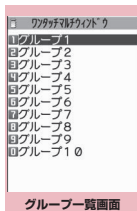
- 最大10グループ（1グループ最大5件）に登録できます。

接続するサイトを登録する

<例：表示中のサイトのみを登録する場合>

1 サイト画面（P.178）／フルブラウザ画面（P.207）▶ch［機能］▶「ワンタッチマルチウィンドウ」▶「表示中ウィンドウを登録」▶「YES」

■ マルチウィンドウで表示中のすべてのサイトを登録する場合

▶「ウィンドウをすべて登録」▶「YES」

グループ一覧画面

機能メニュー➡P.187

2 グループを選択▶「<未登録>」

■ 登録済みのサイトに上書き登録する場合

▶登録済みのサイトを選択▶「YES」

データ一覧画面

機能メニュー➡P.187

登録したサイトに一括して接続する

● iモードメニューから接続する

1 **[i]▶「ワンタッチマルチウィンドウ」▶グループを選択**

■ グループ内データを一覧表示する場合
▶[✉]［詳細］

● サイト画面から表示する

1 **サイト画面（P.178）／フルブラウザ画面（P.207）▶[ch]［機能］▶「ワンタッチマルチウィンドウ」▶「グループ一覧表示」▶グループを選択▶「YES」**

機能 グループ一覧画面（P.186）

グループ名編集

デスクトップ貼付→P.109

グループ削除……登録したサイトを削除し、グループ名をお買い上げ時の状態に戻します。

グループ全削除……すべてのグループをお買い上げ時の状態に戻します。

機能 データ一覧画面（P.186）

1件削除、全削除

並び替え……登録順序を並び替えます。

サイト情報表示……サイトのタイトル名やURLを表示します。

Bookmark登録→P.185

タイトル編集

おしらせ

- 接続するサイトを登録する際、操作によっては機能メニューが表示されない場合があります。

サイトの内容を保存する〈画面メモ〉

乗り換え案内の検索結果など、一度表示したページを画面メモとしてFOMA端末に保存します。

- 画面メモは最大100件まで保存できます。保存可能件数は、保存するページのデータ量などにより変動します。

画面メモを保存する

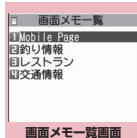
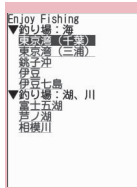
1 **サイト画面（P.178）▶[ch]［機能］▶「画面メモ保存」▶「YES」**

おしらせ

- SSL対応ページの画面を保存すると、そのページのSSL証明書も保存されます。
- 同じページを保存したときは、上書きされずに別の画面メモとして保存されます。
- サイト画面を画面メモに保存するときにラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニュー、セレクトボックスに項目を入力していても、登録した画面メモには入力されていません。
- ダウンロード完了画面などを保存すると、画面とともにそのデータも保存されます。ただし、再生制限付きのｉモーションや着うたフル®、電子書籍／電子コミックのダウンロード完了画面は、画面メモとして保存できません。

画面メモを表示する

1 **[i]▶「画面メモ」▶画面メモを選択**

■ 画面メモの一覧／詳細画面

画面メモ一覧画面
機能メニュー➡P.188

画面メモ詳細画面
機能メニュー➡P.188

おしらせ

- 画面メモの情報は、保存したときの情報のため、最新の情報とは異なる場合があります。

機能 画面メモ一覧画面（P.187）

タイトル編集、保護／保護解除、保存件数確認

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

おしらせ

<保護／保護解除>
- 保護すると、タイトルに「🔑」が表示されます。
- 保護できる画面メモは最大50件までです。保護できる最大件数は画面メモのデータ量により変動します。

機能 画面メモ詳細画面（P.187）

画像保存→P.189

電話帳登録→P.81

タイトル編集、保護／保護解除

クイック検索→P.183

ｉモードメール作成※……画面メモのURLを本文に貼り付けたり、画像を添付、挿入し、ｉモードメールやデコメール®を作成します。

スケジュール参照登録……画面メモを参照しながらスケジュールを登録します。

辞典検索→P.368

URL表示→P.180

証明書表示……画面メモがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。

効果音設定……Flash画像の効果音を鳴らすか鳴らさないか（効果音ON、効果音OFF）を設定します。

リプレイ……画面メモのFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

削除

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

有料コンテンツのダウンロードについて

サイトからダウンロードできる各種コンテンツ（画像やメロディ、着うたフル®など）の中には、有料のものがあります。有料コンテンツをダウンロードしようとしたときには、購入確認のメッセージおよびｉモードパスワード入力画面が表示されます。

おしらせ

- ｉモードパスワードを入力してから、ダウンロードを開始するまでに2分以上経過していると、そのコンテンツのダウンロードはできません。再度ｉモードパスワードを入力してください。

サイトからデータを取得する

各種データをサイトからダウンロードして保存し、いろいろな用途に利用します。
- 本項目では以下のデータ以外のダウンロード方法について説明しています。
  - ｉモーション→P.196
  - PC動画→P.213
  - 着うたフル®→P.253
  - ｉアプリ→P.266
  - ウィジェットアプリ→P.288

おしらせ

- 接続するサイトやデータのサイズによっては、ダウンロードできない場合があります。
- データ量の大きいデータをダウンロードする場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

画像をダウンロードする

表示中のサイトや画面メモ、ｉモードメール、メッセージR／Fに表示または添付されている画像や背景画像、アニメーションを保存すると、待受画面やウェイクアップ表示などに設定できます。

- ダウンロードできる画像データ1件の最大サイズは100Kバイトです。保存できる件数は、デコメ®ピクチャやデコメ®絵文字、撮影した静止画などと合わせて最大1,000件です（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

<例：サイトに表示されている1件の画像を保存する場合>

1 サイト画面（P.178）▶ch［機能］▶「画像保存」▶「画像1件保存」▶画像を選択▶「YES」▶フォルダを選択

保存する画像に □ を合わせます。

■ 複数の画像を保存する場合

▶「画像保存」▶「画像複数保存」▶✥で画像を選択▶✉［完了］▶「YES」▶フォルダを選択

画像は最大100件まで選択できます。

■ 背景画像を保存する場合

▶「画像保存」▶「背景画像保存」▶「YES」▶フォルダを選択

2 「YES」▶項目を選択

■ 待受画面などに設定しない場合

▶「NO」

おしらせ

- 2in1のモードがデュアルモードまたはBモードのとき、「モード別待受画面設定」が「Aナンバーと同じ」以外に設定されている場合、保存した画像を待受画面に設定しても反映されません。2in1のモードがAモードのときやOFFのときの待受画面に設定されます。
- デコメ®絵文字の対象画像の場合、「マイピクチャ」の「デコメ絵文字」フォルダ内に直接保存されます。
- 複数の画像を保存する場合、最大で300件の画像が選択画面に表示されます。

PDFデータをダウンロードする

サイトからPDF形式で作成されたPDFデータをダウンロードして表示／保存します。

- ダウンロードできるPDFデータ1件の最大サイズは2Mバイトです。保存できる件数は、最大400件です（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

1 サイト画面（P.178）▶PDFデータファイルを選択

「PDFデータ画面」（P.338）が表示されます。

PDFデータを閲覧するときの操作について
→P.341

※ページ単位でデータを取得するPDFデータの場合、最初に取得したページが表示されます。以降、まだ取得していないページに移動しようとするたびにデータの取得が行われます。

■ ダウンロードを中止する場合

▶✉［中止］またはCLR

途中までダウンロードしたデータを保存するかどうかのメッセージが表示された場合は、「YES」を選択するとダウンロードしたところまでが保存されます。この場合、後で残りすべてのデータを追加でダウンロードできます。
→P.190

■ パスワード入力画面が表示された場合

PDFデータに設定されているパスワードを入力してください。

■ PDFデータを保存する場合

▶ch［機能］▶「保存」▶「YES」▶フォルダを選択

最初にすべてのデータを取得するPDFデータの場合は、すべてのページが保存されます。ページ単位でデータを取得するPDFデータの場合は、取得したところまでのデータ（ページ）が保存されます。まだ取得していないページは、後から追加でダウンロードできます。→P.190

■ PDFデータの表示を終了する場合

▶CLR

PDFデータを保存していない場合は、終了するかどうかのメッセージが表示されます。保存する場合は「NO」を選択します。

● 部分的に取得したPDFデータを追加で取得する

部分的に取得したPDFデータの残りのページ（データ）を、追加でダウンロードします。ダウンロードの方法はPDFデータの取得状態により異なります。

<ページ単位で取得したPDFデータ（(水色)）を取得する場合>

1 PDFデーター覧画面（P.338）▶表示したいPDFデータを選択

ダウンロードを再開するというメッセージが表示された後、「PDFデータ画面」（P.338）が表示されます。
PDFデータを閲覧するときの操作について
→P.341

2 [ツール]▶ツールバーのを選択し、まだ取得していないページを表示

サイトに接続して該当ページがダウンロードされます。

■ 取得するページ番号を指定してダウンロードする場合
▶ツールバーのページ番号表示を選択▶表示したいページを入力

■ 残りすべてのデータを一括でダウンロードする場合
▶ch［機能］▶「残り全てを取得」▶「YES」

■ PDFデータを保存する場合
▶ch［機能］▶「保存」▶「YES」
新たに取得したページが含まれた状態で保存されます。

<一部のデータしか取得できなかったPDFデータ（(水色)、(水色)）を取得する場合>

1 PDFデーター覧画面（P.338）▶表示したいPDFデータを選択

PDFデータが表示される前に、残りすべてをダウンロードするかどうかのメッセージが表示されます。

2 「YES」

サイトに接続して、残りすべてのデータのダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了すると「PDFデータ画面」（P.338）が表示されます（データによっては閲覧可能なPDFデータにならず、表示されない場合があります）。

■ PDFデータを保存する場合
▶ch［機能］▶「保存」▶「YES」

おしらせ

- PDFデータによっては、表示に時間がかかることがあります。

おしらせ

- PDFビューアに対応していない形式や複雑なデザインを含むPDFデータの場合、正しく表示されないことがあります。
- 500Kバイトを超えるPDFデータをダウンロードする場合は、ダウンロードするかどうかの確認メッセージが表示されます。
- サイズが不明のPDFデータはダウンロードできません。
- ダウンロードするPDFデータと同じ定義ファイル（PDF識別用の情報ファイル）を持つPDFデータがFOMA端末内やmicroSDカード内に保存されている場合は、同じPDFデータと見なされるため、ダウンロードされず、保存されているPDFデータが表示されます。

各種データをダウンロードする

サイトからメロディ、きせかえツールのパッケージ、マチキャラ、キャラ電、トルカなど各種データをダウンロードします。

- ダウンロードできる1件の最大サイズは以下のようになります。
  - デコメール®テンプレート：200Kバイト※1
  - デコメアニメ®テンプレート：100Kバイト
  - メロディ：100Kバイト
  - きせかえツール：2Mバイト
  - キャラ電：100Kバイト
  - マチキャラ：2Mバイト
  - 電子書籍／電子コミック：3Mバイト
  - ダウンロード辞書：20Kバイト
  - トルカ：100Kバイト※2
  - スケジュールデータ、iスケジュール：1Mバイト

※1：メール本文が10,000バイト、挿入画像の合計が90Kバイトを超える場合は保存できません。
※2：トルカ（詳細）の最大サイズは100Kバイト、トルカの最大サイズは1Kバイトになります。

<例：データを保存する場合>

1 サイト画面（P.178）▶データ（メロディなど）を選択

2 「保存」▶「YES」

ダウンロード時に表示される選択項目はデータの種類によって異なり、「再生、プレビュー、保存、部分保存、情報表示」などが表示されます。

3 画面表示に従ってフォルダや項目を選択

おしらせ

- ダウンロードしたメロディには、あらかじめ再生部分が指定されている場合があり、着信音などに設定した場合、指定部分だけが再生されます。
- お買い上げ時に登録されているきせかえツール、マチキャラ、キャラ電を削除した後、元に戻すときは「みんなNらんど」からダウンロードしてください。→P.179
- スケジュールデータをダウンロードするにはｉコンシェルサービスの契約が必要です。→P.199

画像や動画をアップロードする

ファイルのアップロードに対応しているインターネットのホームページから、FOMA端末やmicroSDカードに保存されている画像や動画をアップロードできます。→P.210

Phone To／AV Phone To・Mail To・Web To・Media To機能を使う

サイトやメールなどに表示されている情報を選択するだけで、電話をかけたり、メールを送信するなどの機能が利用できます。

- 利用できる機能は以下のとおりです。
  - 電話番号（Phone To／AV Phone To機能）：電話をかける、SMSを送信
  - メールアドレス（Mail To機能）：メールを送信
  - URL（Web To機能）：インターネットホームページを表示
  - 番組情報のリンク（Media To機能）：テレビの起動や視聴予約・録画予約
- パソコンなどから送信されたメールやサイトによっては、利用できない場合があります。
- 電話番号、メールアドレス、URL以外でも、「ご連絡先はこちら」などの項目を選択して、利用できる場合もあります。
- チャットメール画面では利用できません。
- マンガ・ブックリーダーでは、Web To機能のみ利用できます。

＜例：サイト画面で音声電話をかける場合＞

1 サイト画面（P.178）▶電話番号を選択

2 「音声発信」▶「発信」

おしらせ

＜Mail To機能＞

- メールアドレスが2つ以上続けて表示されていると、利用できない場合があります。
- 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

＜Media To機能＞

- 情報を選択しても利用できない場合があります。

位置情報を利用する

サイトなどで、位置情報が付加されているリンク先を選択し、その位置情報を利用します。

＜例：サイトから利用する場合＞

1 サイト画面（P.178）▶位置情報が付加されているリンク先を選択▶以下の項目から選択

地図を見る……「地図設定」（P.269）で設定したｉアプリ（位置情報を利用できるｉアプリ）が起動します。

対応ｉアプリを利用……位置情報利用に対応したｉアプリ（位置情報を利用できるｉアプリ）の一覧を表示します。

メール貼り付け※……位置情報URLを本文に貼り付け、ｉモードメールを作成します。

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

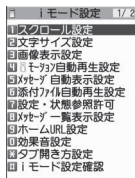
- 位置情報URLを本文に貼り付けた場合、位置情報URLの先頭に「」が表示されます。
- 貼り付けられた位置情報URLは、メール本文の文字数にカウントされます。

iモードの設定を行う

〈iモード設定〉

❶ [i]▶「iモード設定」

iモード設定　1/2
1スクロール設定
2文字サイズ設定
3画像表示設定
4iモーション自動再生設定
5メッセージ自動表示設定
6添付ファイル自動再生設定
7設定・状態参照許可
8メッセージ一覧表示設定
9ホームURL設定
0効果音設定
*タブ開き方設定
#iモード設定確認

iモード設定画面

❷ **以下の項目から選択**

スクロール設定……サイトのページ、画面メモ、メッセージR／Fの詳細画面のスクロールの速度やリンク先の表示を設定します。

速度設定……スクロール速度を「高速、低速」から選択します。

スクロール中のフォーカス表示……スクロール中にリンク先を反転させるかどうかを設定します。

文字サイズ設定……サイトのページ、画面メモ、メッセージR／Fの一覧･詳細画面の文字サイズを「小、中、大、特大」から選択します。→P.108

画像表示設定……サイトのページ、画面メモの詳細画面の画像を表示するかしないかを設定します。「表示しない」を設定した場合は、表示されない画像の代わりに「[画像]」のアイコンが表示されます。

iモーション自動再生設定→P.197

メッセージ自動表示設定……メッセージR／Fの自動表示のしかたを設定します。

添付ファイル自動再生設定……メッセージR／Fを開いたときに、添付されているメロディや貼り付けられているメロディがある場合に自動再生するかどうかを設定します。

設定・状態参照許可→P.193

メッセージ一覧表示設定……メッセージ一覧画面の表示行数を設定します。

ホームURL設定……ホーム表示を利用するための設定をします。

無効……ホーム表示設定を無効にします。

有効……ホーム表示設定を有効にします。ホームURL欄を選択して、登録したいURLを入力します。

効果音設定……サイトのページや画面メモのFlash画像の効果音を鳴らすかどうかを設定します。

タブ開き方設定……新しいウィンドウでページを開くとき、表示を切り替える（表で開く）か、元の表示を残したまま（裏で開く）にするかを設定します。

iモード設定確認

iモード設定リセット……「iモード設定」の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

おしらせ

＜画像表示設定＞
- 本機能の設定を変更した場合は、ワンセグの「ユーザ設定」およびワンセグ視聴画面の機能メニューの「画像表示設定」も変更されます。

＜ホームURL設定＞
- イヤホンマイク（別売）を接続している場合は、待受画面でスイッチを押してもホーム登録したサイトが表示されます。

＜効果音設定＞
- 「効果音ON」に設定していても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

接続待ち時間を設定する 〈接続待ち時間設定〉

サイトなどが混み合っていて応答がなかったときに、自動的に接続を中止するまでの時間を設定します。

❶ [MENU]▶「SETTINGS／SERVICE」▶「アプリケーション通信設定」▶「接続待ち時間設定」▶以下の項目から選択

60秒間、90秒間

無制限……接続を中止しません。

ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）〈接続先選択〉

※通常は設定を変更する必要はありません。

ｉモード以外のサービスを受けるときに使う接続先の設定をします。「ｉモード」以外の接続先に変更すると、ｉモードやｉモードメールをご利用できなくなります。
- 接続先は「ｉモード」のほかに10件まで登録できます。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「アプリケーション通信設定」▶「接続先選択」▶「<未登録>」を反転▶✉［編集］▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択**

接続先名称、接続先番号……接続先名称／番号を設定します。

接続先アドレス、接続先アドレス2……接続先アドレス／アドレス2を設定します。

2 **✉［完了］**

おしらせ

- 「ｉモード」以外の接続先に接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイ、パケ・ホーダイフル、パケ・ホーダイ ダブルの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
- 接続先変更をした場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、chを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- 接続先変更後、ｉチャネルの情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、chを押してチャネル一覧を表示してください。

Flash画像で端末情報データを利用するかを設定する〈設定・状態参照許可〉

Flash画像を動作させるときに端末情報データを利用するかどうかを設定します。
- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データをFlash画像で利用するには、「ｉモード設定」の「設定・状態参照許可」を「許可する」に設定してください。なお、Flash画像が利用する端末情報データには以下のものがあります。
  - 電池残量
  - 受信レベル
  - 日付時刻情報
  - 着信音量設定
  - バイリンガル設定
  - 機種情報

1 **ｉモード設定画面（P.192）▶「設定・状態参照許可」▶「許可する」または「許可しない」**

SSL証明書を操作する

SSL証明書の内容を確認したり、有効／無効の設定をします。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「アプリケーション通信設定」▶「証明書」**

2 **証明書を選択▶証明書を確認**

■ SSL証明書を有効または無効に設定する場合

▶証明書を反転▶ch［機能］▶「有効／無効設定」

おしらせ

- 「有効」に設定すると「（アイコン）」が表示されます。「無効」に設定すると「（アイコン）」が表示されます。
- 「無効」に設定すると、そのSSL証明書を持っているSSL対応ページが表示できなくなります。

FirstPassの設定を行う

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスを契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、クライアント認証に対応しているサイトでご利用になれます。

FirstPassセンターに接続する

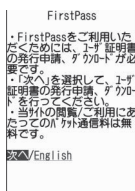
ユーザ証明書の発行申請からダウンロードするまでの操作をします。

- FirstPassセンターからユーザ証明書の発行申請や、ダウンロードができます。
- FOMAカード（青色）ではご利用になれません。
- 海外ではご利用になれません。
- FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻設定が必要です。→P.50
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。

1 i▶「ユーザ証明書操作」▶内容を確認▶「次へ」

FirstPass

・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを行ってください。
・当ｻｲﾄの閲覧/ご利用にあたってのﾊﾟｹｯﾄ通信料は無料です。

次へ/English

2 「証明書発行」

■ 失効申請をする場合

「その他」を選択し、「証明書失効」を選択します。PIN2コードを入力し、画面の指示に従って操作してください。

3 内容を確認▶「実行」

4 PIN2コードを入力

PIN2コードについて→P.116

5 メッセージを確認▶「ダウンロード」▶内容を確認▶「実行」▶「メニュー」

確認のメッセージが表示されます。
ダウンロードが完了したら、FirstPassのメニュー画面に戻ります。

おしらせ

- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。

おしらせ

- FirstPassセンターへ接続中は、以下の機能が利用できません。
  - iモードメールの送受信（SMSの送受信は利用可）
  - iモード問い合わせ（SMS問い合わせは利用可）
  - メッセージR／Fの受信
  - メールの添付ファイルを手動で取得
  - メール詳細画面からのWeb To機能
- ユーザ証明書を新規で発行する場合も更新で発行する場合も、必ず発行申請をした後にダウンロードを行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードすることができません。
- ユーザ証明書の失効申請が完了すると、そのユーザ証明書が必要なFirstPass対応サイトを表示できなくなります。
- 失効が完了した後にFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードをしてください。

ユーザ証明書を使ってサイトに接続する

1 サイト画面（P.178）▶ユーザ証明書の送信を確認▶「YES」▶PIN2コードを入力

おしらせ

- FirstPass対応サイトに接続した際のパケット通信料はパケ・ホーダイ、パケ・ホーダイフル、パケ・ホーダイ ダブルに含まれます。
- ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応サイトに接続した場合や、ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、そのことを通知するメッセージが表示されます。接続を継続する場合は「YES」を選択すると続けてページを表示できる場合がありますが、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。接続を切断する場合は「NO」を選択し、FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードした後、再度接続してください。

■FirstPassご利用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側がFOMA端末側を認証するクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、付属のN-04A用CD-ROMに収録されているFirstPass PCソフトが必要です。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPass Manual」(PDF形式)をご覧ください。
「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Reader ヘルプ」を参照願います。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、FirstPassについて画面に表示される「ご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コード(P.116)の入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行接続先を変更する

※通常は設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先の設定をします。

1 **MENU▶「SETTINGS/SERVICE」▶「アプリケーション通信設定」▶「証明書センター接続設定」**

2 **「<未登録>」を反転▶✉[編集]▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択**

初期画面URL……接続先の初期画面のURLを設定します。

接続先番号……接続先番号を設定します。

3 **✉[完了]**

おしらせ

- 登録した「ユーザ指定接続先」を変更するときは、登録と同じ操作で変更します。
- 登録した「ユーザ指定接続先」を削除するときは、機能メニューから「削除」を選択します。

iモーション

iモーションは、映像や音声、音楽のデータです。iモーション対応サイトからFOMA端末に取得します。また、iモーションを着信音に設定することもできます。着モーション→P.92

● iモーションのタイプ

iモーションには、大きく分けて以下の2つのタイプがあります。取得したiモーションがどのタイプであるかは、サイトやデータにより異なります。

種類		説明
タイプ	再生の種類	
標準タイプ（保存可※）（最大10Mバイトまで）	データ取得後に再生	iモーションのデータをすべて取得してから再生します。
	データ取得中に再生	iモーションのデータを取得しながら再生します。
ストリーミングタイプ（保存不可）（最大10Mバイトまで）	データ取得中に再生	iモーションのデータを取得しながら再生します。再生し終わったデータは破棄されるので、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

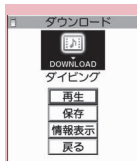
※：iモーションによっては、保存できない場合があります。

サイトからiモーションを取得する 〈iモーション取得〉

1 サイト画面（P.178）▶iモーションを選択

データの取得が完了すると、「ダウンロード完了画面」が表示されます。

■ 取得を中止する場合

▶CLR

ダウンロード完了画面

機能メニュー➡P.196

2 「再生」

取得したiモーションを再生します。

「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.261

おしらせ

- 接続するサイトやiモーションによっては、取得またはデータ取得中の再生ができないことがあります。
- 標準タイプの場合は、データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。
- iモーションには再生制限が設定されているものがあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限があるiモーションは、タイトルの先頭に「🕒」が表示されます。再生できる期間が制限されているiモーションは、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているiモーションについては、再生することができません。
- 取得したiモーションによっては、正しく再生できないことがあります。
- 電波状況により、データ取得中の再生が途中で止まったり、画像が乱れたりする可能性があります。

機能 ダウンロード完了画面（P.196）

画面メモ保存→P.187

証明書表示……ページがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。

おしらせ

- ｉモーションは、ダウンロード完了画面を「画面メモ」として保存し、画面メモから再生することもできます。
  ただし、以下のｉモーションのダウンロード完了画面は「画面メモ」に保存することができません。
  - 再生制限が設定されているｉモーション
  - ストリーミングタイプのｉモーション
  - データが不完全なｉモーション

ｉモーションを保存する

- ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- 保存できる件数は、撮影した動画と合わせて最大100件です（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。
- ｉモーションのフォルダについて→P.299

1 ダウンロード完了画面（P.196）▶「保存」▶「YES」

■ 保存を中止する場合
▶「NO」
保存せずにダウンロード完了画面に戻ります。

2 フォルダを選択

おしらせ

- タイトルが付いていないｉモーションは一覧で「movieXXX」（XXXは数字）と表示されます。

ｉモーションの詳細情報を表示する

ｉモーションのタイトル、再生制限の有無、ファイルサイズなどの詳しい情報を確認します。

1 ダウンロード完了画面（P.196）▶「情報表示」

ｉモーション情報画面が表示されます。[キー]で画面をスクロールし、再生できる残りの回数、再生期限、再生期間制限などの情報を確認します。

ｉモーションを自動再生するかを設定する 〈ｉモーション自動再生設定〉

- 以下のときに、ｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。
  - サイト画面からｉモーションを取得したとき
  - ｉモーションダウンロード完了画面の画面メモを表示したとき
- 「ｉモーション自動再生設定」は、標準タイプのｉモーションのみ、設定が有効になります。ストリーミングタイプのｉモーションは、本設定にかかわらず自動再生されます。
  ｉモーションのタイプについて→P.196

1 ｉモード設定画面（P.192）▶「ｉモーション自動再生設定」▶以下の項目から選択

自動再生する……ｉモーションを取得した後、自動再生します。一部のｉモーションは、データを取得しながら再生します。

自動再生しない……ｉモーションを取得しても、自動再生せずにｉモーションダウンロード完了画面を表示します。

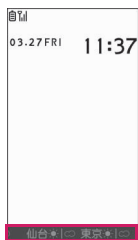
ｉチャネル

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れます。また、ｉチャネル対応ボタン（ch）を押すことで最新情報がチャネル一覧に表示されます（P.198）。
ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」ともに、詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります。

ｉチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● 待受画面のテロップ表示について

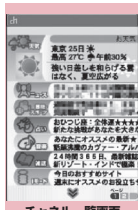
ｉチャネルをご契約された場合、情報を受信したタイミングで待受画面に情報がテロップ表示されます。
- ｉチャネル情報を受信中は⇔が点滅します。
- 「ｉチャネル設定」でテロップ表示の設定ができます。→P.199

テロップ

おしらせ
- 待受画面にｉモーションやｉアプリ待受画面を設定していても、テロップは表示されます。また、セルフモード設定中でもテロップは表示されます。
- FOMAカード未挿入時、公共モード（ドライブモード）設定中、省電力モード時は、テロップは表示されません。

チャネル一覧からサイトを表示する

チャネル一覧を表示し、ｉチャネルの情報サイトにアクセスします。

1 待受画面表示中▶ch

■ メインメニューからの表示方法
「chキー設定」（P.352）でchボタンのショートカット機能を変更した場合、以下の方法で表示します。
▶ｉ▶「ｉチャネル」▶「ｉチャネル一覧」

チャネル一覧画面

機能メニュー➡P.198

2 チャネル項目を選択

おしらせ
- ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したタイミングで情報を受信する場合があります。
- 情報を受信しても、着信音・バイブレータは鳴動しません。また、イルミネーションランプも点滅しません。

機能 チャネル一覧画面（P.198）

デスクトップ貼付→P.109

リプレイ……チャネル一覧画面を最初から表示します。

効果音設定……チャネル一覧画面の効果音を鳴らすかどうか（効果音ON、効果音OFF）を設定します。

ウィンドウ操作→P.179（機能メニュー項目）

クイック検索→P.183

おしらせ
- チャネル一覧画面で設定した「効果音設定」は、「ｉモード設定」の「効果音設定」に反映されます。

ｉチャネルの設定を行う
〈ｉチャネル設定〉

待受画面にｉチャネル情報をテロップ表示するかしないかを設定します。また、テロップ表示するときのスクロール速度やテロップ色を設定します。

- テロップ表示設定を「表示する」に設定した場合、待受画面にはテロップが表示され続けます。「受信時のみ表示する」に設定した場合、待受画面には新しい情報を受信したときにテロップが2回表示されます。

1 [i]▶「ｉチャネル」▶以下の項目から選択

ｉチャネル一覧→P.198

ｉチャネル設定

テロップ表示設定……待受画面にチャネル情報をテロップ表示するかしないか（表示する、受信時のみ表示する、表示しない）を設定します。

テロップ速度設定……テロップ表示するときのスクロール速度を「標準、高速、低速」から選択します。

テロップカラー設定※……テロップの文字の色を「white、orange、yellow、pink、blue」から選択します。

テロップ文字サイズ設定※……テロップを表示するときの文字サイズを「小、中、大」から選択します。→P.108

ｉチャネル初期化……ｉチャネル設定をお買い上げ時の状態に戻します。

※：項目選択のとき、反転表示を移動すると、そのテロップの設定がディスプレイに表示されます。

おしらせ

- FOMAカード未挿入時やお買い上げ時（ｉチャネル初期化時）、公共モード（ドライブモード）設定中の場合などは、ｉチャネルの設定を変更できません。

＜テロップ表示設定＞
- ｉチャネル解約前にｉモード解約を行った場合や、ｉチャネル解約後は、テロップ表示設定はそのままになりますが、テロップは自動的に表示されなくなります。
- 2in1のモードごとに設定を記憶します。

おしらせ

＜ｉチャネル初期化＞
- 初期化後は、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、[ch]を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

ｉコンシェル

ｉコンシェルとは、「執事（コンシェルジュ）」のように、待受画面上のキャラクター（マチキャラ）が、あなたの生活をサポートするサービスです。
ｉコンシェルでは、鉄道運行情報や生活関連情報などのインフォメーションの受信、スケジュール／ｉスケジュールのダウンロード、電話帳・トルカ・スケジュール／ｉスケジュールのお預かり・更新などをご利用いただけます。

■ ｉコンシェルのご利用にあたって
- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）。
- 電話帳お預かりサービス（P.132）のご契約をされていないお客様が、ｉコンシェルを新たにご契約になる場合、同時に電話帳お預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- インフォメーションにはドコモが提供する情報とIP（情報サービス提供者）が提供する情報の2種類があります。ドコモが提供するインフォメーションは、情報の受信時にパケット通信料はかかりません。IP（情報サービス提供者）が提供するインフォメーションは、情報の受信時に別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- コンテンツ（インフォメーション、ｉスケジュールなど）によっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- ｉスケジュール・トルカ・電話帳の自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

ｉコンシェルを表示する
〈ｉコンシェル起動〉

❶ MENU▶「i-concier」

■ 受信したポップアップメッセージから表示する場合

「インフォメーションを受信すると」→P.201

■ デスクトップアイコンから表示する場合

▶ 待受画面表示中 ▶■▶「 」を選択

※ ｉコンシェルのデスクトップアイコンは、お買い上げ時に貼り付けられています。表示されていない場合は、ｉコンシェル画面でchを押して「デスクトップ貼付」を選択すると、貼り付けられます（chボタンのファンクション表示はありません）。

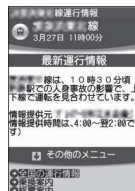
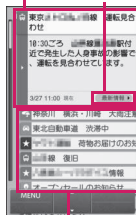
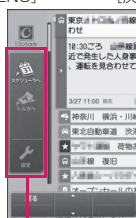
ｉコンシェル画面

■ ｉコンシェル画面の見かたと操作→P.200

ｉコンシェル画面では、インフォメーションを確認したり、メニューバーを表示して、ｉコンシェルの設定などが行えます。

おしらせ

- ファイル添付のスケジュールおよびトルカの情報を受信したときは、自動で保存されます。また、空きメモリがなくファイルを保存できなかった場合は、ダウンロードする画面が表示されます。
- ｉコンシェルサービス契約中でも、設定内容によってサービス一時中止のメッセージが表示されることがあります。その場合は、表示されるメッセージに従って設定を変更してください。

● ｉコンシェル画面の見かたと操作

[MENU] [戻る]

① インフォメーション詳細

② リンクガイド

インフォメーション詳細に、より詳細な情報や関連情報へのリンクがある場合に表示されます。

■を押すと、各リンク先の情報（電話帳、サイト画面、トルカ、スケジュールなど）が表示されます。

③ インフォメーション一覧

で、見たいインフォメーションの詳細を表示します。

- 未読のインフォメーションは、「 」が表示されます。

④メニューバー

ｉコンシェル画面で [MENU] を押すと表示されます。

- 電話帳お預かりサービスの利用→P.134
- スケジュール／トルカ一覧の表示→P.201
- ｉコンシェルの設定→P.202

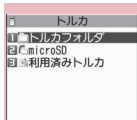
スケジュール／トルカ一覧を表示する

ｉコンシェル画面から、スケジュールやトルカを簡単に呼び出すことができます。

1 ｉコンシェル画面（P.200）▶[MENU]

2「スケジューラへ」または「トルカへ」を選択

スケジュール画面

機能メニュー➡P.356

トルカフォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.295

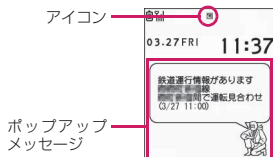
インフォメーションを受信する

FOMA端末がFOMAサービスエリアの圏内にあるときは、自動的にインフォメーションが送られてきます。

- インフォメーションを受信すると画面の上部に「Ⓒ」が表示されます。
- 受信したインフォメーションは、最大50件まで保存できます。また、最大件数を超えた場合は、古いインフォメーションから順に上書きされます。

インフォメーションを受信すると

インフォメーションを自動で受信すると、待受画面にポップアップメッセージを表示します。

- インフォメーション受信後は「Ⓒ」が点灯します。すでに点灯している場合に受信すると一時的に点滅します。
- 一度に複数のインフォメーションを受信した場合、待受画面には最新の1件が表示されます。
- ポップアップメッセージが表示されてから約15秒間操作がないと、選択状態を解除します。
- 「マチキャラ設定」でマチキャラ表示の設定ができます。→P.107

1 待受画面表示中▶ポップアップメッセージを選択

ｉコンシェル画面が表示されます。

■ **ポップアップメッセージを中止する場合**

▶[終話]または[CLR]（1秒以上）

2 インフォメーションを確認

■ **リンクガイドが表示されている場合**

▶[■]

リンク先の情報が表示されます。

おしらせ

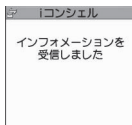
- 「着信・メール受信表示」の「メール／メッセージ受信表示」にオリジナルロック設定中の場合、インフォメーションを受信しても、待受画面にポップアップメッセージや画面上部に「Ⓒ」を表示せず、着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、イルミネーションランプの点滅）も行われません。
- インフォメーションによってはｉコンシェル画面を表示せず、サイト表示またはインフォメーションの情報のみ表示する場合もあります。
- 「データ閲覧・編集・削除」の「ｉコンシェル」にオリジナルロック設定中のときに、インフォメーションを受信すると待受画面に「新着情報があります」のポップアップメッセージが表示されます。ポップアップメッセージを選択するとインフォメーション内容にかかわらずｉコンシェル画面を起動します。

● 待受画面以外の画面から表示する場合

メール設定の「受信時動作設定」を「通知優先」に設定している場合、待受画面以外の画面を表示中にインフォメーションを受信すると、インフォメーション受信完了画面が表示されます。

❶ インフォメーションを自動で受信

インフォメーション受信完了画面が表示されます。

iコンシェル
インフォメーションを受信しました

i コンシェル画面が表示されます。

おしらせ

- メール設定の「受信時動作設定」を「操作優先」に設定している場合、待受画面以外でインフォメーションを受信してもポップアップメッセージは表示されず、着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、イルミネーションランプの点滅）も行われません。ただし、画面上部に「」を表示します。

i コンシェルの設定を行う

待受画面へのインフォメーション表示設定を行う 〈インフォメーション表示設定〉

インフォメーション受信時、待受画面にポップアップメッセージでインフォメーションを表示するかしないかを設定します。

❶ MENU ▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ディスプレイ」▶「インフォメーション表示設定」▶「ON」または「OFF」

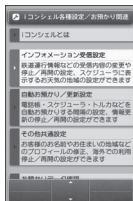
i コンシェル着信音の設定を行う 〈着信音設定〉

インフォメーションを受信したとき、着信音、イルミネーションランプ、バイブレータで知らせるように設定します。

- 着信音量の設定→P.69
- 着信音の設定→P.92
- 着信音を鳴らす時間の設定→P.96
- バイブレータの設定→P.94
- 着信イルミネーションの設定→P.105

インフォメーションの受信内容を設定する 〈インフォメーション受信設定〉

受信内容には、鉄道運行情報、道路交通情報、地震情報、地域イベント情報などがあり、設定した情報だけを見ることができます。また、受信の停止／再開、受信時間帯などの設定、現在の設定内容の確認もできます。

❶ i コンシェル画面（P.200）▶ [MENU] ▶「設定」を選択

❷「インフォメーション受信設定」

❸ 各項目を設定

プロフィールを設定する〈プロフィール設定〉

名前（ニックネーム）や性別、生年月日、住所エリアなど、お客様の個人情報を登録します。ここで登録された情報をもとに、インフォメーションを受け取ることができます。たとえば、地域イベント情報では、登録した住所エリアのイベント情報を受信します。

1 iコンシェル画面（P.200）▶✉[MENU]▶「設定」を選択

2 「その他共通設定」▶プロフィール設定の「変更する」を選択▶iモードパスワードを入力

iモードパスワードについて→P.184

3 各項目を入力

海外でiコンシェルを利用できるようにする〈海外利用設定〉

海外でインフォメーションの受信やお預かりセンターへの保存を利用できるように設定します。

1 iコンシェル画面（P.200）▶✉[MENU]▶「設定」を選択

2 「その他共通設定」▶海外利用設定の「変更する」を選択▶「利用する」

■ 海外で利用しない場合

▶「利用しない」

3 iモードパスワードを入力▶「設定」

iモードパスワードについて→P.184

フルブラウザ／PC動画

フルブラウザで登録したホーム、Bookmarkなどのデータはｉモードで利用することはできません。
また、フルブラウザで設定した内容はｉモードには反映されません。

パソコン向けのインターネットホームページを表示する〈フルブラウザ〉

パソコン向けに作成されたインターネットホームページをフルブラウザの機能を利用して閲覧します。ｉモードでは正しく表示できないインターネットホームページでも、一部については表示が可能です。

- インターネットホームページによっては表示できない場合や、正しく表示できない場合があります。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料の詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- フレーム※1で作成したインターネットホームページではフレームを選択して表示することもできます。→P.208
- フレーム対応のページを表示するとき、一部のフレームがSSL非対応のページであった場合、取得確認画面が表示されます。「YES」を選択するとSSLを示すアイコンが消え、SSL非対応のページも表示します。
- フルブラウザでSSL／TLS※2対応のページを表示できます。
- 1ページあたり最大1.2Mバイトまで表示できます。

※1：本章での「フレーム」はフレーム撮影のフレームとは異なり、ウィンドウ内を分割して作成されているインターネットホームページのことを指します。

※2：SSL、TLSは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL／TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

ページを表示する

1 **i▶「フルブラウザ」▶以下の項目から選択**

ホーム……ホームURLに登録したページを表示します。

Bookmark……Bookmark登録したページを表示します。

サイト閲覧履歴→P.181

URL入力……URLを入力してページを表示します。

ワンタッチマルチウィンドウ……ワンタッチマルチウィンドウに登録したグループを選択し、サイトに接続します。

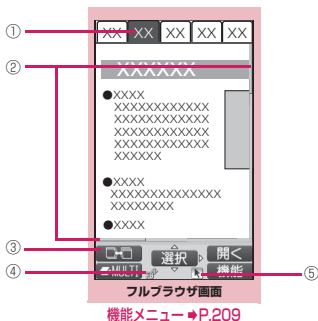
フルブラウザ設定→P.211

■ **フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示された場合**

お買い上げ時は「アクセス設定」（フルブラウザを利用するかどうかの設定）が「利用しない」に設定されています。
「アクセス設定」が「利用しない」に設定されている場合は、フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示されます。表示される注意事項をよくお読みになり、設定を行ってください。
ここで「利用する」を選択すると、「アクセス設定」（P.211）が「利用する」に変更され、設定が保持されます。

おしらせ

- フルブラウザで表示しているページを画面メモに保存することはできません。
- フルブラウザで閲覧しているインターネットホームページをｉモードに切り替えて表示することはできません。
- フルブラウザはPDFには対応していません。
- 「アクセス設定」はFOMAカードを挿入していないと設定できません。
- 「アクセス設定」を「利用する」に設定していても、別のFOMAカードに差し替えた場合は、「利用しない」に変更されます。

● フルブラウザ画面の見かた

機能メニュー ➡P.209

①タブ
- 同時に開いているページの数に合わせ、タブおよびタイトルを表示（タイトルがない場合は、URLを表示）
- フレームを選択して、フレーム内表示画面（P.208）を表示しているときは「」も表示
- フレームを選択して表示中（P.208）に、別のフレームが通信中のときは「」も表示

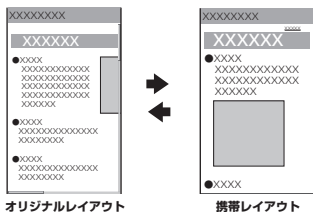
②スクロールバー
表示しているページの現在位置
（携帯レイアウト時は表示しません）

③ ウィンドウ切替アイコン
複数のページを開いているとき、［］でページの切り替えができるときに表示

④ または
フルブラウザでインターネット接続中に表示
（携帯レイアウト時は「」を表示）

⑤
ポインタが使用できるときに表示

● レイアウトについて

フルブラウザ画面には、オリジナルレイアウト／携帯レイアウトの2つの表示方法があります。

■オリジナルレイアウト
パソコン上で横800×縦600ドットの表示をしたときの大きさと同じようにページを表示します。表示されていない領域は、上下左右にスクロールして閲覧します。

■携帯レイアウト
FOMA端末の画面幅でページを表示します。上下のスクロール操作だけでページを閲覧できます。

■表示方法の切り替え
機能メニューの「表示モード切替」を選択するたびに、オリジナルレイアウト／携帯レイアウトが切り替わります。
- 最初に表示されるモードを「フルブラウザ設定」の「表示モード設定」（P.211）で設定することができます。
- 表示方法はフルブラウザ終了時に保持され、次回起動したときに、前回と同じモードで表示されます。

フルブラウザ画面の操作について

● スクロールのしかた

ボタン操作	動作
	押した方向にリンクを移動しながらスクロール 押し続けると、その方向に連続してスクロール
※ ※	触れた方向に画面単位でスクロール
（1秒以上）※ （1秒以上）※	ページの一番上または一番下にジャンプ

※：「タッチセンサー設定」（P.107）で「スクロール機能」を「OFF」に設定している場合、を押すとタッチセンサーを有効にできます。なお、タッチセンサーでスクロールできるのは縦画面表示の場合のみです。

■ポインタでスクロールする場合
「ポインタ設定」（P.211）を「表示する」に設定している場合、を押してポインタを移動し、ポインタが画面の端までくると「」などが表示され、画面がスクロールします。

● ドラッグモード中の操作について

「ポインタ設定」（P.211）を「表示する」に設定している場合、ドラッグモードに切り替えると、ドラッグモードに対応したコンテンツを操作できます。

- ●携帯レイアウトではドラッグモードは利用できません。
- ●ドラッグモード中にできる操作はコンテンツによって異なります。
- ●ポインタ（ ）をコンテンツ上に置いて■（1秒以上）を押すと、ポインタが「 」に切り替わり（始点）、コンテンツをつかんで移動できるようになります。移動したい位置で■を押すと「 」の表示に切り替わり（終点）、コンテンツが離れます。もう一度■（1秒以上）を押すと、元のポインタに戻ります。
- ●ドラッグモード中にFlashにポインタを合わせた場合は「 」が表示され、ドラッグモードの操作は利用できません。

● ダブルクリック機能

コンテンツに拡大表示などの特定の動作が割り当てられている場合に、■を素早く2回押すことでその動作を実行できます。ただし、ドラッグモード中は利用できません。

● フルブラウザ画面の便利なボタン

ボタン操作	動作
1	縮小表示 ※携帯レイアウトでは、文字サイズの縮小
2※	サイト全体から表示したい部分を選択し、指定部分を表示（横画面表示中は利用できません）
3	拡大表示 ※携帯レイアウトでは、文字サイズの拡大
4	キャッシュに取得済みの前のページに戻る
5	Bookmarkフォルダ一覧画面を表示
6	キャッシュに取得済みの次のページに進む
9※	「縦画面表示」⇔「横画面表示」の切り替え
0	ボタンに割り当てられた操作の説明を表示
#	ポインタの表示／非表示の切り替え

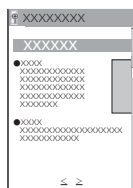
※：オリジナルレイアウトでのみ利用できます。

● フレーム対応のページを表示する

パソコン向けにフレームで作成されたページをフレーム単位で表示することができます。

1 フルブラウザ画面（P.207）▶フレームで作成されたページを表示

2 フレームを選択

選択したフレームが表示されます。

■ フレーム表示に戻る場合
▶CLR

おしらせ

- ●フレームでの分割数が多いページの場合、すべてのフレームを表示できないことがあります（文字や画像のないフレームとなります）。

ｉモードからフルブラウザに切り替える

ｉモードで表示できなかったインターネットホームページをフルブラウザに切り替えて表示します。
パソコン向けに作成されたインターネットホームページなど、ｉモードでは正しく表示できない場合、フルブラウザに切り替えて表示することが可能です。

1 ｉモードで表示したインターネットホームページ画面▶ch［機能］▶「フルブラウザ切替」▶「YES」

おしらせ

- ●フルブラウザで閲覧しているインターネットホームページをｉモードに切り替えて表示することはできません。
- ●テキストボックスへの入力中にフルブラウザに切り替えると文字情報はクリアされます。

機能 フルブラウザ画面（P.207）

Bookmark登録……フルブラウザのブックマークに登録します。最大100件まで登録できます。

Bookmark一覧……フルブラウザのBookmarkフォルダ一覧画面を表示します。

画像保存……表示中のページの画像を保存します。

URL入力……URLを入力してページを表示します。

クイック検索→P.183

サイト閲覧履歴→P.181

横画面モード切替⇔横画面モード解除※1……ページを横画面で表示、または解除（縦画面に戻る）します。

ズーム※1……表示サイズの倍率を「60%、80%、100%、120%、150%、180%、200%、250%、400%、サイト全体表示※2」から選択します。
「サイト全体表示」を選択した場合、サイト全体から表示したい部分を選択します。

文字サイズ切替※3……文字サイズを「小、中、大、特大」から選択します。

ワンタッチマルチウィンドウ→P.186

ウィンドウ操作→P.179（機能メニュー項目）

フレーム表示へ戻る……フレーム内表示からフレーム表示に戻ります。

表示モード切替※2……「オリジナルレイアウト」と「携帯レイアウト」を切り替えます。

再読み込み……表示中のページを更新します。

iモードメール作成※4……表示中のページのURLを本文に貼り付け、iモードメールを作成します。

デスクトップ貼付→P.109

前のページへ戻る……現在表示しているページの1つ前に表示していたページに戻ります。

次のページへ進む……「前のページへ戻る」の操作を行う前のページに戻ります。

ホーム登録／表示

- **ホーム登録**……表示中のページをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるのは1件です。
- **ホーム表示**……ホームURLに登録したページを表示します。

サイト設定／表示

- **リプレイ**……表示中のページのFlashやGIF形式のアニメーションを最初から再生します。
- **一時停止**……Flashを一時停止します。
- **再生**……Flashを再生します。一時停止した位置からも再生できます。
- **画像表示設定**……画像またはFlashを表示するかどうかを設定します。「表示しない」に設定した場合は、表示されない画像やFlashの代わりに「 」が表示されます。
- **効果音設定**……Flash効果音の音量調節を行います。で調節し、■で設定します。
- **Cookie設定**→P.212
- **Cookie削除**→P.212
- **サイト情報表示**……表示中のページの情報を表示します。「証明書表示」ではSSL／TLS対応ページの場合にSSL／TLS証明書の内容を表示します。
- **文字コード変換**……表示中のページが正しく表示されていない場合に文字コードを変えて表示し直します。
- **Referer設定**→P.212

ポインタ設定→P.211

ヘルプ……ボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。

※1：オリジナルレイアウトでのみ利用できます。
※2：横画面表示時では利用できません。
※3：携帯レイアウトでのみ利用できます。
※4：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

<Bookmark一覧>
- Bookmarkに追加作成できるフォルダは、9個までです。

<画像保存>
- PNG形式やBMP形式の画像の場合は、自動的にmicroSDカードの「OTHER」フォルダ内の「OUDXXX」（XXXは数字）フォルダに保存されます。

画像や動画をアップロードする

ファイルのアップロードに対応しているインターネットホームページから、FOMA端末やmicroSDカードに保存されている画像や動画をアップロードできます。

- アップロードできるデータは、2Mバイトまでのアニメーションを含むGIF形式（フレーム、スタンプを除く）またはJPEG形式の画像、およびｉモーションです。
- 画像や動画をアップロードする方法は、ページによって異なります。表示される画面に従って操作してください。

1 インターネットホームページ上のファイル選択用ボタン（「参照」など）を選択

2 「マイピクチャ」または「ｉモーション」を選択

3 フォルダを選択▶画像または動画を選択

4 インターネットホームページ上の送信用ボタン（「送信」など）を選択

選択したファイルがアップロードされます。

■ アップロードを中止する場合

▶CLR

おしらせ

- ページによってはアップロードできない場合があります。
- FOMA端末外へ出力が禁止されている画像や動画はアップロードできません。
- 選択した画像、動画以外のデータが80Kバイトを超える場合はアップロードすることができません。
- ｉモードから表示したインターネットホームページからも同様の手順でアップロードできます。

Flashを再生する

Flashに対応しているインターネットホームページでは、Flashを再生することができます。

Flash端末情報の利用について→P.193

- Flash画像は1ページあたり最大1Mバイト、Flash®Videoは1件あたり最大10Mバイトまで表示できます。
- Flash8（一部Flash9）相当の再生が可能ですが、サイトによっては、該当するバージョンであっても再生できない場合があります。

インターネットホームページのFlashを再生する

「画像表示設定」を「表示する」に設定するとFlashを再生することができます。

Flash再生中の音量は「効果音設定」で調節できます。

1 Flashに対応したインターネットホームページを表示する

2 Flashにポインタを合わせる

ポインタが「」に切り替わり、Flashが再生されます。

おしらせ

- 複数のFlashを同時に再生することはできません。再生できるFlashは１つです。ただし、GIF形式のアニメーションと同時に再生できます。
- Flashが画面外にある場合は、Flashが表示されるまでスクロールすると再生されます。
- Flashは保存できません。
- Flashによっては効果音が鳴らない場合があります。
- Flash画像にポインタをあわせていても再生されない場合、ポインタを動かすと再生されることがあります。
- 表示するサイトによってはFlashが自動再生されることがあります。

フルブラウザについて設定する
〈フルブラウザ設定〉

1 ▶「フルブラウザ」▶「フルブラウザ設定」▶以下の項目から選択

アクセス設定……フルブラウザを利用するかどうかの設定をします。

ホーム設定……ホームURLの設定を行います。

スクロール設定

- **速度設定**……スクロール速度を「高速、低速」から選択します。
- **スクロール中のフォーカス表示**……スクロール中にリンク先を反転させるかどうかを設定します。

ポインタ設定

- **ポインタ表示設定**……ポインタを表示するかしないかを設定します。
- **速度設定**……ポインタ速度を「標準、高速、低速」から選択します。

画像表示設定……画像を表示するかどうかを設定します。「表示しない」に設定した場合は、表示されない画像の代わりに「 」が表示されます。

Cookie設定→P.212

Cookie削除→P.212

Referer設定→P.212

表示モード設定……最初に表示されるモードを以下の項目から選択します。

- **オリジナルレイアウト**……画面表示を「60%、80%、100%、120%、150%、180%、200%、250%、400%」から選択します。
- **携帯レイアウト**……文字の大きさを「小、中、大、特大」から選択します。

Script設定……ページを表示したとき、JavaScript※を有効にするかどうかを設定します。ページによってはScript設定を「有効」に設定しないと、正常に表示できない場合があります。

自動通信設定……サイトページを表示中に自動的に通信するかどうかを設定します。「毎回確認」を選択すると、通信するときに確認をします。

設定・状態参照許可……Flashによっては端末情報データを利用するものがあります。ここではFlashで利用できる端末情報データを参照許可するかしないかを設定します。利用できるのは日付時刻情報とバイリンガル設定です。

効果音設定……Flash再生時の音量を設定します。

ウィンドウオープンガード設定……JavaScript※で新規ウィンドウを自動で開かないようにするかどうかを設定します。「有効」に設定すると自動でウィンドウが開かなくなります。

タブ開き方設定……新規ウィンドウを開くとき、表示を切り替える（表で開く）か、元の表示を残したまま（裏で開く）にするかを設定します。

フルブラウザ設定確認

フルブラウザ設定リセット……「フルブラウザ設定」の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

※：JavaScriptは、インターネットホームページ上で動作する簡易プログラム言語で、動きのあるインターネットホームページを作成するときなどに幅広く利用されています。

Cookieについて

Cookie※を利用すると一度アクセスしたインターネットホームページに、効率よくアクセスすることができるようになります。

※：Cookieとは、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数など、お客様に関する情報を一時的に保存しておくしくみです。サーバからFOMA端末に書き込まれて一時的に保存され、コンテンツサービスなどに利用されます。
Cookieを送信した場合、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数などの情報がサイト側に送信されます。Cookieを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
ただし、インターネットホームページやコンテンツサービスによっては、Cookieの設定を有効にしていないと正常に表示／利用できない場合があります。

Cookieについて設定する

1 i▶「フルブラウザ」▶「フルブラウザ設定」▶「Cookie設定」▶以下の項目から選択

有効……Cookieを常に有効にします。
Cookieを送受信するときに確認を行いません。

無効……Cookieを常に無効にします。

毎回確認（送信時）……ページに接続するたびに、Cookieを送信するかしないかを選択できます。Cookieを受信するときには確認を行わず、情報がFOMA端末に書き込まれます。

毎回確認（受信時）……ページに接続するたびに、Cookieを受信するかしないかを選択できます。Cookieを送信するときには確認を行わず、情報を送信します。

毎回確認（送受信時）……ページに接続するたびに、Cookieを送受信するかしないかを選択できます。

おしらせ

- Cookieは、最大件数、または最大容量を超えた場合に使用されないものから順に削除されます。
- フルブラウザ設定リセットを実行するとCookieが削除されます。

Cookieを削除する

FOMA端末に保存されたCookieを削除します。

1 i▶「フルブラウザ」▶「フルブラウザ設定」▶「Cookie削除」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

FOMA端末に保存されているCookieがすべて削除されます。

Refererについて

Referer※を送信するかどうかを設定します。

※：Refererとは、リンク元情報のことです。Refererを送信すると、自分がどのページからアクセスしているかなどの情報がサイトに送信されます。
Refererを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
ただし、インターネットホームページによってはRefererを送信しないと、リンク先などにアクセスできない場合があります。

Refererについて設定する

1 i▶「フルブラウザ」▶「フルブラウザ設定」▶「Referer設定」▶以下の項目から選択

送信する、送信しない

毎回確認……送信時に毎回確認します。

PC動画

フルブラウザからインターネット上のポータル系サイトや動画専門サイトなどで提供されているさまざまなPC動画をダウンロード、再生できます。

- ミュージックプレーヤーはWindows Media Video（WMV）およびWindows Media Audio（WMA）の再生に対応しています。PC動画のダウンロード、ストリーミング時には容量の大きいデータを受信する可能性があります。容量制限のないストリーミングタイプなど、送受信データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますのでご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、『ご利用ガイドブック（i モード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
- 再生できるPC動画については次のとおりです。

種類		説明
タイプ	再生の種類	
ストリーミングタイプ（保存不可）	ライブ配信：PC動画がリアルタイムで配信されます。一時停止はできません。	PC動画を受信しながら同時に再生します。保存することはできません。長時間の再生が可能です。
	オンデマンド配信：あらかじめサーバ上に用意されたPC動画が配信されます。	

種類		説明
タイプ	再生の種類	
ダウンロードタイプ（保存可）	microSDカードに保存されたデータの再生	ダウンロードが完了した後に、microSDカードに保存することで通信せずに再生できます。1件あたり10Mバイトまでダウンロードできます。FOMA端末で取得したデータだけでなく、パソコンで取得したり、作成したPC動画をmicroSDカードに保存できます。

拡張子	wmv、wma、wvx、wax、asf、asx	
コーデック	ビデオ	Windows Media Video7～9
	オーディオ	Windows Media Audio 9、Windows Media Audio 9.1
ビットレート	ビデオ	最大1,000kbps
	オーディオ	最大320kbps
	ビデオ+オーディオ	最大1,320kbps
動画サイズ	VGA（640×480）まで	
フレームレート	最大30fps	

- ストリーミングタイプの配信サーバはMicrosoft Windows Media Services 9またはWindows Media Services 4.1のみに対応しています。その他のサーバから配信されるストリーミングタイプのPC動画は再生できません。
- サイトによっては動作環境（ブラウザ種別、OS種別など）を確認する場合があり、FOMA端末ではPC動画の再生ができないことがあります。
- 対応するPC動画のファイル形式については、「データBOXについて」（P.298）を参照してください。

PC動画をダウンロードする

1. **フルブラウザ画面（P.207）▶PC動画を選択**

■ PC動画のダウンロードを中止する場合
▶「NO」

2. **「YES」**

■ ストリーミングタイプのPC動画の場合
ダウンロードと同時にPC動画が再生されます。再生が完了するとフルブラウザ画面に戻ります。
「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.261

■ ダウンロードタイプのPC動画の場合
データの取得が完了すると「ダウンロード完了画面」が表示されます。

3. **「再生」**

取得したPC動画を再生します。
「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.261

■ ライセンス（WMDRM（Windows Media digital rights management））について
- ライセンスにより保護されたPC動画で再生できるのはストリーミングタイプのみです。ライセンスに保護されたダウンロードタイプのPC動画は非対応です。
- PC動画のライセンス設定によってはPC動画の再生ができない場合があります。

おしらせ
- ストリーミングタイプのPC動画を再生中に通信の切断などによって中断した場合には一時停止となります。また、再生中の着信やCLR、⌒によって再生を終了した場合は再生前の画面に戻ります。
- 接続するサイトやPC動画によっては、取得ができないことがあります。
- PC動画には再生制限が設定されているものがあります。再生できる期間が制限されているPC動画は、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているPC動画については、再生することができません。
- 取得したPC動画によっては、正しく再生できないことがあります。

おしらせ

- 回線速度・回線状況・電波状況により、データ取得中の再生が途中で止まったり、画像が乱れたりする可能性があります。ダウンロードタイプのPC動画はデータ取得完了後に繰り返し再生することができますが、ストリーミングタイプのPC動画は再生できません。

PC動画を保存する

取得したPC動画をmicroSDカードに保存します。ただし、ストリーミングタイプのPC動画は保存できません。

- PC動画のフォルダについて→P.321

1 ダウンロード完了画面（P.213操作2）▶「保存」▶「YES」

■ 保存を中止する場合

▶「NO」

保存せずにダウンロード完了画面に戻ります。

PC動画の詳細情報を表示する

PC動画のタイトル、表示サイズ、ファイルサイズなどの詳しい情報を確認します。

1 ダウンロード完了画面（P.213操作2）▶「情報表示」

PC動画情報画面が表示されます。[↕]で画面をスクロールし、情報を確認します。

データBOXからPC動画を再生する

インターネット上で公開されているパソコン向けの動画や、パソコンなどでmicroSDカードへ保存したPC動画を再生します。

1 [MENU]▶「DATA BOX」▶「PC動画」▶「SD-PC動画」

PC動画一覧画面

機能メニュー➡P.214

2 PC動画を選択

動画の再生がはじまります。

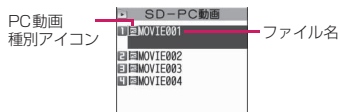
「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.260

「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.261

おしらせ

- パソコンなどからmicroSDカードにPC動画を保存する場合は、指定のフォルダ構成、フォルダ名で保存してください。→P.321

  フォルダ構成やフォルダ名が異なると、FOMA端末で表示できません。

PC動画一覧の見かた

■ PC動画種別アイコン

アイコン	説明
[PC]	PC動画

機能 PC動画一覧画面（P.214）

PC動画情報……PC動画のファイル名、保存日時、再生制限などを表示します。

保存容量確認

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

カメラ

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

FOMA端末に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。

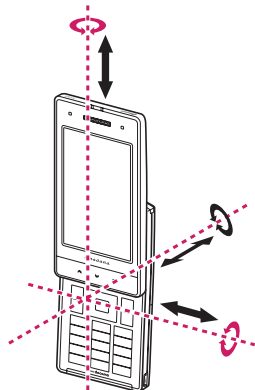
カメラの使いかた

● カメラモードについて

- 約3分以上ボタン操作をしなかったときは、自動的にカメラモードを終了します。
- ごく近くにある被写体を撮影したいときは、「AF切替」(P.221)で「接写」を選択してください。レンズとの距離が約10cmの被写体にピントが合います。
- カメラ機能のデスクトップアイコンには「ムービーモード、フォトモード、ボイスモード」の3種類があります。これらは、「LIFEKIT」の「カメラ」の機能メニューで貼り付けることができます。

● 手ブレ補正機能について

本FOMA端末は、手ブレ補正機能を搭載しています。静止画撮影や動画撮影をするとき、静止画は6軸方向、動画は2軸方向の手ブレを防止できます。

- 「手ブレ補正について設定する」→P.228

※赤色の矢印は静止画のみ

カメラ利用にあたって

■撮影するときのご注意

- カメラは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、とくに光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- オートフォーカス撮影を行う際、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていた後は、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となります。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費量が多くなるため、撮影が終了したら速やかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
- シャッター音、セルフタイマーの開始音、オートフォーカスロック完了音の音量を変更することや消去することはできません。また、ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定することはできません。
- 手ブレ補正設定を「OFF」に設定している場合、撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく手ブレ補正設定を「オート」に設定して撮影することをおすすめします。
- 静止画の撮影時にシャッター音が鳴った後、取り込みが完了するまで、FOMA端末が動かないようにしてください。
- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。このようなときは、ご利用の地域の電源周波数に合わせて「ちらつき軽減」の設定を行うと、ちらつきを低減できる場合があります。
- 撮影画面を表示したりカメラの設定を変更した直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 通話中はカメラ機能を利用することはできません。

■撮影認識ランプの点滅について

●撮影時などには以下のように点灯または点滅します。
- 撮影画面表示中：赤色で点滅
- 静止画撮影、マニュアル連続撮影：赤色で点灯（約3秒間）
- オート連続撮影：赤色で点灯（撮影中）
- 動画撮影、ボイスモード録音、パノラマ撮影：赤色で点滅
- セルフタイマー作動中：赤色で点滅→P.228

■撮影した静止画・動画などの保存について

●「カメラの画像サイズと登録件数／撮影時間」→P.474

●撮影した静止画や動画などは「画像保存先選択」や「動画保存先選択」、「音声保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。

●「自動保存設定」を「ON」に設定すると、静止画や動画などを撮影後、自動的に保存できます。

●電池残量が少ないとき、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。

●ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックを取り外したときなど、不完全なファイルが保存される場合があります。

■撮影が中断されるとき

●FOMA端末の開閉を行ったとき、着信（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信）やアラーム通知（ワンセグ視聴予約、ワンセグ録画予約、アラーム、スケジュール、To Doリスト）があったとき、ほかの機能の操作を行ったときには、撮影が中断されます。
- 連続撮影中や動画撮影中は、撮影が中止されてそれらの画面に切り替わります。その後、切り替わった画面を終了させると、カメラの画面に戻りますので、着信やアラーム通知などの前に撮影したデータを保存できます。
- カメラのズームや明るさを調節中は、調節中の設定が確定され、カメラメニューに戻ります。
- セルフタイマーは中止されます。

●以下の場合は中断されません。
- カメラ撮影中（撮影画面表示時含む）にメールやメッセージR／Fを受信した場合は、「受信時動作設定」の設定にかかわらず、受信結果画面は表示されずにカメラの撮影が継続して行われます。
- 「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定しておくと、アラームを設定した時刻になっても、カメラの撮影や設定、セルフタイマーは中止されずに継続して行うことができます。ただし、ワンセグ録画予約のアラーム通知はカメラの撮影や設定、セルフタイマーを中断して行います。

■microSDカードを使用するとき

●microSDカードへ保存中は「」が点滅します。このときは絶対にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。

●「画像保存先選択」や、「動画保存先選択」で「microSD」を選択したときにmicroSDカードにフォルダが存在しない場合は、フォルダが自動的に作成されます。

●「画像保存先選択」や、「動画保存先選択」で選択したmicroSDフォルダのファイル数が最大件数のときは、そのフォルダに設定できません。

カメラモードのボタン操作

ボタン操作	動作
■	シャッター • 動画撮影中など：終了 • 撮影後：保存
	ズーム調節
	オートフォーカスモード切替
	フォーカスロックを実行
1	「カメラモード切替」
2	「画像サイズ選択」
3	「記録品質設定／ファイルサイズ設定」
4	「撮影モード選択」
5	「明るさ調節」
6	「ホワイトバランス設定」
0	ボタン操作の説明を表示

※1～6は撮影メニュー（P.219）を表示します。カメラモードによっては表示されない撮影メニューがあります。

■閉じているとき（タッチセンサー／サイドボタン操作）

<撮影画面>

操作	動作
	シャッター • 動画撮影中など：終了
＜＞	ズーム調節
□	カメラ機能終了 • 動画撮影中など：終了 • 連続撮影時：シャッター

<確認画面>

操作	動作
□	保存
＜	撮影し直す
（1秒以上）	カメラ機能終了

撮影画面の見かた

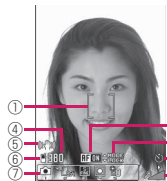
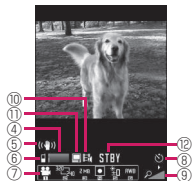
撮影画面にはカメラの設定状態がアイコンで表示されます。各アイコンの意味は以下のとおりです。

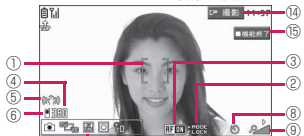
■縦画面表示（開いたとき）

フォトモードの撮影画面

ムービーモードの撮影画面

ムービーモードの撮影中画面

REC 0:00:06 ⑫ ⑬

■横画面表示（閉じたとき）

フォトモードの撮影画面

ムービーモードの撮影画面

ムービーモードの撮影中画面

① **フォーカス枠（P.220）**

……AF切替が「ON」、「接写」のときのオートフォーカス枠

- 白色：ピント調整前
- 白い点線：ピント調整中
- 緑色：ピント調整完了
- 赤い点線：ピント調整失敗

② **AF操作ガイダンス（P.220）**

MODE LOCK ……AF切替とフォーカスロックの操作ガイダンス

③ **オートフォーカス状態表示（P.221）**

AF ON ……AF切替がON

AF ……AF切替が接写

AF OFF ……AF切替がOFF

④ **保存可能枚数／保存容量表示※1**

123 ……保存可能枚数

- 白文字：11枚以上
- 黄文字：10枚以下
- 赤文字：空きメモリなし

……全体容量に対する保存可能容量

- 青：残り500Kバイト以上
- 黄：残り500Kバイト未満
- 赤：空きメモリなし※2

※1：枚数および容量表示は目安です。また、保存先が「microSD」に設定されていて、microSDカードが挿入されていない場合は表示されません。

※2：「ファイルサイズ設定」を「長時間」に設定して動画撮影するとき以外は、撮影可能です。撮影後に本体／microSDカードの空き容量に保存、または不要なデータを削除して保存します。

⑤ **手ブレ補正設定（P.228）**

……手ブレ補正設定が「オート」

⑥ **画像／動画／音声保存先選択（P.221、226）**

SD ……保存先の設定状態（本体／microSDカード）

⑦ **撮影メニュー（P.219）**

640×480 S FINE ……撮影メニューの各種設定状態

⑧ **セルフタイマー（P.228）**

……セルフタイマー設定中

⑨ **ズーム状態表示（P.227）**

～～……ズームの設定状態

⑩ **記録種別設定（P.226）**

……映像＋音声

……映像のみ

……音声のみ

⑪ **記録品質設定（P.226）**

……長時間

……標準

……高品質

……最高品質

⑫ **撮影状態表示**

REC ……動画撮影中

STBY ……動画撮影待機中

⑬ **撮影時間**

0:03:38……動画撮影の残り時間（時：分：秒）

⑭ **サイドボタンガイド表示**

撮影：シャッター

⑮ **タッチセンサーガイド表示**

■機能終了：カメラ機能終了

撮影メニューの選択方法

FOMA端末を開いた状態のとき、撮影メニューをディスプレイに表示すると、アイコンを選択するだけでさまざまな撮影条件を設定することができます。

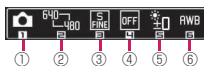
各撮影画面

表示中のメニューと反転アイコンの説明

撮影画面で 1 〜 6 を押すと、各ボタンに対応した撮影メニューが直接表示されます。
※本章での操作説明はこの方法で記載しています。

■［選択］を押し、反転したアイコン機能に設定します。

● 撮影メニューのアイコンと設定内容

- カメラモードによって選択できる撮影メニューの項目が異なります。
- メールなど他の機能から呼び出したときや、撮影条件によっては利用できないメニューがあります。

① **カメラモード切替**

ムービーモード……P.225
チャンスキャプチャ……P.227
フォトモード……P.220
オート連続撮影……P.222
マニュアル連続撮影……P.222
ボイスモード……P.227
パノラマ撮影モード……P.224

② **画像サイズ選択**

フォトモード

1536×2048〜128×96……3M（1,536×2,048）〜Sub QCIF（128×96）

480×480／240×240……JAVA(480×480)※／JAVA (240×240)※

2592×480……パノラマ（2,592×480：固定）

※：ｉアプリからカメラを起動したときのみ表示されます。

ムービーモード

640×480〜128×96……VGA(640×480)〜SubQCIF (128×96)

③ **記録品質設定／ファイルサイズ設定**

フォトモード（記録品質設定）

S FINE スーパーファイン……最高画質（ファイル容量：大）
FINE ファイン……高画質（ファイル容量：中）
NOR ノーマル……標準画質（ファイル容量：小）

ムービーモード（ファイルサイズ設定）

500KB 500KB以下……500Kバイトまで
2MB 2MB以下……2Mバイトまで
∞FILE 長時間……長時間（microSDのみ）

次ページにつづく

④ **撮影モード選択**

オート……自動調整モード

人物……人物などの撮影に適したモード

風景…… 景色（夜景を含む）などの撮影に適したモード

逆光……逆光時の撮影に適したモード

スポーツモード…… 動きのある被写体に適したモード

ナイトモード…… 暗い所で人物などを撮影するのに適したモード

ペット……ペットなどの被写体に適したモード

料理……料理などの撮影に適したモード

シーンOFF……撮影効果を無効に設定

※ムービーモードでは、「オート」「人物」「風景」のみ設定できます。

※パノラマ撮影では「オート」に固定されます。

⑤ **明るさ調節**（カメラ起動時：±0）

／／／／……明るさ（+2／+1／±0／－1／－2）

⑥ **ホワイトバランス設定**

フォトモードでは、撮影モード選択で「シーンOFF」を選択したときのみ設定できます。

オート……自動的に色合いを補正

晴天……晴れた屋外での撮影に適した設定

曇天……曇った屋外や日陰の撮影に適した設定

電球…… 白熱電球の明かりの下での撮影に適した設定

蛍光灯……蛍光灯の明かりの下での撮影に適した設定

※パノラマ撮影画面のときは操作／設定できません。

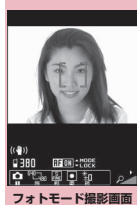
静止画を撮影する 〈フォトモード〉

●カメラを起動したときには、オートフォーカスは「ON」に設定されています。
「オートフォーカス撮影について」→P.221

1 待受画面表示中▶■▶「 」を選択

■ **オートフォーカスOFF（固定焦点）で撮影する場合**

▶（数回）でオートフォーカスOFF（AF OFF）を確認

フォトモード撮影画面

機能メニュー➡P.221

2 カメラを被写体に向ける▶■［撮影］

■ **オートフォーカスをロックして撮影する場合**

▶でオートフォーカスの種別を選択▶焦点を合わせる箇所をフォーカス枠の中央にし▶撮影したい構図になるようにカメラの向きを調整し■［撮影］

フォーカスロックが完了すると、フォーカス枠が緑色になり、オートフォーカスロック完了音が鳴ります。

フォーカスロックに失敗すると、フォーカス枠が赤い点線になります。再度を押すとフォーカスロックし直すことができます。

フォトモード確認画面

機能メニュー➡P.222

■ **撮影し直す場合**

▶CLR▶「YES」

3 ■［保存］

おしらせ

●画像サイズによっては画質が粗くなる場合があります。

カメラ

● オートフォーカス撮影について

静止画撮影では、オートフォーカス機能を使うことができます。

■オートフォーカス撮影（オートフォーカスON）

シャッターボタンを押した後、画面の中央に自動的にピントを合わせて撮影します。
シャッターボタンを押すとフォーカス枠が白い点線に変わり、ピントを調整します。ピントが合ったときはフォーカス枠が緑色に変わった後、シャッターが切れます。ピントが合わなかったときはフォーカス枠が赤色の点線に変わった後、シャッターが切れます。

■接写撮影（オートフォーカスON）

ごく近くにある被写体（ないときはレンズとの距離が約10cm）までピントが合います。
シャッターボタンを押した後、画面の中央に自動的にピントを合わせて撮影します。
シャッターボタンを押すとフォーカス枠が白い点線に変わり、ピントを調整します。ピントが合ったときはフォーカス枠が緑色に変わった後、シャッターが切れます。ピントが合わなかったときはフォーカス枠が赤色の点線に変わった後、シャッターが切れます。

■固定焦点撮影（オートフォーカスOFF）

オートフォーカス機能を利用しないで撮影します。

■オートフォーカスロック撮影（オートフォーカスON）

ピントを合わせたい箇所が画面の中央ではないとき、あらかじめ被写体にピントを合わせ、構図を変更して撮影します。

おしらせ

- オートフォーカスのフォーカス距離は、30cm以上です。
- 以下のような場合はピントが合わないことがあります。
  - 暗い場所で撮影する場合
  - コントラストが弱い（明暗差のない）被写体を撮影する場合
  - 遠いものと近いものが混在する被写体を撮影する場合
  - 撮影範囲内にライトなどがある場合
  - 動いている被写体を撮影する場合
  - FOMA端末を動かしながら撮影する場合
- フォーカスロックが完了するまでに時間がかかることがあります。
- フォーカスロックが完了すると、カメラの明るさも固定されます。フォーカスロックを完了してからカメラを動かすとカメラの明るさが適さないときがあります。そのような場合は再度フォーカスロックし直すか、オートフォーカスロックを解除して明るさを設定してください。

機能 フォトモード撮影画面（P.220）／連続撮影画面（P.223）／パノラマ撮影画面（P.224）

カメラモード切替、画像サイズ選択※1**、記録品質設定**→P.219（撮影メニュー項目）

クイックアルバム→P.227

AF切替……オートフォーカスを切り替えます。

撮影間隔／枚数※2……連続撮影時の撮影間隔と枚数を設定します。→P.223

カメラ調節

- **撮影モード選択**※1→P.220（撮影メニュー項目）
- **明るさ調節**……で撮影する明るさを「－2～＋2」の5段階で調整します。2秒間ボタン操作をしないと自動的に設定されます。
- **ホワイトバランス設定**※1 → P.220（撮影メニュー項目）
- **エフェクト設定**……撮影する画像の効果を、「フルカラー、セピア、白黒」から選択します。
- **ちらつき軽減**……撮影画面のちらつきを抑えます。「オート、モード1（50Hz地域）、モード2（60Hz地域）」から選択します。

シャッター音選択

セルフタイマー設定→P.228

フレーム選択※3→P.224

自動保存設定……撮影後「画像保存先選択」で設定したフォルダに自動保存するかしないか（ON、OFF）を設定します。

画像保存先選択……撮影した画像の保存先フォルダを選択します。本体またはmicroSDのフォルダが選べます。

ファイル制限……撮影した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.303

保存容量確認

ヘルプ……ボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。

アイコン常時表示設定……閉じたときに、フォーカス枠、セルフタイマーアイコン、保存可能枚数以外のアイコンなどを表示するかどうかを設定します。

手ブレ補正設定※4→P.228

位置情報付加

電話帳から付加、マイプロフィールから付加……電話帳やマイプロフィールに登録した位置情報を、撮影画像に付加します。

位置情報詳細……付加した位置情報の詳細を確認します。

位置情報削除……画像に付加した位置情報を削除します。

※1：パノラマ撮影画面のときは操作／設定できません。
※2：連続撮影画面でのみ利用できる機能です。
※3：フォトモード撮影画面でのみ利用できる機能です。
※4：連続撮影画面のときは操作／設定できません。

おしらせ

<撮影モード選択>
- 「スポーツモード」「ナイトモード」「ペット」で撮影する場合、オートフォーカス機能は使えません。
- 接写撮影は、撮影モードが「オート」「シーンOFF」のときのみ利用できます。

<シャッター音選択>
- マナーモード設定中（「メモ確認音」が「OFF」）は、確認のためのシャッター音は鳴りません。

機能 フォトモード確認画面（P.220）／連続撮影詳細表示確認画面（P.223）／パノラマ撮影確認画面（P.225）

保存……「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

鏡像保存※1……撮影した静止画を、左右を反転させて「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

iモードメール作成※2→P.305
フォトモード確認画面や連続撮影詳細表示確認画面で✉［✉/Blog］を押してもiモードメールやデコメール®の作成、ブログ投稿用のメールを作成することができます。

画像編集※1※3→P.307

イメージ貼付※1※3……撮影した静止画を待受画面などに設定します。
「画面の表示を変える」→P.100
「テレビ電話中に送信する画像を設定する」→P.75

フレーム取替え※1※3→P.224

鏡像表示⇔正像表示※1……確認画面の画像を鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

画像保存先選択※3……撮影した画像の保存先フォルダを選択します。本体またはmicroSDのフォルダが選べます。

ファイル制限……撮影した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.303

位置情報付加※3→P.222（機能メニュー項目）

取り消し※3……撮影した静止画を削除してフォトモード撮影画面に戻ります。

※1：パノラマ撮影確認画面のときは操作／設定できません。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：連続撮影詳細表示確認画面のときは操作／設定できません。

おしらせ

<画像編集>
- 「画像編集」を選択すると正像表示になります。
- 1M（960×1,280または1,280×960）以上の画像は編集できません。

<イメージ貼付>
- 1M（960×1,280または1,280×960）以上の画像サイズの場合は貼り付けできません。また、データ容量が100Kバイトを超える場合は待受画面、ウェイクアップ表示以外には貼り付けできません。
- 待受画面などに設定する静止画は「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。ただし、「microSD」に設定している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（microSDカードには保存されません）。

連続撮影する 〈連続撮影〉

最大20枚までの静止画を連続撮影します。連続撮影には、オート連続撮影とマニュアル連続撮影があります。
- オート連続撮影は、シャッターを切ると、設定した撮影枚数と撮影間隔で自動的に撮影する機能です。オート連続撮影の場合、オートフォーカス機能で撮影できるのは最初の1枚のみです。2枚目以降は1枚目で合わせたフォーカス位置での撮影となります。
- マニュアル連続撮影は、1枚ずつシャッターを切りながら設定した枚数を撮影する機能です。マニュアル連続撮影の場合、撮影中は、1枚ずつオートフォーカスの設定を切り替えることができます。
- 連続撮影した静止画を、自作アニメに登録してアニメーションとして楽しむこともできます。
- 連続撮影中にFOMA端末の開閉を行うと、撮影が終了します。

1 フォトモード撮影画面（P.220）▶ 1 ▶「AUTO」または「連写」

■ オートフォーカスOFF（固定焦点）で撮影する場合

▶（数回）でオートフォーカスOFF（AF OFF）に切り替え

撮影枚数／撮影可能枚数

連続撮影画面（例：マニュアル）

機能メニュー ➡P.221

2 カメラを被写体に向ける▶■［連写／撮影］

■ オートフォーカスをロックして撮影する場合

「静止画を撮影する」操作2→P.220

■ 連続撮影を中止する場合

オート連続撮影：▶ ▶「NO」

マニュアル連続撮影：▶ CLR

■ 保存する静止画を選択する場合

操作3の前に、あらかじめ保存する画像を選択しておきます。

連続撮影確認画面

機能メニュー ➡P.224

■ 詳細表示で確認する場合

▶ で囲み枠を確認する画像に移動▶ ［詳細］

で確認する静止画を切り替えることができます。

■ 詳細表示した静止画を1件のみ保存する場合

▶■［保存］

連続撮影詳細表示確認画面

機能メニュー ➡P.222

3 ch［機能］▶保存する方法を選択

「選択保存」「全保存」「全保存＆自作アニメ」のいずれかを選択します。→P.224

「画像保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。

「選択保存」を選択した場合、画像の保存が終了すると、保存した画像を除いた「連続撮影確認画面」が表示されます。

- 連続撮影確認画面で、i［ ］を短く（1秒未満）押すと選択保存となります。i［ ］またはi［ ］を1秒以上押すと全保存となります。

おしらせ

- 強い光源や動きが大きいものを被写体としてオートで撮影する場合、撮影間隔が設定した時間よりも長くなることがあります。

● 撮影間隔と撮影枚数を設定する

1 連続撮影画面（P.223）▶ ch［機能］▶「撮影間隔／枚数」▶以下の項目から選択

撮影間隔……撮影する間隔を「0.5秒、1.0秒、2.0秒」から選択します。

マニュアル連続撮影のときは設定できません。

撮影枚数……撮影する枚数（05～20枚の2桁）を入力します。

最大撮影枚数は画像サイズによって変わります。画像サイズがフルスクリーン（240×427または427×240）、QVGA縦（240×320）、QVGA（320×240）の場合、5～10枚となります。

2 設定が終わったら CLR ▶ CLR

連続撮影画面に戻ります。

機能 連続撮影確認画面（P.223）

選択保存……☑を付けた静止画を保存または鏡像保存します。

全保存……撮影したすべての静止画を保存または鏡像保存します。

全保存＆自作アニメ……撮影したすべての静止画を保存または鏡像保存し、自作アニメにも登録します。

1件選択、全選択……囲み枠のある静止画またはすべての静止画に☑を表示して選択状態にします。

1件解除、全解除……囲み枠のある静止画またはすべての静止画の☑が消えて選択状態を解除します。

鏡像表示⇔正像表示……確認画面の画像を、鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

画像保存先選択……撮影した画像の保存先フォルダを選択します。本体またはmicroSDのフォルダが選べます。

選択ファイル制限……☑を付けた静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.303

全ファイル制限……撮影したすべての静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.303

位置情報付加→P.222（機能メニュー項目）

取り消し……撮影した静止画をすべて削除して連続撮影画面に戻ります。

おしらせ

<全保存＆自作アニメ>
- 「画像保存先選択」で「microSD」に設定している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（microSDカードには保存されません）。

フレームを重ねて撮影する 〈フレーム撮影〉

撮影できる画像サイズはフルスクリーン（480×854または854×480）以下です。

- 内蔵されているフレームのほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

1 フォトモード撮影画面（P.220）▶ch［機能］▶「フレーム選択」▶フレームを選択

■ フレーム撮影を解除する場合
▶「OFF」

2 カメラを被写体に向ける▶■［撮影］

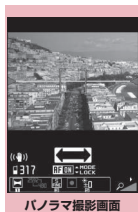
■ 保存する前にフレームを変更する場合
▶ch［機能］▶「フレーム取替え」

3 ■［保存］

パノラマで撮影する 〈パノラマ撮影〉

FOMA端末を横方向に動かし、連続して画像を取り込むことにより、1枚のパノラマ写真を自動的に作成します。

- 撮影中にFOMA端末が上下にぶれると、パノラマ写真の上下が狭くなったり、歪みが出ることがあります。
- 動いているものはうまく撮影できないことがあります。
- 被写体が単純な模様だったり、模様がない場合などは撮影に失敗する場合があります。

1 フォトモード撮影画面（P.220）▶1▶「▣」

パノラマ撮影画面

機能メニュー➡P.221

2 ■［撮影］

パノラマ撮影が開始されます。パノラマ撮影したい範囲でFOMA端末を左右どちらか一方に動かしてください。緑色の線を撮影ガイダンスに合わせて、できるだけ水平に動かします。

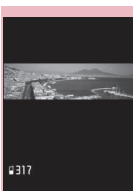
パノラマ撮影中画面

FOMA端末を移動させる速度は、画面に「GOOD」が表示されるように動かしてください。早い場合は「FAST」が表示され、正確なパノラマ撮影ができません。

保存可能容量になった場合は、自動的に撮影が終了し、パノラマ撮影確認画面が表示されます。

3 ■［終了］

■ 撮影し直す場合

▶CLR▶「YES」

パノラマ撮影確認画面

機能メニュー➡P.222

4 ■［保存］

動画を撮影する　〈ムービーモード〉

●「ファイルサイズ設定」を「長時間」に設定した場合は、動画撮影後、microSDカードに保存して撮影を終了します。
●撮影時間は撮影条件によって異なります。
●動画撮影中にFOMA端末の開閉を行うと、撮影が終了します。
●以下の設定で撮影することで、動画再生に対応したすべてのFOMA端末で再生できます。

機能	設定	
画像サイズ選択	QCIF（176×144）	SubQCIF（128×96）
記録品質設定	標準、高品質	標準、高品質、最高品質
ファイルサイズ設定	500KB以下	

1 フォトモード撮影画面（P.220）▶

1▶「🎥」

ムービーモード撮影画面

機能メニュー➡P.226

2 カメラを被写体に向ける▶■［撮影］

撮影が開始されます。

撮影中にズームの調節をすることができます。

■ ファイルサイズ設定で設定した容量になった場合

▶「OK」

ムービーモード撮影中画面

3 ■［終了］

■ 撮影した動画を再生して確認する場合

▶i［再生］

■ 撮影し直す場合

▶CLR▶「YES」

ムービーモード確認画面

機能メニュー➡P.226

4 ■［保存］

おしらせ

●動画撮影中にズーム調節などのボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。

機能 ムービーモード撮影画面（P.225）

カメラモード切替、画像サイズ選択、ファイルサイズ設定→P.219（撮影メニュー項目）

記録品質設定……動画撮影時の画質・時間を「長時間、標準、高品質、最高品質」から選択します。
「長時間」は、撮影時間は最も長くなりますが、画質は最も低くなります。これに対し「最高品質」は、画質は最も高くなりますが、撮影時間は最も短くなります。

撮影動画一覧→P.227

カメラ調節→P.221（機能メニュー項目）

動画シャッター音選択、録音開始音選択※1

セルフタイマー設定→P.228

記録種別設定……「映像＋音声、映像のみ、音声のみ」から選択します。

自動保存設定……撮影後「動画保存先選択」で設定したフォルダに自動保存するかしないか（ON、OFF）を設定します。

動画保存先選択、音声保存先選択※2……撮影した動画や、音声のみの動画の保存先フォルダを選択します。
microSDカードに保存する場合、映像つきの動画は「SDビデオフォルダ」内に、音声のみの動画は「マルチメディアフォルダ」内に保存されます。

ファイル制限……撮影した動画を再配布できるかどうかを設定します。→P.303

保存容量確認

ヘルプ……ボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。

アイコン常時表示設定……閉じたときに、セルフタイマーアイコン、保存可能容量アイコン、撮影状態表示アイコン、撮影時間以外のアイコンなどを表示するかどうかを設定します。

手ブレ補正設定→P.228

※1：「記録種別設定」で「音声のみ」に設定している場合およびボイスモード時は、「録音開始音選択」となります。
※2：「記録種別設定」で「音声のみ」に設定している場合およびボイスモード時は、「音声保存先選択」となります。

おしらせ

<動画シャッター音選択、録音開始音選択>
- マナーモード設定中（「メモ確認音」が「OFF」）は、確認のためのシャッター音は鳴りません。
- ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定できません。またシャッター音の音量は変更できません。

<保存容量確認>
- 表示される容量はおおよその目安です。

機能 ムービーモード確認画面（P.225）

再生

保存……撮影した動画が「動画保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。

iモードメール作成※1……撮影した動画を添付し、iモードメールを作成します。
ムービーモード確認画面で✉［✉/Blog］を押しても動画を添付し、iモードメールや、ブログ投稿用のメールを作成することができます。

待受画面設定……撮影した動画を待受画面に設定します。

タイトル編集

動画保存先選択、音声保存先選択※2→P.226（機能メニュー項目）

ファイル制限……撮影した動画を再配布できるかどうかを設定します。→P.303

取り消し……撮影した動画を削除してムービーモード撮影画面に戻ります。

※1：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※2：「記録種別設定」で「音声のみ」に設定している場合およびボイスモード時は、「音声保存先選択」となります。

おしらせ

<待受画面設定>
- 待受画面に設定する動画は、「動画保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。ただし、「microSD」に設定している場合は、本体のiモーションのカメラフォルダに保存されます。

大切な場面をのがさず撮影する〈チャンスキャプチャ〉

動画撮影時に、撮影可能時間を過ぎても撮りたい場面まで撮影を続けます。
- 撮影した動画は、撮影を終了した時点から撮影可能な時間分までさかのぼって保存されます。それ以前に撮影した部分は保存されません。

1 **フォトモード撮影画面（P.220）▶ 1 ▶「 」**

2 **カメラを被写体に向ける▶■［撮影］**
撮影が開始されます。
撮影中にズームの調節をすることができます。
撮影可能時間を過ぎると、残り撮影時間の表示が点滅します。

3 **■［終了］**
撮影が終了します。

4 **■［保存］**

音声のみを録音する〈ボイスモード〉

音声のみの動画として、音声を録音します。

1 **フォトモード撮影画面（P.220）▶ 1 ▶「 」**
ムービーモード撮影画面の機能メニューを利用できます。→P.226

2 **■［録音］**
録音が開始されます。

3 **■［終了］**
ムービーモード確認画面の機能メニューを利用できます。→P.226

4 **■［保存］**

撮影した静止画や動画を表示する

撮影した静止画や動画をクイックアルバムやミュージックプレーヤーで表示します。クイックアルバムで静止画を見るときには、手動で切り替えるだけでなく自動で切り替える（フォトスライドショー）こともできます。

<静止画を表示する場合>

1 **フォトモード撮影画面（P.220）▶ i ［ ］**
クイックアルバムについて→P.301

■ **動画を表示する場合**
▶ムービーモード撮影画面（P.225）
▶ i ［ ］▶動画を選択

おしらせ

<動画を表示する場合>
- 記録種別設定の設定内容により、表示されるフォルダが以下のように異なります。
「映像＋音声」「映像のみ」：動画保存先選択の「映像つき撮影」での指定フォルダ
「音声のみ」：音声保存先選択の「音声のみ撮影」での指定フォルダ

撮影時の設定を変える

ズームやセルフタイマー、手ブレ補正の設定などを行います。

ズームを使う

ズーム機能を使って、撮影する画像を写したい大きさに調節します。
- ズームはデジタルズームです。

1 **各撮影画面▶ でズームを調節**
 を押すたびに1段階ずつ変化し、押し続けると連続的に変化します。
FOMA端末を閉じているときは、 でズームを調整できます。

おしらせ
- カメラ機能を起動したときは「1倍」になっています。また、画像サイズやカメラモードを切り替えたときも「1倍」になります。

■ズーム（16段階）の画像サイズ別最大倍率

画像サイズ	静止画撮影	動画撮影
3M ／フル HD ／2M	約1.0倍	—
1M	約1.6倍	—
パノラマ	閉：約3.2倍 開：約2.4倍	—
フルスクリーン※1	約2.3倍	—
VGA	閉：約3.2倍　開：約2.4倍	
ワイド	—	閉：約3.2倍 開：約2.4倍
Java※2※3	約3.2倍	—
フルスクリーン※4	約4.7倍	—
QVGA	約6.4倍	閉：約6.4倍 開：約4.8倍
Java※2※5		—
QCIF	閉：約10.0倍　開：約8.7倍	
SubQCIF	閉：約15.0倍　開:約12.0倍	

※ 最大倍率における「閉」「開」は開閉状態

※1： 横480×縦854ドット、横854×縦480ドット
※2： iアプリからカメラを起動したときのみ表示
※3： 横480×縦480ドット
※4： 横240×縦427ドット、横427×縦240ドット
※5： 横240×縦240ドット

セルフタイマーを使う

- 撮影終了後、セルフタイマーは「OFF」に戻ります。

1 各撮影画面▶ch［機能］▶「セルフタイマー設定」▶「ON」▶セルフタイマーの時間（01～15秒の2桁）を入力

● セルフタイマーを設定すると

ディスプレイに「⏲」が表示され、セルフタイマーが設定されていることを示します。
■［撮影］を押すと、セルフタイマーの開始音が鳴ってセルフタイマーが動作をはじめます。
撮影認識ランプが赤色で点滅し、ディスプレイの「⏲」およびボタンとタッチセンサーのバックライトが点滅します。
撮影される約5秒前からカウント音が鳴り、点滅が速くなります。

■ セルフタイマーの設定を解除する場合
▶ch［機能］▶「セルフタイマー設定」▶「OFF」

■ タイマーの動作を止める場合
▶✉［中止］またはCLR

おしらせ

- セルフタイマーのカウント中に■［撮影］を押して手動で撮影することもできます。
- マニュアル連続撮影では、セルフタイマーを利用できません。
- オートフォーカスロックで撮影する場合は、あらかじめピント合わせを行ってからセルフタイマー撮影を行ってください。

手ブレ補正について設定する

- 本機能はフォトモード、パノラマ撮影モード、ムービーモード、チャンスキャプチャで利用できます。連続撮影では利用できません。

1 フォトモード撮影画面（P.220）、パノラマ撮影画面（P.224）、ムービーモード撮影画面（P.225）▶ch［機能］▶「手ブレ補正設定」▶以下の項目から選択

オート……フォトモード、パノラマ撮影モードの場合、手ブレの発生しやすい室内や暗い場所での撮影時に、自動で手ブレを補正します。
ムービーモード、チャンスキャプチャの場合、撮影状況にかかわらず常に手ブレ補正が働きます。

OFF……手ブレ補正を使わないで撮影します。

おしらせ

- 本機能はあくまでも手ブレを軽減するものであり、効果は被写体や撮影条件によって異なります。
- 被写体の一部が動いていると、被写体の動いている箇所に残像が残る場合や、全体にノイズ感が出る場合があります。このような場合は本機能を「OFF」に設定して撮影してください。

バーコードリーダーを利用する
〈バーコードリーダー〉

カメラを利用しJANコード、QRコード、CODE128を読み取ります。とくにQRコードの場合、読み取りデータからPhone To/AV Phone To、Mail To、Web To、iアプリTo、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示、文字のコピーを行うことができます。また、画像やメロディ、トルカのデータを読み取り、再生や保存をすることもできます。

- 読み取りデータは5件まで登録できます。
- FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- バーコードを読み取るときは、レンズをバーコードから約10cm離してください。

■JANコード、QRコード、CODE128について

- JANコードとは
  太さや間隔の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）および13桁（JAN13）のバーコードを読み取ることができます。
  ※右上のJANコードをFOMA端末で読み取ると「4942857113068」と表示されます。

- QRコードとは
  縦・横方向の模様で数字、英字、漢字、カナ、絵文字などの文字列を表現している二次元コードの1つです。また、画像やメロディ、トルカを扱っているQRコード、1つのデータが複数のQRコードに分かれているものもあります。
  ※右上のQRコードをFOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

- CODE128とは
  太さや間隔の異なる縦の線（バー）で数字、英字、記号を表現しているバーコードです。
  CODE128を読み取るには、対応しているiアプリをダウンロードする必要があります。→P.285

コードを読み取る

1 MENU▶「LIFEKIT」▶「バーコードリーダー」

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合
▶ch［機能］▶「デスクトップ貼付」

2 バーコードを認識範囲に表示

自動的に読み取りが開始されます。
認識範囲は画面の四隅に“┌、┐、└、┘”で示されます。
ピントが合った状態で、バーコード全体が認識範囲の中にできるだけ大きく入るようにします。

読み取り画面

読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴ります。
読み取りに時間がかかる場合があります。

■ 読み取りを中止する場合
▶■［中止］▶「OK」

■ ズームを調節する場合
□：拡大されます。
□：標準に戻ります。

■ オートフォーカスを使用する場合
▶✉［AF］
フォーカス枠は以下のように変化します。
- 白く表示：ピント調整前
- 白い点線で表示：ピント調整中
- 緑で表示：ピント調整完了
- 赤い点線で表示：ピント調整失敗

■ 複数のQRコードに分かれているデータを読み取る場合
▶「OK」▶■［読取］▶QRコードを認識範囲に表示
最大16枚に分割された複数のQRコードを読み取ることができます。

3 読み取ったデータを確認

■ 読み取ったデータを破棄する場合
▶CLR▶「YES」

4 ch［機能］▶「登録」▶「YES」▶「OK」

読み取ったデータが保存されます。

おしらせ

- JANコード、QRコード、CODE128以外のバーコードは読み取れません。また、バーコードのサイズによっては、読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては正しく認識できない場合があります。

おしらせ

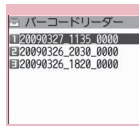
- マナーモード設定中は、読み取り完了音は鳴りません。
- 文字編集画面からバーコードリーダーを起動することができます。このとき、読み取ったデータは文字編集画面に入力されます。
- 読み取った画像の画像サイズ、ファイルサイズによっては、保存できないことがあります。
- 読み取ったデータをmicroSDカードに登録することはできません。

読み取りデータを利用する

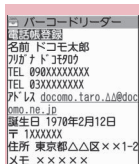
- 利用できる読み取りデータは、以下のとおりです。

項目	説明
電話帳登録	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、誕生日、郵便番号、住所、メモを電話帳に一括登録→P.81
メール作成	宛先、題名、本文が一括入力されたｉモードメールを作成→P.138
Bookmark登録	URLとタイトル名をブックマークに登録→P.185
ｉアプリ起動	指定されているｉアプリを起動→P.283
メロディのアイコン	そのメロディを再生→P.316
電話番号	「Phone To／AV Phone To機能」→P.191
トルカのアイコン	そのトルカを表示→P.294
メールアドレス	「Mail To機能」→P.191
URL	「Web To機能」→P.191
画像	その画像を登録→P.189

1 読み取り画面（P.229）▶ch［機能］▶「読み取りデータ一覧」▶読み取りデータを選択▶表示されている項目を選択

■ 読み取りデータの一覧／詳細画面

読み取りデータ一覧画面

機能メニュー➡P.230

バーコードリーダー
電話帳登録
名前 ドコモ太郎
ﾌﾘｶﾞﾅ ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ
TEL 090XXXXXXXX
TEL 03XXXXXXXX
ｱﾄﾞﾚｽ docomo.taro.△△@docomo.ne.jp
誕生日 1970年2月12日
〒 1XXXXXX
住所 東京都△△区××1-2
メモ ×××××

読み取りデータ詳細画面

機能メニュー➡P.230

おしらせ

- 読み取りデータにバーコードリーダーで扱えない文字が含まれている場合、その文字はスペース（空白）に変換されます。
- 読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
  - タイトル：yyyymmdd_hhmm_xxxx（年月日_時刻_４桁の数字）
    同じ時刻で複数保存したときは、４桁の数字が登録した順に増えます。

機能 読み取りデータ一覧画面（P.230）

タイトル編集

結果表示……読み取りデータ詳細画面を表示します。

１件削除、全削除

機能 読み取りデータ詳細画面（P.230）

登録

一覧表示……読み取りデータ一覧画面を表示します。表示しているデータが未登録の場合、データを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

Internet……URLを反転している場合、そのURLのサイトに接続します。「Web To機能」→P.191

ｉモードメール作成※……「メール作成」を反転している場合、読み取りデータが入力され、ｉモードメールを作成します。
メールアドレスを反転している場合、そのメールアドレスが宛先に入力され、ｉモードメールを作成します。

電話発信……電話番号を反転している場合、その電話番号に電話をかけます。
「Phone To／AV Phone To機能」→P.191

電話帳登録……「電話帳登録」を反転している場合、読み取りデータを電話帳に登録します。→P.81
電話番号を反転している場合、その電話番号を電話帳に登録します。
メールアドレスを反転している場合、そのメールアドレスを電話帳に登録します。

Bookmark登録……「Bookmark登録」を反転している場合、読み取りデータをBookmarkに登録します。→P.185
URLを反転している場合、そのURLをBookmarkに登録します。

画像保存……画像をデータBOXのマイピクチャに保存します。
待受画面などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。

メロディ保存……メロディをデータBOXのメロディに保存します。
着信音などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。

トルカ保存……トルカをおサイフケータイのトルカに保存します。

ｉアプリ起動……「ｉアプリ起動」を反転している場合、読み取りデータで指定されているｉアプリを起動します。→P.283

コピー……読み取ったデータをコピーし、文字入力（編集）画面などに貼り付けることができます。
→P.386

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

＜Internet＞＜Bookmark登録＞
- URLに使用できない文字が含まれている場合、Web To機能の利用やBookmark登録はできません。

＜ｉモードメール作成＞
- 宛先に入力できない文字が含まれている場合、宛先には何も入力されません。

＜電話発信＞
- テレビ電話画像の設定は発信や通話が終了しても保持されませんので発信ごとに設定してください。

文字を読み取る　〈テキストリーダー〉

カメラを利用して、印刷されている文字を読み取り、電話帳登録、メール作成、Bookmark登録などをします。また、電話をかけたり、インターネットホームページを表示したりすることもできます。
- 読み取りデータは8件まで登録できます。
- FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- 文字を読み取るときは、レンズを読み取りたい文字から約10cm離してください。
- 縦書きの日本語文字列を読み取ることもできます。

■読み取りモードについて

読み取りモードには以下のものがあります。読み取りたい情報に合った読み取りモードを選択します。

項目	説明
名刺読み取り	名刺などに印刷されている名前、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモを読み取り、読み取ったデータを電話帳に一括登録することができます。
メール作成	宛先、題名、本文を読み取り、それぞれが入力されたｉモードメールを作成することができます。
URL	URLを読み取り、そのURLのサイトに接続したり、Bookmarkに登録できます。
メールアドレス	メールアドレスを読み取り、そのメールアドレスを利用してｉモードメールを作成することができます。
電話番号	電話番号を読み取り、その電話番号に電話をかけることができます。
フリーメモ	日本語や英語などの文字列を読み取り、テキストメモに登録することができます。

■読み取り可能な文字数について

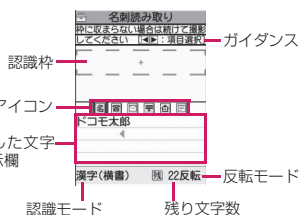
読み取りできる文字数は読み取る項目によって以下のように変わります。

読み取る項目		最大読み取り文字数
名刺読み取り	名前	全角16文字、半角32文字まで
	電話番号	半角数字と#、＊※1、＋※1、p（ポーズ）※1、（、）、－で最大26桁まで
	メールアドレス	半角の英字、数字、記号で50文字まで
	郵便番号	半角の数字で7桁まで
	住所	全角50文字、半角100文字まで
	メモ	全角100文字、半角200文字まで

カメラ

読み取る項目		最大読み取り文字数
メール作成	宛先	半角の英字、数字、記号で50文字まで
	題名	全角100文字、半角200文字まで
	本文	全角128文字、半角256文字まで
URL		半角の英字、数字、記号で256文字まで
メールアドレス		半角の英字、数字、記号で256文字まで
電話番号		半角数字と#、＊※1、＋※1、p（ポーズ）※1、（、）、－で256文字まで
フリーメモ		全角128文字、半角256文字まで
辞典※2	日本語	全角32文字、半角64文字まで
	英語	半角64文字まで

※1：＊、+、p（ポーズ）は、文字編集でのみ入力可能です。
※2：辞典からテキストリーダーを起動したときに選択できます。

■読み取り画面の見かた
<名刺読み取りモードの画面例>

ガイダンス　：そのとき行う操作など
認識枠　　　：認識する範囲（認識範囲）
項目アイコン：読み取る項目
名刺読み取りモード：「名前／電話番号／メールアドレス／郵便番号／住所／メモ」
メール作成モード：「宛先／題名／本文」
認識した文字の表示欄：読み取った文字（画面によってはガイダンス）
認識モード：文字を読み取るときの認識モード「漢字（横書／縦書）／郵便番号／電話番号／メールアドレス／URL／英単語」
残り文字数：読み取り可能な残りの文字数（半角文字数で表示）
反転モード：反転モード設定が反転固定に設定されているときに表示

文字を読み取る

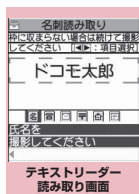
<例：名刺読み取りモードで読み取るとき>

1 MENU▶「LIFEKIT」▶「テキストリーダー」

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合
▶ch［機能］▶「デスクトップ貼付」

2 「新規読み取り」
「読み取りモードについて」→P.231

3 「名刺読み取り」
撮影モードは自動的に「接写」になります。

テキストリーダー読み取り画面

機能メニュー➡P.233

4 ◯で読み取る項目アイコンを反転▶文字列を認識範囲に表示
ピントが合っている状態で、読み取りたい文字の上下が認識範囲にできるだけ大きく入るようにします。
読み取りたい文字列が一度に認識範囲に入らない場合、数回に分けて読み取ることができます。

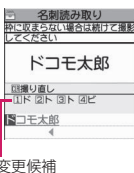
■ ズームを利用する場合
◯：「標準」→「拡大」に切り替わります。
◯：「拡大」→「標準」に戻ります。

5 ■［読取］
読み取り完了音が鳴り、認識した文字が赤色で表示されます。

■ 撮り直しする場合
▶CLR▶「YES」
読み取った文字列が表示欄を超えた場合は◯を押して確認できます。
i［登録］を押すと読み取った文字がそのまま登録され、読み取りデータ画面（詳細）が表示されます。
読み取った文字を修正するには以下の2つの方法があります。

■ 文字を選択して修正する場合

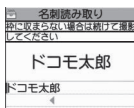
▶[十字キー]で修正したい文字を反転▶変更候補文字の番号を押す

小文字に変換が可能な文字は、[＊]で大文字、小文字を切り替えることができます。

■ 文字編集で修正する場合

▶[ch]［機能］▶「編集」▶文字を編集

読み取った文字を通常の文字編集で修正することができます。

変更候補の選択に戻るときは、[ch]［機能］を押し、「認識候補選択」を選択します。

文字の編集が終了したら、操作6に進みます。

6 [■]［確定］

文字として確定します。

■ 残りの文字列を続けて読み取る場合

▶文字列を認識範囲に表示▶操作5へ

このとき、すでに読み取った文字列の最後の2文字以上が認識範囲に入るようにします。

■ ほかの項目を読み取る場合

▶操作4へ

名刺読み取りモードのとき、電話番号は4件まで、メールアドレスは3件まで読み取りできます。

7 [ch]［機能］▶「登録」

読み取りデータ画面（詳細）になり、[CLR]を押すと読み取りデータ画面（一覧）に戻ります。

おしらせ

- 画面に「取込中…」のメッセージが表示されている間はFOMA端末を動かさないようにしてください。
- マナーモード設定中は、読み取り完了音は鳴りません。
- 手書きの文字は認識できません。また、FAXされたものやコピーしたもの、デザインされた文字や文字の間隔が一定でないもの、文字と背景が区別しにくいものなどは、正しく認識できない場合があります。また、周囲の照明などの状況によっては、正しく認識できない場合があります。

文字情報を利用する

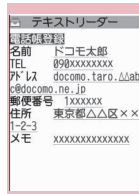
- 利用できる読み取りデータは以下のとおりです。

項目	説明
電話帳登録	名前、電話番号、メールアドレス、郵便番号、住所、メモを電話帳に一括登録→P.81
メール作成	宛先、題名、本文が一括入力されたｉモードメールを作成→P.138

1 [MENU]▶「LIFEKIT」▶「テキストリーダー」▶「読み取りデータ一覧」▶読み取りデータを選択▶表示されている項目を選択

■ 読み取りデータの一覧／詳細画面

読み取りデータ画面（一覧）

機能メニュー➡P.233

読み取りデータ画面（詳細）

機能メニュー➡P.233

機能 テキストリーダー読み取り画面（P.232）／読み取りデータ画面（一覧・詳細）（P.233）

編集※1、**登録**※2

Internet……URLモードの読み取りデータのとき、そのURLのサイトに接続します。

「Web To機能」→P.191

ｉモードメール作成※3……読み取りデータが入力され、ｉモードメールを作成します。入力されるデータは、表示中の読み取りデータや画面によって異なります。

電話発信……電話番号モードの読み取りデータのとき、その電話番号に電話をかけたり、SMSを作成します。「Phone To／AV Phone To機能」→P.191

電話帳登録……読み取りデータを電話帳に登録します。登録されるデータは、表示中の読み取りデータや画面によって異なります。

Bookmark登録……URLモードの読み取りデータのとき、そのURLをBookmarkに登録します。

電話帳検索……読み取りデータを使って電話帳を検索します。
読み取り画面の場合、名刺読み取りモード、メール作成モードのときは検索できません。

テキストメモ登録……読み取りデータを「テキストメモ」に登録します。
テキストリーダー読み取り画面、読み取りデータ画面（一覧）の場合、名刺読み取りモード、メール作成モードの読み取りデータは登録できません。

読取モード設定※2……読み取りモードを「名刺読み取り、メール作成、URL、メールアドレス、電話番号、フリーメモ」から選択します。

反転モード設定※2……印刷物の状態に合わせて設定を行います。

自動設定……反転、無反転を自動的に判断します。

無反転固定……薄い色地に濃い色の文字が印刷されているときに選択します。

反転固定……濃い色地に薄い色の文字が印刷されているときに選択します。

ガイダンスOFF⇔**ガイダンスON**※2……ガイダンスを表示するかしないかを設定します。

縦書き⇔**横書き**※2……読み取りたい日本語文字列の横書き、縦書きを設定します。

詳細表示※4、**一覧表示**※5……読み取りデータ画面（詳細または一覧）を表示します。

コピー※6……読みとった文字をコピーし、文字入力（編集）画面などに貼り付けることができます。
→P.386

1件削除、全削除※6

※1：読み取りデータ画面（一覧）では利用できない機能です。
※2：読み取り画面でのみ利用できる機能です。
※3：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※4：読み取りデータ画面（一覧）でのみ利用できる機能です。
※5：読み取りデータ画面（詳細）でのみ利用できる機能です。
※6：読み取り画面では利用できない機能です。

おしらせ

- テレビ電話画像の設定は発信や通話が終了しても保持されませんので発信ごとに設定してください。

ワンセグ

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。また、ｉモードを利用して、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
パソコン：http://www.dpa.or.jp/
ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

● ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
  「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。また、「ｉモードサイト」などへ接続する場合もあります。なお、サイトへ接続する場合は、別途ｉモードのご契約が必要です。
- 「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
  サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- ワンセグの視聴中に自動的にトルカを保存する場合があります。保存したトルカから詳細情報を取得する場合は、パケット通信料がかかります。

● 電波について

ワンセグは、放送サービスの一つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

● はじめてワンセグを利用する場合の画面表示

お買い上げ後、はじめてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
内容を確認して■［OK］を押し、「YES」を選択します。
「NO」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

● 放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者（放送局）の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。
保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者（放送局）へ送信される場合があります。

放送用保存領域を消去するには→P.246

別のFOMAカードに差し替えた場合は、放送用保存領域を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。「NO」を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■放送用保存領域の読み出し時の画面表示

番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、「放送用保存領域内の情報を利用しますか？同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります」と表示されます。「YES」を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。また、「YES（以後非表示）」を選択すると、以降、番組が変わっても確認は行われません。

ワンセグをご利用になる前に

● ワンセグの視聴手順

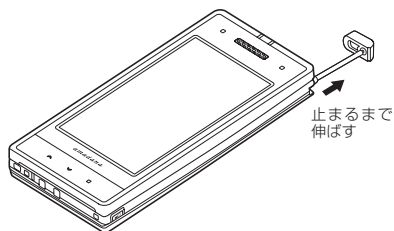
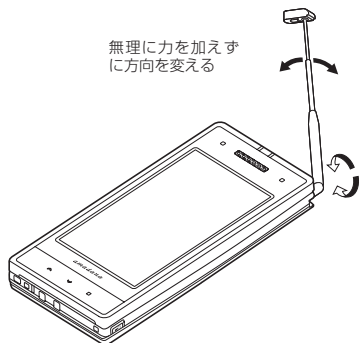
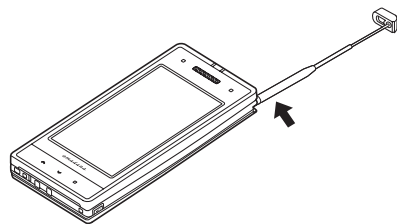
ステップ1　チャンネル設定→P.238

ご使用になる地域に対応したチャンネルリストを登録し、使用するチャンネルリストを設定します。

ステップ2　ワンセグの視聴→P.239

ワンセグアンテナを伸ばし、ワンセグを起動します。

■ワンセグアンテナについて

●ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。

●ワンセグアンテナを収納するには、ワンセグアンテナの下の方を持って止まるまで押し入れます。

■視聴中や録画中に着信などがあったときは

視聴中や録画中に以下の動作が発生した場合は、映像と音声は中断し、各機能が動作します（録画は中断されません）。
各機能終了後は視聴を再開できます。

- 音声電話着信
- テレビ電話着信
- アラーム、スケジュール、To Doリスト、視聴予約の通知（「アラーム通知設定」が「通知優先」のとき）

おしらせ

●充電しながらワンセグの視聴を長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

●ワンセグを視聴しないときは、ワンセグアンテナを収納してください。

■お願い

●FOMA端末の故障・修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が端末内に保存された情報（ワンセグで録画した静止画、テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報など）は移し替えできません。

チャンネルを設定する
〈チャンネル設定〉

ワンセグを利用するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネルリストを選択しておく必要があります。地域別にチャンネルリストを登録しておくと、チャンネルリストを選択するだけでその地域の放送局を視聴できます。

- チャンネルリストは10件まで登録でき、チャンネルリスト1件につき、放送局を50件まで登録できます。
- 受信できる放送局は地域によって異なります。

チャンネルリストを登録する

1 **MENU▶「1SEG」▶「チャンネル設定」▶「地域選択」**

■ 放送局を自動で検索してチャンネルリストを登録する場合

▶「自動チャンネル設定」▶「YES」▶「YES」▶タイトルを入力

検索を途中で中止する場合は✉［中止］またはCLRを押して「YES」を選択します。

- 自動チャンネル設定を行う際はワンセグアンテナを伸ばしてください。

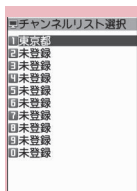
2 **地域を選択▶都道府県を選択▶「YES」**

おしらせ

- 地域によっては「地域選択」では放送局が正しく登録できない場合があります。その場合は「自動チャンネル設定」で放送局を検索してください。
- 「自動チャンネル設定」は地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内の、放送電波を受信できる場所で行ってください。
- 「自動チャンネル設定」時にリモコン番号が重複している旨のメッセージが表示されることがあります。このようなときは、手動で地域を選択してください。

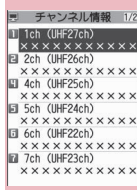
使用するチャンネルリストを選択する

チャンネルリストを選択して、受信する放送局を設定します。

1 **MENU▶「1SEG」▶「チャンネルリスト選択」**

チャンネルリスト選択画面

機能メニュー➡P.238

2 **チャンネルリストを選択**

受信するチャンネルリストが設定されます。

チャンネル情報画面

機能メニュー➡P.238

機能 チャンネルリスト選択画面（P.238）

チャンネル設定→P.238

タイトル編集、1件削除

機能 チャンネル情報画面（P.238）

リモコン番号設定……リモコン番号に設定されている放送局を変更します。

1件削除※

※：チャンネルリスト内の放送局をすべて削除した場合は、チャンネルリストも削除されます。

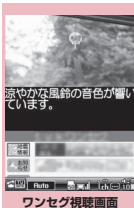
おしらせ

- 現在設定しているチャンネルリストは、チャンネルリスト選択画面またはチャンネル情報画面で削除できません。ほかのチャンネルリストに変更してから削除してください。

ワンセグを見る 〈ワンセグ視聴〉

❶ MENU▶「1SEG」▶「ワンセグ視聴」

前回視聴していたチャンネルで「ワンセグ視聴画面」が表示されます。

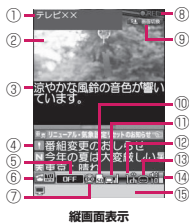
- 視聴を終了するときは［終話］または CLR（1秒以上）を押して「YES」を選択します。
- はじめてワンセグを起動した場合は、免責事項の確認画面が表示されます。→P.236

ワンセグ視聴画面

機能メニュー➡P.240

おしらせ

- Gガイド番組表リモコンやサイト、メールなどに表示されているチャンネルなどの情報を使ってワンセグを起動することもできます。
「Media To機能」→P.191
- 市販のBluetooth機器を利用して、ワンセグの音声をBluetooth機器から再生できます。→P.375
- 開閉状態によって電波の受信状態が異なる場合があります。

ワンセグ視聴画面の見かた

- FOMA端末を閉じた場合は、自動的に横画面表示になります。

縦画面表示

横画面表示

① 番組タイトル
② 映像
③ 字幕
④ データ放送
⑤ ワンセグ効果（音響効果）→P.246
　OFF：音響効果OFF
　CS5.1ch：CS5.1ch（イヤホン接続時のみ有効）
　Auto：オート
　Live／Concert／Drama／Sports／News／Variety／Movie：各ジャンル向け
　Manner：音漏れ軽減
⑥ 操作モード→P.241
　［TV］……映像モード
　［DATA］……データ放送モード
⑦ ワンセグECOモード→P.246
　［ECO］……ワンセグECOモード設定中
⑧ 録画状態表示
　●REC……ビデオ録画中
　◷REC……予約録画中
　IIPAUSE（赤色）……録画一時停止
　タイムシフト再生状態表示
　IIPAUSE（緑色）……一時停止
　▶PLAY……通常速度再生
　▶1.3……1.3倍速再生
　▶▶FF……2倍速再生
⑨ ガイド表示
　開いているとき：9（1秒以上）のガイダンス
　閉じているとき：番組表とタッチセンサー■のガイダンス
⑩ ビデオ録画先
　［SD］……microSD
⑪ 放送電波の受信レベル（目安）

　放送圏外の場合は［圏外］が表示されます。
⑫ チャンネル（リモコン番号）
⑬ 字幕受信
　字幕情報を受信しているときは［字幕］が表示されます。
⑭ 音量
⑮ クイックインフォ
　ワンセグ視聴中に受信したｉモードメール、SMS、チャットメール、エリアメール、メッセージR／Fの情報がテロップ表示されます。
⑯ 横画面で視聴中、データ放送が更新された場合に、画面に［d］が表示されることがあります。
⑰ 音響効果が有効なときに表示（設定することはできません）

ワンセグ視聴中の操作について

- データ放送モードでは利用できないボタン操作もあります。

ボタン操作	動作
[方向キー左右]	順送り選局
0～9 ＊＃	ワンタッチ選局※1 リモコン番号が1～12に設定されている放送局は、ダイヤルボタンを押して選局できます。
[方向キー左右]（1秒以上）	チャンネルサーチ 受信可能な放送局を周波数順に検索します。[メール]またはCLRを押すと検索を中止します。
[方向キー上下]	音量調節
CLR	消音（ミュート）※1
[■]	一時停止※1 ワンセグ視聴を再開すると、タイムシフト再生になります。
[i]	Gガイド番組表リモコンを起動※2
9（1秒以上）	「縦画面表示」⇔「横画面表示」の切り替え
[／]（1秒以上）	• 画面表示切替（縦画面表示のみ） 押すたびに「データ放送全画面表示」→「映像＋データ放送画面」→「映像＋字幕＋データ放送」の順で画面が切り替わります。 • 字幕表示切替（横画面表示のみ） 押すたびに字幕表示の ON ／ OFFが切り替わります。
[メール]（1秒以上）	ビデオ録画開始
[メール]	ビデオ録画終了、静止画録画
[／]	映像モード／データ放送モードの切り替え（縦画面表示のみ）

※1：映像モードでのみ操作できます。
※2：ダウンロードした番組表ｉアプリを設定することもできます。

■タッチセンサー操作（閉じているとき）

タッチ操作	動作
[＜][＞]	音量調節
[＜][＞]（1秒以上）	順送り選局
[□]	静止画録画
[□]（1秒以上）	ビデオ録画開始／終了

- 閉じているときに[サイドキー]（1秒以上）でワンセグを終了できます。

おしらせ

- 番組によっては字幕が表示されない場合があります。

おしらせ

- 横画面表示ではデータ放送を表示できません。
- 場所を移動したときなどにチャンネルサーチで選局を行うと、自動チャンネル設定で登録できなかった放送局が見つかる場合があります。見つかった放送局を「チャンネル追加登録」で登録すると、次回から視聴できます。

機能 ワンセグ視聴画面（P.239）

ワンセグ効果→P.246（ユーザ設定の項目）

番組情報表示……視聴している番組の番組説明や開始時刻、終了時刻などを表示します。

メール※

受信BOX……受信BOXが表示されます。→P.155

新規メール作成……新規メール画面が表示されます。→P.138

お勧めメール作成……視聴中のチャンネル情報が本文に入力された新規メール画面が表示されます。→P.138
Media To機能に対応したFOMA端末に送信すると、受信側で情報を選択して、ワンセグを起動できます。

番組表表示……Gガイド番組表リモコンを起動します。→P.242

表示設定

画面表示切替……「映像＋データ放送、映像＋字幕＋データ放送、データ放送」から選択します。データ放送のみを表示中でもワンセグの音声は流れます。

字幕表示設定……字幕の表示方法を「ON（横全画面：下）、ON（横全画面：上）、OFF」から選択します。

明るさ設定……画面の明るさを3段階で調節します。

アイコン常時表示設定……横画面表示（P.239）で、番組タイトル以外のアイコンを常時表示するかどうかを設定します。

音声設定

主／副音声設定……音声の出力方法を「主音声、副音声、主／副同時」から選択します。

音声切替……音声を切り替えます。切り替えできる音声があるときのみ操作できます。

その他設定

ワンセグECOモード、タイムシフト再生設定→P.246（ユーザ設定の項目）

チャンネル

チャンネル情報……選択しているチャンネルリストの詳細画面を表示します。

チャンネルリスト選択→P.238

チャンネル設定→P.238

サービス選局……同じ放送局で複数のサービス（番組）が放送されているときに、どのサービスを視聴するかを選択します。

チャンネル追加登録……現在視聴中の放送局をチャンネルリストに追加登録します。

データ放送

テレビリンクリスト……テレビリンク一覧画面を表示します。→P.243

コンテンツ再読み込み……表示中のデータ放送サイトを再読み込みします。

証明書表示……SSL通信で使用している証明書を確認します。→P.193

データ放送へ戻る……データ放送サイトの閲覧を終了し、データ放送へ戻ります。

データ放送設定→P.246（ユーザ設定の項目）

操作モード切替……通常モードで視聴中に、映像モードとデータ放送モードを切り替えます。

デスクトップ貼付→P.109

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

視聴中にタイムシフト再生する

ワンセグの視聴を一時中断しても、後追いで再生することができます。

- ワンセグ視聴を自分で中断したとき、およびワンセグ視聴中に音声電話やテレビ電話を着信したときに、タイムシフト再生ができます。
- タイムシフト再生設定を「オートOFF」に設定しているときに音声電話やテレビ電話を着信した場合は、タイムシフト再生ができません。

1 ワンセグ視聴画面（P.239）▶■［一時停止］

ワンセグが一時停止します。

■ 一時停止中にFOMA端末を閉じたとき

操作2の記載のように、タッチセンサーで操作します。

2 ワンセグを再開できる状態になったら■［再生］または□

■ 蓄積されたワンセグデータの先頭からタイムシフト再生を開始する場合

▶□または〈（1秒以上）

■ 再生速度を切り替えたい場合

▶□または〉（1秒以上）

押すたびに1.3倍速（音あり）→2倍速（音なし）→通常速度の順に切り替わります。

タイムシフト再生画面

■ タイムシフト再生を終了する場合

▶通常速度でタイムシフト再生中に■［視聴］または□

通常のワンセグ視聴に戻ります。

おしらせ

- ワンセグデータは最大約2分間蓄積され、2分を超えると古いデータから順に上書きされます。
  2分以上一時停止してからタイムシフト再生を開始した場合は、一時停止した場面からではなく、蓄積されたワンセグデータの先頭から再生されます。
- タイムシフト再生設定を「オートON」に設定している場合は、タイムシフト再生中に音声電話やテレビ電話を着信すると、再生は一時停止されます。
- ワンセグの一時停止中およびタイムシフト再生中はチャンネルを切り替えることができません。
- 1.3倍速または2倍速でタイムシフト再生した場合、現在放送中の場面に追いつくと、タイムシフト再生を終了して通常のワンセグ視聴に戻ります。
- 1.3倍速のタイムシフト再生中は、音声が聞き取りにくい場合があります。

Gガイド番組表リモコンを利用する 〈Gガイド番組表リモコン〉

Gガイド番組表リモコンを利用して、番組表からワンセグを起動したり、視聴予約や録画予約を行ったりします。→P.272

1 MENU▶「1SEG」▶「番組表」

番組表が表示されます。

■ 番組を視聴する場合

▶番組を反転▶✉［TV起動］

ワンセグを利用するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES（以後非表示）」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

おしらせ

- ダウンロードした番組表iアプリを利用する場合は、iアプリのソフト一覧画面のソフト設定「番組表ボタン」（P.269）で変更します。

データ放送を利用する 〈データ放送〉

ワンセグでは、映像・音声に加えてデータ放送を利用できます。番組と連動したサイトなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。

項目（リンク先）を選択することで、Phone To、Mail To機能などを利用できます。→P.191

1 ワンセグ視聴画面（映像モード）（P.239）▶〔✓〕

データ放送モードに切り替わり、[TV DATA]が表示されます。

■ データ放送のみを表示する場合

▶ワンセグ視聴画面▶ch［機能］▶「表示設定」▶「画面表示切替」▶「データ放送」

2 項目（リンク先）を選択

iモード接続するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES（以後非表示）」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

・サイト表示中の操作について→P.181

おしらせ

- データ放送モード中もワンセグの音声は流れます。
- データ放送、データ放送サイトでの文字入力時は、絵文字は入力できません。

おしらせ

- データ放送の確認画面で「YES（以後非表示）」を選択している場合は、自動的にデータ放送の情報が更新され、パケット通信料がかかることがあります。
- データ放送またはデータ放送サイトの受信時に、自動的にトルカを取得する場合があります。

テレビリンクを利用する 〈テレビリンク〉

データ放送、データ放送サイトによっては、サイトやメモ情報をテレビリンクに登録できます。よく利用するサイトやメモ情報をテレビリンクに登録しておくと、簡単に表示することができます。

テレビリンクに登録する

テレビリンク登録可能な項目（リンク先）を選択すると、テレビリンクに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- テレビリンクは50件まで登録できます。

1 ワンセグ視聴画面（データ放送モード）（P.242）▶テレビリンク登録可能な項目を選択▶「YES」

■ 選択したURLやメモ情報がすでに登録されている場合

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「YES」を選択します。

おしらせ

- テレビリンクに登録したURLやメモ情報はワンセグからの操作でのみ利用できます。iモードやフルブラウザでは利用できません。
- リンク先によっては有効期限が設定されているものもあります。

テレビリンクからサイトやメモ情報を表示する

1 MENU▶「1SEG」▶「テレビリンク」▶テレビリンクを選択

ｉモード接続するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。

■ 有効期限が切れたテレビリンクの場合

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

テレビリンク一覧画面

機能メニュー➡P.243

● テレビリンク一覧のアイコンについて

アイコン	種別
	メモ情報
	データ放送サイト
	ｉモードコンテンツ
	フルブラウザコンテンツ

● データ放送サイトに接続しても、映像・字幕は表示されません。

機能 テレビリンク一覧画面（P.243）

詳細表示……テレビリンクのタイトル、URL、概要、コンテンツ種別、有効期限を表示します。

登録件数表示、1件削除、選択削除、全削除

視聴中にワンセグを録画する

〈ワンセグ録画〉

視聴中の番組をビデオまたは静止画として保存します。

● 番組によっては著作権などの制限により録画できない場合があります。
● タイムシフト再生中はワンセグを録画できません。

ビデオを録画する

録画したビデオはmicroSDカードに保存されます。

● 放送電波の受信レベルがのときはビデオ録画できません。
● 録画したビデオを再生するには→P.311

1 ワンセグ視聴画面（P.239）▶✉（1秒以上）

録画が開始されます。

• 録画中はチャンネルを変えられません。

2 ✉

録画が終了し、ビデオが保存されます。

• 保存領域がいっぱいになると、自動的に録画を終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

■保存件数と録画時間の目安

	最大保存件数※1	最大録画時間（合計）※2
microSDカード	99件	約600分※3

※1：データ量により実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。
※2：放送局、番組によって最大録画時間は異なります。
※3：2GバイトのmicroSDカードの場合の目安です。

おしらせ

● 録画中に電波状況がになったときは、録画は継続されますが、その間の映像・音声は保存されません。
● 録画中にマルチタスクで画面を切り替えた場合や着信があった場合でも、録画は中断されません。
● 録画中に録画予約スケジュールの開始時刻1分前になると、アラーム音が約2秒間鳴ります。その後、録画予約スケジュール登録時の「録画動作設定」の設定に応じて、以下のように動作します。
  • 「録画優先」に設定した場合は、確認メッセージが表示された後、ビデオ録画を終了して、予約録画を開始します。
  • 「操作優先」に設定している場合は、予約録画を開始するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、ビデオ録画を終了して、予約録画が開始されます。「NO」を選択すると、ビデオ録画を継続します。
● 録画データによっては、保存領域に若干の空きがあっても、自動的に録画を終了する場合があります。
● 保存されたビデオのファイル名、タイトル名は以下のとおりです。
  ファイル名：PRGXXX（XXXは英数字）
  タイトル名：YYYYMMDDhhmmXXX
  （Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分、X：数字）
● 録画したビデオは待受画面や着信音、着信画面などには設定できません。
● データ放送はビデオ録画できません。
● 番組には、「録画不可（コピーネバー）」「1回だけ録画可能（コピーワンス）」「録画制限なし（コピーフリー）」というコピー制御信号が加えられています。コピー制御信号は、それぞれの放送局が設定します。
● コピー制御信号が「録画不可（コピーネバー）」の番組は録画できません。また、録画中にコピー制御信号が「録画不可（コピーネバー）」に変更された場合は、録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

静止画を保存する

録画した静止画はデータBOXのワンセグフォルダ内のイメージフォルダに保存されます。

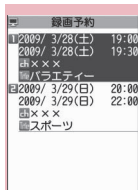
- microSDカードには保存できません。
- 放送電波の受信レベルが[圏外]のときは静止画録画できません。
- 録画した静止画を再生するには→P.300

1 ワンセグ視聴画面（P.239）▶[メール]

静止画が保存されます。

おしらせ

- 保存された静止画のファイル名、タイトル名は以下のとおりです。
  YYYYMMDDhhmmXXX
  （Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分、X：数字）
- 録画した静止画は待受画面や着信画面などには設定できません。
- 字幕やデータ放送は静止画録画できません。

ワンセグの視聴や録画を予約する 〈視聴予約リスト／録画予約リスト〉

ワンセグの視聴予約・録画予約を行います。設定した日時にアラームで番組や録画の開始をお知らせします。

- 視聴予約・録画予約のアラーム通知について→P.359
- 視聴予約、録画予約はそれぞれ100件まで登録できます。
- 番組表ｉアプリやサイト、メールなどに表示されているチャンネルなどの情報を使って視聴予約･録画予約を登録することもできます。

＜例：録画予約を登録する場合＞

1 [MENU]▶「1SEG」▶「録画予約リスト」

■ 視聴予約を登録する場合
▶「視聴予約リスト」

録画予約リスト一覧画面

機能メニュー➡P.245

2 [ch]［機能］▶「新規登録」

■ 視聴予約、録画予約を編集する場合
▶[ch]［機能］▶「編集」

[メール]のファンクション表示は、未登録時には［新規］が、登録時には［編集］が表示されます。

3 以下の項目から選択

日時設定（開始・終了）※1……録画（視聴）を開始・終了する日付、時刻を入力します。

- **直接入力**……月日と時刻を設定します。
- **カレンダーから入力**……カレンダーで月日を選択し、時刻を設定します。

チャンネル……チャンネルを選択します。

番組名……番組名を入力します。

繰り返し……録画（視聴）予約の繰り返しを「設定なし、毎日、曜日指定」から選択します。

アラーム音設定※2……録画予約日時になったときにアラーム音を鳴らすかどうかを設定します。

ワンセグ

アラーム通知※3……視聴予約日時になったときのアラーム通知を「通知する、事前通知する（15秒前～10分前）、通知しない」から選択します。

アラーム音選択※3……視聴予約日時になったときのアラーム音を時刻アラーム音やメロディ、iモーション、ミュージックなどのフォルダから選択します。

アラーム音量……でアラーム音量を設定します。

録画動作設定※2……ワンセグ／ミュージックグループ（ワンセグ、データBOX［ワンセグ］、ミュージック、Music&Videoチャネル）を操作中に開始日時になったときの動作を設定します。

録画優先……操作中の機能を中断・終了して録画を開始します。

操作優先……録画を開始するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、操作中の機能を中断・終了して録画を開始します。

連携起動設定※3……予約アラーム通知の画面から直接ワンセグを起動するかどうか（ON、OFF）を設定します。
「ON」に設定すると、アラーム通知画面で■［起動］を押して「YES」を選択するとワンセグが起動し、視聴予約した番組を視聴できます。

※1：視聴予約のときは「開始日時設定」を設定します。
※2：録画予約のときのみ設定します。
※3：視聴予約のときのみ設定します。

4 ［完了］

録画予約を登録するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES（以後確認しない）」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

● 録画が完了すると

デスクトップに「」が表示されます。「」を選択すると、録画結果を最新のものから最大100件まで表示します。
録画結果を選択すると、録画した番組が再生されます。

おしらせ

<視聴予約>
- 同じ日時に予約アラーム通知を行う視聴予約を複数登録した場合は、開始日時の早い視聴予約の通知が優先されます。開始日時も同じ場合は、アラーム通知の早い視聴予約が優先されます。

<録画予約>
- 録画時間が重複する複数の録画予約を登録した場合、開始時間が遅い録画予約が優先されます。開始時間が同じ場合は、あとから登録した録画予約が優先されます。
- 開始日時の約1分前に、FOMA端末が以下の状態にあると録画できませんのでご注意ください。
  - 電源OFF時
  - ダイヤルロック中／おまかせロック中
  - 赤外線／iC通信中
  - ソフトウェア更新中
- 以下のような場合は、設定した開始日時になっても録画できないことがあります。
  - 放送電波を受信できない場合
  - 放送電波の受信が不安定な場合
  - 映像が提供されていない場合
  - 録画先の空きデータ容量が足りない場合
  - microSDカードがFOMA端末に取り付けられていない場合
- 録画予約による録画中はワンセグの音声は流れません。ただし、CLRを押すか音量調整を行うと音声が流れます。

機能 視聴予約リスト一覧画面／録画予約リスト一覧画面（P.244）

新規登録、編集

ソート……選択した条件に従って予約リストを並び替えます。

削除……「1件削除、選択削除、過去削除、全削除」から選択します。
- 「過去削除」を選択すると、開始日時が現在の日付、時刻より前に設定されている視聴予約を削除します。

保存容量確認※

※：録画予約リスト一覧画面でのみ利用できます。

ワンセグ

ワンセグの設定を行う 〈ユーザ設定〉

1 MENU▶「1SEG」▶「ユーザ設定」

2 以下の項目から選択

字幕表示設定……字幕の表示方法を「ON（横全画面：下）、ON（横全画面：上）、OFF」から選択します。

電池少量時録画設定……録画中に電池残量が少なくなったときに、録画を継続するか、終了（確認画面を表示）するかを設定します。

ワンセグ効果

音響効果……視聴する番組に合わせて、サウンド効果を設定します。

映像効果……視聴する番組に合わせて、映像効果を設定します。

ワンセグECOモード……以下の設定を固定して電池の消費を減らすワンセグECOモードを設定します。

- ワンセグ効果：音響効果、映像効果ともにOFF（切り替え不可）
- バックライト輝度：ワンセグECOモード用設定

「YES」を選択すると、ワンセグECOモード用の設定／解除が切り替わります。

照明設定……視聴中のディスプレイのバックライトの点灯について設定します。

常時点灯……バックライトを常時点灯します。

時間設定……バックライトが点灯する時間（01～30分）を設定します。

データ放送設定

画像表示設定……データ放送サイトの画像を表示するかどうかを設定します。

効果音設定……データ放送、データ放送サイトの効果音を鳴らすかどうかを設定します。

確認表示初期化……データ放送の確認画面で「YES（以後非表示）」を選択すると、それ以降は確認画面が表示されなくなります。本設定を行うと、確認画面が再度表示されるようになります。

アイコン常時表示設定……横画面表示（P.239）で、番組タイトル以外のアイコンを常時表示するかどうかを設定します。

タイムシフト再生設定……電話の着信などがあった場合に、自動的にワンセグ視聴を一時停止してタイムシフト再生を開始するか（オートON）、そのまま通常再生を行うか（オートOFF）を設定します。

TV設定確認

チャンネル設定初期化……チャンネルリストをすべて削除します。

放送用保存領域消去……放送保存領域の放送局の情報を消去します。
▶ch［機能］▶削除方法を選択

TV設定リセット……「ユーザ設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

おしらせ

<画像表示設定>
- 本機能またはワンセグ視聴画面の機能メニューの設定を変更した場合は、「iモード設定」の「画像表示設定」も変更されます。

<確認表示初期化>
- ワンセグ起動時の確認画面（P.236）は初期化されません。

<アイコン常時表示設定>
- 「OFF」に設定していても、電波の状態が悪くなった場合は、アイコンが表示される場合があります。

ワンセグ視聴中に新着メールの通知をテロップ表示する
〈クイックインフォ設定〉

ワンセグ視聴中または録画中に、新着メールの通知情報を操作画面上にテロップ表示します。テロップ表示する通知情報は、ｉモードメール、SMS、チャットメール、エリアメール、メッセージR／Fの新着情報です。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ディスプレイ」▶「クイックインフォ設定」▶以下の項目から選択**

送信元のみ表示……送信元の名前（メールアドレス）を表示します。

送信元と題名を表示……送信元の名前（メールアドレス）、感情お知らせメールのアイコン、題名を表示します。

表示しない……クイックインフォを表示しません。

おしらせ

- 以下の場合は新着通知のみを表示します。
  - エリアメール、メッセージR／Fの場合
  - フォルダロック設定済みのフォルダに振分け対象の新着メールの場合
  - 受信BOXにロックがかかっている場合
  - メールにオリジナルロック設定中の場合

Music

■Music&Videoチャネル

■ミュージック

■ミュージックプレーヤー

音楽データの取り扱いについて

- 本書では着うたフル®とWMA（Windows Media Audio）ファイル、SD-Audioデータを合わせて「音楽データ」と記載しています。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル®を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、機種変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合、変更前に保存したWMAファイルは再生できなくなることがあります。
  上記の場合、FOMA端末でWMA全削除を行ってから必要なWMAファイルをパソコンから転送してください。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAファイルとして保存できない場合については、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末（本体）やmicroSDカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末（本体）やmicroSDカード内に保存した音楽データは、パソコンなど他の媒体に複製または移動しないでください。

Music&Videoチャネル

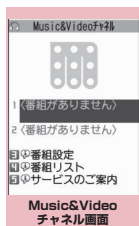
Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

■Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約および、パケ・ホーダイ、パケ・ホーダイフル、パケ・ホーダイ ダブルのいずれかのご契約が必要です。パケ・ホーダイ ダブルをご利用の場合、少数回のご利用でも上限に達します）。
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。
  ※：国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- Music&Videoチャネルで番組を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などをすることができます（バックグラウンド再生）。ただし、動画番組ではできません。
  同時に使用可能な機能の組み合わせ→P.263
- Music&Videoチャネルの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

番組を設定する

利用したい番組を事前に設定し、夜間に番組データを自動的に取得します。

1 MENU▶「MUSIC」▶「Music&Videoチャネル」

Music&Videoチャネル画面

機能メニュー➡P.252

2 「番組設定」▶画面の指示に従って番組を設定する

詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

- 一度に設定できる番組の数は2つです。
- 番組を設定するときは、Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録（P.184）が必要です。
- Music&Videoチャネルをご契約されていない場合は、Music&Videoチャネル未契約のお知らせが表示されます。その画面から「Music&Videoチャネルのお申し込みへ」を選択するとMusic&Videoチャネル契約をすることができます。

● 番組の設定内容を確認・解除する

1 Music&Videoチャネル画面（P.250）▶「番組設定」▶画面の指示に従って操作する

詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

- 番組の設定を解除してもマイメニューは削除されません。

Music

番組を設定すると

- 番組取得を開始する12時間前に、待受画面に「」が表示されます。
- 番組取得は夜間に自動的に行われ、成功すると「Music&Videoチャネル更新」のデスクトップアイコン「」が表示されます。
  番組取得に失敗した場合、「Music&Videoチャネル更新失敗」のデスクトップアイコン「」が表示されます。この場合、番組を手動で取得することができます。→P.251

おしらせ

- 番組取得中に通信が途切れた場合は、3分間隔で5回まで、自動的に再取得を行います。
- 番組の保存は2番組までです。新しい番組が取得されると、以前取得された番組は削除され、再生できなくなります。削除したくない番組は、データBOXに移動してください。→P.252
- 取得した番組をコピーすることはできません。
- 取得した番組はmicroSDカードに保存することはできません。
- 番組取得には時間がかかる場合がありますので、十分に充電をして電波状況のよい環境でお使いください。
- 番組取得に失敗する原因として、「圏外」「電源が入っていない」「電池残量が少ない」「マルチタスクやマルチアクセスの組み合わせ」などがあります。これらの原因によって番組の取得ができなかった場合は、翌日の夜間に再度番組の取得を行います。ただし、番組取得の途中で中断したときは、再取得が行われないことがあります。
- 番組を設定したときと異なるFOMAカードを挿入した場合や端末初期化を行った場合は、番組を自動で取得できなくなります。Music&Videoチャネル画面から、再度番組を設定してください。
- すでに番組を設定しているFOMA端末のFOMAカードを別のMusic&Videoチャネル対応のFOMA端末に差し替えた場合、番組は自動で取得できません。Music&Videoチャネル画面から再度「番組設定」を選択すると、FOMA端末の番組設定が自動的に更新され、番組を自動で取得することができます。
- Music&Videoチャネルやｉモードの解約を行うと、配信番組フォルダの番組データが削除される場合があります。

● Music&Videoチャネル画面のアイコンの見かた

アイコン	説明
	通常の番組
	放送波で流れている内容との同期再生に対応した番組
	取得に失敗した番組
	サイトからダウンロードした番組
	ダウンロードが失敗した場合
	サイト接続情報（URL）が含まれている番組
	未再生の番組

：部分的に取得した番組

：再生制限付きの番組（再生回数・期間・期限を過ぎるとアイコンが全体的に薄くなり、「⊘（灰色）」が「⊘（赤色）」になります）

：チャプター戻し、チャプター送り、巻戻し、早送りが禁止されている番組

● 番組を手動で取得する

番組の取得に失敗した場合は、番組を手動で取得します。

1 Music&Videoチャネル画面（P.250）▶番組を選択▶「YES」

おしらせ

- 「Music&Videoチャネル更新失敗」のデスクトップアイコンは「Music&Videoチャネル画面」を一度表示すると消えます。デスクトップアイコンが消えても、取得に失敗した番組がある場合は手動で取得できます。
- 番組の取得が中断された場合でも、中断されるまで部分的に取得した番組は保存されます。残りの番組の取得は、一部時間帯を除きお客様の操作によって再開できます。
- 再生制限が切れた番組は、再取得できません。次回配信日までは更新ができません。
- ご利用になる時間帯によっては、手動での番組取得ができない場合があります。

機能 Music&Videoチャネル画面（P.250）／番組一覧画面（P.253）

チャプター一覧……各チャプターのタイトル名、アーティスト名、再生時間を一覧で表示します。
チャプターを選択すると、選択したチャプターが再生されます。※1「チャプター一覧について」→P.252

タイトル編集※2

番組移動※3……移動先のフォルダを選択し、番組をデータBOXのMusic&Videoチャネルのユーザ作成フォルダに移動します。

フォルダ移動※4……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、番組をほかのフォルダに移動します。

番組情報……番組のタイトル、再生回数、再生期限、再生期間などを表示します。

番組画像表示※5……番組に登録されている画像を表示します。

ソート※2……指定した条件に従って番組を並び替えます。

一覧表示切替※2……番組の一覧表示のしかたを選択します。

サイト接続……番組にURLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

保存容量確認※2

タイトル初期化※2……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

デスクトップ貼付※6→P.109

番組削除※3

削除※4……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1：すべてのデータを取得していないチャプターは選択できません。
※2：「番組一覧画面」でのみ利用できます。
※3：「番組一覧画面」では、配信番組フォルダのときのみ利用できます。
※4：「番組一覧画面」のユーザ作成フォルダでのみ利用できます。
※5：登録されている画像がGIF形式のアニメーションの場合は、アニメーションが再生されます。なお、番組画像を保存することはできません。
※6：「Music&Videoチャネル画面」でのみ利用できます。

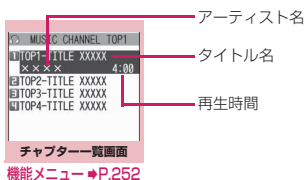
おしらせ

<番組削除><削除>
- 番組を削除しても、番組設定は解除されません。

● チャプター一覧について

Music&Videoチャネル画面の機能メニューで「チャプター一覧」を選択すると、番組のチャプターが一覧で表示されます。

チャプター一覧画面

機能メニュー➡P.252

機能 チャプター一覧画面（P.252）

チャプター情報……チャプターのタイトル、再生時間などを表示します。

チャプター画像表示※……チャプターに登録されている画像を表示します。

サイト接続……番組にURLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

※：登録されている画像がGIF形式のアニメーションの場合は、アニメーションが再生されます。また、番組がｉモーションで構成されている場合は、画像は表示されません。なお、チャプターに登録されている画像は保存できません。

番組を再生する

1 Music&Videoチャネル画面（P.250）▶番組を選択

番組の再生がはじまります。
「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.260
「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.261

おしらせ

- イヤホンなどを接続しているときは、「イヤホン切替設定」の設定にかかわらず、イヤホンからのみ音が聞こえます。
- 前回途中で再生を終了した番組を選択した場合は、終了したときに再生していたチャプターの先頭から再生されます。

おしらせ

- 再生制限付きの番組もあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限がある番組は、タイトルの先頭に「 」が表示されます。再生できる期間が制限されている番組は、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められている番組については、再生することができません。

● 放送波で流れている内容との同期再生に対応した番組の再生

番組を再生するときに、放送波で流れている内容と同期を取り、放送波と同じ内容を再生することができます。

- 番組はあらかじめ取得しておく必要があります。
- 番組を再生する方法は、通常番組と同様ですが、再生可能な時間以外には再生できません。

おしらせ

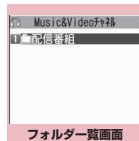
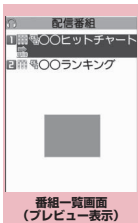
- 再生時間は、自動時刻補正された端末内の時計と同期しているため、本FOMA端末で日付・時刻を手動で変更した場合でも、再生可能な時間は変更されません。
- 部分的に取得した番組は再生できません。

データBOXの番組を再生する

1 MENU ▶「DATA BOX」▶「Music&Videoチャネル」▶フォルダを選択▶番組を選択

番組の再生がはじまります。

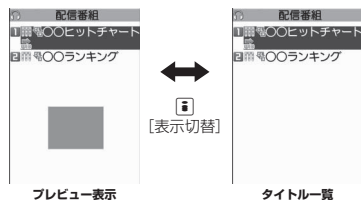
■ Music&Videoチャネルの一覧画面

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.331

番組一覧画面（プレビュー表示）

機能メニュー➡P.252

プレビュー表示／タイトル一覧の切り替えかた

- 番組一覧画面のアイコンについて→P.251

プレビュー表示　　タイトル一覧

サイトから着うたフル®を取得し保存する

- ダウンロードできる着うたフル®1件の最大サイズは5Mバイトです。保存できる件数は、FOMA端末（本体）に最大100件です（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

1 サイト画面（P.178）▶着うたフル®を選択

データの取得が完了すると、「ダウンロード完了画面」が表示されます。

ダウンロード
DOWNLOAD
cool talk
再生
保存
情報表示
戻る

ダウンロード完了画面

■ 取得を中止する場合

▶ CLR

■ 取得した着うたフル®を再生する場合

▶「再生」

「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.260

「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.261

■ 着うたフル®の情報を表示する場合

▶「情報表示」

2「保存」▶「YES」

■ データの一部のみ保存できる場合

電波状況により取得が中断された場合や取得を中止した場合は、ダウンロード完了画面に「部分保存」というメニューが表示されることがあります。このようなときは、取得した部分のみを保存することができます。

■ 保存を中止する場合

▶「NO」

Music

次ページにつづく

❸ 保存先のフォルダを選択

おしらせ

- 再生制限付きの着うたフル®もあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限がある着うたフル®は、タイトルの先頭に「🕒」が表示されます。再生できる期間が制限されている着うたフル®は、期間前や期間後には再生できません。
- 長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められている着うたフル®については、再生することができません。
- サイズが不明の着うたフル®は取得できません。
- 着うたフル®のダウンロード完了画面（P.253）の機能メニューの「画面メモ保存」で「画面メモ」として保存し、画面メモから再生することもできます。→P.187

● 部分的に取得した着うたフル®の残りのデータを取得する

部分的に取得した着うたフル®を保存先から選択すると、残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、サイトに接続し、残りのデータを取得します。
すべてのデータを取得して保存すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。

- データの取得状態は、「楽曲一覧画面」のアイコン表示で識別できます。→P.255
- 部分的に取得した着うたフル®の再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータの取得ができません（うた・ホーダイの楽曲を除く）。また、取得操作を行う際に、部分的に保存されていたデータを削除できます。

● うた・ホーダイの楽曲の再生制限を更新する

再生制限切れの更新可能なうた・ホーダイの楽曲があるフォルダやプレイリストの曲を再生すると、再生期限の更新が必要である旨のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、サイトに接続し、再生制限を更新します（パケット通信料有料）。「NO」を選択すると、音楽データを利用できません。
再生制限を更新可能なうた・ホーダイの楽曲が複数ある場合は、更新する音楽配信サイトを選択します。

- うた・ホーダイは、お客様がコンテンツプロバイダと契約を結んでいる期間のみ再生が可能な音楽データです。再生期限は音楽データとともにダウンロードされるライセンス情報により指定されます。再生期限満了で再生できなくなった場合でも、ライセンス更新を行うことにより再生が可能になります。ライセンス情報には、再生期限とともに再生猶予期間が指定されている場合があります。この期間中は、再生期限情報を更新しなくても再生できますが、再生猶予期間を過ぎると、ファイルの再生ができません。
  また、再生期限の更新を行っていない状態で楽曲ダウンロードを行うと、保存前の再生ができません。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料はパケ・ホーダイ、パケ・ホーダイフル、パケ・ホーダイ ダブルの適用対象外です。
- 日本以外の国で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。
- 再生制限の状態は、「楽曲一覧画面」のアイコン表示で識別できます。→P.255
- 再生制限の更新はサイトに接続して行いますので、パケット通信（課金）が発生します。
- FOMAカードを差し替えて使用する場合は、端末初期化することをおすすめします。

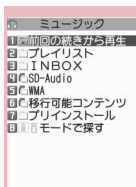
おしらせ

- 着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイの楽曲が再生不可能になった場合は、デモ再生や着信時、アラーム鳴動時にお買い上げ時の音が鳴ります。

曲を再生する

●プレイリストに楽曲を登録して、お好みの楽曲をお好みの順序で再生することもできます。→P.257

1 MENU▶「DATA BOX」▶「ミュージック」

ミュージック
1 前回の続きから再生
2 プレイリスト
3 INBOX
4 SD-Audio
5 WMA
6 移行可能コンテンツ
7 プリインストール
8 iモードで探す

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.331

2 フォルダを選択

■ iモードで楽曲を検索する場合

▶「iモードで探す」▶「YES」

楽曲一覧画面

機能メニュー➡P.256

3 楽曲を選択

楽曲の再生がはじまります。

「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.260

「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.261

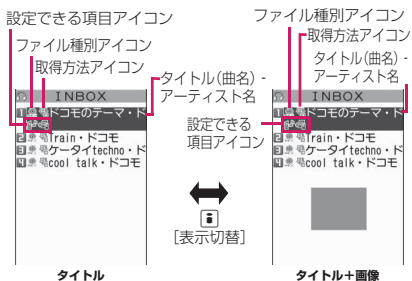
■ 部分的に取得した着うたフル®の場合

残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、残りのデータを取得します。→P.254

おしらせ

●イヤホンを接続しているときは、マナーモード設定中でもイヤホンからは音が聞こえます。マナーモード設定中にイヤホンを抜くと、曲の再生を一時停止します。

●再生制限付きの楽曲もあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限がある楽曲は、タイトルの先頭に「 」が表示されます。再生できる期間が制限されている楽曲は、期間前や期間後には再生できません。

楽曲一覧の見かた

■ファイル種別アイコン

アイコン	説明
	FOMA端末(本体)に保存されている楽曲
	microSDカードに保存されておりFOMA端末(本体)に移動可能な楽曲
	microSDカードに保存されておりFOMA端末(本体)への移動が禁止されている楽曲 ※FOMA端末(本体)のプレイリスト楽曲一覧画面で、プレイリストに登録されている楽曲の保存されているmicroSDカードが本体に挿入されていない場合にも表示されます。
SD Audio	SD-Audio形式の楽曲
WMA WMA	WMA形式の楽曲
WMA	再生が不可能または再生制限が更新不可能な再生制限付きの楽曲
	部分的に取得した楽曲
	FOMAカードセキュリティ機能に該当している楽曲

 ：ファイル制限が設定されている楽曲

：再生制限付きの楽曲(再生回数・期間・期限を過ぎると「 」が「 」になります)
水色アイコンは、再生制限が更新可能なもの
※WMA形式の楽曲の場合、楽曲一覧表示直後は、再生制限付きの楽曲であっても再生制限なしのアイコンが表示されます。反転表示させたときに再生制限の確認を行い、アイコン表示を更新します。

：楽曲保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ再生可

：楽曲保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ再生可

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	お買い上げ時に登録されている楽曲
	サイトなどから取得した楽曲
	パソコンなどから取得した楽曲

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	着信音に設定できる楽曲
	microSDカードに移動可能な楽曲
	Web To機能を利用できる楽曲

：楽曲保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

：楽曲保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

機能 楽曲一覧画面（P.255）

● 機能メニューに表示される項目は、選択したフォルダによって異なります。また、検索やソートを実行後も実行前とは異なります。

プレイリストへ追加……プレイリストを選択すると楽曲がプレイリストの最後に追加されます。

プレイリスト作成→P.257

microSDへ移動→P.327

フォルダ移動……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、楽曲をほかのフォルダに移動します。

楽曲情報編集……タイトル名、アーティスト名、アルバム名などを編集します。

リスト用タイトル編集

楽曲情報初期化……「楽曲情報」を取得したときの状態に戻します。

着信音設定→P.92

まるごと設定……楽曲すべてを着信音に設定します。

オススメ設定……で着信音に設定する部分を指定し、楽曲の一部分だけを設定します。

検索……指定した条件に従って楽曲を検索します。

ソート……指定した条件に従って楽曲を並び替えます。

一覧表示切替……楽曲一覧画面の表示方法を「タイトル」または「タイトル＋画像」から選択します。楽曲一覧画面でを押しても切り替えられます。

ミュージック情報……ミュージックのファイル名、保存日時、microSDカードへの移動可否などを表示します。

歌詞表示……楽曲の歌詞を表示します。1ページ以内に表示できない場合は、で画面を切り替えることができます。

ジャケット画像表示……楽曲のジャケット画像を表示します。ジャケット画像が複数枚あるときは、で画像を切り替えることができます。

保存容量確認

リピート設定→P.262（機能メニュー項目）

シャッフル設定……フォルダ内のすべての曲を対象にランダム再生するかどうかを設定します。

サイト接続……楽曲にURLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

本体へ移動→P.327

おしらせ

＜microSDへ移動＞

● 着うたフル®の移動可否は「ミュージック情報」で確認できます。同じ機種間のみ移動可能な着うたフル®もあります。

プレイリストを利用する

プレイリストに楽曲を登録し、お好みの楽曲をお好みの順番で再生します。

- FOMA端末（本体）に登録可能な曲数とプレイリスト数は以下のとおりです。

登録可能曲数	最大100曲
プレイリスト数※	最大21件（全曲リスト含む）

※：1件のプレイリストには99曲まで登録できます（全曲リスト除く）。

- 全曲リストには最大で本体100件、microSDカード内の楽曲900件（SD-Audioデータ、WMAデータ含む）の合計1,000件まで登録されます。
- FOMA端末（本体）に保存されている楽曲（着うたフル®）とmicroSDカードの楽曲（着うたフル®）、SD-Audioデータ、WMAデータを同じプレイリストに登録できます。

プレイリストを作成する

1 プレイリスト一覧画面（P.257）、楽曲一覧画面（P.255）▶ch［機能］▶「プレイリスト作成」

2 フォルダを選択

複数の楽曲をプレイリストに登録します。

■ 楽曲一覧画面の場合
▶「1件設定、選択設定、全設定」を選択

3 プレイリスト名を入力

プレイリストが作成され、プレイリスト楽曲一覧画面が表示されます。

■ 再生する場合
▶■［再生］

プレイリストを再生する

1 フォルダ一覧画面（P.255）▶「プレイリスト」

■ プレイリストをすぐに再生する場合
▶再生するプレイリストを反転▶✉［再生］

■ microSDカード内の楽曲を全曲リストに登録する場合
▶「全曲リスト」を反転▶i［更新］

プレイリスト
1 全曲リスト
2 プレイリスト1
3 プレイリスト2
4 プレイリスト3

プレイリスト一覧画面

機能メニュー➡P.257

2 プレイリストを選択

■「全曲リスト」を選択した場合
FOMA端末（本体）やmicroSDカードに保存されているすべての楽曲（再生可能な楽曲）が含まれたプレイリストが表示されます。

プレイリスト楽曲一覧画面

機能メニュー➡P.257

3 ■［再生］

プレイリストの再生がはじまり、登録した順番で楽曲が再生されます。

おしらせ

- プレイリストに登録されている楽曲をすべて削除した場合は、プレイリストも削除されます。
- 「全曲リスト」を選択したときに、microSDカード内の楽曲が更新された可能性がある場合、全曲リストを更新するかどうかのメッセージが表示されます。

機能 プレイリスト一覧画面（P.257）

プレイリスト作成→P.257

全曲リスト更新……microSDカード内の楽曲を全曲リストに登録します。

プレイリスト名編集

プレイリスト複製……プレイリストのコピーをプレイリスト一覧に作成します。

検索……指定した条件に従ってプレイリスト内の楽曲を検索します。

プレイリスト情報……プレイリスト名、プレイリスト内の曲数、プレイリストの再生時間が表示されます。

プレイリスト削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

機能 プレイリスト楽曲一覧画面（P.257）

プレイリスト作成→P.257

プレイリスト編集

並び替え……移動先の位置を選択し、楽曲を並び替えます。

楽曲追加……追加先のプレイリストを選択し、楽曲をほかのプレイリストの最後に追加します。

Music

次ページにつづく

解除……「1件解除、選択解除、全解除」から選択し、楽曲をプレイリストから解除します。

検索、ソート、一覧表示切替、ミュージック情報、歌詞表示、ジャケット画像表示→P.256（機能メニュー項目）

リピート設定→P.262（機能メニュー項目）

シャッフル設定、サイト接続→P.256（機能メニュー項目）

SD-Audioを利用する

音楽CDの音楽データや音楽配信サービスなどで入手した音楽データを、SD-Jukeboxとパソコンなどを利用してmicroSDカード※に登録すると、FOMA端末で再生できます。

※：SD-Jukeboxを利用して音楽データを保存する場合は、2Gバイトまでのmicro SDカードをご利用ください。

- FOMA端末で再生できるデータ形式、プレイリスト数、曲数は以下のとおりです。

ファイル形式	MPEG2 AAC(LC)／MPEG2 AAC+SBR／ADTS Stream
ビットレート	16～192kbps
登録可能曲数	最大999曲
プレイリスト数※	最大100件（全曲リスト含む）

※：1件のプレイリストには99曲まで登録できます（全曲リスト除く）。

- microSDカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

SD-Jukeboxについて

SD-Jukeboxは下記のホームページより購入できます。
http://club.panasonic.co.jp/mall/sense/open/
SD-Jukeboxの対応OSは、Windows 2000、Windows XP、Windows Vistaです。動作環境詳細は下記のホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

microSDカードにSD-Audioデータを登録する

1 以下のものを準備する

- 「SD-Jukebox」の動作環境を満たしたパソコン※1
- 著作権保護機能対応のmicroSDカードのリーダー／ライター※2
- microSDカード

※1：あらかじめ「SD-Jukebox」をパソコンにインストールしておいてください。

※2：パソコンからmicroSDカードにデータを書き込むのに必要です。FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を使って、FOMA端末をmicroSDリーダー／ライターとして使うこともできます。→P.330

2 パソコンから「SD-Jukebox」を起動し、音楽CDなどの音楽データをAAC形式に変換する

「SD-Jukebox」の使用方法については、「SD-Jukebox」のヘルプをご覧ください。
変換済みの音楽データを書き込む場合は操作3へ進んでください。

3 「SD-Jukebox」を使ってSD-AudioデータをmicroSDカードに登録する

おしらせ

- SD-Audioデータは着信音に設定することはできません。

microSDカードにWMAデータを登録する

「Windows Media Player」を使って、音楽CDの音楽データをWMAデータに変換してmicroSDカードに登録します。

- FOMA端末で再生できるデータ形式、プレイリスト数、曲数は以下のとおりです。

ファイル形式	WMA9（Windows Media Audio 9 Standard）
ビットレート	32～192kbps
DRM	Windows Media DRM10 for Portable Devices
登録可能曲数	最大999曲
プレイリスト数※	最大100件（全曲リスト含む）

※：1件のプレイリストには999曲まで登録できます。

- Windows Media Player 10／11について
  Windows XPでWindows Media Player 10／11をご利用になる場合は、Windows XP Service Pack 2以降をお使いください。Windows VistaではWindows Media Player 11をご利用ください。また、操作方法についてはWindows Media Player 10／11のヘルプをご覧ください。
- microSDカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

1 以下のものを準備する

- 「Windows Media Player」の動作環境を満たしたパソコン
- microSDカード
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02

2 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「外部接続」▶「USBモード設定」▶「MTPモード」

「MTPモード」に設定すると、「 」が表示されます。

3 FOMA端末とパソコンを、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01／02で接続する

MTPモード中にmicroSDカードが挿入され、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02が接続されている場合は、「 」が表示されます。

4 パソコンから「Windows Media Player」を起動し、音楽CDなどの音楽データをWMA形式に変換する

「Windows Media Player」がFOMA端末を認識するまで時間がかかる場合があります。

5 パソコンからWMAデータをmicroSDカードに転送する

6 データ転送が終わったらFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を外す

7 FOMA端末のUSBモードを「通信モード」に戻す

おしらせ

- WMAデータは着信音に設定することはできません。
- ナップスター®アプリを利用して音楽データを保存することもできます。
  - ナップスター®アプリは下記のホームページよりダウンロードできます。
    http://www.napster.jp/
  - ナップスター®アプリについてご不明な点がございましたら、下記のホームページをご覧ください。
    http://www.napster.jp/support/
- 他のFOMA端末でmicroSDカードに転送したWMAデータは、N-04Aで表示・再生されない場合があります。
- 他のFOMA端末でWMAデータを転送したmicroSDカードを使用すると、MTPモードに切り替えてもパソコンで認識されないことがあります。その場合には、WMAのフォルダ一覧画面の機能メニューから「WMA全削除」を行うか、microSDカードをフォーマット（P.329）してください。なお、microSDカードをフォーマットすると、音楽データ以外のデータもすべて削除されますのでご注意ください。

ミュージックプレーヤーを利用する〈ミュージックプレーヤー〉

ミュージックプレーヤーでは、着うたフル®やPC動画、ｉモーション、Music&Videoチャネルの番組、microSDカードに登録した楽曲を再生します。

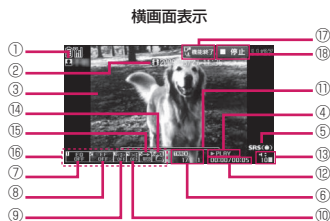
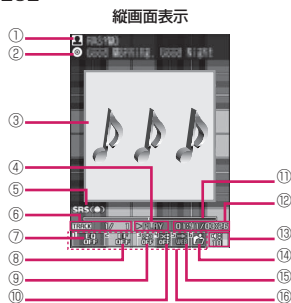
- お買い上げ時に登録されている着うたフル®のほかに、ｉモードサイトから取得したｉモーションや着うたフル®、フルブラウザから取得したPC動画、Music&Videoチャネルの番組、音楽CDから取り込んだ音楽データを再生することができます。
  「サイトからｉモーションを取得する」→P.196
  「サイトから着うたフル®を取得し保存する」→P.253
  「PC動画をダウンロードする」→P.213
  「番組を設定する」→P.250
  「SD-Audioを利用する」→P.258
  「microSDカードにWMAデータを登録する」→P.259
- ステレオイヤホンマイク 01（別売）などを接続してステレオサウンドで音楽を楽しむことができます。
- イヤホンを接続しているときは、「イヤホン切替設定」の設定にかかわらず、イヤホンからのみ音が聞こえます。
- 市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで音楽を楽しむことができます。→P.375

■BGM再生（バックグラウンド再生）について
ミュージックプレーヤーで音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます。→P.263

ミュージックプレーヤー再生画面の見かた

- FOMA端末を閉じた場合、動画／ｉモーション、PC動画、ｉモーションのMusic&Videoチャネルの番組は自動的に横画面表示になります。
- ミュージックプレーヤー再生画面の機能メニュー→P.262

縦画面表示

横画面表示

① アーティスト名
楽曲：アーティスト名
Music&Videoチャネル：番組タイトル
ｉモーション／PC動画：作成者

② タイトル
楽曲：タイトル
Music&Videoチャネル：チャプタータイトルとアーティスト名
ｉモーション／PC動画：タイトル

③ 画像／動画
楽曲：ジャケット画像
Music&Videoチャネル：チャプター画像または番組動画
ｉモーション／PC動画：動画

④ 再生状態
▶PLAY：再生中
II PAUSE：一時停止中
▶▶FF：早送り中
◀◀REW：巻戻し中
▶SLOW：スロー再生中
PLAY：早送り再生中

Music

⑤ 音響効果が有効なときに表示（設定することはできません）
⑥ トラック
楽曲：再生中のトラック番号／フォルダ内の全トラック数
Music&Videoチャネル：再生中のチャプター番号／全チャプター数
ｉモーション／PC動画：再生中のファイル番号／フォルダ内の全ファイル数
⑦ 音質（イコライザ）
EQ OFF：イコライザOFF
Pop／Live／Vocal／Break／C.Light／Woofe／Ballad／Rap／Concert／Rock／Kiss／Loud：各ジャンル向け
EQ User1／EQ User2／EQ User3：ユーザ設定1～3
⑧ 音響効果（エフェクト）
EF OFF：エフェクトOFF
TruMedia／CS5.1ch／Bassmania／Attractive Voice／Clear-blue Sky／Beat Wave／Ice Age／Extreme Reality／Live Hall：各音楽向け
EF User1／EF User2／EF User3：ユーザ設定1～3
⑨ リピート状態
：OFF
：オールリピート
：シングルリピート
⑩ シャッフル状態
：ON
：OFF
⑪ 再生位置表示
現在の再生位置をマーカーで表示（一時停止中にでマーカーを移動して［再生］を押すと、その位置から再生）
⑫ 再生経過時間（分：秒）／全体の長さ（分：秒）
⑬ 音量（レベル0～20）
マナーモード設定中は「」を表示
⑭ 楽曲／ファイル／チャプター選択
再生する楽曲／ファイル／チャプターを変更
⑮ Web To対応
楽曲や番組に含まれているURLに接続
⑯ 設定メニュー→P.262
⑰ 機能終了ガイド表示
機能終了：（1秒以上）で機能終了
⑱ 一時停止／再生ガイド表示
停止：または で一時停止
再生：または で再生再開

ミュージックプレーヤー再生画面の操作について

●楽曲、Music&Videoチャネルの番組、ｉモーション、PC動画の種類によっては、以下の操作で動作しない場合があります。

ボタン操作	動作
	一時停止／再生を再開
	音量調節
	先頭から再生 先頭から1秒以内に押した場合は前の曲／チャプター／動画を再生※
	次の曲／チャプター／動画を再生※
（1秒以上）	スキップ戻し
（1秒以上）	スキップ送り
一時停止中に	再生位置表示のマーカーを移動してから［再生］を押すと、その位置から再生します。
（6）	再生する楽曲／ファイル／チャプターを選択
#／*	画像が複数登録されている場合、画像の切り替え
CLR	終了
	設定メニューを利用→P.262
1	イコライザの設定
2	エフェクトの設定
3	リピートの設定
4	シャッフルのON／OFF
5	サイト接続
9	「縦画面表示」⇔「横画面表示」の切り替え

※：シャッフル再生時は、フォルダまたはプレイリスト内の順序に関係なく、前または次の曲を再生します。

■タッチセンサー操作（閉じているとき）

タッチ操作	動作
／	音量調節
／（1秒以上）※	先頭から再生 先頭から2秒以内にもう一度押したときは前の曲／チャプター／動画を再生
／（1秒以上）※	次の曲／チャプター／動画を再生
	一時停止／再生を再開

※：一時停止中は再生位置表示のマーカーを移動します。
●閉じているときに（1秒以上）でミュージックプレーヤーを終了できます。

Music

おしらせ

- 音量はレベル0～20まで設定でき、次回起動時も設定した音量で再生されます。
- ミュージックプレーヤーで設定した音量は、「着信音量」の設定などには反映されません。
- Music&Video チャネルの番組で、再生操作に制限が設定されている（主に[←→]の操作）場合があります。
- データによっては、巻戻し、早送りができません。

● 設定メニューを利用する

1 再生中、一時停止中、停止中▶[✉][MENU]

設定メニューにカーソルが移動します。

2 [←→]で機能を選び、[■][選択]

[1]～[6]で各機能を設定することもできます。→P.261

[CLR]を押すと、再生中、一時停止中、停止中に戻ります。

● ステレオイヤホン（別売）などを接続した場合

楽曲またはMusic&Videoチャネルの番組は、スイッチを使って以下の操作を行うことができます。ただし、ｉモーションのMusic&Videoチャネルの番組では、スイッチでの操作はできません。

スイッチ操作	動作
1回	押すごとに再生・一時停止
再生中に連続2回	次の楽曲／チャプターを再生
再生中に連続3回	先頭から再生 先頭から3秒以内に操作した場合は前の楽曲／チャプターを再生
再生中に1秒以上	ミュージックプレーヤーを終了

機能 ミュージックプレーヤー再生画面（P.260）

- 再生中の楽曲、Music&Videoチャネルの番組、ｉモーション、PC動画の種類によって、利用できない機能があります。

動作設定

サウンドエフェクト……音質、音響効果を設定します。

イコライザ……音質を設定します。

■ユーザ設定で好みの音質を作成する場合

▶ユーザ設定1～3を反転▶[✉][詳細]▶[↑↓]で周波数を選択▶[←→]で強弱を選択▶[■][確定]

■変更した音質をお買い上げ時の状態に戻す場合

▶ユーザ設定1～3を反転▶[✉][詳細]▶[✉][FLAT]

エフェクト……音響効果を設定します。

■ユーザ設定で好みのエフェクトを作成する場合

▶ユーザ設定1～3を反転▶[✉][詳細]▶[↑↓]でエフェクトを選択▶[←→]で強弱を選択▶[■][確定]

■ユーザ設定で既存のエフェクトを基に変更する場合

▶ユーザ設定1～3を反転▶[✉][詳細]▶[i][プリセット]▶エフェクトを選択▶[■][確定]

■変更したエフェクトを設定したプリセットの初期値に戻す場合

▶ユーザ設定1～3を反転▶[✉][詳細]▶[✉][初期値]

リピート設定

OFF……リピート再生しません。

オールリピート……フォルダ内の楽曲を全曲リピート再生します。

シングルリピート……再生中（一時停止中）の楽曲をリピート再生します。

シャッフル設定……フォルダ内（再生中の曲）のすべての曲を対象にランダム再生するかどうかを設定します。

再生画面設定……再生画面モードを「通常画面モード（縦画面）、全画面モード（横画面）」から選択します。

プレーヤー画面変更……ミュージックプレーヤー再生画面のデザインを設定します。

画像表示設定……通常画面モード（縦画面）のときの画像表示サイズを「標準（画像サイズ）、画面サイズで表示」から選択します。

連続再生設定……フォルダ内のファイルを連続再生するかどうか（ON、OFF）を設定します。

再生メニュー

早送り再生……早送り再生をします。✉［再生］を押すと通常の再生に戻ります。

スロー再生……スロー再生をします。✉［再生］を押すと通常の再生に戻ります。

指定位置再生……⊡で再生位置表示マーカーを移動し、楽曲の一部分だけを再生します。楽曲によっては、できないことがあります。

チャプター一覧……チャプター一覧（P.252）を表示します。チャプターを選択すると、選択したチャプターが再生されます。

詳細情報

ミュージック情報、ｉモーション情報……ミュージックまたはｉモーションのファイル名、保存日時、microSDカードへの移動可否などを表示します。

Music&V ch情報

番組情報……番組のタイトル、作成者などを表示します。

チャプター情報……チャプターのタイトル、再生時間などを表示します。

PC動画情報……PC動画のファイル名、保存日時、再生制限などを表示します。

歌詞表示……楽曲の歌詞を表示します。1ページ以内に表示できない場合は、⊡で画面を切り替えることができます。

ジャケット画像表示……⊡で再生中の楽曲のジャケット画像を切り替えます。

チャプター画像表示……再生中のチャプターに登録されている画像、アニメーションを表示します。

画像表示……ｉモーションまたはPC動画で表示されますが、常にグレー表示で利用できません。

サイト接続……URLが含まれている場合、Web To機能でサイトに接続します。

楽曲変更、ファイル選択、チャプター一覧……再生する楽曲／ファイル／チャプターを選択します。

ヘルプ……ボタンに割り当てられた操作の説明を表示します。

おしらせ

<チャプター画像表示>
- チャプターに登録されている画像は保存できません。

音楽を再生しながら他の機能を利用する 〈BGM再生〉

楽曲またはMusic&Videoチャネルの番組は、他の機能を利用しながら再生することができます。
- ｉモーションのMusic&Videoチャネルの番組では、BGM再生を利用できません。

1 ミュージックプレーヤー再生画面（P.260）▶［⌐］▶「BGM再生」

待受画面が表示され、他の機能を利用できるようになります。

■ ミュージックプレーヤーを終了する場合
▶「ミュージック終了」、「Music&Video ch終了」

■BGM再生を終了するには

タスクをミュージックグループに切り替え、ミュージックプレーヤーの再生を停止します。→P.349

● BGM再生中に利用できる機能

機能	可否
電話／テレビ電話	×
メール	○※1
ｉモード	○
ｉアプリ	△※2
設定／サービス	△
データBOX	△
LifeKit	△
ｉコンシェル	○
電話帳	△
ユーザデータ	○
おサイフケータイ／トルカ	○

○：利用可　△：一部利用可　×：利用不可

※1：メール設定の「受信時動作設定」を「通知優先」に設定しているとメール受信時に楽曲を一時停止します（「操作優先」に設定していても待受画面表示中にメールを受信すると一時停止します）。ｉモードメール作成時は「カメラ起動」など一部ご利用になれない機能もあります。

※2：「サウンド優先設定」を「ｉアプリ優先」に設定しているとｉアプリ起動時に楽曲を一時停止します。

ｉアプリ／ｉウィジェット

iアプリ

「iアプリ」とは、iモード対応携帯電話用のソフトです。iモードサイトからさまざまなソフトをダウンロード※すれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。
さらに、リアルタイム通信やiアプリコール(P.282)を用いた、多人数でのオンライン通信が可能なiアプリオンラインにも対応しており、対戦ゲームやチャットアプリなども楽しむことができます。
また、iアプリにはiウィジェット(P.286)対応のものがあります。

※：別途パケット通信料がかかります。
海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります(P.408)。

- iアプリの詳細については『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

サイトからiアプリをダウンロードする

- ダウンロードできるiアプリ1件の最大サイズは2Mバイトです。保存できる件数は、ウィジェットアプリと合わせて最大200件です(データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります)。なお、部分的に取得したiアプリも保存件数に含まれます。

1 ソフトを選択

「ダウンロード完了しました」というメッセージが表示されます。ただし、サイトからすぐに起動するソフトの場合、メッセージは表示されずにソフトが起動します。

■ データの取得中にダウンロードを中止する場合
▶ダウンロード中▶■［Cancel］またはCLR

■ ソフト設定画面が表示された場合
▶ソフトを設定
ソフトの設定について→P.268

2 「YES」

ダウンロードしたソフトが起動します。

■ ソフトを起動しない場合
▶「NO」

● メール連動型iアプリのダウンロードについて

- メール連動型iアプリをダウンロードすると、送信BOX／受信BOXにメール連動型iアプリ専用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型iアプリ名になり、変更できません。メール連動型iアプリは5件まで保存できます。
- メール連動型iアプリを利用して送受信したメールは、メール連動型iアプリ専用フォルダに自動的に振り分けられます。また、受信したメールを手動で振り分けることもできます。
- 以下の場合、メール連動型iアプリはダウンロードできません。
  - メール連動型iアプリ専用フォルダが5件あるとき
  - 同じフォルダを利用するメール連動型iアプリがすでに保存されているとき
  - BOXロック設定中

おしらせ

- iアプリによっては、ダウンロードした後も自動的に通信をする場合があります。あらかじめ「ソフト設定」の「通信設定」で通信を行わないように設定することもできます。
- 端末情報データ(登録データや携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号)を利用するiアプリ、またはiアプリDXをダウンロードする場合は、端末情報データを利用することを通知する旨のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、お客様の端末情報データは、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。
- おサイフケータイ対応iアプリの場合、ICカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応iアプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください。ダウンロードするソフトの種類によって、一部のソフトが削除対象とならない場合があります。ソフトによっては、お客様がソフトを起動して、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。
- 2in1のモードがBモードの場合、iアプリによってはダウンロード後に起動の確認画面が表示されないことがあります。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る〈ソフト情報表示設定〉

ソフトをダウンロードするときにソフトの情報を確認できるように設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ｉアプリ設定」▶「ソフト情報表示設定」▶「表示する」

■ 確認しない場合
▶「表示しない」

ｉアプリダウンロード時のロゴを参照する〈ｉアプリについて〉

ｉアプリダウンロード時の、ｉアプリの製造元のロゴ、登録商標を参照することができます。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ｉアプリ設定」▶「ｉアプリについて」

ｉアプリを起動する

ｉアプリを起動する

1 ｉ（1秒以上）

■ ｉモードでｉアプリを検索する場合
▶「ｉモードで探す」▶「YES」

ソフト一覧画面

機能メニュー➡P.268

2 ソフトを選択

ソフトを起動すると画面下に「」や「」が表示されます。
お買い上げ時のソフトについて→P.271

■ソフト一覧画面で表示されるｉアプリの状態について

アイコン	説明
	ｉアプリDX
	メール連動型ｉアプリ
	「自動起動時刻設定」を設定済み
	「ｉアプリ待受画面設定」を設定済み
	「自動起動時刻設定」と「ｉアプリ待受画面設定」を設定済み
	「ｉアプリTo設定」が設定可
	「ｉアプリ待受画面設定」が設定可
	「ｉアプリTo設定」と「ｉアプリ待受画面設定」が設定可
	SSL対応ページからダウンロードしたソフト
	microSDカードにデータを保存できるソフト→P.286
	部分的に取得したｉアプリ
	おサイフケータイ対応ｉアプリ→P.291
	位置情報対応ｉアプリ

ｉアプリを終了する

1 CLR（1秒以上）または ▶「終了する」

■ ｉアプリを実行したまま、ほかの機能を利用する場合
▶「中断（MULTI）」

おしらせ

- ソフトの起動中に音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、ソフトは一時中断されます。通話が終了するとソフトの画面に戻ります。ただし、テレビ電話の場合、ｉアプリの通信中は「パケット通信中着信設定」の設定に従います。
- メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは正しく表示できない場合があります。
- ソフトによってはmicroSDカードに、利用するデータ（ｉアプリデータ（microSD））を保存することができます。
- ソフトによっては、ｉアプリからPhone To／AV Phone To、Web To機能を利用できます。ただし、ｉアプリ待受画面からはご利用になれません（ｉアプリ実行中は利用可能です）。

おしらせ

- ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
  ※：ｉアプリで利用する画像とは、カメラ連携（連動）のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像、ｉアプリの赤外線通信機能やｉC通信機能を利用して取得した画像、ｉアプリがサイトやインターネット経由で取得した画像、ｉアプリがデータBOXから取得した画像を指します。
- トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。
- ソフトによっては、音が鳴らない場合があります。
- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はｉアプリの一部として保存、利用されます。
- ソフトによってはバーコードリーダーを起動してJANコード、CODE128、QRコードを読み取ることができます。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）がFOMA端末に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト情報の表示のみ可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IPにお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）がFOMA端末に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、「⇔」が点滅します。この際、通信料はかかりません。
- 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合、ｉアプリによっては起動や操作、設定などができないことがあります。
- ソフトによっては全画面で表示され、電池残量や受信レベルを示すアイコンなどが表示されない場合があります。

● モーショントラッキングについて

本FOMA端末は、カメラの認識技術を使用してｉアプリを操作（FOMA端末を傾けたり振ったり）する「モーショントラッキング」に対応しています。

- 以下のような場合はご利用になれないことがあります。
  - カメラのレンズが汚れているとき
  - 着用している服が背景と似通っているとき
  - 移動中など、背景が一定していないとき
  - 暗い場所や背景が明るすぎる場所にいるとき

■警告

- モーショントラッキング対応アプリは、FOMA端末を傾けたり振ったりして遊ぶゲームです。振りすぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損などにつながる可能性があります。遊ぶ際はFOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振りすぎず、周囲の安全を確認して遊びましょう。

機能 ソフト一覧画面（P.267）／ICカード一覧画面（P.291）

ソフト設定……ソフトの各種設定を行います。設定後、✉［完了］を押すと設定を終了します。

待受画面設定→P.284

通信設定……ｉアプリを起動したときに通信するかしないかを設定します。

待受画面通信……待受画面に設定したｉアプリが通信するかしないかを設定します。

アイコン情報……ｉアプリを起動したときに未読のメール、メッセージなどのアイコン情報の利用を許可するかしないかを設定します。

着信音／画像変更……ｉアプリDXを起動したとき、自動的に電話やメール、メッセージの着信音、待受画面やメール送受信時などの画像、メニューアイコンの変更を許可するかしないかを設定します。「変更ごとに確認」を設定した場合は、ｉアプリが自動変更をしようとするたびに変更するかしないかを選択できます。

電話帳／履歴参照……ｉアプリDXを起動したとき、自動的に電話帳や最新の発信履歴、着信履歴、最新の未読メールの参照を許可するかしないかを設定します。

位置情報利用……ｉアプリDXを利用中に位置情報の取得を許可するかしないかを設定します。「利用する」に設定した場合は、自動的に位置情報を取得します。

番組表ボタン……ワンセグ視聴画面（P.239）で[i]［番組表］を押して起動する番組表ｉアプリとして利用するかしないかを設定します。ダウンロードしたｉアプリを番組表ｉアプリに設定することもできます。お買い上げ時には「Gガイド番組表リモコン」が設定されています。

地図設定……画像や電話帳に設定されている位置情報などから地図を確認したいとき、地図表示を行うｉアプリとして指定するかしないかを選択できます。

ｉアプリコール設定……ｉアプリコール（P.282）を受信したとき、ｉアプリの起動を許可するかしないかを選択します。

省電力設定……ｉアプリ実行中に省電力モードに移るかどうかを設定します。FOMA端末を閉じたときにｉアプリを一時停止するかどうか、またはｉアプリ実行中にFOMA端末の操作や通信などがなかった場合に「SETTINGS／SERVICE」の「照明設定」の設定に従ってｉアプリを一時停止するかどうかを設定します。

ソフト情報……ｉアプリ情報を確認します。

バージョンアップ→P.285

一覧表示切替……ｉアプリを一覧表示する方法を「タイトル画像＋アイコン、アイコン、ソフト名」から選択します。

ｉアプリTo設定→P.283

自動起動時刻設定→P.281

デスクトップ貼付→P.109

microSDへ移動……本体のｉアプリおよびｉアプリデータをmicroSDカードに1件移動します。
「microSDカード内のｉアプリを表示する」→P.285

保存容量確認

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

おしらせ

<ソフト設定（通信設定）>
- 「通信しない」に設定した場合は、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。

おしらせ

<ソフト設定（アイコン情報）>
- 本機能を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージの有無や圏内・圏外アイコンの有無、電池残量やマナーモードの状態がお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- 本機能を「利用しない」に設定した場合、アイコン情報が必要なソフトによってはｉアプリが動作しないことがあります。

<ソフト設定（番組表ボタン）>
- 「設定しない」を選択すると解除するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」に設定されます。
- 「ソフト情報」の「番組表ボタンから番組表ｉアプリ起動」が「可能」で、ワンセグと連携のあるｉアプリDXのみ設定できます。

<ソフト設定（ｉアプリコール設定）>
- 「設定しない」に設定した場合でも、ｉアプリによっては起動します。

<ソフト設定（省電力設定）>
- 「クローズ時」を「設定する」に設定すると、FOMA端末を閉じたときにソフトが一時停止します。そのためタイムリーな情報を受けられない場合がありますのでご注意ください。
- 「タイマー」を「設定する」に設定すると、ｉアプリ実行中にFOMA端末の操作や通信などがなかった場合、「SETTINGS／SERVICE」の「照明設定」の設定に従ってソフトが一時停止します。そのためタイムリーな情報を受けられない場合がありますのでご注意ください。

<ソフト情報>
- 本機能で表示されるソフトのソフト名は変更できません。
- 「ソフト一覧画面」（P.267）や「ICカード一覧画面」（P.291）で、部分的に取得したｉアプリ（ ）や、管理情報のみが存在するｉアプリ（ ）を選択すると、残りのデータを取得できます。

<microSDへ移動>
- FOMA端末本体のｉアプリをmicroSDカードに移動する場合、FOMA端末本体にあるｉアプリデータもmicroSDカードに移動されます。
- メール連動型ｉアプリをmicroSDカードに移動してもFOMA端末本体にあるメール連動型ｉアプリ専用フォルダは削除されません。
- microSDカードにｉアプリを保存できるかどうかは、「ソフト情報」（P.269）で確認できます。

おしらせ

<削除>

- メール連動型ｉアプリを削除する場合は、対応するメール連動型ｉアプリ専用フォルダも削除するかどうかのメッセージが表示されます。ソフトのみを削除する場合は「NO」を、フォルダも同時に削除する場合は「YES」を選択します。ただし、「YES」を選択してもメール連動型ｉアプリ専用フォルダが使用中の場合、フォルダにロックが設定されている場合、保護メールがある場合は削除できません。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ソフト自体の削除を行う際にICカード内のデータを削除する必要があるものがあります。このようなソフトは「1件削除」では、確認画面に従ってソフトを起動し､ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行います。なお、「選択削除」または「全削除」の場合はソフトを起動できないため、事前にデータを削除してからソフトの削除を行ってください。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、削除できない場合があります。
- 2in1のモードがBモードの場合、ｉアプリによっては削除できないことがあります。

ｉアプリ実行時の音量を調節する
〈ｉアプリ音量〉

ｉアプリの音量を調節します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ｉアプリ設定」▶「ｉアプリ音量」

2 音量を設定

おしらせ

- ソフトによっては音量設定ができるものがあります。ただし、「ｉアプリ音量」を「消去」に設定している場合、ソフトの音量設定にかかわらず音が鳴りません。
- マナーモード設定中のｉアプリ音量は、「マナーモード選択」の設定に従います。

ｉアプリの音を優先して再生する
〈サウンド優先設定〉

ｉアプリまたはミュージックプレーヤーのどちらの音を優先して再生するかを設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ｉアプリ設定」▶「サウンド優先設定」

2 「ｉアプリ優先」を選択

■ ミュージックプレーヤーの音を優先して再生する場合

▶「マルチメディア優先」を選択

セキュリティエラー履歴を確認する

ｉアプリやｉアプリDXが、許可されている機能以外の動作を起動しようとしたときは､セキュリティエラーが発生して､その内容がセキュリティエラー履歴に記録されます。

1 MENU▶「i-αppli」▶「ｉアプリ実行情報」▶「セキュリティエラー履歴」

- ch［機能］からセキュリティエラー情報のコピー／削除ができます。

ソフトからほかのソフトを起動する

起動中のソフトからほかのソフトを起動します。指定されたソフトを起動するソフトをダウンロードすることにより､ソフト一覧画面に戻らずにソフトを起動することもできます。

- 起動するソフトが指定されていない場合は､ソフトを指定します。
- 起動するソフトが指定されていてもFOMA端末内に保存されていない場合は､あらかじめダウンロードしておく必要があります。

1 ソフトを起動する項目を選択

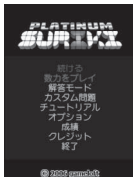
お買い上げ時に登録されているソフト

お買い上げ時には20種類のソフトがあらかじめ登録されています。そのうちの7種類はｉウィジェット（P.286）に対応しています。

- 本書の説明では、ｉウィジェットに対応しているソフト（ウィジェットアプリ）には項目名の横に以下のようなアイコンを記載しています。
  +iW：ｉウィジェットでも利用できるソフト
  iW：ｉウィジェットのみで利用できるソフト
- 長時間ディスプレイを見ていると、目が疲れる場合がありますのでご注意ください。

PLATINUM SURIKI

9×9＝81のマスの縦列、横列、および3×3のブロック内に1～9の数字を重複しないように入れていくパズルです。自分で問題を作成することもできます。

- ソフトを起動すると、サウンドをONにするかどうかの確認画面が表示されます。
- パズルの説明を見るときは「チュートリアル」、操作方法を見るときは「オプション」を選択します。

アバター☆ボウリング

ゲームエンジンにX-FORGEを使用した3Dボウリングゲームです。ゲームモードはノーマルモードとミッションモードから選択できます。また、別アプリの「ｉアバターメーカー」で作成したオリジナルアバターを読み込んで遊ぶこともできます。

- ソフトを起動すると、でモードを選択できます。ゲームの説明を見るときは、「ヘルプ」を選択します。

ｉアバターメーカー

ｉアバターメーカーでできること

©2008 Acrodea,Inc./©eitarosoft

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

■アバターをつくる

ｉアバターメーカーに用意されたさまざまなパーツを利用して、アバターを作成することができます。カメラで撮影した写真やデータBOXに保存してある画像を見ながら作成することや、あらかじめ用意されたアバターの見本を元に作成できます。

■アバターをつかう

作成したアバターは、デコメール®、デコメ®絵文字、デコメアニメ®の素材や、ｉコンシェルに対応したマチキャラに変換して利用できます。

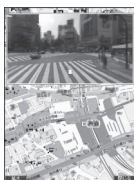
また、作成したアバターをｉアバターサイトに登録することで、いろいろな洋服アイテムに着せ替えたり、コンテストや対応サイトで公開することができます。

- アバターをデコメアニメ®やマチキャラに変換する際には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアバターサイトにアバターを登録する際には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアバターサイトで着せ替えを行うには、アイテム購入が必要な場合があります。
- ｉアバターは、株式会社ディーツー コミュニケーションズの商標です。
- アバターメーカーは、株式会社アクロディアの商標です。

■「アバターメーカー」の操作

- はじめて利用するときは、データBOXのマイピクチャに「アバターメーカー」フォルダを作成します。
- 操作方法を見るときは［ヘルプ］を押します。

モバイルGoogleマップ

地図を表示して、地域情報やお店情報、ユーザ作成コンテンツを簡単に探し出すことができます。また、航空写真モードに切り替えたり、ストリートビューを見ることができます。路線検索で目的地までの移動方法を調べることもできます。

- はじめて利用するときは、利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

©2008 Google - 地図データ
©2008 Geocentre Consulting, NFGIS, Zenrin, Europa Technologies

- 操作方法を見るときはメニューの「ヘルプ」を選択します。

■地図画面について

[✉]：メニューの表示
[i]：検索（地域のお店やサービスの情報、場所を検索して地図上に表示）
[✥]：カーソルの移動
[■]：コンテキストメニュー（現在地の住所、ここまでの経路、ここからの経路、ストリートビュー、お気に入りに保存、付近を検索）
[1]：ズームアウト
[2]：地図／航空写真の切り替え
[3]：ズームイン
[0]：現在地の表示
[*]：お気に入りに保存／表示

日英版しゃべって翻訳 for N

マイクに向かって主に旅行で使われる日本語、英語を話すだけで翻訳した文章を画面に表示するソフトです。
すべての機能が60日間無料※1でご利用いただけます。
61日以降はマイメニュー登録※2で全機能が利用可能です。

※1：別途パケット通信料がかかります。
※2：株式会社ATR-Trekの「しゃべって翻訳」サイトからマイメニュー登録が必要です。
（アクセス方法：「i Menu」▶「メニューリスト」▶「辞書／学習／便利ツール」▶「辞書／翻訳」▶「しゃべって翻訳」）

- はじめて利用するときは、利用規約に同意する必要があります。
- 操作方法を見るときは [#]（メニュー）を押して「チュートリアル」を選択します。

日中版しゃべって翻訳 for N

マイクに向かって主に旅行で使われる日本語、中国語を話すだけで翻訳した文章を画面に表示するソフトです。
すべての機能が60日間無料※1でご利用いただけます。
61日以降はマイメニュー登録※2で全機能が利用可能です。

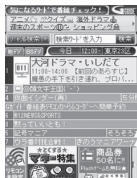
※1：別途パケット通信料がかかります。
※2：株式会社ATR-Trekの「しゃべって翻訳」サイトからマイメニュー登録が必要です。
（アクセス方法：「i Menu」▶「メニューリスト」▶「辞書／学習／便利ツール」▶「辞書／翻訳」▶「しゃべって翻訳」）

- はじめて利用するときは、利用規約に同意する必要があります。
- 操作方法を見るときは [#]（メニュー）を押して「チュートリアル」を選択します。

Gガイド番組表リモコン

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。知りたい時間の地上デジタル、地上アナログ、もしくはBSデジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。また、番組表からワンセグを起動することができます。ワンセグから番組表を起動することもできます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーなどに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているDVDレコーダーなどが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。
さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワード、メイン画面上部のピックアップキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレーヤーのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。

- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- 別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の「メイン時計設定」を日本時間に合わせてください。
- Gガイド番組表リモコンの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

●2in1のBモードでは利用できません。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

■視聴予約機能について

本アプリの番組表で視聴したい番組を選択し、ワンセグの視聴予約をすることができます。

●視聴予約の方法
本アプリを起動し、視聴予約したい番組を選び、メニューの「視聴予約」から「予約実行」を選択すると予約スケジューラが起動しますので、画面に従って視聴予約を行ってください。

■録画予約機能について

本アプリの番組表で録画したい番組を選択し、ワンセグの録画予約をすることができます。

●録画予約の方法
本アプリを起動し、録画予約したい番組を選び、メニューの「#ワンセグ録画予約」から「予約実行」を選択すると予約スケジューラが起動しますので、画面に従って録画予約を行ってください。
(※本アプリを起動し、録画予約したい番組を選び、#を押しても録画予約をすることができます)

■リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているDVDレコーダーなどをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

●初期設定方法
① DVDレコーダーなどにインターネット接続の設定をしてください(ご利用のDVDレコーダーなどの取扱説明書をご確認ください)。
② 次に本アプリを起動し、メニューの「リモート録画予約」を選択するとガイダンスが表示されますので、ガイダンスに従って初期設定を進めてください。

●番組予約の方法
初期設定が完了した後、お好きな番組を指定してメニューからリモート録画予約を選ぶと、インターネット経由で本アプリで設定したDVDレコーダーなどと接続し、録画予約をすることができます。
※すでに同じ時間に予約がされている場合には、確認メッセージが表示されます。

●ご利用には別途パケット通信料がかかります。

おしらせ

●FOMA端末に設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

iD 設定アプリ

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

チャージいらずの電子マネー「iD」とは、おサイフケータイや「iD」を搭載したクレジットカードをかざすだけでショッピングができるサービスです。今までのようにサインをすることなく、簡単・便利にショッピングができます。カード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

●「iD」のご利用には、「iD」に対応した各カード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリやカード発行会社提供のカードアプリにより所定の設定を完了したおサイフケータイまたは「iD」を搭載したクレジットカードが必要になります。

●おサイフケータイで「iD」をご利用の場合、iDアプリまたはカードアプリの設定を行う必要があります。なお、ご利用のカードによっては、iDアプリの設定を完了のうえ、カードアプリをダウンロードまたは起動し、カードアプリの設定を行う必要があります。

●iD対応のサービスのご利用にかかる費用(年会費など)は、各カード発行会社により異なります。

●「iD 設定アプリ」は削除できません。

●「iD」に関する情報については、「iD」のｉモードサイトをご覧ください。

・ｉモードサイト：
i▶「ｉMenu」▶「メニューリスト」▶「iD」

iアプリ／iウィジェット

DCMXクレジットアプリ

DCMXとは、「iD」に対応した、NTTドコモが提供するクレジットサービスです。DCMXには、月々1万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMX／DCMX GOLDの各サービスがあります。DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

■アプリの機能

入会申し込み・審査※1

カード情報設定

使う
面倒なチャージは不要！　カード情報設定済みのケータイを下のiDマークがあるお店でかざすだけで、サインレス※2でショッピングが楽しめます。

確認する
DCMXのサービス内容や今月の利用可能額※3、ご利用明細などもアプリから確認！

変更する
機種変更の設定や有効期限の更新もアプリから設定可能！

※1：DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、iモードのお申し込みページに接続します。

※2：一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。

※3：DCMX miniのみ可能です。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細についてはDCMXのiモードサイトをご覧ください。
  - iモードサイト：
    i▶「i Menu」▶「DCMX iD」

おしらせ

- 本アプリをはじめて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

■おサイフケータイ対応iアプリに関するご注意

- ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

iアプリバンキング

iアプリバンキングとは、FOMA端末からモバイルバンキング（ご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込・振替など）を、便利にご利用いただくためのiアプリです。iアプリを起動する際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。ペイジーによる請求書・納付書のお支払いも可能です。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- iアプリバンキングでモバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関へのインターネットバンキングサービスの利用申し込みが必要です。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- iアプリバンキングの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- iアプリバンキングに関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
  - iモードサイト：
    i▶「i Menu」▶「メニューリスト」▶「モバイルバンキング」▶「α iアプリバンキング」

FOMA通信環境確認アプリ

FOMA通信環境確認アプリとは、FOMA端末がFOMAハイスピードエリアを利用できるかどうかを確認するアプリです。

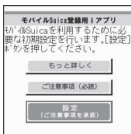
※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用上の注意」に同意した上でご利用ください。

おしらせ

- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できない場合があります。

モバイルSuica登録用ｉアプリ

「モバイルSuica登録用ｉアプリ」は、JR東日本が提供するおサイフケータイ対応サービス「モバイルSuica」をご利用いただく前に必要な初期設定を行う、NTTドコモが提供するｉアプリです。本アプリにて初期設定を行った後、画面に従ってJR東日本サイトからモバイルSuicaアプリをダウンロードし、会員登録を行ってください。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- はじめてご利用される際には、「ご注意事項（必読）」に承諾いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 本アプリは、初期設定が完了した後に削除できますが、設定したICカード内エリアは占有された状態となります。当該エリアを他のサービスにご利用いただくためには、ICカード内のデータをすべて初期化（以下、フルフォーマット）していただく必要があります。
- フルフォーマットを実施するには、ドコモショップへのご来店が必要です。
- フルフォーマットを実施すると、ICカード内のすべてのデータが削除されます。
- フルフォーマットを行った後にモバイルSuicaサービスを再度ご利用になる場合は、本ｉアプリにて再度初期設定をしていただく必要があります。
- モバイルSuicaに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  - ｉモードサイト：
    [i]▶「i Menu」▶「メニューリスト」▶「おサイフケータイ」▶「モバイルSuica」

※「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

地図アプリ

「地図アプリ」とは、オープンｉエリアを利用した現在地の確認や、指定した場所の地図を見たり、目的地までのルート確認などを行うことができるｉアプリです。
音声で入力することで簡単に乗換案内を利用することもできます。

- ご利用には別途、パケット通信料がかかります。本ソフトはパケ・ホーダイ、パケ・ホーダイフル、パケ・ホーダイ ダブルのご利用をおすすめいたします。
- 本ソフトを削除した場合、元に戻したいときは「ｉエリア－周辺情報－」からダウンロードしてください。
- 2in1のモードがBモード中には利用できません。
- 地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。
- 本アプリはモーショントラッキングに対応しています。
- 画面はイメージのため、実際の画面と異なる場合があります。

● 基本サービスと付加サービスについて

本ソフトには、基本サービスと付加サービスがあります。

基本サービス：ドコモが無料で提供するサービス
付加サービス：ゼンリンデータコムが有料で提供するサービス

はじめて本ソフトを起動した日から60日までは交通情報以外の付加サービスを無料でご利用いただけます。
61日以降に付加サービスを利用するには、ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリン🏠地図+ナビ」の会員登録（有料）が必要です。
本ソフトを利用途中に会員登録しても、ソフトを再度ダウンロードする必要はありません。本ソフトをそのままご利用いただけます。

メニュー	内容	61日以降
地図	• オープンｉエリアを用いて今いる場所の地図や、フリーワードや住所、電話番号などを入力して地図を見ます。 • 音声で住所を入力することで、簡単に地図を表示します。	無料
	• 本ソフトやサーバに登録した場所や以前検索した場所の地図を確認します。 • サーバに登録するとパソコンと登録地点を共有します。	有料
周辺検索	• 今いる場所や指定した場所周辺のお店や施設、iDご利用店舗などの情報を調べグルメ情報からクーポンを取得します。 • 周辺の駐車場の満空情報を確認します。 • 音声で入力することで、簡単に周辺情報を調べます。	無料
ルート案内	• 目的地まで乗り物、徒歩、自動車を含めた総合的なルートを検索します。 • 登録した自宅まで簡単にルートを検索します。	有料
乗換案内	• 電車の乗換案内や時刻表を確認します。 • 電車ルートを地図で確認、出発前にアラーム設定をします。 • 音声で入力することで、簡単に乗換案内をします。	有料
エクストラ	• 通常の地図だけでなく、FOMA端末を傾けて動かす地図や、3Dの地図、鉄道路線を強調した地図などいろいろな地図にモードを変更します。 • 過去オープンｉエリアで測位した場所を市区町村や都道府県単位で地図上に色を塗って表示します。	無料
	• 過去オープンｉエリアで測位した地域をサーバにバックアップします。	有料
災害用メニュー	• 災害のときに役立つ施設を検索します。 • 地図アプリと連携した通信不要の災害用のｉアプリです。	有料
設定／ヘルプ	• 地図表示、ルート表示などの設定、使い方の確認をします。	無料

●「地図アプリ」TOPメニューの画面と操作について

● 初回起動時には利用規約やご利用の注意事項が表示されます。

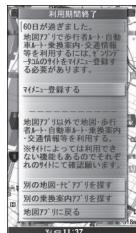
■TOPメニュー画面

TOPメニュー画面に各メニューが表示されます。メニューを閉じると前回検索した地図が表示されます。

TOPメニュー画面

■会員登録をせずに60日を過ぎた場合

61日以降、最初に起動した際に、利用できる機能が制限されることを通知するメッセージと、会員登録の案内メッセージが表示されます。
また、付加サービスメニューを選択した場合にも、同様のメッセージが表示されます。

※ 会員登録する場合は、本ソフトから「ゼンリン🏠地図+ナビ」のサイトで会員登録します。

● 地図の画面と操作について

■地図表示画面

©2009 ZENRIN DataCom CO.,LTD.

■地図表示時のボタン操作

ボタン操作	動作
✉［メニュー］	メニューを表示します。
■	クイックアクセスメニューを表示します。
i［拡縮］	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は□、詳細表示する場合は□を押します。i［閉じる］を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。
✥	地図を上下左右に移動します。
CLR	メニューを閉じたり、最初の検索結果の場所へ戻ります。
＊	地図を左向きに回転します。
0	地図を北向きにします。
＃	地図を右向きに回転します。

■クイックアクセスメニュー表示時のボタン操作

ボタン操作	動作
□［周辺を調べる］	表示している地図の場所を中心に周辺情報を調べます。
□［ココへのルート］	出発地を設定して表示している地図の中心までのルートを検索します。
□［ココを✉送信］	表示している地図のURLをメールで送信します。
□［ココを登録］	地図の中心の位置情報を本ソフトやサーバに登録します。サーバに登録するとパソコンでも登録地点を共有することができます。
■［地図へ］	クイックアクセスメニューを閉じます。
1［3Dパノラマ］	3Dパノラマ画像が閲覧できるポイントを表示します。ポイントを選択すると、3Dパノラマ画像を見ることができます。
2［ビルテナント］	周辺に存在するビルを表示し、テナントがある場合、クリックで確認できます。

● 周辺情報の検索結果の画面と操作について

●検索結果表示を地図で表示した場合の画面と操作であり、一覧で選択した場合ではありません。

■周辺情報の検索結果画面

©2009 ZENRIN DataCom CO.,LTD.

■周辺情報の検索結果表示時のボタン操作

●検索結果の店舗などにカーソルがあたっていない場合は、クイックメニューが表示されます。

ボタン操作	動作
■	検索結果の詳細情報を確認します。
✥	地図を上下左右に移動します。
1	前の10件を表示します。
3	次の10件を表示します。
4	前の検索結果を見ます。
5	表示している地図を中心にして再検索します。
6	次の検索結果を見ます。
✉［メニュー］	メニューを表示します。
i［拡縮］	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は□、詳細表示する場合は□を押します。i［閉じる］を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。

● 目的地までルートを検索する

出発地と目的地を設定してルートを検索します。徒歩、公共交通機関、自動車を利用したルートを表示します。

1 TOPメニュー画面(P.276)▶「ルート案内」▶「ルート検索」

2 「出発地」を以下の項目から選択

このあたり……オープンｉエリアでおおよその位置を測位して設定します。

フリーワード検索……キーワードで検索して設定します。

地図上で指定……地図で出発地を設定します。

TEL／〒検索……電話番号・郵便番号で検索して設定します。

住所一覧から……住所を選択して設定します。

ジャンルから……ジャンルを選択して設定します。

履歴から……過去に表示した地図から設定します。

登録地点から……本ソフトやサーバに保存している位置情報から設定します。

自宅……自宅の位置情報を設定します。

出発地の確認……出発地の情報を確認します。

3 「目的地」を操作2と同様の操作で選択

4 「時間指定」を以下の項目から選択

現時刻で指定……現在の時間でルートを調べます。

出発時刻指定……出発時間を指定してルートを調べます。

到着時刻指定……到着時間を指定してルートを調べます。

終電を利用……当日の最も遅い時刻の電車ルートを調べます。

5 「条件設定」を以下の項目から選択▶「上記で設定」▶「OK」

乗換条件……乗り換えの優先選択基準を「早い、安い、楽々」から選択します。

徒歩ルート……ルートの優先選択基準を「おまかせ、屋根多い、階段少ない」から選択します。

特急利用……ルートの総距離が100km以内の場合でも特急を利用するかどうかを選択します。

通常利用車種……利用する車種を選択します。

6 ルート条件を選択

すべてのルートを検索する「で検索」と自動車だけのルートを検索する「のみで検索」でルートを検索できます。検索結果としてルート（最大6件まで）が表示されます。異なる交通機関の乗り換えルートがある場合は、ルートの特徴を表示します。

表示内容	意味
早	所要時間が短いルート
安	運賃が安いルート
楽	乗換えが少ないルート
オススメ	上記3つの条件が揃ったルート
有料	有料道路を優先的に使った自動車ルート
一般	一般道路を優先的に使った自動車ルート

■ ルートを登録する場合

▶「ルートを登録」

7 ルートを選択▶「ルート確認」

目的地までのルート確認を開始します。

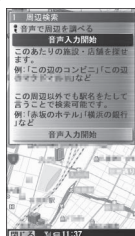
● 音声入力を利用する

音声入力メニューでは、音声で入力することで、簡単に周辺情報を調べたり、乗換案内を確認したり、地図を見ることができます。

<例：周辺情報の音声入力を利用する場合>

1 TOPメニュー画面（P.276）▶「周辺検索」▶「音声入力」

音声入力の説明画面が表示されます。

iアプリ／iウィジェット

❷「音声入力開始」▶検索したい周辺情報を音声で入力

例：「このあたりのコンビニ」を入力した場合

■ 認識が間違っていた場合

▶「音声再入力」

● 設定／ヘルプを利用する

❶ TOPメニュー画面（P.276）▶「設定／ヘルプ」▶以下の項目から選択

各種設定……アプリの基本設定や、ルート案内の設定、自宅の設定、自宅最寄り駅の設定、全履歴の消去、アプリ設定の初期化をします。

ヘルプ・規約……使い方の説明やよくある質問、利用規約を確認できます。

会員情報確認……「ゼンリン地図＋ナビ」に会員登録しているかどうかを確認します。

PC確認方法……パソコンの地図アプリサイトを閲覧するためのURLやログインID、パスワードを表示します。

マクドナルド トクするアプリ

+iW →P.286

©2008 McDonald's

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

マクドナルドの新商品など、おすすめ情報をいち早くチェックできます。マクドナルドで使える割引クーポン「かざすクーポン」をダウンロードして使うことができます。

「かざすクーポン」のご利用は「トクするケータイサイト」への会員登録後、アプリからお好みのクーポンを選択・設定し、マクドナルドの店頭に設置されている読み取り機にかざしてご利用ください。

- 「マクドナルド トクするアプリ」に関する情報はマクドナルド公式サイト「トクするケータイサイト」をご覧ください。
  - ｉモードサイト：
    ▶「ｉMenu」▶「メニューリスト」▶「グルメ／レシピ」▶「マクドナルド トクする」
- 「かざすクーポン」はご利用いただけない店舗があります。「かざすクーポン」が使えない地域では、「見せるクーポン」をご利用いただけます。
- 「おすすめ情報」は「トクするケータイサイト」の非会員でもご覧いただけます。
- 「マクドナルド トクするアプリ」の機能やサービス内容は、変更になる場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

＜かざすクーポンの利用方法＞

本アプリを起動

▼

クーポンと使用枚数を選ぶ

▼

「決定」を押してクーポン情報を設定完了

▼

店頭の読み取り機にかざして注文

■ウィジェットアプリ対応

マクドナルドの「おすすめ情報」が更新されると、ウィジェットアプリのマクドナルドの看板が回転してお知らせ。看板を選択するとおすすめ情報が表示されます。おすすめ情報の「もっと詳しく」を選択するとより詳しい情報を見ることができます。

楽オク☆アプリ

+iW →P.286

「楽オク☆アプリ」は、楽オクにいつでもどこでも簡単に出品できる便利なアプリです。出品操作はガイド表示付きで、「体験出品」もできるのでオークションがはじめてという方でも安心して使えます。説明文が簡単に作れる「かんたん入力」機能や写真撮影・編集、履歴の保存など便利な機能もたくさんあるので、サイトからの出品よりも時間がかからずに出品することができます。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 楽オクの詳細については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録とマイメニュー登録が必要になります。
- 楽オクに関する情報については、iモードサイトをご覧ください。
  - iモードサイト：
    i ▶「i Menu」▶「オークション」

■ウィジェットアプリ対応
楽オクのおすすめ商品や自分で出品・入札した商品の情報が表示されるので、気になるオークションの状況が簡単に確認できます。

Start! iウィジェット

+iW →P.286

「Start! iウィジェット」は、iウィジェットの使い方をムービーで見ることのできるアプリです。
また、iモードに接続して、FOMA端末に保存されているもの以外のアプリをダウンロードできるサイトを表示することもできます。

- 「ダウンロード」を選択し、iモードに接続する際は、別途パケット通信料がかかります。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

iWウォッチ

+iW →P.286

「iWウォッチ」は、iウィジェットにてグラフィカルな時計を楽しむことができるアプリです。時計のデザインや色をお好みに応じて変更することが可能です。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

付箋アプリ

iW →P.286

手軽に付箋形式のメモを貼り付けることができるアプリです。メモは最大50件まで保存できます。画面のデザインは3種類あり、各種画面を一括で変更することが可能です。

株価アプリ

iW →P.286

「株価アプリ」は、iウィジェットにて株価情報を簡単に見ることのできるアプリです。
表示できる株価情報は、「日経225／TOPIX／ヘラクレス指数」の3指数になります。
それぞれの指数の現在値および前日比を表示することが可能です。また、チャート情報についても、「日中足／日足／週足／月足」と切り替えることができます。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 指数の現在値については、約20分遅れの情報となります。
- 本アプリの情報は株式など売買および売買の支援をするものではありません。
- 本アプリの情報の内容につきましては万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねます。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

Googleモバイル

iW →P.286

「Googleモバイル」は、モバイルWeb検索機能が利用できるアプリです。過去に入力した検索ワードや、トレンド急上昇中のワードの入力も簡単にできるので便利です。
また、メールサービス（Gmail）、乗り換え案内などの便利なGoogleサービスを簡単に呼び出すことができます。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

iアプリを自動起動する

指定した日時または時間間隔でソフトが自動起動するように設定します。

自動起動を設定する 〈自動起動設定〉

- 自動起動時刻は3件まで設定することができます。

1 MENU ▶「i-αppli」▶「自動起動設定」▶「許可する」または「許可しない」

起動日時を設定する 〈自動起動時刻設定〉

ソフトが自動起動する日時を設定します。

- 以下のような場合、ソフトは自動起動しません。
  - 電源を切っている場合
  - ほかの機能が起動している場合
  - 通話中
  - 通信中
  - ソフトウェア更新の予約時刻、アラーム／スケジュール／To Doリスト／ワンセグ視聴予約／ワンセグ録画予約の設定時刻が自動起動の時刻と同じ場合
  - 同じソフトに対して、前回自動起動した時刻から10分未満で起動時刻が設定されていた場合

1 ソフト一覧画面（P.267）▶ch［機能］▶「自動起動時刻設定」▶○で□（チェックボックス）を選択

■ ソフトに設定されている時間間隔を有効にする場合

▶「時間間隔設定」のチェックボックスを選択

■ 起動日時を設定する場合

▶「起動時刻設定」のチェックボックスを選択

2 ✉［完了］▶起動日時を設定

■ 起動日時を設定する場合

▶日時を選択▶起動日時を入力

■ 自動起動の繰り返しを設定する場合

▶繰り返し設定を選択▶「毎日」または「曜日指定」

「曜日指定」を選択したときは、○で□（チェックボックス）を選択し✉［完了］を押します。

3 **✉［完了］**

ｉアプリが自動起動したかを確認する

ソフトが設定した時刻に自動起動したかどうかを確認します。

●ICカード機能からの起動に失敗したソフトについても確認できます。

1 **MENU ▶「i-αppli」▶「ｉアプリ実行情報」▶「自動起動情報」**

ソフト名、自動起動時刻、起動したかどうかの情報が表示されます。自動起動した場合は「起動○」、自動起動しなかった場合は「起動×」、自動起動前の場合は「未起動」と表示されます。

おしらせ

●自動起動できなかった場合は、待受画面に「 」（未起動ソフトあり）というデスクトップアイコンが表示されます。アイコンを選択すると、自動起動情報画面が表示されます。自動起動できなかったソフトを選択すると、ソフトを起動することができます。情報を通知するデスクトップアイコンについて→P.109

ｉアプリコールを利用する

対戦ゲームなどのｉアプリの招集通知（ｉアプリコール）をほかのFOMA端末へ送信して招待したり、ｉアプリコールを受信して応答することができます。

招集を行う

あらかじめ電話帳に登録している相手に送信して招集を行うことができます。

ｉアプリコール対応のｉアプリからｉアプリコールを送信

送信操作はｉアプリによって異なります。ｉアプリのヘルプを参照してください。

2「YES」

受信したときは

ｉアプリコールを受信すると、着信音とイルミネーションランプ、バイブレータの振動でお知らせし、応答するかどうかの確認メッセージが表示されます。

1 **応答する場合は「応答」**

対象のｉアプリが起動します。

■ **応答しない場合**

▶「拒否」

■ **保留にする場合**

▶「保留」

おしらせ

●ｉアプリコールによっては、応答するかどうかの確認メッセージは表示されず、ｉアプリが起動する場合があります。

●ｉアプリコールに応答した場合、パケット通信料がかかることがあります。

●ｉアプリコールは、IP（情報サービス提供者）から通知されることもあります。

●「ソフト設定」の「ｉアプリコール設定」（P.269）から、アプリごとにｉアプリコールの受信可否を設定できます。

●ｉアプリコールの受信を一括拒否することもできます（詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください）。

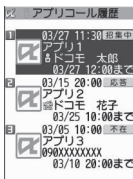
●着信音の音量は「着信音量」の「メール」で設定した音量となり、音パターンは変更できません。また、イルミネーションランプの点滅パターンは「青色（色1）」固定、バイブレータの振動パターンは「パターン1」固定となります。

履歴を確認する 〈iアプリコール履歴〉

受信したｉアプリコールの招集通知者、有効期限、応答状態などの情報は、ｉアプリコール履歴として記憶されます。

● 履歴は30件まで記憶できます。履歴が最大件数を超えた場合は、招集中以外の古い履歴から順に上書きされます（招集中の履歴しかない場合は招集中の履歴が上書きされます）。

1 **MENU ▶「i-αppli」▶「ｉアプリコール履歴」**

■ 履歴を削除する場合
▶ch［機能］▶削除方法を選択

ｉアプリコール履歴画面

■表示される履歴の状態について

アイコン	説明
招集中	招集中（未応答／保留）の状態（有効期限内に応答可能）
応答	応答済みの状態
拒否	受信を拒否した状態
不在	未応答のまま有効期限が切れた状態

● 招集中のｉアプリコールに応答する

1 **ｉアプリコール履歴画面（P.283）▶招集中の履歴を選択▶「応答」**

ｉアプリコールの設定を行う 〈ｉアプリコールダウンロード設定〉

ｉアプリコールを受信したとき、対象のｉアプリがない場合、ｉアプリを自動的にダウンロードするかどうかを設定します。

1 **MENU ▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ｉアプリ設定」▶「ｉアプリコールダウンロード設定」▶「拒否する」または「拒否しない」**

サイトやメールからｉアプリを起動する 〈ｉアプリTo機能〉

サイトやメールなど、ｉアプリ以外の機能からｉアプリソフトを起動する項目を選択して、ｉアプリを起動することができます。

ｉアプリToで起動するように設定する 〈ｉアプリTo設定〉

ｉアプリTo機能を起動するように、ソフトごとに設定します。

1 **ソフト一覧画面（P.267）▶ch［機能］▶「ｉアプリTo設定」**

2 **で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］**

ｉアプリToで起動できる機能

■ｉモードのサイト
ｉモードのサイトにｉアプリのソフトの起動指定が表示されている場合に起動できます。

■メール
受信したｉモードメールにｉアプリのソフトの起動指定が貼り付けられている場合に起動できます。

■赤外線通信機能
赤外線通信中にｉアプリ起動の信号を受信すると、ｉアプリのソフトが起動します。

■バーコードリーダー
バーコードリーダーで読み取ったデータにｉアプリの起動指定が含まれている場合に起動できます。

■ICカード機能
FOMA端末の マークを読み取り機にかざすと、ソフトが起動します。

■トルカ
取得したトルカにｉアプリの起動指定が貼り付けられている場合に起動できます。

■データ放送
ワンセグのデータ放送サイトにｉアプリの起動指定が含まれている場合に起動できます。

おしらせ

<ｉモードのサイト>
● ｉモードのサイトからすぐに起動するｉアプリのソフトがあります（FOMA端末に保存できないソフトもあります）。

<メール>
● ｉモードメールの引用返信や転送をしても、ｉアプリの起動指定は引用できません。

次ページにつづく

おしらせ

＜ICカード機能＞
- 以下のような場合、ソフトは起動しません。
  - ほかの機能が起動している場合
  - 通話中
  - 起動しようとしたソフトがない場合

ｉアプリ待受画面を設定する 〈ｉアプリ待受画面設定〉

選択したｉアプリのソフトを待受画面として設定します。
- 待受画面に設定できないソフトもあります。

1 ソフト一覧画面（P.267）▶✉［設定］▶「待受画面設定」▶「設定する」▶✉［完了］

（P.267）

おしらせ

- ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは1件のみです。
- 通信するソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。
- 「ソフト設定」の「待受画面通信」を「通信しない」に設定した場合は、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。
- ｉアプリ待受画面表示中に「ダイヤルロック」またはｉアプリに「オリジナルロック」を設定するか、2in1のモードをBモードまたはデュアルモードにすると、ｉアプリ待受画面は終了します。「ダイヤルロック」または「オリジナルロック」を解除するか、2in1のモードをAモードにすると、ｉアプリ待受画面が再び表示されます。
- タスクを切り替えて待受画面を表示したときは、ｉアプリ待受画面を設定していても「画面表示設定」の「待受画面」で設定している画面が表示されます。

ｉアプリ待受画面を実行する

ｉアプリ待受画面に設定したソフトを実行します。

1 ｉアプリ待受画面表示中▶CLR

ｉアプリが実行中になり、画面下に「」または「」が点滅表示されます。

ｉアプリ待受画面を解除する 〈ｉアプリ待受画面解除〉

● ｉアプリ実行中に解除する

1 ｉアプリ実行中▶CLR（1秒以上）または ▶以下の項目から選択

キャンセル……ｉアプリ待受画面実行中の画面に戻ります。

終了する……ｉアプリ待受画面に戻ります。

解除する……ｉアプリ待受画面の設定を解除します。

● 設定中のｉアプリ待受画面を解除する

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ｉアプリ設定」▶「待受画面終了」

2 「設定解除」▶「YES」

■ 解除を中止する場合
▶「NO」

■ 終了する場合
▶「終了」
待受ｉアプリが再起動します。

ｉアプリ待受画面の終了情報を確認する

ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラーが発生したソフト名、発生時刻、発生理由が記憶され、その内容を確認できます。

1 MENU▶「i-αppli」▶「ｉアプリ実行情報」▶「待受画面終了情報」

- ch［機能］から待受画面終了情報のコピー／削除ができます。

おしらせ

- ｉアプリ待受画面が正常に終了した場合（通常終了時）は、記録されません。

ｉアプリからバーコードを利用する

1 ソフト実行中に、バーコードリーダーの起動項目を選択

カメラ（バーコードリーダー）が起動します。

2 バーコード（JANコード、QRコード、CODE128）を認識範囲に表示

バーコード（JANコード、QRコード、CODE128）が読み取られます。

おしらせ

- CODE128を読み取るには、対応しているｉアプリをダウンロードする必要があります。読み取ったデータは、ｉアプリで利用、保存されます。

ｉアプリを管理する

ｉアプリをバージョンアップする 〈バージョンアップ〉

ダウンロードしたソフトがサイトでより新しいソフトに更新されている場合は、ソフトをバージョンアップできます。

1 ソフト一覧画面（P.267）▶ch［機能］▶「バージョンアップ」▶「YES」

おしらせ

- 以下のような場合、メールフォルダ名を変更するメール連動型ｉアプリをバージョンアップできません。
  - BOXロックの設定中
  - フォルダロックの設定中
  - バージョンアップするメール連動型ｉアプリ専用フォルダの使用中

microSDカード内のｉアプリを表示する 〈microSDソフト一覧〉

microSDカードに保存されているｉアプリを一覧表示します。

1 MENU▶「i-αppli」▶「microSD」▶「microSDソフト一覧」

「microSDソフト一覧画面」が表示されます。

機能メニュー→P.285

機能 microSDソフト一覧画面

ソフト情報……microSDカードに保存されているｉアプリのソフト情報を表示します。

本体へ移動……microSDカードに保存されているｉアプリおよびｉアプリデータを本体に1件移動します。

保存容量確認

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

おしらせ

- microSDソフト一覧からｉアプリは起動できません。
- microSDカードに保存されているｉアプリは、ほかのFOMA端末で利用できない場合があります。
- microSDカードに保存されているｉアプリを本体に移動する場合、microSDカードにあるｉアプリデータも本体へ移動されます。
- microSDカードに保存されているｉアプリを本体に移動できるかどうかは、「ソフト情報」（P.269）で確認できます。

microSDカード内のｉアプリデータを表示する 〈microSD保存データ〉

microSDカードに保存されているｉアプリデータ（microSD）をフォルダ名で一覧表示します。

1 MENU▶「i-αppli」▶「microSD」▶「microSD保存データ」

「microSD保存データ一覧画面」が表示されます。機能メニュー→P.286

機能 microSD保存データ一覧画面

データ情報……ｉアプリの作成者、利用可能ソフト、microSDカードを利用できるかどうかなどを表示します。

1件削除、選択削除、全削除

おしらせ

- ソフトからmicroSDカードに保存するｉアプリデータは、ほかのFOMA端末で利用できない場合があります。
- ソフトからmicroSDカードにｉアプリデータを保存するかどうかは、「ソフト情報」（P.269）で確認できます。

ｉウィジェット

ｉウィジェットとは電卓や時計、株価情報など頻繁に利用するコンテンツ（ウィジェットアプリ）に、待受画面で□を押すだけでアクセスできる便利な機能です。

ウィジェットアプリはIP（情報サービス提供者）などが提供するサイトからダウンロードすることにより追加できます。また、ｉウィジェット画面には最大8つのウィジェットアプリを貼り付けることができ、より自分仕様の画面にすることができます。

- ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。
- ウィジェットアプリをダウンロードする場合、ｉウィジェット画面を表示する場合などは別途パケット通信料がかかります。
- ｉウィジェット画面を表示すると同時に通信を行うウィジェットアプリがある場合、国際ローミング利用時にｉウィジェット画面を表示すると、パケット通信および、1通信ごとにパケット通信料の最低料金がかかります。
- ｉウィジェットの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

お買い上げ時に登録されているウィジェットアプリ

アプリ名	説明
マクドナルド トクするアプリ	P.279
楽オク☆アプリ	P.280
Start! ｉウィジェット	P.280
ｉWウォッチ	P.280
付箋アプリ	P.280
株価アプリ	P.281
Googleモバイル	P.281

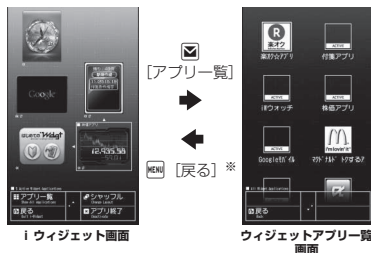
ｉウィジェットを利用する

ウィジェットアプリを起動する

ｉウィジェット画面／ウィジェットアプリ一覧画面を表示し、ウィジェットアプリを起動します。

- ソフト一覧画面から起動する場合→P.267
- ウィジェットアプリ一覧画面には、ソフト一覧画面に登録されているウィジェットアプリがすべて表示されます。そのうち、日常使用するウィジェットアプリをｉウィジェット画面に貼り付けて利用します。
- ウィジェットアプリ一覧画面、ソフト一覧画面からウィジェットアプリを起動すると、ｉウィジェット画面にそのアプリが自動的に貼り付けられます。

1 待受画面表示中▶□

「ｉウィジェット画面」または「ウィジェットアプリ一覧画面」（ｉウィジェット画面にウィジェットアプリが1つも貼り付けられていない場合）が表示されます。

ｉウィジェット画面　　ウィジェットアプリ一覧画面

※ ｉウィジェット画面にウィジェットアプリが1つも貼り付けられていない場合は、待受画面に戻ります。

■ ｉウィジェット画面から待受画面に戻る場合

▶MENU［戻る］

❷ ウィジェットアプリを選択

ウィジェットアプリが起動します。

■ｉウィジェットの使い方を見る場合

▶「Start! ｉウィジェット」▶「使い方ガイド」

■ウィジェットアプリを終了する場合

▶ch［アプリ終了］▶「YES」

ｉウィジェット画面から表示中のウィジェットアプリを消去して終了します。

- 消去しないでｉウィジェット画面に戻る場合はMENU［戻る］を押します。

■ウィジェットアプリを実行したまま、ほかの機能を利用する場合

▶⌒▶「中断（MULTI）」

マルチタスクについて→P.349

■ｉウィジェット画面のアイコンについて

アイコン	説明
	通常のウィジェットアプリ
	ウィジェットアプリDX
	SSL対応ページからダウンロードしたウィジェットアプリ
	通信を利用するウィジェットアプリ
	おサイフケータイ対応ウィジェットアプリ→P.291
	位置情報対応ウィジェットアプリ

■ウィジェットアプリ一覧画面のアイコンについて

アイコン	説明
NEW	ダウンロードしてから48時間以内のウィジェットアプリ
ACTIVE	ｉウィジェット画面に貼り付けられているウィジェットアプリ

おしらせ

- ｉウィジェット画面には、最大8個のウィジェットアプリを貼り付けることができます（お買い上げ時には、5個のウィジェットアプリが貼り付けられています）。すでに8個貼り付けているときにウィジェットアプリを変更する場合は、現在貼り付けられているウィジェットアプリのどれかを終了し、ウィジェットアプリ一覧画面から新たに貼り付けるウィジェットアプリを起動してください。
- ｉウィジェット画面またはウィジェットアプリ一覧画面を表示中に、約3分間ボタン操作をしなかったときは自動的に待受画面に戻ります。ウィジェットアプリを起動しているときは自動的に待受画面に戻りません。

ｉウィジェットをシャッフルする

ｉウィジェット画面内のウィジェットアプリの配置をランダムに変えます。

❶ ｉウィジェット画面（P.286）▶ｉ［シャッフル］

ｉウィジェットの設定を行う

ローミング中のネットワーク接続や、起動時の効果音の音量を設定します。

❶ MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ｉアプリ設定」▶以下の項目から選択

ｉウィジェット効果音……ｉウィジェット起動時の効果音の音量を設定します。

ｉウィジェットローミング設定……国際ローミング中にｉウィジェットのネットワーク接続をするかどうかを設定します。

おしらせ

<ｉウィジェット効果音>

- マナーモード設定中のｉウィジェット効果音の音量は、「マナーモード選択」の設定に従います。

<ｉウィジェットローミング設定>

- 国際ローミング中、海外に移動して最初に待受画面でを押してｉウィジェット画面を起動しようとすると、本設定の確認メッセージが表示されます。
  確認メッセージ表示中にCLRを押すと、「いいえ」に設定され、ｉウィジェットが起動します。

ウィジェットアプリの設定を行う 〈ソフト設定〉

❶ ソフト一覧画面（P.267）▶✉［設定］▶それぞれの項目を設定

ソフト設定について→P.268

ウィジェットアプリをダウンロードする

サイトからウィジェットアプリをダウンロードして、FOMA端末で起動します。

●保存できる件数は、ｉアプリと合わせて最大200件です（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

1 サイト画面（P.178）▶ウィジェットアプリを選択

「ダウンロード完了しました」というメッセージが表示されます。

■ データの取得中にダウンロードを中止する場合

▶ダウンロード中▶■［Cancel］またはCLR

2 「YES」

ダウンロードしたウィジェットアプリが起動します。

■ ウィジェットアプリを起動しない場合

▶「NO」

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイ

おサイフケータイは、お札や小銭はもちろんのこと、ポイントやチケットをケータイに入れることができる機能です。ICカードが搭載されておりお店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけでお支払いなどができます。
さらに、通信を利用して電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティ※1も充実しています。
おサイフケータイの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイト※2よりおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードし、設定を行う必要があります。

※1：おまかせロック、ICカードロックを利用できます。
→P.119、292

※2：[i]▶「ｉMenu」▶「メニューリスト」▶「おサイフケータイ」

- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、ｉCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

ｉCお引っこしサービス

ｉCお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括※2でお取り替え先のおサイフケータイに移し替える※3ことができるサービスです。
ICカード内データを移し替えた後は、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード※4するだけで、引き続きおサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。ｉCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
ｉCお引っこしサービスの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※1：お取り替え元、お取り替え先ともに、ｉCお引っこしサービス対応のFOMA端末である必要があります。ご利用にあたってはお近くのドコモショップなど窓口にご来店ください。

※2：おサイフケータイ対応サービスによっては、一部ｉCお引っこしサービス対象外のサービスがあり、移行できるのはｉCお引っこしサービス対象のおサイフケータイ対応サービスのICカード内データのみになります。

※3：このサービスは、「コピー」ではなく「移行」されるため、ICカード内データは、お取り替え元のFOMA端末に残りません。ｉCお引っこしサービスをご利用いただけない場合もございますので、各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスなどをご利用ください。

※4：ｉアプリのダウンロード、各種設定にはパケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

ソフト一覧画面からおサイフケータイ対応ｉアプリを起動します。おサイフケータイ対応ｉアプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーをチャージ（入金）したり、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- 端末暗証番号および各サービスのパスワードは、他人に知られないよう十分ご注意ください。
- 以下の場合は、ソフトからICカード内へのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータは破棄されます。通話終了後の操作は、ご利用サービスによって異なります。
  - ｉアプリ起動中に電話がかかってきた場合
  - 電池が切れた場合
- おサイフケータイ対応ｉアプリをはじめて起動したときやダウンロードしたとき、FOMAカード情報とICカードの対応付けが行われます。それ以降は対応付けされたFOMAカードを挿入していないとICカード機能を利用することはできません。なお、別のFOMAカードに差し替えてご利用になる場合、一度おサイフケータイ対応ｉアプリを削除（ICオーナー初期化）しないとICカード機能を利用することはできません。→P.292

1 MENU ▶「OSAIFU-KEITAI」▶「ICカード一覧」

■ ｉモードでおサイフケータイ対応ｉアプリを検索する場合

▶「ｉモードで探す」▶「YES」

ICカード一覧画面

機能メニュー➡P.268

2 おサイフケータイ対応ｉアプリを選択

「ソフト一覧画面」（P.267）からも起動できます。

おしらせ

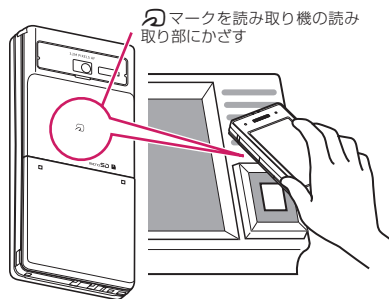
- 2in1のモードがBモードの場合、メールの機能を利用するｉアプリは起動できません。

おサイフケータイを利用する

FOMA端末の マークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用できます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただけます。

- 通話中は、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動することはできませんが、 マークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただけます。

1 FOMA端末の マークを読み取り機にかざして、目的のサービスを利用する

おサイフケータイ利用時には、「ICカード通知設定」の設定に従ったイルミネーションランプの点灯およびバイブレータ（振動）と、「ボタンイルミネーション」の「IC通信中」の設定に従ったボタンイルミネーションでお知らせします。

おしらせ

- 電源が入っていないときや電池残量が少なくなってからも マークを読み取り機にかざしてICカード機能をご利用いただくことができます（おサイフケータイ対応ｉアプリを起動することはできません）。ただし、電池パックを取り付けていないとき、また取り付けていても、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラームが鳴った後で充電せずに放置した場合は、ご利用いただけなくなる場合がありますので、充電をしてください。
- マークの面を読み取り機にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。
- マークをかざしても認識されない場合は、読み取り機の読み取り部になるべく近づけ、平行になるように、前後左右にずらしてかざしてください。
- マークを読み取り機の読み取り部にかざしたときに、おサイフケータイ対応ｉアプリが起動することがあります。

ICカード機能をロックする〈ICカードロック設定〉

ほかの人にICカード機能を無断で使われることを防ぐために、ICカード機能をロックします。
●電源を切ってもICカードロックは解除されません。

1 待受画面表示中▶3（1秒以上）

ICカードロックが設定されて「」が表示されます。

■ 解除する場合
▶3（1秒以上）▶端末暗証番号を入力

03.27FRI 11:37

おしらせ

●電池パックを取り外すとICカードロックが自動的に設定されます。この場合、電池パックを取り付けるとICカードロックは自動的に解除されます。
●ICカードロックを設定しているときに電池残量がなくなって電源が切れた場合でもICカードロックは解除されません。
●ICカードロック設定中は、おサイフケータイ対応ｉアプリによってはダウンロードやバージョンアップ、削除ができないことがあります。

電源を切ったときにICカード機能をロックする〈電源OFF時ICロック設定〉

電源が入っていないときにおサイフケータイが利用できないよう、ICカード機能をロックします。

1 MENU▶「OSAIFU-KEITAI」▶「ICカードロック設定」▶端末暗証番号を入力▶「電源OFF時ICロック設定」▶以下の項目から選択

直前の状態を保持……電源を切る直前のICカードロックの設定と同じになります。

ICカードロックON……ICカードロックの設定にかかわらずICカード機能をロックします。

ICカード利用時のイルミネーションとバイブレータについて設定する〈ICカード通知設定〉

ICカード利用時にイルミネーションランプやバイブレータ（振動）で知らせるかどうかを設定します。

1 MENU▶「OSAIFU-KEITAI」▶「設定」▶「ICカード通知設定」▶以下の項目から選択

イルミネーション……ICカード利用時にイルミネーションランプが点灯するように設定します。

バイブレータ……ICカード利用時にバイブレータが振動するように設定します。

ICカードのオーナー情報を確認する〈ICオーナー確認〉

おサイフケータイ内のICカードが、挿入しているFOMAカードに対応付けされているか確認します。別のFOMAカードに差し替えてご利用になる場合、おサイフケータイ対応アプリを削除（初期化）してICカード機能を利用します（お買い上げ時に登録されているおサイフケータイ対応ｉアプリは削除できません）。

1 MENU▶「OSAIFU-KEITAI」▶「ICオーナー確認」

別のFOMAカードを挿入している場合、「ICオーナーを初期化するには」を選択して、ICオーナーを変更（おサイフケータイ対応ｉアプリを初期化）できます。

■ ICオーナーを変更する場合
▶「ICオーナー変更」▶「ICオーナー初期化」▶「YES」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

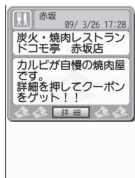
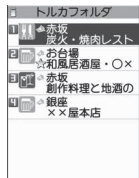
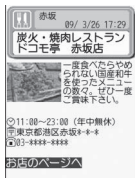
●おサイフケータイ対応ｉアプリによっては削除できない場合があります。

トルカ 〈トルカ〉

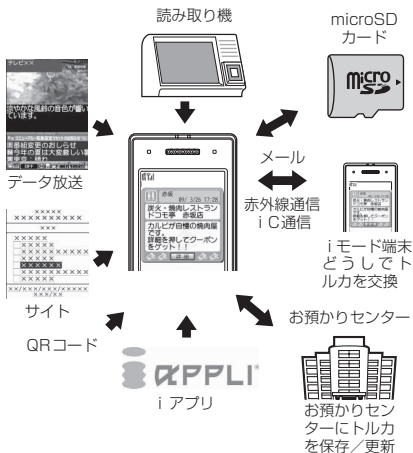
トルカとはおサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線、microSDカードを使って簡単に交換できます。

● 取得したトルカは「OSAIFU-KEITAI」メニューの「トルカ」内に保存されます。
● トルカの詳細については『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■トルカ利用の流れ

おサイフケータイの マークを読み取り機にかざしてトルカを取得

トルカ

トルカ（詳細）

トルカ一覧から取得したトルカを選択。「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

■トルカの取得手段

おしらせ

● サイトからトルカおよびトルカ（詳細）を取得する場合は、通常のパケット通信料がかかります。
● IP（情報サービス提供者）の設定によっては更新できなかったり、メールや赤外線通信などを利用して再配布できないトルカがあります。

トルカを取得する　〈トルカ取得〉

読み取り機からトルカを取得します。

- トルカは最大200件※までトルカフォルダに保存することができます(データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります)。保存できるトルカサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ(詳細)は1件あたり最大100Kバイトです。
  ※：利用済みトルカフォルダには別途最大20件保存できます。

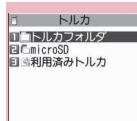
1 FOMA端末の マークを読み取り機にかざす

「ICカード通知設定」の設定に従ったイルミネーションランプの点灯およびバイブレータ（振動）と、「ボタンイルミネーション」の「IC通信中」の設定に従ったボタンイルミネーションでお知らせし、トルカ取得音が鳴って、取得したトルカやトルカ（詳細）が約15秒間表示されます。
読み取り機へのかざしかた→P.291

おしらせ

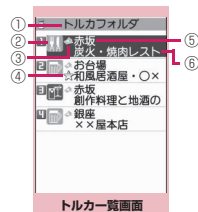
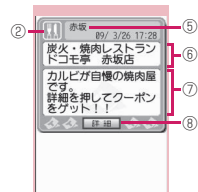
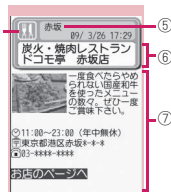
- ほかの機能が起動しているときは、取得したトルカは表示されません。
- トルカ取得音は変更できません。また、音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。「ステップ」に設定した場合は「レベル4」の音量になります。
- ICカードロック設定中、おまかせロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。

トルカを表示する　〈トルカビューア〉

1 MENU ▶「OSAIFU-KEITAI」▶「トルカ」

トルカフォルダ一覧画面
機能メニュー➡P.295

2 フォルダを選択▶トルカを選択

● トルカ一覧画面・トルカ表示画面の見かた

トルカ一覧画面
機能メニュー➡P.295

トルカ表示画面（トルカ）
機能メニュー➡P.296
トルカ表示画面（トルカ（詳細））
機能メニュー➡P.296

①フォルダのタイトル
②トルカのカテゴリを示すアイコン
③トルカの状態
　：未読トルカ
　：既読トルカ
　：有効期限切れトルカ
④お気に入りに登録したことを示すアイコン
⑤場所など（インデックス）
⑥トルカのタイトル
⑦トルカの内容（Phone To／AV Phone To、Mail To、Web To、ｉアプリTo※機能を利用することもできます）
※：トルカ（詳細）でのみ利用可能です。
⑧トルカ（詳細）を取得

● お気に入りに登録する

1 トルカ一覧画面（P.294）▶ ［☆マーク］

■ お気に入りの一覧を表示する場合
▶ ［☆一覧］

■ お気に入りを解除する場合
▶お気に入りのトルカを選択▶ ［☆マーク］

おしらせ

- トルカによっては、Phone To／AV Phone To、Mail To、Web To、ｉアプリTo機能が利用できない場合があります。

おサイフケータイ／トルカ

機能 トルカフォルダ一覧画面（P.294）

フォルダ追加……フォルダ名を入力してフォルダを追加します。
FOMA端末には20個までフォルダを追加できます。

フォルダ名編集※1……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。

☆ **マーク一覧**※2※3……お気に入り登録したトルカを一覧表示します。

全検索※2※3……項目（インデックス、タイトル）を選択し、検索する文字列を入力すると、一致するトルカを一覧で表示します。

全フィルタ※2※3……選択した条件に一致するトルカのみを表示します。

全表示※2※3……全検索または全フィルタ機能による表示を解除し、保存されているすべてのトルカを表示します。

iC全送信※2※3→P.337

赤外線全送信※2※3→P.336

フォルダ削除※1……追加したフォルダを削除します。

保存件数確認※3

お預りセンターに接続→P.134

トルカ全削除……FOMA端末内に保存されているトルカをすべて削除します。

※1：ユーザ作成フォルダ以外のフォルダでは、利用できません。
※2：「microSD」フォルダ内のフォルダのときは利用できません。
※3：「microSD」「利用済みトルカ」のフォルダ内データは、操作の対象になりません。

機能 トルカ一覧画面（P.294）

フォルダ移動※1※2……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、トルカをほかのフォルダに移動します。

コピー※1※2……「1件コピー、選択コピー、全コピー」を選択後、コピー先のフォルダを選択し、トルカをコピーします。

☆ **マーク一覧**※2※3……お気に入り登録したトルカを一覧表示します。

☆ **マーク／解除**※3……トルカにお気に入りを登録、解除します。

検索※2※3……項目（インデックス、タイトル）を選択し、検索する文字列を入力すると、一致するトルカを一覧で表示します。

フォルダ内全表示※2※3……検索、ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示に戻します。
- トルカフォルダ一覧画面で「全検索」「全フィルタ」「全表示」を実行しているときは「全表示」と表示されます。

ソート※2※3……選択した条件に従ってトルカを並び替えます。

フィルタ※2※3……選択した条件に一致するトルカのみを表示します。

iモードメール作成※1※4……トルカを添付し、iモードメールを作成します。

iC送信※3→P.337

赤外線送信※3→P.336

microSDへコピー※3→P.325

本体へコピー※5→P.326

保存件数確認※1

トルカ情報※1……タイトル名や有効期限を表示します。

削除※2……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1：「利用済みトルカ」のフォルダ内では利用できません。
※2：トルカフォルダ画面またはトルカ一覧画面で「☆ マーク一覧」を選択したときは利用できません。
※3：「microSD」「利用済みトルカ」のフォルダ内では利用できません。
※4：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※5：microSDカードに保存されているトルカのときのみ利用できます。

機能 トルカ表示画面（P.294）

フォルダ移動※1……移動先のフォルダを選択し、トルカを移動します。

コピー※1……コピー先のフォルダを選択し、トルカをコピーします。

ｉモードメール作成※2……トルカを添付し、ｉモードメールを作成します。

ｉC送信※3→P.337

赤外線送信※3→P.336

microSDへコピー※3→P.325

本体へコピー※4→P.326

更新※3※5……トルカ（詳細）を新しい情報に更新します。

画像保存※3※5……トルカ（詳細）の画像を保存します。「通常画像、背景画像」から選択します。

電話帳登録※3→P.81

リプレイ※3※5……トルカ（詳細）のFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

削除※1

※1：トルカフォルダ画面またはトルカ一覧画面で「☆マーク一覧」を選択したときは利用できません。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：「microSD」のフォルダ内では利用できません。
※4：microSDカードに保存されているトルカのときのみ利用できます。
※5：本体に保存されているトルカ（詳細）を表示中のときのみ利用できます。

おしらせ

- トルカによっては、コピー、メール添付送信、ｉC送信、赤外線送信、microSDカードへのコピー、更新を行うことができない場合があります。

トルカについて設定する
〈トルカ設定〉

1 MENU▶「OSAIFU-KEITAI」▶「設定」▶「トルカ設定」▶以下の項目から選択

ICカードから取得……マークを読み取り機にかざしたときにトルカ取得を行う（許容する）か拒否する（許容しない）かを設定します。
「許容する」に設定した場合、トルカ取得時にFOMA端末内（「利用済みトルカ」フォルダや有効期限切れのトルカを除く）のトルカとの重複チェックを行うかどうかを設定します。

ワンセグから取得……ワンセグのデータ放送からトルカ取得を行う（許容する）か拒否する（許容しない）かを設定します。

自動読取設定……マークを読み取り機にかざしてトルカを取得する際、利用可能なトルカを自動読取させるかどうかを設定します。
「ON」に設定すると、FOMA端末内（「利用済みトルカ」フォルダや有効期限切れのトルカを除く）の利用可能なトルカが自動的に認識され、「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。

スクロール設定……トルカ表示画面のスクロール行数を「1行スクロール、3行スクロール、5行スクロール」から選択します。

おしらせ

<ICカードから取得>
- 重複チェックを「行う」に設定した場合、同じトルカを取得することができません。同じトルカを取得したいときは、「行わない」に設定してください。

<ワンセグから取得>
- 同じトルカを取得することはできません。

<自動読取設定>
- 「OFF」に設定している状態で読み取り機にかざすと、自動読取機能を利用するかどうかの確認画面や自動読取機能が無効である旨のメッセージが表示される場合があります。トルカを利用される場合「YES」を選択して本機能を「ON」にしてください。

データ管理

データBOXについて

データBOXにはカメラで撮影した静止画や動画、メールやサイトからダウンロードしたデータなどが保存されます。

■フォルダの内容

●以下のような項目とフォルダが用意されており、データの種類に合わせてフォルダに振り分けられます。( ) 内はファイル形式です。

フォルダ	フォルダ説明
マイピクチャ	
INBOX（JPEG、GIF、SWF）	カメラで撮影した静止画、サイトやメール、バーコードリーダーなどから取得した画像の保存先として選択可能です。 microSDカードからコピーしたり、赤外線通信などで転送された画像は自動的にこのフォルダに保存されます。 10枚のサンプル画像が保存されています（削除した場合、端末初期化しても元に戻りません）。
カメラ（JPEG、GIF、SWF）	INBOXと同様の画像の保存先として選択可能です。 キャラ電撮影した静止画は自動的にこのフォルダに保存されます。
デコメピクチャ（JPEG、GIF、SWF）	デコメール®用の画像が内蔵されています。INBOXと同様の画像の保存先として選択可能です。
デコメ絵文字※1（JPEG、GIF）	デコメ®絵文字がカテゴリ別フォルダに内蔵されています。 サイトやメールなどから取得したり、microSDカードからコピーしたデコメ®絵文字が保存されます。
おまかせデコメ（JPEG、GIF）	おまかせデコメ用の画像が、感情の分類別フォルダに内蔵されています。 サイトから取得した画像が保存されます。
プリインストール（JPEG、SWF）	待受画面やウェイクアップなどの画像、アニメーションが内蔵されています。
シークレットフォルダ※2（JPEG、GIF、SWF）	ほかの人に見られたくない画像を保管します。
ユーザ作成フォルダ※3（JPEG、GIF、SWF）	INBOXと同様の画像の保存先として選択可能です。
自作アニメ（－）	連続撮影で登録したアニメーションや自作のアニメーションが保存されます。
microSD（JPEG、GIF、SWF） ピクチャ	撮影した静止画やFOMA端末からコピーしたり、パソコンなどからmicroSDカードに保存したJPEG・GIF形式の画像が保存されます。
microSD デコメ絵文字※1	FOMA端末からコピーしたり、パソコンなどから microSDカードに保存したデコメ®絵文字が保存されます。
microSD イメージボックス	FOMA端末からコピーしたGIF形式のアニメーションとSWF形式のFlash画像、パソコンなどからmicroSDカードに保存したJPEG形式の画像やGIF形式のアニメーション、SWF形式のFlash画像が保存されます。
フレーム（IFM）	フレームが内蔵されています。 サイトなどから取得したフレームは自動的にこのフォルダに保存されます。
スタンプ（IFM）	マーカースタンプが内蔵されています。 サイトなどから取得したスタンプは自動的にこのフォルダに保存されます。
ミュージック	
プレイリスト（－）	FOMA端末で作成したプレイリストが保存されます。
INBOX（3GP）	音楽データの保存先として選択可能です。
SD-Audio（SA1）	パソコンなどから microSDカードに転送した音楽データが保存されます。
WMA（WMA）	（同上）
移行可能コンテンツ（SB2）	FOMA端末からmicroSDカードに移動した音楽データが保存されます。
プリインストール（3GP）	音楽データが内蔵されています。
ユーザ作成フォルダ※3（3GP）	INBOXと同様の音楽データの保存先として選択可能です。
Music&Videoチャネル（3GP、MP4）	
配信番組	保存されている番組が表示されます。

データ管理

フォルダ	フォルダ説明
ユーザ作成フォルダ※3	配信番組から移動した番組の保存先として選択可能です。
ｉモーション	
INBOX （MP4）	カメラで撮影した動画、サイトやメールから取得した動画／ｉモーションの保存先として選択可能です。 microSDカードからコピー･移動したり、赤外線通信などで転送された動画／ｉモーションは自動的にこのフォルダに保存されます。
カメラ （MP4）	INBOXと同様の動画／ｉモーションの保存先として選択可能です。 キャラ電撮影した動画は自動的にこのフォルダに保存されます。
シークレットフォルダ※2 （MP4）	ほかの人に見られたくない動画／ｉモーションを保管します。
ユーザ作成フォルダ※3 （MP4）	INBOXと同様の動画／ｉモーションの保存先として選択可能です。
microSD（MP4、ASF（再生のみ））：SDビデオ※4 microSD（MP4、ASF（再生のみ））：マルチメディア※5	撮影した動画、FOMA端末からコピーした動画／ｉモーション、パソコンなどからmicroSDカードに保存した動画が保存されます。
移行可能コンテンツ （SB1）	FOMA端末からmicroSDカードに移動した動画／ｉモーションが保存されます。
プログラム （－）	動画プログラム再生に利用するフォルダです。→P.310
メロディ	
INBOX （SMF、MFi）	サイトやメール、バーコードリーダーから取得したメロディの保存先として選択可能です。 microSDカードからコピーしたり、赤外線通信などで転送されたメロディは自動的にこのフォルダに保存されます。
プリインストール（MFi）	メロディや効果音が内蔵されています。
ユーザ作成フォルダ※3 （SMF、MFi）	INBOXと同様のメロディの保存先として選択可能です。
おしゃべり （－）	「おしゃべり機能」で録音した音声は自動的にこのフォルダに保存されます。

フォルダ	フォルダ説明
microSD （SMF、MFi）	FOMA端末からコピーしたり、パソコンなどから microSDカードに保存したメロディが保存されます。
プログラム （－）	メロディプログラム再生に利用するフォルダです。→P.318
マイドキュメント（PDF）	
INBOX	PDFデータが内蔵されています。サイトやメールから取得したPDFデータの保存先として選択可能です。microSDカードからコピーしたり、赤外線通信などで転送されたPDFデータは自動的にこのフォルダに保存されます。
ユーザ作成フォルダ※3	INBOXと同様のPDFデータの保存先として選択可能です。
microSD	FOMA端末からコピーしたPDFデータ、パソコンなどからmicroSDカードに保存したPDFデータが保存されます。
きせかえツール（UCM、UCP）	
パッケージが内蔵されています。サイトから取得したパッケージは自動的にこの項目に保存されます。	
マチキャラ（MMD、CFD）	
INBOX	マチキャラが内蔵されています。 サイトから取得したマチキャラの保存先として選択可能です。
ユーザ作成フォルダ※3	INBOXと同様のマチキャラの保存先として選択可能です。
キャラ電（AFD）	
キャラ電が内蔵されています。サイトから取得したキャラ電は自動的にこの項目に保存されます。	
PC動画（WMA、WMV、ASF）	
SD-PC動画	パソコンなどから microSDカードに保存したり、フルブラウザから取得したPC動画が保存されます。
ワンセグ	
イメージ（JPEG）：INBOX	ワンセグで録画した静止画は自動的にこのフォルダに保存されます。
イメージ（JPEG）：ユーザ作成フォルダ※3	INBOXから移動した静止画の保存先として選択可能です。
ビデオ（MPEG2-TS）：microSD	ワンセグで録画したビデオが保存されます。

データ管理

フォルダ	フォルダ説明
マンガ・ブックリーダー	
INBOX（XMDF、TEXT）	サイトから取得した電子書籍／電子コミックデータの保存先として選択可能です。
プリインストール（XMDF）	電子書籍データが内蔵されています。
ユーザ作成フォルダ※3（XMDF、TEXT）	INBOXと同様の電子書籍／電子コミックデータの保存先として選択可能です。
移行可能コンテンツ（SB3）	FOMA端末からmicroSDカードに移動した電子書籍／電子コミックデータが保存されます。
ドキュメントビューア	
microSD（Word、Excel、PowerPoint）	メールから取得したり、パソコンなどからmicroSDカードに保存したドキュメントが保存されます。

※1：デコメ®絵文字のみ保存できるフォルダです。
※2：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。
※3：「フォルダ追加」で20個まで作成できます。「フォルダ追加」時にフォルダ名を入力します。あとで「フォルダ名編集」で変更することもできます。
※4：映像付きの動画／iモーションが保存されます。
※5：映像のない音声のみの動画／iモーション（AAC形式の音楽データを含む）が保存されます。

保存した画像を表示する〈マイピクチャ〉

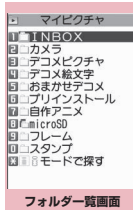
撮影した静止画やダウンロードした画像などは、データBOXのマイピクチャ（イメージビューア）で表示します。

1 MENU ▶「DATA BOX」▶「マイピクチャ」

マイピクチャのフォルダ内容について→P.298

■ ワンセグで録画した静止画を表示する場合
▶ MENU ▶「DATA BOX」▶「ワンセグ」▶「イメージ」

フォルダ一覧画面

機能メニュー ➡P.331

2 フォルダを選択

■ iモードで画像を検索する場合
▶「iモードで探す」▶「YES」

画像一覧画面

機能メニュー ➡P.303

3 画像を選択

■ FOMA端末を閉じた場合
自動的に横画面表示になります。

マイピクチャ画面

機能メニュー ➡P.303

おしらせ

- 以下の画像は表示できません。
  - 2Mバイトを超える画像
  - 横または縦の最大が2,592ドットを超えるか、総ドット数が2,592×1,944ドットを超える画像
  - 総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式、GIF形式の画像
- 拡大表示をしているとき、[左右]で前または次の画像の切り替えや、機能メニューの表示はできません。
- 自作アニメ、GIF形式のアニメーション、Flash画像は拡大表示できません。
- Flash画像を再生する際の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります（「ステップ」に設定している場合は「レベル2」）。

● マイピクチャ画面のボタン操作

ボタン操作	動作
[左右]	前／次の画像へ
[■] [🔍⇔戻る]	拡大表示／元のサイズの切り替え [拡大表示中の操作] [i]［＋］／[✉]［－］：押すたびに1段階ずつ拡大／縮小 [ch]［等倍］：等倍表示 [上下左右]：押した方向にスクロール

ボタン操作	動作
[i]［全画面］	全画面モードへの切り替え（通常モードに戻るときも[i]） • 全画面モードでは、縦長画像は縦画面表示、横長画像は横画面表示になります。
[✉]［削除］	表示中の画像を削除

■タッチセンサー操作（閉じているとき）

タッチ操作	動作
〈〉	前／次の画像へ

●閉じているときに[i]（1秒以上）でマイピクチャを終了できます。

クイックアルバムで画像を表示する

JPEG形式の画像はマイピクチャだけでなくクイックアルバム（アルバムビューア）で表示することもできます。クイックアルバムでは、表示画像を手動で切り替えるだけでなく自動再生（フォトスライドショー）することもできます。

●クイックアルバムで表示されるのは、マイピクチャの「INBOX」「カメラ」「ユーザ作成フォルダ」およびmicroSDの「ピクチャ」に保存されているJPEG形式の画像です。

1 [MENU]▶「DATA BOX」▶「マイピクチャ」▶[i]［ ］

■起動方法による画像の表示順序の違い

画像の表示順序はクイックアルバムの起動方法によって以下のように異なります。なお、同一フォルダ内では、日付の新しい順で表示されます。

［マイピクチャ、クイックメニュー（P.41）から起動した場合］

①INBOX、②カメラ、③ユーザ作成フォルダ、④microSDの「ピクチャ」

［カメラから起動した場合］→P.227

①画像保存先選択で設定されたフォルダ、②カメラ、③INBOX、④ユーザ作成フォルダ、⑤microSDの「ピクチャ」

おしらせ

●マイピクチャで表示できない画像（画像サイズやファイルサイズ制限など）でも、クイックアルバムでは表示できる場合があります。

●フォトスライドショーの画像切り替え時間は約2秒で、変更できません。

●フォトスライドショー表示中は省電力モードになりません。

● クイックアルバムのボタン操作

■手動再生時のボタン操作

ボタン操作	動作
[◀▶]	前／次の画像へ
[▲▼]	押すたびに1段階ずつ拡大／縮小 ［拡大表示中の操作］ [1]～[9]:以下の方向にスクロール 1 2 3 4 ■ 6 7 8 9 [■]［元のサイズ］：元のサイズへ
[✉]［スライド⇒フェード⇒キューブ⇒RGB］	押すたびに、画像切り替え時の効果を以下のように変更 スライド：左右にスライド フェード：フェードイン／アウト キューブ：キューブ状に回転 RGB：赤・緑・青に分解して回転
[i]［顔サーチ］	顔を検出し、ズームアップ • 複数の顔を検出した場合、[i]を押すたびに切り替わります。
[ch]［AUTO］	自動再生（フォトスライドショー）開始

■自動再生時のボタン操作

ボタン操作	動作
[CLR]	自動再生（フォトスライドショー）終了
[ch]	一時停止／再生を再開

■タッチセンサー操作（閉じているとき）

タッチ操作	動作
〈〉	前／次の画像へ
■	自動再生（フォトスライドショー）／手動再生の切り替え

●閉じているときに[i]（1秒以上）でクイックアルバムを終了できます。

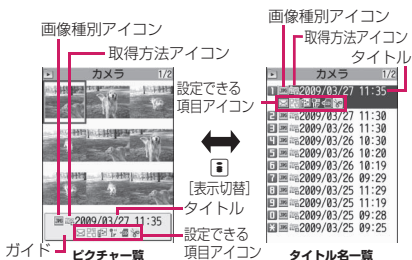
ピクチャー覧／タイトル名一覧の見かた

● 画像一覧の表示のしかたを設定する

〈ピクチャ表示設定〉

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ディスプレイ」▶「ピクチャ表示設定」▶「ピクチャー覧」または「タイトル名一覧」

● ピクチャー覧／タイトル名一覧の見かた

- 画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.302
- タイトル、ファイル名について→P.303

※ 自作アニメは常にタイトル名一覧で表示されます。

■画像種別アイコン

アイコン	説明
	JPEG形式の画像
	GIF形式の画像
	GIF（IFM）形式のフレーム、マーカースタンプ
	SWF形式のFlash画像
	MP4形式の動画、ｉモーション
（青色の音符）	音響効果のあるMP4形式のｉモーション
（オレンジ色の音符）	ASF形式のｉモーション
	MP4形式の再生制限ありのｉモーション
	音響効果があり、再生制限ありのMP4形式のｉモーション
	部分的に取得したｉモーション、マチキャラ
（緑色の音符）	FOMA端末（本体）に移動可能なｉモーション
（青色の音符）	音響効果があり、FOMA端末（本体）に移動可能なｉモーション
	FOMA端末（本体）への移動が禁止されているｉモーション
	AFD形式のキャラ電
	ワンセグで録画したビデオ
	マチキャラ
	FOMAカードセキュリティ機能に該当している画像

：ファイル制限が設定されていたり、メールへの添付、FOMA端末外への出力が禁止されているデータ

：再生制限付きのｉモーション（再生回数・期間・期限を過ぎると「」が「」になります）

：ｉモーション保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

：ｉモーション保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	プリインストールデータ
	サイトやメール、トルカなどからダウンロードしたり、ｉアプリから取得したデータ
	カメラで撮影したデータ
	赤外線通信やｉC通信、microSDカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したデータ
	ダウンロードしたフレーム、マーカースタンプ
	キャラ電撮影したデータ
	ワンセグで録画したデータ
	PDFデータから画面切り出しして取得したデータ

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
(Q VGA)	QVGAサイズの動画／ｉモーションデータ（ｉモーションの各フォルダでのみ表示可）
(VGA)	VGAサイズの動画／ｉモーションデータ（ｉモーションの各フォルダでのみ表示可）
(✉)	ｉモードメールに添付できるデータ（2Mバイト以下）
(デコ)	デコメール®に挿入できるデータ
	画面などに設定できるデータ
	着信音に設定できるデータ
	位置情報が利用できるデータ
(Ir)	赤外線送信、ｉC送信が可能なデータ
(SD)	microSDカードにコピー可能なデータ
	編集可能なデータ
	microSDカードに移動可能なｉモーションデータ
	10Mバイト超（10Mバイトは含みません）のデータ（microSDフォルダでのみ表示可）

：ｉモーション保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

：ｉモーション保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

■タイトル、ファイル名について

- 撮影した静止画や動画には自動的にタイトルとファイル名が付きます。
  タイトル　：yyyy/mm/dd　hh:mm（年／月／日　時刻※）
  ファイル名：yyyymmddhhmmxxx
  └ 年月日時刻※
  （静止画の場合、xxxの部分に3桁の数字が付きます）
  ※：静止画は保存を完了した時刻、動画は撮影を終了した時刻になります。ただし、「自動保存設定」が「OFF」の場合は、動画を保存した時刻になります。
- ダウンロードしたｉモーションやキャラ電にはオリジナルのタイトルが付きます。
- ダウンロードした画像にはファイル名と同じタイトルが付きます。
- ワンセグで録画したビデオや静止画のタイトル、ファイル名について→P.243
- タイトルはFOMA端末の画像一覧画面に表示される名前です。
- ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示される画像データの名前です。
- ファイル名に不正な文字があるときは、ファイル名は「imagexxx」あるいは「moviexxx」となります。

■ファイル制限について

撮影した静止画や動画またはメロディをメールに添付して送信したとき、受信者のFOMA端末から再配布（添付、転送）できるかどうかを設定します。「なし」に設定すると、受信者は自由に再配布できますが、「あり」に設定すると、再配布はできなくなります。

- 保存後もファイル制限の設定を変更することができます。→P.304、310、317

機能 画像一覧画面（P.300）／マイピクチャ画面（P.300）

●選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

イメージ編集→P.307

タイトル編集※1

イメージ表示※1……画像を表示します（マイピクチャ画面を表示します）。

イメージ貼付……画像を待受画面などに設定します。設定した項目には「★」が表示されます。
「画面の表示を変える」→P.100
「テレビ電話中に送信する画像を設定する」→P.75

イメージ情報……画像のファイル名、保存日時などを表示します。

位置情報

地図を見る……「地図設定」（P.269）で設定したｉアプリ（位置情報を利用できるｉアプリ）が起動します。

メール貼り付け※2……ダウンロード画像などに付加されている位置情報URLを本文に貼り付け、ｉモードメールを作成します。

対応ｉアプリを利用……位置情報利用に対応したｉアプリ（位置情報を利用できるｉアプリ）の一覧を表示します。

電話帳登録……ダウンロード画像などに付加されている位置情報を電話帳に登録します。

電話帳から付加、マイプロフィールから付加、画像から付加……電話帳、マイプロフィール、他の画像に登録されている位置情報を画像に付加します。

位置情報詳細……画像に付加されている位置情報を確認します。

位置情報削除……画像に付加されている位置情報を削除します。

iモードメール作成※2……静止画を添付するか本文内に挿入するかを選択してiモードメールを作成したり、ブログ投稿用のメールを作成します。
→P.305

iC送信→P.337

赤外線送信、IrSS→P.336

画像表示設定※3……画像表示サイズを「標準(画像サイズ)、画面サイズで表示」から選択します。

通常モード⇔全画面モード※3……「全画面モード」の場合、縦長画像はそのままの向きで表示されますが、横長画像は、右に90度回転させて表示されます。「通常モード」の場合、縦長画像・横長画像ともに、そのままの向きで表示されます。

デスクトップ貼付→P.109

microSDへコピー→P.325

電話帳イメージ登録……画像を電話帳に登録します。→P.81

ファイル名編集※1……半角の英字、数字と記号("-"、"_"のみ)で入力します。

ファイル制限※1……保存した静止画を再配布できるかどうかを設定します。→P.303

フォルダ移動※1……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、画像をほかのフォルダに移動します。

保存容量確認※1

ソート※1……選択した条件に従って画像を並び替えます。

タイトル名一覧⇔ピクチャー覧※1……タイトル名一覧、ピクチャー一覧を切り替えます。

4枚画像合成※1→P.306

リトライ※3……アニメーションを表示しているとき、そのアニメーションを最初から再生します。

お預りセンターに保存※1→P.134

削除※1……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

1件削除※3

アイコン常時表示設定※3……「全画面モード」で表示したときのアイコン表示を切り替えます。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※1※4……「各種データを表示できないようにする」→P.121

本体へコピー※5→P.326

DPOF設定※5→P.330

コピー※1※5……「microSDカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.326

※1：画像一覧画面でのみ利用できます。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※3：マイピクチャ画面でのみ利用できます。
※4：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。
※5：microSDカードに保存されている画像のときのみ利用できます。

おしらせ

<タイトル編集>
- microSDカードの空きデータ容量が少ないときは、タイトル編集できない場合があります。
- 内蔵されている画像はタイトル編集できません。

<イメージ貼付>
- INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像の場合は、以下の画面に設定できます。
  - 待受画面、ウェイクアップ表示
  - 電話・テレビ電話の発信/着信
  - メールの送信/受信/問い合わせ/受信結果
  - テレビ電話の応答保留/通話中保留/代替画像/伝言メモ/伝言準備/音声メモ※

  ※：画像の種類によっては設定できない場合があります。
- 以下の画像はイメージ貼付できません。
  - 横または縦が854ドットより大きな画像
  - ファイル容量が100Kバイトを超える画像(待受画面、ウェイクアップ表示を除く)

<通常モード/全画面モード>
- GIF形式のアニメーション、SWF形式の画像は、通常モードと全画面モードを切り替えても表示は変わりません。

<電話帳イメージ登録>
- 以下の画像は登録できません。
  - 横または縦が854ドットより大きな画像
  - ファイル容量が100Kバイトを超える画像
- JPEG形式、GIF形式以外の画像は登録できません。

<ファイル名編集>
- 以下の画像はファイル名編集できません。
  - 内蔵されている画像
  - 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画
  - FOMA端末外への出力が禁止されている画像
- ファイル名に半角スペースを使用することはできません。

おしらせ

<ファイル制限>
- 以下の画像はファイル制限を設定できません。
  - JPEG形式、GIF形式以外の画像
  - 「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した静止画
  - ｉモードサイトなどから取得し、編集していない画像
  - FOMAカードセキュリティ機能が設定された画像
  - FOMA端末外への出力が禁止されている画像

<ソート>
- 「ファイル取得元順」を選択した場合、以下の順にソートされます。
  ①ダウンロードしたり、ｉアプリやトルカから取得した画像
  ②カメラで撮影した静止画
  ③赤外線通信やｉC通信、microSDカードなどで取得した画像
  ④キャラ電撮影した画像
  ⑤PDFデータから切り出した画像
  ⑥お買い上げ時に登録されている画像

● 画像を添付または挿入してｉモードメールやデコメール®を作成する

保存した静止画やカメラで撮影した静止画をｉモードメールに添付したり、デコメール®の本文に挿入したり、ブログ投稿用のメールを作成します。

1 画像一覧画面（P.300）またはフォトモード確認画面（P.220）▶ch［機能］▶「ｉモードメール作成」▶以下の項目から選択

画像添付……横240×縦320、横320×縦240ドット以下の画像はそのままｉモードメールに添付します。これより大きな画像は添付方法を以下の項目から選択します。

そのまま添付……画像サイズを変更しないで、そのまま添付します。

QVGA縮小添付……画像の縦横の比率を保持したまま、横240×縦320、横320×縦240ドット以下のサイズに縮小して添付します。

VGA縮小添付……画像の縦横の比率を保持したまま、横640×縦480、横480×縦640ドット以下のサイズに縮小して添付します。

画像挿入……横96×縦128、横128×縦96ドット以下の画像、ファイル容量が90Kバイト以下の画像はそのままデコメール®の本文に挿入します。これより大きな画像は挿入方法を以下の項目から選択します。

そのまま挿入……画像サイズを変更しないで、ファイル容量を90Kバイト以下に変換して挿入します。ただし、変換しても90Kバイトを超える画像の場合は選択できません。

SubQCIF縮小挿入……画像の縦横の比率を保持したまま、横96×縦128、横128×縦96ドット以下のサイズに縮小して挿入します。ファイル容量が最大容量を超える場合は、ファイル容量も変更します。

ブログ投稿……横240×縦320、横320×縦240ドット以下の画像はそのままブログに投稿されます。これより大きな画像は投稿方法を以下の項目から選択します。

そのまま添付……画像サイズを変更しないで、そのまま投稿します。

QVGA縮小添付……画像の縦横の比率を保持したまま、横240×縦320、横320×縦240ドット以下のサイズに縮小して投稿します。

VGA縮小添付……画像の縦横の比率を保持したまま、横640×縦480、横480×縦640ドット以下のサイズに縮小して投稿します。

2 処理された画像を確認▶■［確定］

「そのまま添付」「そのまま挿入」を選択した場合、およびカメラで撮影した静止画では本操作はありません。

3 メールを作成

ｉモードメールの作成／送信のしかた→P.138
デコメール®の作成／送信のしかた→P.140

おしらせ

- 「ブログ・メールメンバー」でブログ投稿先アドレスが設定されていると、「ブログ投稿」でメール作成するときに宛先が自動で入力されます。
→P.147

● 4枚の画像を1枚の静止画に合成する

- ●横もしくは縦が、横352×縦288ドットより大きな画像は設定できません。ただし、以下のサイズは設定できます。
  - • VGA（640×480）、VGA縦（480×640）
  - • フルスクリーン（240×427）
  - • CIF縦（288×352）
  - • QVGA縦（240×320）

1 画像一覧画面（P.300）▶ch［機能］▶「4枚画像合成」

2 配置する位置を選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して4枚の画像を選択

■ 設定した画像を解除する場合
▶解除する画像を選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」

3 ✉［完了］▶■［保存］

■ 4枚合成をし直す場合
▶✉［取消］

アニメーションを作成する 〈自作アニメ〉

登録されている画像を使って20フレームまでのアニメーションを作成します。

- ●横854×縦854ドット以下のJPEG形式の静止画や画像を自作アニメに設定できます。
- ●20件まで作成できます。

1 MENU▶「DATA BOX」▶「マイピクチャ」▶「自作アニメ」

自作アニメ一覧画面

機能メニュー➡P.306

2 「<未登録>」

3 フレームを選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して画像を設定

■ 設定した画像を解除する場合
▶解除するフレームを選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」

4 ✉［完了］

機能 自作アニメ一覧画面（P.306）

タイトル編集

自作アニメ設定……「<未登録>」を反転しているときは、自作アニメを新規登録します。
作成した自作アニメを反転しているときは、その自作アニメを編集します。

イメージ表示……自作アニメを再生します（自作アニメ再生画面を表示します）。

イメージ貼付……自作アニメを設定する項目を選択します。

イメージ情報……イメージ貼付で設定した自作アニメの設定先を確認します。

自作アニメ解除

自作アニメを表示する

1 自作アニメ一覧画面（P.306）▶自作アニメを選択

自作アニメを2つ以上登録しているときは、⊡で前または次の自作アニメを再生できます。

自作アニメ再生画面

機能メニュー➡P.306

機能 自作アニメ再生画面（P.306）

イメージ貼付……画像を設定する項目を選択します。

画像表示設定……画像表示サイズを「標準、画面サイズで表示」から選択します。

リトライ……アニメーションを最初から再生します。

静止画を編集する 〈イメージ編集〉

撮影した静止画などを編集します。

- 編集できる画像サイズは以下のとおりです。
  [フレーム合成]
  - 854×480、480×854ドット
  - 640×480、480×640ドット
  - 352×288、288×352ドット
  - 320×240、240×320ドット
  - 427×240、240×427ドット
  - 176×144、144×176ドット
  - 128×96、96×128ドット

  [フォトレタッチ、逆光補正、肌色補正]
  - 854×480、480×854ドット以下

  [マーカースタンプ、文字スタンプ、トリミング、明るさ、回転、サイズ変更]
  - 2,592×1,944、1,944×2,592ドット
  - 2,304×1,728、1,728×2,304ドット
  - 2,048×1,536、1,536×2,048ドット
  - 1,920×1,080、1,080×1,920ドット
  - 1,616×1,212、1,212×1,616ドット
  - 1,600×1,200、1,200×1,600ドット
  - 1,280×960、960×1,280ドット
  - 854×480、480×854ドット以下
  - ただし、854×480、480×854ドットより大きい画像は編集前に640×480、480×640ドットに縮小されます。

※ 上記の記載で編集可能としている画像サイズでも、編集項目によっては編集できない場合もあります。編集できるのは「✂」の付いた画像のみです。なお、編集できないメニューは選択できません。

- フォトモード確認画面の機能メニューで「画像編集」を選択した場合、編集できるのは「フレーム合成」「フォトレタッチ」「肌色補正」「逆光補正」のみです。

1 マイピクチャ画面（P.300）▶ch[機能]▶「イメージ編集」▶以下の項目から選択

フレーム合成→P.308

フォトレタッチ……画像に効果を付けます。

　シャープ……よりシャープな感じの画像にします。

　ソフト……よりソフトな感じの画像にします。

　セピア……セピア調の画像にします。

　浮き彫り……レリーフのような浮き彫り効果のある画像にします。

　ネガ……ネガ画像にします。

　ミラー……左右を反転した画像にします。

マーカースタンプ→P.308

文字スタンプ→P.308

トリミング……一定の大きさに切り出します。
▶切り抜くサイズを選択▶✥で切り抜き枠の位置を調整▶■［確定］

明るさ……⇔で画像の明るさを「−2〜±0〜+2」の5段階で調節します。

回転……画像を回転させる角度を、「右90度、左90度、180度」から選択します。

サイズ変更……変更する画像サイズを選択します。縦横の比率を保ち、選択したサイズを超えない最大のサイズに拡大、縮小されます。

逆光補正……逆光により暗くなっている部分をはっきりとした画像にします。

肌色補正……肌色の部分を補正し、きれいな画像にします。

iモードメール作成※1※2→P.305

保存※1……編集した画像を保存します。

※1：画像編集後に利用できる機能です。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

2 編集後の画像を確認▶■［確定］

3 ■［保存］▶「YES」または「NO」

「YES」を選択したときは、編集元の画像に上書きされます。
「NO」を選択したときは、編集元の画像と同じフォルダに新規保存されます。

おしらせ

- 編集を繰り返して行うと、画質が劣化したり、ファイル容量が増える場合があります。
- 画像を編集し、続けてその画像を添付したメールを作成して送信すると、編集した画像はデータBOXに保存されません。送信メール詳細画面で画像を保存できます。→P.152

● フレームを重ねる

●内蔵されているフレームのほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

1 マイピクチャ画面（P.300）▶ch［機能］▶「イメージ編集」▶「フレーム合成」▶フレームを選択

フレームが重なった画像が表示されます。
でほかのフレームに変更することができます。

■ フレームを180°回転する場合
▶✉［回転］

■ 設定したフレームを取り消す場合
▶ch［機能］▶「取消」

おしらせ

●トリミングやサイズ変更した画像がフレームと同じサイズのときはフレーム合成できます。

● マーカースタンプを貼り付ける

●内蔵されているマーカースタンプのほかに、ダウンロードしたスタンプを利用することもできます。
●マーカースタンプを回転したり、拡大／縮小することができます。

1 マイピクチャ画面（P.300）▶ch［機能］▶「イメージ編集」▶「マーカースタンプ」▶マーカースタンプを選択

■ マーカースタンプを回転、拡大／縮小する場合
▶ch［機能］▶項目を選択

2 でマーカースタンプの位置を調整▶■［配置］

■ ほかのマーカースタンプを貼り付ける場合
▶✉［追加］▶操作1～2を繰り返す

おしらせ

●ダウンロードして使用できるスタンプのサイズは横240×縦240ドット以下の画像となります。それ以外はGIF画像として扱われます。

● 文字スタンプを貼り付ける

●一度に入力できる最大文字数は全角15文字、半角30文字です。入力できる文字数は画像サイズ、文字サイズによって変わります。
●文字スタンプの色、書体、文字サイズを変更することができます。

1 マイピクチャ画面（P.300）▶ch［機能］▶「イメージ編集」▶「文字スタンプ」▶文字を入力

■ 文字スタンプを編集する場合
▶ch［機能］▶以下の項目から選択

文字入力……入力した文字を編集します。

文字色……色を設定します。
色パレットを切り替えるときは✉［切替］を押します。

書体……「ゴシック体、明朝体」から選択します。

文字サイズ……「拡大サイズ、通常サイズ、縮小サイズ」から選択します。

2 で文字スタンプの位置を調整▶■［配置］

おしらせ

●文字の太さは「フォント設定」で設定した太さになります。

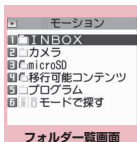
データ管理

動画／iモーションを再生する 〈iモーション〉

撮影した動画、iモードのサイトやインターネットホームページから取得したiモーションを再生します。

1 MENU▶「DATA BOX」▶「iモーション」

iモーションのフォルダ内容について→P.299

フォルダ一覧画面

機能メニュー ➡P.331

2 フォルダを選択

■ iモードでiモーションを検索する場合

▶「iモードで探す」▶「YES」

■ 部分的に取得したiモーションの場合

残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。残りのデータを取得しないと再生ができません。

- 「YES」を選択すると、未取得部分の取得を開始します。
- 「NO」を選択すると動画一覧画面に戻ります。

動画一覧画面（プレビュー表示）

機能メニュー ➡P.309

3 動画を選択

動画の再生がはじまります。

「ミュージックプレーヤー再生画面の見かた」→P.260

「ミュージックプレーヤー再生画面の操作について」→P.261

おしらせ

- N-04A以外で撮影した動画は正しく再生できない場合があります。
- 再生中に着信などがあった場合やCLR、[終話]によって再生を終了した場合は、前回終了位置から再生可能です。ただし、正確な前回終了位置から再生できない場合があります。
- iモーションによってはチャプターを選択して再生することもできます。

プレビュー表示／タイトル一覧の見かた

- 画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.302
- タイトル、ファイル名について→P.303

※音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）などは、プレビューは表示されません。

機能 動画一覧画面（P.309）

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

iモーション編集→P.311

タイトル編集

着信音設定……動画の音声を着信音に設定します。→P.92

待受画面設定……動画を待受画面に設定します。

チャプター一覧……チャプター一覧を表示します。チャプターを選択すると選択したチャプターから再生します。

iモーション情報……iモーションのファイル名、保存日時、microSDカードへの移動可否などを表示します。

iモードメール作成※1……動画を添付し、iモードメールやブログ投稿用のメールを作成します。

iC送信→P.337

赤外線送信→P.336

microSDへコピー→P.325

microSDへ移動→P.327

フォルダ移動……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、動画をほかのフォルダに移動します。

デスクトップ貼付→P.109

ファイル名編集……半角の英字、数字と記号（“-”、“_”のみ）で入力します。

ファイル制限……保存した動画を再配布できるかどうかを設定します。
「ファイル制限について」→P.303

タイトル初期化……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

保存容量確認

ソート……選択した条件に従って動画を並び替えます。

一覧表示切替……動画の一覧表示のしかたを選択します。表示されるメニューはFOMA端末とmicroSDカードでは異なります。

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※2……
「各種データを表示できないようにする」→P.121

本体へコピー※3→P.326

本体へ移動※4→P.327

コピー※3……「microSDカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.326

※1：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※2：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ利用できます。
※3：microSDカードに保存されている動画のときのみ利用できます。
※4：移行可能コンテンツフォルダに保存されている動画のときのみ利用できます。

おしらせ

<着信音設定>
- 着信音設定が「可」の動画やｉモーションのみ設定できます。着信音設定の「可／不可」は、「ｉモーション情報」で確認できます。
- 以下の場合は着信音に設定できません。
  - 音声がない動画やｉモーション
  - 再生制限ありのｉモーション
  - QVGA（320×240）より大きく、VGA（640×480）以下のサイズの動画
- VGA（640×480）を超える動画を着信音に設定した場合、設定した画面でｉモーションの画像は表示されません。

<待受画面設定>
- 以下の場合は待受画面に設定できません。
  - 音声だけの動画やｉモーション
  - 再生制限ありのｉモーション
  - QVGA（320×240）より大きいサイズの動画

<ブログ投稿>
- 「ブログ・メールメンバー」でブログ投稿先アドレスが設定されていると、「ブログ投稿」でメール作成するときに宛先が自動で入力されます。
→P.147

おしらせ

<ソート>
- 「ファイル取得元順」を選択した場合、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンの動画やｉモーションは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
  ①ダウンロードしたり、ｉアプリから取得したｉモーション
  ②カメラで撮影した動画
  ③赤外線通信やｉC送信、microSDカードなどで取得した動画
  ④キャラ電撮影した動画

● 動画を好きな順に再生する
〈動画プログラム再生〉

お好きな動画やｉモーションを25件まで選んで登録しておき、複数の動画を連続して再生します。
- プログラムフォルダは5つあります。

1 フォルダ一覧画面（P.309）▶「プログラム」を選択

2 登録するプログラムフォルダを反転▶ch［機能］▶「プログラム編集」

■ プログラムを解除する場合
▶「プログラム解除」▶「YES」

3 登録する番号を選択▶フォルダを選択▶動画を選択▶操作を繰り返して登録

■ 登録した動画を解除する場合
▶解除したい動画を選択▶フォルダ選択画面で「ムービー解除」▶「YES」

4 ✉［完了］

ｉモーションのプログラムフォルダ一覧画面が表示されます。
プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録した動画が繰り返し再生されます。

動画を編集する 〈iモーション編集〉

●「✂」の付いた動画のみ編集できます。

<例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの動画一覧画面>

1 動画一覧画面（P.309）▶ch［機能］▶「iモーション編集」

iモーション編集画面

2 ch［機能］▶以下の項目から選択

iモーション切り出し→P.311

iモードメール作成※……動画を添付し、iモードメールやブログ投稿用のメールを作成します。

ファイル制限……「iモーション切り出し」した動画を再配布できるかどうかを設定します。「ファイル制限について」→P.303

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

- 動画編集中は、マルチタスク機能を利用できません。
- 編集によって画質が劣化する場合があります。
- 「ブログ・メールメンバー」でブログ投稿先アドレスが設定されていると、「ブログ投稿」でメール作成するときに宛先が自動で入力されます。→P.147

● 動画の一部を切り出す

1 iモーション編集画面（P.311）▶ch［機能］▶「iモーション切り出し」

2 「任意サイズ」または「500KB」▶✉［始点］

切り出しが開始されます。

■ 途中の場面から切り出す場合

▶■［再生］▶切り出しをはじめたい場面で■［停止］▶✉［始点］

3 切り出したい最後の場面で■［停止］▶✉［終点］

■「500KB」を選択している場合

500Kバイトに到達すると自動的に停止し、操作5に進みます。

4 切り出した動画が再生される

再生が終わったら自動的に停止します。

5 ■［確定］▶■［保存］▶「YES」

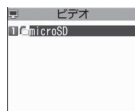
おしらせ

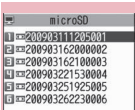
- QCIF（176×144）より大きなサイズの動画は切り出しできません。

ビデオを再生する 〈ビデオプレーヤー〉

ワンセグで録画したビデオなどは、ビデオプレーヤーで再生します。

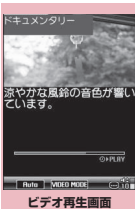
1 MENU▶「DATA BOX」▶「ワンセグ」▶「ビデオ」

ビデオのフォルダ内容について→P.299

フォルダ一覧画面

2 microSDフォルダを選択

ビデオ一覧画面
（プレビュー表示）

機能メニュー➡P.312

3 ビデオを選択

ビデオの再生がはじまります。

ビデオ再生画面

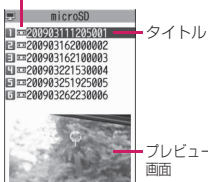
機能メニュー➡P.313

データ管理

おしらせ

- ●ビデオの種類によっては正しく再生されない場合があります。
- ●市販のBluetooth機器を利用して、ビデオの音声をBluetooth機器から再生できます。→P.375

プレビュー表示／タイトル一覧の見かた

- ●画像種別アイコンについて→P.302
- ●タイトル、ファイル名について→P.243

プレビュー表示　　タイトル一覧

機能 ビデオ一覧画面（P.311）

タイトル編集

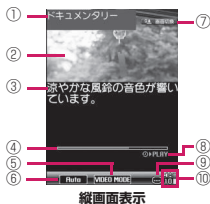
情報表示……ビデオの番組名、録画日時などを表示します。

1件削除、全削除、複数選択、保存容量確認

一覧表示切替……ビデオ一覧画面の表示のしかたを選択します。

タイトル初期化……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

ビデオ再生画面の見かた

- ●FOMA端末を閉じた場合は、自動的に横画面表示になります。

縦画面表示

横画面表示

① 番組タイトル

② 映像

③ 字幕

④ 再生位置表示

現在の再生位置を表示します。一時停止中に機能メニューから「再生位置選択」を選択し、[左右キー]でマーカーを移動して[■]［確定］を押すと、その位置から再生します。

⑤ VIDEO MODE

「VIDEO MODE」固定表示

⑥ ワンセグ効果（音響効果）

- OFF：音響効果OFF
- CS5.1ch：CS5.1ch（イヤホン接続時のみ有効）
- Auto：オート
- Live／Concert／Drama／Sports／News／Variety／Movie：各ジャンル向け
- Manner：音漏れ低減

⑦ ガイド表示

開いているとき：[9]（1秒以上）のガイダンス
閉じているとき：[9]（1秒以上）とタッチセンサー[■]のガイダンス

⑧ 再生状態

- PLAY：再生中
- PAUSE：一時停止中
- 1.3：早見再生（1.3倍速）中

⑨ 字幕あり／なし
字幕情報が含まれているときは[字幕アイコン]が表示されます。
⑩ 音量
ボリュームのレベルを0～20で表示します。
⑪ 音響効果が有効なときに表示（設定することはできません）

ビデオ再生中の操作について

ボタン操作	動作
[決定キー]	一時停止／再生を再開
[上下キー]	音量調節
[消音キー]	消音（ミュート）
[左キー]	1.3倍速で早見再生／通常再生に戻る
[右キー]	1.3倍速で早見再生／通常再生に戻る 一時停止中はコマ送り
[左キー]（1秒以上）	30秒スキップ戻し※
[右キー]（1秒以上）	30秒スキップ送り※
9（1秒以上）	「縦画面表示」⇔「横画面表示」の切り替え
[通話キー]（1秒以上）	字幕表示設定ON／OFFの切り替え
[メールキー]	ワンセグ効果（音響効果）の設定
CLR	終了

※：再生時間が30秒未満の場合は操作できません。

■タッチセンサー操作（閉じているとき）

タッチ操作	動作
[＜][＞]	音量調節
[＜]（1秒以上）	30秒スキップ戻し
[＞]（1秒以上）	30秒スキップ送り
[□]	一時停止／再生を再開

●閉じているときに[サイドキー]（1秒以上）でビデオプレーヤーを終了できます。

機能 ビデオ再生画面（P.311）

情報表示……ビデオの番組名、録画日時などを表示します。

字幕表示設定※……字幕の表示方法を「ON（横全画面：下）、ON（横全画面：上）、OFF」から選択します。

通常再生、早見再生（1.3倍速）、停止

再生位置選択……再生位置表示を[左右キー]で調節し、再生位置を選択します。

ワンセグ効果※→P.246（ユーザ設定の項目）

主／副音声設定……音声の出力方法を「主音声、副音声、主／副同時」から選択します。

アイコン常時表示設定※……横画面表示で、再生位置表示やワンセグ効果などのアイコンを常時表示するかどうかを設定します。

※：設定内容はワンセグの同機能にも反映されます。

おしらせ

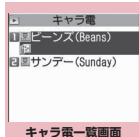
＜早見再生（1.3倍速）＞
●早見再生中は、音声が聞き取りにくい場合があります。

キャラ電

キャラ電を表示して操作する

テレビ電話で、相手のFOMA端末にカメラ映像の代わりにキャラクタを代替画像として送信できます。
●キャラ電をダウンロードする→P.190
●キャラ電によっては、送話口からの音声に合わせて口に動きを与えるものもあります。

1 MENU ▶「DATA BOX」▶「キャラ電」▶キャラ電を選択

■ キャラ電の一覧／表示画面

キャラ電一覧画面
機能メニュー➡P.314

キャラ電画面
機能メニュー➡P.314

2 キャラ電を操作する
• ボタン操作によりキャラ電を操作することができます。
• [＊] を押して使用可能なアクションを確認することができます。
• アクション名の右にある「1」や「#1」のダイヤルボタンを押してアクションを再生します。

■ アクションモードを切り替える
▶[メールキー]［パーツ⇔全体］

[アイコン]：パーツアクションモード
[アイコン]：全体アクションモード

機能 キャラ電一覧画面（P.313）／キャラ電画面（P.313）

キャラ電発信……キャラ電を代替画像としてテレビ電話をかけます。
キャラ電発信画面では電話番号の入力以外に[十字キー]を押すと、着信履歴、リダイヤル、電話帳から電話番号を検索できます。

代替画像設定……キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。

キャラ電撮影→P.314

タイトル編集※1

キャラ電切替※2……表示するキャラクタの種類を選択します。

アクション一覧※2……アクションに割り当てられているボタンを表示します。

アクション切替※2……アクションモード（パーツ／全体）を切り替えます。

キャラ電情報……キャラ電のファイル名、保存日時などを表示します。

保存容量確認※1

デスクトップ貼付→P.109

画像表示設定……「等倍表示、画面サイズで表示」から選択します。

タイトル初期化※1……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

削除※1……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1：キャラ電一覧画面でのみ利用できます。
※2：キャラ電画面でのみ利用できます。

キャラ電を静止画／動画として保存する〈キャラ電撮影〉

1 キャラ電画面（P.313）▶ch［機能］▶「キャラ電撮影」

＜静止画＞
▶ アクションを操作する
▶■［撮影］

キャラ電撮影画面（静止画）

機能メニュー➡P.315

＜動画＞
▶ch［機能］▶「ムービーモード」▶■［撮影］▶アクションを操作する▶■［終了］

■ 撮影した動画を確認する場合
▶ch［機能］▶「再生確認」

■ 撮影し直す場合
▶CLR

■ 撮影した静止画・動画を添付したｉモードメールを作成する場合
▶[MAIL]［MAIL］
静止画の場合はさらに「画像添付」または「画像挿入」を選択します。

2 ■［保存］

静止画はマイピクチャのカメラフォルダに、動画はｉモーションのカメラフォルダに保存されます。

おしらせ

- 動画撮影時は画像サイズ（QCIF（176×144））を変更できません。
- 動画撮影中にアクション操作をすると、ボタン操作音がマイクから録音される場合があります。

機能 キャラ電撮影画面（P.314）

キャラ電切替、代替画像設定、アクション一覧、アクション切替、画像表示設定→P.314（機能メニュー項目）

ムービーモード⇔フォトモード……ムービーモードとフォトモードを切り替えます。

画像サイズ選択※1……撮影する画像サイズを選択します。メニューに表示される（）内の数字は横×縦のドット数です。

撮影種別設定※2……「映像＋音声、映像のみ」から選択します。

動画保存設定※2

標準……標準の画質、撮影時間で撮影します。

画質優先……よりよい画質で撮影したいときに選択します。撮影時間は標準より短くなります。

時間優先……撮影する時間を長くしたいときに選択します。画質は標準より劣ります。

動き優先……よりスムーズな動きで撮影したいときに選択します。

画像保存設定※1……静止画を撮影するときの画質を「ノーマル、ファイン、スーパーファイン」から選択します。

ファイルサイズ設定※2……「500KB以下、2MB以下」から選択します。

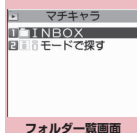
※1：フォトモードでのみ利用できます。
※2：ムービーモードでのみ利用できます。

マチキャラを表示する〈マチキャラ〉

- サイトからのダウンロードについて→P.190
- マチキャラの設定について→P.107

1 MENU▶「DATA BOX」▶「マチキャラ」

マチキャラのフォルダ内容について→P.299

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.331

2 フォルダを選択

■ iモードでマチキャラを検索する場合

▶「iモードで探す」▶「YES」

マチキャラ一覧画面

機能メニュー➡P.316

3 マチキャラを選択

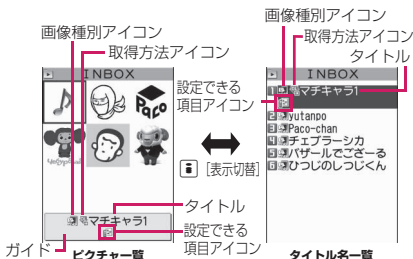
■ 部分的に取得したマチキャラを選択した場合

残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。残りのデータを追加でダウンロードする場合は、メッセージに従って取得操作を行ってください。残りのデータの取得が完了すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。

マチキャラ画面

機能メニュー➡P.316

ピクチャ一覧／タイトル一覧の見かた

●画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.302

機能 **マチキャラ一覧画面（P.315）／マチキャラ画面（P.315）**

設定、解除→P.107

ソート※1……選択した条件に従ってマチキャラを並び替えます。

タイトル一覧⇔ピクチャ一覧※1……タイトル一覧、ピクチャ一覧を切り替えます。

一括情報リセット……「設定経過時間」、「積算通話時間」、「送信／受信メール数」の情報（マチキャラごとに保持）をリセットします。

マチキャラ情報……マチキャラのファイル名、保存日時などを表示します。

タイトル編集※1

タイトル初期化※1……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

保存容量確認※1

フォルダ移動※1……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、マチキャラをほかのフォルダに移動します。

削除※1……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

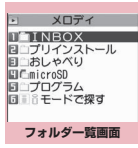
1件削除※2

※1：マチキャラ一覧画面でのみ利用できます。
※2：マチキャラ画面でのみ利用できます。

メロディを再生する 〈メロディ〉

内蔵メロディや効果音、サイトなどからダウンロードしたメロディは、データBOXのメロディで再生します。

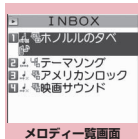
1 MENU▶「DATA BOX」▶「メロディ」

メロディのフォルダ内容について→P.299

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.331

2 **フォルダを選択**

■ｉモードでメロディを検索する場合

▶「ｉモードで探す」
▶「YES」

メロディ一覧画面

機能メニュー➡P.317

3 **メロディを選択**

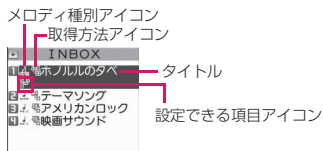
「メロディの再生がはじまります。

メロディ画面

機能メニュー➡P.317

おしらせ

●再生中の音量は、着信音量の「電話」で設定した音量になります（「消去」または「ステップ」に設定されているときは「レベル2」）。

メロディ一覧の見かた

■メロディ種別アイコン

アイコン	説明
	MFi／SMFのメロディ

：ファイル制限が設定されていたり、メールへの添付、FOMA端末外への出力が禁止されているデータ

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	プリインストールされているメロディ
	サイトなどから取得したメロディ
	赤外線通信やｉC通信、microSDカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したメロディ

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	ｉモードメールに添付できるメロディ（2Mバイト以下）
	着信音に設定できるメロディ
	赤外線通信とｉC通信で送信可能なメロディ
	microSDカードにコピー可能なメロディ

■タイトル、ファイル名について

サイトなどから取得したメロディにはオリジナルのタイトルが付きます。
タイトルはFOMA端末のメロディ一覧画面に表示される名前です。
ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示されるメロディデータの名前です。
ファイル名に不正な文字があるときのファイル名は「melodyxxx」（xxx：3桁の数字）になります。
ファイル名の末尾3桁の数字は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号として付けられます。

メロディ再生中の操作について

ボタン操作	動作
	前後の曲の再生
、	音量調節※1※2
0～9、*、#、、、■、	再生の停止
CLR	終了

※1：音量を調節した後、■［確定］を押すか、約2秒間待つとメロディ画面に戻ります。
※2：再生中に音量を変更しても、メロディを終了すると「着信音量」で設定されている音量に戻ります。

機能 メロディ一覧画面（P.316）／メロディ画面（P.316）

●機能メニューはメロディが保存されているフォルダによって変わります。

タイトル編集※1

ファイル名編集※1……半角の英字、数字と記号（“-”、“_” のみ）で入力します。

メロディ再生※1

着信音設定……メロディを設定する項目を選択します。

ファイル制限※1……保存したメロディを再配布できるかどうかを設定します。→P.303

連続再生設定※2……同じフォルダ内のメロディを続けて再生します。

デスクトップ貼付→P.109

ｉモードメール作成※3……メロディを添付し、ｉモードメールを作成します。

ｉC送信※1→P.337

赤外線送信※1→P.336

microSDへコピー→P.325

本体へコピー※4→P.326

メロディ情報……メロディのファイル名、保存日時などを表示します。

保存容量確認※1

コピー※4……「microSDカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.326

タイトル初期化※1……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

ソート※1……選択した条件に従ってメロディを並び替えます。

フォルダ移動※1……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、メロディをほかのフォルダに移動します。

削除※1……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※1：メロディ一覧画面でのみ利用できます。
※2：メロディ画面でのみ利用できます。
※3：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※4：microSDカードに保存されているメロディのときのみ利用できます。

おしらせ

<ファイル名編集>
- ファイル制限が「あり」に設定されているメロディは、ファイル名編集できません。ただし、赤外線通信やｉC通信、OBEX™通信で受信したメロディはファイル名編集できます。

<着信音設定>
- メロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのため着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。データBOXのメロディで再生を行うと、すべてのメロディを再生できます。

<ソート>
- 「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンのメロディは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
  ①ダウンロードしたり、ｉアプリから取得したメロディ
  ②赤外線通信やｉC通信、microSDカードなどで取得したメロディ

● メロディを好きな順に再生する 〈メロディプログラム再生〉

お好きな曲を10曲まで選んで登録しておき、複数の曲を連続して再生します。

1 フォルダ一覧画面（P.316）▶「プログラム」を反転▶ch［機能］▶「プログラム編集」▶登録する番号を選択▶フォルダを選択▶メロディを選択▶操作を繰り返して登録

■ 登録したメロディを解除する場合
▶解除したいメロディを選択▶フォルダ選択画面で「メロディ解除」

2 ✉［完了］

メロディのフォルダ一覧画面が表示されます。プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録したメロディが繰り返し再生されます。

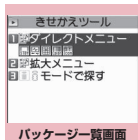
おしらせ

- プログラムに登録されているメロディのタイトルおよびファイル名を変更、またはデータを削除すると、プログラム再生が解除されます。

きせかえツールを管理する 〈きせかえツール〉

サイトからダウンロードしたきせかえツールパッケージの内容を確認します。
- お買い上げ時には「拡大メニュー」「ダイレクトメニュー」が登録されています。
- サイトからのダウンロードについて→P.190

1 MENU▶「DATA BOX」▶「きせかえツール」

■ ｉモードでパッケージを検索する場合
▶「ｉモードで探す」▶「YES」

パッケージ一覧画面

機能メニュー➡P.319

2 パッケージを選択

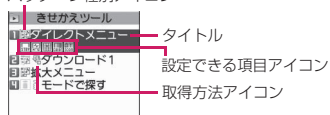
■ パッケージを設定する場合
▶ch［機能］▶「一括設定」
きせかえツールの設定について→P.113

■ 部分的に取得したきせかえツールを選択した場合
データの取得が中断されたなどの理由により、一部のデータしか取得できなかったきせかえツールパッケージを開こうとすると、残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。残りのデータを追加でダウンロードする場合は、メッセージに従って取得操作を行ってください。
残りのデータの取得が完了すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。なお、残りのデータが正しくないと、データの取得は完了できませんが、この場合でも取得操作を行うと、部分的に保存されていた不正なデータは削除されます。

おしらせ

- 着信音など、音に関する項目を確認する場合の再生中の音量は、「着信音量」で設定した音量になります。ただし、ｉモーションは「消去」または「ステップ」に設定されていると「レベル2」の音量で鳴ります。

データ管理

パッケージ一覧の見かた

■パッケージ種別アイコン

アイコン	説明
	すべてのデータが取得されているパッケージ
	一部のデータしか取得できなかったパッケージ
	FOMAカードセキュリティ機能に該当しているパッケージ

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	お買い上げ時に登録されているデータ
	ダウンロードして取得したデータ

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	待受画面、ウェイクアップ表示
	電話発信画面など（待受画面、ウェイクアップ表示以外の画面）
	着信音や時刻アラーム音
	メニュー※
	時計表示
	カラーテーマ
	電池アイコンなどのアイコン
	文字サイズ
	ミュージックプレーヤー再生画面の背景
	イルミネーション

※：フォントが大きいメニューがパッケージに含まれている場合は、「」が一緒に表示されます。

機能 パッケージ一覧画面（P.318）

一括設定→P.113

タイトル編集

きせかえツール情報……パッケージのファイル名、保存日時などを表示します。

タイトル初期化……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

画面／音設定リセット

すべての画面／音……一括設定できる項目（P.113）をお買い上げ時の状態に戻します。

メニュー画面のみ……メニューをお買い上げ時の状態に戻します。

保存容量確認

ソート……指定した条件に従ってパッケージを並び替えます。

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

データ管理

microSDカード

N-04Aでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、8GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています※（2008年12月現在）。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。

※：SD-Jukeboxを利用して音楽データを保存する場合は、2GバイトまでのmicroSDカードをご利用ください。

- ｉモードから
  「みんなＮらんど」への接続のしかた→P.179
- パソコンから
  http://www.n-keitai.com/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

取り扱い上のご注意

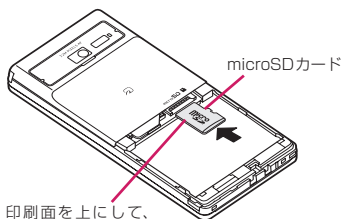
※ フォーマットは必ずN-04Aで行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDカードは、使用できないことがあります。→P.329

- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- microSDカードは、FOMA端末の電源を切った状態で取り付けや取り外しを行ってください。
- microSDカードにラベルやシールを貼らないでください。
- microSDカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMA端末の電源を切り、電池パックを外してから取り付け／取り外しを行ってください。→P.45

1 microSDカードスロットにmicroSDカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

microSDカードの印刷面を上にしてゆっくりとまっすぐに差し込んでください。
完全に奥まで押し込むとロックされます。
microSDカードを取り付け後、電源を入れると、「SD」が表示されます。

■ **取り外す場合**

microSDカードを押し込んで手を放すと、microSDカードが少し出てきます。
※このとき、microSDカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。
microSDカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜きます。

おしらせ

- FOMA端末の電源を入れた状態で取り付けたり取り外したりしないでください。microSDカードに損傷を与えたり、データが壊れることがあります。
- microSDカードを取り付けたり取り外したりするときは、microSDカードが飛び出すことがありますので注意してください。
- microSDカードを取り外した後は、必ず付属の保護ケースに入れて保管してください。ほかの保護ケースで保管すると、microSDカードが使用できなくなる場合があります。
- microSDカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください（斜めに差し込むとカードが破損する恐れがあります）。
- microSDカードを取り付けた後、最初に読み込みや書き込みをする場合は時間がかかることがあります。

microSDカードのフォルダ構成

FOMA端末からmicroSDカードにデータをコピーすると、**別表1**（P.322）のようなフォルダが作成され、データが対応するフォルダに保存されます。また、配下のフォルダ名およびファイル名も**別表1**のように自動的に付与されます。

- パソコンなどからmicroSDカードにデータを書き込む場合も、**別表1**（P.322）のようなフォルダ構成、ファイル名にする必要があります。

おしらせ

- SD_PIMフォルダに複数のデータをコピーした場合は、タイトル名に年月日時分（yyyy/mm/dd hh:mm）が自動的に付与されます。
- パソコンなどからMMFILEフォルダに映像付きの動画を保存することはできますが、FOMA端末で再生できません。
- パソコンなどで編集したファイルをmicroSDカードに保存するとき、**別表1**（P.322）のフォルダ名、ファイル名とは異なる文字を使用すると、本FOMA端末では正しく表示、再生できない場合があります。
- microSDカードのフォーマットなどを行い、SDVIDEO.DATファイル、MMFILE.DATファイルまたはDCIM.DATファイルが削除された場合、microSDカード内の保存先フォルダの設定は解除されます。その際は「画像保存先選択」または「動画保存先選択」で設定し直してください。
- microSDカードのフォルダをパソコンなどで削除したり、移動したりしないでください。
本FOMA端末でmicroSDカードが読めなくなる場合があります。
- ほかの機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、ほかの機器で表示、再生できない場合があります。
- microSDリーダー／ライターおよびPCカードアダプタについては、本FOMA端末で対応しているmicroSDカードとの動作を各メーカにご確認の上お買い求めください。

● microSDカードに保存できる件数について

microSDカードに保存できる件数は、ご使用になるmicroSDカードのメモリ容量によって変わります。1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数および追加できるフォルダの最大件数は以下のとおりです。

フォルダ名	フォルダ最大件数	1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数
DCIM	900件	9,999件
SD_VIDEO PRL PRG	 4,095件 99件	 4,095件 4件
SD_PIM	1件	65,400件
STILL	999件	9,999件
MMFILE	999件	9,999件
DECOIMG	999件	9,999件
OTHER	999件	999件
RINGER	999件	9,999件
TORUCA	999件	999件
DOCUMENT	999件	999件
DICT	1件	999件
MOVIE	999件	999件
DECO_A_T	999件	9,999件
IM_DATA	1件	999件

- microSDカード内のフォルダ・ファイルは約65,400件まで認識できます。
- フォルダを追加して、コピーする場所を変えたりすることによって、より多くのファイルを保存できます。ただし、ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。
- microSDカードの空きデータ容量が不足していると、データをコピーしたり移動することはできません。
- microSDカード内の容量がいっぱいの場合、静止画や画像、動画やｉモーションのフォルダ追加やタイトル編集などはできません。
- 音楽データをFOMA端末からmicroSDカードにコピーすることはできません。
- コピー先／保存先のフォルダ内のファイルが最大件数になっているときは、自動的に新しいフォルダが作成されそのフォルダに保存されます。また機能によっては最新のフォルダに保存される場合もあります。ただし、カメラで撮影後、直接microSDカードに保存する場合は、自動的にフォルダ作成されません。

[別表1]microSDカードのフォルダ構成と格納ファイル

- 格納ファイルの説明の後に（ ）内で示したのは、ファイルの拡張子です。
- パソコンなどからフォルダ／ファイルを操作する場合は、表中に示した規則に従ってください。異なる文字を使用すると、FOMA端末で正しく扱われない場合があります。

※規則中の英小文字イタリック体は、以下のような半角の英数字になります。

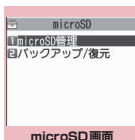
aaa：100～999　*bbbb*：0001～9999　*ccc*：001～FFF（16進数）　*ddd*：001～999
eeeee：00001～65535

フォルダ構成			格納ファイル
DCIM			「マイピクチャ」の「ピクチャ」内の画像（JPG、GIF） **フォルダ名**：*aaa*NECDT　**ファイル名**：NEC_*bbbb*
MISC			DPOF印刷の設定ファイル
SD_VIDEO			•「ｉ モーション」の「SD ビデオ」内の動画／ｉ モーション（3GP、SDV、MP4、ASF） **フォルダ名**：PRL*ccc*　**ファイル名**：MOL*ccc* •「ワンセグ」の「ビデオ」の「microSD」内のビデオ **フォルダ名**：PRG*ccc*　**ファイル名**：PRG*ccc*、MOV*ccc* ※「MGR_INFO」はビデオの付加情報
PRIVATE	DOCOMO	STILL	「マイピクチャ」の「イメージボックス」内の画像（JPG、GIF、SWF） **フォルダ名**：SUD*ddd*　**ファイル名**：STIL*bbbb*
		MMFILE	「ｉ モーション」の「マルチメディア」内の動画／ｉ モーション（AAC形式の音楽データ含む）（3GP、SDV、MP4、ASF） **フォルダ名**：MUD*ddd*　**ファイル名**：MMF*bbbb*
		DECOIMG	デコメ®絵文字（JPG、GIF） **フォルダ名**：DUD*ddd*　**ファイル名**：DIMG*bbbb*
		OTHER	「SDその他」内の画像やファイル（PNG、BMPなど） **フォルダ名**：OUD*ddd*　**ファイル名**：OTHER*ddd*
		RINGER	メロディ（MID、MLD） **フォルダ名**：RUD*ddd*　**ファイル名**：RING*bbbb*
		TORUCA	トルカ（TRC） **フォルダ名**：TRC*ddd*　**ファイル名**：TORUC*ddd*
		TABLE	各ファイルの付加情報
		DOCUMENT	PDFデータ（PDF、$DF（一部のみのデータ）、DDF（定義ファイル）） **フォルダ名**：PUD*ddd*
		DICT	ユーザ辞書情報（SVD） **ファイル名**：DICT*ddd*
		MOVIE	PC動画（WMA、WMV、ASF） **フォルダ名**：MVUD*ddd*
		DECO_A_T	デコメアニメ®（VGT） **フォルダ名**：DTUD*ddd*　**ファイル名**：DEAT*bbbb*
		BACKUP	一括でバックアップしたデータ
	NEC	SAVEDIR	保存先フォルダ設定情報（DAT）
		DOCUMENT	ドキュメント（DOC、DOCX、XLS、XLSX、PPT、PPTX、TXT） **フォルダ名**：DOC*ddd*
		IM_DATA	文字入力学習データ（NIM） **ファイル名**：NECIM*ddd*
		TABLE	ドキュメントの付加情報
SD_PIM			PIMデータ（電話帳：VCF、メール：VMG、テキストメモ：VNT、ブックマーク：VBM、スケジュール・To Doリスト：VCS） **ファイル名**：PIM*eeeee*
SD_BIND			移動可能なｉモーション、着うたフル®、電子書籍／電子コミックや、ｉアプリ関連データ **フォルダ名**：SVC*eeeee*
SD_AUDIO			SD-Audioデータ

microSDカードのデータを表示する

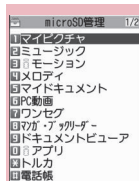
microSDカードに保存してあるデータを表示します。

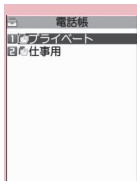
<例：電話帳を表示する場合>

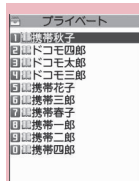
1 MENU ▶「LIFEKIT」▶「microSD」

microSD画面

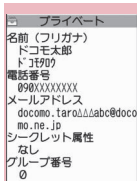
機能メニュー➡P.323

2 「microSD管理」▶「電話帳」▶ファイルを選択▶データを選択

■ microSD管理の一覧／詳細画面

microSD管理画面

機能メニュー➡P.324

ファイル一覧画面

機能メニュー➡P.324

データ一覧画面

機能メニュー➡P.324

データ詳細画面

機能メニュー➡P.324

おしらせ

- PIMデータ（電話帳／スケジュール／受信BOX／送信BOX／保存BOX／テキストメモ／Bookmark／文字入力学習データ／ユーザ辞書）のファイル一覧画面やデータ一覧画面、データ詳細画面表示中は、ほかの機能を起動することはできません。
- デコメール®は、デコレーションが設定されていない状態で表示されます。
- 文字入力学習データの場合、データ一覧画面、データ詳細画面は表示されません。

機能 microSD画面（P.323）

microSDフォーマット→P.329

microSDチェックディスク……microSDカードをチェックし、microSDカードの不具合を修復します。

おしらせ

<microSDチェックディスク>

- microSDチェックディスク中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因になります。
- microSDカードによっては修復できない場合があります。
- フォーマットされていないmicroSDカードや、未対応のmicroSDカードはmicroSDチェックディスクできません。
- microSDチェックディスク中は「 」が点滅します。
- microSDチェックディスク中に ✉[中止]や ⌒ を押した場合は、microSDチェックディスクは中止され、「 」が表示されます。
- microSDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
- microSDカード内のデータ量によっては、microSDチェックディスクに時間がかかる場合があります。
- microSDチェックディスクを行うと、microSDカードに保存されているデータのタイトルはファイル名に変更されます。
  タイトル、ファイル名について→P.303、317

機能 microSD管理画面（P.323）

microSD情報表示→P.329

microSDへ全コピー※……項目データをmicroSDカードに全コピーします。
- 「スケジュール」では「スケジュール、To Doリスト、全て」の項目を選択できます。
- 「Bookmark」では「i モードブラウザ、フルブラウザ、全て」の項目を選択できます。

※：電話帳、スケジュール、受信BOX、送信BOX、保存BOX、テキストメモ、Bookmark、文字入力学習データ、ユーザ辞書でのみ利用できます。なお、文字入力学習データでは「microSDへ1件コピー」と表示されます。

機能 ファイル一覧画面（P.323）

●microSD管理画面でPIMデータ（電話帳／スケジュール／受信BOX／送信BOX／保存BOX／テキストメモ／Bookmark／文字入力学習データ／ユーザ辞書）以外を選択した場合は、それぞれのコンテンツの機能メニューが表示されます。

タイトル編集

本体へ追加コピー、本体へ上書きコピー※→P.326

microSDへ全コピー……項目データをmicroSDカードに全コピーします。
- 「スケジュール」では「スケジュール、To Doリスト、全て」の項目を選択できます。
- 「Bookmark」では「i モードブラウザ、フルブラウザ、全て」の項目を選択できます。

microSD情報表示→P.329

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※：文字入力学習データでは、「本体へ上書コピー」は「本体へ1件上書コピー」、「microSDへ全コピー」は「microSDへ1件コピー」と表示されます。また、「本体へ追加コピー」は利用できません。

機能 データ一覧画面（P.323）／データ詳細画面（P.323）

●microSD管理画面でPIMデータ（電話帳／スケジュール／受信BOX／送信BOX／保存BOX／テキストメモ／Bookmark／文字入力学習データ／ユーザ辞書）以外を選択した場合は、それぞれのコンテンツの機能メニューが表示されます。

本体へ1件追加コピー、本体へ全件追加コピー、本体へ全件上書コピー※……
- 「本体へ1件追加コピー」は、1件のデータを追加コピーする機能です。
- 「本体へ全件追加コピー」は、ファイル一覧画面の機能メニュー「本体へ追加コピー」の「1件コピー」と同機能です。
- 「本体へ全件上書コピー」は、ファイル一覧画面の機能メニュー「本体へ上書コピー」の「1件コピー」と同機能です。

「PIMデータをFOMA端末にコピーする」→P.326

microSD情報表示→P.329

※：「本体へ全件追加コピー」「本体へ全件上書コピー」は、データ一覧画面でのみ利用できます。

microSDカードとFOMA端末間でデータをコピーする

コピーできるデータについて

■PIMデータ
- ●電話帳※1※2
- ●スケジュール※2、To Doリスト
- ●受信※3／送信※3／保存メール
- ●テキストメモ
- ●ブックマーク※3※4
- ●文字入力学習データ※5
  かな漢字変換の学習履歴、ワード予測の学習履歴、T9入力方式の学習履歴
- ●ユーザ辞書

※1：「メモリ番号」は、追加コピーの場合空き番号に登録されることがあります。またコピーの種類によっては、「グループ番号」「グループ名」はコピーされない場合があります。
「キャラ電」はコピーされません。

※2：コピーの種類によっては、シークレット属性（シークレットデータかどうか示すもの）はコピーされない場合があります。

※3：コピーの種類によっては、フォルダの情報はコピーされない場合があります。

データ管理

※4：microSDカードからFOMA端末へコピーした場合、ｉモードのブックマークは、「ｉモードメニュー」のBookmarkフォルダに、フルブラウザのブックマークは、「フルブラウザメニュー」のBookmarkフォルダに登録されます。
※5：「microSD管理画面」「ファイル一覧画面」の機能メニューからしかmicroSDカードにコピーできません。

■データBOX内のデータ

「SD」のアイコンが表示されているデータがコピー可能なデータです。

- 静止画（マイピクチャ）
  JPEG、GIF、SWF形式のデータ
- 動画（ｉモーション）
  MP4形式のデータ
- メロディ
  MFi／SMF形式のメロディ
- PDFデータ（マイドキュメント）

■その他のデータ

- トルカ

おしらせ

- ワンセグで録画した静止画はコピーできません。
- microSDカードへのアクセス中はコピーできません。

FOMA端末のデータをmicroSDカードにコピーする

1 各データの一覧画面（電話帳一覧画面など）▶ch［機能］▶「microSDへコピー」▶コピー方法を選択

- コピー方法を選択後、データによってはコピー先のフォルダを選択します。
- 受信メール、送信メール、ブックマークの「全コピー」では、フォルダ内のデータのみが全コピーされます。すべてのデータをコピーする場合は、フォルダ一覧画面の機能メニューから「microSDへ全コピー」を選択します。

■詳細画面の機能メニュー

詳細画面の「microSDへコピー」は、一覧画面の「1件コピー」と同機能です。

■microSD管理画面の機能メニュー

microSD管理画面の機能メニュー（P.324）の「microSDへ全コピー」は、電話帳、スケジュール、To Doリスト、保存メール、テキストメモ、ユーザ辞書の一覧画面の「全コピー」と同機能です。同じく受信メール、送信メール、ブックマークのフォルダ一覧画面の「microSDへ全コピー」とも同機能です。

おしらせ

- データをmicroSDカードへ全コピーした場合、シークレットで登録されているデータ（電話帳、スケジュール）もコピーされます。ただし、シークレットフォルダのデータはコピーされません。
- お買い上げ時に登録されているデータはmicroSDカードへコピーできません。
- 保存先フォルダのファイル件数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダが作成されその中に保存されます。
- シークレットデータ（電話帳、スケジュール）を1件コピーした場合、シークレットは解除されて保存されます。
- マイプロフィールの項目をすべてコピーしたい場合には「全データ表示」を行ってからコピーしてください。
- 静止画や動画をmicroSDカードへコピー中に着信やメール受信、アラーム通知などがあった場合は、microSDカードへのコピーは中断されます。

<スケジュールのコピー>

- ｉスケジュールのデータを1件コピーした場合、通常のスケジュールデータとしてコピーされます。
- スケジュールを全件コピーした場合、ｉスケジュールのデータはコピーされません。

<メールのコピー>

- ｉアプリの起動指定が貼り付けられているメールをコピーした場合、そのメール内のｉアプリ起動に関する情報は削除されます。
- メールをコピーしたとき、メールに添付されているファイルは種類によっては削除される場合があります。

<画像のコピー>

- コピー後のファイル名は以下のようになります。
  - ファイル名：NEC_mmmm（mmmm＝0001～9999）
- 以下の場合はmicroSDカードへコピーできません。
  - JPEG形式、GIF形式、SWF形式の画像以外のとき
  - コピーするとファイル容量が2Mバイトを超えるとき
- microSDカードへコピーすると、ファイル容量が大きくなる場合があります。

<動画のコピー>

- コピー後のファイル名は以下のようになります。
  - ファイル名：MOLxxx（xxx＝001～FFF：16進数）

microSDカードのデータをFOMA端末にコピーする

● PIMデータをFOMA端末にコピーする

microSDカードに保存している電話帳、スケジュール、メール、ブックマークなどを、FOMA端末に追加コピー／上書きコピーします。

- ●「本体へ上書コピー」を行うと、コピー前にあったFOMA端末内の登録データは消去され、選択したmicroSDカード内のデータに入れ替わりますのでご注意ください。
  上書きコピーを行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

1 ファイル一覧画面（P.323）▶ch［機能］▶「本体へ追加コピー」または「本体へ上書コピー」▶コピー方法を選択

- ・文字入力学習データの場合、「本体へ上書コピー」のみ可能です。また、「1件コピー、選択コピー、全コピー」の選択はできません。

■データ一覧画面／データ詳細画面の機能メニュー

- ●データ一覧画面（P.323）の「本体へ全件追加コピー」「本体へ全件上書コピー」は、ファイル一覧画面の「本体へ追加コピー」／「本体へ上書コピー」の「1件コピー」と同機能です。
- ●データ一覧画面／データ詳細画面（P.323）の「本体へ1件追加コピー」は、選択した1件のデータを追加コピーします。

おしらせ

<電話帳のコピー>
- ●「指定発信制限」を設定中は、電話帳のデータをコピーすることはできません。
- ●電話帳の追加コピーで、microSDカードに登録されているグループ名がFOMA端末に登録されているグループ名と異なるときは、電話帳の「グループなし」に登録されます。

<メールのコピー>
- ●送信BOXまたは受信BOXがいっぱいのとき、メールをデータ一覧画面／データ詳細画面から「本体へ1件追加コピー」を行うと、保護されていない最も古いメールまたは最も古い既読メールに上書きされます。

<スケジュールのコピー>
- ●スケジュールを上書きコピーする場合、To Doリストのデータも対象となります（どちらか一方のデータのみ登録されている場合は、登録されているデータのみ上書きされます）。

<ブックマークのコピー>
- ●ブックマークを上書きコピーする場合、フルブラウザのブックマークも対象となります（どちらか一方のデータのみ登録されている場合は、登録されているデータのみ上書きされます）。

● その他のデータをFOMA端末にコピーする

microSDカードに保存されている画像などのデータをFOMA端末のフォルダにコピーします。

- ●ワンセグで録画したビデオはコピーできません。

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶ch［機能］▶「本体へコピー」▶コピー方法を選択

おしらせ

<画像のコピー>
- ●以下の画像はコピーできません。
  - ・100Kバイトを超えるSWF形式のFlash画像
  - ・2Mバイトを超える画像
  - ・横または縦の最大が2,592ドットを超えるか、総ドット数が2,592×1,944ドットを超える画像
  - ・横または縦の最大が854ドットを超えるか、総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式、GIF形式の画像

<動画のコピー>
- ●以下の動画はコピーできません。
  - ・MP4形式以外の動画のとき
  - ・再生できないMP4形式の動画のとき
  - ・10Mバイトを超える動画のとき
  - ※上記の条件以外でも動画によってはコピーできない場合があります。

<PDFデータのコピー>
- ●2Mバイトを超えるPDFデータはコピーできません。

microSDカード内の別のフォルダにデータをコピーする

- ●コピー先のフォルダは、あらかじめ作成しておく必要があります。→P.332

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶ch［機能］▶「コピー」▶コピー方法を選択

- ・コピー方法を選択後、コピー先のフォルダを選択し、データを別のフォルダにコピーします。

おしらせ

- ●コピーが終了するまではmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因になります。

著作権のあるデータをmicroSDカードとFOMA端末間で移動する
〈コンテンツ移行対応〉

著作権のある移動可能なｉモーションや着うたフル®、電子書籍／電子コミックを移動します。

FOMA端末からmicroSDカードに移動する

- 移動したｉモーション、着うたフル®、電子書籍／電子コミックは、それぞれの移行可能コンテンツフォルダ（P.298）に保存されます。

1 楽曲一覧画面（P.255）、動画一覧画面（P.309）、マンガ・ブックリーダー一覧画面（P.343）▶ch［機能］▶「microSDへ移動」▶以下の項目から選択

1件移動……▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」

選択移動……▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」▶◎で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」

全移動……▶端末暗証番号を入力▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」▶「YES」

microSDカードからFOMA端末に移動する

- 移動したｉモーション、着うたフル®、電子書籍／電子コミックは、それぞれのINBOXフォルダに保存されます。
- ワンセグで録画したビデオは移動できません。

1 フォルダ一覧画面（P.255、309、343）▶「移行可能コンテンツ」▶フォルダを選択▶「ファイルを表示」

2 ch［機能］▶「本体へ移動」▶移動方法を選択

おしらせ

- 移動処理中はmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。

おしらせ

- ｉモーションや着うたフル®、電子書籍／電子コミックの移動可否は「ミュージック情報」（P.256）、「ｉモーション情報」（P.309）、「情報表示」（P.344）やアイコン（P.255、302、344）などで確認できます。

FOMA端末のデータを一括してバックアップする

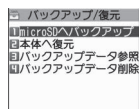
FOMA端末内のデータをmicroSDカードに一括でバックアップします。また、バックアップしたデータを一括で復元することもできます。機種変更などのFOMA端末お取り替え時にも、簡単にデータを移行できます。

- バックアップ／復元の対象は、電話帳、スケジュール（To Doリスト含む）、テキストメモ、メール、ブックマークです。なお、データの種類を選択してバックアップ／復元することはできません。

データのバックアップを行う
〈microSDへバックアップ〉

- すでにmicroSDカード内にバックアップされたデータが存在する場合は、そのデータは上書きされますのでご注意ください。

1 microSD画面（P.323）▶「バックアップ／復元」

バックアップ/復元
1 microSDへバックアップ
2 本体へ復元
3 バックアップデータ参照
4 バックアップデータ削除

バックアップ／復元画面

2 「microSDへバックアップ」

3 端末暗証番号を入力▶「YES」

バックアップを開始します。

■ バックアップを中止する場合
▶「Cancel」

おしらせ

- バックアップの対象となるデータがFOMA端末に存在しない場合はバックアップはできません。
- microSDカードの空きデータ容量が不足している場合はバックアップはできません。不要なデータを削除するか、空きデータ容量が十分あるmicroSDカードを取り付けてください。

おしらせ

- バックアップを途中で中止した場合は、復元できません。再度バックアップを行ってください。

データをFOMA端末に復元する
〈本体へ復元〉

- 復元前のFOMA端末内の登録データは消去され、microSDカード内のバックアップデータに入れ替わりますのでご注意ください。
復元を行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

1 バックアップ／復元画面（P.327）▶「本体へ復元」

2 端末暗証番号を入力▶「YES」
復元を開始します。

■ 復元を中止する場合
▶「Cancel」

おしらせ

- microSDカード内のバックアップデータに、存在しないデータの種類がある場合は、FOMA端末内のその種類のデータは消去されます（たとえば、バックアップデータに電話帳データが存在しない場合、復元するとFOMA端末内の電話帳データは消去されます）。
- 復元の対象となるバックアップデータがmicroSDカードに存在しない場合は復元できません。
- FOMA端末の空きデータ容量が不足している場合は、一部のデータが復元されないことがあります。
- 復元を途中で中止した場合は、バックアップしたデータが完全に復元されません。再度復元を行ってください。

バックアップデータを表示する
〈バックアップデータ参照〉

microSDカード内にバックアップされたデータを表示します。

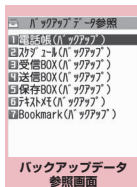
1 バックアップ／復元画面（P.327）▶「バックアップデータ参照」▶項目を選択

■ バックアップデータの参照画面／詳細画面

バックアップデータ参照画面

機能メニュー➡P.328

バックアップデータ詳細画面

機能メニュー➡P.328

機能 バックアップデータ参照画面（P.328）／バックアップデータ詳細画面（P.328）

保存日時表示※……バックアップした日時を表示します。

microSD情報表示→P.329

※：バックアップデータ参照画面でのみ利用できます。

バックアップデータを削除する
〈バックアップデータ削除〉

microSDカード内にバックアップされたデータを削除します。

1 バックアップ／復元画面（P.327）▶「バックアップデータ削除」

2 端末暗証番号を入力▶「YES」
削除を開始します。

microSDカードの管理について 〈microSD管理〉

microSDカードをフォーマットしてFOMA端末で使用できるようにしたり、データの使用状況を確認することができます。

microSDカードをフォーマットする 〈microSDフォーマット〉

※ フォーマットは必ずN-04Aで行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDカードは、使用できないことがあります。

●microSDカードをフォーマットすると、保存されているデータはすべて削除されます。フォーマットをするときは、大切なデータが保存されていないことを確認してください。

1 microSD画面（P.323）▶ch［機能］▶「microSDフォーマット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

●フォーマット中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因になります。
●フォーマットを中止したmicroSDカードに対し保存されるデータの保証はいたしかねます。

microSDカードの使用状況を確認する 〈microSD情報表示〉

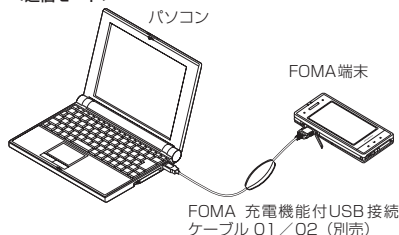
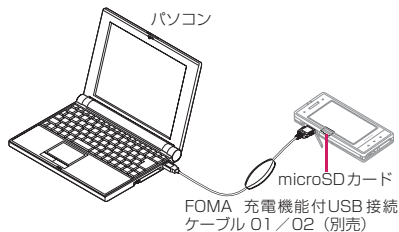
microSDカードの空きデータ容量および保存データ容量を表示します。
●表示されるメモリ容量は、ご使用のmicroSDカードに記載されている容量より少なくなります。
●microSDカードに保存できる件数について
→P.321

1 microSD管理画面（P.323）▶ch［機能］▶「microSD情報表示」

USBモードを設定する 〈USBモード設定〉

パソコンなどとFOMA端末を接続してさまざまな機能を利用するためにUSBモードを設定します。
●USBモードには、「通信モード」「microSDモード」「MTPモード」があります。

<通信モード>

<microSDモード／MTPモード>

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「外部接続」▶「USBモード設定」▶以下の項目から選択

通信モード……外部接続端子をパケット通信、64Kデータ通信、ケーブル接続によるデータ転送用に使います。
•「（アイコン）」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02が接続され、パソコンとの間でデータ通信やデータ転送を行う準備ができている場合

microSDモード……外部接続端子をmicroSDカードのリーダー／ライターとして使います。
•「（アイコン）」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02を接続していない場合
•「（アイコン）」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02が接続されている場合（FOMA端末とmicroSDカード間のコピー、メモリ内のデータ表示、フォーマットなどはできません）

MTPモード……外部接続端子をWMAデータ転送用に使います。
- 「 」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02を接続していない場合
- 「 」：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02が接続されている場合

おしらせ
- 電池パックを取り外すと、通信モードになります。

microSDリーダー／ライターとして使う

microSDカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDカード内のデータを読み込み／書き込みできます。
- FOMA端末をmicroSDリーダー／ライターとして利用するためには、以下の機器が必要です。

項目	説明
接続ケーブル	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）
パソコン	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠）が使用可能なパソコン
対応OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（各日本語版）

1 **MENU ▶「SETTINGS／SERVICE」▶「外部接続」▶「USBモード設定」▶「microSDモード」**

「microSDモード」に設定すると、「 」が表示されます。

2 **FOMA端末とパソコンを、FOMA充電機能付USB接続ケーブル01／02で接続する**

「 」が表示されます。
パソコンのマイコンピュータに、microSDカードがストレージメモリ（データを保存する外部記憶領域）として表示されます。
パソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02を取り外すときは、各OSの安全に取り外す方法を用いてください。

■お願い
- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末へデータをコピー中のイルミネーションランプが点滅している状態では、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

microSDカードに保存されている画像の印刷方法を設定する〈DPOF設定〉

microSDカードに保存されている画像をDPOF（Digital Print Order Format）設定します。
- DPOF（ディーポフ）とは、デジタルカメラで撮影した静止画を印刷するときの指定方式です。
- FOMA端末で撮影した静止画をmicroSDカードに保存し、印刷したい静止画とその枚数などを指定しておくと、DPOFに対応したプリンタやプリントサービスのお店で、指定した情報に沿って印刷できます。

1 **MENU ▶「DATA BOX」▶「マイピクチャ」▶「microSD」▶「ピクチャ」▶フォルダを選択**

■ 1件の画像にDPOF設定をする場合
▶設定する画像に囲み枠を移動▶ch［機能］▶「DPOF設定」▶「1件DPOF設定」

■ 複数の画像にDPOF設定をする場合
▶ch［機能］▶「DPOF設定」▶「選択DPOF設定」▶複数の画像を選択▶✉［完了］

2 **「プリント指定」▶以下の項目を設定**

プリント枚数……印刷枚数（01～99）を入力します。

日付……日付印刷の「あり、なし」を選択します。

■ 選択している画像に設定されているプリント指定を解除する場合
▶「プリント指定解除」

データ管理

■ 保存されている画像すべてのプリント指定を解除する場合
▶「プリント指定全解除」

③ ✉「完了」

おしらせ

- DPOF設定できる画像は999件までです。ただし、プリンタによっては設定した件数まで印刷できないことがあります。
- 以下の画像にはDPOF設定はできません。
  - 横または縦の最大が2,592ドットを超える画像
  - 総ドット数が2,592×1,944ドットを超える画像
  - ファイルサイズが2Mバイトを超える画像
  - 横または縦の最大が854ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像
  - 総ドット数が854×480ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像
- microSDカードの空きデータ容量が少ないときは、DPOF設定できない場合があります。
- 設定されている印刷枚数は「イメージ情報」で確認できます。

フォルダとデータを操作する

データBOXの各フォルダ一覧画面やmicroSDフォルダ一覧画面にフォルダを追加して、それぞれのデータを整理することができます。

■移行可能コンテンツフォルダについて

- ミュージックの場合、以下の「機能 各データのフォルダ一覧画面」の「フォルダ追加」「フォルダ名編集」「フォルダ削除」「保存容量確認」の機能メニューを利用できます。
- ｉモーション、マンガ・ブックリーダーの場合、以下の「機能 microSDフォルダ一覧画面」と同様の機能メニューを利用できます。

フォルダを作成／編集／削除する

機能 各データのフォルダ一覧画面

フォルダ追加……フォルダ名を入力してフォルダを追加します。

フォルダ名編集……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。

赤外線全送信※1→P.336

デスクトップ貼付※2→P.109

フォルダ削除……追加したフォルダを削除します。
- ミュージックでは端末暗証番号入力後に、削除方法を「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

全削除※3※4……シークレットフォルダ以外のデータをすべて削除します。

プログラム編集※5……「メロディを好きな順に再生する」→P.318

プログラム解除※5**、保存容量確認**

※1：マイピクチャ、ｉモーション、メロディ、マイドキュメントでのみ利用できます。
※2：ミュージックでのみ利用できます。
※3：データの種類によって機能名は「画像全削除」、「動画全削除」、「メロディ全削除」、「ドキュメント全削除」、「マチキャラ全削除」、「ブック全削除」と表示されます。
※4：ミュージック、ミュージックの移行可能コンテンツフォルダ、Music&Videoチャネル、ワンセグのイメージでは利用できません。
※5：メロディのプログラムフォルダ反転時のみ利用できます。

おしらせ

＜フォルダ追加＞
- 移行可能コンテンツフォルダのフォルダ最大件数は65,400件、1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数は65,400件です。

＜フォルダ削除／画像全削除／動画全削除／メロディ全削除＞
- 画面や自作アニメなどに設定されている画像や動画を「フォルダ削除」または「画像全削除」「動画全削除」で削除しようとしたときや、着信音、アラーム、プログラムやランダムメロディなどに設定されているメロディを「フォルダ削除」または「メロディ全削除」で削除すると、設定されていた画面などは以下のようになります。
  - 設定されていた画面、着信音、アラーム音はお買い上げ時の設定に戻ります。
  - 自作アニメ、プログラム、ランダムメロディは解除されます。

機能 **microSDフォルダ一覧画面**

フォルダタイトル編集※

フォルダ作成※……タイトルを入力してフォルダを作成します。

フォルダ削除、保存容量確認

※：「イメージボックス」や「デコメ絵文字」では利用できません。

おしらせ

- ｉアプリがmicroSDカードにデータ保存を行っている場合、microSDカード内のデータにアクセスしようとすると、操作できないことを通知するメッセージが表示されます。

＜フォルダ作成＞

- 「イメージボックス」「デコメ絵文字」内のフォルダは、FOMA端末では作成できません。パソコンなどで作成可能です。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

撮影した静止画や動画、ダウンロードした各種データなどを保存しようとしたときに、不要なデータを削除して保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。保存するときには不要なデータを削除します。

1 確認メッセージで、「YES」

■ 保存しない場合
▶「NO」

2 フォルダを選択▶削除するデータを選択

データの種類によっては、データの保存領域を共有しているため、フォルダを選択する前にどのデータを削除するかを選択します。

3 ✉［完了］▶「YES」

データを登録するためのメモリ容量が確保できるまで✉［完了］は表示されません。

FOMAカードで電話帳やSMSを管理する 〈FOMAカード（UIM）操作〉

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末（本体）やFOMAカードに登録されている電話帳やSMSのデータを削除することもできます。

- データのコピー中、削除中は、音声電話やテレビ電話の発着信、メールの送受信はできません。また、ほかの機能を起動することもできません。
- FOMAカードの電話帳に登録できない項目はコピーできません。
コピーできる項目や登録件数について→P.80

メインメニューから電話帳やSMSをコピーまたは削除する

＜例：電話帳やSMSをコピーする場合＞

1 MENU▶「LIFEKIT」▶「FOMAカード（UIM）操作」▶端末暗証番号を入力

端末暗証番号を入力すると、着信などの通信動作ができなくなり「圏外」が表示されます。端末暗証番号入力前に着信などの通信動作があった場合は、FOMAカード（UIM）操作を終了します。

2 「コピー」

■ 削除する場合
▶「削除」

3 「本体→FOMAカード（UIM）」または「FOMAカード（UIM）→本体」

■ 削除する場合
▶「本体」または「FOMAカード（UIM）」

4 以下の項目から選択

電話帳……電話帳を検索し、一覧画面を表示します。電話帳の検索のしかた→P.83

SMS……「受信BOX」または「送信BOX」からSMSのデータを選択します。

5 ✥で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」

- ch［機能］から「全選択／解除」ができます。

■ 電話帳やSMSの内容を確認する場合
▶ch［機能］▶「詳細表示」

データ管理

電話帳詳細画面から電話帳をコピーする

1 電話帳詳細画面（P.83）▶ch［機能］▶「FOMAカード(UIM)コピー」または「本体へコピー」▶「YES」

電話帳の保存先（本体またはFOMAカード）によって、ch［機能］を押したときに表示されるメニューは異なります。

メール画面からSMSを移動またはコピーする

- メール画面でのFOMAカード操作は、受信メール一覧画面・詳細画面、送信メール一覧画面・詳細画面の各画面の機能メニューで行えます。

<例：本体の受信SMSをFOMAカードに移動またはコピーする場合>

1 受信メール一覧画面（P.155）▶SMSを反転

2 ch［機能］▶「FOMAカード操作」▶「FOMA カードへ移動」または「FOMAカードへコピー」▶「YES」

■ FOMAカード内の受信SMSを移動またはコピーする場合

▶「FOMAカードから移動」または「FOMAカードからコピー」

「受信BOX」フォルダへ移動またはコピーされます。

おしらせ

<電話帳>
- FOMA端末（本体）からFOMAカードへ電話帳をコピーすると名前とフリガナに含まれる「カタカナ」は全角に変換されます。名前は全角10文字、半角21文字までがコピーされ、フリガナは全角12文字、半角25文字までコピーされますが、残りの文字はコピーされません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末（本体）に登録された2番目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、一部の文字がスペースや違う文字に変換される場合があります。
- シークレットデータとして登録された電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしても、本機能でコピーはできません。

おしらせ

- FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されている場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。同じグループ名がない場合は、「グループなし」に登録されます。

<SMS>
- 送信したSMSをコピーした場合は、SMS送達通知もコピーされます。SMS送達通知のみのコピーはできません。
- FOMAカードへ移動またはコピーしたSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードへ移動またはコピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
- 2in1のBナンバー宛てのSMSを移動またはコピーした場合は、Aナンバー宛てのSMSとして保存されます。

赤外線通信／ｉC通信を利用する

赤外線通信機能／ｉC通信機能を搭載したほかの機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送します。

- FOMA端末の赤外線通信／ｉC通信によるデータ転送機能はIrMC™1.1規格に準拠しています。ただし、相手機器やアプリケーションの種類によっては、IrMC™1.1規格に準拠していても転送できないデータがあります。
- データの転送方法には、1件ずつ転送する方法と全件をまとめて転送する方法があります。
- 転送できるデータは**別表2**(P.334)のとおりです。

データ転送するときのご注意

- ダイヤルロック設定中、セルフモード設定中、おまかせロック設定中、キー操作ロック中は、データ転送できません。また、ICカードロック設定中はｉC通信を行えません。
- 指定発信制限設定中は、電話帳データを受信できません。ただし、電話帳データの送信の際には、「指定発信制限」を設定した電話帳データ、マイプロフィールの個人データを送信できます。
- 相手側の機器の状態によっては、データ転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやブックマークのフォルダ分けの設定などが反映されなかったり、デコメール®の内容などが正常に登録できない場合があります。

●データ転送中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、iモード、iモードメール、パケット通信、64Kデータ通信などはできません。また、データ転送終了後、しばらく圏外の状態が続くことがあります。
●転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。また、受信できない場合があります。
●通信状況を表すバー表示は送信した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されていてもバー表示の進み具合が遅くなることや、通信の相手側と異なって見えることがあります。

送受信されるデータについて

●FOMA端末で受信したデータは、**別表2**（P.334）のように保存されます。
●メールや電話帳などに入力されている絵文字や一部の記号は、正しく受信できない場合があります。
●次のデータは、送受信できません。
- FOMAカードの電話帳、SMS
- フレーム、スタンプのデータ（受信のみ可能）
- FOMAカードセキュリティ機能が設定されたメロディ、静止画、動画、iモーション、PDFデータ
- シークレットフォルダのデータ

●次のデータは、受信できません。
- JPEG、GIF、SWF形式以外の静止画や画像
- MP4、3GP形式以外の動画
- 本FOMA端末で扱うことのできないサイズや容量の静止画、動画、iモーション、メロディ、PDFデータ

●静止画、動画、iモーション、PDFデータのタイトルは全角9文字、半角18文字、メロディのタイトルは全角25文字、半角50文字まで送受信できます。タイトルが最大文字数を超えた場合、超えた分の文字が削除されます。
●電話帳のデータを転送するときは、次のことに注意してください。
- 電話帳のシークレットコードは転送できません。
- シークレットデータとして登録された電話帳を1件送信すると、シークレットが解除されて転送されます。
- 受信した電話帳に登録されていた静止画は「マイピクチャ」のINBOXフォルダに登録されます。ただし「マイピクチャ」の保存可能容量を超えた場合は、静止画は保存されず電話帳のみ登録されます。

［別表2］転送できるデータと受信データの保存場所

データ	1件受信	全件受信
静止画（画像）、メロディ	INBOXフォルダの1番目に登録	送信元の静止画（画像）、メロディに置き換え
デコメ®絵文字	カテゴリ別に登録（カテゴリの指定がない場合は「お気に入り」に登録）	静止画（画像）全送信時にデコメ®絵文字も送信され、送信元のデコメ®絵文字に置き換え
動画（iモーション）、PDFデータ	INBOXフォルダに日付順に登録	送信先の動画（iモーション）、PDFデータに置き換え
トルカ、トルカ（詳細）	トルカフォルダの1番目に登録	送信元のトルカに置き換え
電話帳、マイプロフィール	電話帳の「010」～「999」の空きメモリ番号の中で最小の番号に登録（すべて登録されているときは、「000」～「009」の空きメモリ番号の中で最小の番号に登録）	送信元の電話帳に置き換え（マイプロフィールのデータも送信され、マイプロフィールのデータ（電話番号を除く）も置き換え）
スケジュール	スケジュールの開始日時に従って登録	送信元のスケジュールに置き換え
To Doリスト	To Doリストの1番目に登録	送信元のTo Doリストに置き換え
受信メール、送信メール	受信BOX／送信BOXフォルダにメールの日付順に登録	送信元の受信BOX、送信BOXに置き換え
保存メール	保存BOXにメールの日付順に登録	送信元の保存BOXに置き換え
テキストメモ	<未登録>の1番目に登録	送信元のテキストメモに置き換え
定型文	<未登録>の1番目に登録	送信元の定型文に置き換え
ユーザ辞書	ユーザ辞書の1番目に登録	送信元のユーザ辞書に置き換え
ブックマーク（iモード、フルブラウザ）	それぞれのBookmarkフォルダの1番目に登録	送信元のBookmarkに置き換え
デコメアニメ®	デコメアニメの1番目に登録	送信元のデコメアニメ®に置き換え

●スケジュールのデータを転送するときは、次のことに注意してください。
- ｉスケジュールのデータを1件送信すると、通常のスケジュールデータとして送信されます。
- 全送信では、ｉスケジュールのデータは送信されません。

●メールのデータを転送するときは、次のことに注意してください。
- 受信側の機種によっては、メールの題名の一部を受信できない場合があります。
- 全件受信は既存の全メールおよび全ユーザフォルダを削除してから受信します。
- 受信メールの1件受信で受信BOXフォルダの空き容量が不足しているときは、ゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メール、シークレットフォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。必要なメールは保護することをおすすめします。
- 送信メールの1件受信で送信BOXフォルダの空き容量がないときは、送信BOXフォルダの保護されていない最も古い送信メールに上書きされます。
- データの取得が完了していない添付ファイルが存在する場合は、その添付ファイルは削除されて送信されます。
- ｉアプリの起動指定、メール連動型ｉアプリの貼付情報が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信します。メールに添付されているデータのファイル制限が「あり」の場合、そのデータも削除されて送信されます。また、静止画の形式によっては削除されて送信されるものがあります。ただし、送信メールと保存メールの場合で、ケーブル接続で受信したデータ、microSDカードからコピーしたデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信されます。
- メール連動型ｉアプリ専用フォルダは転送できません。フォルダ内のメールはすべて受信BOXフォルダまたは送信BOXフォルダに登録されます。
- 受信メール一覧画面や送信メール一覧画面で設定した「色分け」の設定は転送できません。
- 赤外線通信の場合、2Mバイトを超えるメールは正しく送信できないことがあります。

●定型文を受信したときに、自作の定型文がフォルダ3～5すべてに登録済みで、フォルダ1～2の固定定型文がお買い上げ時の状態のままのときは、フォルダ1～2に受信した定型文が上書きされます。

●ブックマークを全件受信したとき、送信元の機種によっては、同じ順番で登録されない場合があります。

認証パスワードについて

●「全送信／全件受信」では、送信側と受信側の機器を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、送信、受信をはじめる前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

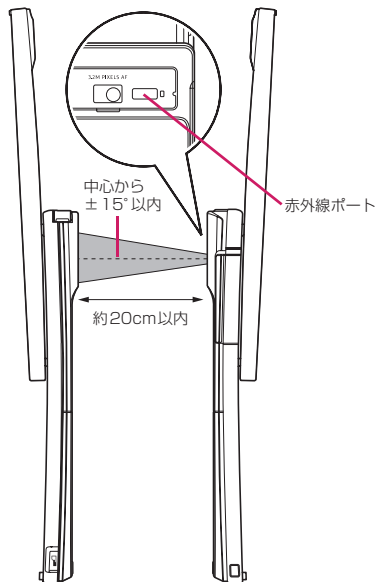
赤外線通信でデータを転送する〈赤外線通信〉

赤外線通信でデータ転送するときは

●赤外線ポートが平行に向き合うようにしてください。また、機器の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。

●赤外線の通信距離は約20cm以内でご利用ください。また、通信終了を通知するメッセージが表示されるまで動かさないでください。

●直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。

データ管理

赤外線通信でデータを送信する
〈赤外線送信〉

送信したいデータの一覧画面または詳細画面の機能メニューから送信します。
- 送信するデータがJPEG形式の画像の場合、高速赤外線通信（IrSSTM送信）を選択できます。

<例：電話帳のデータを1件送信する場合>

1 電話帳詳細画面（P.83）▶ch［機能］▶「赤外線送信」

■ データをまとめて送信する場合
▶「赤外線全送信」▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力
「認証パスワードについて」→P.335

■ IrSSTM送信について
JPEG形式の画像の場合、画像一覧画面（P.300）で✉［IrSS］を押して、高速赤外線通信（IrSSTM送信）ができます。

2 相手側の機器を受信状態にする

3 赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶「YES」
データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 送信中に中止する場合
▶✉［中止］

おしらせ
- 「IrSS」を選択したときは、相手側の機器が正常に受け取れない場合でも、送信側では正常に終了します。

赤外線通信でデータを受信する
〈赤外線受信〉

- 全受信をすると、受信したデータによりFOMA端末のデータは上書きされ、登録されていたデータは保護メール、電話帳やスケジュールのシークレットデータも含めてすべて削除されます。ただし、フレームやシークレットフォルダ内のシークレットデータは消去されません。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことをお確かめください。
- データをまとめて転送すると、受信側ではデータの並び順が変わる場合があります。

<例：電話帳のデータを1件受信する場合>

1 MENU▶「LIFEKIT」▶赤外線受信

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合
▶ch［機能］▶「デスクトップ貼付」

2 「受信」▶赤外線ポートを相手側の機器に向ける

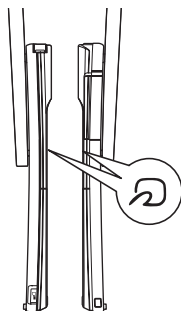
■ データをまとめて受信する場合
▶「全件受信」▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶「YES」▶上書き確認画面が表示されたら「YES」
「認証パスワードについて」→P.335

3 相手側の機器からデータを受信
データの受信がはじまります。
受信が完了したら「YES」を押してデータを登録します。
受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。
データをまとめて受信した場合は、受信したデータがFOMA端末に登録されます。

■ 受信中に中止する場合
▶✉［中止］

ｉC通信でデータを転送する
〈ｉC通信〉

ｉC通信でデータ転送するときは

- 送信側FOMA端末のマークを受信側FOMA端末のマークに重ね合わせます。
- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくい場合があります。その場合は、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- 相手のFOMA端末によっては、マークを近づけた際に、ディスプレイの表示が消えてしまうことがあります。その場合は、上下左右に少しずらすなどしてください。

ｉC通信でデータを送信する　〈ｉC送信〉

送信したいデータの一覧画面または詳細画面の機能メニューから「ｉC送信」を選択します。

＜例：電話帳のデータを１件送信する場合＞

1 電話帳詳細画面（P.83）▶ch［機能］▶「ｉC送信」

■ データをまとめて送信する場合
▶「ｉC全送信」▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力
「認証パスワードについて」→P.335

2 相手のFOMA端末と マークを重ね合わせる▶「YES」

データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 送信中に中止する場合
▶✉［中止］

ｉC通信でデータを受信する　〈ｉC受信〉

1 相手のFOMA端末と マークを重ね合わせる▶相手のFOMA端末からデータ送信の操作を行う

データの受信がはじまります。
受信が完了したら「YES」を押してデータを登録します。
受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■ データをまとめて受信する場合
▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力
▶上書き確認画面が表示されたら「YES」
データの受信がはじまります。
受信したデータがFOMA端末に登録されます。
「認証パスワードについて」→P.335

■ 受信中に中止する場合
▶✉［中止］

ケーブル接続によるデータ転送について　〈OBEX™通信〉

パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続すると、電話帳や画像などの各種データのデータ転送が行えます。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を使ってデータ転送（OBEX™通信）を行うときには、ドコモケータイdatalink（P.419）、および付属のCD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」をインストールする必要があります。
- ドコモケータイdatalinkのインストール方法などの詳細については、同ソフトのダウンロードページをご覧ください。なお、データの転送方法の詳細については、同ソフトのヘルプをご覧ください。
- 「FOMA通信設定ファイル」のインストール方法、およびパソコンの動作環境については、「パソコン接続」、および付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。
- データ転送の前に、「USBモード設定」を「通信モード」に設定しておく必要があります。

■お願い

- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データを転送できないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データ転送ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末への全送信の途中で送信エラーが起こると、FOMA端末内の書き込み対象のデータがすべて消去されることがあります。全送信の前にケーブルの接続、FOMA端末の電池レベル、パソコンの電源の状態を確認してください。

電話帳の画像を転送しないように設定する〈電話帳画像転送〉

赤外線通信機能やｉＣ通信機能、microSDカードへのコピー、データ転送（OBEX™通信）機能で電話帳のデータを送信するとき､電話帳に登録されている静止画を転送しないように設定します。

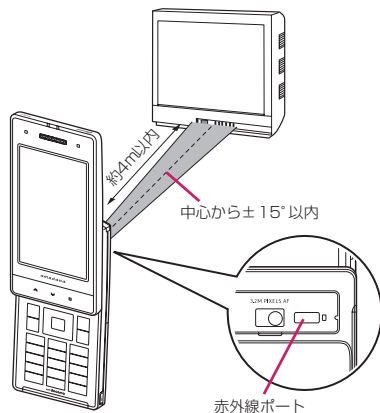
1 MENU▶「LIFEKIT」▶「電話帳画像転送」▶「しない」

■ 転送する場合
▶「する」

赤外線リモコン機能を利用する

- リモコン機能を利用する場合は､ご使用になる機器に対応したソフトをダウンロードしてください(リモコンのボタン操作はソフトにより異なります)。
- お買い上げ時には「Gガイド番組表リモコン」が登録されています。→P.272
- 機器によってはリモコン操作ができない場合があります。
- セルフモード設定中は､赤外線リモコン機能を利用できません。

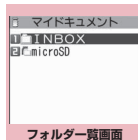
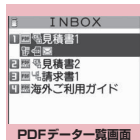
リモコン操作について

- FOMA端末の赤外線ポートを､テレビなどのリモコン受信部の正面に向けてリモコン操作をしてください｡操作できる範囲は正面で約4mですが､周囲の明るさによって変わります。

PDFデータを表示する〈マイドキュメント〉

内蔵のPDFデータや、サイトからダウンロードしたPDFデータなどを、PDFビューアで表示します。
- サイトからのダウンロードについて→P.189

1 MENU▶「DATA BOX」▶「マイドキュメント」▶フォルダを選択

■ マイドキュメントの一覧画面

フォルダ一覧画面
機能メニュー➡P.331

PDFデータ一覧画面
機能メニュー➡P.339

2 PDFデータを選択

■ パスワード入力画面が表示された場合
PDFデータに設定されているパスワードを入力してください。

PDFデータ画面
機能メニュー➡P.342

■ ダウンロードを再開するというメッセージが表示された場合
ページ単位で部分的に取得したPDFデータを開こうとしています。残りのページ（データ）を後から追加でダウンロードできます。→P.190

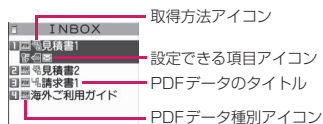
■ 残りすべてをダウンロードするかどうかのメッセージが表示された場合
データの取得が中断されたなどの理由により一部のデータしか取得できなかった不完全なPDFデータを開こうとしています。残りのデータを追加でダウンロードする必要があります。
→P.190

おしらせ

- PDFデータによっては､表示に時間がかかることがあります。
- PDFビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むPDFデータの場合､正しく表示されないことがあります。
- ページ単位で部分的に取得したPDFデータを表示中に、まだ取得していないページを表示しようとすると、データの取得（ダウンロード）が行われます。残りページを一括でダウンロードすることもできます。→P.190

おしらせ

- microSDカード内のPDFデータを表示中は、「」が点滅します。

PDFデータ一覧の見かた

■PDFデータ種別アイコン

アイコン	説明
（水色） （青色）	すべてのページが取得されているPDFデータ ※青色で表示されるPDFデータは、ファイルサイズが2Mバイトを超えるPDFデータです。FOMA端末本体に保存することはできません。
（水色）	ページ単位で部分的に取得したPDFデータ
（水色）	一部のデータしか取得できなかった不完全なPDFデータ（データ転送不可）

：ファイル制限が設定されているPDFデータ（データ転送や、microSDカードへのコピー不可）

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	お買い上げ時に登録されているPDFデータ
	サイトなどからダウンロードしたPDFデータ
	microSDカード、パソコンなどから取得したPDFデータ

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	メール添付可能なPDFデータ（2Mバイト以下）
	赤外線送信とｉC送信が可能なPDFデータ
	microSDカードにコピー可能なPDFデータ

おしらせ

- microSDカードのフォルダを表示しているときなどに「（青色）」または「（青色）」のアイコンで表示されるPDFデータは、FOMA端末では利用できません。

機能 **PDFデータ一覧画面（P.338）／ドキュメント一覧画面（P.340）**

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

タイトル編集

ドキュメント表示……PDFデータは、表示するページを「前回の続きから、初めから、ｉモードしおりから」から選択します。
ドキュメントは、その内容を1ページ目から表示します。

ドキュメント情報……PDFデータ／ドキュメントのファイル名、保存日時などを表示します。

残り全てを取得※1……「部分的に取得したPDFデータを追加で取得する」→P.190

デスクトップ貼付※1※2→P.109

ｉモードメール作成※3……PDFデータ／ドキュメントを添付し、ｉモードメールを作成します。

ｉC送信※1※2→P.337

赤外線送信※1※2→P.336

microSDへコピー※1※2→P.325

フォルダ移動……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、PDFデータ／ドキュメントをほかのフォルダに移動します。

保存容量確認

ソート※1※2……指定した条件に従ってPDFデータ／ドキュメントを並び替えます。

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

本体へコピー※1※4→P.326

コピー※4……「microSDカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.326

※1：PDFデータ一覧画面でのみ利用できます。
※2：microSDカードの一覧画面では利用できません。
※3：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※4：FOMA端末のPDFデータ一覧画面では利用できません。

おしらせ

<ソート>
- 「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。
  ①サイトからダウンロードしたPDFデータ
  ②赤外線通信やmicroSDカードから取得したPDFデータ

ドキュメントを表示する〈ドキュメントビューア〉

メールに添付されていたり、microSDカードに保存されているドキュメントをドキュメントビューアで表示します。

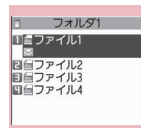
■表示できるドキュメントの種類

ドキュメントの種類	拡張子
Excel(Excel 97〜Excel 2007)	xls、xlsx
Word(Word 97〜Word 2007)	doc、docx
PowerPoint(PowerPoint 97〜PowerPoint 2007)	ppt、pptx
TEXT	txt

1 MENU ▶「DATA BOX」▶「ドキュメントビューア」▶フォルダを選択▶ドキュメントを選択

■ ドキュメントビューアの一覧／詳細画面

microSDフォルダ一覧画面（ドキュメント）

機能メニュー➡P.332

ドキュメント一覧画面

機能メニュー➡P.339

ドキュメント画面

機能メニュー➡P.342

おしらせ

- ドキュメントによっては、表示に時間がかかることがあります。
- ドキュメントビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントの場合、正しく表示されないことがあります。

ドキュメント一覧の見かた

■ ドキュメント種別アイコン

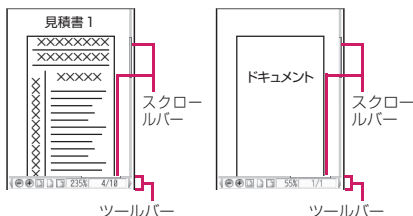
アイコン	説明
doc xls ppt txt	表示可能なドキュメントの種類

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
✉	メール添付可能なドキュメント(2Mバイト以下)

PDFデータ画面／ドキュメント画面について

PDFデータ画面／ドキュメント画面には、画面の表示位置を確認するためのスクロールバーや、各種の画面操作を行うためのツールバーが表示されます。

＜PDFデータ画面＞　＜ドキュメント画面＞

画面の操作について

表示倍率の変更など画面の表示変更は、機能メニューだけでなく、各種機能が割り当てられたダイヤルボタンやツールバーアイコンを使って行います。
- PDFデータ画面では、iモードしおりやマークを設定したり、ページを切り出して保存することもできます。

● スクロールのしかた

- 方向キーを押すとその方向にスクロールします。

● ツールバーの使いかた

8：ツールバー（スクロールバー）の表示／非表示の切り替え
[ツール]：ページ操作からツールバー操作への切り替え
[解除]：ツールバー操作からページ操作への切り替え
上下キー：ツールバー操作でのアイコン表示切り替え
左右キー：ツールバー操作でのアイコン選択

アイコン	説明
倍率	倍率表示［倍率の指定方法］ ■［選択］▶4桁の数字を入力
頁	ページ番号表示［ページの指定方法］ ■［選択］▶4桁の数字を入力
⊖／⊕	縮小／拡大表示
／／	ページ全体／倍率100%／ページの幅を画面に合わせて表示
／／／	最初／前／次／最後のページを表示
	文字列を検索→P.341
／	右／左に90度回転して表示
	文字列をコピー→P.386
	ページを切り出す→P.343
Map	ページ全体の縮小イメージの表示／非表示の切り替え
	画面幅でテキストを折り返して表示する／しないの切り替え
?	ツールバーやボタンに割り当てられた操作説明を表示
／／	単一／連続／見開きでページを表示
	しおり一覧画面を表示

● PDFデータ画面／ドキュメント画面の便利なボタン

ボタン操作	動作
1	縮小表示
2	ページ全体を表示
3	拡大表示
4	前のページを表示
6	次のページを表示
7	文字列を検索→P.341
8	ツールバー、スクロールバーの非表示／表示の切り替え
0	ツールバーやボタンに割り当てられた操作説明を表示
#	次を検索
*	前を検索

● 文字列を検索する

1 PDFデータ画面（P.338）、ドキュメント画面（P.340）▶［ツール］▶「」を選択▶文字列入力欄を選択▶検索する文字列を入力

一部記号など検索できない場合があります。

2 条件の□（チェックボックス）を選択▶［検索］

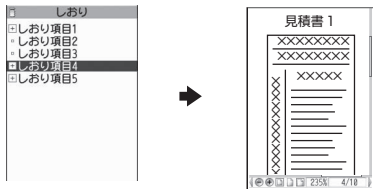
検索した文字列が見つかった場合、文字列を含むページが表示されます。
*を押すとページの先頭に向かって同じ条件で検索できます。
#を押すとページの後ろに向かって同じ条件で検索できます。

■ Excelを検索する場合
「ページ内検索」または「ファイル検索」を選択します。「ページ内検索」は現在表示しているシート内を検索します。「ファイル検索」は表示しているドキュメント（Excel）全体を検索します。

● しおりを使ってPDFデータを表示する

●PDFデータにあらかじめしおりが設定されている場合は、以下の操作で、しおりが設定されている箇所（ページ）に移動できます。

1 PDFデータ画面（P.338）▶[メール][ツール]▶「[アイコン]」を選択▶表示したいしおりを選択

選択したしおりが設定されている箇所（ページ）が表示されます。
表示しているPDFデータにしおりが1つも設定されていない場合は、しおりがないことを通知するメッセージが表示されます。

[+]のある項目で[メール][[アイコン]]を押すと、その下のしおりが表示されます。

●「iモードしおり」を使ってPDFデータを表示する

● iモードしおりは、見たいページ・位置へすばやくジャンプできるように、お客様の好きな位置にしおりを設定する機能です（1つのPDFデータにつき最大10件まで設定できます）。

1 PDFデータ画面（P.338）▶[ch][機能]▶「iモードしおり」▶表示したいiモードしおりを選択

選択したiモードしおりを設定したときの表示状態（倍率など）で、その箇所（ページ）が表示されます。

■ iモードしおりを追加する場合
▶[メール]［追加］▶「YES」▶iモードしおりのタイトルを入力
現在の表示状態（表示しているページ、倍率など）がiモードしおりとして登録されます。

■ 機能メニュー操作
[ch][機能]から、タイトル編集、削除ができます。

機能 PDFデータ画面（P.338）／ドキュメント画面（P.340）

●サイトやメールなどから閲覧した場合や、microSDカード内のデータを閲覧した場合など、利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

ズームアウト、ズームイン……縮小／拡大表示します。

表示……ページの表示サイズを「倍率指定、全体表示、実際の大きさ、幅にあわせる」から選択します。

ページ移動……表示するページを「最初のページ、前のページ、次のページ、最後のページ、指定のページ」から選択します。

検索……「文字列を検索する」→P.341

ページレイアウト※1……ページの表示スタイルを「単一ページ、連続ページ、見開きページ」から選択します。

リンク表示※1……URL、電話番号、メールアドレスを選択するとリンク先にアクセスや電話発信およびiモードメール作成ができます。
※PDFデータ内にあるリンクを表示させた場合は、画面のスクロールやツールバーの使用ができません。[CLR]を押すと、通常のPDFデータ画面に戻ります。

ツール／スクロールバー非表示⇔ツール／スクロールバー表示……ツールバー、スクロールバーの非表示、表示を切り替えます。

マップ表示⇔マップ非表示※2……ページ全体の縮小イメージの表示／非表示を切り替えます。

表示を回転……ページを回転する方向を「右90度、左90度」から選択します。

しおり※1→P.342

コピー※1……文字列をコピーし、文字入力（編集）画面などに貼り付けることができます。→P.386

iモードしおり※1→P.342

マーク※1……マークを追加、修正、削除します。マークは最大10件まで設定できます。

画面切り出し※1……「ページを切り出す」→P.343

表示モード切替※3……FOMA端末の画面幅でテキストを折り返して表示する、しないを切り替えます。

iモードメール作成※4……PDFデータ、ドキュメントを添付し、iモードメールを作成します。

デスクトップ貼付※1→P.109

残り全てを取得※1……「部分的に取得したPDFデータを追加で取得する」→P.190

データ管理

保存……表示中のPDFデータ、ドキュメントを保存します。

ヘルプ……ボタンに割り当てられた操作説明を表示します。

プロパティ※1……PDFデータのプロパティを表示します。

終了……表示中の画面を閉じます。

ドキュメント情報……PDFデータ、ドキュメントのファイル名、保存日時などを表示します。

1件削除

※1：PDFデータ画面でのみ利用できます。
※2：ドキュメント画面でのみ利用できます。
※3：Word、TEXTデータのときのみ利用できます。
※4：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

● ページを切り出す

PDFデータ画面の一部を切り出し、JPEG形式の画像として保存します。

1 切り出したいページを表示▶✉[ツール]▶「▣」を選択▶■[確定]▶「YES」▶保存するフォルダを選択

切り出したページが保存されます。

おしらせ

- FOMA端末外への出力が禁止されているPDFデータから切り出した画像は、メール送信やmicroSDカードへのコピーなど、FOMA端末の外部に出力することはできません。
- コピーが禁止されているPDFデータの場合は、画面の切り出しができない場合があります。

電子書籍／電子コミックを表示する〈マンガ・ブックリーダー〉

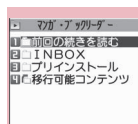
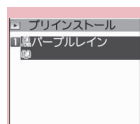
サイトから取得したり、データBOXやmicroSDカード（移行可能コンテンツフォルダ）に保存されているXMDF形式（拡張子zbf）、TEXT形式（拡張子zbk）の電子書籍／電子コミックをマンガ・ブックリーダーで表示します。

1 MENU▶「DATA BOX」▶「マンガ・ブックリーダー」▶フォルダを選択▶電子書籍／電子コミックを選択

■ マンガ・ブックリーダーの一覧／詳細画面

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.331

プリインストール
1 パープルレイン

マンガ・ブックリーダー一覧画面

機能メニュー➡P.344

マンガ・ブックリーダー画面

機能メニュー➡P.345

おしらせ

- 電子書籍／電子コミックに音声や動画、バックライトの点滅に関する情報が含まれていても、電子書籍／電子コミックの表示はできますが音声や動画の再生、バックライトの点滅はできません。
- パスワード付きの電子書籍／電子コミックの取得や保存はできますが、表示することはできません。
- マンガ・ブックリーダーはマスク機能（文章の一部を隠したり見せたりする機能）や文字色の指定、テロップ表示などに対応しています。

マンガ・ブックリーダー一覧の見かた

種別アイコン　INBOX　タイトル
設定できる項目アイコン　マンガ×××××　取得方法アイコン

■電子書籍／電子コミック種別アイコン

アイコン	説明
	FOMA端末（本体）に保存されている電子書籍／電子コミック
	microSDカードに保存されておりFOMA端末（本体）に移動可能な電子書籍／電子コミック
	FOMAカードセキュリティ機能に該当している電子書籍／電子コミック

：ファイル制限が設定されている電子書籍／電子コミック

：再生制限付きの電子書籍／電子コミック（再生回数・期間・期限を過ぎると「 」が「 」になります）

：電子書籍／電子コミック保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ表示可

：電子書籍／電子コミック保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ表示可

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	お買い上げ時に登録されている電子書籍
	サイトなどから取得した電子書籍／電子コミック

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
	未読／既読の電子書籍／電子コミック
	microSDカードに移動可能なデータ

：電子書籍／電子コミック保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ表示可

：電子書籍／電子コミック保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ表示可

画面の操作について

ボタン操作	縦書き表示	横書き表示	コミック表示
	前のページを表示	前の行へ戻る	前のコマへ戻る
	次のページを表示	次の行へ進む	次のコマへ進む
	次の行へ進む	前のページを表示	次のコマへ進む
	前の行へ戻る	次のページを表示	前のコマへ戻る
［移動］	移動メニューを表示 ・「先頭へ」「最後へ」「目次」：先頭、最後、目次ページを表示 ・「%指定移動」：先頭からの位置を割合（01～99の2桁）で指定したページを表示 ・「リンクを戻る」「リンクを進む」：前、次の履歴ページを表示		
［しおり］	しおりメニューを表示 ・「しおり1をはさむ」「しおり2をはさむ」：現在のページにしおり1、2をはさむ ・「しおり1へ移動」「しおり2へ移動」：しおり1、2のページを表示		

機能 マンガ・ブックリーダー一覧画面（P.343）

●選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

タイトル編集

情報表示……電子書籍／電子コミックのファイル名、保存日などを表示します。

microSDへ移動→P.327

本体へ移動※→P.327

フォルダ移動……「1件移動、選択移動、全移動」を選択後、移動先のフォルダを選択し、電子書籍／電子コミックをほかのフォルダに移動します。

デスクトップ貼付→P.109

ファイル名編集……半角の英字、数字と記号（“-”、“_”のみ）で入力します。

タイトル初期化……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

保存容量確認

ソート……指定した条件に従って電子書籍／電子コミックを並び替えます。

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※：「本体へ移動」を行うと未読アイコンになります。

機能 マンガ・ブックリーダー画面 (P.343)

閲覧設定

文字サイズ設定……文字サイズを「大、中、小」から選択します。

縦横設定……表示方向を「縦書き、横書き」から選択します。

ルビ表示……ルビ表示を「ON、OFF」から選択します。

バイブレータ……バイブレータを「ON、OFF」から選択します。

表示画面設定……表示画面を「等倍、2倍」から選択します。

照明設定……通常時のバックライトの動作に従うか（標準）、常時点灯するか（常時点灯）を設定します。

情報表示……電子書籍／電子コミックのタイトルや著者などを表示します。

ヘルプ……ボタンに割り当てられた操作説明を表示します。

おしらせ

- 電子書籍／電子コミックによっては、「閲覧設定」の設定が無効となる場合があります。
- 本FOMA端末は電子辞書には対応していません。
- マンガ・ブックリーダーはWeb To機能に対応しています（Phone To／AV Phone To、Mail To機能には対応していません）。→P.191

便利な機能

マルチアクセス 〈マルチアクセス〉

マルチアクセスとは、複数の回線を同時に使用できる機能です。
- マルチアクセスの組み合わせ→P.445
- 以下の3回線を同時に使用できます。

音声電話	1回線
iモード、iアプリ、iモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

おしらせ
- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線に通信料金がかかります。

通信中に着信があったとき

● 音声通話中のiモードメール受信

音声通話中にiモードメールを受信すると、音声通話中画面のままiモードメールを受信します。受信したiモードメールは音声電話を切らずに見ることができます。

1 MENU [MULTI]▶「(送受信)」を選択

iモードメールの受信結果画面に切り替わります。
タスクの切り替えについて→P.349

2 iモードメールを確認

iモードメールの見かた→P.155

3 MENU [MULTI]▶「(音声通信)」を選択

音声通話中画面に切り替わります。

● iモード中/パケット通信中の音声電話着信

iモードの接続中やメールの送受信中、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信中に音声電話がかかってくると、音声電話着信画面に切り替わり、iモードやパケット通信を終了しないで音声電話に出ることができます。

<例：iモード中に音声電話を着信した場合>

1

音声通話中画面に切り替わり、通話ができます。

■ 音声電話に出ないでiモード画面に戻る場合
▶MENU［MULTI］▶「(閲覧)」を選択
相手にメッセージは流れず、呼び出し中になります。

2 通話が終了したら

通話が終了し、iモード画面に戻ります。

■ 音声通話中のままiモード画面に戻る場合
▶MENU［MULTI］▶「(閲覧)」を選択

通信中にほかの通信を使うとき

現在の通信を中断しないで、別の回線を使って同時に通信を行うことができます。
- マルチアクセス中に画面を切り替えるには、タスクアイコン表示エリアから表示したい機能を選択します。→P.349

● iモード中の音声電話発信

iモードの接続中やメールの送受信中に、iモードを終了しないで音声電話をかけられます。

1 iモード中▶MENU［MULTI］（1秒以上）

待受画面が表示されます。

2 音声電話をかける

音声電話のかけかた→P.54

3 通話が終了したら

通話が終了し、iモード画面に戻ります。

■ 音声通話中のままiモード画面に戻る場合
▶MENU［MULTI］▶「(閲覧)」を選択

便利な機能

マルチタスク　〈マルチタスク〉

マルチタスクとは、複数の機能を同時に使用できる機能です。
- マルチタスクの組み合わせ→P.446
- マルチタスク中はタスク切替画面（P.349）に使用中のタスクアイコンが表示されます。複数のタスクを起動している場合、このアイコンを選択して操作するタスクを切り替えます。
- 音声通話中にほかの機能を同時に使っている間でも、音声通話料は加算されます。

タスク（機能）の呼び出しかた

現在使用している機能を終了しないで、新しいタスク（機能）を起動します。

1 タスクを起動中▶MENU［MULTI］

「タスク切替画面」（P.349）が表示されます。

2 MENU［MENU］▶新たに起動するタスクを選択

■ メールメニューを直接呼び出す場合

▶✉［MAIL］

■ iモードメニューを直接呼び出す場合

▶i［i mode］

■ chに割り当てられている機能を呼び出す場合→P.352

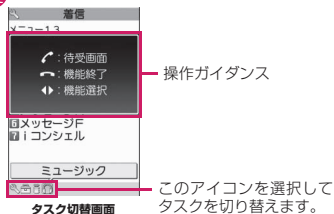
▶ch

おしらせ

- 機能によっては、他のグループの機能として起動するものがあります。
- 以下の場合はメールの閲覧をしながらメールを作成できるようになるため、タスクが1つ追加されます。
  - メールメニューからの新規メール作成
  - メールメニューからのSMS作成
  - メールメニューからのデコメアニメ®作成
  - デコメール®テンプレートを利用したデコメール®作成
  - デコメアニメ®テンプレートを利用したデコメアニメ®作成
  - 受信メールの返信／引用返信／転送
  - 送信メールの再編集
  - 保存メールの再編集

タスク切替画面の操作

複数のタスクが起動している場合、操作するタスクを切り替えたり、すべてのタスクを同時に終了することができます。

1 複数のタスクを起動中▶MENU［MULTI］

タスク切替画面

■ タスクを切り替える場合

▶切り替えるタスクアイコンを選択

■ メインメニューを表示する場合

▶MENU［MENU］

■ 待受画面を表示する場合

▶📞

待受画面表示中にMENUを押すと、再び「タスク切替画面」が表示されます。

※ タスク起動中にMENU（1秒以上）を押すと、タスク切替画面を表示しないで待受画面を表示できます。

■ タスクを終了する場合

▶終話▶「選択した機能を終了」または「全機能を終了」

便利な機能

データを時系列に表示する〈ライフヒストリービューア〉

過去に自分が保存した画像やメールの送受信履歴などを、日付や時間に沿って参照することができます。
- ●参照できるデータの種類は以下のとおりです。
  - JPEG形式の静止画や画像
  - 動画、ｉモーション
  - スケジュール
  - メールの送受信履歴

1 MENU▶「LIFEKIT」▶「ライフヒストリービューア」

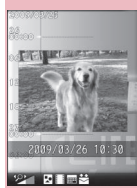
■ 時間軸を縮小／拡大する場合
▶✉［縮小］／ｉ［拡大］

ライフヒストリービューア画面

機能メニュー➡P.351

2 ✣で画像やアイコンを選択

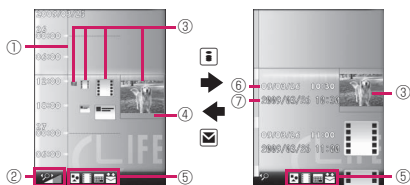
動画、ｉモーションを選択した場合はライフヒストリービューア拡大画面で再生されます。

■ 動画／ｉモーションの音量を調節する場合
▶⇕

ライフヒストリービューア拡大画面

機能メニュー➡P.351

3 ✉［開く］

データの種類に対応した機能が起動し、データが表示されます。

ライフヒストリービューア画面の見かた

①時間軸
②時間軸状態表示
時間の間隔に合わせ、［アイコン］～［アイコン］～［アイコン］～［アイコン］
③アイコン
静止画、画像：画像のサムネイル
動画、ｉモーション：動画のアイコン
スケジュール：スケジュールのアイコン
送受信メールの履歴：送受信メールの履歴のアイコン
④データの情報
静止画、画像、動画、ｉモーション：表示なし
スケジュール：スケジュールの件名
送受信メールの履歴：受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先
⑤表示対象のデータの種類
［アイコン］：静止画、画像
［アイコン］：動画、ｉモーション
［アイコン］：スケジュール
［アイコン］／［アイコン］／［アイコン］：受信／送信／送受信メールの履歴
⑥日時
静止画、画像、動画、ｉモーション：撮影日時／更新日時／保存日時
スケジュール：開始日時
送受信メールの履歴：送受信日時
⑦タイトル
静止画、画像、動画、ｉモーション：タイトル
スケジュール：スケジュールの件名
送受信メールの履歴：受信メールの場合は送信元、送信メールの場合は送信先

便利な機能

機能 **ライフヒストリービューア画面（P.350）／ライフヒストリービューア拡大画面（P.350）**

拡大表示※……「ライフヒストリービューア拡大画面」を表示します。

開く……データの種類に対応した機能を起動し、データを表示します。

表示設定……ライフヒストリービューアで表示するかどうかを、データの種類ごとに設定します。
データの種類を選択時に機能メニューから「全選択、全解除、既定値に戻す」を選択することもできます。

デスクトップ貼付※→P.109

時間軸拡大、時間軸縮小※

再読み込み……表示情報を最新の状態に更新します。

※：ライフヒストリービューア拡大画面では利用できません。

在圏状態を確認する 〈在圏状態表示〉

電話発信・パケット発信の在圏状態を確認できます。

電話発信	パケット発信	説明
通信不可	通信不可	セルフモード中またはFOMAカード未挿入
通信可	通信不可	音声電話のみ利用可
通信不可	通信可	パケット通信のみ利用可
通信可	通信可	音声電話／パケット通信ともに利用可

※ 圏外：サービスエリア外／電波が届かないところ

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「その他設定」▶「在圏状態表示」

FOMA端末を開いたときの動作を設定する 〈スライドアクション設定〉

着信中／不在着信時／新着メール時に、FOMA端末を開いたときの動作を設定します。

■着信応答を「ON」に設定すると

着信があったときにFOMA端末を開くと、ボタンを押さなくても通話状態になり、すぐに電話に出られます。→P.67

■新着メール閲覧／不在着信履歴閲覧を「ON」に設定すると

新着メールや不在着信があるときにFOMA端末を開くと、メール内容や電話の相手をすぐに確認できます。

- 新着のメール／メッセージ／チャットメールがあるときは、待受画面で「メール／メッセージ／チャット」を選択したときと同様、メール詳細画面／メッセージ詳細画面／チャット画面が表示されます。
→P.148、167、172
- 不在着信があるときは、待受画面で「不在」を選択したときと同様、着信履歴一覧画面が表示されます。→P.72

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「スライド設定」▶「スライドアクション設定」

2 🔲で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］

おしらせ

<着信応答>
- テレビ電話は代替画像で着信応答を行います。

<新着メール閲覧／不在着信履歴閲覧>
- 他の機能が起動している場合は、動作しません。

<スライドアクション設定の優先順位>
- すべて「ON」に設定した場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①着信応答
  ②新着メール閲覧（①チャットメール、②メール、③メッセージR／F）
  ③不在着信履歴閲覧

自動で電源を入れる／切る 〈自動電源ON／OFF〉

決められた時刻に自動的に電源が入るように、または切れるように設定します。

- 自動電源OFFで設定した時刻になっても、他の機能を利用中は電源は切れません。また、アラームなどの通知やｉアプリの自動起動と自動電源OFFの設定時刻を同じ時刻に設定している場合も、電源は切れません。機能終了後に電源が切れます。
- FOMA端末の電源が切れていると、Music&Videoチャネルの番組取得や、ソフトウェアの予約更新、ワンセグ録画予約などは動作しませんので自動電源OFFに設定するときにはご注意ください。

<例：自動で電源を入れる場合>

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「時計」▶「自動電源ON」**

■ 自動で電源を切る場合
▶「自動電源OFF」

2 **「ON」▶時刻を入力▶「繰り返しなし」または「毎日繰り返し」を選択**

■ 自動電源ON／OFFを解除する場合
▶「OFF」

おしらせ

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」の設定を「OFF」に設定し、FOMA端末の電源を切ってください。

チャネルボタンのショートカット機能を変更する 〈chキー設定〉

待受画面表示中やタスク切替画面表示中にchを押して呼び出す機能を変更します。

- 割り当てできる機能は、ｉチャネル、カメラ、スケジュール、ミュージックプレーヤー、Music&Videoチャネル、ワンセグです。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ボタン／タッチセンサー設定」▶「chキー設定」**

■ お買い上げ時の設定に戻す場合
▶ch［機能］▶「chキー初期化」

2 **割り当てる機能を選択▶「YES」**

メインメニューを並び替える

ユーザカスタマイズに対応しているメニューを、自分で並び替えます。中項目のメニューを配置することもできます。

- お買い上げ時に登録されているメニューで並び替えをできるのは、きせかえツールの「拡大メニュー」です。
- きせかえツールの「拡大メニュー」を設定している場合は、メインメニューから「お気に入り」を選択してから操作1を行います。

<第一階層のメニューを並び替える場合>

1 **並び替え可能なメニューを表示中▶新たに配置する位置を反転▶ch［機能］▶「自分で並び替え」▶メニューを選択**

2 **「並び替える」▶「OK」**

■ 第二階層以下のメニューを選択する場合
「項目から選択」を選択し、並び替えたいメニューを選択し「並び替える」を選択します。

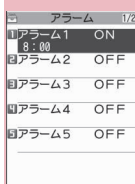
アラーム機能を利用する〈アラーム〉

●アラームは10件まで登録できます。

1 MENU ▶「LIFEKIT」▶「アラーム」

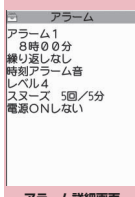
■ **前回の設定内容のままON、OFFを切り替える場合**

▶設定項目を反転▶ [i]［ON／OFF］

[i]を押すたびに「ON、OFF」が切り替わります。

アラーム一覧画面

機能メニュー ➡P.353

■ **前回の設定内容を確認する場合**

▶設定項目を選択

アラーム詳細画面

機能メニュー ➡P.353

2 設定する項目を反転▶ ✉［編集］

3 以下の項目から選択

タイトル編集……アラームタイトルを入力します。入力した内容は通知時に表示されます。

時刻入力……アラームを鳴らす時刻を入力します。

繰り返し……アラームの繰り返しを「設定なし、毎日（D）、曜日指定（W）」から選択します。

アラーム音選択……アラーム音を時刻アラーム音やメロディ、i モーション、ミュージックなどのフォルダから選択します。

アラーム音量……[◎]でアラーム音量を設定します。

パターン設定……アラームを通知するときのボタンイルミネーションの点灯パターンを設定します。

色設定……アラームを通知するときのボタンイルミネーションの点灯色を設定します。

スヌーズ通知……スヌーズ（繰り返し）で通知するかしないかを設定します。

- **スヌーズ通知する**……鳴動回数（01～10回）と鳴動間隔（01～10分）を入力します。
アラーム音（約1分間）が設定した鳴動間隔で、設定した鳴動回数分繰り返し鳴ります。
- **スヌーズ通知しない**……鳴動時間（01～10分）を入力します。
アラーム音が設定した時間で鳴り続けます。

自動電源ON……アラーム時刻に自動で電源を入れるか入れないかを設定します。

4 ✉［完了］

おしらせ

- PIN1コード入力設定がONとなっているときに、自動的に電源を入れてアラームを通知すると、サイトからダウンロードしたメロディやｉモーション、ミュージックがアラーム音に設定されていても「時刻アラーム音」で鳴ります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源を切ってください。

機能 アラーム一覧画面（P.353）／アラーム詳細画面（P.353）

編集

詳細表示※……アラームの内容を表示します。

完了（1件ON）……アラームを有効にします。

1件OFF……アラームを1件無効にします。

全件OFF……設定されているアラームをすべて無効にします。

※：アラーム一覧画面でのみ利用できます。

スケジュールを管理する
〈スケジュール〉

スケジュールを登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。また、休日や誕生日も登録できます。誕生日は、電話帳に設定したデータを自動的に登録します。登録したスケジュールや休日はカレンダーで一目で確認できます。

iスケジュールは、スポーツの試合日程やお気に入りアーティストのイベント情報などを自分のスケジュールにダウンロードでき、新しい情報を自動的に更新するサービスです。

iスケジュールは電話帳お預かりサービスと連動して、情報が自動更新されます。→P.132

■スケジュールとしてカレンダーに表示されるデータ

データ	内容
スケジュール	ユーザが登録したスケジュールや休日
iスケジュール	サイトからダウンロードしたiスケジュール
誕生日	電話帳から登録した誕生日データ
週間天気予報	受信した天気予報（当日から8日分）

おしらせ

- iスケジュールのダウンロードや週間天気予報を受信するには、iコンシェルサービス契約（P.199）が必要です。

スケジュールを登録する

定例会議などの定期的なスケジュールを毎週決まった曜日に登録したり、スケジュールの内容に合わせたアラーム音やアニメーションを設定するなど、いろいろな方法で登録できます。

- 2000年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。
- 「タッチセンサー設定」（P.107）で「スクロール機能」を「ON」に設定すると、1ヶ月表示の場合、▲▼で月を切り替えることができます（「OFF」の場合でも、▯を押すとタッチセンサーが有効になります）。
- 2,500件まで登録できます。また、1日に複数のスケジュールを登録することもできます。
- スケジュールのアラーム通知について→P.359

1 MENU ▶「LIFEKIT」▶「スケジュール」

スケジュール画面

機能メニュー➡P.356

2 ✉［新規］▶「スケジュール」

3 以下の項目から選択

件名編集……スケジュールの件名を入力し、アイコンを選択します。入力した件名は通知時に表示されます。

終日……スケジュールが終日のとき「ON」にします。

日時設定（開始・終了）……開始・終了の年月日と時刻を設定します。

繰り返し……スケジュールの繰り返しを「設定なし、毎日（D）、毎週（W）、毎月（M）、毎年（Y）」から選択します。

アラーム通知……設定した期日になったときのアラーム通知を「通知する、事前通知する（01～99分）、通知しない」から選択します。

アラーム音選択、**パターン設定**、**色設定**→P.353（アラームの設定項目）

場所編集……場所を入力します。

便利な機能

詳細編集……スケジュールの詳細内容を入力します。入力した内容は通知時に表示されます。

4 [完了]

おしらせ

- 「終日」を「ON」に設定した場合、「日時設定」の開始時刻／終了時刻は入力できません。
- 「日時設定」で開始時刻と終了時刻が日付をまたがった場合、期間が7日以内のときのみ「毎週、毎月、毎年」を設定できます。また、この条件を満たさないスケジュールを取得した場合、「繰り返し」は削除されます。
- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した日時のみです。スケジュールに設定した日時にはアラーム通知は行われません。
- アラーム通知をするタイミングが重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①「終日」を「ON」に設定したスケジュール
  ②「日時設定」を設定したスケジュールの開始時刻
  ③「終日」を「ON」に設定したｉスケジュール
  ④「日時設定」を設定したｉスケジュールの開始時刻
- 開始日時で設定した日付の曜日と、毎週繰り返しで指定した曜日が違う場合は、毎週繰り返しの曜日が優先され、スケジュールは開始日時以降の最初の曜日に登録されます。

祝日は「国民の祝日に関する法律」（昭和23年法律第178号）およびその改正法（平成17年法律第43号までのもの）に基づいて作成しています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2008年12月現在）。

休日を登録する

- 休日は100件まで登録できます。お買い上げ時に登録されている国民の祝日は休日の登録件数に含まれません。
- 休日は1日に1件のみ登録できます。

1 **スケジュール画面（P.354）▶ [新規] ▶「休日」**

2 **以下の項目から選択**

年月日設定……休日を登録する年月日を入力します。

繰り返し……休日の繰り返しを「設定なし、毎年（Y）」から選択します。

……休日の内容を入力します。

3 [完了]

スケジュール・休日・誕生日を確認する

登録したスケジュール・休日・誕生日の内容を確認します。

1 **スケジュール画面（P.354）▶スケジュール・休日・誕生日が登録されている日付を選択**

一覧表示では選択した日付の登録内容や設定内容が表示されます。

スケジュール一覧画面

機能メニュー➡P.356

2 **項目を選択**

スケジュールの登録内容に電話番号、URL、メールアドレスが含まれている場合、Phone To・Web To・Mail To機能を利用できます。
→P.191

■ スケジュール・休日・誕生日の詳細画面

スケジュール詳細画面

機能メニュー➡P.356

休日詳細画面

機能メニュー➡P.356

誕生日詳細画面

● 電話帳に誕生日を登録すると

誕生日は、本体電話帳で入力します。→P.81
入力された誕生日は自動で登録され、スケジュール画面に表示されます。

- 誕生日詳細画面（P.355）から、電話をかけたり、メールを送信できます。

おしらせ

- 誕生日は、待受画面の からも確認することができます。 を選択すると、誕生日の詳細画面が表示されます。同じ日に複数の誕生日が登録されている場合は、スケジュール一覧画面などで一番上に表示されている誕生日の詳細画面が表示されます。
- 「マイプロフィール」に誕生日を登録しても、スケジュールには、自動登録されません。

機能 **スケジュール画面（P.354）／スケジュール一覧画面（P.355）／スケジュール・休日の詳細画面（P.355）**

新規登録、編集

コピー……スケジュール･休日の内容を別の年月日にコピーします。

お預りセンターに接続→P.134

クイック検索※1→P.183

ｉスケジュール一覧……ｉスケジュール一覧を表示します。→P.356

フィルタ……選択したスケジュールアイコンに一致するスケジュールのみを表示します。

フィルタ解除、登録件数確認※2

シークレット解除※3→P.120

ｉモードメール作成※4……スケジュールの年月日と内容を本文に貼り付け、ｉモードメールを作成します。

メール添付※4……スケジュールを添付し、ｉモードメールを作成します。

デスクトップ貼付→P.109

ｉＣ送信、ｉＣ全送信→P.337

赤外線送信、赤外線全送信→P.336

microSDへコピー→P.325

休日リセット※2……国民の祝日をお買い上げ時の状態に戻します。登録した休日データは削除されます。

削除……「1件削除、選択削除、全削除、前日まで削除」から選択します。

- 「前日まで削除」を選択すると、スケジュール画面で反転している日付より前の項目がすべて削除されます。
- 「全削除、前日まで削除」では、「スケジュール、休日、すべて」の項目を選択する操作があります。

※1： 詳細画面でのみ利用できる機能です。
※2： スケジュール画面でのみ利用できる機能です。
※3： スケジュールのときのみ利用できます。
※4： 2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

おしらせ

<メール添付>

- ｉスケジュールのデータをメール添付すると通常のスケジュールデータとして添付されます。

<削除>

- 「全削除」の「休日」や「すべて」を選択したときは、祝日はお買い上げ時の状態に戻ります。
- ｉスケジュールの削除はできません。

ｉスケジュールを利用する

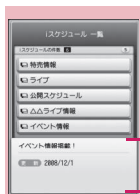
サイトからダウンロードしたｉスケジュールや、自動受信した週間天気予報のインフォメーションなどは、通常のスケジュールや休日とともに、スケジュール画面に表示されます。

- スケジュールデータ、ｉスケジュールのダウンロード→P.190
- 「ｉコンシェル画面の見かたと操作」→P.200

● ｉスケジュールだけを表示する

ｉスケジュールは、ｉスケジュール一覧画面でまとめて表示することができます。

1 スケジュール画面（P.354）／スケジュール一覧画面（P.355）▶ⓘ［ｉスケジュール］

■ ｉモードでｉスケジュールを検索する場合
▶「ｉスケジュールリストへ」▶「YES」

ｉスケジュール一覧画面

機能メニュー➡P.357

便利な機能

■ 詳細画面で確認する場合
▶スケジュールを選択
機能メニュー→P.357

おしらせ

- ｉスケジュールが 1 件も登録されていない場合、ｉスケジュールの説明を表示します。
- ｉスケジュールの個々のデータを編集すると、元のデータはそのまま残り、通常のスケジュールデータが新規に1件登録されます。

● 天気予報を確認する

ｉコンシェルのインフォメーションによって自動で受信した週間天気予報は、スケジュール画面で確認します。

- 週間天気予報のデータを受信しても、着信動作やｉコンシェル画面表示は行わず自動更新されます。

1 インフォメーションを自動受信

2 スケジュール画面（P.354）で日付を選択

スケジュール一覧画面（P.355）にその日の天気予報が表示されます。

機能 ｉスケジュール一覧画面（P.356）／詳細画面

クイック検索※→P.183

デスクトップ貼付→P.109

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※：ｉスケジュール詳細画面でのみ利用できる機能です。

To Doリストを登録する 〈To Doリスト〉

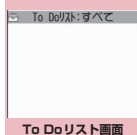
To Doリストに用件を登録しておくと、予定の管理ができます。また、アラームでお知らせするように登録することもできます。

- 2000年1月1日から2037年12月31日まで登録できます。

用件を登録／編集する

- 100件まで登録できます。
- 「内容」は必ず入力してください。「内容」を入力していないTo Doリストは登録できません。
- To Doリストのアラーム通知について→P.359

<例：用件を登録する場合>

1 MENU ▶「LIFEKIT」▶「To Doリスト」

To Doリスト画面

機能メニュー➡P.358

2 ch［機能］▶「新規登録」

■ 用件を編集する場合
▶ch［機能］▶「編集」
✉のファンクション表示は、用件未登録時には［新規］、用件登録時には［編集］になります。

3 以下の項目から選択

To Doリスト編集……用件の内容を入力します。入力した内容は通知時に表示されます。

期日……用件の期日を設定します。

- **直接入力**……年月日と時刻を設定します。
- **カレンダーから入力**……カレンダーで年月日を選択し、時刻を設定します。
- **なし**……期日を設定しません。

優先度……用件の優先度を「高、低、なし」から選択します。

カテゴリー……用件のカテゴリを「なし、プライベート、休日、旅行、仕事、会議」から選択します。

アラーム通知……設定した期日になったときのアラーム通知を「通知する、事前通知する（01～99分）、通知しない」から選択します。

便利な機能

♪ **アラーム音選択**、✦ **パターン設定**、✦ **色設定**→P.353（アラームの設定項目）

完 **完了日**※……用件の完了日を設定します。

直接入力……年月日を設定します。

カレンダーから入力……カレンダーで年月日を選択します。

なし……完了日を設定しません。

※：登録済みの用件で、「状態」が「完了」になっている用件を編集したときのみ利用できます。

4 ✉［完了］

おしらせ

- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻のみです。To Doリストに設定した日時にはアラーム通知は行われません。

機能 To Doリスト画面（P.357）／To Doリスト内容確認画面（P.358）

新規登録、編集

状態……用件の状態を「予定、承諾、依頼、暫定、確認、拒否、完了、代理」から選択します。
「完了」を選択した場合は、完了日を設定します。

カテゴリー別表示※1……用件を「すべて、なし、プライベート、休日、旅行、仕事、会議」から選択してカテゴリ別に表示します。

ソート／フィルタ※1……条件を選択して、ソート機能で用件を並び替えたり、フィルタ機能で特定の用件のみを表示します。

デスクトップ貼付※1→P.109

メール添付※2……用件を添付し、iモードメールを作成します。

iC送信、iC全送信※1→P.337

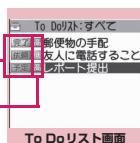
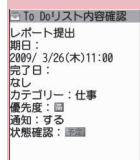
赤外線送信、赤外線全送信※1→P.336

microSDへコピー→P.325

削除……「1件削除、選択削除※1、完了済み削除※1、全削除※1」から選択します。
- 「完了済み削除」を選択すると、完了した用件がすべて削除されます。

※1：To Doリスト画面でのみ利用できる機能です。
※2：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

用件を確認する

1 To Doリスト画面（P.357）▶用件を選択

機能メニュー➡P.358

機能メニュー➡P.358

アラーム通知のしかたを設定する　〈アラーム通知設定〉

「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」でアラームを通知するとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを設定します。
- 「ワンセグ録画予約」は、本機能の設定にかかわらず、アラーム通知を行います。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「時計」▶「アラーム通知設定」▶「操作優先」または「通知優先」**

「操作優先」に設定した場合、待受画面表示中のときのみアラームを通知します。
「通知優先」に設定した場合、FOMA端末を操作しているときや通話中でもアラームを通知します。

アラーム通知動作

● アラーム通知を設定すると

「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアイコンが表示されます。

■ 待受画面のアイコン表示

：設定あり

：通知当日の通知時刻前

● 設定した時刻になると

各機能ごとに別表1（P.359）のような動作でアラームを通知します。
- アラーム通知時に表示されるアニメーションは、設定したアイコンやカテゴリによって変わります。ただし、アラーム音にｉモーションを設定すると、その映像や音声でアラーム通知を行います。
- 鳴りはじめのスピーカー音量を制限することもできます。→P.96

［別表1］アラーム通知動作

状態	アラーム	スケジュール・To Doリスト ワンセグ視聴予約／録画予約
待受画面表示中 ｉモード中※ メール送受信中※	アラームを設定したときの動作でアラームを通知します。ディスプレイには通知アニメーションが表示されます。	アラーム音が約5分間繰り返し鳴ります。ディスプレイには通知アニメーションが表示されます。 録画予約の場合、開始日時の約1分前にアラーム音が約2秒間鳴り、通知画面表示後、ワンセグ視聴画面が表示されます。
電源OFF時	「自動電源ON」の設定に従います。「電源ONしない」に設定している場合は、電源を入れた後もデスクトップアイコンは表示されません。	アラームを通知しません。設定はそのまま残ります。 録画予約の場合、開始日時の約1分前に電源がONになっていないと録画されません。電源をONにしたあともデスクトップアイコンは表示されません。
通話中※	受話口からアラーム音が鳴ります。ディスプレイには通知アニメーションが表示されます。	
イヤホンマイク接続中	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。アラーム音は「イヤホン切替設定」の設定に従ってイヤホンおよびスピーカーから鳴ります。	
ダイヤルロック／おまかせロック設定中	アラームを通知しません。録画予約の場合、開始日時の約1分前に各ロックが解除されていないと録画されません。 各ロックの解除後にデスクトップアイコンでお知らせします。	
オリジナルロック設定中	アラーム／スケジュール／To Doリストのアラームは通知しません。デスクトップアイコンは表示されます。 ワンセグ視聴予約／録画予約のアラームは通知します。	

※：「通知優先」に設定している場合の動作です。「操作優先」に設定している場合は、待受画面に「アラーム（未通知アラームあり）」「アラーム（未視聴予約あり）」のデスクトップアイコンが表示されます。

便利な機能

おしらせ

- 「スケジュール」「To Doリスト」のアラーム音の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。
- 通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- 「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定している場合は、アラームを振動でもお知らせします。
- 通話中のアラームでのアラーム通知では、「スヌーズ通知する」に設定していても、スヌーズで通知は行いません。
- 「アラーム音選択」でｉモーションを設定しても、通話中などｉモーションを起動できないときは、アラーム音とアニメーションでアラーム通知を行います。
- 自動マナーモードを起動／解除する時間を「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」の設定した時間と同じ時間に設定すると、マナーモードを起動／解除してからアラーム通知されます。

<アラーム通知の優先順位>

- 「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラーム通知が同じ時刻に設定されている場合、優先順位は以下のとおりです。
  ①アラーム　②ワンセグ録画予約　③To Doリスト
  ④スケジュール　⑤ワンセグ視聴予約
  アラーム通知できなかった場合は、待受画面に「（未通知アラームあり）」「（未視聴予約あり）」のデスクトップアイコンを表示してお知らせします。→P.360

● アラーム音を止めるには

■アラームのアラーム音

<「スヌーズ通知しない」の場合>
いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／ｉモーションは停止します。もう一度いずれかのボタンを押すと、「ピピッ」という解除音が鳴り、表示を消すことができます。

<「スヌーズ通知する」の場合>
いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／ｉモーションは停止し、アラームメッセージは「スヌーズ中・・・」と表示され、設定した鳴動間隔（分）で再度アラームを通知します。「スヌーズ中・・・」に[終話]を押すと、「ピピッ」という解除音が鳴りスヌーズが解除されます。

■その他のアラーム音

いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／ｉモーションは停止し、アラームメッセージは表示されたままになります。もう一度いずれかのボタンを押すと、アラームメッセージは消えます（ワンセグ視聴予約では「連携起動設定」が「OFF」のとき）。

■アラーム通知中に電話がかかってきた場合

アラーム通知を停止して着信の動作になります。「アラーム」のスヌーズも解除されます。

■FOMA端末を閉じているとき

[サイドキー]を押すか、いずれかのタッチセンサーに触れると、アラーム音が止められます。

通知できなかったアラームの内容を確認する

アラームを通知できなかった場合は、待受画面に「（未通知アラームあり）」「（未視聴予約あり）」のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認します。

1 待受画面表示中▶[■]▶「（未通知アラームあり）」または「（未視聴予約あり）」を選択

未通知アラーム情報が表示されます。

■ デスクトップアイコンを消す場合

▶[CLR]（1秒以上）
デスクトップアイコンを消すと、未通知アラーム情報は確認できなくなります。

2 内容を確認

[CLR]を押すと待受画面に戻り、デスクトップアイコンは消えます。

アラーム内容を読み上げる

FOMA端末を閉じているときにアラーム通知があった場合、アラーム通知中に[]を押すと、アラームを停止し、アラーム内容を読み上げます。

- 「アラーム通知中読み上げ」を「ON」に設定している場合のみ読み上げを行います。
- 読み上げる際には、音声が周囲にもれますので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してください。
- 読み上げの音量は「レベル2」になります。
- 「バイリンガル」を英語表示に設定中は、読み上げは行われません。

1 アラーム通知中に[]

読み上げを開始します。
読み上げる内容は以下のとおりです。

アラームの種類	読み上げる内容
アラーム	現在時刻
スケジュール	登録したスケジュールの件名の全角20文字分
To Doリスト	登録した用件の全角20文字分

おしらせ

- 読み上げ中に再度[]を押すと、読み上げを中止します。
- シークレットデータとして登録したスケジュールは読み上げません（「シークレットモード」「シークレット専用モード」の場合を除く）。

読み上げるかを設定する 〈アラーム通知中読み上げ〉

アラーム通知中に[]を押して、アラーム内容を読み上げるかどうかを設定します。

1 [MENU]▶「SETTINGS／SERVICE」▶「時計」▶「アラーム通知中読み上げ」▶「ON」または「OFF」

自分の名前や画像を登録する 〈マイプロフィール〉

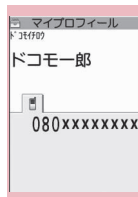
名前や自宅の電話番号、メールアドレスなど、お客様の個人情報を登録します。個人情報を登録しておくと、FOMA端末の所有者を確認したり、文字入力（編集）画面で登録されている内容を引用できます。

- 自局番号を変更したり削除することはできません。
- 自局番号以外は登録したデータがFOMA端末に記憶されます。ほかのFOMAカードを差し込んでも、自局番号以外はFOMA端末に登録したデータが表示されます。

マイプロフィールを表示する

本機能を起動したときは名前、自局番号、1件目のメールアドレスのみ表示できます。

1 [MENU]▶「LIFEKIT」▶「マイプロフィール」

自宅の電話番号や住所などの個人データを登録している場合は、機能メニューから「全データ表示」を選択して端末暗証番号を入力すると、すべてのデータを表示できます。

マイプロフィール画面

機能メニュー➡P.362

おしらせ

- 2in1のモードがデュアルモードの場合は、マイプロフィール画面で[]を押してAナンバーとBナンバーの情報を切り替えることができます。
- 2in1利用中にFOMAカードを入れ替える場合は、Bナンバーのマイプロフィールを初期化した後、FOMAカードを入れ替えてください。→P.363

マイプロフィールを登録する

1 マイプロフィール画面（P.361）▶ ✉［編集］▶端末暗証番号を入力

2 以下の項目から選択

名前入力／姓……お客様の名字を入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などで入力します。

フリガナ入力／姓……お客様の名字を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。半角のカタカナ、英字、数字、記号で入力します。

名前入力／名……名字と同様、お客様の名前を入力します。

フリガナ入力／名……名字と同様、お客様の名前を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。

電話番号入力……自局番号以外の電話番号を追加登録してアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。
「<追加登録>」を選択すると電話番号を追加登録できます。

メールアドレス入力……メールアドレスを入力してアイコンを選択します。半角の英字、数字、記号で入力します。
メールアドレスが登録されていない場合は、「自動取得」を選択し、設定されているメールアドレスをｉモードセンターから自動で取得できます（メールアドレスにシークレットコードを登録している場合、シークレットコードも自動で取得します）。
「<追加登録>」を選択するとメールアドレスを追加登録できます。

住所入力……郵便番号以外の住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などで入力します。※

位置情報付加……「画像から付加」を選択し、ダウンロード画像などに付加されている位置情報を登録します。
登録済みの情報内容を確認する場合は「位置情報詳細」、削除する場合は「位置情報削除」を選択します。

誕生日入力……誕生日（西暦・月日）を入力します。
設定できる西暦は、1800年から2099年までです。

メモ入力……メモを入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などで入力します。

静止画登録……マイプロフィールで表示される静止画をカメラで撮影するか、またはマイピクチャから選択して設定します。「静止画解除」を選択すると、設定中の静止画を解除できます。

※：「都道府県」「市町村、郡、区」「番地」「マンション名など」の4項目合わせて全角50文字、半角100文字までで入力してください。

3 ✉［完了］

おしらせ

- 自分のメールアドレスを変更したりシークレットコードを登録した場合は、本機能のメールアドレスの登録内容も変更してください（自動的には変更されません）。

機能 マイプロフィール画面（P.361）

マイプロフィール編集

全データ表示……□で登録内容を確認します。

名前コピー……マイプロフィールに登録されている名前をコピーし、文字入力（編集）画面などで貼り付けることができます。→P.386

電話番号コピー※1……表示中の電話番号をコピーし、文字入力（編集）画面などで貼り付けることができます。→P.386

メール添付※2※3……マイプロフィールのデータを添付し、ｉモードメールを作成します。

対応ｉアプリを利用※4……位置情報利用に対応したｉアプリ（位置情報を利用できるｉアプリ）の一覧を表示します。

地図を見る※4……「地図設定」（P.269）で設定したｉアプリ（位置情報を利用できるｉアプリ）が起動します。

メール貼り付け※3※4……マイプロフィールに登録されている位置情報URLを本文に貼り付け、ｉモードメールを作成します。

画像に付加※4……マイプロフィールに登録されている位置情報を画像に付加します。

ｉC送信→P.337

赤外線送信→P.336

microSDへコピー→P.325

拡大表示⇔標準表示……表示する名前の文字サイズを切り替えます。→P.108

2in1契約問い合わせ※5……Bナンバーの情報を取得し、Bナンバーのマイプロフィール画面に登録します。

マイプロフィール初期化……自局番号以外のマイプロフィールを初期化（削除）して、お買い上げ時の状態に戻します。

電話番号削除※6……表示中の電話番号を削除します。

※1：表示中の項目によって機能名は「メールアドレスコピー、住所コピー、位置情報コピー、誕生日コピー、メモコピー」になります。
※2：全データ表示中にのみ利用できます。
※3：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。
※4：全データ表示中に、位置情報を表示しているときのみ利用できます。
※5：2in1のBナンバーのマイプロフィール画面を表示しているときのみ利用できます。
※6：表示中の項目によって機能名は「メールアドレス削除、住所削除、位置情報削除、誕生日削除、メモ削除、静止画削除」になります。

個人データ（マイプロフィール）を引用する

個人情報を登録しておくと、FOMA端末の所有者情報を確認したり、文字入力（編集）画面／iモードで登録されている内容を引用できます。

<例：iモードサイトで個人データを引用する>
選択する項目はサイトによって異なります。

1 個人データを引用するサイトを表示▶「マイプロフィール引用」を選択▶端末暗証番号を入力

引用できる項目が一覧で表示されます。

■ **引用する項目を指定する場合**
▶[ボタン]で引用しない項目のチェックを外す

■ **2in1のモードがデュアルモードの場合**
▶「マイプロフィールA」または「マイプロフィールB」

2 [メール]［完了］

引用する項目が自動で入力されます。

おしらせ

- 住所情報を文字入力、iモードサイトで引用する場合、項目間に空白が入る場合があります。

おしらせ

- マイプロフィールを引用した場合、自動で入力された項目以外のデータが引用されることはありません。

相手の声や自分の声を録音する
〈通話中音声メモ／待受中音声メモ〉

音声メモには、音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できる「通話中音声メモ」と、待受画面表示中に自分の声を録音できる「待受中音声メモ」の2種類があります。

- 録音できる件数は、通話中音声メモまたは待受中音声メモのどちらか1件で、録音するたびに上書きされます。
- 録音できる時間は約20秒です。
- 録音した音声メモの再生、消去について→P.73

通話中に相手の声を録音する

1 通話中▶[ボタン]（1秒以上）

「ピッ」と鳴って録音がはじまります。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて通話中画面に戻ります。

■ **録音を途中でやめる場合**
▶[■]［停止］または[ボタン]（1秒以上）

待受中に自分の声を録音する

1 [MENU]▶「LIFEKIT」▶「音声メモ※」▶「YES」▶音声メモを録音

※：メインメニューの種類によっては「待受中音声メモ」と表示されます。

「ピッ」と鳴ったら送話口に向かってお話しください。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて「LIFEKIT」の一覧画面が表示されます。

■ **録音を途中でやめる場合**
▶[■]［停止］

次ページにつづく

おしらせ

- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

<通話中音声メモ>

- 機能メニューの各項目の操作中、テレビ電話の保留中などは録音することはできません。
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合は、利用しない電話番号にかかってきた電話の相手の声を録音すると、音声メモの再生／消去画面には「★」が表示されず、再生できません。

通話中に相手の声を自動録音するように設定する〈自動音声メモ〉

通話中の相手の声を自動で録音するように設定します。

- 自動録音できるのは音声電話のみで、通話の終わり部分約1分間が録音されます。
- 録音できる件数は2件で、古いものから順に上書きされます。
- 自動録音した音声メモの再生、消去について→P.73

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「通話」▶「自動音声メモ」▶「ON」または「OFF」

■ 自動音声メモをONにした場合

待受画面にアイコンが表示されます。→P.27

おしらせ

- 以下の動作を行ったときは、それまでの録音内容がいったん消去され、通話を再開した時点で新たに録音が開始されます。
  - 電話帳、リダイヤル、発信履歴、着信履歴を表示したとき
  - テレビ電話に切り替えたとき
  - 通話を保留にしたとき
  - ボタン操作で通話中音声メモを動作させたとき
  - マルチタスクで他の機能に切り替えたとき
  - 通話中に別の電話がかかってきたとき（通話を切り替えた場合は、最後の通話内容が録音されます）
- 伝言メモ動作中は録音されません。伝言メモから音声通話に移行した場合は、その時点で録音が開始されます。

アラーム音や応答保留音を録音／再生する〈おしゃべり機能〉

音声を録音して、オリジナルの着信音や応答メッセージとして設定します。

- 録音できる音声は「おしゃべり1、2」の2件です。
- 録音できる時間は約15秒です。
- 「おしゃべり機能」が録音されている場合はタイトルの横に「★」が表示されます。
- 本機能で録音した音声を設定できる機能は以下のとおりです。
  - 各種着信音（音声電話、テレビ電話、メール、チャットメール、メッセージR／F、iコンシェル、非通知着信設定、マルチナンバー、Bナンバー着信設定）
  - 各種アラーム通知音（アラーム、スケジュール、To Doリスト、ワンセグ視聴予約、時刻アラーム音、通話料金通知）
  - 応答保留音
  - 応答メッセージ（伝言メモ）

1 MENU▶「LIFEKIT」▶「おしゃべり機能」

■ 再生する場合

▶「★」が付いている項目を選択

■ 消去する場合

▶ch［機能］▶「消去」

2 項目を選択▶「YES」▶音声を録音

送話口に向かってお話しください。録音時間（約15秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「おしゃべり録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

■ 録音を途中でやめる場合

▶■［停止］

おしらせ

- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「To Doリスト」「ワンセグ視聴予約」「ワンセグ録画予約」のアラームが通知されたり、ほかの機能を操作した場合は、録音を停止します。

通話時間・料金を確認する
〈通話時間／料金〉

音声通話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認します。
- 確認できる内容は以下のとおりです。

項目	表示内容
通話時間	直前の通話時間を表示
通話料金	直前の通話料金を表示（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信別）※
積算時間	前回リセット時からの積算通話時間を表示（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信別）※
積算通話料金	前回リセット時からの積算通話料金を表示（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の合計）
前回積算時間リセット日時	前回の積算時間リセット日時を表示
前回積算料金リセット日時	前回の積算料金リセット日時を表示

※：テレビ電話は「デジタル呼（AV呼）」、64Kデータ通信は「デジタル呼（非制限デジタル）」に表示されます。

- 音声電話とテレビ電話の通話を切り替えた場合、通話時間には音声電話とテレビ電話の合計の通話時間が表示され、通話料金には音声電話とテレビ電話の通話料金が個別に表示されます。なお、表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。
- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「¥0」または「¥**」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が積算通話料金に表示されます。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 2in1をご契約いただいている場合、積算時間と積算通話料金にはAナンバーとBナンバーの合計が表示されます。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「時間／料金」▶「通話時間／料金」

おしらせ

- 前回および積算の音声電話通話時間やデジタル通信通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。
- iモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金、着もじの送信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 着信中や相手を呼び出している時間、音声電話とテレビ電話を切り替えている時間はカウントされません。
- 電源を切ると、通話時間は「0秒」、通話料金は「¥**」に戻ります。
- 電源を切っても、積算時間、積算料金の情報は残ります。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。

積算通話時間と積算通話料金をリセットする
〈積算リセット〉

「通話時間／料金」に表示される通話の積算時間および積算料金をゼロに戻します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「時間／料金」▶「積算リセット」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

積算時間リセット……積算通話時間をゼロに戻します。

積算料金リセット……PIN2コード（P.116）を入力して積算通話料金をゼロに戻します。

積算通話料金の自動リセットを設定する 〈積算料金自動リセット〉

毎月1日の0:00になると、「通話時間／料金」に表示される積算通話料金が自動的にゼロに戻るように設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「時間／料金」▶「積算料金自動リセット」▶端末暗証番号を入力

2 「自動リセット設定」▶「ON」▶PIN2コードを入力

PIN2コードについて→P.116

■ 設定しない場合
▶「OFF」

おしらせ

- 積算料金自動リセットを「ON」に設定し、「メイン時計設定」で月を変更すると積算通話料金はリセットされます。
- 次の場合、積算料金自動リセットは「OFF」に設定されます。
  - FOMAカードを未挿入の状態で電源を入れたとき
  - FOMA端末の電源を入れたときに表示されるPIN2コード入力画面でCLRを押したとき
  - PIN2コードがロック中のとき→P.116
  - FOMAカードに異常があるとき

通話料金の上限を設定して知らせる 〈通話料金通知〉

「通話時間／料金」で表示される積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると待受画面やアラームなどでお知らせします。

- アラーム通知は、積算通話料金が設定した上限料金を超えたときに一度だけ行います。
- 上限料金を超えても通常どおり電話をかけることができます。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「時間／料金」▶「通話料金通知」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

上限料金の設定……10～100,000円の範囲で10円単位で上限の料金を設定します。

通知設定

上限値通知設定……通話料金通知を行うかどうかを設定します。

アラーム音選択……アラーム音を選択します。

アラーム音量……でアラーム音量を設定します。

2 ✉［完了］

おしらせ

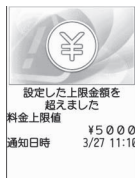
- ｉモード通信、パケット通信の通信料金、着もじの送信料金は本機能の対象外です。ｉモード利用料などの確認方法については、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● アラーム通知動作

通話終了後、積算通話料金が設定した上限料金を超えると次のような動作で通知します。

■上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」以外に設定している場合

設定した上限金額を
超えました
料金上限値 ￥5000
通知日時 3/27 11:10

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、通話を終了して3秒後にアラーム音が約5分間鳴り、上限料金を超えたことを通知する画面が表示されます。アラーム音を止めるにはいずれかのボタンを押します。通知動作終了後、CLRまたはを押すと、待受画面に「(通話料金通知)」のデスクトップアイコンが表示されます。

■上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」に設定している場合

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、待受画面に「(通話料金通知)」のデスクトップアイコンが表示されます。

●「(通話料金通知)」の内容を確認する

待受画面に表示された「(通話料金通知)」のデスクトップアイコンを選択して、通話料金通知の内容を確認します。

1 待受画面表示中▶■▶「(通話料金通知)」を選択▶端末暗証番号を入力

「通話料金通知」の内容が表示されます。

2 内容を確認▶■［確認］

待受画面に戻り、「(通話料金通知)」が消えます。

電卓を使う 〈電卓〉

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）を行います。
- 数字は10桁まで表示できます。また、小数点以下は9桁まで表示できます。
- 計算結果が10桁を超えた場合は、「.E」と表示されます。

1 MENU▶「LIFEKIT」▶「電卓」

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合
▶ch［機能］▶「デスクトップ貼付」

2 計算する

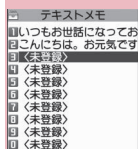
■「23＋57」を計算する場合
2　3　＋　5　7　＝
2 3 □ 5 7 ■

■ 負の数を計算する場合
先頭の数字に「－」を付けた場合のみ、負の数の計算ができます。
－　2　3　＋　5　7　＝
□ 2 3 □ 5 7 ■

おしらせ
- CLR（AC）は、計算を最初からやり直すときに使います。また、数字や小数点の入力中は C の表示となり、CLRを押して間違えた数字や小数点を消去することができます。

テキストメモを作成する 〈テキストメモ〉

簡単なメッセージなどをテキストメモとして作成します。作成したテキストメモはスケジュールの詳細やメールの本文に貼り付けることができます。
- テキストメモは10件まで登録できます。

1 MENU▶「LIFEKIT」▶「テキストメモ」

テキストメモ画面

機能メニュー➡P.367

2 登録または変更する項目を反転▶✉［編集］▶内容を入力

機能 テキストメモ画面（P.367）

編集

iモードメール作成※……テキストメモを本文に貼り付け、iモードメールを作成します。

スケジュール作成→P.354

デスクトップ貼付→P.109

iC送信、iC全送信→P.337

赤外線送信、赤外線全送信→P.336

microSDへコピー→P.325

テキストメモ情報……作成日時や分類を確認します。

分類……「なし、プライベート、休日、旅行、仕事、会議」から選択して分類します。

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

※：2in1のモードがBモードの場合は利用できません。

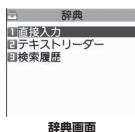
辞典を利用する 〈辞典〉

●辞典は、各種文字編集画面の機能メニューからも利用できます。→P.368

1 MENU ▶「LIFEKIT」▶「辞典」

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合

▶ch［機能］▶「デスクトップ貼付」

辞典画面

2 以下の項目から選択

直接入力……単語を入力します。

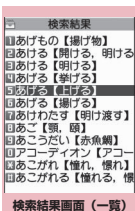
テキストリーダー……テキストリーダーから単語を入力します。→P.232

検索履歴……以前検索した単語の履歴から検索します。「検索履歴を使う」→P.368

3 辞典の種類を選択

該当する単語がない場合は、入力した文字に近い単語が反転表示されます。

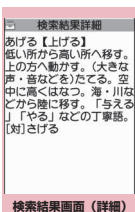
■ 前後の一覧を表示する場合

▶検索結果画面（一覧）▶

検索結果画面（一覧）

機能メニュー ➡P.368

4 単語を選択

■ 前後の単語を表示する場合

▶検索結果画面（詳細）▶

検索結果画面（詳細）

機能メニュー ➡P.368

機能 検索結果画面（一覧・詳細）（P.368）

ウィンドウ切替※……検索結果と文字編集の画面を切り替えます（切り替えができる場合のみ利用できます）。

コピー……文字をコピーします。

一覧画面：和英辞典と国語辞典は検索結果の【 】内の文字を、英和辞典は検索結果の単語をコピー

詳細画面：範囲を指定してコピー

コピーした文字は、文字入力（編集）画面などに貼り付けることができます。→P.386

結果詳細から検索※……調べたい単語を範囲指定し、別の検索を行います。範囲指定の操作はコピーと同様です。→P.386

別の辞典で検索

参照編集※……検索結果を見ながら文字編集をすることができます（参照編集ができる場合のみ利用できます）。「分割画面について」→P.379

※：検索結果画面（詳細）でのみ利用できる機能です。

検索履歴を使う

1 辞典画面（P.368）▶「検索履歴」

■ 検索履歴を削除する場合

▶ch［機能］▶削除方法を選択

2 単語を選択

その他の機能から辞典を利用する

以下のそれぞれの画面で、機能メニューから「辞典検索」を選択します。

- 文字編集画面、メール詳細画面、メール本文入力画面を表示中
- サイトのページまたは画面メモを表示中

■文字編集画面、メール詳細画面、メール本文入力画面から辞典を起動すると

「直接入力」「範囲選択」「検索履歴」から選択することができます。

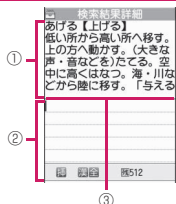
「範囲選択」を選択すると、調べたい単語を範囲選択することができます。

■サイトのページまたは画面メモから辞典を起動すると

「直接入力」「サイト参照入力」「検索履歴」から選択することができます。

「サイト参照入力」を選択すると、サイトのページや画面メモを見ながら調べたい単語を入力することができます。

● 辞典の参照画面について

「参照編集」または「サイト参照入力」を選択すると、上下2つに画面が分割されます。
機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択するごとに操作できる画面が①と②で切り替わります。

■検索結果詳細画面から「参照編集」を選択した場合
①辞典の詳細画面
②文字編集画面
③区切り線
辞典を終了するときは、①の画面で✉［終了］を押すか、②の画面で機能メニューから「辞典終了」を選択してください。

■サイトのページまたは画面メモから「サイト参照入力」を選択した場合
①サイトのページや画面メモの画面
②検索語入力画面
③区切り線
検索語を入力したら、■［確定］を押します。検索語が入力された辞典選択の画面になります。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた 〈スイッチ付イヤホンマイク〉

ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使って電話をかけたり、受けたりします。

- 「ボタン確認音」の設定にかかわらず、電話を受けたり電話を切ったりしたときのスイッチ音は鳴ります。
- ステレオイヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。また、通話中にステレオイヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。
- FOMA端末を閉じた状態でも電話をかけたり受けたりすることができます。

イヤホンマイクのスイッチ動作を設定する 〈イヤホンスイッチ発信設定〉

設定した相手に、スイッチを1秒以上押すだけで音声電話をかけるように設定します。

- 本機能には、FOMA端末（本体）の電話帳に登録されている電話番号を設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「発信」▶「イヤホンスイッチ発信設定」▶「音声発信」

■ 設定しない場合
▶「OFF」

2 設定したい電話番号の電話帳詳細画面を表示▶■［選択］

電話帳の検索のしかた→P.83

おしらせ

- 本機能に設定した電話番号が2in1の設定により利用できない場合は、ステレオイヤホンマイクなどのスイッチを使った発信ができなくなります。

イヤホンマイクをつないだときに使うマイクを選ぶ 〈イヤホンマイク設定〉

ステレオイヤホンマイクなどを接続しているときに使うマイクを、FOMA端末側のマイクにするか、イヤホンマイク側のマイクにするかを設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「外部接続」▶「イヤホンマイク設定」▶「本体マイク」または「イヤホンマイク」

マイクのないイヤホンを接続する場合は、「本体マイク」を選択してください。

おしらせ

- 「イヤホンマイク設定」を「本体マイク」に設定するとハンズフリーをONに設定した場合と同じマイク感度になります。イヤホンマイクを接続した場合、送話口に近づけて通話する必要はありません。

スイッチを使って電話をかける

1. **電話番号をダイヤル▶スイッチを1秒以上押す**
   電話帳、リダイヤル／発信履歴、着信履歴からかけることもできます。
   ■ 電話番号をダイヤルしない場合
   「イヤホンスイッチ発信設定」で設定した電話番号に電話がかかります。

2. **通話が終了したら、スイッチを1秒以上押す**
   「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

スイッチを使って電話を受ける

1. **着信中▶スイッチを押す**
   「ピッ」という音が鳴り、電話を受けます。

2. **通話が終了したら、スイッチを1秒以上押す**
   「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

おしらせ

- 「キャッチホン」をご契約の場合は、通話中にかかってきた電話にステレオイヤホンマイクのスイッチを押して出ることができます。また、スイッチを1秒以上押して通話中の電話を切り替えることができます。ただし、スイッチを押して通話を終わらせることはできません。
- ステレオイヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。

イヤホンマイクをつないで自動で電話を受ける 〈オート着信設定〉

ステレオイヤホンマイクなどを接続しているとき、スイッチを押さなくてもかかってきた音声電話やテレビ電話を自動で受けるようにそれぞれ設定します。

- 音声通話中、テレビ電話中は、本機能によって自動で電話を受けることはできません。
- FOMA端末を閉じた状態でも自動で受けることができます。

1. **MENU▶「SETTINGS ／ SERVICE」▶「外部接続」▶「オート着信設定」▶「音声着信」または「テレビ電話」**

2. **「オート着信あり」▶呼出時間（001～120秒の3桁）を入力**
   ■ 無効にする場合
   ▶「オート着信なし」

おしらせ

- ステレオイヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。

Bluetoothを利用する
〈Bluetooth〉

Bluetooth機器どうしをワイヤレスで接続できます。たとえばFOMA端末とBluetooth Wireless Unit N01（別売）をBluetooth通信で接続すると、FOMA端末をかばんなどに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。

- Bluetooth接続を使用すると電池の消費量が多くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- セルフモード設定中はBluetooth機能を利用できません。

Bluetoothでできること

FOMA端末では、ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービスの3つのサービスを利用できます。また、オーディオサービスではオーディオ／ビデオリモートコントロールサービスも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。

対応バージョン
Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR準拠※1
対応プロファイル※2（対応サービス）
● HSP：Headset Profile（ヘッドセット通信） ● HFP：Hands-Free Profile（ハンズフリー通話） ● A2DP：Advanced Audio Distribution Profile（ステレオ音声・高音質オーディオ通信） ● AVRCP：Audio／Video Remote Control Profile（AV機器のリモコン機能）

※1：FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2：Bluetooth機能の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■ヘッドセットで通話する（ヘッドセットサービス）

Bluetooth Wireless Unit N01（別売）やBluetoothヘッドセット（市販品）とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、ワイヤレスで通話できます。

■ハンズフリーで通話する（ハンズフリーサービス）

カーナビなどのBluetooth通信対応機器（市販品）とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、カーナビなどのマイクとスピーカーを利用してハンズフリーで通話できます。

■オーディオ機器で再生する（オーディオサービス）

ワイヤレスイヤホンセット P01／02（別売）やBluetooth通信対応オーディオ機器（市販品）とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、高音質なステレオサウンドをワイヤレスで再生できます。

- ワンセグやビデオの音声に関しては対応する機器が制限されます。→P.375

■Bluetooth機器から出力される音

- お使いのBluetooth機器によっては、下記の動作にならない場合があります。

出力される音	接続サービス		
	HSP	HFP	A2DP
音声電話発信音	○	○	×
音声電話／テレビ電話着信音	○※1※2	○※2	×
音声電話／テレビ電話時の呼び出し音	○	○	×
音声電話／テレビ電話時の相手の音声	○	○	×
音声電話時の相手の伝言メモの音声	○	○	×
ワンセグの音声	×	×	○
ビデオ再生音	×	×	○
ミュージックプレーヤー再生音	×	×	○
アラーム通知音	○※3	○※3	×
メール着信音	×	×	×

○：Bluetooth機器から出力されます。
×：Bluetooth機器からは出力されずFOMA端末から鳴ります。

※1：「イヤホン切替設定」を「イヤホン+スピーカー」に設定している場合は、Bluetooth機器、FOMA端末の両方から鳴ります。

※2：「着信音送出設定」を「送らない」に設定している場合は、Bluetooth機器からは設定中の着信音とは異なる音が鳴ります。

※3：通話中のみBluetooth機器から鳴ります。Bluetooth機器から鳴る音はアラーム音に設定した音ではなく時刻アラーム音が鳴ります。

おしらせ

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

次ページにつづく

■Bluetooth機器取り扱い上のご注意

■良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。
  特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 他の機器（電気製品／AV機器／OA機器など）からなるべく離して接続してください（電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
- 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切ってください。

■Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。

場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

- 電車内 ・航空機内 ・病院内
- 自動ドアや火災報知機から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Bluetooth利用の流れ

Bluetooth機能を利用するには、あらかじめFOMA端末にBluetooth機器を登録し、各機能に対応したサービスで接続する必要があります。

<例：Bluetooth Wireless Unit N01（別売）と接続する場合>

Bluetooth機器の登録（P.372）
Bluetooth Wireless Unit N01をFOMA端末に登録します。

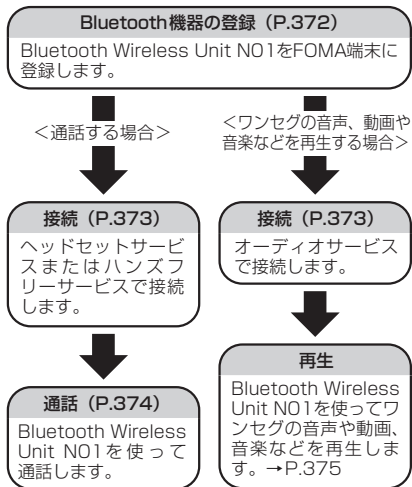
<通話する場合>

接続（P.373）
ヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続します。

通話（P.374）
Bluetooth Wireless Unit N01を使って通話します。

<ワンセグの音声、動画や音楽などを再生する場合>

接続（P.373）
オーディオサービスで接続します。

再生
Bluetooth Wireless Unit N01を使ってワンセグの音声や動画、音楽などを再生します。→P.375

Bluetooth機器を登録する

Bluetooth機器をFOMA端末に登録します。

- Bluetooth機器は10件まで登録できます。
- 登録したいBluetooth機器は、あらかじめ登録待機状態にしておきます。

1 MENU ▶「LIFEKIT」▶「Bluetooth」

■ 機能をデスクトップに貼り付ける場合
▶ch［機能］▶「デスクトップ貼付」

Bluetoothメニュー画面

2「登録機器リスト」▶「YES」

Bluetooth機器の検索がはじまります。
検索が終了すると、「登録機器リスト画面」（P.373）が表示されます。
「新規機器登録」からもBluetooth機器の検索を行うことができます。

■ すでにBluetooth機器が登録されている場合
「登録機器リスト画面」（P.373）が表示されますので、[✉]［サーチ］を押すとBluetooth機器の検索がはじまります。

3 登録したいBluetooth機器を選択▶「YES」

4 Bluetoothパスキーを入力▶[■]［確定］

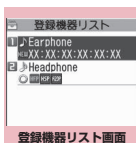
登録する機器によってはBluetoothパスキーの入力は不要です（Bluetooth Wireless Unit N01（別売）は不要です）。Bluetoothパスキーについては Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth機器と接続する

登録したBluetooth機器とFOMA端末を接続します。

1 Bluetoothメニュー画面（P.372）▶「登録機器リスト」

■ Bluetooth機器を検索する場合
▶[✉]［サーチ］
「Bluetooth機器を登録する」→P.372

登録機器リスト画面

機能メニュー➡P.374

2 Bluetooth機器を選択

接続中のサービスは「Z」、接続待機中のサービスは「Z」が表示されます。

3 サービスを選択

Bluetooth機器と接続されディスプレイに「(Bluetooth)（青色）」が点滅します。一定時間、Bluetooth機器との通信がないと、省電力状態となり「(Bluetooth)（黒色）」の点灯に変わります。
複数のサービスで接続できるBluetooth機器の場合は、続けて別のサービスにも接続するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 接続中のサービスを停止する場合
▶接続中のサービスを選択▶「YES」

おしらせ

- 接続処理中や切断処理中にBluetooth機器の電源が切れたり、Bluetooth機器からの応答がない場合は、処理に時間がかかることがあります。

おしらせ

- 接続中にBluetooth機器から切断された場合、接続待機中になります。また、接続中にFOMA端末の電源を切った場合も、再度電源を入れたときに接続待機中になります。
- 以下の場合、オーディオサービスで接続中にBluetooth機器から出力される音が停止することがあります。このとき、Bluetooth機器によっては、接続が切断されることがあります。
  - Bluetooth機器との接続が途切れたとき
  - メールやメッセージR／Fを受信したとき
  - アラーム通知（電池切れアラーム含む）があったとき
- ダイヤルロック／おまかせロック設定中は、Bluetooth機能は無効（Bluetoothオフ）となりBluetooth機器との接続を切断します。ダイヤルロック／おまかせロック解除後は、Bluetooth機能は有効（Bluetoothオン）となりダイヤルロック／おまかせロック設定時に接続中または接続待機中だったサービスは接続待機状態となります。

● 登録機器リスト画面の見かた

機種種別アイコン
登録状態アイコン
機器名称
対応サービスアイコン

■機種種別アイコン

アイコン	説明
	パソコン
	電話
	AV機器
	その他

[On]：保護されているとき

■登録状態アイコン

- Bluetooth機器の検索を行った場合にのみ表示されます。→P.372

アイコン	説明
○	登録済み
NEW	未登録（新規検出）

便利な機能

■対応サービスアイコン

●未登録の機器の場合は、機器（Bluetooth）アドレスが表示されます。

アイコン	説明
HSP HSP HSP HSP	ヘッドセットサービス（HSP）
HFP HFP HFP HFP	ハンズフリーサービス（HFP）
A2DP A2DP A2DP A2DP	オーディオサービス（A2DP）
AVRCP AVRCP AVRCP AVRCP	リモコンサービス（AVRCP）

（灰色の文字）：接続履歴なし

（白色の文字）：接続履歴あり

（白色の文字、白色の枠）：接続待機中

（黒色の文字、緑色の背景）：接続中

機能 登録機器リスト画面（P.373）

機器登録

保護設定……登録機器の保護／保護解除を設定します。

機器名称変更、登録機器削除

登録機器情報表示……Bluetooth機器の機器名称、機器（Bluetooth）アドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。

サーチ……Bluetooth機器を検索します。

おしらせ

<機器登録>

●すでに登録済みのBluetooth機器を選択すると登録情報が更新されます。

Bluetooth機器を接続待機にする

登録しているすべてのBluetooth機器の接続待機状態を設定します。

1 Bluetoothメニュー画面（P.372）▶「接続待機」

接続中のサービスは「Z」、接続待機中のサービスは「Z」が表示されます。

2 「全待機」

■ 接続待機を解除する場合

▶「全解除」

■ サービスごとに個別に設定する場合

▶「個別設定」▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］

「□」（チェックを外した状態）に設定すると、そのサービスは接続待機を解除します。

FOMA端末のBluetooth機能を停止する

接続中や接続待機中のサービスをすべて停止し、FOMA端末のBluetooth機能を停止します。

1 Bluetoothメニュー画面（P.372）▶「Bluetoothオフ」▶「YES」

■ Bluetooth機能を有効にする場合

▶「Bluetoothオン」

Bluetooth機能を使って通話する

FOMA端末をBluetooth機器とヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続し、ワイヤレスで通話します。

1 Bluetooth機器とヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続する

Bluetooth機器との接続について→P.373

2 Bluetooth機器で電話をかける／受ける

Bluetooth機器で通話中はディスプレイに「」が表示されます。

Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

おしらせ

●ダイヤルロック／おまかせロック設定中は、Bluetooth機器での着信への応答ができません。

●Bluetooth機器をヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中に着信があった場合は、マナーモード設定中でもBluetooth機器から着信音が鳴ります。

●Bluetooth機器で通話中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。

●Bluetooth機器で通話中は、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。

●Bluetooth機器で通話中または発信中にBluetooth通信が切断された場合は、通話または発信を終了します。

● FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話するかを切り替えるには

1 通話中▶[ ]（1秒以上）

Bluetooth機器側からの操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

おしらせ

- Bluetooth機器に切り替えても、ハンズフリー対応機器やイヤホンマイク（別売）を接続しているときは、Bluetooth機器で通話できない場合があります。
- 通話中画面、テレビ電話中画面の機能メニューからも通話を切り替えることができます。

Bluetooth機器を使って音楽・音声などを再生する

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、ミュージックプレーヤーの音楽やワンセグ・ビデオ・動画の音声などをBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

Bluetooth機器との接続について→P.373

オーディオサービスを接続待機している状態でBluetooth機器からオーディオサービスの接続を行った場合、ミュージックプレーヤーが自動で起動されます。ただし、待受画面以外を表示中や、他の機能が起動している場合などは、自動で起動されないことがあります。

2 再生する

Bluetooth機器から音が出力されます。

おしらせ

- SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみワンセグ･ビデオの音声を再生できます。
- ワンセグ・ビデオ・動画の音声や音楽などをBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
- ミュージックプレーヤーをバックグラウンド再生している場合でも、Bluetooth機器のリモコン操作は有効です。
- ステレオイヤホン（別売）やイヤホンマイク（別売）を接続しているときは、Bluetooth機器で再生できません。

おしらせ

- 一度、Bluetooth機器をオーディオサービスで接続すると接続履歴として記憶されます。接続履歴がある場合は、FOMA端末のBluetooth機能を有効（Bluetoothオン）にしていると、オーディオサービスで接続しなくても、ワンセグを視聴する際やファイルを再生する際に自動的にBluetooth機器と接続します。接続が成功するとBluetooth機器から音が出力され、接続に失敗するとFOMA端末から音を出力するかどうかの確認画面が表示されます。
- 動画やビデオ、音楽を再生中にBluetooth通信が切断された場合は、切断されたことを示すメッセージが表示されます。ただし、FOMA端末を閉じた状態で楽曲や音楽のMusic&Videoチャネルを再生中または一時停止中で、かつ省電力モード中の場合は、メッセージは表示されず、自動的にミュージックプレーヤーは終了します。

Bluetoothについて設定する

〈Bluetooth設定〉

1 Bluetoothメニュー画面（P.372）▶「Bluetooth設定」▶以下の項目から選択

サーチ時間……Bluetooth通信対応機器を検索する時間（01～20秒）を設定します。

着信音送出設定……接続しているヘッドセット機器やハンズフリー機器に、音声電話やテレビ電話の着信音を送信するかどうかを設定します。

外部機器からの発信……外部機器から電話をかけることができるかどうか設定します。

自局情報……FOMA端末に搭載しているBluetooth機能の機器名称、機器（Bluetooth）アドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。また、[✉]［編集］を押して機器名称の変更もできます。

おしらせ

<着信音送出設定>

- ヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

<自局情報>

- 機器名称に絵文字を設定した場合、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されない場合があります。

文字入力

「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。

文字入力について

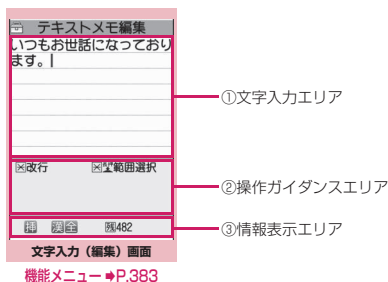
FOMA端末には文字の入力方式として、「かな方式」「2タッチ方式」「T9入力方式」の3方式が用意されています。ここでは、「かな方式」での文字入力を中心に説明します。

- 文字入力方式の設定、およびそれぞれの入力方式の特徴と入力方法については、次の項目をご覧ください。
  「文字入力方式を設定する」→P.379
  「かな方式で文字を入力する」→P.380
  「2タッチ方式で文字を入力する」→P.388
  「T9入力方式で文字を入力する」→P.388

文字入力（編集）画面について

文字入力（編集）画面は①文字入力エリア、②操作ガイダンスエリア、③情報表示エリアで構成されています。各エリアに表示されるアイコンの意味は以下のとおりです。

文字入力（編集）画面

機能メニュー➡P.383

①文字入力エリア

アイコン	説明
I	カーソル（文字入力位置）
◀	エンドマーク（文字終了位置）

②操作ガイダンスエリア

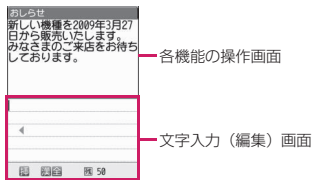
アイコン	説明
▲ ▼変換	[◎]で変換できるときに表示
▲ ▼全件 ▲ ▼検索	[◎]で電話帳検索ができるときに表示
◀ ▶ ▲ ▼領域	文字コピー（切り取り）の範囲指定時に表示
[*] 改行	[*]で改行できるときに表示

アイコン	説明
[*] あ／ぁ゛゜	[*]で入力した文字の小文字／大文字切り替えができるとき、または濁点／半濁点が付けられるときに表示
[#] AA→aa	[#]を押してCapsLockモードを解除できるときに表示→P.383
[#] aa→Aa	[#]を押してShiftモードにできるときに表示→P.383
[#] Aa→AA	[#]を押してCapsLockモードにできるときに表示→P.383
[*] 長押 範囲選択	[*]（1秒以上）で範囲選択ができるときに表示
[#] 長押 貼り付け	コピーまたは切り取りした文字があり、[#]（1秒以上）で貼り付けができるときに表示
[i] 長押 絵文字D入力	メール本文入力などに[i]（1秒以上）で絵文字D（デコメ®絵文字）が入力できるときに表示
[✓] 逆順	文字を入力中に[✓]で前の読みに戻せるときに表示（例：え→う）
[✓]デコレーション	メール本文入力中などに[✓]でデコメール®の作成ができるときに表示

③情報表示エリア

アイコン	説明
2 T9	文字入力方式（2タッチ方式／T9入力方式）を表示（かな方式は表示なし）
挿 上	挿入モード／上書きモード
漢 カナ 英 数	入力できる文字種
区	区点入力モード→P.386
全 半	全角モード／半角モード
小	小文字入力モード
Shift CAPS LOCK	Shiftモード／CapsLockモード→P.383
残	入力可能な残りバイト数（半角文字：1バイト、全角文字：2バイト）
入	FOMAカード電話帳、SMS本文入力時に、入力済み文字数を表示

分割画面について

スケジュールの参照登録など、画面によっては各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示される場合があります。

- 以下の場合に、各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されます。
  - ｉモード画面からのスケジュール参照登録
  - ｉモード画面からの辞典検索によるサイト参照入力
  - チャットメールのチャット画面
  - 文字編集から辞典検索を実行後の参照編集
  - クイック検索画面からの直接入力

● 操作する画面の切り替えかた

各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されているときは、機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択すると、操作する画面を切り替えることができます。

おしらせ

- チャットメールのチャット画面では、画面の切り替えはできません。

文字入力方式を設定する

３つの文字入力方式（かな方式、２タッチ方式、T9入力方式）のうち、利用する入力方式を設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「その他設定」▶「文字入力設定」▶「入力方式」▶文字入力方式を選択

おしらせ

- 文字の入力中に文字入力方式を切り替えることもできます。✉［文字］を１秒以上押すか、機能メニューから「入力モード切替」を選択します。

文字入力サイズを切り替える

文字入力（編集）画面の文字サイズを「小、中、大、特大」の４種類から選択します。

「文字サイズ・書体・太さを変える」→P.108

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「その他設定」▶「文字入力設定」▶「入力サイズ切替」▶入力サイズを選択

自動カーソル移動を設定する

自動カーソル移動を設定すると、かな方式（漢字モード）で文字を入力中、１文字入力するごとに自動でカーソルが右に移動します。

- 自動で移動するまでの時間は、以下のとおりです。
  - 遅い…約1.5秒後
  - 普通…約1.0秒後
  - 速い…約0.5秒後

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「その他設定」▶「文字入力設定」▶「自動カーソル移動」▶移動速度を選択

■ 自動でカーソルを移動させない場合
▶「OFF」
「OFF」に設定しているときに続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合は、□または もう一度そのボタンを１秒以上押すと、カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。

おしらせ

- 本機能は、数字入力モード以外で有効です。
- カーソルが移動した後でも、＊を押して入力した文字の小文字／大文字の切り替え、または濁点／半濁点を付けることができます。

ワード予測を設定する

ワード予測を利用するかしないか（ON、OFF）を設定します。

- お買い上げ時にはあらかじめ予測候補が登録されています。
- ワード予測での文字の入力方法について→P.380

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「その他設定」▶「文字入力設定」▶「ワード予測」▶「ON」または「OFF」

かな方式で文字を入力する

〈かな方式〉

1つのダイヤルボタンを何回か押し、1つの文字を入力します。たとえば「う」は、「あ行（あいうえお）」の3番目なので、1を3回押します。

- 文字割り当ての詳細については、「かな方式で入力できる文字」（P.437）をご覧ください。

漢字・ひらがな・カタカナを入力する

ひらがなの読みを入力し、それを漢字、ひらがな、カタカナなど、目的の文字に変換します。

● ワード予測を利用して入力する

ワード予測には、1文字入力するだけでその文字に対する用語を予測する機能や、選択した用語に続く用語を予測する機能があります。このため、少ない文字入力で簡単に文字を入力できます。

＜例：「携帯電話」と入力する場合＞

1 文字入力（編集）画面（P.378）▶漢字ひらがな入力モードにする

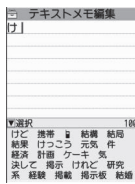
「漢字ひらがな入力モード（漢 全）」になっていない場合は、✉［文字］で切り替えます。

2 読みの一部を入力

2を4回

け

文字入力エリアに「け」が入力されます。また、操作ガイダンスエリアには、1文字入力しただけで、その文字に対する用語を先読みし、「予測候補」が表示されます。

3 ⌷

操作ガイダンスエリアにカーソルが表示され、予測候補が選択できるようになります。

■ **入力したい文字が予測候補にない場合**

▶CLR

読みの入力に戻ります。読みの続きを入力すると、予測候補も変更されます。または変換機能を利用します。

「入力したひらがなを変換する」→P.381

4 予測候補を選択

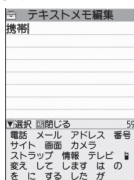
▶「携帯」を選択

文字入力エリアに選択した用語が入力されます。また、操作ガイダンスエリアには、選択した用語に続く予測候補が表示されます。

5 ⌷▶次の予測候補を選択

▶「電話」を選択

■ **予測候補表示を閉じる場合**

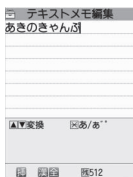
▶ch［閉］

おしらせ

- 予測候補には、よく使う顔文字、絵文字なども表示されます。
- 漢字ひらがな入力モード以外では予測候補は表示されません。
- 学習機能により、一度入力した用語は予測候補に追加されます。追加された予測候補は、反転しCLRを1秒以上押すと削除できます。
  すべての予測候補の学習履歴を削除する場合は、「学習履歴クリア」でワード予測の学習履歴をクリアします。

● 入力したひらがなを変換する

予測候補に目的の用語が表示されないときや、ワード予測をOFFに設定しているときは、入力したひらがなを目的の用語に変換します。

<例：「秋のキャンプ」と入力する場合>

❶ ひらがなを入力

■ ボタンを押し間違えた場合

▶CLRで文字を削除

■ ボタンを押す回数を間違えた場合

▶

同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

■ ひらがなで確定する場合

▶■［確定］

❷ 入力した文字を編集する

▶ch［変換］で漢字やカタカナなどに変換

最初の文節の変換候補が反転表示され、残りの未確定文字はアンダーライン（＿）で表示されます。

■ 変換候補に目的の漢字やカタカナなどが表示されている場合

▶■［確定］

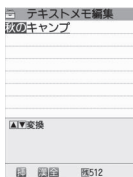
変換候補が確定し、次の文節が反転表示されます。

■ 変換候補に目的の漢字やカタカナなどが表示されていない場合

▶ch［変換］で変換候補を表示

▶変換する文字を選択

反転表示している文節の変換候補が一覧で表示されます。変換候補にはひらがなとカタカナも表示されます。

変換範囲の読みがすべて「あ」段の文字の場合、数字も変換候補として表示されます。たとえば123（あかさ）と入力した場合、「123」という変換候補も表示されます。

■ 変換範囲を変更する場合

▶で変換範囲を変更

変換した範囲に応じて変換候補も変更されます。

■ 英数カナ変換候補を表示する場合

▶i［英数］

入力したボタンに対応する英字、数字、カタカナの変換候補が表示されます。たとえば23（かさ）i［英数］と押すと、「AD」「23」「カサ」などの変換候補が表示されます。

2〜4桁の数字を入力すると、日付や時刻として表示可能な数字は、日付や時刻などの変換候補も表示されます。

- 10/19
- 10月19日
- 10:19
- 10時19分
- 1019年

おしらせ

- ●変換候補の一覧に記号、絵文字、顔文字が表示された場合は、それらの文字に変換することもできます。
  変換できる記号、絵文字、顔文字の読みについては以下の一覧をご覧ください。
  - 「変換記号読み一覧」→P.440
  - 「絵文字読み一覧」→P.441
  - 「顔文字読み一覧」→P.444
- ●記号、絵文字、スペース、改行の入力など、その他の入力操作については、「入力を補助する便利なボタン」（P.382）および文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.383）をご覧ください。
- ●変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。→P.386

● 文字数とスクロールについて

■残文字数、入力済み文字数について

文字入力（編集）画面の文字数は以下の規則に従ってカウントされます。

- 文字数は、半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。
- 半角文字の濁点「゛」と半濁点「゜」は、1文字分としてカウントされます。

各文字入力（編集）画面では、その機能で入力可能な文字数最後の印としてエンドマーク「◀」が表示されるので、入力の目安にしてください。

■スクロールについて

文字入力（編集）画面では、で行単位のスクロールができます。

変換候補一覧では、でページ単位のスクロールができます。

● 入力中、編集中のデータ保護について

文字入力（編集）画面で文字を入力しているときに電池が切れたり、音声電話がかかってきても、入力した文字は消えずに保持されます。

■電池が切れた場合

文字の入力中に電池切れアラームが鳴った場合は、文字入力（編集）画面から「電池充電してください」というメッセージ画面に切り替わります。このとき、入力中の文字は自動的に確定して保存されるので再度電源を入れてその機能を呼び出すと、続きを入力できます。ただし、入力内容が保存されない機能もあります。また、変換中や未確定の文字は保存されません。

電話帳の再編集について→P.82

■[終話]を押した場合

文字の入力中に[終話]を押した場合は、文字の入力を終了するかどうかのメッセージが表示されます。ただし、文字を1文字も入力していない場合、メッセージは表示されません。

<入力中の内容を保存しないで終了する場合>

「YES」を選択します。入力した文字を保存せずに、入力前の画面または待受画面に戻ります。

[終話]を押しても、入力した文字を保存しないで文字入力（編集）画面を終了します。

<文字の入力を続ける場合>

「NO」を選択します。入力したデータはそのままで文字入力（編集）画面に戻ります。

[CLR]を押しても文字入力（編集）画面に戻ります。

■音声電話がかかってきた場合

文字の入力中に音声電話がかかってきても、入力中の文字をそのままにして音声電話に出ることができます。通話を終了すると、文字入力（編集）画面に戻ります。音声通話中に[MENU]［MULTI］でタスク切替画面を表示させて、通話しながら文字入力（編集）画面に戻ることもできます。→P.349

その他の入力機能

文字入力（編集）画面を表示中に文字入力方式を切り替えたり、記号や絵文字などを入力するときは、機能メニューだけでなく、便利なボタンを利用できます。

● 入力を補助する便利なボタン

ボタン操作	動作
[✉]［文字］	● かな方式、T9入力方式では[✉]［文字］を押すたびに、入力する文字種が次のように切り替わります。 漢字ひらがな→ カタカナ→ 英字→ 数字 ※カタカナ・英字・数字の「半角／全角」の切り替えは機能メニューの「半角切替／全角切替」で行います。 ● 2タッチ方式では[✉]［文字］を押すたびに、全角／半角が切り替わります。 全角→ 半角
[✉]［文字］（1秒以上）	文字入力方式を切り替えます。 [✉]［文字］（1秒以上）を押すたびに、次のように切り替わります。 かな方式 → 2タッチ方式 → T9入力方式
[i]［絵記］	絵文字や記号を連続して入力したり、顔文字やURLを入力します。 一覧表示中は、[✉]または[i]を押してタブ表示を切り替えることができます。 ※絵文字D（デコメ®絵文字）は利用できるときのみ表示されます。 連続入力を終了するときは[CLR]を押します。
[i]［絵記］（1秒以上）	デコメ®絵文字が利用できる場合、カテゴリ別絵文字D（デコメ®絵文字）入力画面が表示されます。→P.139
[＊]	● 文字の変換確定後は、改行マーク「↲」を入力し、カーソルを次の行に移動します（数字入力モード以外）。 ● かな方式、2タッチ方式では「濁点／半濁点」の入力や、入力した文字の「大文字／小文字」の切り替えが行えます。
[＊]（1秒以上）	文字の装飾やコピー、切り取りの範囲を選択します。
[◎]	カーソルが文末にあるとき、[▶]を押すとスペースが入力され、[▼]を押すと改行マークが入力されます。

ボタン操作	動作
[#]	● T9入力方式の英字入力では押すたびに、大文字／小文字の入力モードが次のように切り替わります。 モード解除→Shiftモード→CapsLockモード ・モード解除：すべて小文字で入力されます。 ・Shift モード：モードを切り替えた直後の1文字のみ大文字で入力され、以降は小文字で入力されます（Shift モードが解除されます）。 ・CapsLockモード：すべて大文字で入力されます。 ● T9入力方式ではかな入力と漢字入力を切り替えます。
[#]（1秒以上）	コピーまたは切り取りした文字を貼り付けます。
[✓]	● かな方式で文字を入力中に、前の読みに戻します。（例：え→う） ● デコメール®の作成ができる場合、デコレーションメニュー（P.141）が表示されます。
[✓]（1秒以上）	文字の変換・貼り付け・切り取りなどの操作を1つ前の状態に戻します。

おしらせ

＜[i]［絵記］＞
- 絵文字、デコメ®絵文字（絵文字D）、全角記号、半角記号それぞれの画面の先頭の行に、過去に入力した絵文字・記号が表示されます。
- [ch]［全画］を押すと、全画面表示に切り替わり、「絵文字入力画面」または「記号入力画面」に移行します。

機能 文字入力（編集）画面（P.378）

顔文字入力……顔文字一覧を表示します。
顔文字一覧では反転した顔文字が2行表示になり、読み（意味）も表示されます。

小文字切替⇔大文字切替……これから入力する文字の「小文字、大文字」を切り替えます。

半角切替⇔全角切替……半角、全角を切り替えます。

コピー、切り取り、貼り付け→P.386

定型文入力→P.384

スペース入力……スペース（空白）を入力します。
全角入力、半角入力にかかわらず半角スペースが挿入されます。

改行入力……改行マーク「↲」を入力し、カーソルを次の行に移動します。

記号入力……記号入力画面から選択します。

絵文字入力……絵文字入力画面から選択します。

区点入力→P.386

上書きモード⇔挿入モード……「上書きモード」と「挿入モード」を切り替えます。
文字を入力すると、「挿入モード」ではカーソルの前に文字が挿入され、「上書きモード」ではカーソルの位置に文字が上書きされます。文字入力（編集）画面を表示したときは常に挿入モードになります。

データ引用→P.385

辞典検索→P.368

ワード予測OFF⇔ワード予測ON……ワード予測のOFF、ONを設定します。→P.379

入力モード切替……文字入力方式（かな方式、2タッチ方式、T9入力方式）を切り替えます。

自動カーソル移動→P.379

T9候補をかなで表示⇔T9候補を漢字で表示……T9入力方式で文字を入力するとき、入力した文字をかなに変換するか、漢字に変換するかを設定します。

JUMP……カーソルを文頭または文末へ移動します。

元に戻す……文字の変換・貼り付け・切り取りなどの操作を1つ前の状態に戻します。

ウィンドウ切替……分割画面が表示されているとき、操作する画面を切り替えます。→P.379

おしらせ

＜半角切替／全角切替＞
- 「漢字ひらがな入力モード」の場合は全角／半角を切り替えられません。

＜改行入力＞
- 改行マーク「↲」は文字と同じように削除したり上書きできます。

＜記号入力＞
- メールアドレスの登録画面、iモードメールの宛先入力画面、URLの入力画面などでは全角記号を入力できません。
- 記号入力画面表示中でも絵文字を入力することができます。一覧表示中は[✉]または[i]を押すたびに、一覧が切り替わります。
- 記号入力画面を表示後でも、[ch]［連続］を押すと「絵文字記号連続入力」に移行できます。

おしらせ

＜絵文字入力＞
- 絵文字、デコメ®絵文字（絵文字D）それぞれの画面の先頭の行に、過去に入力した絵文字が表示されます。
- 絵文字入力画面表示中でも記号を入力することができます。一覧表示中は[メール]または[i]を押すたびに、一覧が切り替わります。
- 絵文字入力画面を表示後でも、[ch]［連続］を押すと「絵文字記号連続入力」に移行できます。

＜入力モード切替＞
- 郵便番号の入力など、特定の項目の文字入力（編集）画面では文字入力方式を切り替えられない場合があります。

＜T9候補をかなで表示／T9候補を漢字で表示＞
- 設定は現在の文字入力（編集）画面でのみ有効です。次に文字入力（編集）画面を表示したときには、「T9変換モード」で設定した変換モードに戻ります。

文字を削除する

[十字キー]で削除したい文字の前にカーソルを合わせ、[CLR]を短く（1秒未満）押します。カーソルの右側の文字が削除されます。

■カーソルの右側に文字がない場合

カーソルの左側の1文字が削除されます。

■[CLR]を1秒以上押した場合

カーソルの右側にあるすべての文字が削除されます。

■カーソルより右側に文字がないときに[CLR]を1秒以上押した場合

すべての文字が削除されます。

定型文を入力する

- お買い上げ時に登録されている「固定定型文」は、入力モードによって「漢字ひらがな」または「半角カタカナ」のどちらかで入力されます。
- 定型文の修正／登録について→P.385

1 文字入力（編集）画面（P.378）▶[ch]［機能］▶「定型文入力」▶フォルダを選択

2 定型文を選択▶[■]［選択］

■ セキュリティフォルダの場合

▶端末暗証番号を入力▶タイトルを選択

おしらせ

- 定型文は以下のような文字入力（編集）画面で利用できます。
  - テキストメモ編集
  - ｉモードメールの題名／本文
  - ｉモードメールの冒頭文／署名／引用符
  - メール検索の題名入力
  - 自動振分け設定の題名入力
  - 定型文フォルダ名／定型文編集
  - アラームタイトル編集
  - 辞典検索語入力
  - To Doリスト編集
  - ウェイクアップのメッセージ編集
  - ｉモードのテキストボックスでの編集
  - ｉアプリでの文字編集
  - パスワードの入力
- パスワード入力画面で定型文を入力した場合、入力された文字は「＊」で表示されます。
- セキュリティフォルダ内の定型文を選択した場合、タイトル名ではなく、タイトルに関連付けられている定型文が入力されます。

電話帳やマイプロフィールなどから引用して入力する

メール、サイト、テキストメモなどの文字入力（編集）画面で、「電話帳」および「マイプロフィール」に登録されている名前、フリガナ、電話番号、メールアドレスなどを引用して入力します。
カメラを起動して文字やコードを読み取り、引用することもできます。
- 一部の文字入力（編集）画面では引用できません。

1 文字入力（編集）画面（P.378）▶ch［機能］▶「データ引用」▶以下の項目から選択

電話帳引用……電話帳を検索して目的の電話帳を表示し、引用するデータを選択して入力します。電話帳検索のしかた→P.83

マイプロフィール引用……引用するデータを選択して入力します。

テキストリーダー→P.232

バーコードリーダー→P.229

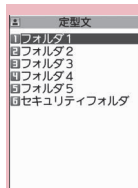
おしらせ

<マイプロフィール引用>
- 住所情報を引用する際、項目間に空白が入る場合があります。
- 所有者情報の誤入力により生じる問題については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

定型文を修正／登録する
〈定型文登録〉

よく使う言葉をあらかじめ定型文として登録しておき、文字入力の際に呼び出して入力します。
- 定型文は6つのフォルダに分けて保存されます。
  フォルダ1～2には、あらかじめ固定定型文がそれぞれ10件登録されています。
  フォルダ3～5、セキュリティフォルダには自作の定型文をそれぞれ10件まで登録できます。
- 固定定型文も修正できます。ただし、入力モードによる「漢字ひらがな／半角カタカナ」の自動判別入力は行われません。修正された内容で入力されます。
- セキュリティフォルダ以外のフォルダ名を変更して定型文を目的別に分けることもできます。

1 MENU▶「OWN DATA」▶「定型文」▶フォルダを選択

■ 定型文の一覧画面

定型文フォルダ一覧画面
機能メニュー➡P.386

定型文一覧画面
機能メニュー➡P.386

2 「<未登録>」を反転▶✉［編集］▶定型文を入力

■ セキュリティフォルダの場合
▶端末暗証番号を入力▶「<未登録>」を反転▶✉［編集］▶定型文を入力▶タイトルを入力

● セキュリティフォルダの利用のしかた

セキュリティフォルダは端末暗証番号を入力しないと表示できないため、サイトで利用するパスワードなどを登録しておくと便利です。定型文にタイトルを付けられるので、パスワードなどを定型文として入力しても、容易に識別できます。
- セキュリティフォルダに登録した定型文の入力のしかた→P.384

おしらせ

- メール用の定型文に絵文字を使用することもできます。

機能 定型文フォルダ一覧画面（P.385）

●セキュリティフォルダでは機能メニューは利用できません。

フォルダ名編集

フォルダ名初期化……お買い上げ時のフォルダ名に戻します。

iC全送信→P.337

赤外線全送信→P.336

機能 定型文一覧画面（P.385）

編集

iC送信※→P.337

赤外線送信※→P.336

1件削除、全削除

※：セキュリティフォルダのときは利用できません。

文字のコピー／切り取り／貼り付け

●コピーまたは切り取りによって記憶できるのは1件のみです。新しくコピーまたは切り取りすると前に記憶していた文字は上書きされます。

文字をコピー（または切り取り）する

1 文字入力（編集）画面（P.378）▶[＊]（1秒以上）

2 コピーまたは切り取りする先頭の文字の前にカーソルを移動▶[■][始点]

3 コピーまたは切り取りする終わりの文字までカーソルを移動▶[■][終点]▶「コピー」または「切り取り」

選択した範囲の文字が記憶されます。全角5,000文字、半角10,000文字まで記憶できます。

機能メニューから「コピー」または「切り取り」を選択してもコピーや切り取りができます。

■ 切り取りした場合

選択した範囲の文字が削除されますが、FOMA端末には記憶されています。

おしらせ

●予測候補が表示されているとコピーや切り取りはできません。

文字を貼り付ける

●コピーまたは切り取った文字は、次にほかの文字をコピーしたり、切り取ったり、電源を切るまで、何度でも貼り付けることができます。

1 文字入力（編集）画面（P.378）▶貼り付けする位置にカーソルを移動▶[＃]（1秒以上）

機能メニューから「貼り付け」を選択しても貼り付けることができます。

■ 貼り付け先の文字入力（編集）画面で入力できない文字が含まれている場合

スペースに置き換えたことを通知するメッセージが表示され、スペースが貼り付けられます。

おしらせ

●コピーまたは切り取った文字がない場合は利用できません。

区点コードで入力する〈区点入力〉

4桁の区点コードを使って漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力します。

●区点コードおよび区点コードで入力できる文字については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

●画面の表示は区点コード一覧表の文字や記号と異なる場合があります。

<例：「慶」（区点コード2336）を入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.378）▶[ch][機能]▶「区点入力」

「区点入力モード」に切り替わり、情報表示エリアに「区」が表示されます。

2 区点コード[2][3][3][6]を入力

入力した区点コードに対応した文字（ここでは「慶」）が入力され、元の入力モードに戻ります。

■ 入力した区点コードに対応する文字がない場合

スペースが入力されます。

よく使う単語を登録する 〈ユーザ辞書〉

よく使う単語を好きな読みでユーザ辞書に登録し、文字入力（編集）画面でその読みを入力して変換できるようにします。
- ユーザ辞書は100件まで登録できます。

1 MENU▶「OWN DATA」▶「ユーザ辞書」

ユーザ辞書画面

機能メニュー➡P.387

2 「<新規登録>」▶単語を入力▶読みを入力

■ 単語の内容を確認する場合
▶確認する単語を選択

■ 単語の内容を変更する場合
▶変更したい単語を反転▶✉［編集］

おしらせ
- 登録した単語はワード予測でも入力できるようになります。

機能 ユーザ辞書画面（P.387）

編集
ｉＣ送信、ｉＣ全送信→P.337
赤外線送信、赤外線全送信→P.336
microSDへコピー→P.325
削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

学習履歴を初期状態に戻す 〈学習履歴クリア〉

一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補にする機能（学習履歴）をクリア（お買い上げ時の初期状態に戻す）します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「その他設定」▶「文字入力設定」▶「学習履歴クリア」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

T9／ワード予測／絵文字記号……T9入力方式、「ワード予測」「絵文字」および「記号」で蓄積した学習履歴をクリアします。

かな漢字変換／顔文字……かな漢字変換で蓄積した学習履歴および顔文字入力画面の並び順をクリアします。

ダウンロードした辞書を使用する 〈ダウンロード辞書〉

ｉモードのサイトなどからダウンロードした辞書を変換用辞書として設定します。
- ダウンロード辞書は5件まで登録できます。
- ダウンロード時は有効に設定されます。
- 辞書のダウンロードのしかたについて→P.190

1 MENU▶「OWN DATA」▶「ダウンロード辞書」

ダウンロード辞書画面

機能メニュー➡P.388

2 辞書を選択
有効に設定した辞書には「★」が付きます。

■ 無効に設定する場合
▶「★」が付いている辞書を選択
無効に設定されて「★」が消えます。

おしらせ
- 顔文字のダウンロード辞書を有効にすると、顔文字を入力するときの一覧画面に反映されます。最大625件（内蔵125件を含む）まで一覧表示されます。

おしらせ

- 顔文字のダウンロード辞書を2件登録し、2件とも有効にした場合、最初に有効にしたダウンロード辞書の顔文字が一覧表示されます。

機能 ダウンロード辞書画面（P.387）

タイトル編集

辞書ファイル設定……ダウンロード辞書を有効または無効に設定します。

辞書情報……ダウンロード辞書の情報を表示します。

1件削除、全削除

2タッチ方式で文字を入力する
〈2タッチ方式〉

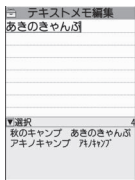
2つのダイヤルボタンを押し、1つの文字を入力します。
たとえば「う」は、「あ行（あいうえお）」の3番目なので、1 3 と押します。

- 文字割り当ての詳細については、「2タッチ方式で入力できる文字」（P.438）をご覧ください。
- ワード予測で予測候補を選択する方法、および入力したひらがなを目的の用語に変換する方法は、かな方式と同じです。→P.380

＜例：「あきのきゃんぷ」と入力する場合＞

1 文字入力（編集）画面（P.378）▶全角入力モードにする

「全角入力モード（全）」になっていない場合は、✉［文字］で切り替えます。

2 ひらがなを入力

おしらせ

- 「濁点／半濁点」の入力や「大文字／小文字」の切り替えは＊でも行えます。

T9入力方式で文字を入力する
〈T9入力方式〉

少ないボタン操作（1文字1回）で文字を入力し、予測・変換候補の中から目的の文字や用語を選択します。
たとえば「春」と入力したいときは、「は行」の 6 、「ら行」の 9 を押し、表示された予測・変換候補の中から「春」を選択します。

- T9入力方式の入力補助機能として、予測・変換候補に目的の文字がないときに読みを正しくする「読み編集機能」があります。
- 文字割り当ての詳細については、「T9入力方式で入力できる文字」（P.439）をご覧ください。
- T9入力方式が働くのは、入力モードが「漢字ひらがな」「カタカナ」「英字」のときです。「数字」では自動的に「かな方式」になります。

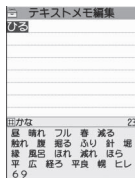
＜例：「春」と入力する場合＞

1 文字入力（編集）画面（P.378）▶漢字ひらがな入力モードにする

「漢字ひらがな入力モード（漢 全）」になっていない場合は、✉［文字］で切り替えます。

2 文字を入力

6（は行）　9（ら行）

「は行」と「ら行」の組み合わせから予測できる予測・変換候補が表示されます。

■ **入力した文字が多すぎる場合**

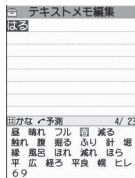
認識できない文字がグレーで表示されます。この場合、◐で変換範囲を変更すると、予測・変換候補も変更されます。

■ **予測・変換候補の表示を切り替える場合**

漢字／かな：#

英語／日本語：✉

3 ◎

操作ガイダンスエリアにカーソルが表示され、変換候補が選択できるようになります。

■ **文字の入力に戻る場合**

▶CLR

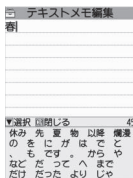
■ **反転した読みに対する予測候補を表示する場合**

予測・変換候補を反転し、✎を押すと、反転した候補の読みに対する予測候補が表示されます。
たとえば「春」に対する予測候補としては、「春休み」「遥か」などが表示されます。

■ 反転した読みに対する変換候補を表示する場合

予測・変換候補を反転し、ch［変換］を押すと、反転した候補の読みに対する変換候補が表示されます。
たとえば「春」に対する変換候補としては、「張る」「貼る」などが表示されます。

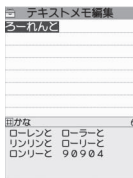
4 予測・変換候補を選択

文字入力エリアに選択した用語が入力されます。

● 読みを編集する

<例：「らんらんと」と入力する場合>

1 文字を入力

9（ら行）、0（わ行）、9（ら行）、0（わ行）、4（た行）

この場合、予測・変換候補の中に「らんらんと」という文字はありません。

2 i［読み］

読み編集モードになり、カーソルが先頭に移動します。操作ガイダンスエリアには、「ら行」の文字が表示されます。

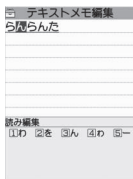
3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

この場合1（ら）を押します。
文字を修正すると次の文字にカーソルが移動します。同じように操作して読みを修正します。

■ 読みを修正しない場合

▶r で次に修正する文字にカーソルを移動

■ 途中で編集を終了する場合

▶i［戻る］
終了時の読みに対する予測・変換候補が表示されます。

T9変換モードを設定する

T9入力方式で文字を入力するとき、入力候補を漢字やカタカナで表示するか、ひらがなで表示するかを設定します。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「その他設定」▶「文字入力設定」▶「T9変換モード」▶「T9候補を漢字で表示」または「T9候補をかなで表示」

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

- FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要や利用方法などについては、以下の表の参照先をご覧ください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照ページ
留守番電話サービス	必要	有料	P.392
キャッチホン	必要	有料	P.393
転送でんわサービス	必要	無料	P.394
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	P.396
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.51
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.396

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照ページ
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P.70
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P.71
デュアルネットワークサービス	必要	有料	P.397
英語ガイダンス	不要	無料	P.397
マルチナンバー	必要	有料	P.400
2in1	必要	有料	P.401
OFFICEED	必要	有料	P.405
メロディコール	必要	有料	P.95

- ネットワークサービスセンターに接続して操作する場合、「圏外」のときは操作できません。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本書では各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

留守番電話サービス　〈留守番電話〉

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 「伝言メモ」(P.72) を同時に設定しているときに、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 伝言メッセージは1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件まで録音／録画でき、最長72時間保存されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始に設定する

お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる

⬇

音声電話／テレビ電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

⬇

相手が伝言メッセージを録音／録画する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに[#]を押すと、すぐに録音できる状態になります。

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることが通知される

伝言メッセージを再生する

留守番電話サービスを利用する

1 **[MENU]▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「留守番電話」▶以下の項目から選択**

留守番メッセージ再生※……音声電話の伝言メッセージまたはテレビ電話の伝言メッセージのどちらを再生するか選択すると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージの再生をします。

留守番サービス開始※……留守番電話サービスを開始します。呼出時間（000～120秒）を0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。

留守番サービス停止※

留守番呼出時間設定……呼出時間（000～120秒）のみを変更します。

留守番設定確認※……「留守番設定確認画面」の機能メニューから、「留守番サービス開始、留守番サービス停止、呼出時間設定、テレビ電話対応、テレビ電話非対応」が選択できます。

留守番サービス設定※……音声電話の伝言メッセージまたはテレビ電話の伝言メッセージを選択し、留守番電話サービスの設定を変更します。留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

メッセージ問い合わせ……伝言メッセージがあるかどうかを確認します。

件数増加鳴動設定……留守番電話サービスセンターで預かっている伝言メッセージが増えたとき、専用のお知らせ音を鳴らします。

表示消去……待受画面に表示された「（留守番電話アイコン）」（留守番電話アイコン）を消去します。

着信通知開始……電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、その着信の情報（着信日時や発信者番号）を、再び電源を入れたときや圏内になったときにSMS（留守番着信通知）でお知らせします。

- **全着信**……すべての着信を通知します。
- **発番号あり**……番号を通知している着信のみ通知します。

着信通知停止、着信通知開始設定確認

留守番テレビ電話設定……テレビ電話の伝言メッセージに対応するかどうかを設定します。

※：2in1のモードがデュアルモードの場合は、Aナンバーと Bナンバーの選択画面が表示されます。ただし、「留守番設定確認」ではBモードの場合も選択画面が表示されます。

おしらせ

- キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作が行えません。機能メニューよりDTMF送信モードに切り替えてください。→P.56

＜留守番設定確認＞
- 2in1のBナンバーの設定内容を確認した場合は、サービス開始中か停止中のみの情報が表示されます。

＜メッセージ問い合わせ＞
- 留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしている場合、待受画面に「」（留守番電話アイコン）と「」（「留守番電話あり」のデスクトップアイコン）を表示します。
- 留守番電話アイコンはお預かりしている伝言メッセージの件数によって、「」「」「」…「」（10件以上）と表示が替わります。
表示される伝言メッセージの件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- メッセージ問い合わせ後にお預かりしたメッセージは、本機能で確認できない場合があります。

＜件数増加鳴動設定＞
- 2in1のモードがAモードまたはBモードの場合は、利用しない電話番号に対する伝言メッセージが録音されても、お知らせ音は鳴りません。

＜表示消去＞
- 留守番電話アイコンを消去しても、伝言メッセージは消去されません。メッセージ問い合わせを行うと再び留守番電話アイコンが表示されます。

＜着信通知開始＞
- SMS一括拒否を設定している場合でも、履歴は通知されます。

キャッチホン 〈キャッチホン〉

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「通話中の着信動作選択」（P.398）を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することができません。
- キャッチホンを開始し、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定していれば、音声通話中にテレビ電話の着信があったとき、テレビ電話中に音声電話またはテレビ電話の着信があったときに、あとからかかってきた着信に応答することができます。ただし、この場合は通話中の音声電話やテレビ電話を終了する必要があります（現在の通話を保留にすることはできません）。→P.398

キャッチホンを利用する

1 **MENU ▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「キャッチホン」▶以下の項目から選択**

キャッチホンサービス開始、キャッチホンサービス停止、キャッチホンサービス設定確認

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[通話キー]

最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた音声電話を受けます。

2 最初の相手との通話に切り替える

■ あとからかかってきた相手との通話を終了する場合

▶[終話キー]▶[通話キー]

あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合

▶[通話キー]

あとからかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。

[通話キー]を押すたびに通話の相手が切り替わります。

■ 保留中の音声電話を終了する場合

▶ch［機能］▶「保留呼切断」

通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[終話キー]

最初の相手との通話が切れ、着信音が鳴ります。

2 [通話キー]

あとからかかってきた音声電話を受けます。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤル▶[通話キー]

最初の相手との通話は自動的に保留となり、新しくかけた相手との通話に切り替わります。

電話帳、着信履歴、リダイヤルからも検索することができます。→P.59、83

2 最初の相手との通話に切り替える

■ 新しくかけた相手との通話を終了する場合

▶[終話キー]▶[通話キー]

新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ 新しくかけた相手との通話を保留にする場合

▶[通話キー]

新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。

[通話キー]を押すたびに通話の相手が切り替わります。

■ 保留中の音声電話を終了する場合

▶ch［機能］▶「保留呼切断」

転送でんわサービス 〈転送でんわ〉

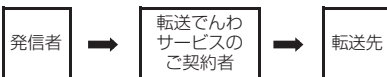
電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- 「伝言メモ」（P.72）を同時に設定しているときに、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する
⬇
転送でんわサービスを開始に設定する
⬇
お客様のFOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる
⬇
音声電話／テレビ電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される

転送でんわサービスの通話料について

転送でんわサービスのご契約者
転送先

発信者に通話料がかかります。　転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

転送でんわサービスを利用する

1 **MENU ▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「転送でんわ」▶以下の項目から選択**

転送サービス開始※1……転送先や呼出時間を設定し、「開始」を選択します。

転送先設定……転送先の電話番号を入力します。
設定すると「転送先設定」に「★」が付きます。
- [↑]または[↓]を押すと電話帳を検索して入力できます。
電話帳の検索のしかた→P.83

呼出時間設定……呼出時間（000～120秒）を入力します。
設定すると「呼出時間設定」に「★」が付きます。0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。

開始……転送でんわサービスを開始します。

転送サービス停止※1

転送先変更……転送先の電話番号を入力し、「転送先変更」または「転送先変更＋転送開始」を選択します。「転送先変更＋転送開始」を選択すると、同時に転送でんわサービスを「開始」に設定できます。

転送先通話中時設定※2……転送先が通話中のとき、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

転送サービス設定確認※1

※1：2in1のモードがデュアルモードの場合は、AナンバーとBナンバーの選択画面が表示されます。ただし、「転送サービス設定確認」ではBモードの場合も選択画面が表示されます。
※2：「留守番電話サービス」へのご契約が必要です。

おしらせ

<転送サービス開始>
- 2in1のモードがBモードの場合、「転送先設定」と「呼出時間設定」は選択できません。

<転送先変更>
- 2in1のモードがBモードの場合、「転送先変更＋転送開始」は選択できません。

<転送サービス設定確認>
- 2in1のBナンバーの設定内容を確認した場合は、「開始中」または「停止中」のみの情報が表示されます。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 **待受画面表示中▶[1][4][2][9]▶[📞]**
- 音声ガイダンスに従って設定してください。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス
〈迷惑電話ストップ〉

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないようにするサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、「着信履歴」にも記憶されません。

迷惑電話ストップサービスを利用する

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「迷惑電話ストップ」▶以下の項目から選択

迷惑電話着信拒否登録……最後に着信応答した迷惑電話を拒否登録します。

電話番号指定拒否登録……電話番号を入力、もしくは電話帳や着信履歴などから引用して拒否登録します。

- または を押すと電話帳を検索して入力できます。電話帳の検索のしかた→P.83
- を押すと着信履歴、を押すとリダイヤルを検索して入力できます。

迷惑電話1登録削除……最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。

迷惑電話全登録削除、拒否登録件数確認

番号通知お願いサービス
〈番号通知お願い〉

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

番号通知お願いサービスを利用する

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「番号通知お願いサービス」▶以下の項目から選択

番号通知お願い開始、番号通知お願い停止、番号通知お願い確認

デュアルネットワークサービス 〈デュアルネットワーク〉

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。
- mova端末からの操作についてなど、詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

デュアルネットワークサービスを利用する

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「デュアルネットワーク」▶以下の項目から選択

デュアルネットワーク切替……切り替えにはネットワーク暗証番号の入力が必要です。
ネットワーク暗証番号について→P.116

デュアルネットワーク状態確認

おしらせ

- 海外でFOMA端末を利用して帰国した後、mova端末でデュアルネットワークサービスを利用する場合は、FOMA端末の電源を入れてから利用してください。

<デュアルネットワーク切替>

- ネットワークの切り替えを行う場合は、利用可能状態の端末の通信を終了してから切り替えの操作を行ってください。

英語ガイダンス 〈英語ガイダンス〉

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

項目	言語	ガイダンス
発信時（各種ネットワークサービス設定時のガイダンスを含む）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	英語	英語ガイダンスが流れます。
着信時（相手がかけてきたときに相手に流れるガイダンス）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、その後に英語ガイダンスが流れます。
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、その後に日本語ガイダンスが流れます。

英語ガイダンスを利用する

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「英語ガイダンス」▶以下の項目から選択

ガイダンス設定……設定内容を以下の項目から選択します。

発信時＋着信時……発信時の言語を「日本語、英語」から選択し、次に着信時の言語を「日本語、日本語＋英語、英語＋日本語」から選択します。

発信時……発信時の言語のみを「日本語、英語」から選択します。

着信時……着信時の言語のみを「日本語、日本語＋英語、英語＋日本語」から選択します。

ガイダンス設定確認

おしらせ

- ドコモの携帯電話どうしでの通話の場合、流れるガイダンスは、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

サービスダイヤル 〈サービスダイヤル〉

ドコモ総合案内･受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

●お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「サービスダイヤル」▶以下の項目から選択

ドコモ故障問合せ……故障の問い合わせ先へ電話をかけます。

ドコモ総合案内・受付……総合案内・受付へ電話をかけます。

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選択する 〈通話中機能選択〉

「留守番電話サービス」「転送でんわサービス」「キャッチホン」をご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

●「留守番電話サービス」「転送でんわサービス」「キャッチホン」が未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。

●「通話中の着信動作選択」を利用するには、「通話中着信設定」を「通話中着信設定開始」に設定してください。

通話中の着信動作を選択する 〈通話中の着信動作選択〉

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「通話中の着信動作選択」▶以下の項目から選択

留守番電話……「キャッチホン」や「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。

転送でんわ……「キャッチホン」や「転送でんわサービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を転送先へ転送します。

着信拒否……通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信の着信を拒否します。

通常着信……音声通話中に音声電話がかかってきた場合、「キャッチホン」が「開始」に設定されているときは「キャッチホン」の利用が可能です。音声通話中（「キャッチホン」が「停止」に設定されているとき）、テレビ電話中や64Kデータ通信中の場合、以下のいずれかの動作が可能です。

- 通話中の音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信に応答することができます。
- 通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を、機能メニューから手動で操作できます。→P.399
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

通話中着信設定

「通話中の着信動作選択」で選択した機能設定を有効／無効にしたり、設定内容を確認します。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「通話中着信設定」▶以下の項目から選択**

通話中着信設定開始、通話中着信設定停止……「通話中の着信動作選択」の設定を有効または無効にします。

通話中着信設定確認

通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答する

● 通話中と着信が同じ種類の場合

＜例：通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合＞

1 **通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら［終話］**

通話中の電話が切れ、着信音が鳴ります。

■ テレビ電話、64Kデータ通信の場合

着信中画面が表示されます。

▶［終話］

2 **［通話］**

かかってきた音声電話を受けます。

■ 64Kデータ通信の場合

▶パソコン側で着信操作を行う

● 通話中と着信の種類が異なる場合

音声通話中にテレビ電話または64Kデータ通信の着信があったとき、テレビ電話中に音声電話または64Kデータ通信の着信があったとき、64Kデータ通信中に音声電話またはテレビ電話の着信があったときは次の操作をすれば通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答できます。

＜例：通話中のテレビ電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合＞

1 **通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえ、音声電話着信中画面が表示される**

64Kデータ通信の着信があった場合は「ププ・・ププ・・」という音は鳴りません。

2 **［通話］**

■ 64Kデータ通信の場合

▶［終話］▶パソコン側で着信操作を行う

手動で着信拒否したり、転送でんわサービスや留守番電話サービスに接続する

＜例：通話中着信設定が「通話中着信設定開始」、通話中の着信動作選択が「通常着信」の場合＞

1 **通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、ch［機能］**

2 **かかってきた電話の対応方法を選択**

■ かかってきた電話を着信拒否する場合

▶「着信拒否」

■ かかってきた電話を転送先へ転送する場合

▶「転送でんわ」

■ かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続する場合

▶「留守番電話」

いずれの場合も最初の相手との通話に戻ることができます。

遠隔操作を設定する 〈遠隔操作設定〉

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を設定しておく必要があります。
- 公衆電話などからネットワークサービスを操作する方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「遠隔操作設定」▶以下の項目から選択

遠隔操作開始、遠隔操作停止、遠隔操作設定確認

マルチナンバー 〈マルチナンバー〉

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけます。

- 2in1と同時に利用することはできません。
- 発着信中画面には、マルチナンバー（基本契約番号、付加番号1、付加番号2）に対応した登録名が表示されます。
- リダイヤル／発信履歴や着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

マルチナンバーを利用する

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「マルチナンバー」▶以下の項目から選択

通常発信番号設定……通常発信するときに使用する電話番号を設定します。

基本契約番号※……ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。

付加番号1、付加番号2※……付加番号で発信するように設定します。

通常発信番号設定確認

電話番号設定……マルチナンバーご契約時に通知された付加番号をFOMA端末に登録します。
▶付加番号を登録（または変更）する項目を反転▶✉[編集]▶登録名を入力▶付加番号を入力
付加番号は26桁まで入力できます。

- 「電話番号設定」を選択したときに表示される「マルチナンバー電話番号設定画面」の機能メニューについて→P.401

着信音設定……付加番号1または付加番号2に着信したときの着信音をそれぞれ設定します。→P.92

※：登録名を変更している場合は、変更した登録名が表示されます。

おしらせ

- FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。

<電話番号設定>

- 登録名は、マルチナンバーの各種設定操作を行うときや、通話ごとに使用する電話番号を選択したときなどに表示されます。

おしらせ

＜着信音設定＞

- 着信音の設定が重なった場合の優先順位については、P.93をご覧ください。

機能 マルチナンバー電話番号設定画面

編集……基本番号の名前または付加番号の電話番号と名前を編集します。

1件削除……基本番号の名前または付加番号の電話番号と名前を1件削除します。

全削除……基本番号の名前とすべての付加番号の電話番号と名前を削除します。

1回の通話ごとに電話番号を切り替えて発信する

電話をかけるたびに使用する電話番号を切り替えて発信します。

1 電話番号入力画面（P.54）▶ch［機能］▶「マルチナンバー」▶以下の項目から選択

基本契約番号※……ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。

付加番号1、付加番号2※……付加番号で発信するように設定します。

設定消去……設定を解除し「通常発信番号設定」の設定で発信するように設定します。

※：登録名を変更している場合は、変更した登録名が表示されます。

おしらせ

- 電話帳の詳細画面、リダイヤル／発信履歴／着信履歴の詳細画面などの機能メニューからも電話番号を切り替えて発信できます。

2in1 〈2in1〉

1つの携帯電話で、2電話番号・2メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

- 本機能では、お客様電話番号・メールアドレスを「Aナンバー・Aアドレス」、追加の電話番号・メールアドレスを「Bナンバー・Bアドレス」と呼びます。
- マルチナンバーと同時に利用することはできません。

モードについて

2in1では、モードを「Aモード」「Bモード」または「デュアルモード」に設定できます。

モード	内容
Aモード	お客様電話番号（Aナンバー）での発信とｉモードメール（Aアドレス）での送信、およびその関連データの閲覧ができます。
Bモード	2in1電話番号（Bナンバー）での発信とWEBメール（Bアドレス）が利用できるサイトへのアクセス、およびその関連データの閲覧ができます。
デュアルモード	A・Bモードの両方の機能を備えたモードです。

- モードごとに利用できるサービスについては**別表1**（P.402）をご覧ください。

おしらせ

- Bナンバー･Bアドレスの情報は、以下の操作で取得できます。
  - Bナンバー:Bナンバーのマイプロフィール画面から機能メニューの「2in1契約問い合わせ」を実行する→P.363
  - Bアドレス:Bナンバーのマイプロフィールの登録時にメールアドレスの「自動取得」を実行する→P.362
- 2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。
- BアドレスはWEBメール専用のWEBメールサイトでメールの送受信を行います。
- ｉモード契約中は、Bモードでもパケット通信が可能です。
- 2in1契約済みのFOMAカードから未契約のFOMAカードに差し替える場合は、Aモードに設定してから差し替えてください。

[別表1] モードごとに利用できるサービスについて

●モードごとに動作が異なる項目のみ記載しています（Aモードと共通の動作をするものは除いています）。

サービス		Aモード	Bモード	デュアルモード
音声電話／テレビ電話	発信	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択可※1
	着信※2	すべて		
電話帳※3	表示※4	A・共通	B・共通	すべて
	名前変換※5	A・共通	B・共通	すべて
	新規登録時の2in1設定	A	B	A
	赤外線／iC／microSDカードからの全件受信	送信元の電話帳2in1設定をコピー※6		
	赤外線／iC／microSDカードからの1件受信	A	B	A
	FOMAカード電話帳 FOMAカードへコピー	電話帳2in1設定は共通		
	FOMAカード電話帳 FOMAカードから本体へコピー	A	B	A
リダイヤル	表示	Aナンバー発信	Bナンバー発信	すべて
着信履歴	表示	Aナンバー着信	Bナンバー着信	すべて
メール／SMS	表示※4	Aアドレスで送受信したメール Aナンバーで送受信したSMS	【FOMA端末】 FOMA端末に保存したBアドレス宛ての受信メール（WEBメールサイト上で「端末に保存」の操作をしたメール）や新着通知メール・アラーム通知メール Bナンバーで受信したSMS 【WEBメールサイト】 Bアドレスで送受信したメール	【FOMA端末】 Aアドレスで送受信したメール、FOMA端末に保存したBアドレス宛ての受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール Aナンバーで送受信したSMS Bナンバーで受信したSMS 【WEBメールサイト】 Bアドレスで送受信したメール
	送信	【FOMA端末】 Aアドレスからのメール AナンバーからのSMS	【FOMA端末】 メール・SMS送信不可 【WEBメールサイト】 Bアドレスからのメール	【FOMA端末】 Aアドレスからのメール※7 AナンバーからのSMS 【WEBメールサイト】 Bアドレスからのメール

サービス			Aモード	Bモード	デュアルモード
メール／SMS	受信		Aアドレス宛てのメール／Aナンバー宛てのSMS（鳴動あり） FOMA端末に保存したBアドレス宛ての受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール／BナンバーのSMS（鳴動なし）	Aアドレス宛てのメール／Aナンバー宛てのSMS（鳴動なし） FOMA端末に保存したBアドレス宛ての受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール／BナンバーのSMS（鳴動あり）	Aアドレス宛てのメール／Aナンバー宛てのSMS（鳴動あり） FOMA端末に保存したBアドレス宛ての受信メールや新着通知メール・アラーム通知メール／BナンバーのSMS（鳴動あり）
	赤外線／ｉC／microSDカードからの全件受信		送信元の状態をコピー※6		
	赤外線／ｉC／microSDカードからの1件受信		A		
	FOMAカード（SMSのみ）	FOMAカードへコピー	A		
		FOMAカードから本体へコピー	A	表示不可	A
ｉアプリ			すべて利用可能	利用可能※8	利用可能※9
マイプロフィール			Aナンバー･Aアドレス	Bナンバー･Bアドレス	A・Bナンバー A・Bアドレス

※1： A･共通設定の電話帳の場合はAナンバー発信、B設定の電話帳の場合はBナンバー発信が初期状態になります。
※2： 電話帳指定着信許可、電話帳指定着信拒否を設定しているときは、利用しているモードと電話帳2in1設定にかかわらず、着信を許可／拒否します。
※3： 電話帳にシークレット登録をしている場合、シークレットモードが優先されます。
※4： Bモード時、microSDカード内のすべての電話帳が一覧表示されますが電話帳2in1設定がAの場合、詳細を表示しません。
また、メール／SMSも一覧表示されますが、Aナンバー・Aアドレス宛ての場合、詳細を表示しません。
※5： 発信元番号、発信先番号、送信元番号、送信先番号、送信元アドレス、送信先アドレスが電話帳に登録されている場合に、電話帳データとの照合により、各番号・各アドレスが登録されている電話帳データの名称に変換して表示する機能になります。
※6： 送信元が2in1非対応機種の場合、すべてAになります。
※7： デュアルモード時にメールの新規作成をすると、B設定となっている電話帳からも宛先アドレスの選択ができますが、Aアドレスからのメール送信となってしまうため注意が必要です。また、デュアルモード時にBアドレス宛てのメールを転送すると、Aアドレスでメール送信されますので注意が必要です。
※8： メール連動型ｉアプリ、メール機能を利用するｉアプリ、ｉアプリ待受画面は除きます。
※9： ｉアプリ待受画面は除きます。

2in1を利用する

2in1をONに設定して、各種設定操作を行います。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「2in1設定」▶端末暗証番号を入力▶「YES」**

2in1がONになります。

■ 2in1がONの場合
端末暗証番号入力後、操作2に進みます。

2 **以下の項目から選択**

モード切替……2in1のモードを「Aモード、Bモード、デュアルモード」から選択します。

電話帳2in1設定……2in1利用時、モードによって表示される電話帳を「電話帳2in1設定」または「グループ2in1設定」から設定します。
設定する電話帳または電話帳のグループを反転して■［切替］でモードを選択し、✉［完了］を押します。■［切替］を押すごとにA→B→ABの順に切り替わります。
電話帳の検索のしかた→P.83

モード別待受画面設定……Bモードまたはデュアルモードのときに表示する待受画面をそれぞれ設定します。→P.100
設定を変更した項目には「★」が付きます。お買い上げ時の設定に戻す場合は✉［解除］を押します。

発着信番号設定

発着信番号表示設定……発着信時に「Aナンバー（Aアドレス）」と「Bナンバー（Bアドレス）」のどちらの情報（名前や電話番号、メールアドレスなど）かわかるように、文字色を変えて表示するように設定します。
✉［切替］を押すとパレットの色（16色と256色）を切り替えることができます。お買い上げ時の設定に戻す場合はi［リセット］を押します。

Bナンバー着信設定……Bナンバーでの着信動作を設定します。「音声着信設定」「テレビ電話着信設定」では、以下の①着信音、②着信画面、③イルミネーション、④バイブレーション、⑤応答メッセージ、を設定できます。「メール着信設定」では、以下の①着信音、③イルミネーション、④バイブレーション、を設定できます。

音声着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定……
①着信音設定：「着信音選択」（P.92）の操作2へ
②着信画面設定：「着信音選択」（P.92）の操作2「■着信画像を設定する場合」へ
③イルミネーション設定：「着信イルミネーション」（P.105）の操作1へ
④バイブレーション設定：「バイブレータ」（P.94）の操作2へ
⑤応答メッセージ設定：「伝言メモを設定する」（P.72）の操作1で「ON」を選択後の操作へ

2in1機能OFF

着信回避設定……Aナンバー、Bナンバーの着信を規制します。

着信回避設定変更……AナンバーおよびBナンバーの着信回避機能を設定します。

着信回避設定確認

モード切替連動設定……2in1機能のモード切替と着信回避設定が連動するように設定します。AモードのときはAナンバー、BモードのときはBナンバーの着信のみを許可し、デュアルモードのときは両方の着信を許可するように設定します。
※開始にしていると、「圏外」ではモード切り替えができません。

着信回避設定（海外）……海外から着信回避を設定します（モード切替連動設定を開始にしている場合は停止されます）。

おしらせ

- 2in1がOFFの場合は、待受画面表示中に2を1秒以上押しても「2in1設定」が行えます。

<モード切替>
- 2in1がONの場合は、待受画面表示中に2を1秒以上押してもモードを切り替えられます。

<電話帳2in1設定>
- FOMAカードの電話帳には、本機能を設定できません。
- 本機能で「電話帳一覧画面」から「電話帳詳細画面」を表示するには、機能メニューから「詳細表示」を選択してください。

おしらせ

＜モード別待受画面設定＞

- モードがAモードの場合は、「画面表示設定」の設定に従って待受画面が表示されます。
- プリインストールされている「ダイレクトメニュー」やダウンロードしたきせかえツールを設定中または、ｉアプリ待受画面やランダム待受画面が設定されている場合は、「Aナンバーと同じ」に設定していても各モードのお買い上げ時の画面が表示されます。

＜発着信番号表示設定＞

- 以下の画面に表示される名前／電話番号／メールアドレスが設定した文字色で表示されます。
  - 通話中／テレビ電話通話中画面
  - 発信／着信中画面
  - リダイヤル／発信履歴画面（一覧／詳細）
  - 着信履歴画面（一覧／詳細）
  - 送信※／受信アドレス履歴画面（一覧／詳細）
  - 着もじ送信メッセージ履歴画面

  ※：Bモード時は送信アドレス履歴画面を表示できません。
- Aナンバー／Bナンバー(Aアドレス／Bアドレス)の設定は、2in1をOFFにした場合でも着信中画面などに反映されます。

＜Bナンバー着信設定＞

- Aナンバー・Aアドレスと同じ設定にする場合は、各項目を「Aナンバーと同じ」に設定してください。
- 着信音の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。→P.93
- Bナンバーで非通知の音声電話着信があった場合、「着信拒否設定」の設定に従います。また、「着信拒否設定」の設定が「許可」のときにテレビ電話着信があった場合は、「着信設定」の「テレビ電話着信設定」に従います。

1回の通話ごとに電話番号を切り替えて発信する

2in1をONに設定し、モードをデュアルモードにしている場合は、利用する電話番号を切り替えて発信できます。

- 本機能が利用できるのは「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。

＜例：電話帳を利用して電話をかける場合＞

1 電話帳詳細画面（P.83）▶ch［機能］▶「発信設定」▶「2in1／マルチナンバー」▶以下の項目から選択

Aナンバー、Bナンバー……AナンバーまたはBナンバーで発信するように設定します。

設定消去……設定を解除し、電話帳の2in1設定に従って発信するように設定します。

おしらせ

- 次の操作を行った場合は、発信番号選択画面が表示され、そこから利用する電話番号を選択します。
  - 電話番号入力画面で電話番号を入力して発信した場合
  - 追加サービスに登録した特番からのサービスの利用時
  - 送信／受信アドレス一覧画面の機能メニューの「電話発信」を選択した場合
  - Phone to機能を利用した場合
  - 電話番号入力画面でイヤホンマイク（別売）などのスイッチを1秒以上押した場合
- 外部機器から発信・ATコマンド発信を行った場合、Aモード／デュアルモードのときはAナンバーで、BモードのときはBナンバーで発信します。

OFFICEED 〈OFFICEED〉

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

サービスを登録して利用する〈追加サービス〉

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

追加サービスや応答メッセージを登録する

1 MENU▶「SETTINGS/SERVICE」▶「サービス」▶「追加サービス」▶以下の項目から選択

追加サービス……新しいサービスを登録します。
▶「<未登録>」を反転▶ch［機能］▶「設定追加」▶サービス名を入力▶以下の項目から選択

特番……特番で接続します。
番号は20桁まで入力できます。

USSD……サービスコードで接続します。
番号は40桁まで入力できます。

応答メッセージ設定……登録したネットワークサービスを「サービスコード（USSD）」で利用するときに、ネットワークから通知されるコマンドに対して応答メッセージを登録します。
▶「<未登録>」を反転▶ch［機能］▶「設定追加」▶コマンドを入力▶応答メッセージ名を入力▶「YES」
コマンドは20桁まで入力できます。

■ 追加サービスや応答メッセージ設定を変更する場合
▶ch［機能］▶「設定変更」

■ 追加サービスや応答メッセージ設定を削除する場合
▶ch［機能］▶削除方法を選択

おしらせ

<追加サービス>
- サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。「特番」はサービスセンターに接続するための番号です。「サービスコード（USSD）」はサービスセンターに通知するためのコード番号です。

登録したサービスを利用する

1 MENU▶「SETTINGS/SERVICE」▶「サービス」▶「追加サービス」▶「追加サービス」

2 サービスを選択▶✉［送信］

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）は、海外の通信事業者のネットワークを利用して、海外でも通話やｉモードなどをご利用いただくものです。

- N-04Aは海外のドコモのローミングエリア※1で利用できます。エリアやご利用料金についての詳細は、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- ドコモのローミングエリアは、世界標準規格である3GPP※2に準拠した第3世代移動通信ネットワークです。
- 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - 『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』
  - DATA BOX内のマイドキュメントにプリインストールされているPDFファイル「海外ご利用ガイド」

※1：GSM／GPRSサービスエリアでは、本端末はご利用になれません。

※2：3GPP（3rd Generation Partnership Project）は、第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

■主要国の国番号について

国際電話を利用するときや、「国際ダイヤルアシスト設定」の設定を行うときなどに入力する「国番号」は、以下の番号を使用してください。

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	トルコ	90
イギリス	44	日本	81
イタリア	39	ニューカレドニア	687
インド	91	ニュージーランド	64
インドネシア	62	ノルウェー	47
エジプト	20	ハンガリー	36
オーストラリア	61	フィジー	679
オーストリア	43	フィリピン	63
オランダ	31	フィンランド	358
カナダ	1	仏領ポリネシア	689
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852
タイ	66	マカオ	853
台湾	886	マレーシア	60
チェコ	420	モルディヴ	960
中国	86	ロシア	7
ドイツ	49		

※このほかの国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』を確認してください。

海外で利用できるサービス

- 通信事業者や地域によっては利用できないサービスがあります。
- 海外でのパケット通信料は、日本国内でのパケット通信料と異なります。

■海外で利用できる通信サービス

- 音声電話※1
- テレビ電話※1※2
- ｉモード（フルブラウザを含む）
- メッセージR
- ｉモードメール
- パソコンと接続してのパケット通信
- SMS
- ｉチャネル※3
- ｉコンシェル※4
- ｉウィジェット※5

※1：2in1のBナンバーによる発信は利用できません（Bナンバーへ着信すると、通信事業者によっては、どの番号に着信するかを判別できない場合があります）。
また、マルチナンバーを利用しているときは、付加番号での発信ができません。

※2：海外の特定の通信事業者の利用者または日本のFOMA端末の利用者と国際テレビ電話が可能です。

※3：自動更新は海外の通信事業者に接続されたとき、自動的に一時停止されます。海外でｉチャネルの自動更新を再開するには、再度ｉチャネル設定を行う必要があります。ただし、月額料金のほかにパケット通信料が課金されます。また、「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新についてもパケット通信料が課金されます。

※4：ネットワークによってはｉコンシェルのインフォメーションをすべて取得できない場合があります。

※5：ｉウィジェット画面を表示すると同時に通信を行うウィジェットアプリがある場合、ｉウィジェット画面を表示すると、パケット通信および、1通信ごとにパケット通信料の最低料金がかかります。

おしらせ

- 国際ローミング中は、メッセージFの受信、エリアメールの受信、着もじの送受信、スキャン機能の「パターンデータ更新」と「自動更新設定」、ソフトウェア更新、パソコンと接続しての64Kデータ通信の利用はできません。ただし、障害を引き起こす可能性のあるデータの削除やアプリケーションの起動の中止はできます。また渡航先によっては2in1のONができない場合があります。

海外でご利用になる前の確認

- 海外でご利用いただく前に、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』もあわせてご覧ください。
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 国際ローミングサービスを利用するためには、WORLD WING対応のFOMAカード（青色以外）をFOMA端末に取り付けておく必要があります。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、海外の通信事業者の都合で請求が1ヶ月程度、遅れる場合がございます。
- 「通話時間／料金」に表示される通話料金はかけた場合と受けた場合の両方がカウントされます。ただし、表示される通話料金は実際の通話料金と異なったり、「￥＊＊」と表示される場合があります。

■充電について

- ACアダプタの取り扱い上のご注意について
  「アダプタ（充電器含む）についてのお願い」→P.18
- ACアダプタによる充電方法について
  「充電する」→P.46

■ｉモードの閲覧について

海外からｉモードサイトを表示するには、あらかじめ「ｉMenu」から「海外利用設定」を設定してください。

<日本で設定>

[i]▶「ｉMenu」▶「お客様サポート」▶「お申込・お手続き」▶「海外利用のお申込・お手続き」▶「海外利用設定」▶「ｉモード利用設定」▶「利用する」▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」

<海外で設定>

[i]▶「ｉMenu」▶「海外利用設定」▶「ｉモード利用設定」▶「利用する」▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」

- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ネットワークサービスについて

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外でも留守番電話サービスや転送でんわサービスなどをご利用できます。

- 海外でネットワークサービスを利用する前に、あらかじめ「遠隔操作設定」（P.400）を「遠隔操作開始」に設定しておく必要があります。
- 開始／停止などの操作が可能でも、サービス内容に制限があったり、サービス自体を利用できない場合があります。詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。

■SMSについて

ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。

- 海外の通信事業者を利用している相手の宛先は相手の電話番号の先頭に「+」、国番号を入力し、相手の電話番号を入力します（電話番号が「0」ではじまる場合は「0」を除いて入力します）。
  また、「010」「国番号」「相手の電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください）。
- 海外の通信事業者を利用している相手にSMSを送信したときに、本文中に相手側が対応していない文字が含まれている場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳しくは、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。

●海外でのお問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

- 国際電話アクセス番号、ユニバーサルナンバー用の国際電話識別番号の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

■主要国の国際電話アクセス番号（表1）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	デンマーク	00
アメリカ合衆国	011	ドイツ	00
アラブ首長国連邦	00	トルコ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
インド	00	ハンガリー	00
インドネシア	001	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フィンランド	00
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021/ 0014
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810

■ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	ブルガリア	00
コロンビア	009	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ共和国	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

※ユニバーサルナンバーは携帯電話や公衆電話、ホテルなどからご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

※ユニバーサルナンバーは、上記表に記載のある国のみご利用可能です。

※ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります（お客様の負担となります）。ホテル側にご確認されてからご利用ください。

滞在先での利用

本FOMA端末は3Gローミングエリアでご利用いただけます。海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。

● ディスプレイの表示、日付・時刻について

海外利用中は、接続している通信事業者名が待受画面に表示されます。

- 「ローミング中の通信事業者名の表示」→P.413
- メイン時計の時差補正（P.50）を「自動」に設定している場合は、接続している海外の通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信し、FOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。補正されるタイミングは海外の通信事業者によって異なります。
- 自動時刻時差補正は海外ではご利用いただけない場合があります。その際は手動で日付時刻設定を行ってください。
- サブ時計の表示方法（P.51）を「自動（ローミング時自動表示）」に設定すると、サブ時計に日本の時計を表示できます。
- 「メイン時計設定」の設定に関係なく、受信アドレス一覧は受信時の日本国内の日付･時刻に基づいて表示されます。
- 画面に「圏外」が表示されたままになっているときは「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定してください。また、電源を入れた直後は対応している電波の検索に時間がかかることがあり、その間「圏外」と表示される場合があります。
- 発信者番号を通知して電話をかけても、利用している通信事業者の事情により「通知不可能」や「非通知」など、相手の方に正しい番号が表示されない場合があります。また、「番号通知お願いサービス」を利用していても着信する場合があります。

● 帰国後の設定について

日本に帰国後は、FOMA端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索されてFOMAネットワーク（DOCOMO）に設定されます。

「通信事業者の検索方法を設定する」→P.412

滞在先で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけることができます。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号をダイヤルして電話をかけます。→P.54

- 電話帳などを利用して電話をかけるとき、「国際ダイヤルアシスト設定」のメッセージが表示される場合があります。「元の番号で発信」を選択してください。

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

1 待受画面表示中に＋（0（1秒以上））→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順にダイヤル

地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 （音声電話）、✉［テレビ電話］

●「国際ダイヤルアシスト設定」の「国番号設定」に登録されている国へ電話をかける

よくかける相手先の国名と国番号を「国際ダイヤルアシスト設定」（P.65）で登録しておけば、ダイヤル操作が簡単にできます。

- 電話帳、リダイヤル、発信履歴などから国際電話をかけることもできます。

1 相手の番号をダイヤル▶ch［機能］▶「国際電話発信」▶電話をかけたい国名を選択▶（音声電話）、✉［テレビ電話］

「＋」と「国番号」が追加されて国際電話がかかります。

●「国際ダイヤルアシスト設定」の「自動変換機能設定」で設定した国へ電話をかける

- 電話帳、リダイヤル、発信履歴などから国際電話をかけることもできます。
- 電話番号が「0」ではじまる場合のみ有効です。
- 「国際ダイヤルアシスト設定」（P.65）の「自動変換機能設定」を「ON」に設定してください。

1 相手の番号をダイヤル▶（音声電話）、✉［テレビ電話］▶「発信」

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として（国番号として「81」（日本）をダイヤル）電話をかけてください。

おしらせ

- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴画面から電話をかけることはできません。

滞在先で電話を受ける

海外でも国際ローミングサービスを利用して、電話番号を変更することなく、電話を受けることができます。→P.67

相手からの電話のかけかたについて

■日本から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先のFOMA端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

090（または080）－XXXX－XXXX

■日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先が日本国内または海外にかかわらず、国際アクセス番号＋「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

国際アクセス番号－81－90（または80）－XXXX－XXXX

おしらせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

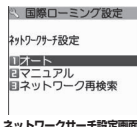
通信事業者の検索方法を設定する　〈ネットワークサーチ設定〉

利用中の通信事業者のネットワークが圏外になった場合に、ほかの通信事業者のネットワークに接続し直します。

- ●電波の状態やネットワークの状況により、本機能を設定できない場合があります。
- ●2008年12月現在、日本国内ではNTTドコモ以外の通信事業者は選択できません。
- ●海外で接続する通信事業者を手動で切り替えた場合は、帰国後に「ネットワークサーチ設定」を「オート」に変更してください。

接続する通信事業者を手動で切り替える

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「国際ローミング設定」▶「ネットワークサーチ設定」**

国際ローミング設定
ネットワークサーチ設定
1オート
2マニュアル
3ネットワーク再検索

ネットワークサーチ設定画面

2 **「マニュアル」▶接続したい通信事業者を選択**

■ 自動で通信事業者を切り替える場合
▶「オート」
自動検索の際に優先的に接続する通信事業者をあらかじめ設定しておくことができます。
→P.412

接続先のネットワークを再検索する　〈ネットワーク再検索〉

- ●「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定しているときに通信事業者が検出できなかった場合や、「マニュアル」に設定しているときに通信事業者を切り替えたい場合に、ネットワークを再検索してから接続先を切り替えます。
- ●「ネットワークサーチ設定」を「マニュアル」に設定しているときに、通信事業者が検出できないなど再検索が必要なときは、待受画面に「（ネットワーク再検索）」のデスクトップアイコンが表示されます。アイコンを選択するとネットワーク再検索を行います。

1 **ネットワークサーチ設定画面（P.412）▶「ネットワーク再検索」▶接続したい通信事業者を選択**

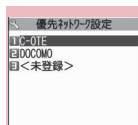
■「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定している場合
▶「ネットワーク再検索」

優先的に接続する通信事業者を設定する　〈優先ネットワーク設定〉

ネットワークの自動検索や再検索のときに、優先的に接続したい通信事業者を設定します。

- ●ユーザ設定優先ネットワークリストには、最大20件まで登録できます。
- ●ドコモ指定優先ネットワークリストとして通信事業者が登録されています。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「国際ローミング設定」▶「優先ネットワーク設定」**

優先順位の高い通信事業者から順番に一覧で表示されます。

優先ネットワーク設定画面

機能メニュー➡P.413

2 **優先順位を変更する通信事業者を反転▶ch［機能］▶「優先順位変更」**

3 **移動したい位置を反転▶■［選択］**

反転表示した項目の上に移動します。「<最後尾へ>」を選択した場合は最後尾に移動します。

4 **✉［完了］▶「YES」**

海外利用

機能 **優先ネットワーク設定画面（P.412）**

マニュアル登録……国番号（オペレータコード（MCC））とネットワーク番号（オペレータコード（MNC））を入力して登録します。

リストから登録……リストから通信事業者を選択して登録します。

在圏ネットワーク登録……現在接続している通信事業者が登録されます。

優先順位変更→P.412

削除……「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

おしらせ

- 電波の状態やネットワークの状況などによっては、本機能で設定した優先順位どおりに通信事業者が優先されない場合があります。

ローミング中の通信事業者名の表示 〈オペレータ名表示設定〉

国際ローミング中に、現在接続している通信事業者名をディスプレイに表示するかどうかを設定します。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「国際ローミング設定」▶「オペレータ名表示設定」▶「表示あり」または「表示なし」**

おしらせ

- 国内（FOMAネットワーク）在圏時は、「表示あり」に設定しても通信事業者名は表示されません。
- 「ネットワークサーチ設定」を「マニュアル」に設定している場合、「圏外」のときは「ネットワーク再検索」が表示され、待受画面に「検索（ネットワーク再検索）」のデスクトップアイコンが表示されます。

ローミングガイダンスを開始する 〈ローミングガイダンス設定〉

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すように設定します。

- 日本国内で設定してください。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「サービス」▶「ローミングガイダンス設定」▶以下の項目から選択**

ローミングガイダンス開始、ローミングガイダンス停止、ローミングガイダンス設定確認

おしらせ

- 海外通信事業者によっては、ガイダンスが流れない場合があります。
- ガイダンス設定を行わない場合でも、海外通信事業者で設定している呼び出し音が流れます。
- 海外通信事業者の事情により、外国語ガイダンスが流れる場合があります。

ローミング中は着信を受けないようにする 〈ローミング時着信規制〉

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

1 **MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「国際ローミング設定」▶「ローミング時着信規制」▶以下の項目から選択**

開始……国際ローミング中の着信を「全着信規制」（すべての着信を受け付けない）するか、「テレビ電話／データ呼規制」（テレビ電話と64Kデータ着信※を受け付けない）するかを設定します。
設定にはネットワーク暗証番号（P.116）の入力が必要です。

停止……ローミング時着信規制を停止します。
停止にはネットワーク暗証番号（P.116）の入力が必要です。

確認

※：本FOMA端末では、国際ローミング中の64Kデータ通信は利用できません。

ローミング中の着信をSMSで通知するように設定する〈ローミング着信通知〉

FOMA端末の電源が入っていないときや、ネットワーク圏外のときに着信があった場合、その着信の情報（着信日時や発信者番号）を再び電源を入れたときやネットワーク圏内になったときにSMSにてお知らせします。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「国際ローミング設定」▶「ローミング着信通知」▶以下の項目から選択

開始、停止、確認

ローミング中にネットワークサービスを利用する〈海外用サービス〉

- 海外から「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などのネットワークサービスの一部を利用します。
- 「留守番電話（海外）」や、「転送でんわ（海外）」を利用するには、あらかじめ「留守番電話サービス」「転送でんわサービス」のご契約が必要です。また、あらかじめ「遠隔操作設定」の設定も必要です。
- 「圏外」のときは操作できません。
- 海外から操作した場合は、ご利用いただいた国の国際通話料がかかります。
- ネットワークサービスについて詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などをご覧ください。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「国際ローミング設定」▶「海外用サービス」▶以下の項目から選択

留守番電話（海外）

留守番サービス開始、留守番サービス停止、留守番呼出時間設定……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

留守番メッセージ再生、留守番サービス設定……音声電話またはテレビ電話を選択して音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

転送でんわ（海外）

転送サービス開始、転送サービス停止、転送サービス設定……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

遠隔操作設定（海外）……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

番号通知お願い（海外）……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

ローミングガイダンス（海外）……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

ローミング着信通知（海外）……音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

おしらせ

- 滞在先で設定してください。

パソコン接続

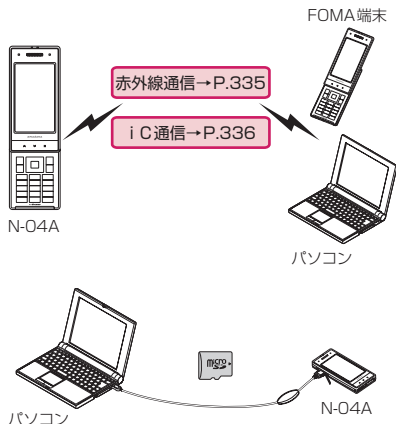
データ通信の詳細については、付属のCD-ROM内または、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。

データ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信は、パケット通信、64Kデータ通信とデータ転送（OBEX™通信）に分類されます。

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02→P.448
microSDカード→P.320
ドコモケータイdatalink→P.419

パケット通信

送受信されたデータ量に応じて課金され※1、FOMAハイスピードエリアでは受信最大7.2Mbps※2、送信最大384kbps※2の高速通信を行うことができます。
通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。

- ドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」や「musea」でパケット通信をご利用の場合、送受信ともに最大384kbpsとなります。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。

FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスすることもできます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信対応アクセスポイントを利用します。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。

- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。

※1：データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
※2：技術規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。また、FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。

64Kデータ通信

データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されます。※
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などのFOMA 64K データ通信対応アクセスポイント、またはISDN同期64Kアクセスポイントを利用します。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。

- 海外で64Kデータ通信は利用できません。

※：長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

ご使用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項 目	説 明
パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	• Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（各日本語版） ※ ドコモ コネクションマネージャは、Windows 2000 Service Pack 4以降、Windows XP Service Pack 2以降 （動作環境詳細はドコモのホームページをご覧ください。）
必要メモリ	• Windows 2000：64Mバイト以上※2 • Windows XP：128Mバイト以上※2 • Windows Vista：512Mバイト以上※2
ハードディスク容量	• 5Mバイト以上の空き容量※2 ※ ドコモ コネクションマネージャは15Mバイト以上の空き容量

※1：OSアップグレードからの動作は保証の対象外となります。
※2：パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

おしらせ

- 本FOMA端末をドコモのPDA「musea」や「sigmarion Ⅲ」と接続してデータ通信を行うことができます。「musea」と接続する場合は、アップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 本FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- 本FOMA端末は、FAX通信には対応していません。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「N-04A用CD-ROM」

おしらせ

- USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02」または「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

手順を確認する

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続します。

■付属の「N-04A用CD-ROM」に収録されているソフトについて

- FOMA通信設定ファイル（ドライバ）、ドコモ コネクションマネージャ、FirstPass PCソフトが入っています。
- FOMA通信設定ファイルとは、FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送（OBEX™通信）を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。FOMA通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。
  ドコモ コネクションマネージャを使うと、パケット通信、64Kデータ通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

設定完了までの流れ

■データ転送（OBEX™通信）の場合

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

付属のCD-ROMからインストールまたは、ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

※ ドコモケータイdatalink（P.419）もインストールしてください。

■パケット通信／64Kデータ通信の場合

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする

付属のCD-ROMからインストールまたは、ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

ドコモ コネクションマネージャで接続先の設定をする場合

ドコモ コネクションマネージャを使わないで設定をする場合

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

設定する※

パケット通信をする場合と64Kデータ通信をする場合、またドコモ コネクションマネージャを使う場合と使わない場合のそれぞれで設定方法は異なります。

接続／切断

※：FOMA端末とパソコンを接続してインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもあります。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、モデムなどの制御に使われるコマンド体系の1つで、FOMA端末はATコマンドに準拠しています。さらにFOMA端末では拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのATコマンドの詳細については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。

CD-ROMを利用する

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書（PDF）が収録されています。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

- CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。

ドコモケータイdatalinkの紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記ホームページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記ホームページへのアクセスも可能です。

http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、「ドコモケータイdatalink」をご利用になるには、別途「USB接続ケーブル（別売）」が必要となります。

付録／困ったときには

■外部機器との連携

■困ったときには

メニュー機能一覧

- 　　　　は「設定リセット」（P.134）を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 　　　　は、以下のリセット／初期化を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。
  - メール設定リセット（P.165）
  - ｉモード設定リセット（P.192）
  - ｉチャネル初期化（P.199）
  - フルブラウザ設定リセット（P.211）
- お買い上げ時の設定欄の色文字は、他の項目で設定内容を記載しているため、参照先（記載箇所）を示しています。
- メニュー番号によるボタン操作は、メインメニューを「Standard」に切り替えたときのみ有効です。→P.32

メニュー構成（大項目／中項目／小項目）		メニュー番号	お買い上げ時の設定	ページ
MAIL（メール）				
受信BOX		—	—	P.155
送信BOX		—	—	
保存BOX		—	—	P.146
送受信BOX		—	—	P.155
新規メール作成		—	—	P.138
新規デコメアニメ作成		—	—	P.142
WEBメール		—	—	P.139
チャットメール		—	—	P.169
SMS作成		—	—	P.174
ｉモード問い合わせ		—	—	P.150
メール選択受信		—	—	P.149
SMS問い合わせ		—	—	P.176
テンプレート		—	—	P.143
メール設定	スクロール設定	—	1行スクロール	P.164
	文字サイズ設定	—	中	
	メール一覧表示設定	—	1行＋本文表示 一覧表示切替：名前表示	
	本文表示設定	—	通常表示	
	添付ファイル自動再生設定	—	自動再生する	
	冒頭文／署名設定	—	冒頭文編集・署名編集：未登録 引用符編集：> 自動貼付設定：貼り付ける	P.165
	BOXロック	—	すべてチェックなし（OFF）	P.128
	受信時動作設定	—	通知優先	P.164
	メール選択受信設定	—	OFF	
	添付ファイル優先受信設定	—	すべて受信	
	メール読み上げ設定	—	読み上げ音声設定：女性ボイス1 受信時読み上げ設定：有効	

メニュー構成（大項目／中項目／小項目）		メニュー番号	お買い上げ時の設定	ページ
メール設定	チャット設定	—	お知らせ音設定：チャットお知らせ音1 チャットメール画像設定：有効 チャット読み上げ設定：無効 ユーザ詳細設定 ユーザ名：自分 画像：ビーンズ 音声：女性ボイス1	P.174
	感情／キーワードお知らせ	—	感情お知らせ：ON キーワードお知らせ：OFF キーワード：未登録	P.166
	SMS設定	—	SMS送達通知設定：要求しない SMS有効期間設定：3日 SMS本文入力設定：日本語入力（70文字）	P.165
	エリアメール設定	—	受信設定：利用する 受信登録：未登録 ブザー鳴動時間：10秒	P.169
	メール設定確認	—	—	P.165
	メール設定リセット	—	—	
i-mode（iモード）				
iMenu		—	—	P.178
Bookmark		—	—	P.185
画面メモ		—	—	P.187
サイト閲覧履歴		—	—	P.181
Internet		—	—	P.184
ワンタッチマルチウィンドウ		—	—	P.186
フルブラウザ	ホーム	—	—	P.206
	Bookmark	—	おすすめストリーム	
	サイト閲覧履歴	—	データなし	
	URL入力	—	データなし	
	ワンタッチマルチウィンドウ	—	登録サイトなし	

メニュー構成（大項目／中項目／小項目）		メニュー番号	お買い上げ時の設定	ページ
フルブラウザ	フルブラウザ設定	―	アクセス設定：利用しない ホーム設定： Google（http://www.google.co.jp） スクロール設定 速度設定：低速 スクロール中のフォーカス表示：表示しない ポインタ設定 ポインタ表示設定：表示する 速度設定：標準 画像表示設定：表示する Cookie設定：有効 Referer設定：送信する	P.211
			表示モード設定 オリジナルレイアウト：100% ［携帯レイアウト設定時］：中	
			Script設定：有効 自動通信設定：毎回確認 設定・状態参照許可：許可する 効果音設定：VOLUME10 ウィンドウオープンガード設定：無効 タブ開き方設定：裏で開く	
ｉチャネル	ｉチャネル一覧	―	―	P.198
	ｉチャネル設定	―	テロップ表示設定：表示する テロップ速度設定：標準 テロップカラー設定 white（本体色：amadana black、amadana white） pink（本体色：ultimate pink） orange（本体色：amadana brown）	P.199
			テロップ文字サイズ設定：中	
	ｉチャネル初期化	―	―	
メッセージR／F		―	―	P.167
ｉモード問い合わせ		―	―	P.150
ユーザ証明書操作		―	―	P.194
ｉモード設定	スクロール設定	―	速度設定：低速 スクロール中のフォーカス表示：表示しない	P.192
	文字サイズ設定	―	中	
	画像表示設定	―	表示する	
	ｉモーション自動再生設定	―	自動再生する	P.197
	メッセージ自動表示設定	―	メッセージR優先	P.192
	添付ファイル自動再生設定	―	自動再生する	
	設定・状態参照許可	―	許可する	P.193
	メッセージ一覧表示設定	―	2行表示	P.192
	ホームURL設定	―	無効	
	効果音設定	―	効果音ON	
	タブ開き方設定	―	裏で開く	
	ｉモード設定確認	―	―	

メニュー構成（大項目／中項目／小項目）		メニュー番号	お買い上げ時の設定	ページ
ｉモード設定	ｉモード設定リセット	―	―	P.192
i-αppli（ｉアプリ）				
ソフト一覧		―	―	P.267
microSD	microSDソフト一覧	―	―	P.285
	microSD保存データ	―	―	P.286
ｉアプリコール履歴		―	―	P.283
自動起動設定		―	許可しない	P.281
ｉアプリ実行情報		―	―	P.270
SETTINGS／SERVICE（設定／サービス）				
きせかえツール設定		―	―	P.113
着信	着信音量	50	すべてレベル4	P.69
	着信音選択	13	電話・テレビ電話：HOPE メール・チャットメール：SESAME メッセージR・メッセージF：BLUE HEAVEN ｉコンシェル：A HINT	P.92
	ステレオ･3Dサウンド設定	64	ON	P.94
	バイブレータ	54	すべてOFF	P.94
	着信イルミネーション	89	着信イルミネーション選択 電話：色10 テレビ電話：色11 メール：色1 チャットメール：色2 メッセージR：色3 メッセージF：色4 ｉコンシェル：色5 パターン設定：固定パターン 不在お知らせ：ON	P.105
	マナーモード設定	20	マナーモード選択：マナーモード ［オリジナルマナー設定時］→P.98	P.98
			マナー起動時間設定･マナー解除時間設定：OFF	P.97
	電話帳画像着信設定	―	ON	P.101
	着信アンサー設定	58	エニーキーアンサー	P.68
	メール／メッセージ鳴動	68	すべてON（5秒）	P.96
	呼出時間表示設定	90	無音時間設定：OFF ［ON設定時］無音時間：1秒 時間内不在着信表示：表示する	P.131
	伝言メモ	55	OFF ［ON設定時］ 応答メッセージ：標準、呼出時間：13秒	P.72
	発着信番号表示設定	―	白（本体色：amadana black） 黒（本体色：amadana white、ultimate pink、amadana brown）	P.101
	メロディコール設定	―	―	P.95

次ページにつづく

メニュー構成（大項目／中項目／小項目）		メニュー番号	お買い上げ時の設定	ページ
通話	ハイパークリアボイス	—	ふつう	P.59
	自動音声メモ	—	OFF	P.364
	ノイズキャンセラ	76	ON	P.66
	通話品質アラーム	75	アラームなし	P.96
	再接続機能	77	アラームなし	P.66
	保留音設定	—	応答保留音１	P.70
発信	ポーズダイヤル	84	—	P.63
	サブアドレス設定	—	ON	P.66
	プレフィックス設定	—	WORLD CALL＝009130010（ユーザ設定は未登録）	P.64
	イヤホンスイッチ発信設定	—	OFF	P.369
	国際ダイヤルアシスト設定	—	自動変換機能設定：ON 国番号設定：日本（22か国登録済み） 国際プレフィックス設定：WORLD CALL＝009130010（ユーザ設定は未登録）	P.65
テレビ電話	送信画質設定	—	標準	P.75
	画像選択	—	応答保留選択：内蔵 通話保留選択：内蔵 代替画像選択：キャラ電（ビーンズ（Beans）） 伝言メモ選択：内蔵 伝言メモ準備選択：内蔵 音声メモ選択：内蔵	P.75
	音声自動再発信	—	OFF	P.75
	テレビ電話画面設定	—	親画面相手画像表示	
	テレビ電話切替機能通知	—	切替機能通知開始	P.75
	ハンズフリー切替	—	ON	P.75
	パケット通信中着信設定	—	テレビ電話優先	P.76
ディスプレイ	画面表示設定	56	待受画面〜メール受信結果 neon（本体色：amadana black） tartan（本体色：amadana white） composite（本体色：ultimate pink） amadana signature（本体色：amadana brown） ウェイクアップ表示 welcome to amadana（メッセージは未入力） ウェイクアップ音：ON	P.100
	照明設定	70	通常時：ON（15秒間点灯）＋省電（待ち時間1分） 充電時：通常時と同じ 明るさ：自動調整ON（レベル4）	P.102

メニュー構成（大項目／中項目／小項目）		メニュー番号	お買い上げ時の設定	ページ
ディスプレイ	画面デザイン	86	カラーテーマ black（本体色：amadana black） white（本体色：amadana white） pink（本体色：ultimate pink） brown（本体色：amadana brown） アイコンパターン（電池／アンテナアイコン） classics（本体色：amadana black、ultimate pink） modernism（本体色：amadana white） futurism（本体色：amadana brown） ソフトキー gray（本体色：amadana black、amadana white、ultimate pink） brown（本体色：amadana brown）	P.103
	フォント設定	66	書体：ゴシック体 太さ：太字 文字サイズ：中	P.108
	デスクトップ	63	デスクトップ表示設定：使用時のみ表示 テーマ1：フォトモード、ｉコンシェル、クイック検索、ワンセグ、amadana channel	P.109
	新着お知らせ3D表示	―	ON	P.112
	バイリンガル	15	Japanese	P.108
	オリジナルメニュー	52	マイプロフィール、ｉモード問い合わせ、着信音量、バイブレータ、アラーム、端末暗証番号変更	P.104
	メニュー画面設定	57	メニュー表示：一覧表示 テーマ neon（本体色：amadana black） tartan（本体色：amadana white） composite（本体色：ultimate pink） amadana signature（本体色：amadana brown） フォーカス記憶：ON 操作履歴リセット：―	P.104
	ピクチャ表示設定	―	ピクチャ一覧	P.302
	表示アイコン説明	36	―	P.25
	表示アイコン設定	―	ON	P.112
	プライバシーアングル	―	OFF	P.102
	表示画質モード設定	―	ビビッド	P.106
	クイックインフォ設定	―	送信元のみ表示	P.247
	充電中ディスプレイ	―	ヨコスタイル時計	P.102
	マチキャラ設定	―	ON（yutanpo）	P.107
	インフォメーション表示設定	―	ON	P.202
時間／料金	通話時間／料金	61	―	P.365
	通話料金通知	―	上限料金の設定：未設定 通知設定：通知しない [通知する設定時] アラーム音選択：アラーム音 アラーム音量：レベル4	P.366

次ページにつづく

メニュー構成（大項目／中項目／小項目）		メニュー番号	お買い上げ時の設定	ページ
時間／料金	積算リセット	60	―	P.365
	積算料金自動リセット	―	OFF	P.366
時計	メイン時計設定	31	自動時刻時差補正 時刻補正：自動、時差補正：自動 サマータイム：OFF	P.50
	サブ時計設定	―	表示方法：自動（ローミング時自動表示） サマータイム：OFF エリア名表示：表示する	P.51
	待受時計表示	39	表示方法：英語 表示サイズ 小さく表示（本体色：amadana black、amadana brown） 上に小さく表示（本体色：amadana white、ultimate pink） 文字色 ホワイト（本体色：amadana black、amadana brown） ブラック（本体色：amadana white、ultimate pink）	P.108
	アラーム通知設定	―	通知優先	P.359
	アラーム通知中読み上げ	―	ON	P.361
	時刻アラーム音設定	―	アラーム音	P.96
	自動電源ON	―	OFF	P.352
	自動電源OFF	―	OFF	
ロック／セキュリティ	ロック	―	ダイヤルロック：解除	P.118
			オリジナルロック：解除 ［設定時］ オリジナルロック（高）：「データ閲覧・編集・削除」のみすべて選択 オリジナルロック（中）：「データ閲覧・編集・削除」の「メール」「データBOX・ツール類」「電話帳」のみすべて選択 オリジナルロック（低）：「データ閲覧・編集・削除」の「メール」のみすべて選択	P.122
	ICカードロック設定	―	ICカードロック：OFF 電源OFF時ICロック設定：直前の状態を保持	P.292
	キー操作ロック	―	クローズ時：OFF タイマー：OFF ロックキー：ON 端末暗証番号有無：なし	P.126
	セルフモード	―	解除	P.132
	シークレットモード	40	解除	P.119
	シークレット専用モード	41	解除	
	登録外着信拒否	―	許可	P.131
	非通知着信設定	10	すべて許可 着信音：通常着信音と同じ 着信画面：通常着信画面と同じ	P.130
	端末暗証番号変更	29	0000（数字のゼロ4つ）	P.117

メニュー構成（大項目／中項目／小項目）		メニュー番号	お買い上げ時の設定	ページ
ロック／セキュリティ	ICカード認証設定	—	無効 外部ICカード情報：未登録	P.127
	PIN設定	—	—	P.117
	スキャン機能	—	スキャン機能設定 スキャン機能：ON メッセージスキャン：ON	P.471
スライド設定	スライドアクション設定	—	すべてチェックなし（OFF）	P.351
	クローズ動作設定	18	保留（スピーカー鳴動する）	P.69
	スライド音	—	オープン音：OPEN SESAME #1 （鳴動時間2秒） クローズ音：CLOSE SESAME #1 （鳴動時間2秒）	P.95
イルミネーション	ボタンイルミネーション	—	ON 電源ON・電源OFF パターン設定：ON、色設定：色7 通話開始 パターン設定：ibuki、色設定：色7 感情お知らせ：常時 アラーム パターン設定：kodou、色設定：色1 スヌーズ パターン設定：ON、色設定：色2 赤外線通信中 パターン設定：ON、色設定：色5 IC通信中 パターン設定：ON、色設定：色3 充電開始 パターン設定：ON、色設定：色5 誕生日 パターン設定：ON、色設定：色6 オープン パターン設定：mezame 色設定：色6（本体色：amadana black） 色2（本体色：amadana white） 色5（本体色：ultimate pink、amadana brown） クローズ パターン設定：hotaru 色設定：色6（本体色：amadana black） 色2（本体色：amadana white） 色5（本体色：ultimate pink、amadana brown）	P.106
	ボタンバックライト	—	色6（本体色：amadana black） 色2（本体色：amadana white） 色5（本体色：ultimate pink、amadana brown）	

次ページにつづく

メニュー構成（大項目／中項目／小項目）		メニュー番号	お買い上げ時の設定	ページ
ボタン／タッチセンサー設定	ボタン確認音	30	ON	P.95
	タッチセンサー設定	―	ON バックライト 色6（本体色：amadana black） 色2（本体色：amadana white） 色5（本体色：ultimate pink、amadana brown） タッチセンサー連動設定 バイブレータ：ON イルミネーション：ON スクロール機能：OFF	P.107
	chキー設定	―	ｉチャネル	P.352
外部接続	USBモード設定	―	通信モード	P.329
	イヤホン切替設定	51	イヤホン＋スピーカー	P.96
	イヤホンマイク設定	―	イヤホンマイク	P.369
	オート着信設定	94	音声着信・テレビ電話：オート着信なし	P.370
ｉアプリ設定	ソフト情報表示設定	―	表示しない	P.267
	待受画面終了	―	―	P.284
	ｉアプリ音量	―	レベル4	P.270
	サウンド優先設定	―	マルチメディア優先	P.270
	ｉウィジェット効果音	―	レベル4	P.287
	ｉアプリコールダウンロード設定	―	拒否しない	P.283
	ｉウィジェットローミング設定	―	いいえ	P.287
	ｉアプリについて	―	―	P.267
アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定	―	60秒間	P.192
	ｉモード問い合わせ設定	―	すべて問い合わせる	P.165
	接続先選択	81	ｉモード（ユーザ指定接続先：未登録）	P.193
	SMSセンター設定	―	ドコモ（ユーザ指定接続先：未登録）	P.176
	証明書	―	すべて有効	P.193
	証明書センター接続設定	―	ドコモ（ユーザ指定接続先：未登録）	P.195
国際ローミング設定	ネットワークサーチ設定	―	オート	P.412
	優先ネットワーク設定	―	―	P.412
	オペレータ名表示設定	―	表示あり	P.413
	海外用サービス	―	―	P.414
	ローミング時着信規制	―	―	P.413
	ローミング着信通知	―	―	P.414
サービス	着もじ	―	メッセージ作成：5件登録 メッセージ表示設定：番号通知ありのみ メッセージ3D表示：ON	P.61
	発信者番号通知	17	―	P.51
	留守番電話	―	―	P.392
	キャッチホン	―	―	P.393
	転送でんわ	―	―	P.394

メニュー構成（大項目／中項目／小項目）		メニュー番号	お買い上げ時の設定	ページ
サービス	2in1設定	—	OFF [ON設定時] モード切替：デュアルモード モード別待受画面設定 デュアルモード待受画面：stripe Bモード待受画面：heart 発着信番号設定 発着信番号表示設定 Aナンバー 白（本体色：amadana black） 黒（本体色：amadana white、ultimate pink、amadana brown） Bナンバー モスグリーン Bナンバー着信設定 音声着信設定 着信音設定：着信音2 上記以外：Aナンバーと同じ テレビ電話着信設定 着信音設定：着信音4 上記以外：Aナンバーと同じ メール着信設定 着信音設定：着信音3 上記以外：Aナンバーと同じ	P.401
	迷惑電話ストップ	—	—	P.396
	番号通知お願いサービス	—	—	P.396
	通話中の着信動作選択	—	通常着信	P.398
	通話中着信設定	—	—	P.399
	遠隔操作設定	—	—	P.400
	デュアルネットワーク	—	—	P.397
	英語ガイダンス	—	—	P.397
	追加サービス	—	—	P.406
	サービスダイヤル	—	—	P.398
	マルチナンバー	—	着信音設定：通常着信音と同じ	P.400
	ローミングガイダンス設定	—	—	P.413
その他設定	充電確認音	—	ON	P.95
	電池残量	71	—	P.49
	在圏状態表示	—	—	P.351
	文字入力設定	35	入力方式：かな方式 ワード予測：ON T9変換モード：T9候補を漢字で表示 学習履歴クリア：— 入力サイズ切替：中 自動カーソル移動：普通	P.379 P.379 P.389 P.387 P.379 P.379
	音量制限	—	ON	P.96
	設定リセット	23	—	P.134
	端末初期化	—	—	P.135

メニュー構成（大項目／中項目／小項目）		メニュー番号	お買い上げ時の設定	ページ
その他設定	ソフトウェア更新	—	自動更新設定：自動で更新（曜日：指定なし、時刻：03：00）	P.464
DATA BOX（データBOX）				
マイピクチャ		46	ソート：新しい順 画像表示設定：標準 クイックアルバムの効果：スライド	P.300
ミュージック		—	前回の続きから再生：データなし 一覧表示切替：タイトル	P.255
			再生：MUSIC－【ミュージックプレーヤー】	P.260
Music&Videoチャネル		—	ソート：新しい順 一覧表示切替：タイトル＋画像 再生開始位置：先頭	P.253
			再生：MUSIC－【ミュージックプレーヤー】	P.260
ｉモーション		—	ソート：新しい順 一覧表示切替：タイトル＋画像（FOMA端末）、名前＋画像（microSD）	P.309
			再生：MUSIC－【ミュージックプレーヤー】	P.260
メロディ		16	ソート：新しい順 連続再生設定：OFF	P.316
マイドキュメント		—	ソート：新しい順	P.338
きせかえツール		—	ソート：新しい順	P.318
マチキャラ		—	ソート：新しい順 タイトル一覧 - ピクチャ一覧：ピクチャ一覧	P.315
キャラ電		—	代替画像設定：ビーンズ（Beans） 画像表示設定：画面サイズで表示 キャラ電撮影：フォトモード 画像サイズ選択：QCIF（176×144） 画像保存設定：ファイン 撮影種別設定：映像＋音声 動画保存設定：標準 ファイルサイズ設定：2MB以下	P.313
PC動画		—	再生：MUSIC－【ミュージックプレーヤー】	P.260
ワンセグ		—	字幕表示設定：ON（横全画面：下） ワンセグ効果 　音響効果：オート 　映像効果：ダイナミック アイコン常時表示設定：ON	P.235
マンガ・ブックリーダー		—	前回の続きを読む：データなし ソート：新しい順 文字サイズ設定：中 縦横設定：縦書き ルビ表示：OFF バイブレータ：ON 表示画面設定：2倍 照明設定：標準 しおり：値なし	P.343
ドキュメントビューア		—	—	P.340

メニュー構成（大項目／中項目／小項目）		メニュー番号	お買い上げ時の設定	ページ
LIFEKIT（LifeKit）				
バーコードリーダー		—	—	P.229
赤外線受信		79	—	P.336
microSD		—	—	P.323
カメラ	ムービーモード	—	【ムービーモード】 画像サイズ選択：VGA（640×480） ファイルサイズ設定：2MB以下 記録品質設定：最高品質 動画シャッター音選択：シャッター音1 動画保存先選択：本体の「カメラ」	P.225
	フォトモード	—	【フォトモード】 画像サイズ選択：フルスクリーン（480×854） 記録品質設定：スーパーファイン AF切替：AF ON シャッター音選択：シャッター音1 画像保存先選択：本体の「カメラ」 【連続撮影】：オート 撮影間隔／枚数 　撮影間隔：0.5秒 　撮影枚数：5枚 【フォトモード／ムービーモード】 自動保存設定：OFF ファイル制限：なし カメラ調節 　撮影モード選択：オート 　ホワイトバランス設定：オート 　エフェクト設定：フルカラー 　ちらつき軽減：オート 手ブレ補正設定：オート	P.220
	ボイスモード	—	ファイルサイズ設定：2MB以下 録音開始音選択：シャッター音1 音声保存先選択：本体の「カメラ」	P.227
	iモーション	—	ソート：新しい順 一覧表示切替：タイトル＋画像（FOMA端末）、名前＋画像（microSD）	P.309
	クイックアルバム	—	効果：スライド	P.227
ライフヒストリービューア		—	—	P.350
Bluetooth	登録機器リスト	—	未登録 接続状態：すべて停止	P.372
	新規機器登録	—	—	P.372
	Bluetoothオン - Bluetoothオフ	—	Bluetooth無効 （表示はBluetoothオン）	P.374
	接続待機	—	個別設定：すべて解除	P.374
	Bluetooth設定	—	サーチ時間：5秒 着信音送出設定：送る 外部機器からの発信：有効	P.375
電話帳お預りサービス		—	電話帳内画像送信設定：しない	P.132
スケジュール		45	—	P.354
アラーム		44	すべてOFF	P.353

メニュー構成（大項目／中項目／小項目）	メニュー番号	お買い上げ時の設定	ページ
To Doリスト	95	—	P.357
テキストメモ	42	—	P.367
電卓	85	—	P.367
音声メモの再生／消去	—	—	P.73
動画メモの再生／消去	—	—	
音声メモ	43	—	P.363
おしゃべり機能	91	—	P.364
FOMAカード（UIM）操作	—	—	P.332
マイプロフィール	0	拡大表示 - 標準表示：標準表示	P.361
電話帳画像転送	—	する	P.338
テキストリーダー	—	—	P.231
辞典	—	—	P.368
i-concier（ｉコンシェル）			
	—	—	P.200
PHONEBOOK（電話帳）			
	—	個別着信音／画像：すべて解除 個別発着信動作選択：すべて解除 拡大表示 - 標準表示：標準表示 誕生日お知らせ 　お知らせイルミネーション：ON 　イルミネーション選択：色9 　パターン選択：パターン2	P.83
OWN DATA（ユーザデータ）			
着信履歴	24	—	P.59
発信履歴	—	—	
ブログ・メールメンバー	97	—	P.147
チャットグループ	—	—	P.173
直デン	—	—	P.88
定型文	38	20件登録済み（フォルダ1、2）	P.385
ユーザ辞書	82	—	P.387
ダウンロード辞書	—	—	P.387

メニュー構成（大項目／中項目／小項目）	メニュー番号	お買い上げ時の設定	ページ
MUSIC			
ミュージックプレーヤー	—	前回の続きから再生：データなし 一覧表示切替：タイトル	P.255
		【ミュージックプレーヤー】 サウンドエフェクト 　イコライザ：OFF、エフェクト：OFF リピート設定：OFF シャッフル設定：OFF 音量：レベル10 再生画面設定：通常画面モード 画像表示設定：標準 プレーヤー画面変更 　neon（本体色：amadana black） 　tartan（本体色：amadana white） 　composite（本体色：ultimate pink） 　amadana signature（本体色：amadana brown） 連続再生設定：OFF	P.260
Music&Videoチャネル	—	再生開始位置：先頭	P.250
		再生：MUSIC－【ミュージックプレーヤー】	P.260
1SEG（ワンセグ）			
ワンセグ視聴	—	—	P.239
番組表	—	—	P.242
視聴予約リスト	—	—	P.244
録画予約リスト	—	—	
予約録画結果	—	—	P.245
テレビリンク	—	—	P.242
チャンネルリスト選択	—	—	P.238
チャンネル設定	—	—	P.238
ユーザ設定	—	字幕表示設定：ON（横全画面：下） 電池少量時録画設定：録画を継続する ワンセグ効果 　音響効果：オート 　映像効果：ダイナミック ワンセグECOモード：解除 照明設定：常時点灯 データ放送設定 　効果音設定：ON アイコン常時表示設定：ON タイムシフト再生設定：オートON	P.246
OSAIFU-KEITAI（おサイフケータイ）			
ICカード一覧	—	—	P.291
DCMX	—	—	P.274
トルカ	—	—	P.294
ICカードロック設定　ICカードロック	—	OFF	P.292
電源OFF時ICロック設定	—	直前の状態を保持	P.292

次ページにつづく

メニュー構成（大項目／中項目／小項目）		メニュー番号	お買い上げ時の設定	ページ
設定	トルカ設定	—	ICカードから取得：許容する（重複チェックは行う） ワンセグから取得：許容する 自動読取設定：ON スクロール設定：1行スクロール	P.296
	ICカード通知設定	—	イルミネーション：ON、バイブレータ：OFF	P.292
ICオーナー確認		—	—	P.292
ICオーナー変更		—	—	
i モードで探す		—	—	P.291
メニュー項目以外の機能				
マナーモード		—	解除	P.97
公共モード（ドライブモード）		—	解除	P.70
受話音量		—	レベル4	P.69
テレビ電話中		—	テレビ電話設定の明るさ調節：0 照明設定：常時点灯	P.56
ラストワン機能※		—	メインメニュー：DATA BOX	P.29
			電話帳検索：フリガナ検索	P.83

※：「ラストワン機能」とは、最後に操作したときに選択していた機能が、次の操作のときにあらかじめ選ばれている状態になる機能です。

シンプルメニュー

大項目	中項目／小項目	ページ
電話	電話帳検索	P.83
	リダイヤル	P.59
	着信履歴	P.59
	伝言メモ	P.72
	電話帳登録	P.81
	電話番号表示	P.361
メール	受信メール	P.155
	送信メール	P.155
	保存メール	P.146
	新規メール作成	P.138
	センター問合せ	P.150
i モード	i メニュー	P.178
	Bookmark	P.185
	画面メモ	P.187

大項目	中項目／小項目		ページ
カメラ	写真撮影		P.220
	動画撮影		P.225
	写真一覧		P.300
	動画一覧		P.309
設定／ツール	着信音設定		
		着信音量（電話）	P.69
		着信音量（メール）	
		着信音（電話）	P.92
		着信音（メール）	
	待受画面設定		P.100
	アラーム		P.353
	電卓		P.367
	通話料金／時間		P.365
	留守番電話		P.392
ワンセグ	視聴		P.239
	録画再生		P.311

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

かな方式で入力できる文字

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード	英字入力モード	数字入力モード
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ１	. / @ − : ~※1 _1	1
2	かきくけこ	カキクケコ2	a b c A B C2	2
3	さしすせそ	サシスセソ3	d e f D E F3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ４	g h i G H I 4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ5	j k l J K L5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ6	m n o M N O6	6
7	まみむめも	マミムメモ7	p q r s P Q R S7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ８	t u v T U V8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ9	w x y z W X Y Z9	9
0	わをんゎー	ワヲンヮ※2ー０	0	0＋※3
*	゛ ゜ ※4、※5、※6	゛ ゜ ※4、※5、※6	―――― ※4、※5	*
#	、。？！・ｽﾍﾟｰｽ ※7	、。？！・ｽﾍﾟｰｽ ※7	, . ? ! ' - & ( ) ¥ ｽﾍﾟｰｽ	#

※１：全角入力のときは「～」となります。
※２：「ワ」の小文字は全角入力のときに入力できます。
※３：「＋」は１秒以上押して入力できます。
※４：小文字／大文字を切り替えることもできます。
※５：改行マーク「↲」が入力されます。
※６：文字を確定する前に[□]を押すと一時的に「_」が表示され、その状態で押すと単独で「゛」「゜」が入力できます。
※７：ユーザ辞書の読み入力とFOMAカードへの電話帳登録のフリガナ入力のときは「、」「。」「？」「！」「・」は入力できません。

2タッチ方式で入力できる文字

■全角入力モード

ボタン 1桁目	2桁目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ ぁ	い ぃ	う ぅ	え ぇ	お ぉ	A a	B b	C c	D d	E e
2	か	き	く	け	こ	F f	G g	H h	I i	J j
3	さ	し	す	せ	そ	K k	L l	M m	N n	O o
4	た	ち	つ っ	て	と	P p	Q q	R r	S s	T t
5	な	に	ぬ	ね	の	U u	V v	W w	X x	Y y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z z	？	！	―	／
7	ま	み	む	め	も	￥	＆		※1 ☎	
8	や ゃ	（	ゆ ゅ	）	よ ょ	＊	＃		※1 ♥	※2
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ ゎ	を	ん	※3 ゛ 、	※3 ゜ 。	6	7	8	9	0

■半角入力モード

ボタン 1桁目	2桁目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ ｧ	ｲ ｨ	ｳ ｩ	ｴ ｪ	ｵ ｫ	A a	B b	C c	D d	E e
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F f	G g	H h	I i	J j
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K k	L l	M m	N n	O o
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ ｯ	ﾃ	ﾄ	P p	Q q	R r	S s	T t
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U u	V v	W w	X x	Y y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		※1 ☎	
8	ﾔ ｬ	(	ﾕ ｭ	)	ﾖ ｮ	*	#		※1 ♥	※2
9	ﾗ @	ﾘ /	ﾙ -	ﾚ _	ﾛ :	1 .ne.jp	2 .co.jp	3 .ac.jp	4 @docomo.ne.jp	5
0	ﾜ ~	ｦ '	ﾝ	※3 ﾞ ,	※3 ﾟ .	6 www.	7 .com	8 .html	9 http://	0 https://

- FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力では、全角入力モードでもカタカナ入力になります。

※1：「テキストメモ」や「定型文」の登録など、「絵文字入力」ができるときだけ使えます。また、常に全角文字として入力されます。SMS本文入力時、「絵文字入力」はできませんが「☎」「♥」は入力できます。
※2：8 0 を押すと大文字入力モード（上段）と小文字入力モード（下段）とが切り替わります。また、大文字を入力した後に＊を押して小文字に切り替えることもできます。
※3：「゛」「゜」を付けることができない文字のあとには、単独の「゛」「゜」が入力されます。また文字を確定する前に□を押すと一時的に「_」が表示され、その状態で入力すると単独で「゛」「゜」が入力できます。
　：スペースが入力されます。

T9入力方式で入力できる文字

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード	英字入力モード
1	あ行、1	ア行、1	. / @ ? ! ( ) , - _ : ' ~※5 & ¥ 1 半角スペース
2	か行、2	カ行、2	a b c A B C 2
3	さ行、3	サ行、3	d e f D E F 3
4	た行、4	タ行、4	g h i G H I 4
5	な行、5	ナ行、5	j k l J K L 5
6	は行、6	ハ行、6	m n o M N O 6
7	ま行、7	マ行、7	p q r s P Q R S 7
8	や行、8	ヤ行、8	t u v T U V 8
9	ら行、9	ラ行、9	w x y z W X Y Z 9
0	わ を ん ゎ ー、0	ワ ヲ ン ヮ※4 ー、0	0
*	※1、※2	※1、※2	※2、※6
#	※3	※3	

- 「数字入力モード」の文字割り当ては「かな方式」の文字割り当てを参照してください。
- FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力、「ユーザ辞書」の読み入力時には、数字候補は表示されません。
- 英字入力では#を押すたびに「モード解除」→「Shiftモード」→「CapsLockモード」の順に切り替わります。
- 「CapsLockモード」ではすべて大文字入力となります。「Shiftモード」でははじめの1文字のみ大文字が入力され、以降は小文字入力となります。モード解除の状態ではすべて小文字入力となります。
- 「Shiftモード」で文字確定後は、モード解除の状態に戻ります。

※1：読み編集中は、「゛」「゜」（濁点、半濁点）が付いた変換候補の切り替えを行います。
※2：改行マーク「↲」が入力されます。
※3：読みおよび文字の確定後は、「、」「。」「?」「!」「・」「スペース」が表示されます。
※4：「ヮ」の小文字は全角入力のみ入力できます。
※5：全角入力のときは「￣」となります。
※6：文字を確定する前に押すと、スペースを入力し文字を確定します。

変換記号読み一覧

以下の記号については、読みを入力して変換することもできます。なお、「きごう」と入力して変換すると、一部の記号が変換候補に表示されます。

文字入力	記号
あっと、あっとまーく	＠
いこーる	＝
えん	￥
おす	♂
おなじ	々
おなじく	〃
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】‘’ “” () ‹› [] {} ｢｣

文字入力	記号
から	～
こめ	※
ころん	：
こんま	，
さんかく	△▲▽▼
しゃせん	／＼
しかく	□■◇◆
しめ	〆
たす	＋
どう	ヽヾゝゞ〃々
ぱーせんと	％

文字入力	記号
ひく	－
ひしがた	◇◆
ほし	☆★
まる	○●◎
むげん	∞
めす	♀
やじるし	→←↑↓
ゆうびん	〒
るーと	√
わる	÷

絵文字読み一覧

絵文字は、以下の読みを入力して変換することもできます。

	読み
	わーい・かお・うれしい
	いかり・かお
	がく・かお・かなしい
	やだ・かお・かなしい
	かんがえる・かお・うーむ
	ほっ・かお
	ひやあせ・かお
	ひやあせ・かお
	いかり・かお・ぷー
	ぼけー・かお
	はーと・かお
	あかんべ・かお・べー
	うぃんく・かお
	うれしい・かお・にこ
	がまん・かお
	ねこ・どうぶつ
	なみだ・かお・なき
	なみだ・かお・なき
	えぬじー・だめ
	うまい・たべる・かお
	にやり・かお・わらい
	げっそり・さけび・むんく・かお
	はーと
	はーと
	しつれん・はーと
	はーと
	ふらふら・かお
	ぐっど・やじるし・や・うえ
	るんるん・おんぷ
	かわいい・はな
	きすまーく・きす・ちゅっ
	ぴかぴか・あたらしい・きら・ぴか

	読み
	ひらめき・きら・ぴか
	むかっ・いかり
	ぱんち・いかり・て
	ばくだん・ばくはつ・いかり
	むーど・おんぷ
	ばっど・やじるし・や・した
	ねむい・すいみん・ねる・ぐー
	びっくり・おどろき
	びっくり・おどろき
	びっくり・おどろき
	どんっ・しょうげき
	あせあせ・あせ
	あせ
	だっしゅ・にげろ
	ー
	ー
	はしるひと・だっしゅ・はしる・にげる
	め・みる・みて
	みみ・きく
	て・ぐー
	て・ちょき
	て・ぱー
	あし・あしあと
	めがね
	おーけー・て・おっけー
	おひつじざ・せいざ
	おうしざ・せいざ
	ふたござ・せいざ
	かにざ・せいざ
	ししざ・せいざ
	おとめざ・せいざ

	読み
	てんびんざ・せいざ
	さそりざ・せいざ
	いてざ・せいざ
	やぎざ・せいざ
	みずがめざ・せいざ
	うおざ・せいざ
	ぽけっとべる・ぽけべる・べる
	かめら・しゃしん
	かばん・ばっぐ
	でんわ
	けいたいでんわ・けいたい・けーたい・でんわ
	めも
	はーと・とらんぷ
	すぺーど・とらんぷ
	だいや・とらんぷ
	くらぶ・とらんぷ
	くるまいす
	かちんこ・かっと・かんとく
	ふくろ
	ぺん・めも
	ひとかげ
	いす
	とけい・じかん
	めーる・てがみ・あどれす
	あいでぃー
	ぱすわーど・かぎ
	つぎ・りたーん
	くりあ
	さーち・しらべる・むしめがね
	にゅー・にゅう・あたらしい
	はた・ふらっぐ・いち

次ページにつづく

	読み
	ふりーだいやる
#	しゃーぷ
@	
OK	けってい・おーけー・おっけー
	あいあぷり・あぷり
	あいあぷり・あぷり
	ちゃぺる・べる・かね
	どあ・とびら
	どるぶくろ・かね・おかね
	ぱそこん・ぴーしー
	らぶれたー・らぶめーる・てがみ・めーる
	れんち・しゅうり
	くりっぷ・てんぷ
©	
TM	
秘	まるひ・ひみつ
	りさいくる
®	
	きけん・ちゅうい
禁	きんし
空	くうしつ・くうせき・くうしゃ・あき
合	ごうかく
満	まんしつ・まんせき・まんしゃ・いっぱい
	はれ・てんき・たいよう
	くもり・てんき・くも
	あめ・てんき・かさ
	ゆき・てんき・ゆきだるま
	かみなり・てんき・ぴか
	たいふう・てんき・まる・ぐるぐる
	きり・てんき
	こさめ・てんき・かさ
	しんげつ・つき・まる
	みかづき・つき
	はんつき・つき

	読み
	はんつき・つき
	まんげつ・つき・まる
	よる・つき・おやすみ
	なみ・うぇーぶ・うみ
	くろーばー・はな
	ちゅーりっぷ・はな
	め・はな
	でんしゃ・のりもの
M	ちかてつ・のりもの・めとろ
	しんかんせん・のりもの
	くるま・のりもの・せだん
	くるま・のりもの・あーるぶい
	ばす・のりもの
	ふね・のりもの
	ひこうき・のりもの
	いえ・たてもの・うち
	びる・たてもの・かいしゃ
	ゆうびんきょく・ゆうびん
	びょういん
BK	ぎんこう・ばんく
ATM	えーてぃーえむ・ばんく
H	ほてる
CVS	こんびに
GS	がそりんすたんど・がすすたんど・がす
P	ちゅうしゃじょう・ぱーきんぐ・ぴー
	しんごう
	といれ・べんじょ
	れすとらん・しょくじ・ごはん・めし
	びよういん・はさみ・とこや
	おんせん
	がっこう
	きっさてん・しょくじ・さてん・おちゃ
	ばー・しょくじ・さけ・かんぱい

	読み
	びーる・しょくじ・さけ・かんぱい
	ふぁーすとふーど・しょくじ・はんばーがー
	ゆのみ・おちゃ・ちゃ
	さくらんぼ・はな・ちぇりー
	ばなな・たべもの
	りんご・たべもの
	おにぎり・おむすび・たべもの
	しょーとけーき・けーき・たべもの
	とっくり・おちょこ・さけ・かんぱい
	どんぶり・ごはん・たべもの・しょくじ
	ぱん・しょくじ・たべもの
	わいんぐらす・わいん・さけ・かんぱい
	いぬ・どうぶつ
	ねこ・どうぶつ
	かたつむり・どうぶつ
	ひよこ・どうぶつ
	ぺんぎん・どうぶつ
	さかな・どうぶつ
	うま・どうぶつ・けいば
	ぶた・どうぶつ
	ぶてぃっく・くつ・ふく・はいひーる
	くつ
	てぃーしゃつ・しゃつ・ふく
	さいふ・かね・おかね
	けしょう・くちべに
	じーんず・ふく・ずぼん
	えんぴつ・めも
	おうかん・かんむり・おう
	ゆびわ
	すなどけい・じかん
	うでどけい・とけい・じかん

	読み
	すぽーつ・ふく
	やきゅう・すぽーつ・ぼーる
	ごるふ・すぽーつ
	てにす・すぽーつ
	さっかー・すぽーつ・ぼーる
	すきー・すぽーつ
	ばすけっとぼーる・すぽーつ・ばすけ・ばすけっと
	もーたーすぽーつ・はた・ふらっぐ・えふわん
	からおけ・まいく・うた
	えいが・びでお
	ゆうえんち
	おんがく・きく・へっどほん
	あーと・かいが
	えんげき・しばい
	いべんと
	ちけっと・きっぷ
	きつえん・たばこ
	きんえん・たばこ
	ほん
	りぼん

	読み
	ぷれぜんと・おめでとう
	ばーすでー・おめでとう・たんじょうび
	てれび
	げーむ
	しーでぃー
	りぞーと・よっと・ふね
	くりすます・き
	すのぼ・すのーぼーど・すぽーつ
	じてんしゃ・のりもの・ちゃり
	ふじさん・やま
	もみじ・はな
	さくら・はな
	やじるし・うえ
	やじるし・した
	やじるし・うえ
	やじるし・した
	あいもーど・あい
	あいもーど・あい
1	いち・すうじ
2	に・すうじ
3	さん・すうじ

	読み
4	し・よん・すうじ
5	ご・すうじ
6	ろく・すうじ
7	なな・しち・すうじ
8	はち・すうじ
9	きゅう・く・すうじ
0	ぜろ・れい・すうじ
	やじるし・や
	やじるし・や
soon	
ON!	
end	えんど・おわり
	でんわ・でんわばんごう
	めーる・あどれす
FAX	ふぁっくす
	どこも
	どこもぽいんと・どこも
	ゆうりょう・えん・かね
FREE	むりょう・ただ・ふりー

※読みのない絵文字は、絵文字入力でのみ入力可能なものです。

おしらせ

- 絵文字をｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。なお、ｉモード端末であっても、相手の機種によっては正しく表示されないこともあります。

顔文字読み一覧

顔文字は、以下の読みを入力して変換することもできます。なお、「かお」または「かおもじ」と入力して変換すると、以下の顔文字がすべて変換候補に表示されます。

読み	顔文字
ありがと（う）	m(__)m
ばんざい	＼(^0^)／
わーい	(^0^)
	(´ ∀ `)
	(*^□^*)
	o(^▽^o)(o^▽^)o
	(≧▼≦)
おーい	(^0^)／
ぶい	(^^)v
ぎゃはは	(^Q^)/^
あは	(o^o^o)
	^0^;
にこ	(^-^)
	(*^_^*)
	(o ‘∀ ‘o)
	(o^∀^o)
	(’∀’●)
	(●^-^●)
	(○ ^ ▽ ^ ○)
	(^m^)
	(* ´ ▽ `)
ちゅ	(^3^)/
	(^ε^)-☆Chu!!
わくわく	o(^-^)o
ういんく（うぃんく）	(^_-)
	(*^_ ’)
さよなら	(^_^)/~
	(_ ´ Д `)ノ~~
	(T_T)/~
がんば	p(^^)q
ね	(^.^)b
ぽりぽり	(^^ゞ
ひやあせ	(^o^;
あせあせ	(;^_^A
あせ	(｡ ・ω・｡)
びくっ	(*_*)
どき	(◎-◎;)
え	(@_@;)
めがてん	(・ ・;)
はてな	(・ ・?)
なぜ	(?_?)
	(° U｡)?

読み	顔文字
きらーん	(☆｡ ☆)
しくしく	(T_T)
	(´ ; ω ; `)
いたた	(〉_〈)
	(＞＜)
えーん	(;_;)
	(´ Д `)
	ΩÅΩ;
	(ノд〈｡)° ｡
	° ｡(p〉∧〈q)｡°°
	(TωＴ)
がーん	(￣□￣;)!!
	(___;)
	Σ(￣□￣;)
	(-0-;)
	(￣0￣ ;)
えへん	(￣^￣)
む	(－_－メ)
	o(￣ ^ ￣ o)
いかり	(` ´)
むか	(;-_-+
	(` ヘ ´)
	(~ヘ~ ;)
こそこそ	(･_･｜
じーっ	(-_-)
きこえない	｜(-_-)｜
こまったもんだ	(￣～￣)ξ
ぶたー	)^o^(
こあら	(－Q－)
いぬ	(^･ｪ･)
ねこ	=^･ω･^=
いっぷく	(^!^)y~
	(^ .^)y-~~~
ほし	☆彡
ねてる	(-_-)zz
ねむい	＼(~o~)／
	(ρ_-)ノ
めも	φ(..)
うん	(°_°)(｡_｡)
かんぱい	(^^)／▽☆▽＼(^^)
ども	＼(^_^)(^_^)／
がまん	(; ´ ∩ `)

読み	顔文字
こんにちは	ヾ(=^▽^=)ノ
	(・∀・)ノ
	(● ´ ∀ ` ●)/
いいな	(o〉ω〈o)
	(@°▽°@)
	(m’□’m)
うーん	(￣～￣ ;)
	(-ω-)
てれる	(／_＼;)
	(*/ω＼*)
	(//∀//)
	(≧ω≦)
	(● ´ mn `)
	(∩▽ `)
	(*ymy*)
しあわせ	°+｡(*′ ▽ `)｡+°
	＼(´ ▽`)/
	(* ´ ∀ ` *)
なかよし	^―^)人(^―^
ごめん	(*c*)
	(-人-)
	(^人^)
いじいじ	φ(.. ;)
いじわる	Ψ(`∀ ´ #)
よろしく	☆＼(▽⌒*)
こまった	)ω(
	＞＜
やだ	(〇〉_〈)
へこむ	(´ `)
	(´ ω `)
	(・ω・)
びっくり	(○д〇;)
	w(° 0°)w
だっしゅ	ε=┏(・_・)┛
つっこみ	(=・ω・)/
わらい	(^ω^)
	(^皿^)
どんまい	b(・▽・●)
きゃー	(｡ ≧▽≦｡)
かぜ	(*〉U〈*)
ぷぷっ	(´ ψψ `)

マルチアクセスの組み合わせ

現在の通信状態＼新たに発生した通信	音声電話		テレビ電話		iモードを利用※1	iアプリを利用	iモードメール	
	発信	着信	発信	着信			送信	受信
音声通話中	△※2	△※3	×	△※4	○※7	×	○	○
テレビ電話中	×	△※4	－	△※4	×	×	×	×※10
iモード中※1	○	○	△※5	△※6	－	○※8	○	○
パソコンなどと接続してのパケット通信中	○	○	×	×	×	△※9	×	×※10
64Kデータ通信中	×	△※4	×	△※4	×	×	×	×※10

現在の通信状態＼新たに発生した通信	SMS		パケット通信		64Kデータ通信	
	送信	受信	送信	受信	送信	受信
音声通話中	○	○	○	○	×	△※4
テレビ電話中	×	○	×	×	×	△※4
iモード中※1	○	○	×	×	×	×
パソコンなどと接続してのパケット通信中	○	○	－	－	×	×
64Kデータ通信中	○	○	×	×	×	△※4

○：起動できます。　×：起動できません。　△：条件により起動できます。　－：機能的に実現しない組み合わせです。

※1　：iチャネルの情報サイトの表示、トルカでの通信を含みます。
※2　：「キャッチホン」をご契約されている場合、現在の音声電話を保留にして発信することができます。
※3　：「キャッチホン」をご契約されている場合、現在の音声電話を保留にして応答することができます。また、「留守番電話」や「転送でんわ」をご契約されている場合、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。→P.398
※4　：「キャッチホン」「留守番電話」「転送でんわ」をご契約されている場合、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。→P.398
※5　：iモード接続を切断してからテレビ電話発信を行います。
※6　：「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」に設定している場合、テレビ電話の着信に応答すると、iモード通信が切断されます。
※7　：音声通話中にフルブラウザの起動はできません。
※8　：フルブラウザ起動中の場合は、iアプリを起動できません。
※9　：iアプリのソフトの通信はできません。
※10：iモードメールやメッセージR／Fは受信されず、iモードセンターに保管されます。iモードセンターに保管されたiモードメールやメッセージR／Fは通信終了後、「iモード問い合わせ」を行うと受信できます。

マルチタスクの組み合わせ

マルチタスクで同時に使用可能な機能の主な組み合わせは以下のとおりです。

- 各機能の状態、機能の組み合わせによっては、以下の表に従わない場合があります。
- 以下のグループの中からそれぞれ1つずつの機能を最大3つまで同時に操作できます（ワンセグ／ミュージックグループを除く）。

<table>
<tr><th>起動する機能／起動中の機能</th><th>メール</th><th>iモード</th><th>iアプリ</th><th>設定／サービス</th><th>ユーザデータ</th><th>データBOX</th><th>LifeKit</th><th>電話帳</th><th>MUSIC</th><th>ワンセグ</th><th>¥</th><th>iコンシェル</th><th>グループ</th></tr>
<tr><td>メール</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="4">○</td><td colspan="2">○</td><td>○</td><td>○</td><td>メールグループ</td></tr>
<tr><td>iモード</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="4">○</td><td colspan="2">○</td><td>○</td><td>○</td><td>iモードグループ</td></tr>
<tr><td>iアプリ</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td colspan="4">○</td><td colspan="2">○</td><td>○</td><td>○</td><td>iアプリグループ</td></tr>
<tr><td>設定／サービス</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td colspan="4">○</td><td colspan="2">○</td><td>○</td><td>○</td><td>設定グループ</td></tr>
<tr><td>ユーザデータ</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">○</td><td colspan="4" rowspan="4">×</td><td colspan="2" rowspan="4">○</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">ツールグループ</td></tr>
<tr><td>データBOX</td></tr>
<tr><td>LifeKit</td></tr>
<tr><td>電話帳</td></tr>
<tr><td>MUSIC</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td colspan="4" rowspan="2">○</td><td colspan="2" rowspan="2">×</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">ワンセグ／ミュージックグループ</td></tr>
<tr><td>ワンセグ</td></tr>
<tr><td>iコンシェル</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="4">○</td><td colspan="2">○</td><td>○</td><td>×</td><td>iコンシェルグループ</td></tr>
<tr><td>音声通話中</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2">×</td><td>×</td><td>○</td><td>音声通話</td></tr>
<tr><td>テレビ電話中</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td colspan="4">×</td><td colspan="2">×</td><td>×</td><td>×</td><td>テレビ電話通話</td></tr>
<tr><td>パソコンなどと接続してのパケット通信中</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="4">○</td><td colspan="2">×</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">外部機器通信</td></tr>
<tr><td>64Kデータ通信中</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>○</td><td colspan="2">×</td><td>×</td><td>○</td></tr>
</table>

○：起動できます。
×：起動できません。

FOMA端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料） ※電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

おしらせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2008年12月現在）
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2008年12月現在）
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。
  お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護等の事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないよう、移動せずに行い、通報後はすぐに電源を切らずに10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- イヤホンマイク 01
- ステレオイヤホンマイク 01
- イヤホン変換アダプタ 01
- スイッチ付イヤホンマイク P001※1／P002※1
- ステレオイヤホンセット P001※1
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02※2
- 平型ステレオイヤホンセット P01※2
- Bluetoothヘッドセット F01※3
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- ワイヤレスイヤホンセット P01／02
- 骨伝導レシーバマイク 01※2／02
- FOMA USB接続ケーブル※4
- FOMA ACアダプタ 01／02※5
- FOMA乾電池アダプタ 01
- Bluetooth Wireless Unit N01
- キャリングケースS 01
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02※4
- FOMA 補助充電アダプタ 01
- 車載ハンズフリーキット 01※6
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- データ通信アダプタ N01
- FOMA室内用補助アンテナ※7
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※7
- 車内ホルダ 01※8
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※5
- FOMA DCアダプタ 01／02
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- 卓上ホルダ N21
- 電池パック N16
- リアカバー N35

※1：N-04Aと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタ P001、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※2：N-04Aと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※3：Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01が必要です。
※4：USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※5：ACアダプタの充電方法について→P.46、47
※6：N-04AをUSB接続で利用／充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※7：日本国内で使用してください。
※8：N-04Aを車内ホルダに取り付ける際は、「車内ホルダ 01 取扱説明書」に記載されている使用方法②の表「4段目」に取り付けてください。

動画再生ソフトのご紹介

- パソコンで動画（MP4形式のファイル）を再生するには、Apple Inc. のQuickTime Player（無料）ver. 6.4以上（またはver. 6.3+3GPP）が必要です。
- QuickTimeは下記のホームページよりダウンロードできます。
  http://www.apple.com/jp/quicktime/download/
  - ダウンロードには、インターネットと接続しているパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
  - 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。→P.464
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。
- FOMA端末の現象は、カテゴリ別に分類して記載しています。一覧中の色文字は現象、黒文字はそれに対するチェック箇所と参照ページです。

電源／電池／FOMAカード

FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.45
- 電池切れになっていませんか。→P.47

を1秒以上押してから電源が入るまで時間がかかる

- 電話帳などのデータがいっぱいのときは、その確認に時間がかかるようになります。→P.86

右のようなアニメーションが表示され、「ピーッピーッピーッ…」というアラーム音が鳴っている

- 電池が切れました。充電してください。→P.46、49

何もしないのに電源が切れる、再起動される

- 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

充電ができない（FOMA端末のイルミネーションランプが点灯しない）

- FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.45
- アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットにしっかりと差し込まれていますか。→P.47
- アダプタとFOMA端末が正しく取り付けられていますか（ACアダプタをお使いのとき、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダにしっかりと接続されていますか）。→P.47
- 卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子が汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇してイルミネーションランプが消える場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

充電しようとしたときに、イルミネーションランプが点滅する

- FOMA端末の温度が上昇してイルミネーションランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。→P.46
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。→P.46

充電中・操作中に熱くなる

- 充電中や操作中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

FOMAカードが認識されない

- FOMAカードを正しい向きで挿入していますか。→P.42

通信（電話／ｉモード接続／Bluetooth）

「圏外」の表示が出て電話がかけられない

- サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。→P.49

場所を移動しても「圏外」の表示が消えない

- 電源を入れ直すか、電池またはFOMAカードを入れ直してください。

電波の状態は悪くないのに発信できない

- 電波の性質により、「 」～「 」を表示している状態でも発信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

ダイヤルボタンを押しても発信できない

- 「発信・メール送信」の「ダイヤル発信」がオリジナルロック中ではありませんか。→P.125
- キー操作ロック中ではありませんか。→P.126
- 指定発信制限設定中ではありませんか。→P.129
- ダイヤルロックを設定していませんか。→P.118
- セルフモードを設定していませんか。→P.132

ダイヤルしたが話中音（ツーツー音）が出てつながらない

- 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。→P.54
- 市外局番を忘れていませんか。→P.54
- 「しばらくお待ちください」の表示が出ていませんか。

ｉモード、ｉモードメール、ｉアプリ、ｉチャネル、ｉコンシェルに接続できない

- 「接続先選択」を「ｉモード」以外に設定していませんか。→P.193
- ｉモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

「 」が点滅したまま消えない

- ｉモード（センター）問い合わせ・メール送受信などの後や途中でｉモード接続が途切れたときは、ｉモードマークは点滅したままになります。データのやりとりを行わなければ自動的に切断されますが、 を押せばすぐに終了できます。

Bluetooth通信対応機器と接続ができない、サーチしても見つからない

- Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器検索待ち状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、FOMA端末両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→P.372

電話着信（音／画像／イルミネーション）

着信できない　または　着信音が鳴らない

- 以下の機能を設定していませんか。
  個別発着信動作選択→P.129
  - 指定着信拒否
  - 指定着信許可
  - 指定転送でんわ
  - 指定留守番電話

  呼出時間表示設定→P.131
  - 無音時間設定

  登録外着信拒否→P.131
  非通知着信設定→P.130
  - 通知不可能拒否
  - 公衆電話拒否
  - 非通知設定拒否
- マナーモード設定中ではありませんか。→P.97
- 公共モード（ドライブモード）設定中ではありませんか。→P.70
- 「着信・メール受信表示」の「着信」がオリジナルロック中ではありませんか。→P.125
- セルフモード設定中ではありませんか。→P.132
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスの開始時間を「0秒」に設定していませんか。→P.392、395
- 番号通知お願いサービスを開始に設定していませんか。→P.396
- デュアルネットワークサービスでmovaを有効にしていませんか。→P.397
- 着信音量を「消去」に設定していませんか。→P.69
- 伝言メモの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。→P.72

着信音量が設定した音量どおりにならない

- 「音量制限」が「ON」に設定されていませんか。→P.96

着信があっても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、イルミネーションランプの点滅）が行われない

- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を「ON」に設定している場合、電話帳に登録されていない電話番号や、電話番号を通知しない相手からの着信があると、設定した時間が経過するまで着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、イルミネーションランプの点滅）が行われません。→P.131

メール着信音やアラーム音は鳴るのに、電話がかかってきたときの着信音が鳴らない

- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を長い時間（99秒など）に設定していませんか。「無音時間設定」を短い時間に設定してください。→P.131

音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定した着信音と違う着信音が鳴る

- 各機能の着信の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。→P.93

音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定したイメージと違うイメージが表示される

- 各機能の着信の設定が重なった場合、画像は優先順位に従って動作します。→P.94

音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定した色や点滅パターンと違う色や点滅パターンでイルミネーションランプが動作する

- 各機能の着信イルミネーションの設定が重なった場合、着信イルミネーションは優先順位に従って動作します。→P.106

着信画面や着信音がお買い上げ時の設定で動作する

- 着信画面と着信音の組み合わせ、優先順位によって着信画面か着信音のどちらかがお買い上げ時の設定で動作する場合があります。
- ダウンロードしたFlash画像を着信画面やメール受信結果画面に設定した後、ｉモーション、ミュージックを着信音やメール着信音に設定すると着信画面と着信音の組み合わせによっては、画面がお買い上げ時の設定で表示される場合があります。

電源を入れた直後に電話がかかってきたとき、電話帳に登録した名前が表示されず、電話番号が表示されてしまう

- 電源を入れた直後はFOMAカードを読み込んでいることがあり、すぐに電話帳機能を使えないことがあります。

通話

通話中、相手の声が聞こえにくい、大きすぎる

- 受話口と耳の位置がずれていませんか。→P.22
- 受話口がシールなど何かでふさがれていませんか。
- ハンズフリー中にスピーカーが何かでふさがれていませんか。
- 「受話音量」は適切ですか。聞き取りやすい音量に変更してください。→P.69
- ハイパークリアボイスの設定を変更すると、相手の声が聞き取りやすくなります。→P.59

メール送受信（音／画像／イルミネーション）

メールを受信しても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、イルミネーションランプの点滅）が行われない

- 「メール／メッセージ鳴動」を「OFF」に設定していませんか。→P.96
- 「着信・メール受信表示」の「メール／メッセージ受信表示」がオリジナルロック中ではありませんか。→P.125
- 「受信時動作設定」を「操作優先」に設定していませんか。→P.164
- 相手のメールアドレス、電話番号をシークレットデータとして登録していませんか。→P.120

メールを受信したときにメールに設定した着信音と違う着信音が鳴る

- 各機能の着信の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。→P.93
- 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールのメールアドレスに設定されている着信音が鳴ります。→P.93
- 複数のメールを受信したとき、チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。→P.93
- 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信設定の着信音設定で着信音を設定してください。→P.86
- メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信設定の着信音設定で着信音を設定していますか。→P.86
- SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたSMS着信設定の着信音設定が有効となります。→P.87

メールを受信したときにメールに設定した着信イルミネーションの色と違う色で点滅する

- 各機能の着信の設定が重なった場合、着信イルミネーションは優先順位に従って点滅します。→P.106
- 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールのメールアドレスに設定されているメール着信設定のイルミネーション設定に従ってイルミネーションランプが点滅します。→P.106
- 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信設定のイルミネーション設定でイルミネーションを設定してください。→P.86
- メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信設定のイルミネーション設定でイルミネーションを設定していますか。→P.86
- SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたSMS着信設定のイルミネーション設定が有効となります。→P.87

メールを自動で受信しない

- メール設定の「メール選択受信設定」で「ON」を設定していませんか。「OFF」に設定してください。→P.149、164
- 相手のメールアドレス、電話番号をシークレットデータとして登録していませんか。→P.120

メールが自動振分けされない

- 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、自動振分け設定には電話番号のみを登録してください。→P.160
- 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときは自動振分け設定にはドメインまですべて登録しないと振り分けされません。→P.160

添付ファイルが自動受信されない
添付ファイルが削除されてしまう

- 「添付ファイル優先受信設定」を確認してください。→P.164
- 「メールサイズ制限」の設定を確認してください。詳しくは『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

SMSを受信したときに電話帳に登録した名前が表示されない

- 電話帳の電話番号欄（☎）に送信元の電話番号を正しく登録していますか。→P.81

メール送信中に切断され、SMSを受信した
もう一度操作しようとするとメッセージが表示される

- 一定時間内に著しく大量のデータ通信が多いと切断されSMSで通知されます。SMSの内容と表示されるメッセージに従ってください。

メール表示（受信BOX／送信BOX）

送信したメールが送信BOXに残らない

- メール連動型iアプリ専用フォルダに「すべて振分け」を設定していませんか。
  メール連動型iアプリ専用フォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選択して確認してください。→P.156、159

受信したメールが受信BOXに残らず、「✉（白色）」が消えない

- 受信BOXの中のメール連動型iアプリ専用フォルダに「📁」が表示されていませんか。またはメール連動型iアプリ専用フォルダに「すべて振分け」を設定していませんか。
  該当するメール連動型iアプリ専用フォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選択して確認してください。→P.156、159

ディスプレイ表示

ディスプレイが暗い、見にくい

- 「照明設定」でバックライトの明るさの設定を「レベル1」や「レベル2」に設定していませんか。また「自動調整 ON」に設定していませんか。→P.102
- ECOモードを設定していませんか。→P.103
- ワンセグECOモードを設定していませんか。→P.246
- 「プライバシーアングル」を「ON」に設定していませんか。→P.102

ディスプレイ、ダイヤルボタンのバックライトが点灯しない

- バックライトの通常時の点灯を「OFF」に設定していませんか。→P.102
- 5 を1秒以上押してバックライトの点灯／消灯を切り替えることができます。
メールの作成中などにも、5 を1秒以上押すとバックライトが消灯しますので、ご注意ください。

ディスプレイに何も表示されずボタンのバックライトが点滅する

- 省電力モード中です。ボタンを押すと、省電力モードが解除されます。→P.102

操作（ボタン／タッチセンサー／メニュー）

ボタンやタッチセンサーの操作ができない

- 磁気を帯びた製品にFOMA端末を近づけると、ボタンやタッチセンサーの操作が正しくできなくなることがあります。磁気からFOMA端末を離してご使用ください。
- ダイヤルロック／おまかせロックを設定していませんか。→P.118
- キー操作ロックを設定していませんか。→P.126
- タッチセンサーが無効になっていませんか。→P.40

ボタンやタッチセンサーの確認音が出ない

- 「ボタン確認音」を「OFF」に設定していませんか。→P.95
- マナーモード設定中ではありませんか。→P.97

エニーキーアンサーで音声電話やテレビ電話に出ることができない

- 「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」または「OFF」に設定していませんか。→P.68
- テレビ電話にエニーキーアンサーで出ることはできません。

FOMA端末を閉じているときに、タッチセンサーが有効にできない

- キー操作ロック中ではありませんか。→P.126

ボタンを押したときの画面の反応が遅い

- FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

あらかじめ機能に割り当てられているメニュー番号（P.422）を押しても機能を呼び出すことができない

- メインメニューのテーマを「Standard」に設定してから操作してください。→P.33

発信履歴／リダイヤル、送信アドレス一覧が勝手に消えてしまう

- 「個別発着信動作選択」の「指定発信制限」を設定しませんでしたか。→P.129

直感ゲームが利用できない

- カメラにオリジナルロックを設定していませんか。→P.124

カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 近くの被写体を撮影するときは、オートフォーカスを「接写」に切り替えてください。→P.218
- 手ブレ補正が「OFF」になっていませんか。→P.228
- オートフォーカスを「OFF」で撮影していませんか。→P.221

カメラで撮影すると画像がちらつく

- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。「ちらつき軽減」の設定を変更することにより、画面のちらつきを軽減することができる場合があります。→P.221

カメラで撮影した静止画や動画が白っぽくなる

- 「ちらつき軽減」の設定を「モード1（50Hz地域）」または「モード2（60Hz地域）」に変更したまま屋外などの明るい場所で撮影していませんか。「ちらつき軽減」の設定を「オート」に戻してください。→P.221

チャンスキャプチャで撮影したときに撮影時間が短くなる

- チャンスキャプチャの撮影時には、動画データとともに管理用データを保存するため、撮影可能な時間が短くなる場合があります。

ワンセグ

ワンセグ視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。
- チャンネル設定をしていますか。→P.238

おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない

- FOMA端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P.291
- ICカードロック、ダイヤルロックやおまかせロックを設定していませんか。→P.118、292
- 電池パックを取り外すと、ICカード機能は利用できなくなります。

おサイフケータイ対応 i アプリが削除できない

- 削除したい i アプリが利用しているICカード内のデータを削除しないと、 i アプリを削除できない場合があります。ICカード内のデータを削除した後、 i アプリを削除してください。→P.270
なお、「iD 設定アプリ」は削除できません。
削除できなかった場合は、ドコモショップなどまでお問い合わせください。

データ表示／再生／管理

画像表示しようとすると「☒」が表示される　または　デモやプレビューで「☒」が表示される

● 画像データが壊れている場合は「☒」が表示されることがあります。

各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する

● 画像やメロディなどの取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されていますか。→P.43

動画／ｉモーションや着うたフル®の表示、再生に時間がかかる

●「移行可能コンテンツ」フォルダに保存された動画／ｉモーションや着うたフル®ではありませんか。
「移行可能コンテンツ」フォルダに保存されたデータの場合、表示や再生に時間がかかることがあります。

動画／ｉモーションや着うたフル®をmicroSDカードにコピー、移動できない

● 部分的に保存された着うたフル®ではありませんか。→P.255
● 再生制限（回数、期間、期限）の切れた動画／ｉモーションや着うたフル®ではありませんか。→P.302

画像やｉモーション、ミュージック、Music&Videoチャネル、ビデオ、マチキャラの替わりに文字が表示される

● 以下の表示がされた場合は、利用している機能で選択できない画像やｉモーション、ミュージック、Music&Videoチャネル、ビデオ、マチキャラです。以下の表示がされていないデータを選択してください。
「Not available」「Expired file」「No preview data※」
→P.300、309、252、255、311、315
※：マチキャラでは設定可能な場合があります。

SD-Audioデータ再生時に、microSDカードを認識しなくなったり、「再生エラー発生　終了します」と表示される

● いったん「SD-Jukebox」で音楽データをパソコンに移動し、microSDカードを「SD-Jukebox」でフォーマットしてください。その後、音楽データをmicroSDカードに戻して使用してください。

microSDカードに保存したデータが表示されない

●「microSDチェックディスク」を行ってください。→P.323

PDFデータが正しく表示されない

● PDFビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むPDFデータの場合、正しく表示されないことがあります。

PDFデータの表示に時間がかかる

● サイズが大きいPDFデータなどの場合、表示に時間がかかることがあります。

PDFデータをFOMA端末にコピーできない

● PDFデータのサイズが2Mバイトを超えていませんか。→P.339

PDFデータをmicroSDカードにコピーできない

● ページ単位で取得したPDFデータではありませんか。→P.339

ドキュメントデータが正しく表示されない

● ドキュメント対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントデータの場合、正しく表示されないことがあります。

ドキュメントデータの表示に時間がかかる

● サイズが大きいドキュメントデータなどの場合、表示に時間がかかることがあります。

データ通信

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールやデータ通信ができない

● USBモード設定を「microSDモード」や「MTPモード」に設定していませんか。「通信モード」に設定してください。→P.329

データ転送が行われない

● USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

MTPモードでパソコンと接続できない

● ほかのFOMA端末で作成したmicroSDカードはご使用になれません。→P.259

MTPモードでパソコンと接続するとカメラデバイスとして認識されてしまう

● Windows Media Playerのバージョンが9以下ではありませんか。→P.259、329
Windows Media Playerのバージョンが9以下の場合は、Windows Media PlayerがMTPに対応していないため、MTPデバイスとして認識されません。
Windows Media Playerのバージョンアップを行い、いったんカメラデバイスとして認識されたN-04Aを以下の手順で削除してください。

［Windows XPの場合］
1. N-04AをUSBケーブルでパソコンに接続する
2.「スタート」メニューの「マイコンピュータ」を右クリックし、「管理」をクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする
3.「イメージングデバイス」の「N-04A」を右クリックし、「無効」をクリックする
4.「イメージングデバイス」の「N-04A」を右クリックし、「削除」をクリックする
5. パソコンからN-04Aを取り外す
6. 再度、MTPモードに設定してN-04Aをパソコンに接続する

海外利用

画面に「圏外」や「ネットワーク再検索」が表示されたままで国際ローミングサービスが利用できない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。
- 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。
- 日本国内から海外へ移動した後にはじめて利用するときは、FOMA端末の電源を入れ直してください。
- 「ネットワークサーチ設定」でサービスに対応している通信事業者を検索してください。→P.412

音声電話やテレビ電話がかかってこない

- 「ローミング時着信規制」を「開始」に設定していませんか。→P.413
- 「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」以外に設定していませんか。→P.76

相手の電話番号が通知されてこない
相手の電話番号とは違う番号が通知されてくる
電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。
  また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

海外で利用中に突然、発信や着信ができなくなる

- ドコモ インフォメーションセンターで、ご利用累積額をご確認ください。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめご利用停止目安額が設定されています。超過するとサービスがすべて停止します。ご利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を清算していただくことで、サービスを再開します。
- 「ネットワークサーチ設定」を確認してください。「オート」に設定されていると、特定のネットワークを受信し利用できない場合があります。設定を「マニュアル」に切り替え、滞在中の国や地域に対応するネットワークに変更してください。→P.412

こんな表示が出たら

- エラーメッセージ（ディスプレイ表示）は、数字／英字、五十音順に記載しています。一覧中の色文字はエラーメッセージ、黒文字はそれに対する説明／対処方法と参照ページです。
- 色文字中の（ ）内の数字は、ｉモードセンターのエラー識別コードです。

数字／英字

「1件コピーできませんでした」

- 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいmicroSDカードと交換してコピーし直してください。

「“●▲■.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信できません（555）Unable to send. “●▲■.ne.jp” is not available temporarily.」

※ドメイン名については送信先により表示が異なります。

- 回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから操作し直してください。

「ACMmax規制中です　発信できません」

- FOMAカード内に設定されている積算料金上限値を超えているため発信できない場合に表示されます。「積算料金リセット」を実行すると規制が解除されます。→P.365

「BOXロック設定中です　削除できません」

- 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型ｉアプリ専用フォルダにロックがかかっているため、メール連動型ｉアプリとメール連動型ｉアプリ専用フォルダを削除できません。メール連動型ｉアプリとメール連動型ｉアプリ専用フォルダを削除する場合は、該当BOXやフォルダのロックを解除してください。
メール連動型ｉアプリのみ削除する場合は、ｉアプリ削除時に、対応するメール連動型ｉアプリ専用フォルダを削除するかどうかのメッセージが表示されたら「NO」を選択します。→P.128

「BOXロック設定中のためダウンロードできません」

- 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型ｉアプリ専用フォルダにロックがかかっているため、メール連動型ｉアプリをダウンロードやバージョンアップできません。メール連動型ｉアプリをダウンロードやバージョンアップする場合には、該当BOXやフォルダのロックを解除してください。→P.128

「FOMAカード（UIM）が異なるため起動できませんでした」

- FOMAカードセキュリティ機能によって制限されているｉアプリを自動起動しようとした場合に表示されます。→P.43

「FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません」

- FOMAカードセキュリティ機能により保護されているデータのデスクトップアイコンやデスクトップインフォを選択して実行しようとしたときに表示されます。→P.43
- FOMAカードセキュリティ機能により保護されている画面メモ、メッセージR／Fを選択して実行しようとしたときに表示されます。→P.43

「FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした」

- FOMAカードセキュリティ機能によって制限されているｉアプリを指定して起動しようとした場合に表示されます。→P.43

「FOMAカード（UIM）読み込み中です　起動できません」

- FOMAカードを読み込み中にFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。しばらくたってから操作し直してください。

「FOMAカード（UIM）を挿入してください」

- FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。→P.42

「ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません　いずれかのサービスを削除しますか？」
「ICカード内データがいっぱいのためバージョンアップできません　いずれかのサービスを削除しますか？」
「ICカード内データがいっぱいのため起動できません　いずれかのサービスを削除しますか？」
「ICカード内データがいっぱいのため移動できません　いずれかのサービスを削除しますか？」

- おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード、microSDカードから移動する際、ICカード内データの容量が足りない場合に表示されます。「YES」を選択すると、すでに登録しているおサイフケータイのサービス名と、そのサービスを削除することで確保できる容量（バイト数）、不足エリアサイズが表示されますので、削除するサービスを選択し、メッセージに従いｉアプリを起動してサービスを削除してください。

「ｉアプリToが設定されていません」
- サイト、メール、赤外線通信機能、バーコードリーダー、ICカード、トルカ、データ放送からソフトを起動しようとしたときに、指定されたソフトが連携許可されていないため、起動できない場合に表示されます。→P.283

「ｉアプリの通信回数が多くなっています　通信を継続しますか？」
- ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。継続してｉアプリの通信を行う場合は「通信する」を選択し、通信を行わない場合は「通信しない」を選択します。ｉアプリのご利用を中止する場合は「ｉアプリ終了」を選択します。

「ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？」
- 「ｉアプリの通信回数が多くなっています　通信を継続しますか？」と表示されたときに「通信しない」または「ｉアプリ終了」を選択した場合に表示されます。継続してｉアプリの通信を行う場合は「通信する」を選択します。ｉアプリのご利用を中止する場合は「ｉアプリ終了」を選択します。

「ｉモード問い合わせがすべて無効に設定されています」
- 「ｉモード問い合わせ設定」がすべて「問い合わせしない」に設定されているためｉモード問い合わせができません。
「ｉモード問い合わせ設定」で問い合わせる項目を指定してください。→P.165

「microSDが挿入されていません」
- microSDカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があるときに表示されます。microSDカードがFOMA端末に正しく取り付けられているか確認してください。→P.320

「microSDの交換またはチェックディスクをおすすめします」
- microSDカードのチェックディスクを行ってください。→P.323

「PIN1コードがロックされています」
- PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。■を押すとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、PINロック解除コードを正しく入力してロックを解除してください。→P.117

「PINロック解除コードがロックされています」
- PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。→P.117

「SSL通信が切断されました」
- SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかったときに表示されます。再度接続し直してください。

「SSL通信が無効です」
- SSL通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。

「SSL通信が無効に設定されています」
- 「証明書」の設定で「無効」にした証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再度接続し直してください。→P.193

「SSL/TLS通信が無効です」
- SSL／TLS通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。

「SSL/TLS通信が無効に設定されています」
- 「証明書」の設定で「無効」にした証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再度接続し直してください。→P.193

「URLが長すぎて登録できません」
- URLが半角256文字を超えるため、ブックマークやホームURLへの登録ができません。

「URLに誤りがあります」
- 「URL入力」や「ホームURL設定」のホームURL入力のとき、「http://」または「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない状態で「OK」を選択したときに表示されます。URLを入力し直してください。→P.184、192、206、209

あ行

「相手を発見できませんでした」
- Bluetooth機器からの応答がないため、登録または接続できませんでした。

「応答がありませんでした（408）」
- サイトからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続してください。

「同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロードできません　該当するサービスを削除しますか？」
「同じサービスを利用するソフトがあるため移動できません　該当するサービスを削除しますか？」
「同じサービスを利用するソフトがあるためバージョンアップできません　該当するサービスを削除しますか？」
- 同様のサービスをすでにダウンロード済みの場合、すでに登録されている該当サービスを削除しないと、新しいサービスをダウンロードやバージョンアップ、microSDカードからの移動ができません。「YES」を選択すると削除対象となるサービスが表示されますので、登録済みのサービスを削除してください。

「おまかせロック中です」
- おまかせロックが設定されています。おまかせロック設定中は、音声電話／テレビ電話の着信、電源を入れる／切るの操作を除き、すべてのボタン操作がロックされます。→P.119

か行

「海外でご利用の場合　Bナンバー発信はできません　Aナンバー発信します」

- 2in1のモードがBモードのとき、海外から電話の発信操作を行った場合に表示されます。Aナンバーで電話番号を非通知にして発信する場合は「非通知発信」を選択します。

「該当するデータはありません」

- 電話帳検索を行ったとき、検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合に表示されます。

「外部ICカードが見つかりません」

- ICカード認証機能を利用したユーザ認証時に、タイムアウトにより認証できなかった場合に表示されます。→P.127

「画像に誤りがあり正しく動作しません」

- 画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できなくなったときに表示されます。

「切替できません」

- 音声通話中にテレビ電話に切り替えようとしたとき、相手側がパケット通信中（ｉモード含む）などの理由で切り替えできない場合に表示されます。相手側の状況を確認して再度切り替え操作を行ってください。→P.57

「携帯電話/FOMAカード（UIM）の製造番号を送信します」

- サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。「YES」を選択すると、携帯電話製造番号が送信されます。送信したくないときは「NO」を選択します。→P.179

「圏外です」

- サービスエリア外や電波が届かない場所で、ｉモードのサービスを利用しようとしたときに表示されます。「Yıl」が表示される場所まで移動してｉモードのサービスをご利用ください。→P.49

「現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないためダウンロードできません」
「現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないため移動できません」
「現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないため起動できません」
「現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないため削除できません」
「現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないためバージョンアップできません」

- 挿入しているFOMAカードと FeliCa に登録されているFOMAカード情報が異なる場合、おサイフケータイ対応ｉアプリを操作しようとしたときやmicroSDカードからｉアプリを移動しようとしたときに表示されます。

「このｉモーションは再生可能回数が終了しました」

- 再生回数が終了したｉモーションのデスクトップアイコンやデスクトップインフォを選択して実行しようとしたときに表示されます。

「このｉモーションは再生期限が切れました」

- 再生期間または再生期限が終了したｉモーションのデスクトップアイコンやデスクトップインフォを選択して実行しようとしたときに表示されます。

「このカードは使用できません」

- 本FOMA端末に対応していないmicroSDカードです。対応しているmicroSDカードを使用してください。→P.320

「このカードは認識できません」

- 本FOMA端末で使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性があるときに表示されます。正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください。→P.44

「この外部ICカードは解除できません」

- ICカード認証機能を利用したユーザ認証時に、登録されていない非接触ICカードをマークに重ね合わせた場合に表示されます。→P.127

「このサイトとのSSL通信は無効です」

- 書き換えられたSSL証明書を受信したときに表示されます。このサイトとはSSL通信できません。

「このサイトとのSSL/TLS通信は無効です」

- 書き換えられたSSL／TLS証明書を受信したときに表示されます。このサイトとはSSL／TLS通信できません。

「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」

- サポート外のSSL証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。

「このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？」

- 期限切れまたは有効期間前のSSLサーバ証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。
- 「メイン時計設定」が行われていない場合にSSL通信に対応したサイトやインターネットのホームページに接続しようとしたときに表示されます。「時計設定」を行ってください。→P.50

「この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？」

- 端末内のSSLルート証明書が期限切れの場合に表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。
- SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続中に、クライアント証明書の送付要求があったときに表示されます。→P.180

「この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか？」

- SSL証明書のCN（名前）が一致しないときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。

「このデータは再生できない可能性があります」

● MP4（Mobile MP4）形式以外のｉモーションを取得したときに表示されます。

「これ以上機能を起動できません」

● ほかの機能を終了してから操作をしてください。

さ行

「サービスがいっぱいです　上書きされたサービスの曲は再生できなくなります　上書きしますか？」

● 登録できるミュージック（会員制）サービスの上限値を超えている場合に表示されます。「YES」を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードしたミュージックは再生できなくなります。

「サービス未契約です」

● ｉモードをご契約いただいていないため、ｉモードのサービスをご利用になれません。ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。
● ｉモードを途中からご契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

「再生可能回数が終了しました　削除しますか？」

● 再生回数が終了したｉモーションや着うたフル®を再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選択すると、削除されます。

「再生可能期限が切れました　削除しますか？」

● 再生可能期限または再生可能期間が過ぎているｉモーションや着うたフル®を再生しようとしたときに表示されます。「YES」を選択すると、削除されます。

「再生制限データに誤りがあるため取得できません」

● 部分的に取得した着うたフル®の再生可能期限または再生可能期間が過ぎているため、残りのデータが取得できません。部分的に保存されていたデータも削除されます。

「最大サイズを超えたので中断しました」

● サイト（ｉモード、フルブラウザ）やインターネットホームページで受信したデータが1ページの最大サイズを超えたため、受信を中断し、取得したところまでのデータを表示します。
● メロディやダウンロード辞書、キャラ電などをダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。

「最大サイズを超えています　受信できません（452）」

● 受信するデータが最大サイズを超えているため受信できない場合に表示されます。

「最大フレーム数を超えたので中断しました」

● フルブラウザで表示できるフレーム数を超えているため、インターネットホームページを表示できません。

「サイトが移動しました（301）」

● サイトが移動したため、URLが変更されています。ブックマークやデスクトップアイコン、ホームURLに登録されている場合は登録し直してください。
→P.109、185、192、211

「サイトに接続できませんでした（403）」

● 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してください。

「削除される添付ファイルがあります」

● 転送するｉモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。■を押すと、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが削除されます。

「作成可能サイズを超えるため一部削除されます」

● 宛先、題名、本文のいずれか、または複数のデータが最大サイズを超えているため、超えた部分が削除されて新規メール作成画面が表示されます。

「指定サイトがみつかりません（404）」

● サイトが見つかりませんでした。サイトが存在しない可能性があります。

「指定されたソフトがありません」

● メール、赤外線通信機能、バーコードリーダー、ICカード、データ放送からのｉアプリ起動時に、該当するソフトがない場合に表示されます。

「指定されたデータがありません　デスクトップアイコンを削除しますか？」

● 削除されたデータのデスクトップアイコンやデスクトップインフォを選択して起動しようとしたときに表示されます。

「指定したサイトへは接続できませんでした（504）」

● 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してください。

「指定の宛先には送信できません」

● 宛先に「,」が含まれているため送信できません。「,」を削除してください。
● 受信したメールのメールアドレスが半角50文字を超えるため、メールを返信することができません。
● 数字と「#」「＊」以外の文字およびスペースを含むためSMSを送信できません。数字または「#」「＊」以外の文字やスペースを削除してください。

「指定発信制限設定中です」

● 指定発信制限設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。→P.129

「しばらくお待ちください」

● 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから音声電話やテレビ電話、ｉモードをご利用ください。
なお、110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

「しばらくお待ちください（パケット）」

● パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

「受信可能なチャンネルがサーチできませんでした」

● その地域で受信できる放送局が見つかりませんでした。

「上限額を超過しているため接続出来ません」

- リミット機能付料金プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超えています。

「すでに他の機能が起動中です　起動できません」
「すでに他の機能が起動中です　設定できません」

- ほかの機能が起動しているときに、利用できない操作をしようとしたときに表示されます。

「セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました」
「セキュリティエラーのため終了しました」

- 許可されていない動作をしようとしたため、ｉアプリやｉアプリ待受画面（ｉアプリDXを含む）が終了したときに表示されます。→P.270、284

（赤外線通信中／ｉC通信中に）
「接続相手が見つかりません　続けますか？」

- 接続相手を発見／認識できません。赤外線通信の場合は赤外線ポートを向かい合わせて置いてください。ｉC通信の場合は マークを確認してもう一度重ね合わせてください。「YES」を選択し、■を押すともう一度やり直すことができます。→P.335、336

「接続が中断されました」

- 電波が弱いため、ｉモードが中断されました。電波の強い場所に移動してからｉモードのサービスをご利用ください。→P.49
- 電波が強く「」マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトなどが非常に混み合っています。しばらくたってから接続してください。

「接続できません」

- 接続先の設定が正しくないときに表示されます。アプリケーション通信設定の「接続先選択」で接続先を正しく設定し直してください。→P.193
- 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続してください。

「接続できませんでした」

- 「発信者番号通知」を「通知する」に設定しておかけ直しください。→P.51

「設定時間内に接続できませんでした」

- 「接続待ち時間設定」で設定した接続待ち時間となったため、サイトへの接続、メールの送信などが中断されました。しばらくたってからサイトへの接続やメール送信などを行ってください。→P.192

「選局情報がありません」

- チャンネル情報がないため、お勧めメールを作成できません。

「全コピーできませんでした」

- 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいmicroSDカードと交換してコピーし直してください。

「送信できない宛先があります」

- 複数の宛先にｉモードメールを返信するときに、返信できない宛先がある場合に表示されます。

「送信できなかった宛先があります（561）」

- 一部の宛先にメールが正しく送信できませんでした。

「送信できませんでした　宛先を確認してください（451）」

- 指定した宛先にメールが正しく送信できなかった場合に表示されます。→P.138

「ソフトに誤りがあります」
「ソフトに誤りがあるため移動できません」
「ソフトに誤りがあるためダウンロードできません」
「ソフトに誤りがあるためバージョンアップを中止しました」

- ソフトのデータが不正のため、ダウンロードやバージョンアップ、microSDカードからの移動ができないときに表示されます。

「ソフトに継続動作できない障害が発生しました」

- ソフト起動中に動作を継続できないエラーが発生したときに表示されます。

た行

「対応機種ではありません」

- 取得しようとしたソフトが本FOMA端末に対応していないためダウンロード、microSDカードからの移動ができないときに表示されます。

「対応していないコンテンツがあります」

- バーコードリーダーで読み取った情報に、本FOMA端末で対応していないコンテンツが含まれているため認識できません。

「対応ソフトが削除されていますフォルダ内表示を参照してください」

- 選択したメールフォルダに対応するメール連動型ｉアプリが削除されているため、ソフトを起動できません。機能メニューからフォルダ内のメールを参照してください。→P.159

「ダウンロードできませんでした」

- メロディ、キャラ電、ダウンロード辞書などをダウンロードしたときに、通信エラーが起きた場合やデータ不正の場合などに表示されます。

「ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい」

- ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合、一定時間内に著しく大量のデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。

「端末暗証番号が違います」
「端末暗証番号は4～8桁です」

- 端末暗証番号の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。→P.116

「チャネル情報取得失敗のため表示できませんでした」

● お買い上げ後はじめてチャネル一覧画面を表示しようとしたとき、またはｉチャネル初期化、ｉチャネルの接続先URLの変更、端末初期化、FOMAカードの差し替えの操作を行った後にチャネル一覧画面を表示しようとしたとき、ｉチャネルの情報が取得できなかった場合に表示されます。「Yll」が表示される場所まで移動して、もう一度チャネル一覧画面を表示してください。→P.198

「注意！　電話番号やURLの記述があります。　送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。」

●「スキャン機能」の「メッセージスキャン」を「ON」に設定し、本文に電話番号やURLが含まれているSMSを表示しようとしたときに表示されます。送信元を確認後、SMSの本文を表示する場合は■を押してください。→P.471

「通信回数が多くなっていますクリアボタンを押して確認を行ってください」

● ｉアプリ待受画面からの通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。CLRを押すと、ｉアプリ待受画面からの通信を許可する、許可しない、あるいはｉアプリ待受画面を終了させるかを選択することができます。→P.284

「通話中です起動できません」
「通話中です操作できません」

● 通話中に行えない操作をしようとしたときに表示されます。→P.216、349、445、446

「データ取得できませんでした」

● 通信によりデータを取得しようとしたときに、データ不正や通信エラーが起きた場合などに表示されます。

「転送先番号を設定してください」

● 転送でんわサービスをご契約されていて、転送先が未設定の状態で着信中に機能メニューの「転送でんわ」を選択した場合に表示されます。→P.394

「添付ファイルが削除されます」

● 受信したｉモードメールを引用返信しようとしたときに、元のｉモードメールに添付ファイルがある場合に表示されます。また、転送するｉモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルのみ添付されている場合にも表示されます。■を押すと、添付ファイルが削除されます。

「添付ファイルを登録できません」

● 赤外線通信、ケーブル接続の通信、microSDカードからのコピーで登録できない添付ファイル付きメールを受信したときに表示されます。

な行

「入力データまたはURLが長すぎます」

● テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信することができません。文字数を減らしてから送信し直してください。→P.181

「入力データをご確認ください（205）」

● サイトやインターネットホームページで入力を行い送信した後に表示されます。■を押すと入力した文字や設定が取り消されます（設定・入力した内容は送信されています。送信を取り消す操作ではありません）。

「認証タイプに未対応です（401）」

● 認証できないときに表示されます。■を押すと元のページに戻ります。

「認証を中止しました（401）」

● 認証画面で「Cancel」ボタンを押したときに表示されます。

「ネットワーク暗証番号が誤っています」

● ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。→P.116

は行

「パスワードが違います　再入力してください」

● PDFデータを表示するときや、ダウンロードするときに、パスワード入力画面で誤ったパスワードを入力したときに表示されます。→P.189、338

「パスワードをご確認ください（401）」

●「認証」や「再認証」の画面で認証できないときに表示されます。もう一度認証するときは、「YES」を選択します。

「発信／着信機能オリジナルロック設定中です」

●「発信・メール送信」「着信・メール受信表示」にオリジナルロック設定中に禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。→P.125

「非対応データのため取得できません」

● ｉモーション以外のデータや非対応のｉモーションを取得しようとしたときに表示されます。

「フォルダロック設定中です　削除できません」

● 説明／対処方法は「BOXロック設定中です　削除できません」（P.455）をご覧ください。

「フォルダロック設定中のためダウンロードできません」

● 説明／対処方法は「BOXロック設定中のためダウンロードできません」（P.455）をご覧ください。

「編集中のため削除できません」

● 保存BOXに保存されているメールを編集中に、そのメールを削除しようとしたときに表示されます。

「本機で使用できるフォーマットがされていません」

● microSDカードがフォーマットされていないなどの異常です。microSDカードをフォーマットし直してください。→P.329

ま行

「見つかりませんでした」

● FOMA端末の周辺にBluetooth機器が１台も見つかりませんでした。

「無効なデータを受信しました」
「無効なデータを受信しました（XXX）」

● 受信したデータにエラーがあるため表示できません。受信したデータは破棄されます。なお、“XXX”にエラーの内容を示す番号が表示されることがあります。

「メモリ番号：ＸＸＸ書き換えできません」

● シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。→P.119

「メモリ不足です」

● メモリが不足したため、処理の継続ができないときに表示されます。頻繁に表示される場合には、一度電源を入れ直してください。

「メモリ不足です　ｉモードメニューに戻ります」

● メモリが不足したため、処理を中断します。■を押すとｉモードメニューに戻ります。

「メモリ不足です　終了します」

● メモリが不足したため処理を中断します。ｉモードメール作成時の場合、タスクの起動数、文字の種類の組み合わせなどによっては全角で5,000文字まで入力できないことがあります。

「メモリ不足です　フルブラウザメニューに戻ります」

● メモリが不足したため、処理を中断します。■を押すとフルブラウザメニュー画面に戻ります。

「文字数オーバーのため冒頭文／署名を貼り付けできません」

● ｉモードメール転送時に、冒頭文／署名を貼り付けると全角で5,000文字を超えてしまうため、冒頭文／署名が自動貼り付けされなかったときに表示されます。

「文字数がオーバーします作成可能サイズまで本文を削除してください」

● 引用返信するｉモードメールの本文と引用符の合計が全角で5,000文字を超えるため全角で5,000文字以下になるまで本文を削除してください。

「文字数がオーバーするため署名を貼り付けできません」

● 本文と署名の合計が全角で5,000文字を超えるため貼り付けできません。

「文字数がオーバーするため冒頭文を貼り付けできません」

● 本文と冒頭文の合計が全角で5,000文字を超えるため貼り付けできません。

や行

「ユーザ証明書がありません　継続しますか？」

● ユーザ証明書がダウンロードされていません。「YES」を選択することでサイトを表示することができますがサイトによっては継続できないことがあります。
→P.194

「ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか？」

● サイトからユーザ証明書が要求されましたが有効期限が切れています。「YES」を選択することで継続できる場合がありますが、新しくユーザ証明書をダウンロードすることをおすすめします。→P.194

「ユーザ証明書を　送信しますか？」

● サイトからユーザ証明書が要求されました。ユーザ証明書を送付する場合は「YES」を、しない場合は「NO」を選択してください。

「容量不足です　移動できません」

● シークレットフォルダにデータを保管または出す場合、移動先のフォルダの容量がいっぱいのときに表示されます。保存先のデータを消去してから移動し直してください。→P.121、122

「読み込みできませんでした」

● 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいmicroSDカードと交換してコピーし直してください。

「読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか？」

● 「自動読取設定」を「OFF」に設定した状態でマークを読み取り機にかざした場合に表示されます。「YES」を選択すると、自動読取機能を利用できます。
→P.296

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA 端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  - ※本FOMA端末は、電話帳やｉモーション、ｉアプリの利用するデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
  - ※本FOMA端末は、電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
  - ※パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（P.419）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

● 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

● お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

■お願い

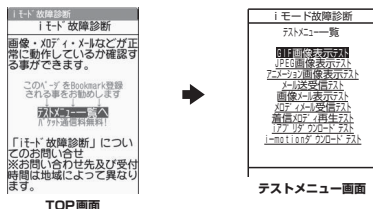
- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：受話口／スピーカー、タッチセンサー（□）右横付近
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。
  ※FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合があります。

ｉモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面　　テストメニュー画面

●「ｉモード故障診断サイト」への接続方法

・ｉ▶「ｉMenu」▶「お知らせ」▶「サービス・機能」▶「ｉモード」▶「ｉモード故障診断」

サイト接続用QRコード

●ｉモード故障診断のパケット通信料は無料となります。
　※海外からのアクセスの場合は有料となります。
●FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
●各テスト項目で動作をご確認いただく際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
●ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
●ご確認いただいた結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェアを更新する 〈ソフトウェア更新〉

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新します。
ソフトウェアの更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内いたします。

●ソフトウェア更新のパケット通信料は無料となります。
●更新方法には「自動更新」「即時更新」「予約更新」の3種類があります。
　自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
　即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
　予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
●ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
●ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
●ソフトウェア更新の際にはサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）へSSL通信を行います。あらかじめ証明書を有効にしておいてください（お買い上げ時：有効。設定方法は→P.193）。
●ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。

●ソフトウェア更新は電波が強く、アンテナマークが3本たっている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。

※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。

●「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定している場合にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書換え終了後の自動再起動時に、PIN1コードの入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。

●以下の場合はソフトウェア更新のソフトウェアをダウンロードできません。

- FOMAカード未挿入時
- FOMAカードの不正
- PINロック中
- PINロック解除コードロック中
- 日付・時刻未設定時
- おまかせロック設定中
- セルフモード設定中
- 「圏外」時
- パケット発信規制中
- デュアルネットワークサービスでmova端末利用中
- 64Kデータ通信中
- 国際ローミング中

他機能を利用中に予約更新の予約時刻になった場合は、機能終了後にダウンロードを開始します（機能により開始できない場合があります）。

●以下の場合はソフトウェア更新の書換えができません。

- おまかせロック設定中
- 他機能を利用中

自動更新の書換えの開始に失敗した場合は、自動更新設定の時刻（翌日または1週間後）に再度、書換えを実行します。

●ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用することはできません。ただし、ダウンロード中に音声電話を受けることはできます。

●すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。

●ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、メール選択受信を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。

●ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

●ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

おしらせ

●ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。

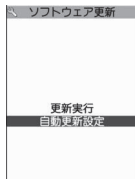
●ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います）。

●即時更新、予約更新の場合、お客様の確認操作なしでソフトウェアの更新が終了すると、待受画面に「更新」（ソフトウェア更新完了）のデスクトップアイコンが表示されます。「更新」を選択して端末暗証番号を入力すると、更新結果の内容が表示されます。

ソフトウェア更新を自動で行う　〈自動更新〉

新しいソフトを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。書換え可能な状態になると待受画面に（書換え予告アイコン）が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えを行うかどうかを選択することができます。

●お買い上げ時は、「自動で更新」（曜日：指定なし、時刻：03:00）に設定されています。

1
MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「その他設定」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力

ソフトウェア更新機能一覧画面

2 「自動更新設定」▶「自動で更新」▶✉［確定］

新しいソフトを自動でダウンロードし、待受画面に（書換え予告アイコン）が表示されます。

■ **更新の曜日や時刻を変更する場合**
▶「曜日」または「時刻」を選択して設定▶✉［確定］

■ **更新の通知のみを行うように設定する場合**
▶「更新の通知のみ」を選択▶✉［確定］
ソフトウェア更新が必要な場合に、待受画面に（更新お知らせアイコン）を表示します。

■ **自動更新を設定しない場合**
▶「設定しない」を選択▶✉［確定］▶「YES」

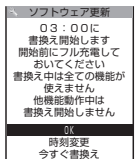
3 待受画面表示中▶■▶「更新」を選択

4 「OK」

予約時刻になると書換えを開始します。→P.469

ソフトウェア更新
03：00に
書換え開始します
開始前にフル充電して
おいてください
書換え中は全ての機能が
使えません
他機能動作中は
書換え開始しません
OK
時刻変更
今すぐ書換え

■ **書換え更新の時刻を変更する場合**
▶「時刻変更」▶端末暗証番号を入力▶「曜日」または「時刻」を選択して設定▶✉［確定］

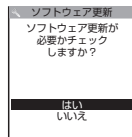
■ **すぐにソフトウェア更新を実行する場合**
▶「今すぐ書換え」▶端末暗証番号を入力
「すぐにソフトウェアを更新する」の操作2（P.468）に進みます。

おしらせ

● （更新お知らせアイコン）はドコモから通知があった場合や予約更新に失敗した場合などに表示されます。

ソフトウェア更新を起動する

ソフトウェア更新を起動するには、待受画面に表示された 更新（更新お知らせアイコン）を選択して行う方法と、メニュー画面から行う方法があります。

● 更新（更新お知らせアイコン）を選択してソフトウェア更新を起動する

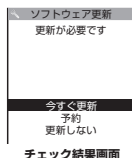
1 待受画面表示中▶■▶「更新」を選択

2 「はい」

■ ソフトウェア更新を起動せずに 更新 を消去する場合
▶「いいえ」▶「はい」

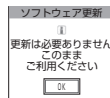
3 端末暗証番号を入力

4 ソフトウェア更新が必要かチェック

5 チェックの結果が表示される

■「更新が必要です」と表示された場合
▶「今すぐ更新」または「予約」
すぐにソフトウェアを更新する場合は「今すぐ更新」を選択します。→P.468
あとから更新する場合は「予約」を選択します。→P.469

チェック結果画面

■「更新は必要ありません」と表示された場合
▶「OK」
ソフトウェア更新の必要はありませんので、そのままFOMA端末をご使用ください。

ソフトウェア更新
更新は必要ありません
このまま
ご利用ください
OK

● メニューからソフトウェア更新を起動する

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「その他設定」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力

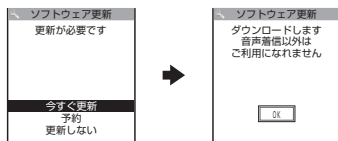
ソフトウェア更新機能一覧画面（P.466）が表示されます。

2 「更新実行」

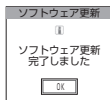
「更新（更新お知らせアイコン）を選択してソフトウェア更新を起動する」の操作4（P.467）に進みます。

すぐにソフトウェアを更新する 〈即時更新〉

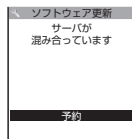
1 チェック結果画面（P.467）▶「今すぐ更新」▶「ダウンロードします」と表示されたら「OK」

すぐにソフトウェアのダウンロードを開始します。
「OK」を選択しなくても、しばらくするとダウンロードが開始されます。

2 ダウンロードが終了し「書換え開始します」と表示されたら「OK」

ソフトウェアの更新を開始します。
「OK」を選択しなくても、しばらくすると書換えが開始されます。書換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

ソフトウェアの書換え中はすべてのボタン操作が無効となります。書換えを中止することもできません。
ソフトウェアの書換えが完了すると、自動的に再起動します。
再起動後「ソフトウェア更新完了しました」と表示されたら「OK」を選択します（自動更新の場合は表示されません）。これでソフトウェアの更新は終了です。

おしらせ

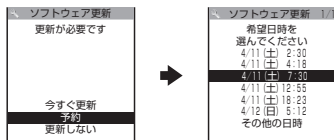
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- 書換え中に電源が切れた場合でも、電源が回復すると書換えが再開されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても自動的に更新処理を実行します。
- サーバが混み合っている場合は、右の画面が表示される場合があります。
  その場合は、「予約」を選択し、予約更新を行ってください。
- 書換え中に自動的に再起動する場合があります。

日時を予約してソフトウェアを更新する 〈予約更新〉

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合は、あらかじめソフトウェア更新を実行する日時をサーバと通信して予約しておくことができます。

<例：4月11日（土）7：30に予約する場合>

1 チェック結果画面（P.467）▶「予約」▶希望日時を選択

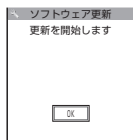
■ 希望する日時が見つからない場合

▶「その他の日時」→P.470

2 選択した日時を確認▶「YES」▶「OK」

これでソフトウェア更新の予約は完了です。

■ 希望日時を選択し直す場合

▶「NO」

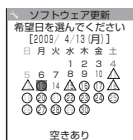
● 予約時間になると

左の画面が表示され、約5秒後にFOMA端末は自動的にソフトウェアの更新を開始します。予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受状態にしておいてください。以降の動作は「すぐにソフトウェアを更新する〈即時更新〉」（P.468）と同じです。

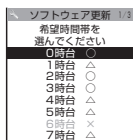
おしらせ

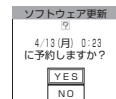
- 予約更新の希望日時には、サーバの時刻が表示されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻とアラーム通知の時刻が同じ場合は、ソフトウェア更新が優先されます。
- ほかの機能を使用しているときに予約時刻になった場合は、機能終了後にソフトウェア更新を起動します。
- 予約が完了した後に「端末初期化」を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

●「その他の日時」を選択した場合

P.469の希望日時の選択画面で「その他の日時」を選択すると、希望日と時間帯を選択することができます。

1 希望日を選択

希望日の選択画面には各希望日の予約空き状況が以下のように表示されます。
○　：空きあり
△　：空きわずか
無印：空きなし

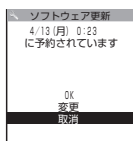
2 時間帯を選択

時間帯の選択画面には各時間帯の予約空き状況が以下のように表示されます。
○：空きあり
△：空きわずか
×：空きなし
希望する時間帯を選択すると、再度サーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。

3 ソフトウェア更新の希望日時を確認

選択した日時を確認して「YES」を選択すると、再度サーバと通信します。
これでソフトウェア更新の予約は完了です。

● 予約した日時を確認・変更・取り消す

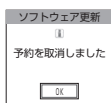
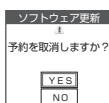
<例：予約を確認した後、予約を取り消す場合>

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「その他設定」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力▶「更新実行」

2 「取消」

■ 予約した日時でよい場合
▶「OK」

■ 予約した日時を変更する場合
▶「変更」
FOMA端末固有の情報をサーバに送信した後、「その他の日時」を選択したときと同じ操作を行ってください。→P.470

3 「予約を取消しますか?」と表示されたら「YES」

このときFOMA端末固有の情報をサーバに送信します。
なお、当社に送信されたお客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号）を第三者に公表・転用することはありません。
「予約を取消しました」と表示されたら、「OK」を選択します。これで予約の取り消しは完了です。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る
〈スキャン機能〉

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。
サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。→P.472
- スキャン機能は、サイトやインターネットホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後３年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 自動更新設定、パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- パターンデータの更新中に音声電話がかかってきたり、圏外になったりしたときにはパターンデータの更新が中断されます。

スキャン機能を設定する
〈スキャン機能設定〉

スキャン機能を「ON」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。
メッセージスキャンを「ON」に設定すると、SMSの本文を自動的にチェックします。

1 MENU▶「SETTINGS／SERVICE」▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」

ロック／セキュリティ
スキャン機能
1パターンデータ更新
2自動更新設定
3スキャン機能設定
4バージョン表示

スキャン機能画面

2 「スキャン機能設定」▶「スキャン機能」または「メッセージスキャン」▶「ON」

■ 設定を変更するかどうかのメッセージが表示された場合
▶「YES」

※スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、５段階の警告レベルで表示されます。→P.472

おしらせ

- 「メッセージスキャン」を「ON」に設定しても、留守番着信通知はチェックの対象になりません。

パターンデータを更新する 〈パターンデータ更新〉

1 スキャン機能画面（P.471）▶「パターンデータ更新」▶「YES」▶「YES」

※パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

おしらせ

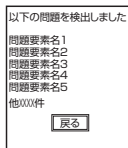
- 更新情報がネットワークから通知された場合、ほかの機能が起動しているときや、ｉモード中、パケット通信中、国際ローミング中のときはパターンデータを自動更新できません。

自動でパターンデータを更新する 〈自動更新設定〉

1 スキャン機能画面（P.471）▶「自動更新設定」▶「有効」▶「YES」▶「YES」

スキャン結果の表示について

■スキャンされた問題要素の表示について

以下の問題を検出しました
問題要素名1
問題要素名2
問題要素名3
問題要素名4
問題要素名5
他XXXX件
戻る

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧がレベルの高いものから順に５件まで表示されます。問題要素が６件以上検出された場合は、６件目以降の問題要素名は省略されます。
問題要素名が省略された残りの件数（６件目以降の件数）は次のように表示されます。
１～9998件の場合：件数がそのまま表示されます。
9999件以上の場合：すべて「他9999件」と表示されます。

■スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
正常に動作できない場合があります	正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？	正常に動作できない場合があるため 終了します	正常に動作できない場合があります データを削除しますか？	正常に動作できないため データを削除します
■［確定］…動作を継続します。	■［中止］…動作を中止し、終了します。 ✉［継続］…動作を継続します。	■［確定］…動作を中止し、終了します。	✉［削除］…データを削除し、終了します。 ■［戻る］…動作を中止し、終了します。	■［確定］…データを削除し、終了します。

おしらせ

- スキャン結果については状況によって上記以外のメッセージが表示される場合があります。

パターンデータのバージョンを確認する 〈バージョン表示〉

1 スキャン機能画面（P.471）▶「バージョン表示」

主な仕様

■本体

項目		仕様	
品名		N-04A	
サイズ		高さ約103mm×幅約49mm×厚さ約12.9mm （最厚部：約14.6mm）	
質量		約112g（電池パック装着時）	
連続待受時間		［FOMA／3G］　静止時：約550時間 移動時：約410時間	
連続通話時間		［FOMA／3G］　音声電話時：約200分 テレビ電話時：約100分	
充電時間		ACアダプタ：約120分 DCアダプタ：約120分	
液晶部	方式	LTPS_TFT262,144色	
	サイズ	約3.0inch	
	画素数	409,920画素（480×854ドット）	
撮像素子	種類	CMOS	
	サイズ	1/4.0inch	
	有効画素数	約320万画素	
カメラ部	記録画素数（最大時）	約320万画素	
	ズーム（デジタル）	最大約15.0倍	
記録部	静止画記録枚数	約1,000枚※1	
	静止画連続撮影	5～20枚※2	
	静止画ファイル形式	JPEG	
	動画録画時間	本体保存時：約272秒※3 microSDカード（64Mバイト）保存時：約120分※3	
	動画ファイル形式	MP4	
音楽再生	連続再生時間	ｉモーション	約250分※4
		着うたフル®	約1,500分※4※5
		SD-Audio	約1,500分※4※5
		Windows Media Audio（WMA）ファイル	約1,500分※5
		Music&Videoチャネル	約1,000分（音声）※5 約200分（動画）※5
保存容量	着うた®･着うたフル®	約195Mバイト※6※7	

※1：画像サイズ選択＝SubQCIF（128×96）、記録品質設定＝ノーマル（ファイルサイズ＝10Kバイト）の場合です。
※2：画像サイズによって異なります。
※3：以下の条件での1件あたりの録画時間です。
　＜本体＞
　画像サイズ選択＝SubQCIF（128×96）　記録品質設定＝標準　ファイルサイズ設定＝2MB以下
　記録種別設定＝映像＋音声
　＜microSDカード（64Mバイト）＞
　画像サイズ選択＝SubQCIF（128×96）　記録品質設定＝標準　ファイルサイズ設定＝長時間
　記録種別設定＝映像＋音声
※4：ファイル形式＝AAC形式
※5：バックグラウンド再生対応
※6：シークレットフォルダには別途最大約10Mバイトの保存容量があります。
※7：画像、ｉモーション、PDFデータ、画面メモ、デコメール®テンプレート、デコメアニメ®テンプレート、Music＆Videoチャネル、きせかえツール、マチキャラ、電子書籍／電子コミックと共有

次ページにつづく

■電池パック

品名	電池パック N16
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.8V
公称容量	780mAh

カメラの画像サイズと登録件数／撮影時間

N-04Aで撮影できる画像サイズおよび撮影した静止画の登録件数、動画の撮影時間は以下のとおりです。

■撮影できる画像サイズと撮影モードの関係

画像サイズ	静止画	連写	動画
3M（1,536×2,048）または（2,048×1,536）	○	×	×
フルHD（1,080×1,920）または（1,920×1,080）	○	×	×
2M（1,212×1,616）または（1,616×1,212）	○	×	×
1M（960×1,280）または（1,280×960）	○	×	×
パノラマ（2,592×480）	○	×	×
フルスクリーン（480×854）または（854×480）	○	×	×
VGA（640×480）	○	×	○
ワイド（640×360）	×	×	○
フルスクリーン（240×427）または（427×240）	×	○	×
QVGA縦（240×320）	○※1	○※1	×
QVGA（320×240）	○※2	○※2	○
QCIF（176×144）	○	○	○
SubQCIF（128×96）	○	○	○

※1：開いたときのみ撮影できます。
※2：閉じたときのみ撮影できます。

■静止画の保存先別登録件数の目安

品質	3M	フルHD	2M	1M	パノラマ※1	フルスクリーン※2	VGA	フルスクリーン※3	QVGA縦／QVGA	QCIF	Sub QCIF
保存先：N-04A（本体）											
スーパーファイン	約166件	約249件	約249件	約332件	約332件	約399件	約399件	約1,000件※4	約1,000件※4	約1,000件※4	約1,000件※4
ファイン	約199件	約307件	約307件	約399件	約399件	約998件	約998件	約1,000件※4	約1,000件※4	約1,000件※4	約1,000件※4
ノーマル	約249件	約399件	約399件	約654件	約654件	約1,000件※4	約1,000件※4	約1,000件※4	約1,000件※4	約1,000件※4	約1,000件※4
保存先：microSD（64Mバイト）											
スーパーファイン	約50件	約75件	約75件	約99件	約99件	約118件	約118件	約542件	約542件	約948件	約1,897件
ファイン	約60件	約92件	約92件	約118件	約118件	約291件	約291件	約948件	約948件	約1,897件	約1,897件
ノーマル	約75件	約118件	約118件	約189件	約189件	約542件	約542件	約1,265件	約1,265件	約3,795件	約3,795件

- 削除可能なプリインストールデータを削除した場合の保存可能件数です。
- 登録件数は撮影環境などにより異なります。

※1：最大、横2,592×縦480ドット
※2：横480×縦854ドット、横854×縦480ドット
※3：横240×縦427ドット、横427×縦240ドット
※4：残り撮影枚数表示には1,000件以上表示される場合があります。

■動画の保存先別撮影時間の目安

画像サイズ	ファイルサイズ設定	記録種別設定	1回あたりの撮影可能時間				総撮影可能時間			
			記録品質設定				記録品質設定			
			長時間	標準	高品質	最高品質	長時間	標準	高品質	最高品質
保存先：N-04A（本体）										
VGA	2MB以下	映像+音声	約31秒	約16秒	約8秒	約5秒	約50分	約26分	約13分	約487秒
		映像のみ	約32秒	約16秒	約8秒	約5秒	約52分	約26分	約13分	約487秒
		音声のみ	約22分				約2,145分			
ワイド（640×360）	2MB以下	映像+音声	約41秒	約21秒	約10秒	約7秒	約66分	約34分	約16分	約11分
		映像のみ	約43秒	約21秒	約10秒	約7秒	約69分	約34分	約16分	約11分
		音声のみ	約22分				約2,145分			
QVGA	2MB以下	映像+音声	約80秒	約33秒	約16秒	約8秒	約130分	約53分	約26分	約13分
		映像のみ	約85秒	約34秒	約16秒	約8秒	約138分	約55分	約26分	約13分
		音声のみ	約22分				約2,145分			
QCIF	500KB以下	映像+音声	約103秒	約52秒	約20秒	約15秒	約171分※	約86分※	約33分※	約25分※
		映像のみ	約125秒	約63秒	約21秒	約16秒	約208分※	約105分※	約35分※	約26分※
		音声のみ	約328秒				約546分※			
	2MB以下	映像+音声	約423秒	約215秒	約80秒	約61秒	約687分	約349分	約130分	約99分
		映像のみ	約512秒	約256秒	約85秒	約64秒	約832分	約416分	約138分	約104分
		音声のみ	約22分				約2,145分			
Sub QCIF	500KB以下	映像+音声	約179秒	約66秒	約29秒	約20秒	約298分※	約110分※	約48分※	約33分※
		映像のみ	約250秒	約83秒	約31秒	約21秒	約416分※	約138分※	約51分※	約35分※
		音声のみ	約328秒				約546分※			
	2MB以下	映像+音声	約12分	約272秒	約117秒	約80秒	約1,170分	約442分	約190分	約130分
		映像のみ	約17分	約341秒	約128秒	約85秒	約1,657分	約554分	約208分	約138分
		音声のみ	約22分				約2,145分			
保存先：microSD（64Mバイト）										
VGA	2MB以下	映像+音声	約32秒	約16秒	約8秒	約5秒	約17分	約512秒	約256秒	約160秒
		映像のみ	約32秒	約16秒	約8秒	約5秒	約17分	約512秒	約256秒	約160秒
		音声のみ	約22分				約704分			
	長時間	映像+音声	約16分	約518秒	約261秒	約174秒	約16分	約518秒	約264秒	約174秒
		映像のみ	約17分	約524秒	約262秒	約175秒	約17分	約524秒	約262秒	約175秒
		音声のみ	約120分				約704分			
ワイド（640×360）	2MB以下	映像+音声	約42秒	約21秒	約10秒	約7秒	約22分	約11分	約320秒	約224秒
		映像のみ	約43秒	約21秒	約10秒	約7秒	約22分	約11分	約320秒	約224秒
		音声のみ	約22分				約704分			
	長時間	映像+音声	約22分	約11分	約325秒	約217秒	約22分	約11分	約325秒	約217秒
		映像のみ	約22分	約11分	約328秒	約218秒	約22分	約11分	約328秒	約218秒
		音声のみ	約120分				約704分			
QVGA	2MB以下	映像+音声	約82秒	約33秒	約16秒	約8秒	約43分	約17分	約512秒	約256秒
		映像のみ	約85秒	約34秒	約16秒	約8秒	約45分	約18分	約512秒	約256秒
		音声のみ	約22分				約704分			
	長時間	映像+音声	約43分	約17分	約518秒	約261秒	約43分	約17分	約518秒	約261秒
		映像のみ	約45分	約18分	約524秒	約262秒	約45分	約18分	約524秒	約262秒
		音声のみ	約120分				約704分			
QCIF	500KB以下	映像+音声	約103秒	約52秒	約20秒	約15秒	約225分	約114分	約42分	約32分
		映像のみ	約125秒	約63秒	約21秒	約16秒	約273分	約136分	約45分	約34分
		音声のみ	約328秒				約704分			
	2MB以下	映像+音声	約423秒	約215秒	約80秒	約61秒	約225分	約114分	約42分	約32分
		映像のみ	約512秒	約256秒	約85秒	約64秒	約273分	約136分	約45分	約34分
		音声のみ	約22分				約704分			
	長時間	映像+音声	約120分	約114分	約42分	約32分	約225分	約114分	約42分	約32分
		映像のみ	約120分	約120分	約45分	約34分	約273分	約136分	約45分	約34分
		音声のみ	約120分				約704分			

次ページにつづく

画像サイズ	ファイルサイズ設定	記録種別設定	1回あたりの撮影可能時間				総撮影可能時間			
			記録品質設定				記録品質設定			
			長時間	標準	高品質	最高品質	長時間	標準	高品質	最高品質
Sub QCIF	500KB以下	映像+音声	約176秒	約66秒	約29秒	約20秒	約384分	約145分	約62分	約42分
		映像のみ	約250秒	約83秒	約31秒	約21秒	約546分	約182分	約68分	約45分
		音声のみ	約328秒				約704分			
	2MB以下	映像+音声	約12分	約272秒	約117秒	約80秒	約384分	約145分	約62分	約42分
		映像のみ	約17分	約341秒	約128秒	約85秒	約546分	約182分	約68分	約45分
		音声のみ	約22分				約704分			
	長時間	映像+音声	約120分	約120分	約62分	約42分	約384分	約145分	約62分	約42分
		映像のみ	約120分	約120分	約68分	約45分	約546分	約182分	約68分	約45分
		音声のみ	約120分				約704分			

- 削除可能なプリインストールデータを削除した場合の録画可能時間です。
- 時間はそのファイルサイズ設定で撮影できるおおよその時間です。
- 登録できる撮影時間は撮影環境などにより異なります。

※：動画は保存件数100件の制限があるため500KB以下と2MB以下の設定で総時間が異なります。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種別		保存・登録可能件数	保護可能件数
電話帳		最大1,000※1	－
ワンセグ	テレビリンク	50	－
	視聴予約	100	－
	録画予約	100	－
スケジュール	スケジュール	2,500	－
	休日	100	－
To Doリスト		100	－
メール（SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大1,000※2※3※4※5	最大1,000※2
	送信メール	最大400※2※3※4	最大200※2
	保存メール	最大20※2	－
エリアメール		100	－
デコメール®テンプレート／デコメアニメ®テンプレート		最大1,000※2※6	－
メッセージ	メッセージR	最大100※2	最大50※2
	メッセージF	最大100※2	最大50※2
ブックマーク	ｉモード	100※7	－
	フルブラウザ	100※7	－
画面メモ		最大100※2	最大50※2
ｉアプリ		最大200※2 （メール連動型ｉアプリは5）	－
トルカ		最大200※2	－
静止画		最大1,000※2※4※6	－
動画／ｉモーション		最大100※2※7	－
ワンセグで録画した静止画		最大100※2	－
キャラ電		10※6	－
メロディ		最大400※2	－
きせかえツール		最大100※2※6	－
PDFデータ		最大400※2※6	－
Music&Videoチャネル		最大30※2	－
ミュージック		最大100※2	－
電子書籍／電子コミック		最大400※2	－
マチキャラ		最大100※2※6	－

※1：50件までFOMAカードに保存できます。
※2：データ量によって実際に保存・登録、保護できる件数が少なくなる場合があります。
※3：SMSの場合は、さらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます。
※4：シークレットフォルダには別途最大100件保存できます。
※5：「受信BOX」フォルダに保存されている「Welcomeデコメアニメ」（Welcomeメール）「緊急速報「エリアメール」のご案内」（エリアメール紹介メール）の件数を含みます。
※6：お買い上げ時に登録されているデータを含みます。
※7：シークレットフォルダには別途最大10件保存・登録できます。

携帯電話機の比吸収率など

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種N-04Aの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機N-04AのSARの値は0.633W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/product/
NECのホームページ http://www.n-keitai.com/lineup/

※：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則14条の2）で規定されています。

Declaration of Conformity

The product “N-04A” is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.n-keitai.com/lineup/index.html (Japanese only).

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.524W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「mova」「着もじ」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「ｉモーション」「ｉコンシェル」「ｉウィジェット」「ｉアプリコール」「ｉスケジュール」「デコメール®」「デコメ®」「デコメアニメ®」「着モーション」「キャラ電」「トルカ」「電話帳お預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「ビジュアルネット」「V ライブ」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「iD」「セキュリティスキャン」「ｉショット」「ｉモーションメール」「ｉエリア」「ショートメール」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「パケ・ホーダイ」「ファミリーワイドリミット」「マルチナンバー」「DoPa」「sigmarion」「musea」「イマドコかんたんサーチ」「ｉCお引っこしサービス」「ケータイお探しサービス」「マチキャラ」「IMCS」「OFFICEED」「ｉメロディ」「うた・ホーダイ」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「直感ゲーム」「きせかえツール」および「FOMA」ロゴ、「i-mode」ロゴ、「i-αppli」ロゴ、「トルカ」ロゴ、「DCMX」ロゴ、「iD」ロゴ、「直デン」ロゴ、「Music&Videoチャネル」ロゴ、「HIGH-SPEED」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Napster」および「ナップスター」は、Napster,LLC.の米国内外における登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee,Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2008 Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- （FeliCaマーク）はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴは商標です。
- 「ピクトマジック」「感情お知らせメール」「みんなNらんど」「ライフヒストリービューア」「クイックインフォ」「デスクトップインフォ」「バザールでござーる」「クイックアルバム」は日本電気株式会社の商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- Microsoft®およびWindows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- T9®はNuance Communications, Inc.,および米国その他の国におけるNuance所有法人の商標または登録商標です。
- Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
MASCOT CAPSULE®は株式会社エイチアイの登録商標です。
- X-FORGE®は株式会社アクロディアおよびバンダイネットワークス株式会社の商標です。
- PhotoSolid®、MovieSolid®、QuickPanorama™およびロゴマークは、株式会社モルフォの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- Google, モバイルGoogleマップは、Google, inc.の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- ＦｅｌｉＣａ は、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。ＦｅｌｉＣａ は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite™ および Adobe Reader® LE テクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe Reader LE Copyright© 1993-2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash Lite はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
  ADOBE FLASH ENABLED
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:
  4,901,307 5,490,165 5,056,109
  5,504,773 5,101,501 5,506,865
  5,109,390 5,511,073 5,228,054
  5,535,239 5,267,261 5,544,196
  5,267,262 5,568,483 5,337,338
  5,600,754 5,414,796 5,657,420
  5,416,797 5,659,569 5,710,784
  5,778,338
- コンテンツ所有者は、WMDRM（Windows Media digital rights management）技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、WMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護コンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、保護コンテンツを再生またはコピーするために必要なソフトウェアのWMDRM機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツが影響を受けることはありません。保護コンテンツを利用するためにライセンスをダウンロードする場合、Microsoftがライセンスに無効化リストを含める場合がありますのであらかじめご了承ください。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、WMDRMのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。

  ACCESS、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
- 本製品の一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、文書閲覧機能として株式会社ACCESSのNetFront Document Viewerを搭載しています。
  ACCESS
  NetFront Mobile Client Suite
  ACCESS、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのIrFrontを搭載しています。

  IrFront
  ACCESS、IrFrontは、株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- ハイパークリアボイスはSRS Labs, Inc.よりライセンスされたSRS VIP+技術に基づき製品化されています。
  SRS、VIP+、および(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
- TruMediaとDialog Clarity技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
  SRS(●) Dialog Clarity SRS(●) TruMedia 5.1
  TruMedia、Dialog Clarity、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
- 本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属のCD-ROM内の「GPL・LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご覧ください。

- Copyright© Ericsson, IBM, Lotus, Matsushita Communication Industrial Co.,Ltd., Motorola, Nokia, Openwave Systems, Inc., Palm Inc., Psion, Starfish Software, Symbian, Ltd. (2001-2008). All Rights Reserved.
  DMクライアントにかかるソフトウェア全体または一部を改変するには、特許権等を含む知的財産権にかかる許諾を第三者より受けることが必要です。著作権者は、すべての第三者の知的財産権の特定につき、いかなる方法を問わず責任を負わず、責任を持ちません。本文およびこれに含まれる情報は、「現状のまま」にて提供されるものとし、一切の保証を有しません。また、Ericsson, IBM, Lotus, 松下通信工業（現パナソニックモバイルコミュニケーションズ）, Motorola, Nokia, Openwave, Palm Inc, Psion, Starfish Software, Symbianおよびその他すべてのSyncML協賛者（以下「ライセンサー」といいます。）は、商品性、特定目的との適合性、第三者の権利の非侵害および取引にかかる過程または慣習からなど生じる保証も含め、明示または黙示を問わずいかなる保証も拒否します。たとえ損害賠償の可能性についてライセンサーが助言を受けていたとしても、ライセンサーは、利益逸失、営業機会損失、データ利用の損失、営業妨害その他直接的な、間接的な、特別な、付随的な、懲罰的な、または派生的なまたは本文およびこれに含まれる情報に関連するいかなる種類の損害に関し、一切責任を負いません。
- 本製品は、データ放送BMLブラウザとして、株式会社ACCESSのNetFront DTV Profile Wireless Editionを搭載しています。
  本製品は、放送コンテンツ起動機能として、株式会社ACCESSのMedia:/メディアコロン仕様を採用しています。
  Copyright© 1996-2008 ACCESS CO., LTD.
  ACCESS、NetFrontおよびMedia:/メディアコロンは、株式会社ACCESSの日本国またはその他の国における商標または登録商標です。
- フレーム補間機能には株式会社モルフォのFrameSolid™を採用しております。
  FrameSolid™は株式会社モルフォの商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 本製品には、日本電気株式会社のフォント「FONT AVENUE」を使用しています。
  FONT AVENUEは、日本電気株式会社の登録商標です。
- 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。
  Copyright ©2006-2008, GestureTek, Inc. All Rights Reserved.
- 本製品は抗菌加工を施しております。
  抗菌対象箇所は、携帯電話ボディ（ディスプレイ、各種ボタン、端子部、側面カバー、スライドユニット、液晶側背面キャップを除く）
  無機抗菌剤・塗装・JP0122112A0003N
  SIAAマークは、ISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。
  SIAA ISO22196 for KOHKIN
- ©Primeworks
- ©2006 Gameloft
- ©2009 ZENRIN DataCom CO., LTD.
  ©2009 ZENRIN CO., LTD.
- ©2008 Acrodea, Inc.
- ©ATR-Trek Co.,Ltd.
- ©Cheburashka Project
- ©赤塚不二夫／ぴえろ
- ©タツノコプロ
- © TOMY
- ©2006タカラトミー／KL／H
- ©SUGAR
- TM&©2008 Felix the Cat Productions,Inc. All Rights Reserved
- ©DAIKIN.H.T.,2000
- ©T2i Entertainment
- © REALFLEET Co.,LTD.
- ©TYCOON GRAPHICS
- ©Yutanpo Shirane
- ©LiLy
- ©econeco
- ©2008 Google - 地図データ ©2008 Geocentre Consulting, NFGIS, ZENRIN, Europa Technologies

Windowsの表記について

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の引きかた

●本索引は「五十音目次」としての機能もあわせ持っています。本書に記載されている用語だけでなく、記載内容を要約した用語も収録しています。知りたい事項が収録されていない場合は、別のキーワードで探してください。

<例1：キー操作ロックをONに設定したいとき>

<例2：すぐに電話に出られないとき>

<例3：別の用語で収録しているとき>

●「五十音／英字／数字」索引の後に「機能メニュー」索引を収録しています。機能メニュー（P.37）の項目を検索したいときにご利用ください。

五十音／英字／数字

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

ま

み

む

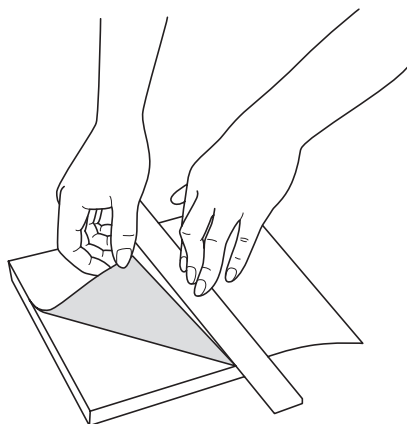
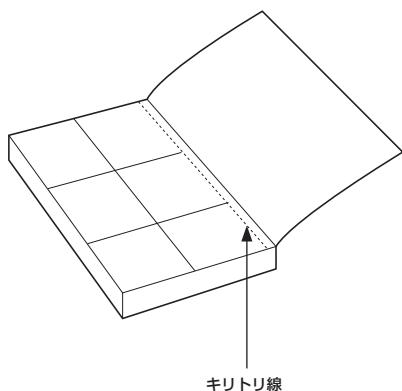
め

クイックマニュアル

クイックマニュアルのご使用方法

クイックマニュアルでは、本FOMA端末の基本的な操作や表示について記載しています。
本書に綴じ込みされているクイックマニュアルはキリトリ線で切り取り、下図のように折ってご使用ください。クイックマニュアル（海外利用編）は、海外で国際ローミング（WORLD WING）をご利用いただく際に携帯してください。

■切り取りかた

キリトリ線でクイックマニュアルのページを切り取ります。
下図のように定規などをキリトリ線に合わせて切り取れます。
切り離すときは、ほかのページを切らないように1ページずつ切り離してください。
※ はさみなどで切り取る際は、ケガなどに十分ご注意ください。

■折りかた

下図のように、表紙面が見えるように、折れ線に合わせて折り畳んでお使いください。

docomo N-04A

クイックマニュアル

○総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉
ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
○故障お問い合わせ先
ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/
iモードサイト iMenu⇒お知らせ⇒ドコモショップ

電話帳に登録する

1 MENU➔「PHONEBOOK」➔ch［機能］➔「電話帳登録」
- ●着信履歴から登録する場合
  待受画面表示中➔□➔着信履歴を選択➔ch［機能］➔「電話帳登録」
- ●リダイヤルから登録する場合
  待受画面表示中➔□➔リダイヤルを選択➔ch［機能］➔「電話帳登録」

2 登録先を選択 ➔ 名前を入力 ➔ 名前のフリガナを確認➔■［確定］

3 項目を選択してそれぞれ入力

■グループの設定（01～19、なし）
GR＜未登録＞➔グループを選択

■電話番号の設定（4件まで）
＜未登録＞➔電話番号を入力➔アイコンを選択

■メールアドレスの設定（3件まで）
＜未登録＞➔メールアドレスを入力➔アイコンを選択

■住所の設定
＜未登録＞➔郵便番号を入力➔住所を入力

■位置情報の登録
＜未登録＞➔位置情報を登録

■誕生日の設定
＜未登録＞➔誕生日を入力

■メモの設定
＜未登録＞➔メモを入力

■静止画の設定
＜未登録＞➔カメラ撮影または静止画を選択

■キャラ電の設定
＜未登録＞➔キャラ電を選択

■メモリ番号の設定（000～999）
No➔メモリ番号を入力

4 ✉［完了］
FOMAカードへの登録では、名前、フリガナ、グループ、電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

電話帳を修正・削除する

■電話帳の修正
電話帳詳細画面を表示➔ch［機能］➔「電話帳編集」➔必要な項目を修正➔✉［完了］➔「YES」（FOMAカードの電話帳は✉［完了］を押した後、「上書き登録」➔「YES」）

■電話帳の削除
電話帳一覧画面を表示➔ch［機能］➔「電話帳削除」➔「1件削除」➔「YES」（電話帳によってはさらに「YES」）

文字入力

■文字入力（編集）画面

テキストメモ編集
いつもお世話になっております。|
改行 範囲選択
漢全 482

文字入力エリア
操作ガイダンスエリア
情報表示エリア

キリトリ線

■入力モード
漢…漢字ひらがな　数…数字
カナ…カタカナ　区…区点コード　英…英字

■文字入力方式の切り替え
✉［文字］（1秒以上）
押すたびに次のように切り替わります。
かな方式➔2タッチ方式➔T9入力方式

■濁点、半濁点の入力
＊（数回）

■句読点の入力
＃（数回）

■漢字ひらがな、カタカナ、英字、数字入力モードの切り替え
✉［文字］（数回）

■絵文字、記号、顔文字、URLの入力

[i]［絵記］➜[✉]または[i]でタブ表示切り替え➜絵文字などを選択（絵文字や記号の場合、入力が終わったら[CLR]）

■文字の消去

[✣]で削除したい文字の前にカーソルを合わせる➜[CLR]

■スペースの入力

[ch]［機能］➜「スペース入力」

[▶]（カーソルが文末の場合のみ）

■改行の入力

[＊]

[▼]（カーソルが文末の場合のみ）

■入力した文字の大文字／小文字の切り替え

[＊]

テキストメモに「携帯」を入力

■文字入力（編集）画面の表示

[MENU]➜「LIFEKIT」➜「テキストメモ」➜[✉]［編集］➜[✉]［文字］（数回）➜「漢字ひらがな入力モード」にする➜

け➜[2]を4回、い➜[1]を2回、た➜[4]を1回、い➜[1]を2回

■文字の変換

[ch]［変換］➜[▲▼]➜[✣]➜変換候補「携帯」を選択

カメラ

■静止画撮影

[MENU]➜「LIFEKIT」➜「カメラ」➜「フォトモード」➜[■]［撮影］➜[■]［保存］

■連続撮影

[MENU]➜「LIFEKIT」➜「カメラ」➜「フォトモード」➜[ch]［機能］➜「カメラモード切替」➜「連続撮影」➜「オート」または「マニュアル」➜[■]［連写／撮影］➜[ch]［機能］➜保存する方法を選択

■動画撮影

[MENU]➜「LIFEKIT」➜「カメラ」➜「ムービーモード」➜[■]［撮影］➜[■]［終了］➜[■]［保存］

ワンセグ

■チャンネルリストの登録

[MENU]➜「1SEG」➜「チャンネル設定」➜「地域選択」➜地域を選択➜都道府県を選択

■チャンネルリストの切り替え

[MENU]➜「1SEG」➜「チャンネルリスト選択」➜チャンネルリストを選択

■ワンセグの視聴

[MENU]➜「1SEG」➜「ワンセグ視聴」

■ワンセグを録画

ワンセグ視聴画面を表示➜[✉]（1秒以上）➜[✉]

静止画、動画やメロディを再生する

■静止画表示

[MENU]➜「DATA BOX」➜「マイピクチャ」➜フォルダを選択➜静止画を選択

■動画再生

[MENU]➜「DATA BOX」➜「ｉモーション」➜フォルダを選択➜動画を選択

■メロディ再生

[MENU]➜「DATA BOX」➜「メロディ」➜フォルダを選択➜メロディを選択

ミュージックプレーヤーを利用する

■曲を再生する

[MENU]➜「DATA BOX」➜「ミュージック」➜フォルダを選択➜曲を選択

テレビ電話をかける・受ける

■テレビ電話をかける

相手の電話番号を入力➜[✉]［テレビ電話］➜通話が終了したら[⏎]

■テレビ電話を受ける

着信音が鳴り、イルミネーションランプが点滅したら[✆]➜通話が終了したら[⏎]

■通話中の動作

[✉]：ハンズフリーの切り替え（ON、OFF）

[■]［MUTE ON］：ミュート（消音）の切り替え

キリトリ線

ｉモードメール

ｉモードメールの作成・送信

■新規メール画面を表示

✉➜「新規メール作成」

■宛先を入力

「To」➜宛先を入力

■題名を入力

「Subject」➜題名を入力

■本文を入力

「 」➜本文を入力

■メールを送信

✉［送信］➜「OK」

ファイルの添付

■イメージ（画像）、ｉモーション、メロディ、PDF、ドキュメント、トルカ、その他の添付

新規メール画面を表示➜ｉ［添付］➜項目を選択➜フォルダを選択➜データを選択

■電話帳の添付

新規メール画面を表示➜ｉ［添付］➜「電話帳」➜「本体」➜電話帳を検索➜電話帳を選択

■マイプロフィールの添付

新規メール画面を表示➜ｉ［添付］➜「マイプロフィール」➜端末暗証番号を入力➜■［確定］

■スケジュールの添付

新規メール画面を表示➜ｉ［添付］➜「スケジュール」➜項目を選択➜データを選択➜■［選択］

■Bookmarkの添付

新規メール画面を表示➜ｉ［添付］➜「Bookmark」➜項目を選択➜フォルダを選択➜データを選択➜■［選択］

ｉモードメールの受信

「✉」が点滅➜受信結果画面が表示➜「 」を選択

その他のメール機能

■メールの返信

返信したいメールを表示➜✉［返信］➜「 」➜本文を入力➜✉［送信］➜「OK」

■メールの転送

転送したいメールを表示➜ch［機能］➜「返信／転送」➜「転送」➜「To」➜宛先を入力➜✉［送信］➜「OK」

ｉモード問い合わせ

✉（1秒以上）

メニュー機能一覧

大項目	中項目	小項目
MAIL（メール）	受信BOX	
	送信BOX	
	保存BOX	
	送受信BOX	
	新規メール作成	
	新規デコメアニメ作成	
	WEBメール	
	チャットメール	
	SMS作成	
	ｉモード問い合わせ	
	メール選択受信	
	SMS問い合わせ	
	テンプレート	
	メール設定	
i-mode（ｉモード）	ｉMenu	
	Bookmark	
	画面メモ	
	サイト閲覧履歴	
	Internet	

大項目	中項目	小項目
i-mode（ｉモード）	ワンタッチマルチウィンドウ	
	フルブラウザ	
	ｉチャネル	
	メッセージR／F	
	ｉモード問い合わせ	
	ユーザ証明書操作	
	ｉモード設定	
i-αppli（ｉアプリ）	ソフト一覧	
	microSD	
	ｉアプリコール履歴	
	自動起動設定	
	ｉアプリ実行情報	
SETTINGS／SERVICE（設定／サービス）	きせかえツール設定	
	着信	着信音量
		着信音選択
		ステレオ・3Dサウンド設定
		バイブレータ
		着信イルミネーション
		マナーモード設定
		電話帳画像着信設定
		着信アンサー設定
		メール／メッセージ鳴動

キリトリ線

大項目	中項目	小項目
SETTINGS／SERVICE（設定／サービス）	着信	呼出時間表示設定
		伝言メモ
		発着信番号表示設定
		メロディコール設定
	通話	ハイパークリアボイス
		自動音声メモ
		ノイズキャンセラ
		通話品質アラーム
		再接続機能
		保留音設定
	発信	ポーズダイヤル
		サブアドレス設定
		プレフィックス設定
		イヤホンスイッチ発信設定
		国際ダイヤルアシスト設定
	テレビ電話	送信画質設定
		画像選択
		音声自動再発信
		テレビ電話画面設定
		テレビ電話切替機能通知
		ハンズフリー切替
		パケット通信中着信設定

大項目	中項目	小項目
SETTINGS／SERVICE（設定／サービス）	ディスプレイ	画面表示設定
		照明設定
		画面デザイン
		フォント設定
		デスクトップ
		新着お知らせ3D表示
		バイリンガル
		オリジナルメニュー
		メニュー画面設定
		ピクチャ表示設定
		表示アイコン説明
		表示アイコン設定
		プライバシーアングル
		表示画質モード設定
		クイックインフォ設定
		充電中ディスプレイ
		マチキャラ設定
		インフォメーション表示設定
	時間／料金	通話時間／料金
		通話料金通知
		積算リセット

大項目	中項目	小項目	
SETTINGS／SERVICE（設定／サービス）	時間／料金	積算料金自動リセット	
	時計	メイン時計設定	
		サブ時計設定	
		待受時計表示	
		アラーム通知設定	
		アラーム通知中読み上げ	
		時刻アラーム音設定	
		自動電源ON	
		自動電源OFF	
	ロック／セキュリティ	ロック	ダイヤルロック
			オリジナルロック
		ICカードロック設定	
		キー操作ロック	
		セルフモード	
		シークレットモード	
		シークレット専用モード	
		登録外着信拒否	
		非通知着信設定	

大項目	中項目	小項目
SETTINGS／SERVICE（設定／サービス）	ロック／セキュリティ	端末暗証番号変更
		ICカード認証設定
		PIN設定
		スキャン機能
	スライド設定	スライドアクション設定
		クローズ動作設定
		スライド音
	イルミネーション	ボタンイルミネーション
		ボタンバックライト
	ボタン／タッチセンサー設定	ボタン確認音
		タッチセンサー設定
		chキー設定
	外部接続	USBモード設定
		イヤホン切替設定
		イヤホンマイク設定
		オート着信設定
	ｉアプリ設定	ソフト情報表示設定
		待受画面終了
		ｉアプリ音量
		サウンド優先設定
		ｉウィジェット効果音
		ｉアプリコールダウンロード設定

大項目	中項目	小項目
SETTINGS／SERVICE（設定／サービス）	ｉアプリ設定	ｉウィジェットローミング設定
		ｉアプリについて
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定
		ｉモード問い合わせ設定
		接続先選択
		SMSセンター設定
		証明書
		証明書センター接続設定
	国際ローミング設定	ネットワークサーチ設定
		優先ネットワーク設定
		オペレータ名表示設定
		海外用サービス
		ローミング時着信規制
		ローミング着信通知
	サービス	着もじ
		発信者番号通知
		留守番電話
		キャッチホン
		転送でんわ
		2in1設定
		迷惑電話ストップ
		番号通知お願いサービス

大項目	中項目	小項目
SETTINGS／SERVICE（設定／サービス）	サービス	通話中の着信動作選択
		通話中着信設定
		遠隔操作設定
		デュアルネットワーク
		英語ガイダンス
		追加サービス
		サービスダイヤル
		マルチナンバー
		ローミングガイダンス設定
	その他設定	充電確認音
		電池残量
		在圏状態表示
		文字入力設定
		音量制限
		設定リセット
		端末初期化
		ソフトウェア更新
DATA BOX（データBOX）	マイピクチャ	
	ミュージック	
	Music&Videoチャネル	
	ｉモーション	
	メロディ	

キリトリ線

大項目	中項目	小項目
DATA BOX（データBOX）	マイドキュメント	
	きせかえツール	
	マチキャラ	
	キャラ電	
	PC動画	
	ワンセグ	
	マンガ・ブックリーダー	
	ドキュメントビューア	
LIFEKIT（LifeKit）	バーコードリーダー	
	赤外線受信	
	microSD	
	カメラ	
	ライフヒストリービューア	
	Bluetooth	
	電話帳お預りサービス	
	スケジュール	
	アラーム	
	To Doリスト	
	テキストメモ	
	電卓	
	音声メモの再生／消去	
	動画メモの再生／消去	

大項目	中項目	小項目
LIFEKIT（LifeKit）	音声メモ	
	おしゃべり機能	
	FOMAカード（UIM）操作	
	マイプロフィール	
	電話帳画像転送	
	テキストリーダー	
	辞典	
i-concier（ｉコンシェル）		
PHONEBOOK（電話帳）		
OWN DATA（ユーザデータ）	着信履歴	
	発信履歴	
	ブログ・メールメンバー	
	チャットグループ	
	直デン	
	定型文	
	ユーザ辞書	
	ダウンロード辞書	
MUSIC	ミュージックプレーヤー	
	Music&Videoチャネル	

大項目	中項目	小項目
1SEG（ワンセグ）	ワンセグ視聴	
	番組表	
	視聴予約リスト	
	録画予約リスト	
	予約録画結果	
	テレビリンク	
	チャンネルリスト選択	
	チャンネル設定	
	ユーザ設定	
OSAIFU-KEITAI（おサイフケータイ）	ICカード一覧	
	DCMX	
	トルカ	
	ICカードロック設定	
	設定	
	ICオーナー確認	
	ICオーナー変更	
	ｉモードで探す	

＜その他の機能＞
- ●マナーモード：# （1秒以上）（押すたびに設定、解除）
- ●公共モード（ドライブモード）：＊（1秒以上）（押すたびに設定、解除）

ネットワークサービス

留守番電話サービス

■留守番電話サービス開始
MENU➜「SETTINGS／SERVICE」➜「サービス」➜「留守番電話」➜「留守番サービス開始」➜「YES」➜「YES」➜呼出時間（秒）を入力

■留守番サービス停止
MENU➜「SETTINGS／SERVICE」➜「サービス」➜「留守番電話」➜「留守番サービス停止」➜「YES」

■留守番メッセージ再生
MENU➜「SETTINGS／SERVICE」➜「サービス」➜「留守番電話」➜「留守番メッセージ再生」➜「再生（音声電話）」または「再生（テレビ電話）」➜「YES」➜音声ガイダンスの指示に従って操作

キャッチホン

■キャッチホンサービス開始
MENU➜「SETTINGS／SERVICE」➜「サービス」➜「キャッチホン」➜「キャッチホンサービス開始」➜「YES」

■キャッチホンサービス停止
MENU➜「SETTINGS／SERVICE」➜「サービス」➜「キャッチホン」➜「キャッチホンサービス停止」➜「YES」

■通話中にかかってきた電話に出る
通話中に着信があったら［✓］

［✓］を押すたびに通話する相手を切り替えることができます。

キリトリ線

転送でんわサービス

■転送サービス開始
MENU➜「SETTINGS／SERVICE」➜「サービス」➜「転送でんわ」➜「転送サービス開始」➜転送先や呼出時間を設定し、「開始」➜「YES」

■転送サービス停止
MENU➜「SETTINGS／SERVICE」➜「サービス」➜「転送でんわ」➜「転送サービス停止」➜「YES」

番号通知お願いサービス

■番号通知お願いサービス開始
MENU➜「SETTINGS／SERVICE」➜「サービス」➜「番号通知お願いサービス」➜「番号通知お願い開始」➜「YES」➜「OK」

■番号通知お願いサービス停止
MENU➜「SETTINGS／SERVICE」➜「サービス」➜「番号通知お願いサービス」➜「番号通知お願い停止」➜「YES」➜「OK」

FOMA端末から利用できるサービス

サービス	番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）※1	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報※2	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報※2	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

※1：電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内しておりません。

※2：おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

主なアイコン表示

03.27FRI 11:37

アイコン表示エリア

：電池残量表示

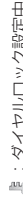
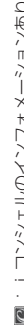
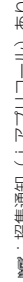
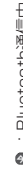
：電波の受信レベル

：ｉモード中

：SSL対応ページを表示中

：未読メールあり

：未読メッセージRあり

：ｉモードセンターにメールあり

：ダイヤルロック設定中

：ｉコンシェルのインフォメーションあり

：招集通知（ｉアプリコール）あり

：Bluetooth通信中

：microSDカード取り付け時

：音声通話中

：バイブレータ設定中

：着信音量を「消去」に設定中

：マナーモード設定中

：公共モード（ドライブモード）設定中

：Music&Videoチャネル予約設定中

／：アラーム通知機能を設定中

：ワンセグ予約録画中

～、：留守番電話の伝言メッセージあり

～：伝言メモON・自動音声メモOFF

～：テレビ電話伝言メモ設定中

：ECOモードを「ON」に設定中

：キー操作ロック設定中、待機中

：ICカードロック設定中

＜紛失時などの緊急連絡先＞

おまかせロック

・おまかせロックは有料サービスです。ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合、無料になります。

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360

受付時間24時間

※パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

キリトリ線

その他の緊急連絡先

＜連絡先：　　　　　　　　　　＞

＜連絡先：　　　　　　　　　　＞

＜連絡先：　　　　　　　　　　＞

※ダイヤル番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

docomo N-04A

クイックマニュアル（海外利用編）

○海外での紛失、盗難、精算などについて

〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-5366-3114*（無料）**

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-04Aから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

●一般電話などからの場合＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-0120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）はP.9を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）はP.10をご覧ください。

○海外での故障に関して

〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-6718-1414*（無料）**

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-04Aから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

●一般電話などからの場合＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-5931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）はP.9を、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）はP.10をご覧ください。

海外で利用するための準備

●海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- 『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』
- DATA BOX内のマイドキュメントにプリインストールされているPDFファイル「海外ご利用ガイド」

iモード設定

■日本で設定

[i]➜「i Menu」➜「お客様サポート」➜「お申込・お手続き」➜「海外利用のお申込・お手続き」➜「海外利用設定」➜「iモード利用設定」➜「利用する」➜iモードパスワードを入力➜「決定」

■海外で設定

[i]➜「i Menu」➜「海外利用設定」➜「iモード利用設定」➜「利用する」➜iモードパスワードを入力➜「決定」

遠隔操作設定

■日本で設定

[MENU]➜「SETTINGS／SERVICE」➜「サービス」➜「遠隔操作設定」➜「遠隔操作開始」➜「YES」

■海外で設定

[MENU]➜「SETTINGS／SERVICE」➜「国際ローミング設定」➜「海外用サービス」➜「遠隔操作設定（海外）」➜「YES」➜音声ガイダンスに従う

時刻時差補正の設定

[MENU]➜「SETTINGS／SERVICE」➜「時計」➜「メイン時計設定」➜「自動時刻時差補正」➜「時刻補正」、「時差補正」でそれぞれ「自動」を選択

サブ時計の表示設定

[MENU]➜「SETTINGS／SERVICE」➜「時計」➜「サブ時計設定」➜「表示方法」➜「自動（ローミング時自動表示）」を選択

海外で利用できるサービスについて

- 音声電話／テレビ電話
- iモードメール
- iコンシェル
- iモード（フルブラウザ含む）
- SMS送受信
- iウィジェット
- iチャネル
- メッセージR
- パソコンなどと接続して行うパケット通信

※接続するネットワークや通信事業者によって異なります。

通信事業者の検索方法を設定する

■接続する通信事業者を自動または手動で切り替える

[MENU]➜「SETTINGS／SERVICE」➜「国際ローミング設定」➜「ネットワークサーチ設定」➜「オート」または「マニュアル」「マニュアル」の場合、さらに通信事業者を選択

■接続可能な通信事業者を再検索する

[MENU]➜「SETTINGS／SERVICE」➜「国際ローミング設定」➜「ネットワークサーチ設定」➜「ネットワーク再検索」「マニュアル」の場合、さらに通信事業者を選択

優先的に接続する通信事業者を設定する

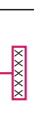
[MENU]➜「SETTINGS／SERVICE」➜「国際ローミング設定」➜「優先ネットワーク設定」➜優先順位を変更する通信事業者を反転➜[ch]［機能］➜「優先順位変更」➜移動したい位置を反転➜[■]［選択］➜[✉]［完了］➜「YES」

通信事業者名の表示について設定する

[MENU]➜「SETTINGS／SERVICE」➜「国際ローミング設定」➜「オペレータ名表示設定」➜「表示あり」または「表示なし」

■ディスプレイの表示

現在接続している通信事業者名がタスクアイコン表示エリアに表示されます。

XXXXX

接続中の通信事業者名

帰国後の設定

日本帰国時は本FOMA端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索されFOMAネットワーク（DOCOMO）に設定されます。「通信事業者の検索方法を設定する」→P.4

電話をかける

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

■「国際ダイヤルアシスト設定」に登録されている国に電話をかける

相手の番号をダイヤル➜[ch]［機能］➜「国際電話発信」➜電話をかけたい国名を選択➜[発信]または[✉]［テレビ電話］

キリトリ線

■国番号からダイヤルして電話をかける

待受画面表示中に＋（0 1秒以上）➜国番号➜地域番号（市外局番）➜相手先電話番号の順にダイヤル➜[発信]または[✉]［テレビ電話］

滞在国内に電話をかける

相手先の番号をダイヤル➜[発信]または[✉]［テレビ電話］

電話を受ける

音声電話／テレビ電話がかかってきたら[発信]

ネットワークサービス

海外でネットワークサービスを利用する場合はあらかじめ遠隔操作の設定が必要になります。

ローミングガイダンス設定

・日本国内で設定してください。

MENU➜「SETTINGS／SERVICE」➜「サービス」➜「ローミングガイダンス設定」➜「ローミングガイダンス開始」または「ローミングガイダンス停止」➜「YES」

ローミング時着信規制

・海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

MENU➜「SETTINGS／SERVICE」➜「国際ローミング設定」➜「ローミング時着信規制」➜「開始」または「停止」
「開始」の場合、さらに「全着信規制」または「テレビ電話／データ呼規制」から選択➜「YES」➜ネットワーク暗証番号入力

海外用サービス

MENU➜「SETTINGS／SERVICE」➜「国際ローミング設定」➜「海外用サービス」➜「留守番電話（海外）／転送でんわ（海外）／遠隔操作設定（海外）／番号通知お願い（海外）／ローミングガイダンス（海外）／ローミング着信通知（海外）」➜「YES」➜音声ガイダンスに従う

主要国の国番号

国際電話を利用するときや「国際ダイヤルアシスト設定」などで利用する国番号は、以下の番号を使用してください。

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	スウェーデン	46	フィリピン	63
イギリス	44	スペイン	34	フィンランド	358
イタリア	39	タイ	66	仏領ポリネシア	689
インド	91	台湾	886	フランス	33
インドネシア	62	チェコ	420	ブラジル	55
エジプト	20	中国	86	ベトナム	84
オーストラリア	61	ドイツ	49	ペルー	51
オーストリア	43	トルコ	90	ベルギー	32
オランダ	31	日本	81	香港	852
カナダ	1	ニューカレドニア	687	マカオ	853
韓国	82	ニュージーランド	64	マレーシア	60
ギリシャ	30	ノルウェー	47	モルディヴ	960
シンガポール	65	ハンガリー	36	ロシア	7
スイス	41	フィジー	679		

※ このほかの国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』を確認してください。

主要国の国際電話アクセス番号（表1）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	スウェーデン	00	フランス	00
アメリカ合衆国	011	スペイン	00	ブラジル	0021/0014
アラブ首長国連邦	00	タイ	001		
イギリス	00	台湾	002	ベトナム	00
イタリア	00	チェコ	00	ベルギー	00
インド	00	中国	00	ポーランド	00
インドネシア	001	デンマーク	00	ポルトガル	00
オーストラリア	0011	ドイツ	00	香港	001
オランダ	00	トルコ	00	マカオ	00
カナダ	011	ニュージーランド	00	マレーシア	00
韓国	001	ノルウェー	00	モナコ	00
ギリシャ	00	ハンガリー	00	ルクセンブルク	00
シンガポール	001	フィリピン	00	ロシア	810
スイス	00	フィンランド	00		

※ 最新情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	シンガポール	001	フィリピン	00
アメリカ合衆国	011	スイス	00	フィンランド	990
アルゼンチン	00	スウェーデン	00	フランス	00
イギリス	00	スペイン	00	ブラジル	0021
イスラエル	014	タイ	001	ブルガリア	00
イタリア	00	台湾	00	ペルー	00
オーストラリア	0011	中国	00	ベルギー	00
オーストリア	00	デンマーク	00	ポルトガル	00
オランダ	00	ドイツ	00	香港	001
カナダ	011	ニュージーランド	00	マレーシア	00
韓国	001	ノルウェー	00	南アフリカ共和国	09
コロンビア	009	ハンガリー	00	ルクセンブルク	00

※ ユニバーサルナンバーは携帯電話や公衆電話、ホテルなどからご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

※ 最新情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

キリトリ線

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、クイックマニュアル（海外利用編）表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」またはP.1の「海外での故障に関して」をご覧ください。

・各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「国際電話アクセス番号（表1）」または「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）」が必要になります。

※ 携帯電話、公衆電話、ホテルなどからは、ユニバーサルナンバーをご利用いただけない場合が多いためご注意ください。

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから　i Menu ⇒ お客様サポート⇒お申込･お手続き⇒各種お申込･お手続き　パケット通信料無料

パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
・航空機内　　・病院内
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーを守りましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード／オリジナルマナーモード】→P.97、98
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード）。マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます（オリジナルマナーモード）。ただし、マナーモード／オリジナルマナーモードのどちらでも、カメラのシャッター音を消すことはできません。

【公共モード（ドライブモード／電源OFF）】→P.70、71
電話をかけてきた相手に、運転中または通話を控える必要のあるような場所にいるか、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスで応答します。

【バイブレータ】→P.94
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

【伝言メモ機能】→P.72
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。
そのほかにも、留守番電話サービス（P.392）、転送でんわサービス（P.394）などのオプションサービスが利用できます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

 （局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/　**iモードサイト　iMenu⇒お客様サポート⇒ドコモショップ**

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-5366-3114***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※N-04Aから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-0120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P.410をご覧ください。

海外での故障に関して
〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-6718-1414***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※N-04Aから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-5931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P.410をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　日本電気株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

再生紙を使用しています

'09.2（2.1版）
MDT-000102-JAA0

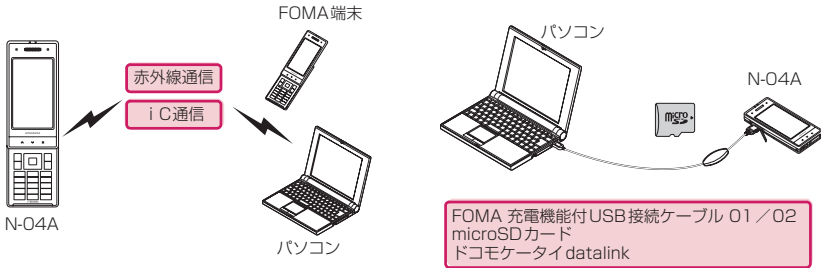
N-04A
パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて
本マニュアルでは、N-04Aでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、付属のCD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

データ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信

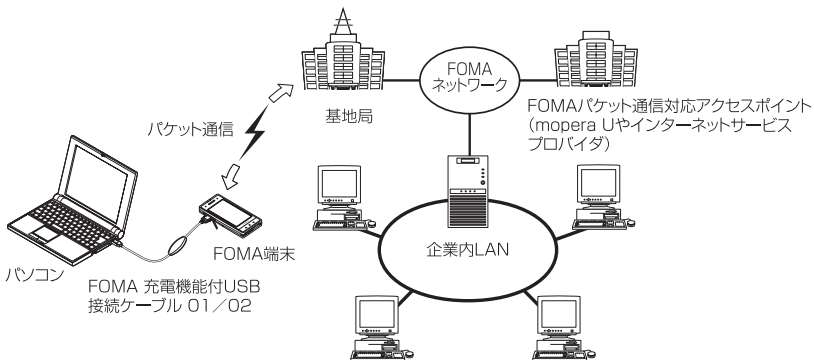
FOMA端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信は、データ転送（OBEX™通信）、パケット通信と64Kデータ通信に分類されます。

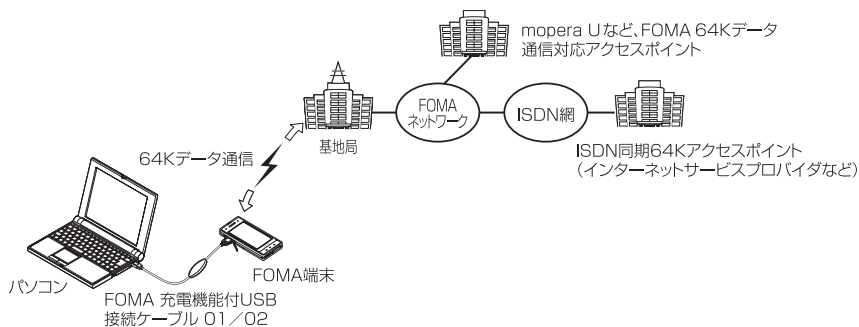
データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

パケット通信

送受信されたデータ量に応じて課金され※1、FOMAハイスピードエリアでは受信最大7.2Mbps※2、送信最大384kbps※2の高速通信を行うことができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。

- ドコモのPDA「sigmarion Ⅲ」や「musea」でパケット通信をご利用の場合、送受信ともに最大384kbpsとなります。ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。

FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスすることもできます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信対応アクセスポイントを利用します。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
※1：データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。
※2：技術規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。また、FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。

64Kデータ通信

データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金されます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などのFOMA 64K データ通信対応アクセスポイント、またはISDN同期64K アクセスポイントを利用します。
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
※長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

おしらせ

- 海外やFOMAサービスエリア外では、パケット通信は受信最大384kbps、送信最大64kbpsとなります。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。
- 海外で64Kデータ通信はご利用になれません。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用する時のアクセス認証では FirstPass（ユーザ証明書）が必要です。付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe® Reader® をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」を参照してください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件について

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です（日本国内で通信を行う場合です）。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を利用できるパソコンであること。
- FOMAサービスエリア内であること。
- パケット通信の場合は接続先がFOMAのパケット通信に対応していること。
- 64Kデータ通信の場合は接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること。

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

ご使用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	• Windows 2000（日本語版） • Windows XP（日本語版） • Windows Vista（日本語版） ※ドコモ コネクションマネージャは、Windows 2000 Service Pack 4以降、Windows XP Service Pack 2以降 （動作環境詳細はドコモのホームページをご覧ください。）
必要メモリ	• Windows 2000：64Mバイト以上※2 • Windows XP：128Mバイト以上※2 • Windows Vista：512Mバイト以上※2
ハードディスク容量	• 5Mバイト以上の空き容量※2 ※ドコモ コネクションマネージャは15Mバイト以上の空き容量

※1 ： OSアップグレードからの動作は保証の対象外となります。
※2 ： パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer 7.0以降です（Windows XP、Windows 2000の場合、推奨環境はMicrosoft Internet Explorer 6.0以降です）。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ①「 」→「コンピュータ」を開く
  Windows XP、Windows 2000の場合は「スタート」→「マイコンピュータ」を開く
  ② CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択する
  ③「index.html」をダブルクリックする
- CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。

おしらせ

- FOMA端末をドコモのPDA「musea」、「sigmarion Ⅲ」と接続してデータ通信を行うことができます。「musea」と接続してデータ通信を行う場合はアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末は、FAX通信には対応していません。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- 「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02」（別売）または「FOMA USB接続ケーブル」（別売）
- 付属のCD-ROM「N-04A用CD-ROM」

おしらせ

- USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02」または「FOMA USB接続ケーブル」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

手順を確認する

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続できます。

■「N-04A用CD-ROM」について

● FOMA通信設定ファイル（ドライバ）、ドコモ コネクションマネージャ、FirstPass PCソフトが入っています。
● FOMA通信設定ファイルとは、FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送（OBEX™通信）を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。FOMA通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。
ドコモ コネクションマネージャを使うと、パケット通信、64Kデータ通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

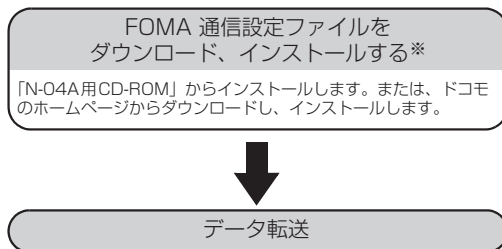
設定完了までの流れ

■データ転送（OBEX™通信）の場合

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA 通信設定ファイルを
ダウンロード、インストールする※

「N-04A用CD-ROM」からインストールします。または、ドコモのホームページからダウンロードし、インストールします。

データ転送

※：ドコモケータイ datalink もインストールしてください。

■パケット通信／64Kデータ通信の場合

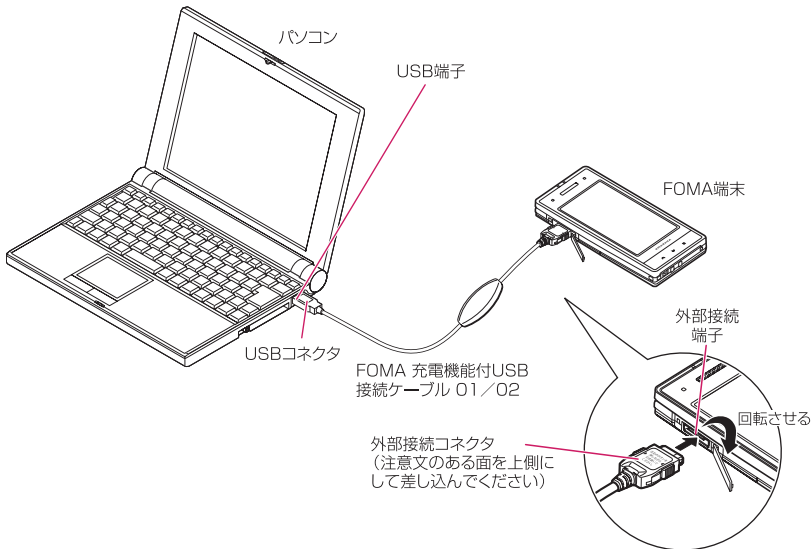
※： FOMA端末とパソコンを接続してインターネットをするには、ブロードバンド接続等に対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。
詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

USBモード設定を「通信モード」にする

● パソコンに取り付ける前に設定してください。

1 MENU ▶「SETTINGS／SERVICE」▶「外部接続」▶「USBモード設定」▶「通信モード」

取り付け方法

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）の取り付け方法について説明します。

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開けて、回転させる

2 FOMA端末の外部接続端子の向きを確認して、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02の外部接続コネクタを水平に「カチッ」と音がするまで差し込む

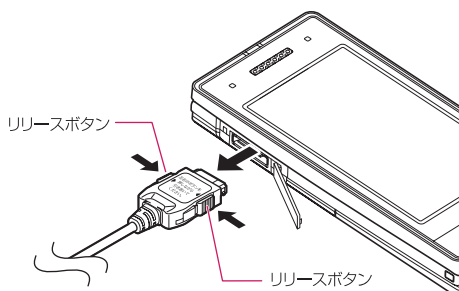
3 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02のUSBコネクタを、パソコンのUSB端子に接続する

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を接続するとFOMA端末に「 」が表示されます。

おしらせ

● FOMA端末に表示される「 」は、FOMA通信設定ファイルのインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。

取り外し方法

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）の取り外し方法について説明します。

1 パソコンのUSB端子からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を引き抜く

2 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、水平に引き抜く

3 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

おしらせ

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02の取り付け･取り外しを連続して行うと、FOMA端末がパソコンに正しく認識できなくなることがありますので間隔をおいて行ってください。
- 通信の切断･誤動作･データ消失の原因となるため、データ通信中にFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02の取り外しは行わないでください。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02の外部接続コネクタをFOMA端末の外部接続端子から引き抜くときは、コネクタのリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

パソコンの設定をする

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

- FOMA通信設定ファイルのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- FOMA通信設定ファイルはドコモのホームページからダウンロードすることもできます。

1 Windowsを起動して「N-04A用CD-ROM」をパソコンにセットする

右の画面が自動的に表示されます。

2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする

3 「FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）」の項目の「インストール」をクリックする

4 開いたフォルダの中から「FOMAinst.exe」をダブルクリックし、「続行」をクリックする

お使いのパソコンの設定によっては「FOMAinst」と表示されることがあります。
Windows XP、Windows 2000の場合は、「続行」の操作はありません。

5 ソフトウェア使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「同意する」をクリックする

「同意しない」をクリックするとインストールは中止されます。

6 FOMA端末の電源を入れて、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）をFOMA端末に接続する

7 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01／02をパソコンのUSB端子に接続する

ドライバのインストールが自動的にはじまります。
ドライバのインストール完了後、引き続きドコモ コネクションマネージャをインストールすることができます。ドコモ コネクションマネージャをインストールする場合は「インストールする」をクリックします。→P.14

インストールしたドライバを確認する

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。
ここではWindows Vistaを例にして説明します。

1 「 」→「コントロールパネル」を選択

Windows XPの場合
　「スタート」→「コントロールパネル」を選択

Windows 2000の場合
　「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択

2 コントロールパネル内の「システムとメンテナンス」を開く

Windows XPの場合
　「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

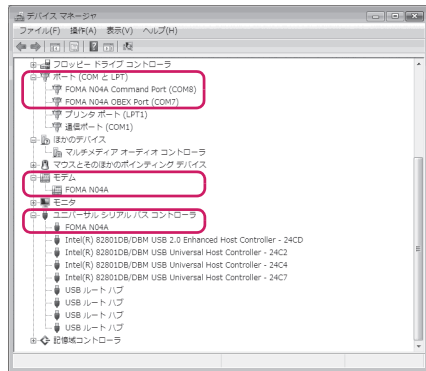
Windows 2000の場合
　コントロールパネル内の「システム」を開く

3 「デバイスマネージャ」を選択し、「続行」をクリックする

Windows XPの場合
　「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

Windows 2000の場合
　「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

4 各デバイスをクリックしてインストールされたドライバ名を確認する

「ポート（COMとLPT）」、「モデム」、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」または「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

デバイス名	ドライバ名
ポート（COMとLPT）	• FOMA N04A Command Port • FOMA N04A OBEX Port
モデム	• FOMA N04A
ユニバーサルシリアルバスコントローラまたは USB （Universal Serial Bus）コントローラ	• FOMA N04A

おしらせ

● 上記の確認を行った際、すべてのドライバ名が表示されない場合は、アンインストール（P.11）の手順に従ってFOMA通信設定ファイルを削除してから、再度インストールしてください。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

ドライバのアンインストールが必要な場合（ドライバをバージョンアップする場合など）は、以下の手順で行ってください。ここではWindows Vistaを例にしてアンインストールを説明します。

- FOMA端末とパソコンを接続している状態では、アンインストールを実行できません。
- FOMA通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 FOMA端末とパソコンがFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続されている場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を取り外す

2 Windowsの「プログラムの追加と削除」を起動する

「　」→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」をクリックする

Windows XPの場合

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」をクリックする

Windows 2000の場合

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の順に開く

3 「FOMA N04A USB」を選択して「アンインストールと変更」をクリックし、「続行」をクリックする

Windows XPの場合

「FOMA N04A USB」を選択して「変更と削除」をクリックする

Windows 2000の場合

「FOMA N04A USB」を選択して「変更と削除」をクリックする

4 「OK」をクリックしてアンインストールする

アンインストールを中止する場合は「キャンセル」をクリックします。

5 「はい」をクリックしてWindowsを再起動する

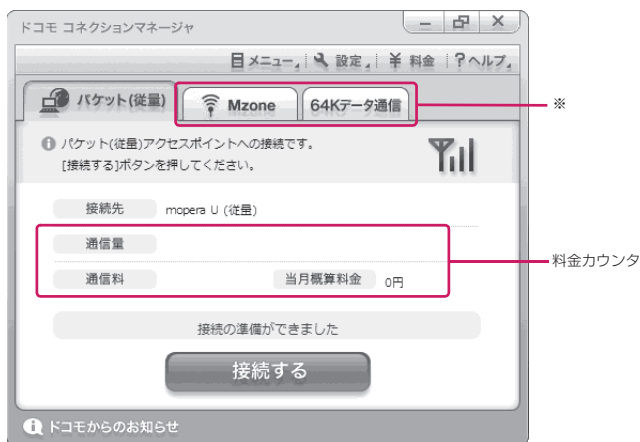
以上でアンインストールは終了です。
「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

おしらせ

- Windowsの「プログラムの追加と削除」に「FOMA N04A USB」が表示されていない場合は、次のように操作をしてください。
  ①「N-04A用CD-ROM」をパソコンにセットする
  ②「　」→「コンピュータ」を開く
  Windows XP、Windows 2000の場合は「スタート」→「マイコンピュータ」を開く
  ③CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択する
  ④CD-ROM内の「N-04A_USB_Driver」→「Drivers」→「WinVista32」フォルダを開く
  Windows XP、Windows 2000の場合は「N-04A_USB_Driver」→「Drivers」→「Win2k_XP」フォルダを開く
  ⑤「n04a_un.exe」※をダブルクリックする
  ※：お使いのパソコンの設定によっては「n04a_un」と表示されることがあります。

ドコモ コネクションマネージャ

「ドコモ コネクションマネージャ」は、定額データプランのご利用に必要となる「定額データプラン接続ソフト」や、従量データ通信を行うために必要な接続ソフトをパッケージ化したソフトウェアです。

「ドコモ コネクションマネージャ」を使うと、データ通信対応端末でインターネットに接続するためのパソコンの設定やmopera Uのお申し込みを簡単に行うことができます。また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。

※： 初期設定では表示されません。詳しくは「ドコモ コネクションマネージャのヘルプ」をご覧ください。

ここでは、従量接続用ドコモ コネクションマネージャのインストールまでを説明します。

おしらせ

● FOMA端末を使ってインターネットに接続するためには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ(mopera Uなど)のご契約が必要です。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

従量データ通信(「パケ・ホーダイ」、「パケ・ホーダイフル」など含む)のご利用について

「パケット通信」を利用して画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。
パケット定額サービス「パケ・ホーダイ」、「パケ・ホーダイフル」、「パケ・ホーダイ ダブル」、「Biz・ホーダイ」、「Biz・ホーダイ ダブル」では、パソコンに接続した場合のデータ通信などは定額対象外となりますのでご注意ください。

定額データプランのご利用について

定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プランやインターネットサービスプロバイダのご契約が必要です。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。
定額データプランを利用する場合は、「定額データプラン接続ソフト」を必ずご利用ください。「定額データプラン接続ソフト」は、ドコモのホームページからダウンロードできます。

moperaのご利用について

接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

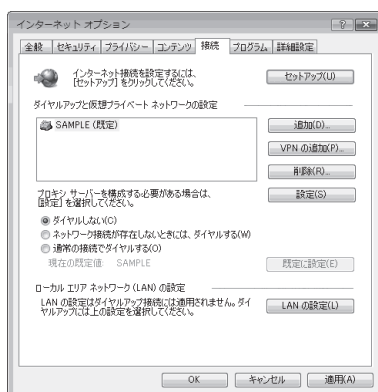
ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

● ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、以下を確認してください。
①FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）を用意する。
②サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認する。
③ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトがインストールされている場合は、必要に応じて自動的に起動しないように設定を変更する。
「ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について」→P.13

● Internet Explorerの設定について

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、Internet Explorerのインターネットオプションで、接続の設定をしてください。

1 Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」を開く

2 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルしない」を選択する

3 「OK」をクリックする

● ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について

● ドコモ コネクションマネージャには、以下のソフトと同様の機能が搭載されているため、以下のソフトを同時にご利用いただく必要はありません。必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを実施してください。
- mopera Uかんたんスタート
- U かんたん接続設定ソフト
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ

● ドコモ コネクションマネージャでMzone（公衆無線LAN接続）を利用する場合は、以下の公衆無線LAN接続ソフトをアンインストールしてください。以下のソフトを同時にインストールした場合、ドコモ コネクションマネージャでのMzone接続はご利用いただけません。
- U公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

おしらせ

● Windows XPで、MSXML6・Wireless LAN APIが環境にない場合は、ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、それらをインストールする必要があります。インストール時に確認の画面が表示されたときは「Install」をクリックして、MSXML6・Wireless LAN APIをインストールしてください。
MSXML6・Wireless LAN APIのインストール完了後、Windowsを再起動すると、自動的にドコモ コネクションマネージャのインストールがはじまります。

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

- 「ドコモ コネクションマネージャ」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- インストールを開始する前に、現在使用中または常駐している他のプログラムがないことを確認してください。使用中のプログラムがあった場合は、終了してからインストールを行ってください。

1 CD-ROMをパソコンにセットする

右の画面が自動的に表示されます。

2 「インターネット接続」をクリックする

3 「本CD-ROMからのFOMAデータ通信の設定方法」の項目の「②FOMA通信設定ファイルとドコモ コネクションマネージャのインストール」の「インストール」をクリックし、「続行」をクリックする

FOMA通信設定ファイルのインストール完了時にドコモ コネクションマネージャをインストールする場合は「インストールする」をクリックします。→P.9
Windows XP、Windows 2000の場合は、「続行」の操作はありません。

4 「次へ」をクリックする

5 注意事項を確認し、「次へ」をクリックする

6 使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックする

7 インストール先を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は「変更」をクリックし、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。

8 「インストール」をクリックする

9 「完了」をクリックする

ドコモ コネクションマネージャを起動する

1 ドコモ コネクションマネージャを開く

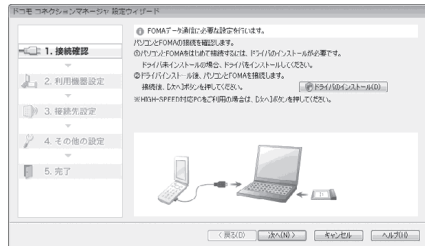
Windows Vista、Windows XPの場合

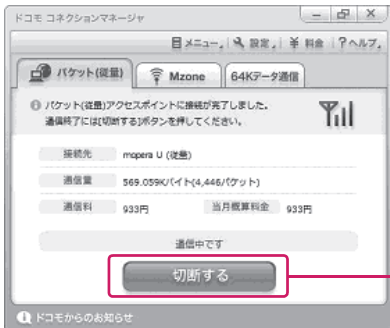
「 」または「スタート」→「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」→「ドコモ コネクションマネージャ」の順に開く

Windows 2000の場合

「スタート」→「プログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」→「ドコモ コネクションマネージャ」の順に開く

2 設定ウィザードに従い設定を行う

はじめて起動したときには、自動的に設定ウィザードが表示されます。
以降はソフトの案内に従って操作・設定をすることで、インターネットに接続する準備が整います。
詳しくは「ドコモ コネクションマネージャ 操作マニュアル」をご覧ください。

おしらせ

● インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。通信をご利用にならない場合は、必ずドコモ コネクションマネージャの「切断する」ボタンで通信を切断してください。OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。

設定した通信を実行する

1 ドコモ コネクションマネージャを開く

「ドコモ コネクションマネージャを起動する」→P.15

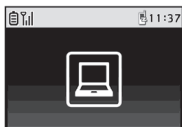
2 目的の通信の種類のタブをクリックし、「接続する」をクリックする

詳しくは「ドコモ コネクションマネージャ 操作マニュアル」をご覧ください。
接続できない場合は、「ダイヤルアップネットワークの設定」（P.18）、「ダイヤルアップの設定を行う」（P.24）を確認してください。

● パケット通信中には、通信状態によってFOMA端末にアイコンが表示されます。

（通信中、データ送信中）
（通信中、データ受信中）
（通信中、データ送受信なし）
（発信中、または切断中）
（着信中、または切断中）

● 64Kデータ通信中には、FOMA端末に「 」が表示されます。

おしらせ

● FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）でデータ通信をする場合、異なるFOMA端末を接続するときは、再度、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要となります。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されていない場合がありますので、以下の操作で確実に切断してください。

1 ドコモ コネクションマネージャから「切断する」をクリックする

2 「OK」をクリックする

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

こんなときは

● ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

現　象	チェックする箇所
「N-04A」がパソコン上で認識できない	・ お使いのパソコンが動作環境（P.4）を満たしているかを確認してください。 ・ FOMA通信設定ファイル（ドライバ）がインストールされているか確認してください。 ・ FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・ FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・ USBモード設定（P.7）が「通信モード」になっているか確認してください。
相手先に接続できない	・ ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・ FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・ 接続先が発信者番号の通知を要求する場合は、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・ モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・ 接続先のAPNが正しいかどうかを確認してください。 ・ 上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

ダイヤルアップネットワークの設定

ドコモ コネクションマネージャを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。以下のような流れになります。

- 64Kデータ通信を行う場合は「ダイヤルアップネットワークの設定」は不要です。「ダイヤルアップの設定を行う」（P.24）に進んでください。

ATコマンドについて

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、「データ通信」やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）をすることができます。

COMポートを確認する

- 接続先（APN）の設定を行う場合、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストール後に組み込まれた「FOMA N04A」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。ここではCOMポート番号の確認方法について説明します。ここで確認したCOMポートは接続先（APN）の設定（P.20）で使用します。

● 準備

1 FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を接続する

2 FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02をパソコンに接続する

● Windows VistaでCOMポートを確認する場合

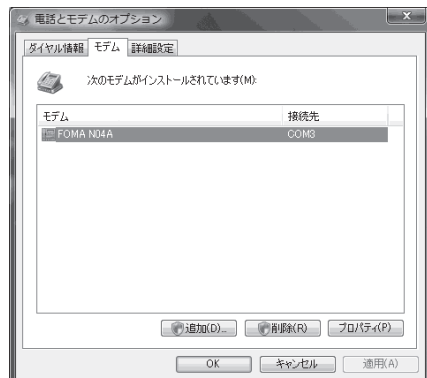
1 「」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「ハードウェアとサウンド」→「電話とモデムのオプション」を開く

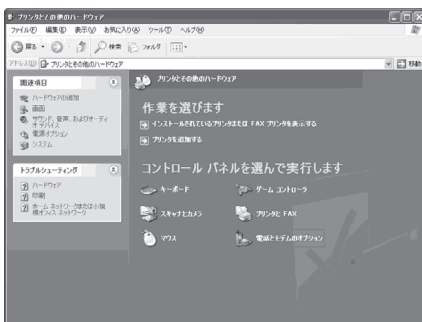
3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N04A」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.20）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows XPでCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「プリンタとその他のハードウェア」から、「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

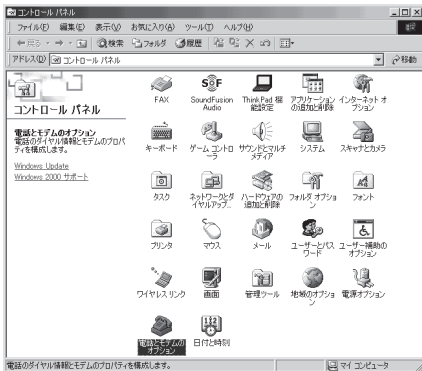
4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N04A」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.20）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows 2000でCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N04A」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.20）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先（APN）を設定する

お買い上げ時	cid1：mopera.ne.jp　cid3：mopera.net　cid2、4～10：設定なし

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

● Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

接続先について<APN/cid>

● パケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、電話番号を使用しません。接続には電話番号の代わりにAPNを設定して接続します。

● APN設定とは、パソコンからパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、登録するときは、1から10の登録番号（cid）を付与して登録し、その登録番号（cid）を接続先番号の一部として使用します。お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cid2または4～10に接続先（APN）を設定してください。※1

● APNは「cid（1～10までの管理番号)」によって管理されます。接続する接続先番号を「＊99＊＊＊<cid番号>#」とするとcid番号の接続先に接続します。
● moperaに接続する場合は接続先番号を「＊99＊＊＊1#」に、mopera Uに接続する場合は、「＊99＊＊＊3#」にすると、簡単にmoperaまたはmopera Uを利用することができます。※2
● APN設定は、携帯電話に相手先情報（電話番号など）を登録するのと同じように接続先をFOMA端末に登録します。携帯電話の電話帳と比較すると以下のようになります。

		APN設定	携帯電話の電話帳
登録するデータ		APN	電話番号
		cid	電話帳のメモリ番号
		—	相手の名前
登録のしかた	パソコンを使って登録する	○（ドコモ コネクションマネージャなどを使用）	○（専用ソフトが必要）
	携帯電話を使って登録する	×（確認もできません）	○
使いかた		cidを指定して接続	電話帳から検索してかける
		—	FOMA端末のダイヤルボタンから直接電話番号を入力してかける

● 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
● mopera Uまたはmopera以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

※1：「ダイヤルアップネットワーク」の電話番号欄にAPNを入力して接続するのではなく、FOMA端末側に接続先（インターネットサービスプロバイダ）についてあらかじめAPN設定を行います。
※2：他のインターネットサービスプロバイダなどに接続する場合は、APNを設定し、cidの2番または4～10番に登録してください。

<例：Windows XPの場合>

1 FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）を接続する

2 FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02をパソコンに接続する

3 パソコンで、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリックしてハイパーターミナルを起動する

Windows 2000の場合
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」の順に開く

4 「今後、このメッセージを表示しない」をチェックし、「はい」をクリックする

5 「名前」欄に任意の名前を入力し、「OK」をクリックする

ここでは例として「sample」と入力します。

6 「接続方法」から「FOMA N04A」を選択し、「OK」をクリックする

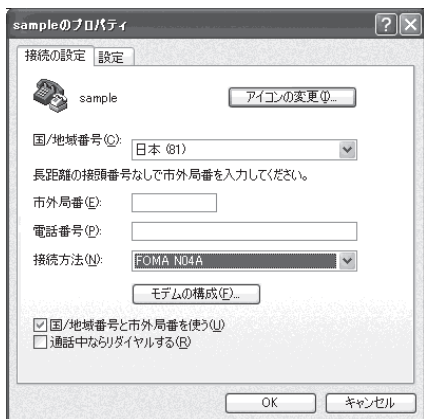
接続画面が表示されるので、「キャンセル」をクリックする

「FOMA N04A」のCOMポートを選択できる場合

COMポートのプロパティが表示されるので「OK」をクリックする
ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA N04A」のCOMポート番号は、「COMポートを確認する」(P.18)を参照して確認してください。

「FOMA N04A」のCOM ポートを選択できない場合

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、以下の操作を行ってください。

(1) 「ファイル」→「プロパティ」を選択
(2) 「sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」欄で「FOMA N04A」を選択
(3) 「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外す
(4) 「OK」をクリックする

7 接続先(APN)を入力し、↵を押す

AT+CGDCONT=<cid>, "PDP_type", "APN"の形式で入力する

<cid>:2、4～10までのうち任意の番号を入力する

すでにcidが設定してある場合は設定が上書きされますので注意してください。

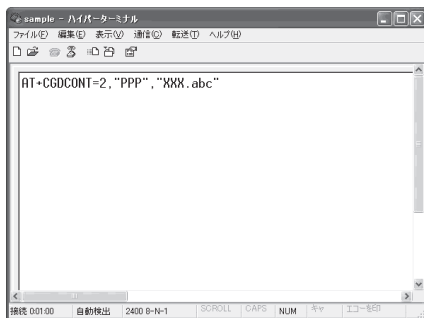
"PDP_type": "PPP"または"IP"と入力します。

"APN":接続先(APN)を" "で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先(APN)の設定は完了です。

例:cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合

AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"

↵と入力します。

8 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューを開き、「ハイパーターミナルの終了」をクリックしてハイパーターミナルを終了する

「"sample"と名前付けされた接続を保存しますか?」と表示されますが、とくに保存する必要はありません。

おしらせ

- P.22の操作7以降、「ハイパーターミナル」で入力したATコマンドが表示されないことがあります。このようなときは、ATE1 ↵ と入力すれば、以降に入力するATコマンドが表示されるようになります。
- ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットする場合
  - ・リセットを行った場合、cid=1の接続先（APN）設定が「mopera.ne.jp」（初期値）に、cid=3の接続先（APN）設定が「mopera.net」（初期値）に戻り、cid=2、4～10の設定は未登録となります。
    <入力方法>
    AT＋CGDCONT= ↵（すべてのcidをリセットする場合）
    AT＋CGDCONT=〈cid〉↵（特定のcidのみリセットする場合）
- ATコマンドで接続先（APN）設定を確認する場合
  - ・現在の設定内容を表示させます。
    <入力方法>
    AT＋CGDCONT? ↵

発信者番号の通知／非通知を設定する

- パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知する、しないの設定）を行うことができます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。
- 発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンドで設定できます。
- 発信者番号の通知／非通知、または「設定なし」（初期値）に戻すには＊DGPIRコマンド（P.36）で設定します。

1 「ハイパーターミナル」を起動する

ハイパーターミナルの起動方法については、「接続先（APN）を設定する」（P.20）を参照してください。

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

「AT＊DGPIR=<*n*>」の形式で入力します。

発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=1 ↵
と入力する

発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合

AT＊DGPIR=2 ↵
と入力する

3 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューの「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

おしらせ

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

ダイヤルアップネットワークでの186（通知）／184（非通知）設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186／184を付けることができます。
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186／184の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（cid＝1の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊1#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊1#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの通知184が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊1#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの通知186が優先される）
	非通知	
	通知	

ダイヤルアップの設定を行う

● ここではパケット通信でmopera Uに接続する場合を例に説明しています。
● パケット通信で接続する場合、mopera Uでは「＊99＊＊＊3#」、moperaでは「＊99＊＊＊1#」を接続先の電話番号に入力してください。64Kデータ通信で接続する場合、mopera Uでは「＊8701」、moperaでは「＊9601」を接続先の電話番号に入力してください。

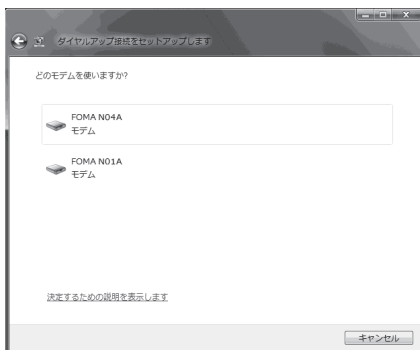
Windows Vistaでダイヤルアップの設定を行う

1 「（スタートボタン）」→「接続先」を開く

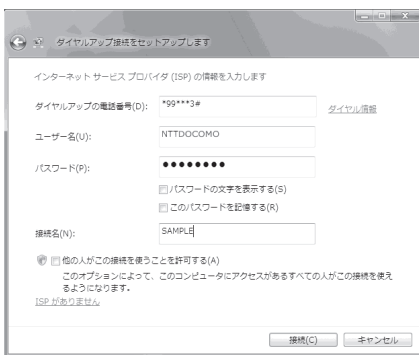
2 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする

3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択し、「次へ」をクリックする

4 モデムの選択画面が表示された場合は、「FOMA N04Aモデム」をクリックする

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

5 「ダイヤルアップの電話番号」欄を選択し、接続先の番号を入力する

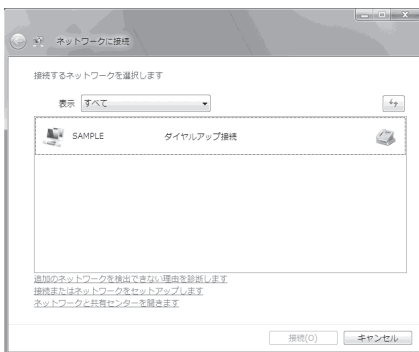
mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

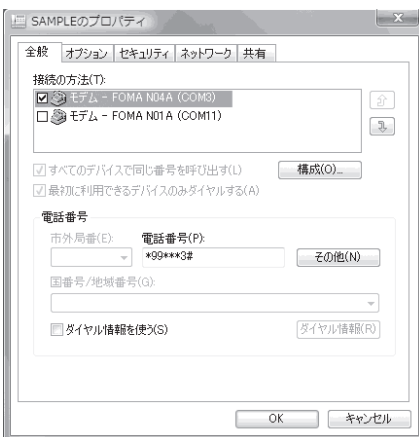
画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

6 「接続」をクリックし、「スキップ」をクリックする

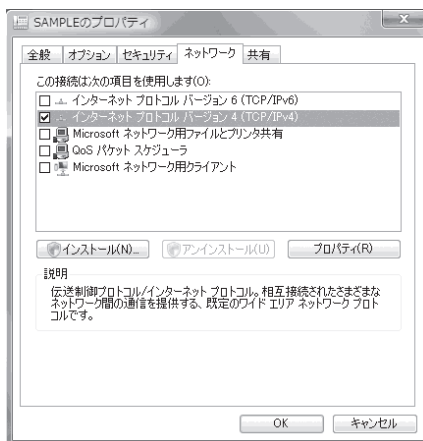
ここではすぐに接続せずに設定の確認のみ行います。

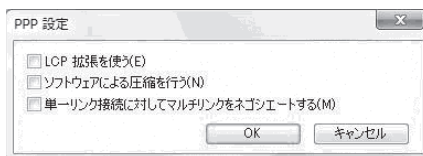
7 「接続をセットアップします」をクリックし、「閉じる」をクリックする

8 「」→「接続先」を開く

9 作成したダイヤルアップのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする

10 「全般」タブで設定を確認する

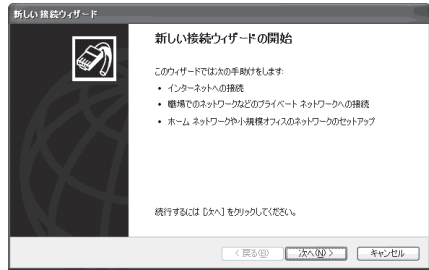
パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA N04A」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合はチェックを付けます。
「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

11 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネット プロトコル バージョン４（TCP/IPv4）」のみにチェックを付けます。ご利用になるプロバイダの指示がある場合は、「QoS パケットスケジューラ」および、その他の項目にチェックを付けます。

12 「オプション」タブをクリックし、「PPP設定」をクリックする

13 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

14 「OK」をクリックする

Windows XPでダイヤルアップの設定を行う

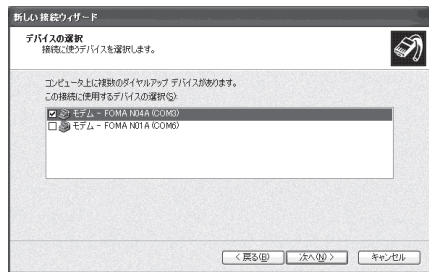
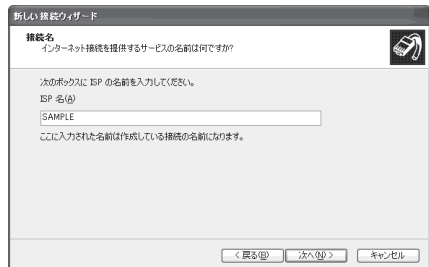
1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「新しい接続ウィザード」の順に開く

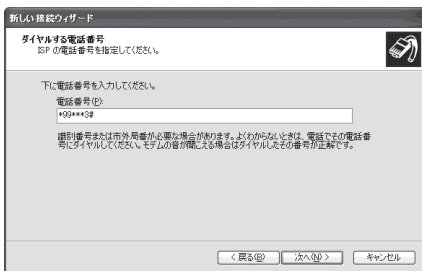
2 「新しい接続ウィザード」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

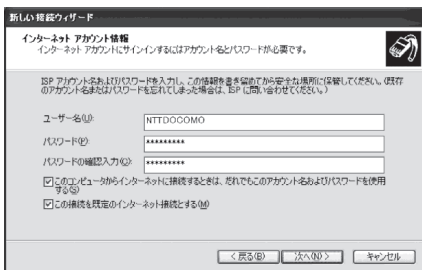
4 「接続を手動でセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックする

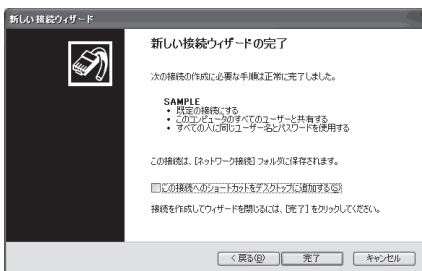
5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

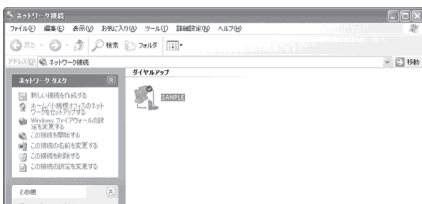
6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「モデム－FOMA N04A (COMx)」のみを選択し、「次へ」をクリックする

「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。
(COMx) は、「COMポートを確認する」(P.18) で表示されるCOM ポートの番号です。

7 「ISP名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

8 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする

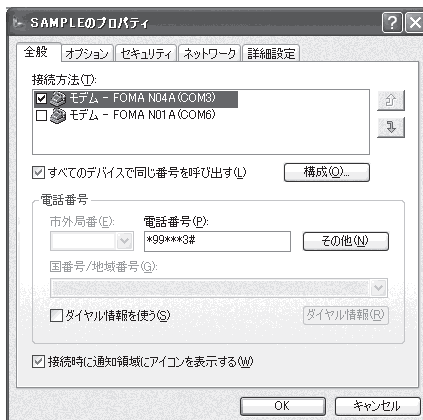
画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

9 「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

10 「完了」をクリックする

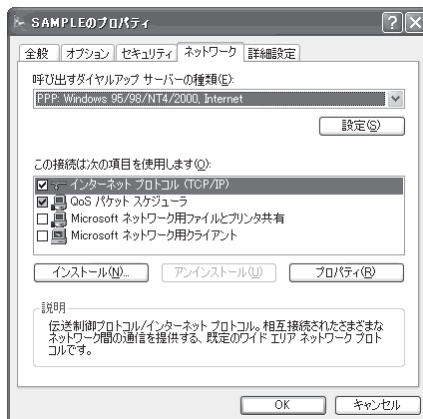
新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

11 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

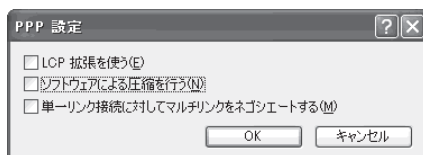
12 作成したダイヤルアップのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

13 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」欄で「モデム－FOMA N04A」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

14 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

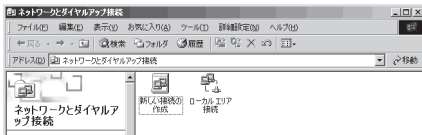
「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。

15 「設定」をクリックする

16 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

17 操作14の画面に戻るので「OK」をクリックする

Windows 2000でダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」の順に開く

2 ネットワークとダイヤルアップ接続内の「新しい接続の作成」をダブルクリックする

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

「所在地情報」画面は操作2で「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されるので、操作5に進んでください。

4 「電話とモデムのオプション」画面が表示されてから、「OK」をクリックする

5 「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されてから、「次へ」をクリックする

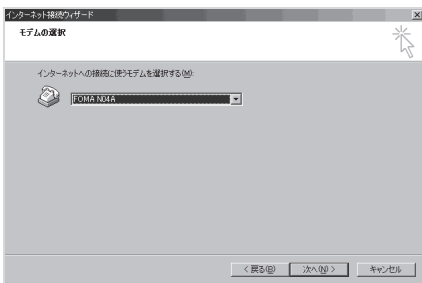
6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

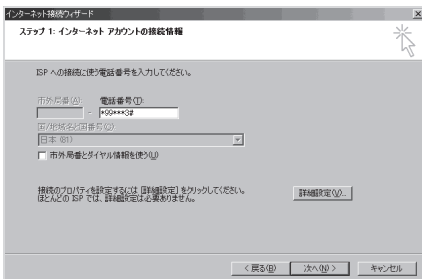
8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

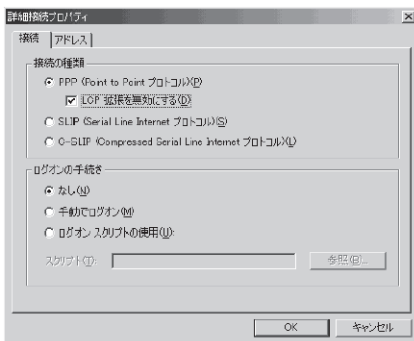
9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄が、「FOMA N04A」になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

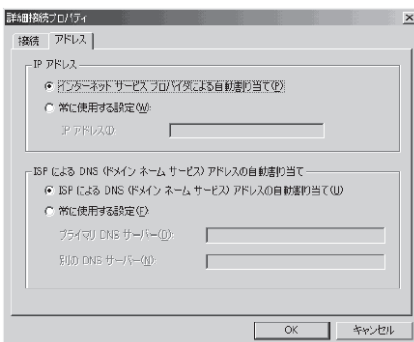
「FOMA N04A」になっていない場合は、「FOMA N04A」を選択します。

「FOMA N04A」以外のモデムがインストールされていない場合は、この画面は表示されません。

10 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「詳細設定」をクリックする

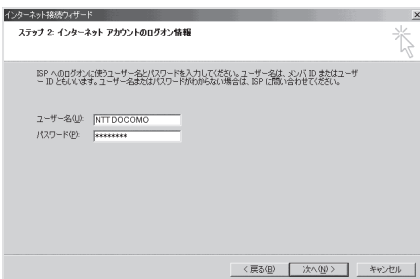
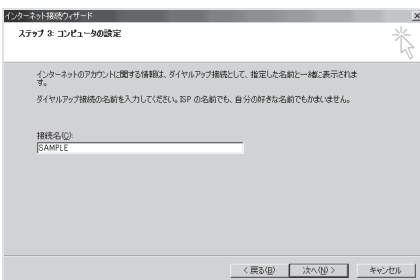
「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外してください。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

11 「接続」タブの中を画面例のように設定し、「アドレス」タブをクリックする

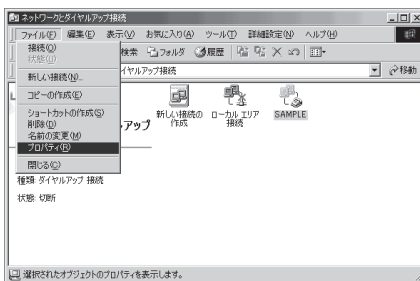
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、「接続の種類」、「ログオンの手続き」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

12 「アドレス」タブのIPアドレスおよびDNS(ドメインネームサービス)アドレスを画面例のように設定し、「OK」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合、「IPアドレス」、「ISPによるDNS(ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当て」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

13 操作10の画面に戻るので、「次へ」をクリックする

14 「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

15 「接続名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

16 「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックする

17 「完了」をクリックする

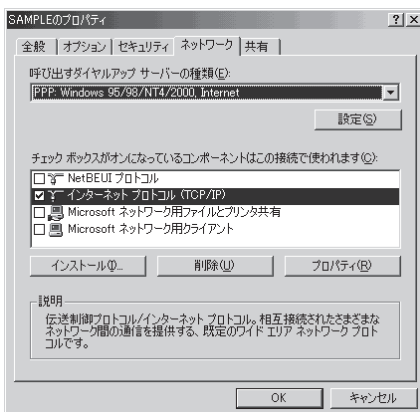
18 作成したダイヤルアップのアイコンを選択し、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

19 「全般」タブで設定を確認する

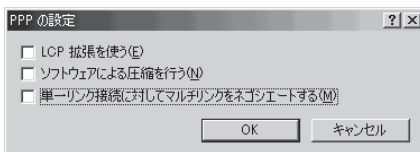
パソコンに2台以上モデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－ FOMA N04A」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。
「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

20 「ネットワーク」タブをクリックして各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。

コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のみをチェックします。

21 「設定」をクリックする

22 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

23 操作20の画面に戻るので「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続を実行する

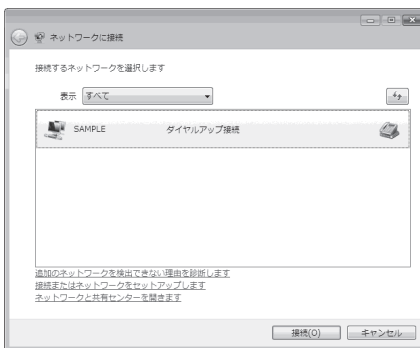
ここでは、設定したダイヤルアップを使って、パケット通信のダイヤルアップ接続をする方法について説明しています。

<例：Windows Vistaの場合>

1 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）でFOMA端末とパソコンを接続する

「取り付け方法」→P.7

2 「　」→「接続先」を開く

3 接続先を選択して「接続」をクリックする

4 内容を確認し、「ダイヤル」をクリックする

右の画面はmopera Uに接続する場合の例です。mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。

＜接続中の状態を示す画面が表示されます＞
この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

＜接続の完了＞
接続が完了すると、接続完了画面が表示されますので、「閉じる」をクリックしてください（OSによってはデスクトップ右下のタスクバーのインジケータから、接続したことを通知するメッセージが数秒間表示されます）。
ブラウザソフトを起動してサイトやインターネットホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
接続できない場合は、「ダイヤルアップネットワークの設定」（P.18）、「ダイヤルアップの設定を行う」（P.24）を再度確認してください。
通信状態については、P.16を参照してください。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線が切断されない場合があります。以下の操作で確実に切断してください。ここではWindows Vistaを例に説明します。

1 「　」→「接続先」の順に開く

接続しているダイヤルアップを選択します。

Windows XP、Windows 2000の場合
タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする
インターネット接続の状態画面が表示されます。

2 「切断」をクリックする

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ATコマンド一覧

FOMA端末から使用できるATコマンド

- ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。
  [＆F] ：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
  [＆W] ：AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻すことができます。
- 外部機器から発信･ATコマンド発信を行った場合、Aモード／デュアルモードのときはAナンバーで、BモードのときはBナンバーで発信します。

モデムポートコマンド一覧

FOMA N04A（モデム）で使用できるコマンドです。

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	－	A/ OK
AT	－	本コマンドの後に本一覧表のコマンドを付加することで、FOMA端末のモデム機能を制御することができます。 ※ATのみ入力した場合でもOKが応答されます。	AT OK
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT%V Ver1.00 OK
AT&C*n* [&F] [&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	*n*＝0：CDは常にON *n*＝1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&D*n* [&F] [&W]	DTEから受け取る回路ER信号がON／OFF遷移したときの動作を選択します。	*n*＝0：ERの状態を無視する（常にONとみなす） *n*＝1：ERがONからOFFに変わると、オンラインコマンド状態になる *n*＝2：ERがONからOFFに変わると回線を切断し、オフラインコマンド状態になる（初期値）	AT&D1 OK
AT&E*n* [&F] [&W]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	*n*＝0：無線区間通信速度を表示する *n*＝1：DTE　シリアル通信速度を表示する（初期値）	AT&E0 OK
AT&F*n*	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	*n*＝0のみ指定可能（省略可）	（オフラインモード時） AT&F OK AT&F? ERROR AT&F＝? ERROR （オンラインコマンドモード時） AT&F NO CARRIER （オフラインモードへ移行）
AT&S*n* [&F] [&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	*n*＝0：DRは常にON（初期値） *n*＝1：DRは回線接続時（通信呼確立時）にON	AT&S0 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT&W*n*	現在の設定値を記憶します。	*n*＝0 のみ指定可能（省略可）	AT&W0 OK AT&W OK AT&W? ERROR AT&W＝? ERROR
AT＊DANTE	FOMA端末の電波の受信レベルを表示します。	0：FOMA端末の電波の受信レベルが圏外と表示される状態 1：FOMA端末の電波の受信レベルが0本または1本の状態 2：FOMA端末の電波の受信レベルが2本の状態 3：FOMA端末の電波の受信レベルが3本の状態	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE＝? ＊DANTE:(0-3) OK
AT＊DGANSM=*n*	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	*n*＝0： 着信拒否設定（AT＊DGARL）および着信許可設定（AT＊DGAPL）を無効にする（初期値） *n*＝1： 着信拒否設定を有効にする *n*＝2： 着信許可設定を有効にする AT＊DGANSM? ： 現在の設定値を表示する	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。APNの設定は、+CGDCONT で定義された<cid>パラメータを用います。	*n*＝0： <cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加する *n*＝1： <cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除する <cid> が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGAPL? ： 着信許可リストを表示する	AT＊DGAPL =0,1 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL =1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。APN設定は、+CGDCONT で定義された<cid>パラメータを用います。	*n*＝0 ：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加する *n*＝1 ：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除する <cid> が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGARL? ： 着信拒否リストを表示する	AT＊DGARL =0,1 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL =1 OK AT＊DGARL? OK
AT＊DGPIR=*n*	本コマンドの設定は、パケット通信の発信時、着信時の通知・非通知設定が有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます（P.23）。	*n*＝0： APNをそのまま使用する（初期値） *n*＝1： APNに“184”を付加して使用する（常に非通知） *n*＝2： APNに“186”を付加して使用する（常に通知） AT＊DGPIR? ： 現在の設定値を表示する	AT＊DGPIR =0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末の受信電力指標値を表示します。	−	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK AT＊DRPW=? ＊DRPW:(0-75) OK
AT+CAOC	現在の課金値の問い合わせを行います。	−	AT+CAOC +CAOC:"000014" OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CBC	FOMA端末の電池残量を表示します。	リザルト：+CBC:<bcs>,<bcl> bcs： 0：電池パックから電源が供給されている 1：電池パックから電源が供給されていない 2：FOMA端末に電池パックが接続されていない 3：電源供給エラーによりFOMA端末からの発信不可 bcl： 0：電池残量なし、または電池パック未接続 1～100：電池残量あり	AT+CBC +CBC:0,70 OK AT+CBC? ERROR AT+CBC=? +CBC:(0-3),(0-100) OK
AT+CBST [&F] [&W]	利用するベアラサービスを切り替えます。	書式：AT+CBST=<*n*>,1,0 *n*=116：64,000 bps(bit transparent)（初期値） *n*=134：64,000 bps (multimedia)	AT+CBST=134,1,0 OK AT+CBST? +CBST:134,1,0 OK AT+CBST=? +CBST:(116,134),(1),(0) OK
AT+CDIP=*n* [&F] [&W]	着信時に、着サブアドレスを通知するかどうかを設定します。マルチナンバー契約状態を問い合わせます。	*n*=0：着サブアドレスを通知しない(初期値) *n*=1：着サブアドレスを通知する AT+CDIP? ：現在の設定値を表示する +CDIP:*n*,*m* *m*=0：マルチナンバー未契約 *m*=1：マルチナンバー契約中	AT+CDIP=0 OK AT+CDIP? +CDIP:0,1 OK
AT+CEER	直前の呼の切断理由を表示します。	リザルト：+CEER:<report> report：切断理由一覧（P.48）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.45	P.45
AT+CGEQMIN	PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS(サービス品質)を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	P.45	P.45
AT+CGEQREQ	PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	P.46	P.46
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CGREG=*n* [&F] [&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。 応答される通知により圏内／圏外を表示します。	*n*=0：通知なし（初期値） *n*=1：通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CGREG? ：現在の設定値を表示する +CGREG：<*n*>,<stat> *n*：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内	AT+CGREG=1 OK（通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK AT+CGREG=? +CGREG:（0,1） OK (圏外) (圏外から圏内に移動した場合) +CGREG:1
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN 12345XXXXXXXXXXX OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CLIP=*n* [&F] [&W]	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。	*n*=0: リザルトを出さない(初期値) *n*=1: リザルトを出す AT+CLIP? : 現在の設定値を表示する +CLIP:*n*,*m* *m*=0:発信時に相手に番号を通知しないNW設定 *m*=1:発信時に相手に番号を通知するNW設定 *m*=2:不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP=? +CLIP:(0,1) OK (+CLIP=1 設定時に着信) RING +CLIP: "090XXXXXXXX",177,"123",136
AT+CLIR=*n*	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	*n*=0: CLIRサービスの契約に従う *n*=1: 通話相手に番号発信しない *n*=2: 通話相手に番号発信する(初期値) AT+CLIR? : 現在の設定値を表示する +CLIR:*n*,*m* *m*=0: CLIRは起動していない(常時通知) *m*=1:CLIRは起動している(常時非通知) *m*=2:不明 *m*=3:CLIRテンポラリーモード(非通知デフォルト) *m*=4:CLIRテンポラリーモード(通知デフォルト)	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=*n* [&F] [&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	*n*=0: ERRORリザルトを用いる(初期値) *n*=1: +CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用いる *n*=2 :+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用いる AT+CMEE?:現在の設定値を表示する 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは以下のとおりです。 1:no connection to phone 10:SIM not inserted 15:SIM wrong 16:incorrect password 100:unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR:10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR:SIM not inserted
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	リザルト:+CNUM:,<number>,<type> number:電話番号 type : 129または145 129 : 国際アクセスコード+を含まない 145 : 国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM +CNUM:,"+8190XXXXXXXX",145 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+COPS	接続する通信事業者を選択します。	書式：AT+COPS=<mode>,2,<oper> mode=0：オート（自動的にネットワークを検索して通信事業者を切り替える） mode=1：マニュアル（<oper>に指定された通信事業者に接続する） mode=2：通信事業者との接続を解除（切断）する mode=3：マッピングを行わない mode=4：マニュアルオート（<oper>に指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行う） <oper>は国番号（MCC）とネットワーク番号（MNC）からなる16進数の値で示す。書式は以下のとおりです。 Digit 1 of MCC･･･octet 1 bits 1 to 4. Digit 2 of MCC･･･octet 1 bits 5 to 8. Digit 3 of MCC･･･octet 2 bits 1 to 4. Digit 3 of MNC･･･octet 2 bits 5 to 8. Digit 2 of MNC･･･octet 3 bits 5 to 8.	AT+COPS=0 OK AT+COPS? +COPS:0 OK AT+COPS=? +COPS:(2,,,"44F001"),(3,,,"44F002"),,(0,1),(2) OK
AT+CPAS	FOMA端末への制御信号が使用できるかどうかを表示します。	リザルト：+CPAS:＜pas＞ pas： 0：FOMA端末への制御信号の送受信が可能 1：FOMA 端末への制御信号の送受信が不可能 2：不明(制御信号の送受信は保証されない) 3：FOMA 端末への制御信号の送受信が可能、かつ着信中 4：FOMA 端末への制御信号の送受信が可能、かつ通信中	AT+CPAS +CPAS:0 OK AT+CPAS? ERROR AT+CPAS=? +CPAS:(0-4)

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CPIN	FOMA端末にPINコードを入力します。	書式 ： AT+CPIN="<pin>","<newpin>" 本コマンドはAT+CPIN?を入力して応答されるリザルトコードの状態によってFOMA端末のPIN 1コード、PIN2コードおよびPINロック解除コードを入力するためのコマンドです。 画面にてPINコード入力やPINロック解除コードを要求されている場合でも、AT+CPIN?入力時のリザルトコードの状態によって本コマンドを利用してPIN入力ができない場合があります。PINコード変更を目的として本コマンドを使用しないでください。<pin>と<newpin>は" "で囲んでください。 AT+CPIN?のリザルト +CPIN：READY：PIN1コード、PIN2コード、PIN1ロック解除コード、PIN2ロック解除コードが入力できない状態 +CPIN：SIM PIN：PIN1入力待ち状態 +CPIN：SIM PIN2：PIN2入力待ち状態 +CPIN：SIM PUK：PIN1ロック状態（PIN1ロック解除コード入力可） +CPIN：SIM PUK2：PIN2ロック状態（PIN2ロック解除コード入力可） 右記はPINコード「1234」、PINロック解除コード「12345678」の入力例です。	(+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: READYが応答される状態) AT+CPIN="12345678", "1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PINが応答される状態) AT+CPIN="1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PUKが応答される状態 :PIN1ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN: SIM PUK2が応答される状態:PIN2ロック状態) AT+CPIN="12345678", "1234" OK AT+CPIN? +CPIN:READY OK AT+CPIN=? OK
AT+CR=*n* [&F] [&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	*n*=0： 表示しない（初期値） *n*=1： 表示する <serv>： パケット通信を意味する “GPRS” のみ表示する（回線種別により “SYNC”，“AV64K” を表示） AT+CR? ：現在の設定値を表示する	AT+CR =1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR ：GPRS CONNECT
AT+CRC=*n* [&F] [&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	*n*=0： +CRINGを使用しない（初期値） *n*=1： +CRING.<type>を使用する +CRINGの書式は以下のとおりです。 +CRING：SYNC +CRING：AV64K ：GPRS “PPP”,,, “<APN>” AT+CRC? ： 現在の設定値を表示する	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC ：0 OK (PPPoverUD着信時) +CRING：SYNC (AV64K着信時) +CRING：AV64K (PPPパケット着信時) +CRING ：GPRS “PPP” ,,, “〈APN〉”

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CREG=*n* [&F] [&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。 • OSによっては設定できない場合があります。	*n*=0：通知なし（初期値） *n*=1：通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CREG? ：現在の設定値を表示する +CREG ：<*n*>,<stat> *n* ：設定値 stat ： 0 ：音声圏外 1 ：音声圏内 4 ：不明 5 ：音声圏内	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG ：1,0 OK （圏外） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG ：1
AT+CUSD [&F] [&W]	付加サービス等に関し、ネットワークの設定を変更、設定内容の問い合わせを行います。	書式：AT+CUSD=<n>,"<str>"[,0] *n*=0：中間リザルト <m>[<str>,<dcs>]を送出しない（初期値） *n*=1：中間リザルト <m>[<str>,<dcs>]を送出する 中間リザルト： *m*=0：設定完了 *m*=1：ネットワークから情報要求あり。 str ：0～9、#、＊のみ使用可能。 <str>は""で囲む	AT+CUSD=0, "xxxxxxxxx" OK AT+CUSD=1,"＊148＊1＊0000#",0 +CUSD:0,"148＊7#",0 OK AT+CUSD? +CUSD:0 OK AT+CUSD =? +CUSD:(0,1) OK
AT+FCLASS=*n* [&F] [&W]	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。	*n*=0：データのみサポート（初期値）	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP	FOMA端末のATコマンドのサポート範囲を表示します。	リザルト：+GCAP:<area>,<area>,<area> area： +CGSM ：GSMコマンドの一部またはすべてがサポートされている +FCLASS：+FCLASSコマンドがサポートされている +W ：+Wコマンドがサポートされている	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI	メーカ名を表示します。	－	AT+GMI NEC OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名（FOMA N04A）を表示します。	－	AT+GMM FOMA N04A OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=*n*,*m* [&F] [&W]	フロー制御方式を選択します。	*n* ：DCE by DTE *m* ：DTE by DCE 0：フロー制御なし 1：XON／XOFFフロー制御 2：RS／CS（RTS/CTS）フロー制御 初期値は*n*,*m*=2,2 AT+IFC?：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC：2,2 OK AT+IFC=? +IFC：(0,1,2）,(0,1,2) OK
AT+WS46	FOMA端末の無線通信モードを表示します。	22：3G固定モード	AT+WS46? 22 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT¥S	現在設定されている各コマンド、S レジスタの内容を表示します。	−	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT¥V*n* [&F] [&W]	接続時の応答コード仕様を選択します。	*n*=0：拡張リザルトコードを使用しない（初期値） *n*=1：拡張リザルトコードを使用する	AT¥V0 OK
ATA	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	−	RING ATA CONNECT
ATD	FOMA 端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	ATD＊99＊＊＊<cid>#　：パケット通信 <cid>　1 〜 10：＋ CGDCONT 設定したAPNを表す AT+CBST=116,1,0設定時 ATD<電話番号>　：64K通信 AT+CBST=134,1,0設定時 ATD<電話番号>　：AV64K通信	<パケット通信> ATD＊99＊＊＊1# CONNECT <64K通信> AT+CBST=116,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT <AV64K通信> AT+CBST=134,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT
ATE*n* [&F] [&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	*n*=0 ：エコーバックなし *n*=1 ：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATH*n*	FOMA 端末に対してオンフック動作を行います。	*n*=0 ：回線を切断する（省略可）	（パケット通信中） +++ OK ATH NO CARRIER
ATI*n*	認識コードを表示します。	*n*=0：「NTT DoCoMo」を表示する *n*=1：製品名を表示する（+GMMと同じ） *n*=2：FOMA端末のバージョンを表示する（+GMRと同じ） *n*=3：ACMP信号の各要素を表示する *n*=4：FOMA端末の有する通信機能の詳細を表示する	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA N04A OK
ATO*n*	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	*n*=0：オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻す（省略可）	ATO CONNECT
ATQ*n* [&F] [&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	*n*=0 ：リザルトコードを表示する（初期値） *n*=1 ：リザルトコードを表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません）
ATS0=*n* [&F] [&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	*n*=0 ：自動着信しない（初期値） *n*=1- 255：指定したリング回数で自動着信する ATS0?：現在の設定値を表示する	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS2=*n* [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	*n*=43　：初期値 *n*=127：エスケープ処理は無効 ATS2?　：現在の設定値を表示する	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=*n* [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	*n*=13　：初期値（*n*=13のみ指定可） ATS3?　：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=*n* [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	*n*=10　：初期値（*n*=10のみ指定可） ATS4?　：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=*n* [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	*n*=8　：初期値（*n*=8のみ指定可） ATS5?　：現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS6=*n* [&F]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS6=5 OK ATS6? 005 OK ATS6＝? ERROR
ATS8=*n* [&F]	カンマダイヤルによるポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS8=3 OK ATS8? 003 OK ATS8＝? ERROR
ATS10=*n* [&F][&W]	自動切断遅延時間設定（1/10秒）	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS10=1 OK ATS10? 001 OK ATS10＝? ERROR
ATS30=*n* [&F]	ユーザデータの送受信がない場合、この時間で切断します。	*n*=0：不活動タイマオフ(初期値) *n*=0～255 *n*は分単位で設定します。	ATS30=0 OK ATS30? 000 OK ATS30=? ERROR
ATS103=*n* [&F]	着サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0：＊ *n*=1：/（初期値） *n*=2：￥（￥マークあるいはバックスラッシュ）	ATS103=0 OK ATS103? 000 OK ATS103=? ERROR

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS104=*n* [&F]	発サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0：# *n*=1：%（初期値） *n*=2：&	ATS104=0 OK ATS104? 000 OK ATS104=? ERROR
ATV*n* [&F] [&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	*n*=0：リザルトコードを数値で返送する *n*=1：リザルトコードを文字で返送する（初期値）	ATV1 OK
ATX*n* [&F] [&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	*n*=0：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし *n*=1：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=2：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=3：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり *n*=4：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり（初期値）	ATX1 OK
ATZ	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	―	（オンラインコマンドモード時） ATZ NO CARRIER （オフラインコマンドモード時） ATZ OK
+++	オンラインデータモードのとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移ります。	―	（オンラインデータモード） +++（表示は見えない） OK

● ATコマンドの補足説明

■ 動作しないコマンド

以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。
・ATT（トーン設定）
・ATP（パルス設定）

■ コマンド名：+CGDCONT=[パラメータ]

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"<PDP_type>"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。
<cid>※1：1～10
<PDP_type>※2：PPPまたはIP
<APN>※3：任意
※1：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。
※2：<PDP_type>は、接続方式です。FOMA端末はPPPまたはIPを指定できます。<cid>=1にはPPPが、<cid>=3にはIPが初期値として登録されています。
※3：<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGDCONT=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT?：現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"
OK

■ コマンド名：+CGEQMIN=[パラメータ]

・概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※1 ：1～10
<Maximum bitrate UL>※2：なし（初期値）または384
<Maximum bitrate DL>※2：なし（初期値）または7,232
※1：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。
※2：<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、384および7,232を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN= ：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGEQMIN=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。

・**コマンド実行例**
以下の４パターンのみ設定できます。（1）の設定が各cidに初期値として設定されています。
(1) 上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが２の場合）
AT+CGEQMIN=2
OK
(2) 上り384kbps/下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが４の場合）
AT+CGEQMIN=4,,384,7232
OK
(3) 上り384kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが５の場合）
AT+CGEQMIN=5,,384
OK
(4) 上りすべての速度/下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが６の場合）
AT+CGEQMIN=6,,,7232
OK

■ コマンド名：+CGEQREQ=[パラメータ]

・**概要**
PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている１パターンのみで初期値としても設定されています。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・**書式**
+CGEQREQ=[<cid>]

・**パラメータ説明**
<cid>※：１～10
※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では１～10が登録できます。
<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは２または４～10に設定します。

・**パラメータを省略した場合の動作**
+CGEQREQ=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGEQREQ=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。

・**コマンド実行例**
以下の１パターンのみ設定できます。各cidに初期値として設定されています。
上り384kbps/下り7,232kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが２の場合）
AT+CGEQREQ=2
OK

モデムポートコマンドの設定値の保存について

AT＋CGDCONTコマンドによる接続先（APN）設定（P.20）、AT+CGEQMIN／AT＋CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL／AT＊DGARL／AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定およびAT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知／非通知の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF／ON時に初期化されてしまいますので、ご注意ください。なお、［&W］が付いているコマンドについては、設定後に
AT&W ↵
と入力することにより保存できます。このとき、［&W］が付いている他の設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF／ON後であっても、
ATZ ↵
と入力することにより、設定値を呼び戻すことができます。

リザルトコード

■データ通信に関するリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■拡張リザルトコード

・&E0の時

数字表示	文字表示	意　味
122	CONNECT 64000	FOMA端末－基地局間速度64,000bpsで接続しました。
125	CONNECT 384000	FOMA端末－基地局間速度384,000bpsで接続しました。
133	CONNECT 3648000	FOMA端末－基地局間速度3,648,000bpsで接続しました。
135	CONNECT 7232000	FOMA端末－基地局間速度7,232,000bpsで接続しました。

・&E1の時

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1,200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2,400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4,800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7,200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9,600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14,400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19,200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38,400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57,600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115,200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230,400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460,800bpsで接続しました。

■通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
3	AV64K	AV（テレビ電話）[64K]で接続
5	PACKET	パケットで接続

おしらせ

● ATV*n*コマンド（P.44）が*n*=1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、*n*=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
● 従来の RS-232C で接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間は FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
●「RESTRICTION」（数字表示：100）が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

リザルトコードの表示例

■ ATX0が設定されている場合

AT¥V*n*コマンド（P.42）の設定に関係なく接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

　文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　CONNECT
　数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　1

■ ATX1が設定されている場合

・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
　接続完了のときに、CONNECT <FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。

　文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　CONNECT 460800
　数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　1　21

・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※
　接続完了のときに、以下の書式で表示します。
　CONNECT <FOMA端末－PC間の速度> PACKET ＜接続先APN＞ / ＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞ / ＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞
　以下の例は、mopera.ne.jpに、送信最大384kbps、受信最大7,232kbpsで接続したことを表します。

　文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/384/7232
　数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　1　21　5

※：ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26 27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が通信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

区点コード一覧

区点コード一覧

＜区点コード一覧の見かた＞

最初に「区点1～3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

● 区点コード一覧の表示は、実際の見えかたが異なるものがあります。

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ～の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る～れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
643	狆	狄	狃	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			